

プロセッサー

取扱説明書

第13版 2025年11月

はじめに

| 1 安全にご使用いただくために

| 2 システム構成

| 3 各部の名称と機能

| 4 システムの設置と初期設定

| 5 各機能の設定

| 6 システムの準備と点検

| 7 使用方法

| 8 画像の記録

| 9 保管とメンテナンス

| 10 トラブルシューティング

| 11 主な仕様

EP-8000

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして
ありがとうございます。
ご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みい
ただき、不測の事故を回避するとともに、機器の
性能を十分に発揮して、ご使用くださるようお願
い致します。

医用電気機器の使用上の注意事項

本製品を使用する際は、以下の注意事項を守って正しく取り扱ってください。

● 「医用電気機器の使用上（安全及び危険防止）の注意事項」

1. 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - (1) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
 - (2) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - (3) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - (4) 電源の周波数と電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意すること。
 - (5) 電池電源の状態（放電状態、極性など）を確認すること。
 - (6) 保護接地を正しく接続すること。
3. 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
 - (1) スイッチの接触状況、極性、ダイアル設定、メーター類などの点検を行ない、機器が正確に作動することを確認すること。
 - (2) 保護接地が完全に接続されていることを確認すること。
 - (3) すべてのコードの接続が正確でかつ完全であることを確認すること。
 - (4) 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこすおそれがあるので、十分注意すること。
4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - (1) 診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
 - (2) 機器全般に異常のないことを絶えず監視すること。
 - (3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。
 - (1) 定められた手順により操作スイッチ、ダイアルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
 - (2) コード類のとりはずしに際してはコードを持って引抜くなど無理な力をかけないこと。
 - (3) 保管場所については次の事項に注意すること。
 - i 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - ii 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む。）など安定状態に注意すること。
 - iii 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
 - (4) 附属品、コード、導子などは清浄にしたのち、整理してまとめておくこと。
 - (5) 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。
6. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 保守点検
 - (1) 機器及び部品は必ず定期点検を行なうこと。
 - (2) しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。
9. その他
 - (1) 取扱説明書に従い、正しい操作をすること。

この取扱説明書の構成

はじめに

本取扱説明書の内容をよく読んで理解してから使用してください。

第1章 安全にご使用いただくために

本製品を使用する前に、この章の注意事項をよく読み、正しく取り扱ってください。安全にご使用いただくために守っていただきたい警告・注意について説明します。

この章の掲載内容には患者への注意事項も含まれます。必要な項目は患者に伝えてください。

第2章 システム構成

この章では、本製品の同梱品、構成品、組み合わせて使用可能な機器、標準システム構成、拡張システム構成について説明します。

第3章 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能を説明しています。

第4章 システムの設置と初期設定

この章では、システムの設置方法と初期設定方法について説明します。

第5章 各機能の設定

この章では、本製品の機能の設定方法を記載しています。

第6章 システムの準備と点検

この章では、本製品および 本製品と組み合わせて使用可能な機器を含む関連機器の準備と点検について説明します。

第7章 使用方法

この章では、本製品を操作するときの注意事項と基本的な操作方法を記載しています。

第8章 画像の記録

本製品では、プリンター、デジタルプリンターで画像をプリントすることや、動画記録装置に画像を記録することができます。正常にプリント / 記録できることをご確認の上ご使用ください。

第9章 保管とメンテナンス

本製品の保管とメンテナンスを説明しています。

第 10 章 トラブルシューティング

この章では、本製品のトラブルの解決策について記載をしています。

第 11 章 主な仕様

この章では、主な仕様、電磁両立性（EMC）情報などを記載しています。

目次

医用電気機器の使用上の注意事項	ii
この取扱説明書の構成	iii
はじめに	1
取扱説明書について	1
◆ 本製品の取扱説明書の構成	2
取扱説明書の読み方	4
◆ 用語の説明	4
◆ 表記の説明	4
第 1 章 安全にご使用いただくために	1-1
1.1 本製品の使用目的	1-1
1.2 患者母集団	1-1
1.3 意図する使用者	1-1
1.4 禁忌	1-1
1.5 臨床性能	1-1
1.6 臨床的ベネフィット	1-1
1.7 医学的適応	1-1
1.8 内視鏡による検査や治療の適応について	1-2
1.9 使用者の資格について	1-2
1.10 改造および不適切な修理の禁止	1-3
1.11 使用後のリプロセス、保管、廃棄について	1-4
1.11.1 使用後のリプロセス	1-4
1.11.2 保管	1-5
1.11.3 廃棄	1-5
1.12 使用前の注意事項	1-6
1.13 保守管理について	1-6
1.14 機器の設置	1-7
◆ 機器の分類	1-7
1.15 機器の運搬	1-9
1.16 感電に対する注意事項	1-10
1.17 電磁波障害	1-11
1.18 爆発に対する注意	1-12
1.19 異物・液体	1-12
1.20 先端部の温度	1-12
1.21 取り扱い上および一般的な注意事項について	1-12
1.21.1 機能の喪失	1-12
1.21.2 色調の違いについて	1-13
1.21.3 セキュリティ機能	1-13
1.21.4 PoP 機能（周辺機器画像の表示）	1-13
1.21.5 等電位化	1-13

1.21.6 取り扱い.....	1-14
1.21.7 システムのバージョンについて.....	1-15
1.22 機器の組み合わせ	1-16
1.22.1 レーザ内蔵機器に対する注意.....	1-16
1.22.2 ネットワーク接続に対する注意.....	1-17
1.22.3 汎用コンピュータ（EX-WS）の接続に対する注意.....	1-17
1.22.4 タブレットの接続に対する注意.....	1-17
1.22.5 バルーンコントローラーの接続に対する注意.....	1-17
1.22.6 内視鏡サイズ推定支援プログラムの使用について	1-18
1.23 主な有害事象.....	1-19

第 2 章 システム構成 2-1

2.1 EP-8000 の内容.....	2-1
2.1.1 同梱品の確認.....	2-1
◆ 同梱品	2-1
2.1.2 EP-8000 の構成	2-2
2.1.3 CC-PE01 の構成.....	2-2
2.1.4 CC-JW01 の構成	2-2
2.2 組み合わせて使用可能な機器.....	2-3
2.3 標準システム構成	2-9
2.4 システムの拡張.....	2-11

第 3 章 各部の名称と機能 3-1

3.1 前面パネル	3-1
3.2 背面パネル	3-5
3.3 側面パネル	3-8
3.4 底面	3-9
3.5 データキーボード	3-10
3.6 ソケット保護キャップ	3-14
3.7 表示マーク	3-15
3.8 観察画面の表示について	3-16
3.8.1 画面エリア	3-16
3.8.2 観察画面の画像の種類	3-17
3.8.3 マスクタイプ	3-18
3.8.4 PinP	3-19
3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）	3-20
3.8.6 マルチオブザベーション	3-24
3.8.7 インデックス	3-25
3.8.8 ビデオ出力画像	3-26
3.8.9 バルーンコントローラー	3-27
3.9 観察画面の情報について	3-28
3.9.1 基本の表示	3-28
3.9.2 マルチオブザベーションモード時	3-33
3.9.3 情報非表示	3-35

3.9.4 情報追加.....	3-36
3.9.5 ビデオ出力画像の表示	3-37
3.9.6 バルーンコントローラー情報の表示	3-40
3.10 内視鏡画像保存時の情報について	3-43
3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて	3-46
3.12 タブレット画面.....	3-47
3.12.1 タッチ GUI 領域	3-48
3.12.2 ステータス領域	3-50

第 4 章 システムの設置と初期設定 4-1

4.1 システムの設置.....	4-1
4.1.1 設置の要件	4-4
4.1.2 設置作業フロー図	4-5
4.1.3 本製品の設置	4-6
4.1.4 本製品と LL-7000 の設置	4-9
4.1.5 ルーバー取り付け	4-13
4.1.6 LL-7000 の接続	4-13
4.1.7 液晶モニターの接続	4-14
4.1.8 データキーボードの接続.....	4-15
4.1.9 内視鏡用送水装置の接続.....	4-16
4.1.10 内視鏡用炭酸ガス送気装置の接続	4-17
4.1.11 フットスイッチの接続	4-18
4.1.12 SU-1 の接続	4-19
4.1.13 SP-900 の接続.....	4-20
4.1.14 プリンターの接続	4-22
4.1.15 デジタルプリンターの接続.....	4-23
4.1.16 動画記録装置の接続	4-24
4.1.17 リーダーの接続	4-25
4.1.18 汎用コンピュータ（EX-WS）の接続	4-26
4.1.19 タブレットの接続	4-28
4.1.20 電源の接続.....	4-30
4.1.21 電源について	4-33
4.1.22 カート設置時の電源接続.....	4-36
4.1.23 電源コード手配に必要な基本情報	4-38
4.1.24 ネットワーク接続	4-39
4.1.25 バルーンコントローラーの接続	4-40
4.2 設置時のシステムの初期設定.....	4-41
4.2.1 設置時のシステム設定フロー図	4-41
4.2.2 設定の基本操作	4-43
4.2.3 セキュリティタブ	4-45
4.2.4 切替タブ	4-48
4.2.5 基本タブ	4-51
4.2.6 PoP タブ	4-53
4.2.7 表示タブ	4-55
4.2.8 光源 / ポンプタブ	4-57
4.2.9 スコープタブ	4-60

4.2.10 フットスイッチタブ	4-91
4.2.11 システムの拡張タブ	4-95
4.2.12 ライセンスタブ	4-95
4.2.13 ドクター名の設定	4-96
4.2.14 手技名の設定	4-99
4.2.15 連絡事項の設定	4-101

第 5 章 各機能の設定 5-1

5.1 ユーザー設定画面の階層	5-1
5.2 プロセッサーへの患者情報登録・編集.....	5-8
5.2.1 患者情報の登録	5-8
5.2.2 患者情報の呼び出し	5-14
5.2.3 患者情報の修正	5-16
5.2.4 患者情報の削除	5-19
5.2.5 リーダーからの患者情報の登録	5-20
5.3 パネルボタン（画像処理機能）の設定	5-21
5.3.1 設定の基本操作	5-21
5.3.2 構造強調設定	5-23
5.3.3 FICE 設定	5-24
5.3.4 色彩強調設定	5-26
5.3.5 カラー調整	5-28
5.3.6 シャッタースピード	5-31
5.3.7 測光モード設定	5-33
5.3.8 特殊光観察プリセット設定	5-34
5.4 周辺機器の設定	5-36
5.4.1 設定の基本操作	5-36
5.4.2 内部メモリータブ	5-38
5.4.3 外部メモリータブ	5-40
5.4.4 プリンタタブ	5-42
5.4.5 転送設定タブ	5-43
5.4.6 DICOM 設定タブ	5-45
5.4.7 TABLET タブ	5-46
5.5 その他の設定	5-47
5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除	5-47
5.5.2 PoP（周辺機器画像の表示）機能の設定	5-53
5.5.3 インデックス画像の表示	5-57
5.5.4 トリガーモードの設定	5-58
5.5.5 マルチズームモードの設定	5-60
5.5.6 ラップタイム表示	5-61
5.5.7 セキュリティの設定	5-62

第 6 章 システムの準備と点検 6-1

6.1 機材の設置と接続	6-1
6.2 関連機器の準備	6-2
6.3 点検作業のフロー	6-4

6.4 ルーバーの確認	6-5
6.5 外観の確認	6-6
6.6 内視鏡の接続	6-7
◆ 800 システムスコープおよび 700 システムスコープ	6-7
◆ 600 システムスコープおよび 500 システムスコープ	6-7
◆ L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープ	6-9
6.7 送水タンクの取り付け	6-12
6.8 装置の電源投入	6-13
6.9 本製品の電源投入と動作確認	6-14
6.10 ライトの動作確認	6-16
6.11 スコープスイッチ、フットスイッチ、マルチボタンの動作確認	6-22
6.12 送気機能の動作確認	6-25
6.12.1 内視鏡用炭酸ガス送気装置の動作確認	6-28
6.13 PoP 機能の動作確認	6-29
◆ メイン画面エリアに内視鏡画像を表示する場合	6-29
◆ メイン画面エリアに超音波画像を表示する場合	6-31
6.14 タブレットの動作確認	6-34
6.15 装置の電源切断	6-36
6.16 バレーンコントローラーの動作確認	6-38

第 7 章 使用方法

7-1

7.1 使用する際の作業フロー	7-2
7.2 内視鏡の接続	7-4
◆ 800 システムスコープおよび 700 システムスコープ	7-4
◆ 600 システムスコープおよび 500 システムスコープ	7-5
◆ L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープ	7-7
7.3 装置の電源投入	7-11
7.4 本製品の電源投入	7-12
7.5 検査開始	7-14
7.6 セキュリティの設定	7-15
7.7 ドクターの選択	7-17
7.8 画像設定ページの呼び出し	7-18
7.9 手技リストの選択	7-19
7.10 コメント登録	7-20
7.11 連絡事項リストの確認	7-21
7.12 患者情報の呼び出し	7-22
7.13 ライトの点灯	7-24
7.14 光量の調整	7-25
7.15 光量制限	7-27
7.16 透過照明	7-29
7.17 送気ポンプの作動	7-30
7.17.1 内視鏡用炭酸ガス送気装置の作動	7-31

7.18 観察画面のデータ表示の確認.....	7-32
7.19 観察モードの切り替え	7-33
7.20 構造強調の切り替え	7-36
7.21 FICE の切り替え	7-38
7.22 色彩強調の切り替え	7-41
7.23 カラー調整の設定	7-43
7.24 シャッタースピードの切り替え.....	7-44
7.25 測光モードの切り替え	7-47
7.26 電子ズームの操作	7-50
7.27 タイマーのスタート / ストップ	7-52
7.28 ラップタイムのスタート / ストップ	7-54
7.29 汎用コンピュータに搭載したソフトウェアの使用.....	7-56
7.29.1 内視鏡サイズ推定支援プログラムの使用方法.....	7-56
7.30 PoP (周辺機器画像の表示) の切り替え.....	7-57
◆ メイン画面エリアに内視鏡画像を表示する場合.....	7-57
◆ メイン画面エリアに超音波画像を表示する場合.....	7-59
7.31 内視鏡の交換.....	7-62
7.32 検査終了	7-63
7.33 装置の電源遮断.....	7-64
7.34 バルーンコントローラーの作動.....	7-65

第 8 章 **画像の記録** **8-1**

8.1 プリンターの制御方式	8-1
8.2 プリンター（リモート式）で画像をプリントするには	8-2
8.2.1 画像取り込みスイッチの割り当て	8-2
8.2.2 プリンターの設定	8-2
8.2.3 画像の取り込み	8-3
8.2.4 画像のプリント	8-4
8.3 デジタルプリンターで画像をプリントするには.....	8-5
8.3.1 画像取り込みスイッチの割り当て	8-6
8.3.2 プリンターの設定	8-6
8.3.3 画像の取り込み	8-7
8.3.4 プリントモードの設定	8-9
8.4 動画記録装置（動画記録装置のボタン）で動画記録するには	8-10
8.4.1 動画記録装置のボタンで動画記録をする	8-10
8.5 動画記録装置（スコープスイッチ）で動画記録するには	8-11
8.5.1 動画記録スイッチの割り当て	8-11
8.5.2 動画記録の開始	8-11
8.6 内部メモリーへ画像の取り込み.....	8-12
8.6.1 内部メモリーについて	8-12
8.6.2 画像取り込みスイッチの割り当て	8-13
8.6.3 内部メモリーへ画像の取り込み	8-14
8.7 外部メモリーへ画像のコピー	8-16

8.7.1	外部メモリーについて	8-16
8.7.2	外部メモリーへ画像のコピー	8-16
8.7.3	外部メモリーに記録された画像の確認	8-20
8.8	内部・外部メモリー内の画像を検索、プリントするには.....	8-22
8.8.1	内部・外部メモリー内の検索	8-22
8.8.2	検索した画像の転送	8-27
8.8.3	検索した画像の削除	8-28
8.8.4	検索した画像のプリント (デジタルプリンターのみ)	8-29
8.9	汎用コンピュータ (EX-WS) の画像を検索、プリントするには	8-31

第 9 章 保管とメンテナンス 9-1

9.1	プロセッサーとデータキーボードのリプロセス.....	9-3
9.1.1	使用する薬剤	9-3
9.1.2	必要な器材	9-3
9.1.3	プロセッサーのリプロセス	9-4
9.1.4	データキーボードのリプロセス	9-5
9.1.5	データキーボードのカバーと交換	9-5
9.1.6	タブレットのリプロセス	9-6
9.2	劣化の兆候	9-7
9.3	ルーバーの清掃	9-8
9.4	保管するには	9-10
9.4.1	プロセッサーの保管	9-10
9.4.2	送水タンクの保管	9-10
9.5	移動するには	9-11
9.6	送水タンクの洗浄と消毒 (または滅菌)	9-13

第 10 章 ブラウザによる操作 10-1

10.1	トラブルシューティング	10-1
10.2	エラーメッセージ	10-7

第 11 章 主な仕様 11-1

11.1	仕様	11-1
◆	医用電気機器の分類	11-1
◆	装着部	11-1
◆	EP-8000 本体諸元	11-2
◆	使用環境	11-3
◆	輸送、保管環境	11-3
◆	有効期間・使用期限 (耐用期間)	11-3
◆	入出力端子	11-4
◆	ブロック図	11-5
11.2	電磁両立性 (EMC) 情報	11-6
11.3	サイバーセキュリティ	11-11
11.4	保証とアフターサービス	11-16
索引	11-17
製品のお問い合わせ窓口について		

はじめに

本取扱説明書の内容をよく読んで理解してから使用してください。

取扱説明書について

この取扱説明書は、プロセッサー EP-8000 の操作方法、各種設定、システムの設置方法など、本製品を使用するために必要な事柄を記載しています。この取扱説明書では、臨床手技には立ち入っておりません。臨床手技については、諸先生方のご専門の立場から判断していただくようお願いいたします。

本製品を初めてご使用になる方は、「取扱説明書」を必ずお読みいただいてから、実際の操作を行ってください。また、「取扱説明書」を読み終わった後も製品の近くに保管してご利用ください。

内視鏡、各機器およびカートの使用方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

超音波観測装置、電気焼灼器、内視鏡用送水装置、内視鏡用炭酸ガス送気装置、バルーンコントローラーの接続方法や使用方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

組み合わせて使用できる医療機器プログラムやソフトウェアの使用方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

周辺機器および医療機器プログラム、ソフトウェアには以下のものがあります：

- 液晶モニター
- プリンター
- デジタルプリンター
- 動画記録装置
- 汎用コンピュータ
- タブレット
- 医療機器プログラム (EW10-EC02、EW10-EG01、EW10-VM01、EW10-US01)
- ソフトウェア (EW10-SC01)

取扱説明書の内容に不明な点や疑問点がある場合、および電子化された添付文書の閲覧については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

商標

この取扱説明書に記載されている会社名、商品名は、富士フィルム株式会社またはグループ各社の商標または登録商標です。

他社商標

その他、この取扱説明書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ 本製品の取扱説明書の構成

本製品の取扱説明書は、1セットとして管理および保管してください。

プロセッサー EP-8000 取扱説明書

プロセッサーの概要、操作方法と操作上の注意事項など、本製品を使用するために必要な内容を記載しています。

光源装置 LL-7000 取扱説明書

光源装置の概要、操作方法と操作上の注意事項など、使用するために必要な内容を記載しています。

参考

- ・本製品は、周辺機器と組み合わせて使用します。「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されている周辺機器の取扱説明書を参照してください。

注 意

- ・「取扱説明書」の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・「取扱説明書」の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ・弊社、または弊社の指定した業者以外による据付、移設、改造、保守および修理に起因する故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で弊社の製品が受けた故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・弊社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造、保守、修理などに起因する故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・「取扱説明書」に記載されている注意事項や操作方法を守らなかつた結果に基づく故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・「取扱説明書」に記載されている電源、設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・火災、地震、水害、落雷などの天災による故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が改正され、排出事業者である医療機関が、自らの責任で産業廃棄物を処理することが義務づけられました。
- ・自ら処分できない場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託することが必要となります。廃棄の委託を行う際は、法律に基づく処置をお願いします。
- ・情報漏洩防止のため、本製品を廃棄する際は下記の情報を削除してください。
 - 患者情報
 - ➔ 「5.2.4 患者情報の削除」
 - 内部メモリの検査画像
 - ➔ 「8.8.3 検索した画像の削除」
 - 施設名
 - ➔ 「4.2.7 表示タブ」
 - ドクター名
 - ➔ 「4.2.13 ドクター名の設定」
 - 手技名
 - ➔ 「4.2.14 手技名の設定」
 - 連絡事項
 - ➔ 「4.2.15 連絡事項の設定」

取扱説明書の読み方

◆ 用語の説明

用語	説明
リプロセス	本製品と内視鏡および付属品をマニュアル洗浄した後に消毒や滅菌を行うことです。
本製品	プロセッサーのことです。
同梱品	本製品に同梱される部品や機器のことです。

◆ 表記の説明

この取扱説明書では、本文中で次の表記の規則を使っています。

表記	説明
警告	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況を説明します。 回避しないと、機器の損傷を招く可能性がある状況を説明します。
(1)、(2)、(3)、…	操作手順の連続する番号は、連続した操作を示します。
重要	本製品の使用に関する重要な情報を示します。
参考	注釈や補足を示します。
→	参照項目を示します。

第1章 安全にご使用いただくために

本製品を使用する前に、この章の注意事項をよく読み、正しく取り扱ってください。安全にご使用いただくために守っていただきたい警告・注意について説明します。

この章の掲載内容には患者への注意事項も含まれます。必要な項目は患者に伝えてください。

1.1 本製品の使用目的

本製品は、内視鏡に照明を供給する光源と、内視鏡を介して体腔内に送気送水を行う機能を有し、内視鏡で捉えた画像を診療のために提供します。内視鏡関連機器と組み合わせて、集中操作を可能とします。

警 告

- 本製品を、本来の目的以外に使用しないでください。患者や使用者に重大な危害をおよぼすおそれがあります。

1.2 患者母集団

組合せる内視鏡の患者母集団に依存する。

1.3 意図する使用者

内視鏡手技のトレーニングを受けた医療従事者が医療施設で使用する。

1.4 禁忌

知られていない。

1.5 臨床性能

- 内視鏡からの画像をモニターに表示することで、体腔内の状態を観察することができる。
- 内視鏡を介して外部から光を体腔内に供給することにより、体腔内の状態を観察することができる。

1.6 臨床的ベネフィット

患者が医師による内視鏡的観察・診断もしくは内視鏡的処置を受けることができる。

1.7 医学的適応

組合せる内視鏡の適応に依存する。

1.8 内視鏡による検査や治療の適応について

内視鏡検査および内視鏡治療の適応については、それぞれの専門の立場から判断してください。医療行政当局または内視鏡学会などの公的機関が定めた公的適応基準がある場合はそれに従ってください。

内視鏡検査および内視鏡治療を行うことの有用性がその危険性を上回る場合のみ、内視鏡検査および内視鏡治療を行ってください。

1.9 使用者の資格について

警 告

- 医療機器の使用および保守の管理責任は、使用者（医療施設）側にあります。適切に使用または保守を行わない場合は、患者または使用者に重大な危害をおよぼすおそれがあります。
- 本製品は、内視鏡の手技について十分なトレーニングを受けた医療従事者が医療施設で使用することを前提としています。この取扱説明書には、臨床手技と内視鏡の技術面に関する記載はありません。十分なトレーニングを受けた医療従事者以外による本製品の使用は、患者または使用者に重大な危害をおよぼすおそれがあります。

医療行政当局または内視鏡学会などの公的機関が定めた、内視鏡検査および内視鏡治療を行うための公的資格要件がある場合はそれに従ってください。

医療安全管理者または各部門の責任者は、内視鏡学会などが定めた公的ガイドラインに従って、内視鏡検査および内視鏡治療の種類ごとの難易度の違いを考慮したうえで、実施しようとしている内視鏡検査および内視鏡治療を安全に実施できる医師を選んでください。

1.10 改造および不適切な修理の禁止

本製品および付属品の改造、分解、修理、リバースエンジニアリング等は行わないでください。不具合が見つかった場合でも、使用者自身で修理を行わないでください。使用者による改造、分解、修理、リバースエンジニアリングに起因する故障、有害事象または損傷につきましては、富士フィルムでは責任を負いかねますのでご了承ください。

富士フィルムの純正部品以外の補修部品の使用による改造、保守、修理などに起因する故障、有害事象または損傷につきましては、富士フィルムでは責任を負いかねますのでご了承ください。

富士フィルム、または富士フィルムが認めた業者以外による据付、移設、改造、保守および修理に起因する故障、有害事象または損傷につきましては、富士フィルムでは責任を負いかねますのでご了承ください。

警 告

- 本製品の分解や改造は行わないでください。富士フィルムが認めた者以外による修理はしないでください。分解や改造、または不適切な修理を行った場合、患者または使用者に重大な危害をおよぼすおそれがあります。

注 意

- 本製品の分解や改造は行ないでください。富士フィルムが認めた者以外による修理はしないでください。分解や改造、または不適切な修理を行った場合、機器の故障の原因となるおそれがあります。

1.11 使用後のリプロセス、保管、廃棄について

1.11.1 使用後のリプロセス

本製品は使用後に、リプロセスを行います。

本製品のリプロセスと保管については『第9章 保管とメンテナンス』を参照してください。

警 告

- リプロセスを行う際は、本製品の電源を切り、電源プラグをマルチタップから抜いてください。感電のおそれがあります。
- 洗浄の際は、患者の汚物が完全に除去されるまで拭いてください。感染の原因となるおそれがあります。
- 残った薬液の拭き取りが指示されている洗浄液や消毒液を使用する場合は、メーカーの指示に従って残った薬液の拭き取りを行ってください。炎症の原因となるおそれがあります。
- リプロセスを行う場合は、適切な保護具（ゴーグル、フェイスマスク、耐薬品性のある防水性手袋、防汚性の防護服または手術用ガウン、帽子、靴用カバーなど）を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。
- 本製品の使用後は、この取扱説明書の指示に従ってリプロセスを行ってください。指示に従ってリプロセスを行わないと、感染の原因となるおそれがあります。
- リプロセスのガイドラインを理解したうえで、本製品のリプロセスを行ってください。ガイドラインを理解せずにリプロセスを行った場合、感染の原因となるおそれがあります。
- 検査または処置の終了後、1時間以内にこの取扱説明書に従ってリプロセスを行ってください。1時間以内に行わないと、付着物が乾燥および固着して除去できなくなり、リプロセスが適切に行われず、感染の原因となるおそれがあります。
- 電気コネクターソケット、ソケット保護キャップ、メモリースロット、スコープコネクターソケット、製品表面の溝、段差、隙間、および周辺機器は、汚物（血液、体液、粘膜、排泄物など）と接触しないように取り扱ってください。病原体の伝播による感染のおそれがあります。
- 洗浄液および消毒液の使用方法、使用条件および使用期限については、洗浄液・消毒液の『取扱説明書』に従ってください。これに従わない場合、洗浄、消毒が適切に行われず、感染の原因となるおそれがあります。
- 本製品は、この取扱説明書に従って、使用前に点検を行ってください。点検の結果、異常が見つかった機器は使用しないでください。正常ではない機器の使用は、誤診や感染の原因となったり、患者に重大な危害をおよぼすおそれがあります。

注 意

- 本製品の使用後は、この取扱説明書の指示に従ってリプロセスを行ってください。指示に従ってリプロセスを行わないと、機器が故障するおそれがあります。

注 意

- ・本製品にスプレータイプの洗浄・消毒液を使用しないでください。機器が故障するおそれがあります。
- ・電気コネクターソケット、メモリースロット、スコープコネクターソケットをリプロセスしないでください。金属接点が変形あるいは腐食し、機器が故障するおそれがあります。
- ・本製品のラベルをリプロセスしないでください。ラベルの印字が消えるおそれがあります。

1.11.2 保管

本製品はリプロセスしてから保管します。本製品のリプロセスと保管については『第9章 保管とメンテナンス』を参照してください。

1.11.3 廃棄

本製品はリプロセスしてから廃棄します。本製品のリプロセスと廃棄については『第9章 保管とメンテナンス』を参照してください。

警 告

- ・廃棄前には、必ずリプロセスを行ってください。リプロセスを行っていない製品を廃棄すると、関係者が感染する原因となるおそれがあります。

注 意

- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が改正され、排出事業者である医療機関が、自らの責任で産業廃棄物を処理することが義務づけられました。自ら処分できない場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託することが必要となります。廃棄の委託を行う際は、法律に基づく処置をお願いします。
- ・本製品は、二酸化マンガン・リチウム電池を使用しております。機器を廃棄する場合には、法規に定められた手順に従ってください。詳細については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
- ・機器の廃棄は2人以上で行ってください。けがをするおそれがあります。
- ・タブレットを廃棄する場合は、タブレットの取扱説明書に従ってください。

注 意

- 情報漏洩防止のため、本製品を廃棄する際は下記の情報を削除してください。
 - 患者情報
 - ➔ 「5.2.4 患者情報の削除」
 - 内部メモリの検査画像
 - ➔ 「8.8.3 検索した画像の削除」
 - 施設名
 - ➔ 「4.2.7 表示タブ」
 - ドクター名
 - ➔ 「4.2.13 ドクター名の設定」
 - 手技名
 - ➔ 「4.2.14 手技名の設定」
 - 連絡事項
 - ➔ 「4.2.15 連絡事項の設定」

1.12 使用前の注意事項

警 告

- 本製品が故障するなど不測の事態に備えて、使用前に本製品の予備を用意してください。内視鏡手技を継続できない場合があります。予備がない場合は、開腹手術などの代替手段の準備をしてください。

1.13 保守管理について

警 告

- 長時間使用していると機器の傷みが進むため、6ヶ月に一度弊社指定のサービスマンによる点検を受けてください。また、患者に使用中に少しでも機器に異常を感じた場合は、内視鏡の取扱説明書にしたがって内視鏡を患者から慎重に引き抜いてください。その後、ただちに機器の使用を禁止し点検を受けてください。
- 機器の分解・改造は絶対に行わないでください。点検については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
- 検査中または処置中に、本製品の保守や修理を行なわないでください。
- 点検を受ける場合や、返送前には、必ずリプロセスを行ってください。リプロセスを行っていない製品を点検したり返送すると、使用者やサービススタッフ、その他の関係者が感染するおそれがあります。

1.14 機器の設置

◆ 機器の分類

＜医用電気機器の分類＞

1. 電撃に対する保護形式

クラス I 機器（電源：保護接地付プラグ）

2. 電撃に対する保護程度

BF 形装着部

3. 防爆の程度

高酸素濃度環境、可燃性ガス雰囲気中での使用禁止

警 告

- 本システムは、サービスマンが設置を行う構造となっています。本システムの設置は、必ず弊社指定のサービスマンに依頼してください。
- 使用するカートのキャスターのロックが完全に効かない場合があるので、傾斜面には設置しないでください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。
- 使用するカートに搭載されるモニターアームおよびモニターは、以下の状態で使用しないでください。安定性が無くなり転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
 1. 本製品を搭載していない。
 2. モニターを正面以外に向ける。
 3. モニターアームを後ろ方向に伸ばす。
 4. モニターアームを伸ばした方向の反対側から押す、力を加える。
- カートに寄りかかったり、横方向から押したり、傾けたりしないでください。転倒によるけがのおそれがあります。
- 周辺機器を組み合わせて使用する場合は、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに接続してください。絶縁トランスを介さないマルチタップに接続した場合、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。
- カートのマルチタップに接続する全ての機器の動作電圧、周波数が使用するカートの定格内である事を確認してください。また絶縁トランスを介さないマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計および絶縁トランスを介したマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計それが、カートの許容電流容量以内である事を確認してください。感電、機器の故障の原因になります。
- NETWORK 端子を使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC 60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。

警 告

- 使用するカートに搭載する絶縁トランス、マルチタップ、および電源コードは、JIS T 0601-1 (IEC/EN 60601-1) のシステム要求適合品としてください。感電のおそれがあります。
- 電気焼灼器の電源は、カートに接続しないでください。
- 本製品の電源は、床に置いた電源コードに接続しないでください。
- 2台目のカートの電源を1台目のカートに接続しないでください。
- 追加のマルチタップまたは延長コードをカートに接続しないでください。
- カートに搭載されているマルチタップは本システムに使用する機器にのみ使用してください。他の機器に使用した場合、電流容量が増加し、機器が正常に動作しないおそれがあります。
- カートは搭載する機器すべての重量の合計以上の積載荷重のものを使用してください。転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- カートのスコープハンガーの高さを調整し、内視鏡の挿入部が床につかないようにしてください。感染のおそれがあります。
- 本製品の背面パネル、側面パネルおよび底面の通気口のみをもって設置しないでください。落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。

注 意

- 本製品の底面には、通気口があります。本製品の下に、物などを置かないでください。
- 機器の移動や設置は2人以上で行ってください。けがをするおそれがあります。
- カートに搭載されるモニターの位置を調整する場合は、モニターが意図した位置で固定されるようにアームが調整されている事を確認してください。アームの調整が不完全な状態でモニターの位置を調整すると、意図した位置でモニターがとまらず、以下の事象を引き起こすおそれがあります。
 1. アームの隙間にはさまれ、指を傷つける。
 2. モニターがカートおよび機器に接触し、機器を壊す。
- モニターはカートに固定して使用してください。落下のおそれがあります。
- ガスボンベを搭載したカートを、ガスボンベの反対側から押したり、力を加えたりしないでください。転倒によるけがのおそれがあります。
- 使用するカートの各棚の積載荷重は、搭載する機器の重量に対して余裕をもったものとしてください。搭載機器の落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- カートは水平な場所に設置してください。転倒や破損の原因となります。
- 12G-SDI OUT 端子に 12G-SDI に対応していないモニターを接続し、出力設定を変更すると、映像が正常に表示されなくなります。その場合は [Ctrl]、[Alt]、[S] キーを同時に押してください。設定が「3G-SDI」に切り替わりブザーが鳴ります。ブザー音を確認したら、本製品を再起動してください。ブザーが鳴らない場合は押すキーに間違いがないか再度確認してください。

注 意

- ・プリンター、デジタルプリンター、動画記録装置は、重ねて設置しないでください。落下によるけがのおそれがあります。
- ・定格の電圧、電流、周波数でお使いください。それ以外の電源は、火災、感電、故障の原因となる場合があります。
- ・内視鏡の着脱やキーボード操作をする場合は、タブレットの位置を確認してください。タブレットの破損のおそれがあります。
- ・使用するカートに搭載するタブレットアームは、タブレットとタブレットアクセサリーの重量の合計以上の耐荷重のものを使用してください。落下によるけがのおそれがあります。
- ・使用するカートに搭載するタブレットアームは、可動範囲を考慮して設置してください。他の機器と接触することによる機器の破損のおそれがあります。
- ・使用するカートに搭載するタブレットアームを設置する場合、アームの隙間に注意してください。はさまれて指を傷つけるおそれがあります。
- ・使用するカートに搭載するタブレットアームおよびタブレットの位置を調整する場合は、機器に接触しないようにしてください。機器の破損のおそれがあります。
- ・使用するカートに搭載するタブレットアームおよびタブレットの位置を調整する場合は、タブレットを落下させたり、タブレットアームやタブレットが他の機器に接触しないようにしてください。タブレットの落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。

1.15 機器の運搬

警 告

- ・使用するカートのキャスターのロックが完全に効かない場合があるので、傾斜面には設置しないでください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。
- ・カートを段差をまたいで移動させる場合は、段差に対してカートを前向きにして、前側の左右に1人ずつ配置しキャスターが1つずつ段差をこえるように対角方向へ動かしてください（必要なら持ち上げながら動かしてください）。また、この時機器の落下、カートの転倒を防ぐため、カート後側に1人配置してください（段差の乗り越えは3人以上で行います）。カートが転倒したり、積載機器が落下しけがをするおそれがあります。積載機器が落下した場合、機器が故障するおそれがあります。
- ・ガスボンベを搭載したカートの移動は、カートの取扱説明書を参照してください。カートの取扱説明書に記載が無い場合は、取り外してください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。

注 意

- ・カートの移動は2人以上で行ってください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。また、搭載機器を押さないでください。機器が落下し故障するおそれがあります。
- ・移動は送水タンクを取り外して行ってください。水がこぼれて転倒し、けがをするおそれがあります。

注 意

- ・移動は内視鏡を取り外して行ってください。内視鏡を壊すおそれがあります。
- ・内視鏡用送水装置を搭載したカートの移動は、送水タンク内の滅菌水を空にしてください。滅菌水が入った状態で移動すると、水がこぼれて転倒し、けがをするおそれがあります。

1.16 感電に対する注意事項

警 告

- ・システムを構成する機器の端子と患者を同時に触らないでください。感電するおそれがあります。
- ・「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
- ・電源プラグは、保護接地付コンセントに直接接続してください。

1.17 電磁波障害

本製品は、電磁波を発生、使用、および放射することがあります。本製品を使用する環境で電磁波による問題が起こらないように、以下の注意事項をよく読み、本製品や周辺にある他の機器類を正しく取り扱ってください。

この取扱説明書の「11.2 電磁両立性（EMC）情報」に従って、設置して使用してください。

警 告

- ・本製品を他の機器に近づけて使用したり、積み重ねて使用しないでください。本製品を他の機器に近づけて使用したり、積み重ねて使用する場合は、本製品および他の機器が正常に動作することを確認してください。動作異常の原因となるおそれがあります。
- ・携帯形および移動形のRF通信機器を本製品のあらゆる部分から30cm以内に近づけて使用しないでください。動作異常の原因となるおそれがあります。
- ・この取扱説明書に記載されているケーブルを使用してください。この取扱説明書に記載されていないケーブルを使用すると、本製品の電磁干渉の増加、または電磁免疫の低下を生じるおそれがあります。

注 意

- ・本製品は、指定の環境下で指定された方法で使用してください。意図しない画像（回転または反転した観察画像、観察画面以外の画面など）が表示されてしまうおそれがあります。
- ・電磁誘電方式の無線通信機器（RF-IDリーダーなど）を本製品に近づけないでください。内視鏡画像にノイズが現れる場合があります。
その場合は、電磁波を発している装置の電源を切るか、装置を本製品から遠ざけてください。
- ・本製品は試験の結果、IEC 60601-1-2:2014+A1:2020に規定されている医療機器に関する制限事項に適合することが確認されています。これらの制限事項は、病院や診療所などの専門の医療施設での一般的な設置の際に、有害な電磁干渉に対する適切な保護を提供するよう設定されています。しかしながら、本製品は、取扱説明書に従って設置し使用された場合においても、周辺にある他の機器に有害な電磁干渉を起す可能性があります。また、特定の設置状況において電磁干渉が生じないことを保証するものではありません。したがって、本製品が他の機器に有害な電磁干渉を起すことが判明した場合、これは本製品の電源のオン・オフを切り替えることで確認できますが、電磁干渉を是正するために以下の措置の1つ以上を実施することを推奨します。
 - 干渉を受けている機器の向きを変えるか、位置を変えます。
 - 機器間の間隔を拡げます。
 - 製造販売業者または販売業者に相談します。
- ・電磁波の干渉により、本製品に接続したモニター上にノイズが現れる場合があります。その場合は、電磁波を発している機器の電源を切るか、遠ざけてください。
- ・本製品を強力な電磁波を発生する装置（MRI等）の近くで使用しないでください。動作異常の原因となるおそれがあります。

- ・本製品を電気焼灼器と組合わせて使用する場合は、電気焼灼器と高周波処置具の取扱説明書に記載されている指示に従ってください。

1.18 爆発に対する注意

警 告

- ・高酸素濃度環境、可燃性ガス雰囲気中で使用しないでください。火災や爆発を起こすおそれがあります。

1.19 異物・液体

警 告

- ・内部に異物や水、薬品等が入ると火災・感電の原因となる場合があります。万一内部に液体が入った場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

1.20 先端部の温度

注 意

- ・長時間、内視鏡の先端より大光量で照明光を射出していると、先端部の温度が41℃を超える場合があります。内視鏡をカートのハンガーに掛けておく場合は、ライトを消灯してください。

1.21 取り扱い上および一般的な注意事項について

1.21.1 機能の喪失

警 告

- ・検査中または処置中に内視鏡画像の異常（消える、暗くなる、明るくなる、変色するなど）があった場合は撮像部が損傷している可能性があります。エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。そのまま使用を続けると、内視鏡先端部が発熱し、熱傷や傷害の原因になります。

参考

- ・プロセッサーの電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。
- ・内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

1.21.2 色調の違いについて

警 告

- 分光画像処理、特殊光観察モード、または単色発光モードを使用する場合は、通常の観察画像と分光画像処理、特殊光観察モード、または単色発光モードで得られた画像との色調および明るさの違いを十分に把握した上で使用してください。分光画像処理、特殊光観察モード、単色発光モードで得られる情報は参考情報です。診断の際は通常の観察画像でも確認してください。誤診の原因となるおそれがあります。

1.21.3 セキュリティ機能

注 意

- 初めて本製品にログインしたときには、パスワードを変更してください。
- ログインすると、電源を切るまで、すべての情報へのアクセスが可能になります。システムから離れる時には、必ずログオフするか電源を切ってください。
- 本製品は医療施設のファイヤーウォール内の安全なネットワークに接続し、サポートされているプロトコル（DICOM、FTP、HTTPS）にて使用してください。
- パスワードを忘れてログインできなくなった場合や、設定維持、復旧方法がわからない場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

1.21.4 PoP 機能（周辺機器画像の表示）

警 告

- 内視鏡による診断、処置はメイン画面エリアに内視鏡画像を表示させてください。内視鏡の挿入部が患者の体腔を圧迫し損傷するおそれがあります。
- 検査中、処置中に超音波画像、PoP1 画像、PoP2 画像の異常があった場合は、メイン画面エリアを内視鏡画像に切り替えてください。

1.21.5 等電位化

本システムは、等電位化端子を備えています。病院、診療所で等電位設置を求められた場合に使用してください。

1.21.6 取り扱い

警 告

- 本製品は EMC 規格に適合しておりますが本製品から放射される電波は、ペースメーカーなどの医療機器を誤動作させる可能性があります。能動型埋め込み機器使用者に適用する際は、循環器専門医、埋め込み機器製造元に相談して使用してください。本製品が適合している EMC 規格については、この取扱説明書の「11.2 電磁両立性（EMC）情報」を参照してください。
- 内視鏡の先端部にあるライトガイドの光を直視しないでください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。
- 本製品のスコープコネクターソケットと、内視鏡のスコープコネクターの接続部は赤外線通信をしているため、覗き込まないでください。目の障害の原因となるおそれがあります。
- 「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
- 日時や患者情報の表示に誤りがないことを確認の上、ご使用ください。検査データの取り違えや誤診のおそれがあります。
- 本製品を含む機器に触れるときは、保護具（ゴーグル、フェイスマスク、耐薬品性のある防水性手袋、防汚性の防護服または手術用ガウン、帽子、靴用力カバーなど）を着用してください。
- 本製品はライトを間欠的に照明しています。てんかんを持つ患者や医療従事者に間欠照明を見せると、まれに発作を起こし、呼吸量低下、窒息などの症状を起こすことがあります。てんかんを持つ患者や医療従事者には見せないでください。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な措置を施してください。
- 電気コネクターソケット、ソケット保護キャップ、メモリースロット、スコープコネクターソケット、製品表面の溝、段差、隙間、および周辺機器は、汚物（血液、体液、粘膜、排泄物など）と接触しないように取り扱ってください。病原体の伝播による感染のおそれがあります。
- 本製品の溝や段差、隙間は、汚れた手で触らないでください。交差感染に繋がるおそれがあります。
- 本製品と組み合わせて使用可能な機器は、汚れた手で触らないでください。交差感染に繋がるおそれがあります。

注 意

- 内視鏡のスコープコネクターまたは LG コネクターを取り外した直後は、ライトガイド棒が非常に熱い場合があるので触らないでください。熱傷するおそれがあります。ライトガイド棒の先端が冷えるまで（5 分）手を触れないでください。
- 明るさレベルが高いと内視鏡の先端部および先端部付近の表面温度が 41 °C を超えることがあります。先端部を同一部位に長時間接触させないでください。熱傷するおそれがあります。

注 意

- 電気コネクターソケットにL600システムスコープまたはL580シリーズスコープ、600システムスコープ、580シリーズスコープ、530シリーズスコープを挿入した状態で、800システムスコープまたは700システムスコープをスコープコネクタに装着しないでください。
- 電源投入後、画面左上に表示される起動バー■■■■■が表示された状態では、内視鏡を装着しないでください。

感染および静電気防止のため、内視鏡に触れるときは、保護具（ゴーグル、フェイスマスク、耐薬品性のある防水性手袋、防汚性の防護服または手術用ガウン、帽子、靴用カバーなど）を着用してください。

1.21.7 システムのバージョンについて

本製品の制御は、ソフトウェアで行われています。このため、操作方法はソフトウェアを含むシステムのバージョンによって異なります。

システムバージョンは、データキーボードの [Shift] キーを押しながら [コメント入力] キーを押したときに表示される画面の「System」の項目で確認できます。

この取扱説明書では、以下のバージョンの操作について説明します。

System	Ver.1.000～1.099
EX-CAD	V1.0～1.99
Virtual Scale	V1.0～1.99
EX-SC	V1.0～1.99
Double Balloon	V1.0～1.99
US-CAD	V1.0～1.99

1.22 機器の組み合わせ

警 告

- 「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。

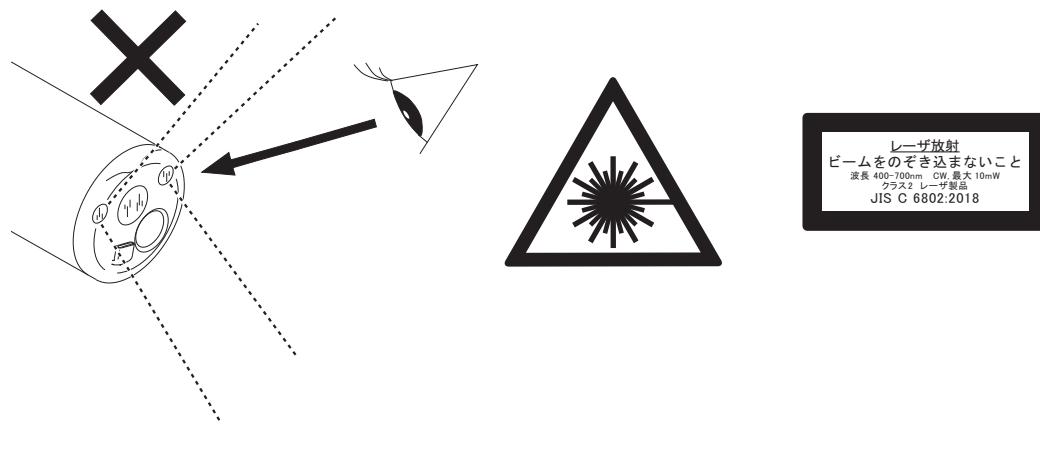
注 意

- 動作時の使用環境について、本製品を含め、組み合わせて使用する機器すべての動作環境を満たす環境で使用してください。機器が正常に動作しないおそれがあります。

1.22.1 レーザ内蔵機器に対する注意

警 告

- 光源装置 LL-7000 はレーザを内蔵した機器です。危険なレーザ放射が暴露される原因となるため、上カバーを開けないでください。また、レーザ放射中は機器の内部のビームをのぞき込まないでください。
- レーザを内蔵した光源装置と内視鏡を接続し、ライトボタンを押してレーザを点灯させたときに、内視鏡先端からのビーム（照明光）はクラス 2 レーザ製品に該当します。目の障害を起こすおそれがありますので、内視鏡先端からの照明光を直視しないでください。



注 意

- 内視鏡EC-760S-A/MまたはEC-760S-A/Lを接続して仮想スケール表示モードにしたときに、内視鏡の先端部にあるレーザ出射窓から出射される光はクラス 1 レーザ製品に該当します。レーザ出射窓の光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。また、鏡などの反射物に赤色レーザ光を照射しないでください。赤色レーザ光が反射して、反射光で目の障害を起こすおそれがあります。

1.22.2 ネットワーク接続に対する注意

警 告

- NETWORK 端子を使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC 60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。

注 意

- 本製品は医療施設のファイヤーウォール内の安全なネットワークに接続し、サポートされているプロトコル（DICOM、FTP、HTTPS）にて使用してください。
- RS-232C は専用のプロトコルのため、組み合わせて使用可能な機器以外は接続しないでください。

1.22.3 汎用コンピュータ（EX-WS）の接続に対する注意

注 意

- 本製品と汎用コンピュータ（EX-WS）を組み合わせて使用するシステムでは、液晶モニターに、本製品の出力端子と EX-WS の出力端子の両方を接続してください。

1.22.4 タブレットの接続に対する注意

警 告

- NETWORK 端子を使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC 60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。

注 意

- タブレットのボタンを操作しても本製品が意図したとおりに動作しない場合は、本製品の前面パネルの操作ボタン、データキーボード、スコープスイッチで操作してください。タブレットから操作し続けると、検査時間が延長するおそれがあります。

1.22.5 バルーンコントローラーの接続に対する注意

注 意

- モニターに表示されているバルーンの状態表示に異常を感じた場合は、バルーンコントローラーの表示を確認してください。意図せず通信が切断され、リアルタイムにモニターに表示できない可能性があり、検査時間が延びるおそれがあります。

1.22.6 内視鏡サイズ推定支援プログラムの使用について

注 意

- 仮想スケール表示モードを使用している間は、内視鏡先端のレーザ出射窓から赤色レーザ光が照射されます。また、仮想スケール表示モードを「入」になると、赤色レーザ光を認識するために画像設定が切り替わります。そのため、仮想スケール表示モードで得られる画像は、通常の観察画像とは、明るさや色調および構造強調の設定が異なる場合があります。仮想スケール表示モードで得られる画像と通常の観察画像との、明るさや色調および構造強調の設定の違いを十分に把握したうえで使用してください。仮想スケール表示モードで得られる画像は参考情報です。診断の際は通常の観察画像でも確認してください。誤診の原因となるおそれがあります。
- 内視鏡画像が一瞬ちらつくことがあるため、通常光観察モードと特殊光観察モードまたは仮想スケール表示モードを切り替えるときには、内視鏡の操作および処置をしないでください。

1.23 主な有害事象

この製品の使用中に次の有害事象が発生する可能性があります：

心肺停止、窒息、感染、感電、誤診、損傷、熱傷、眼損傷、炎症、組織損傷、穿孔、骨折、検査中断、時間延長

第2章 システム構成

この章では、本製品の同梱品、構成品、組み合わせて使用可能な機器、標準システム構成、拡張システム構成について説明します。

2.1 EP-8000 の内容

2.1.1 同梱品の確認

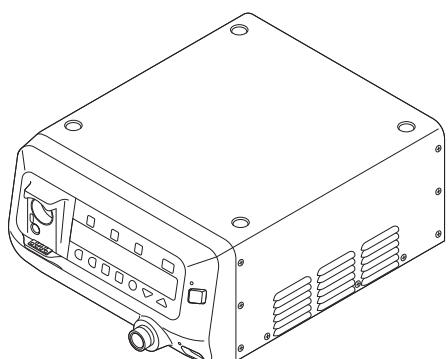
梱包に著しい破損があった場合は、本製品および同梱品に破損がないか確認してください。また、次の図を参照し、同梱品がそろっているかどうかを確認してください。

万一、同梱品の不足や破損があった場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

◆ 同梱品

参考

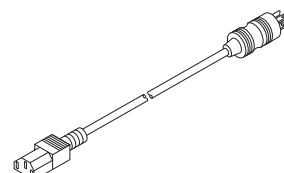
- ・() 内は数量



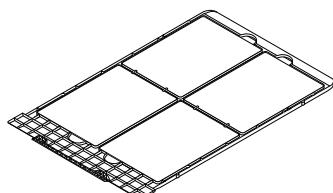
プロセッサー
EP-8000 (1)



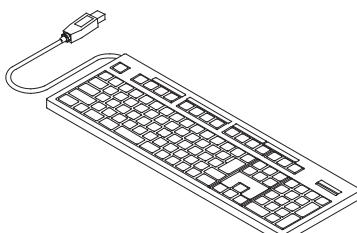
ソケット保護キャップ
CC-203 (1)



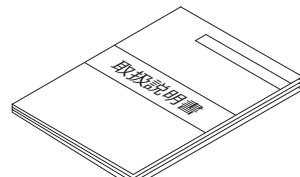
電源コード (1)



ルーバー (1)



データキーボード
DK-8000 (1)



取扱説明書

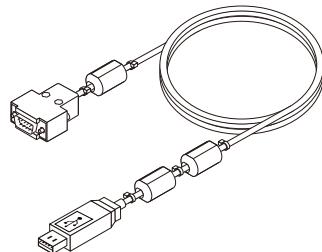
2.1.2 EP-8000 の構成

本製品の構成を以下の表に示します。

種類	機種名	同梱 (数量) / 別売 / 電子化
プロセッサー	EP-8000	同梱 (1)
データキーボード	DK-8000	同梱 (1)
電源コード	-	同梱 (1)
取扱説明書	-	同梱 (1)
ソケット保護キャップ	CC-203	同梱 (1)
ルーバー	-	同梱 (1)
添付文書	-	電子化
周辺機器接続ケーブル	CC-PE01	別売
内視鏡用送水装置接続ケーブル	CC-JW01	別売

2.1.3 CC-PE01 の構成

本製品の構成を以下の表に示します。



種類	機種名	同梱 (数量) / 電子化
周辺機器接続ケーブル	CC-PE01	同梱 (1)
添付文書	-	電子化

2.1.4 CC-JW01 の構成

本製品の構成を以下の表に示します。



種類	機種名	同梱 (数量) / 電子化
内視鏡用送水装置接続ケーブル	CC-JW01	同梱 (1)
添付文書	-	電子化

2.2 組み合わせて使用可能な機器

本製品と組み合わせて使用可能な機器の例を以下の表に示します。

表 2.1 標準システムを構成する機器

種類	機種名	
プロセッサー	EP-8000	
データキーボード	DK-8000	
光源装置	LL-7000 ^{*1}	
内視鏡 ^{*2}	L600 システムスコープ ^{*1} L580 シリーズスコープ ^{*1}	800 システムスコープ ^{*3} 700 システムスコープ 600 システムスコープ 580 シリーズスコープ 530 シリーズスコープ ^{*4}
液晶モニター	EX2621-FJ (EIZO)、LMD-X3200MD (SONY)	

※1 光源装置 LL-7000、L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープを使用するには設定が必要です。設定はサービスマンが行います。エラーメッセージが表示され、L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープが使用できないときは、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

※2 使用できる画像強調機能 (FICE、BLI、BLI-bright、LCI、ACI) は内視鏡の機種ごとに異なります。

内視鏡ごとに使用できる画像強調機能は以下の通りです。

800/700 システムスコープ (710/720 シリーズスコープは除く) :

FICE、BLI、BLI-bright、LCI、ACI

710/720 シリーズスコープ、L600 システムスコープ、L580 シリーズスコープ、EB-580S :

FICE、BLI、BLI-bright、LCI

600 システムスコープ、580/530 シリーズスコープ :

FICE

→ 「7.19 観察モードの切り替え」

→ 「7.21 FICE の切り替え」

※3 EG-840UR を除く

※4 EB-530H、EB-530P、EB-530T、EB-530US のみ

表 2.2 システム構成を拡張する場合に標準システムと一緒に使用可能な機器

種類	機種名
内視鏡用送水装置	JW-3
内視鏡用 炭酸ガス送気装置	GW-100
バルーンコントローラー	PB-30
フットスイッチ	FS1
超音波観測装置	SU-1、SU-9000、SP-900
プリンター	UP-25MD (SONY 製) ^{※1} 、UP-27MD (SONY 製) ^{※1}
デジタルプリンター	UP-D25MD (SONY 製)
動画記録装置 ^{※1}	UR-4MD (ティアック製)、HVO-550MD (SONY 製)
汎用コンピュータ	EX-WS ^{※2} 、EX-1 (EIZO 製)
タブレット	MIT-W102-Q04D0A00E (ADVANTECH 製)
タブレットアクセサリー	MIT-W102-ACCVD001E (ADVANTECH 製)

※1 本製品の RS-232C 端子と接続して使用することはできません。

※2 表 2.3、表 2.4 のソフトウェアを搭載した汎用コンピュータ

表 2.3 システム構成を拡張する場合に標準システムと一緒に使用可能な医療機器プログラム

EW1 システムソフトウェア	
内視鏡検査支援プログラム	EW10-EC02 EW10-EG01
内視鏡サイズ推定支援プログラム	EW10-VM01
超音波内視鏡画像検査支援プログラム	EW10-US01

参考

- EW1 システムソフトウェアを使用するには設定が必要です。設定はサービスマンが行います。

表 2.4 システム構成を拡張する場合に標準システムと一緒に使用可能なソフトウェア

EW1 システムソフトウェア	
機能拡張ユニット基盤ソフトウェア	EW10-SC01

参考

- EW1 システムソフトウェアを使用するには設定が必要です。設定はサービスマンが行います。

表 2.5 システムを構成するのに使用できるカートの仕様

参考

- 表中の「標準システム」「拡張システム」については、本書「2.3 標準システム構成」および「2.4 システムの拡張」を参照してください。

電気用品安全法に適合したもの（PSE マークの表示があるもの）を使用すること。

サイズ (W×D×H)	430×620×350 (mm) 以上	※1
総許容容量 (総耐荷重)	<ul style="list-style-type: none"> カートに搭載する機器全ての重量の合計以上であること。 <p>35kg 以上 (標準システム 1) 45kg 以上 (標準システム 2) 84kg 以上 (拡張システム 1, 2, 3, 4, 5, 6)</p>	-
モニターのホルダ、アームの総耐荷重 (モニターアームの耐荷重)	<ul style="list-style-type: none"> カートに搭載するモニターの重量以上であること <p>8.5kg 以上 (EX2621-FJ 使用時) 12.0kg 以上 (LMD-X3200MD 使用時)</p>	※2
棚の許容容量 (棚の耐荷重)	<ul style="list-style-type: none"> 搭載する機器の重量の合計以上であること <p>18kg 以上 (標準システム 1、拡張システム 6 の EP-8000 搭載時) 30kg 以上 (標準システム 2、拡張システム 1, 2, 3, 4 の EP-8000 と LL-7000 を同じ棚に搭載時) 32kg 以上 (拡張システム 5 の EP-8000 と SU-1 を同じ棚に搭載時)</p>	※3
棚の構造	<ul style="list-style-type: none"> 機器の落下防止のためのストッパーを設けてあること 	-
キャスター	<ul style="list-style-type: none"> すべてのキャスターにブレーキ機能またはロック機構を有している Φ 130mm 相当、あるいはそれ以上の物 	※4
電源	<ul style="list-style-type: none"> 入力 100V ~ 50/60 Hz カートに搭載する全ての機器の使用電圧、周波数範囲内であること カートに搭載する機器（絶縁トランスを介さないで電源に接続する機器および絶縁トランスを介して電源に接続する機器それぞれ）の電力の合計より出力電流容量が大きいこと 過電流保護装置を搭載していること 	※5

絶縁トランス (分離変圧器)	<ul style="list-style-type: none"> 適切な絶縁性能（耐電圧性能）を有している物 接地漏れ電流：正常状態で $150\mu\text{A}$ 以下 許容出力電流容量（絶縁トランスおよびその出力のマルチタップ） 2.0A 以上（標準システム 1、2） 5.4A 以上（拡張システム 1、2、3、4、5、6） 過渡電流容量 30A 以上（$\approx 0.05\text{ms}$）（標準システム 1、標準システム 2） 95A 以上（$\approx 3\text{ms}$）（拡張システム 1、2、3、4、5、6） ※：ピーク電流から $0.368 \times$ ピーク電流までの時間 出力経路に過電流保護機能を有している物 	※6 ※7 ※5
マルチタップ	<ul style="list-style-type: none"> クラス I 構造品（保護接地付き） 許容出力電流容量（絶縁トランスを介さないマルチタップ） 3.0A 以上（標準システム 1） 4.3A 以上（標準システム 2、拡張システム 6） 6.3A 以上（拡張システム 1、2、3、4、5） 口数 絶縁トランスを介す口数：4 以上（拡張システム 3、4、5）、 5 以上（拡張システム 1、2、6） 絶縁トランスを介さない口数：2（標準システム 2、拡張システム 6）、3（拡張システム 1、2、3、4、5） 許容電力あるいは許容電流を表示している物 警告標識 ISO 7010-W001 が表示されている物 工具を使わないとコネクタにアクセスができない構造のもの カートの電源プラグの保護接地ピンと搭載機器の保護接地部分 間のインピーダンスが $200\text{m}\Omega$ 未満となる構造の物 	※6 ※5
機器間の配線	<ul style="list-style-type: none"> 機械的な損傷がない状態で配線できる物 	-
オプション品	<ul style="list-style-type: none"> タブレットアーム（「2.2 組み合わせて使用可能な機器」のタブレットを接続） 	※8
	<ul style="list-style-type: none"> RS-900 取り付けアーム（RS-900 専用） ボンベホルダー（CO_2 ガスボンベ用） 	

※1 「4.1 システムの設置」参照

※2 EX2621-FJ 使用時（AC アダプターの重量は考慮しない）

※3 他の棚に関しても、搭載機器の重量以上である事

- ※4 斜面、床の凹凸に十分注意して移動を行う事
設置時は必ずロック、ブレーキをかける事
 - ➔ 機器設置についての警告、注意、方法：「1.14 機器の設置」および「4.1 システムの設置」参照
 - ➔ 機器の運搬についての警告、方法：「1.15 機器の運搬」および「9.5 移動するには」参照
- ※5 電源入力 100V ~ 60Hz 時の測定値
- ※6 絶縁トランス、マルチタップおよび電源コードは JIS T 0601-1 (IEC/EN 60601-1) システム要求適合品を使用する事
- ※7 最大構成時における絶縁トランスの接地漏れ電流の許容参考値
 - ➔ 組み合わせ機器について：「1.22 機器の組み合わせ」、「2.2 組み合わせて使用可能な機器」および「4.1 システムの設置」参照
 - ➔ 感電に対する注意：「1.22 機器の組み合わせ」、「1.14 機器の設置」、「1.16 感電に対する注意事項」および「4.1 システムの設置」参照
- ※8 使用するシステムで JIS T 0601-1 に適合する事

表 2.6 システムを構成するのに使用できるモニタースタンドの仕様

総許容容量	• モニター、ACアダプターとホルダーを含めて45kgを超えない事	※1
モニターアームの耐荷重	• モニタースタンドに搭載するモニターの重量以上であること 8.5kg以上 (EX2621-FJ 使用時) 12.0kg以上 (LMD-X3200MD 使用時)	-
モニター取り付け部の安全率	• モニターの重量に対して 支持機構が摩耗する場合：8以上 支持機構が摩耗しない場合：4以上	-
キャスター	• 全てのキャスターにブレーキ機能またはロック機構を有している物 • モニターを搭載した状態にて、大きな力を加えなくても水平面を移動させる事ができるもの	※2
安定性	• モニターを搭載した状態で、移動姿勢で10°、移動姿勢以外で5°で安定する事 • 全体の重量に対して15%の力で押しても倒れない物、又は警告ラベル(ISO 7010-P017)の表示があるもの	※3

※1 EX2621-FJ 使用時は AC アダプターホルダが必要

ACアダプターホルダの仕様：耐荷重・1kg以上、内寸 64×42mm 相当（縦に搭載時）

※2 200N以下で 0.4m/s 移動できる事、できない場合は 2人以上で移動させる事

※3 斜面、床の凹凸に十分注意して移動させる事

斜面、床の凹凸のある場所を移動させるときには 2人以上で動かす事

設置時には、必ずロック、ブレーキをかける事

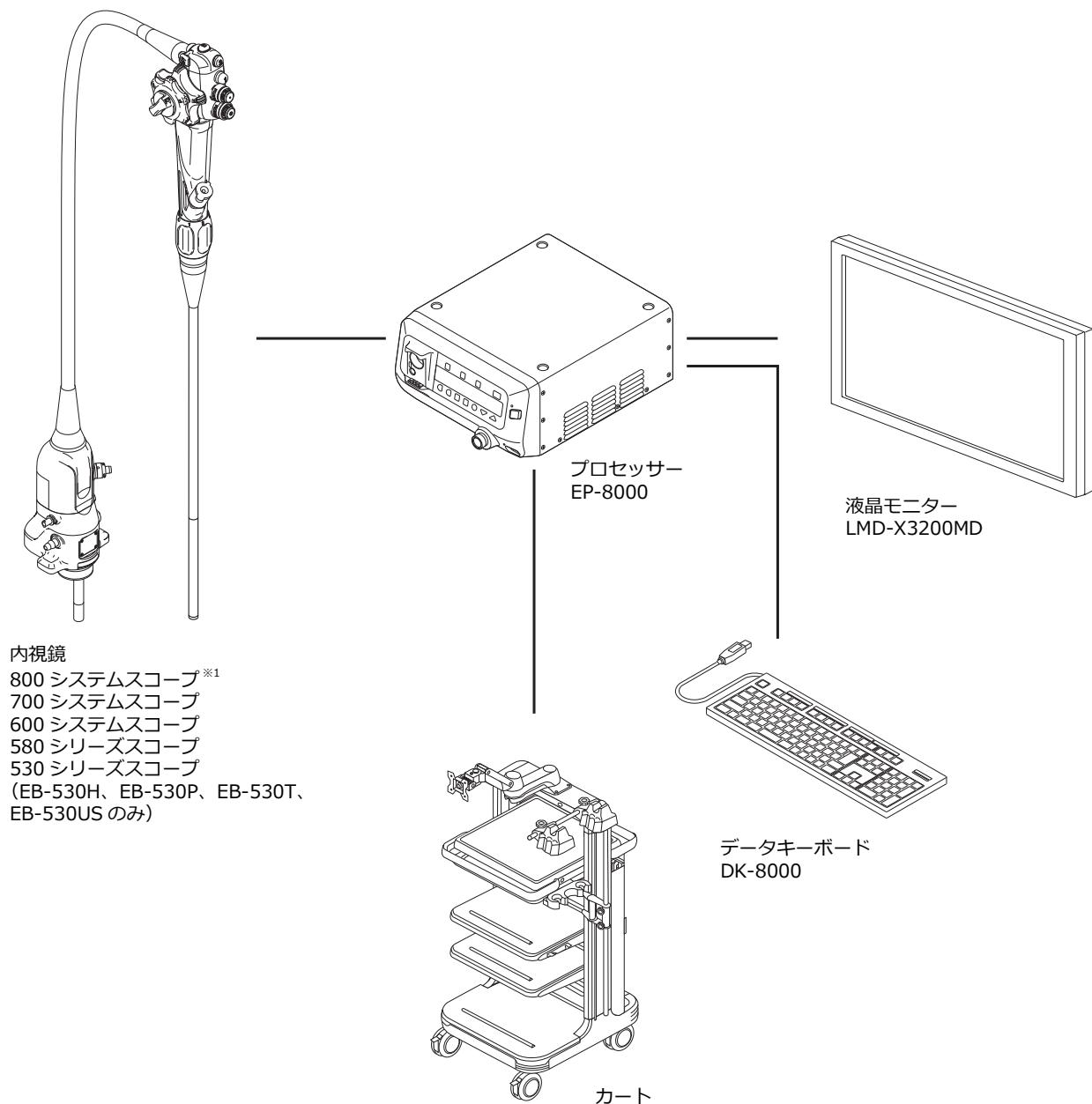
参考

- システムを構成する機器の保守、点検、清掃に関しては、それぞれの取扱説明書に従ってください。
- システムを構成する全ての機器が適用できる環境にて、使用、保管、輸送してください。
- システムを構成する機器の保証期間に関しては、それぞれの取扱説明書に従ってください。

2.3 標準システム構成

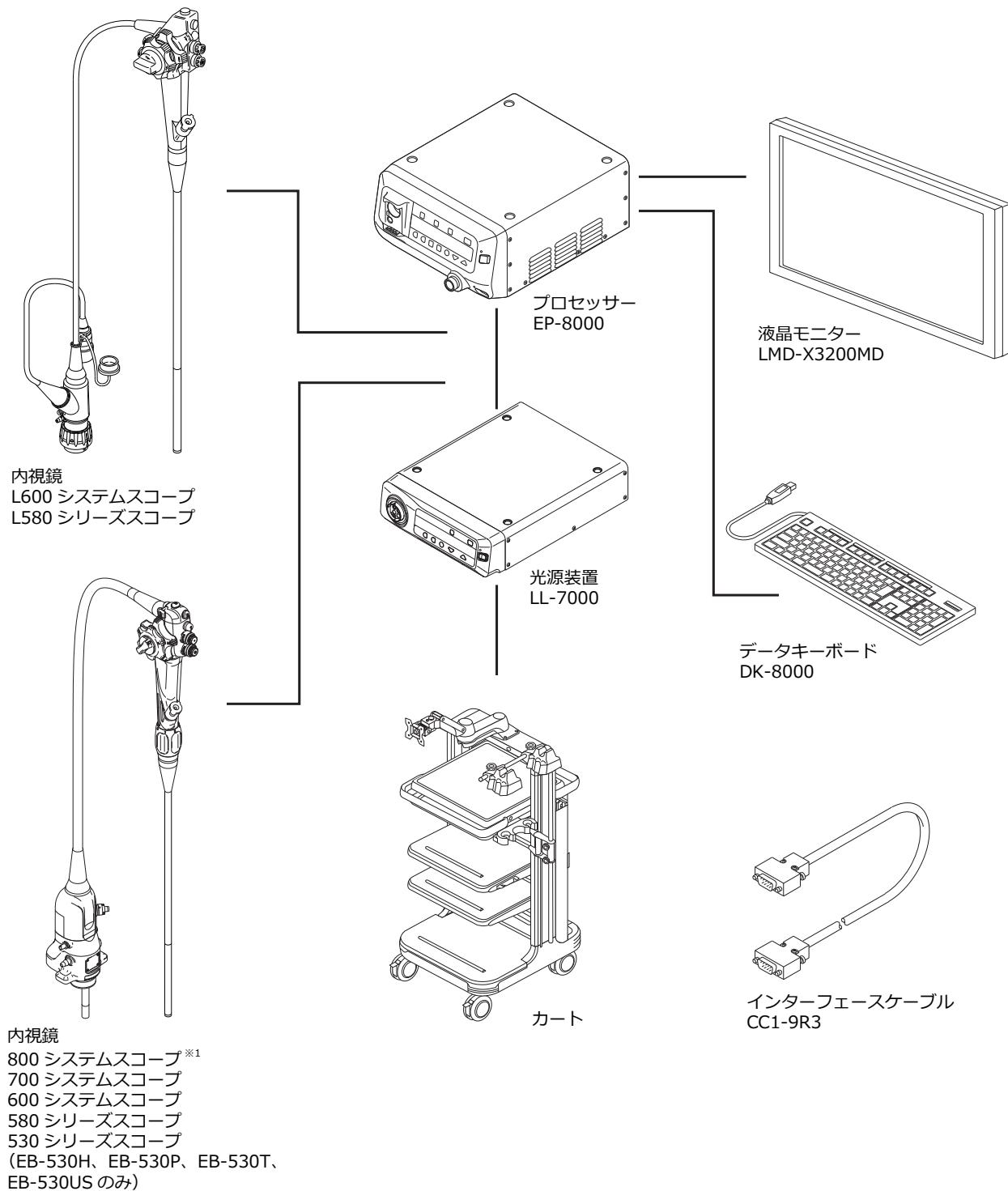
標準システム構成は、通常の内視鏡検査に必要な最小限のシステム構成です。モニター上の観察（診断）、生検が行えます。

<標準システム1>



※1 EG-840UR を除く

<標準システム2>



※1 EG-840UR を除く

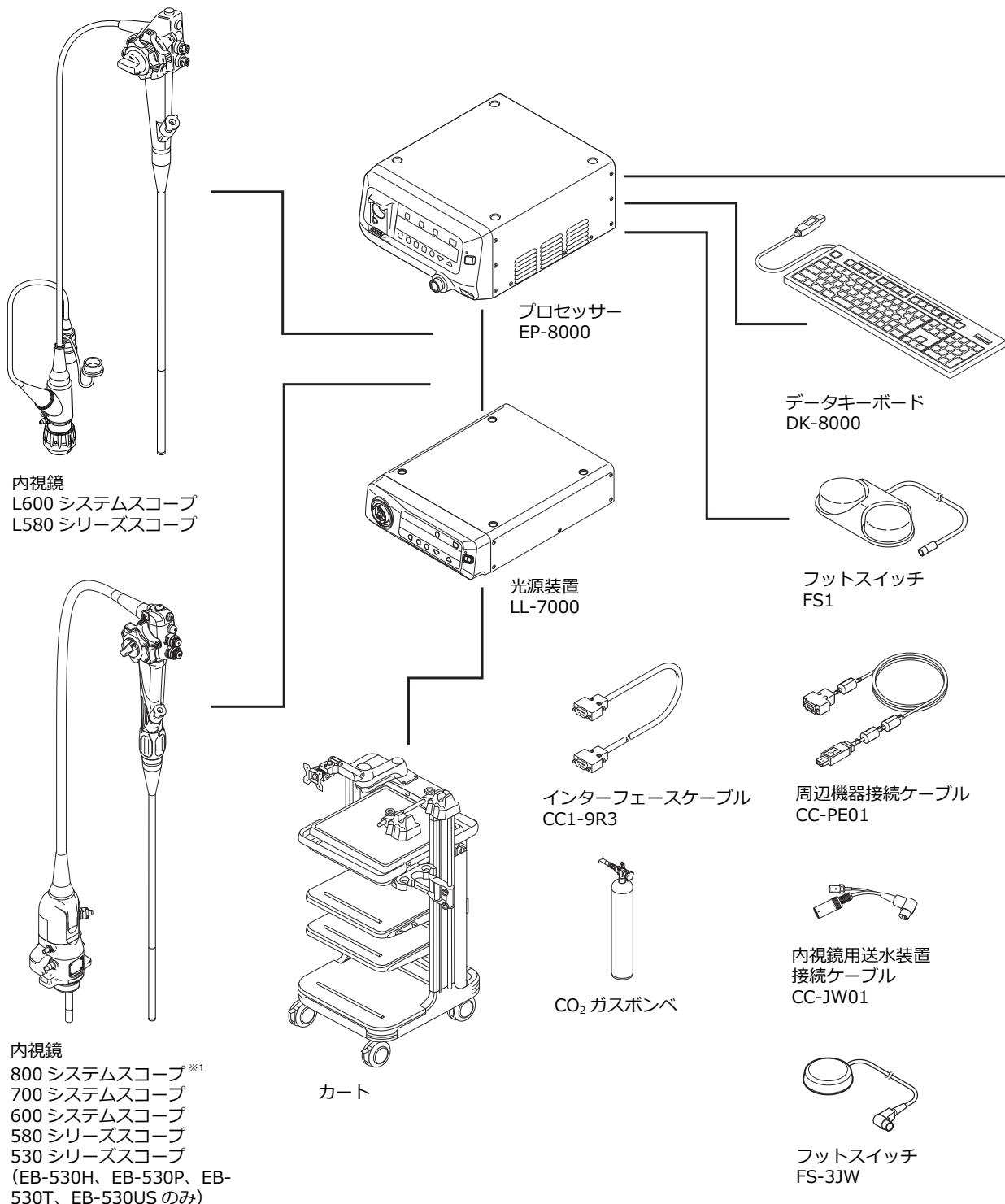
2.4 システムの拡張

本システムは、標準システム構成に各種機器を接続してシステムを拡張することができます。システムの拡張により、次のようなことが可能になります。

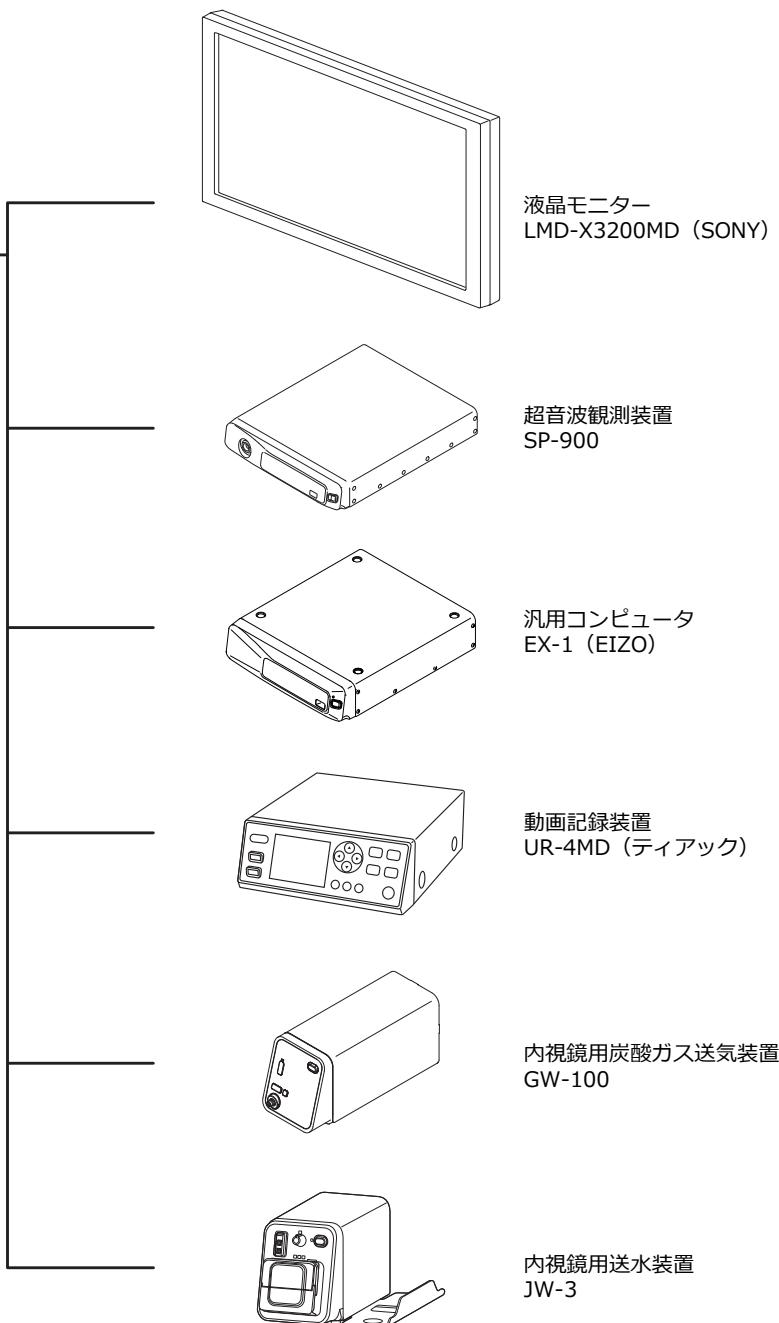
- ・経内視鏡治療
- ・超音波検査
- ・動画像の録画
- ・静止画像のプリント

拡張システムの構成例を次に示します。

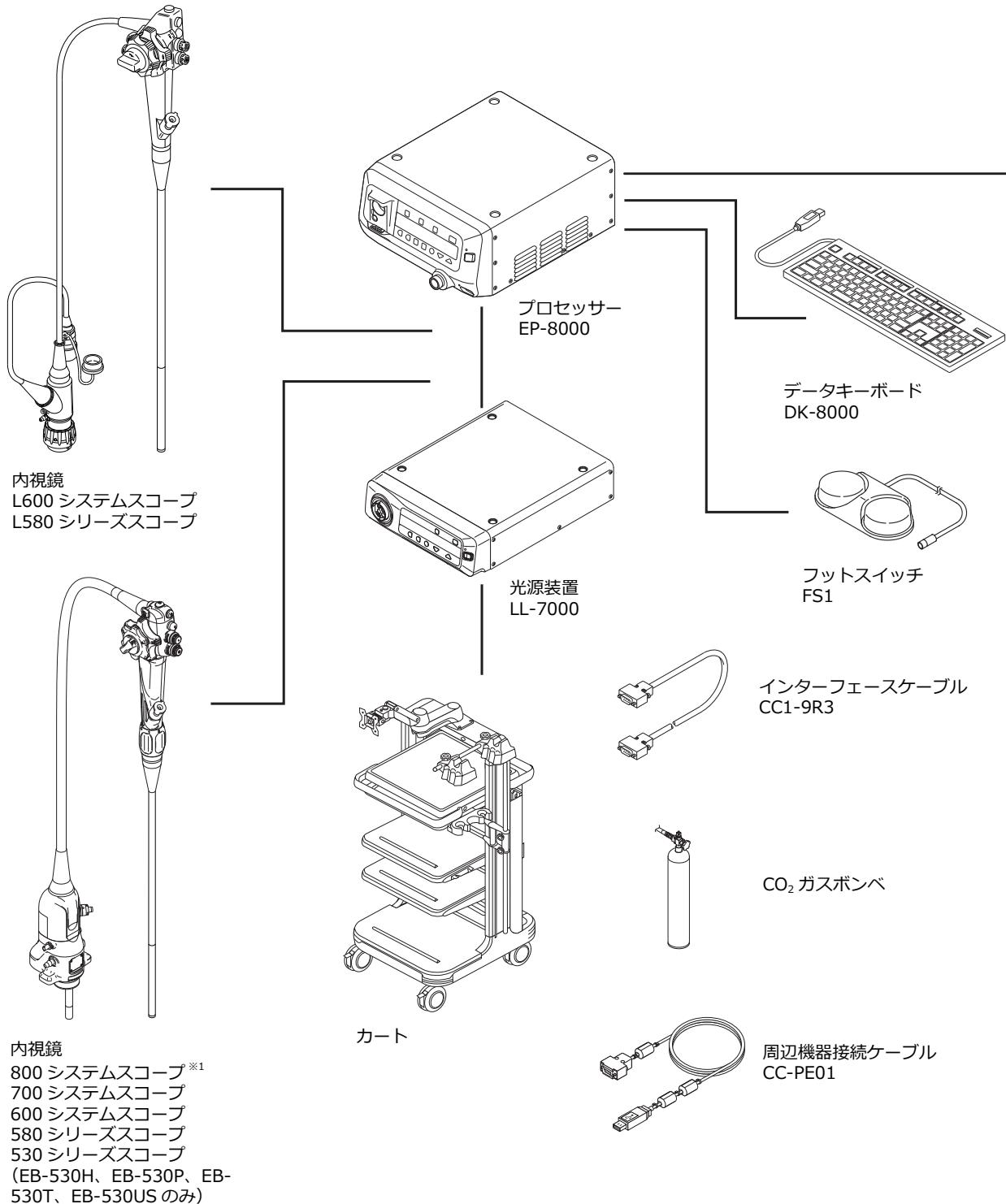
<拡張システム1>



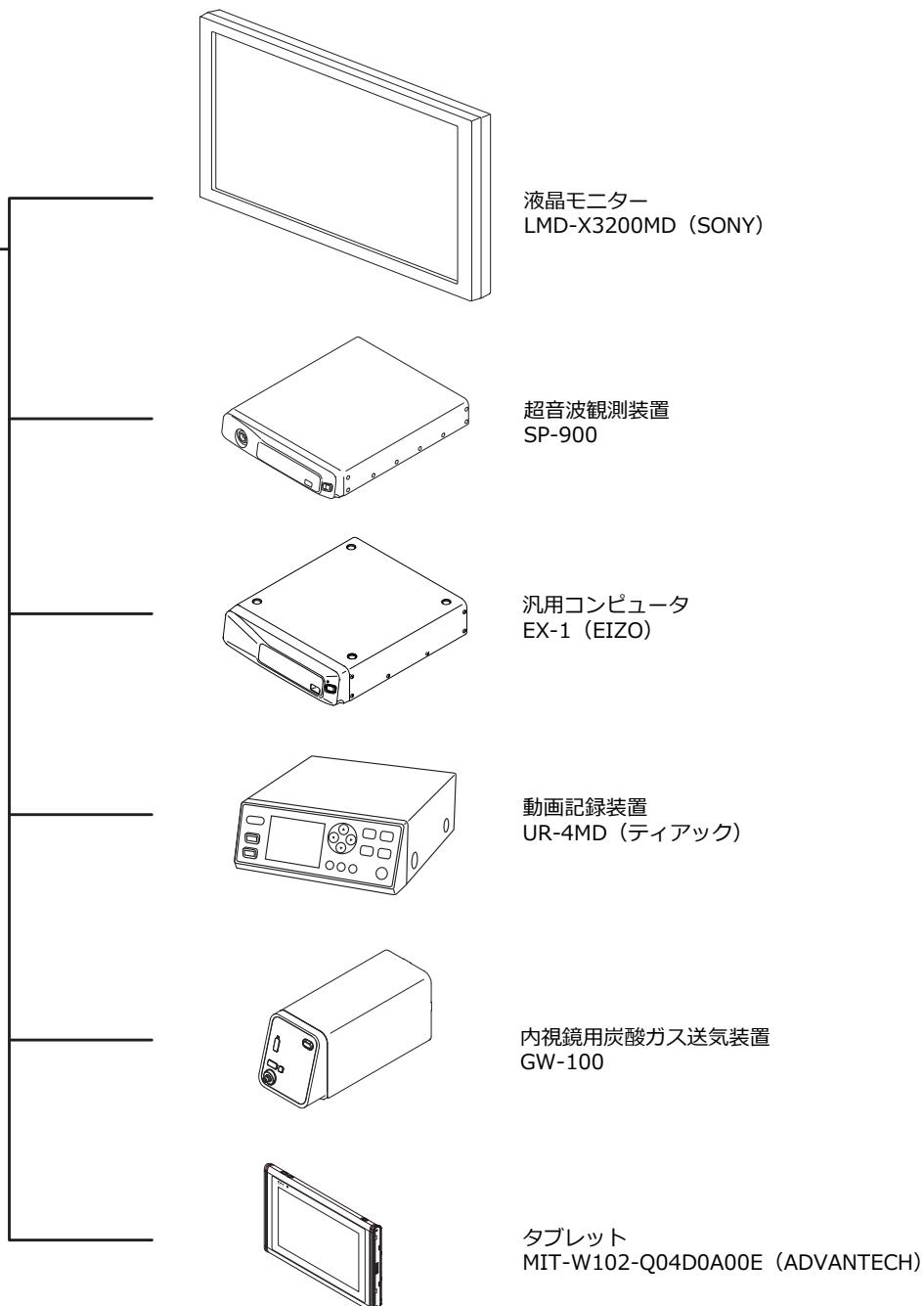
※1 EG-840UR を除く



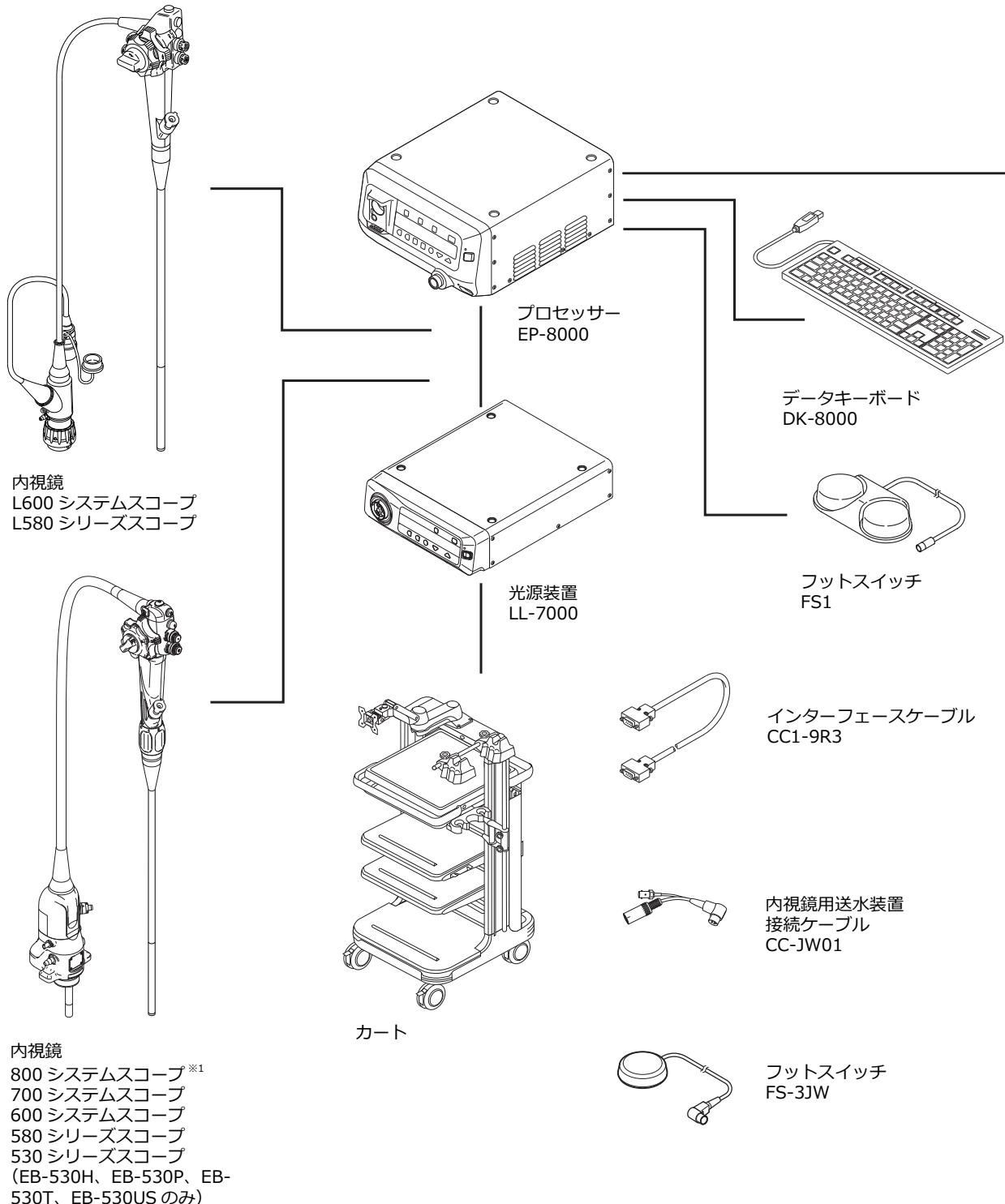
<拡張システム2>



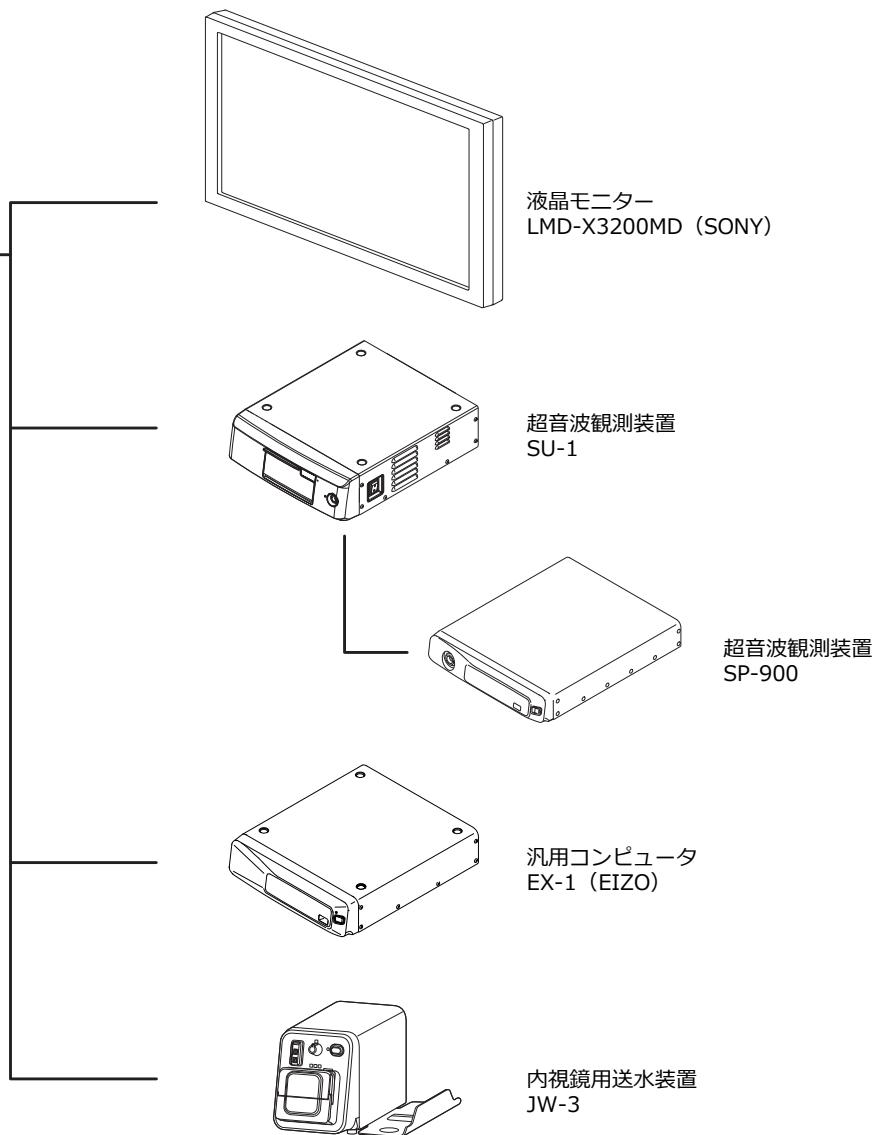
※1 EG-840UR を除く



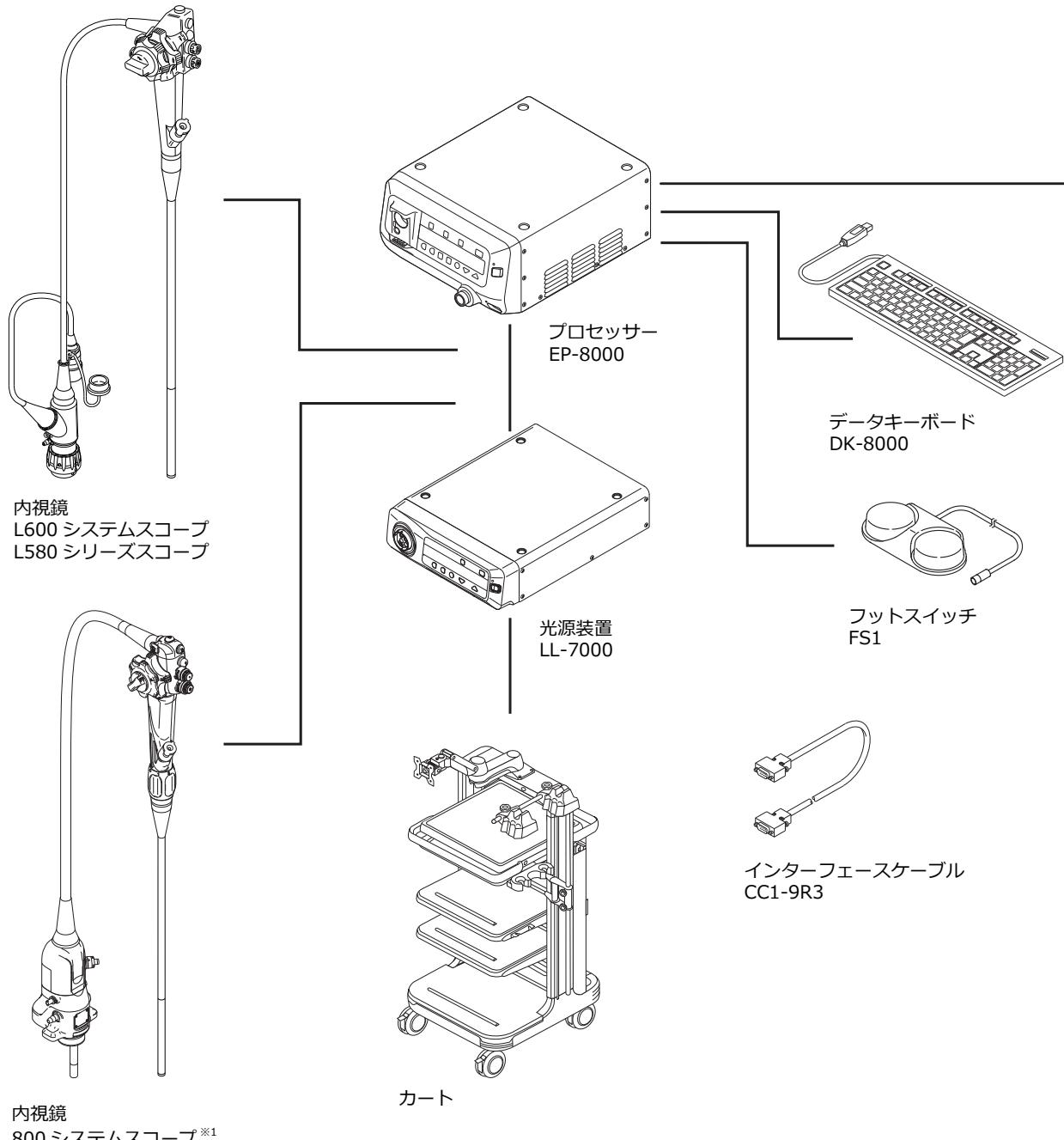
<拡張システム3>



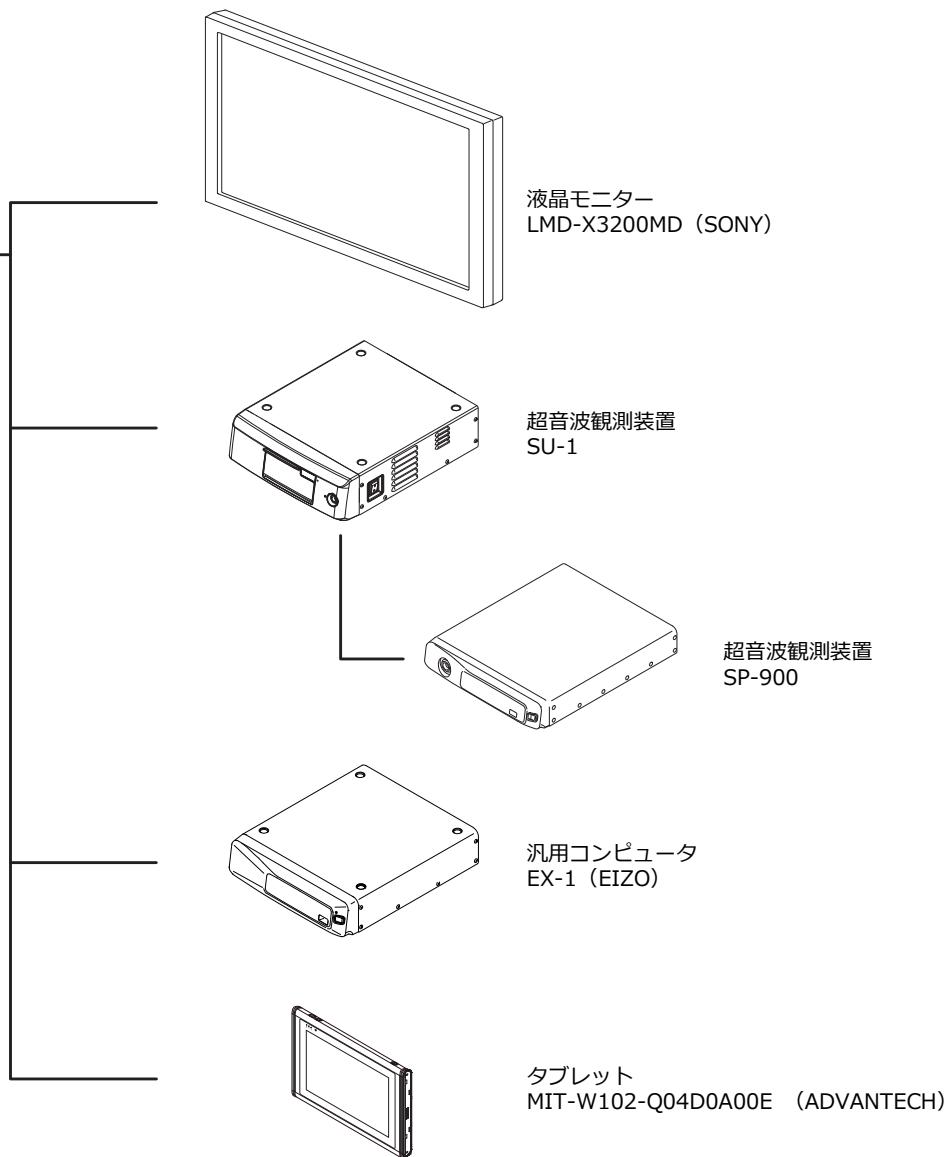
※1 EG-840UR を除く



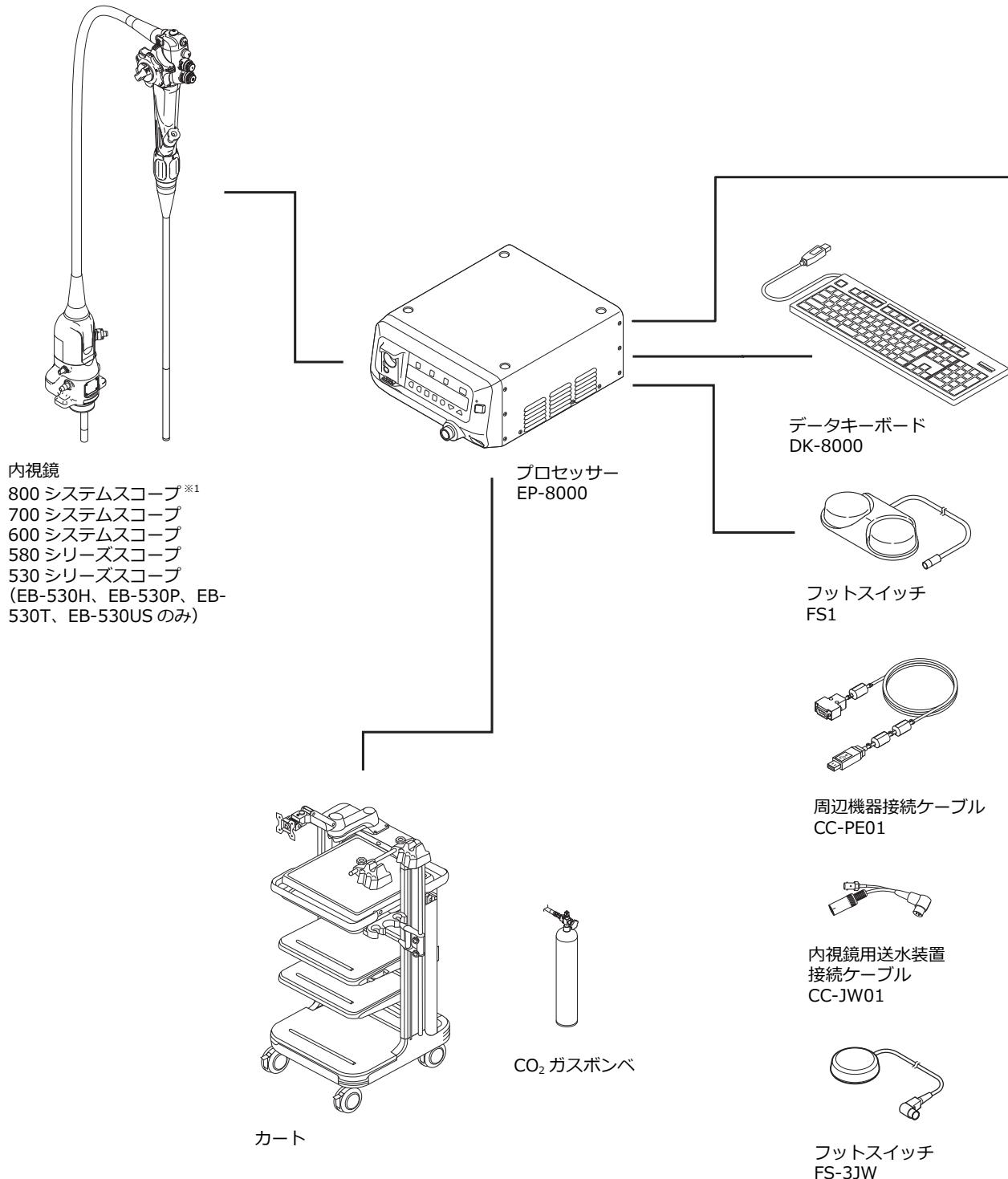
<拡張システム4>



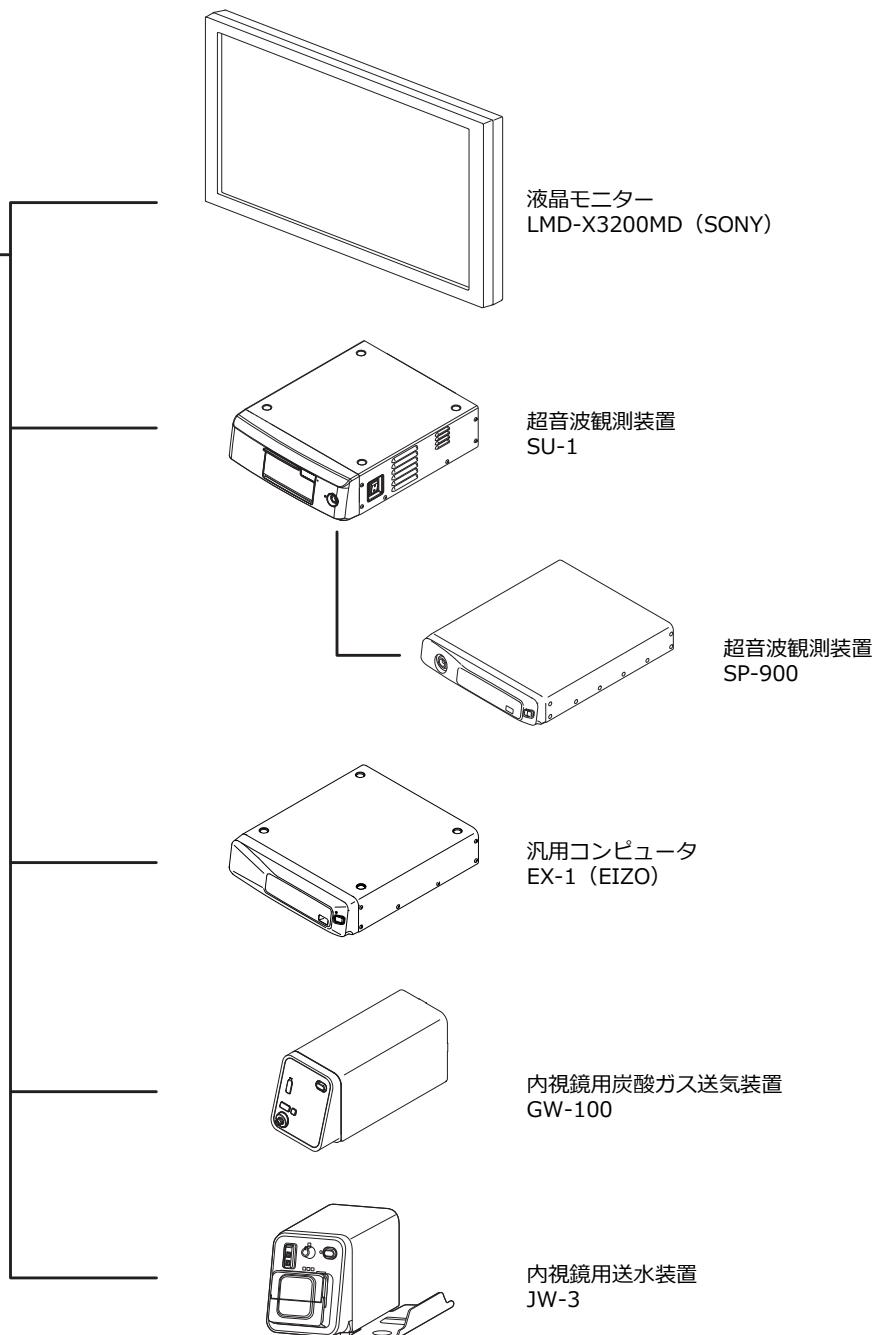
※1 EG-840UR を除く



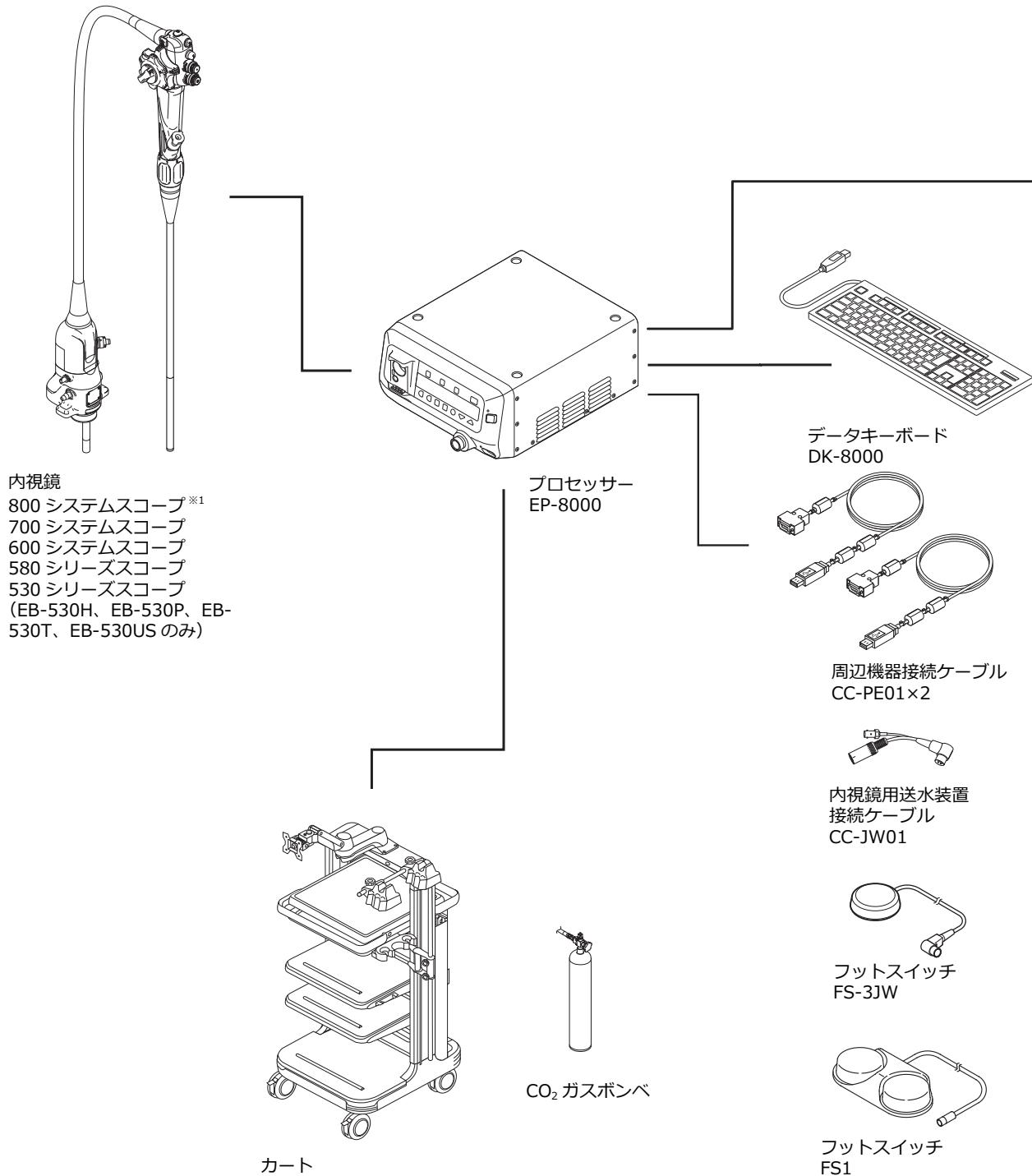
<拡張システム5>



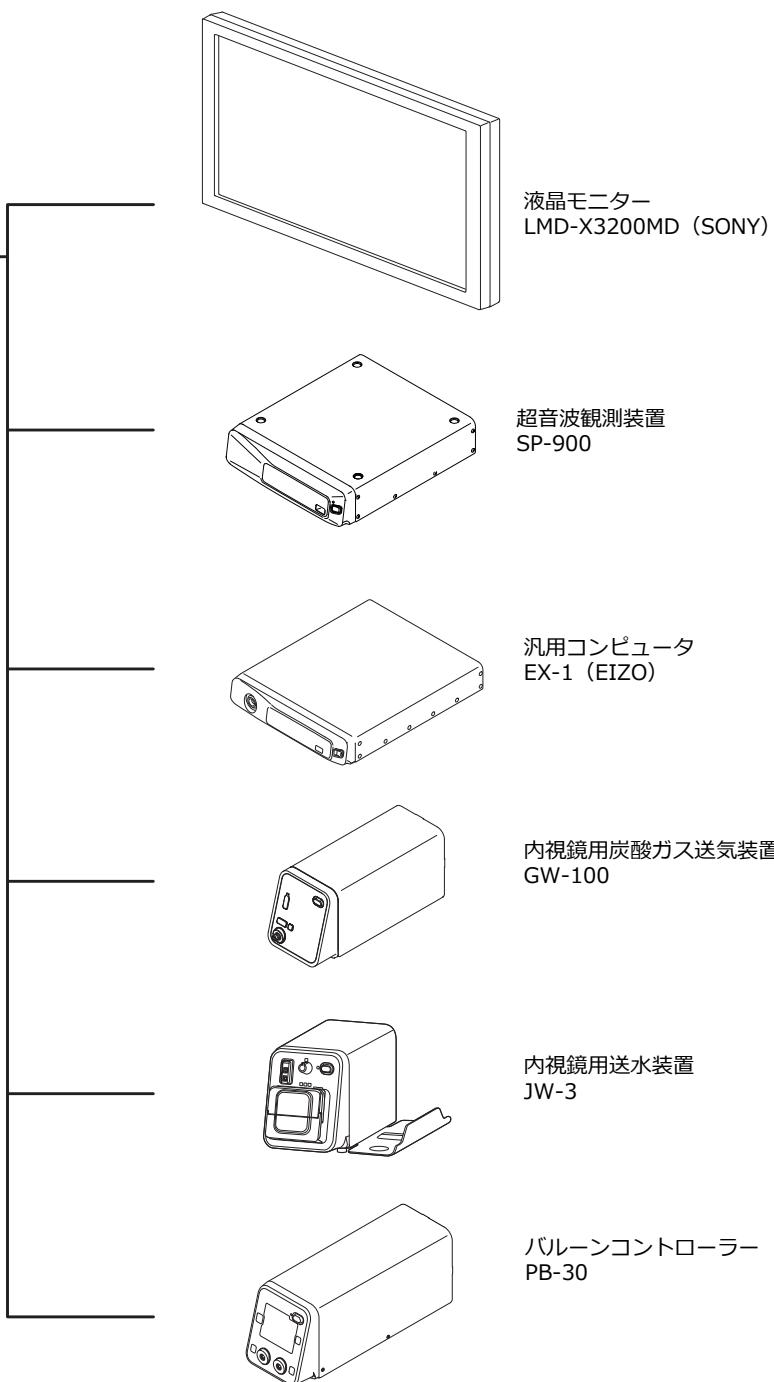
※1 EG-840UR を除く



<拡張システム6>



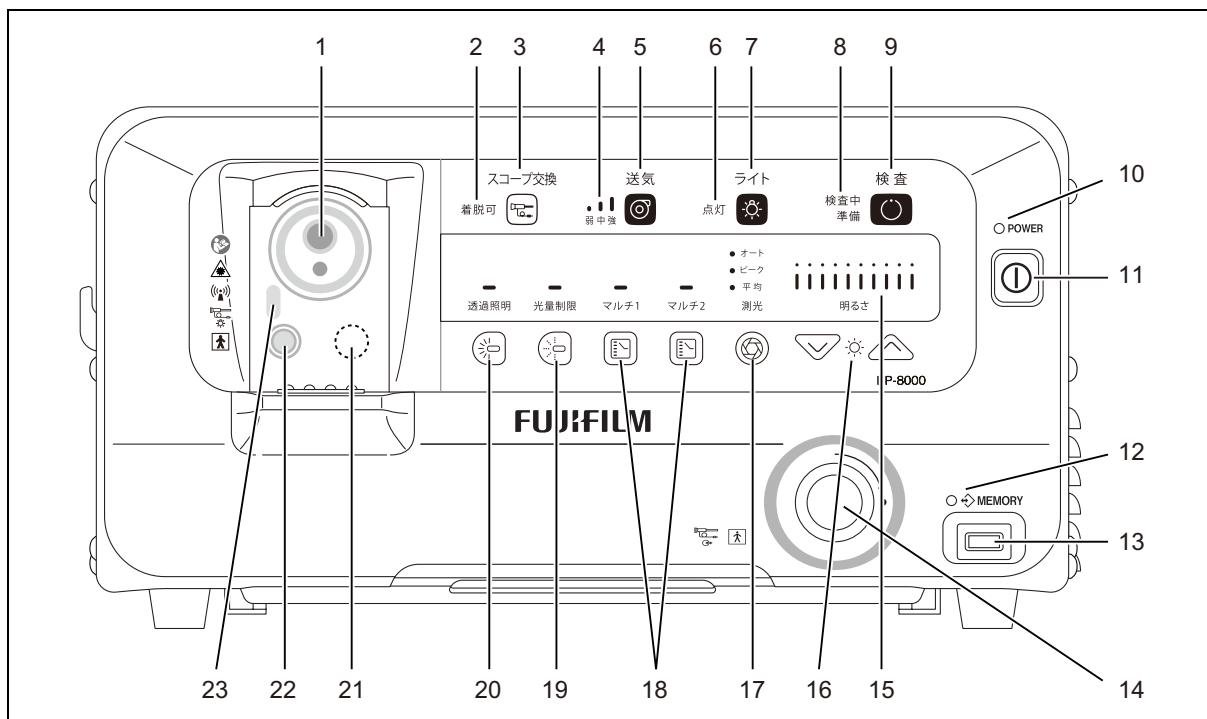
※1 EG-840UR を除く



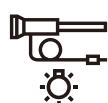
第3章 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能を説明しています。

3.1 前面パネル

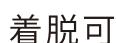


1. スコープコネクターソケット



内視鏡のスコープコネクターまたは LG コネクターを接続します。

2. スコープ交換表示灯



検査中に、内視鏡を取り外せる状態になると青色に点灯します。

3. スコープ交換ボタン

スコープ交換

検査の途中で内視鏡を交換する場合に、内視鏡の電源を入／切するボタンです。



約2秒間押し続けると、オレンジ色に点滅したのちに点灯し、内視鏡の電源が切れます。

スコープ交換表示灯の青色の「着脱可」が点灯すると、内視鏡を交換できます。

内視鏡交換後に押すと、内視鏡の電源が入ります。

参考

- オレンジ色に点滅している間は、内視鏡を取り外さないでください。

内視鏡電源・入：

青色に点灯

内視鏡電源・切：

オレンジ色に点灯

4. 送気表示灯



送気ポンプの「強」、「中」、「弱」を表示します。

5. 送気ボタン

送気

送気量を「強」、「中」、「弱」、「切」に切り替えるボタンです。



「強」、「中」、「弱」：緑色に点灯

「切」：オレンジ色に点灯

6. ライト点灯表示灯

点灯

ライトが入のときに「点灯」と表示されます。

7. ライトボタン

ライト

ライトを入／切するボタンです。

ライトは検査開始直前に点灯します。



入：青色に点灯

切：オレンジ色に点灯

参考

- すぐに検査を行わない場合は、いったん消灯してください。

8. 検査表示灯

検査中 準備

検査の状態を示します。また、スコープ交換ボタンの表示と合わせて、接続した内視鏡の状態を示します。

検査中、内視鏡電源・入：

青色の「検査中」が点灯、スコープ交換ボタンが青色に点灯

検査の途中で内視鏡を交換できる状態、内視鏡電源・切：

青色の「検査中」が点灯、スコープ交換ボタンがオレンジ色に点灯

検査前または検査終了後で内視鏡が取り外せる状態、内視鏡電源・切：

オレンジ色の「準備」が点灯

9. 検査ボタン

検査



検査開始時と検査終了時に押します。

検査開始時に押すと青色に点灯し、内視鏡の電源が入ります。また、検査表示灯の青色の「検査中」が点灯します。

検査終了時に約2秒間押し続けると、オレンジ色に点滅したのちに点灯し、内視鏡の電源が切れます。また、検査表示灯のオレンジ色の「準備」が点灯します。

参考

- 検査の途中で内視鏡を交換する時は、スコープ交換ボタンを使用します。
- オレンジ色に点滅している間は内視鏡を取り外さないでください。

検査中、内視鏡電源・入：

青色に点灯、スコープ交換ボタンが青色に点灯

検査の途中で内視鏡を交換できる状態、内視鏡電源・切：

青色に点灯、スコープ交換ボタンがオレンジ色に点灯

検査前または検査終了後で内視鏡が取り外せる状態、内視鏡電源・切：

オレンジ色に点灯

10. 電源表示灯

○ POWER

電源が入のときに点灯します。

11. 電源ボタン



電源を入／切するボタンです。

12. メモリーアクセスランプ

○ ⇠ MEMORY

接続した外部メモリーの状態を表示します。

スタンバイ：緑色に点灯

アクセス中：オレンジ色に点滅

13. メモリースロット

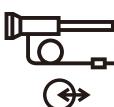


外部メモリーを接続します。

→「5.4.3 外部メモリータブ」

→「8.7 外部メモリーへ画像のコピー」

14. 電気コネクターソケット



L600 システムスコープまたは L580 シリーズスコープ、600 システムスコープ、
580 シリーズスコープ、530 シリーズスコープの電気コネクターを接続します。

専用プロトコルにて、内視鏡からのデータを受信し、また情報をやり取りします。

15. インジケーター



ライト点灯時に、照明光量を表示します。

明るさ調整ボタンを押した時に、基準となる明るさレベルを表示します。

16. 明るさ調節ボタン



自動調光レベルを調整するボタンです。

17. 測光モードボタン

- オート
 - ピーク
 - 平均
- 測光
モード

測光モードの「オート」と「ピーク」と「平均」を切り替えます。

→「7.25 測光モードの切り替え」



18. マルチ 1 ボタン / マルチ 2 ボタン

マルチ1 マルチ2

ボタンに各機能を割り当てることができます。



→「4.2.4 切替タブ」

19. 光量制限ボタン



ライトの照明光量を制限するボタンです。

光量制限を「入」にすると 表示灯が点滅します。

20. 透過照明ボタン



最大光量でライトを点滅させるボタンです。

透過照明を「入」にすると 表示灯が点滅します。

21. 給電部

内視鏡へ電力を供給します。

22. 受信窓

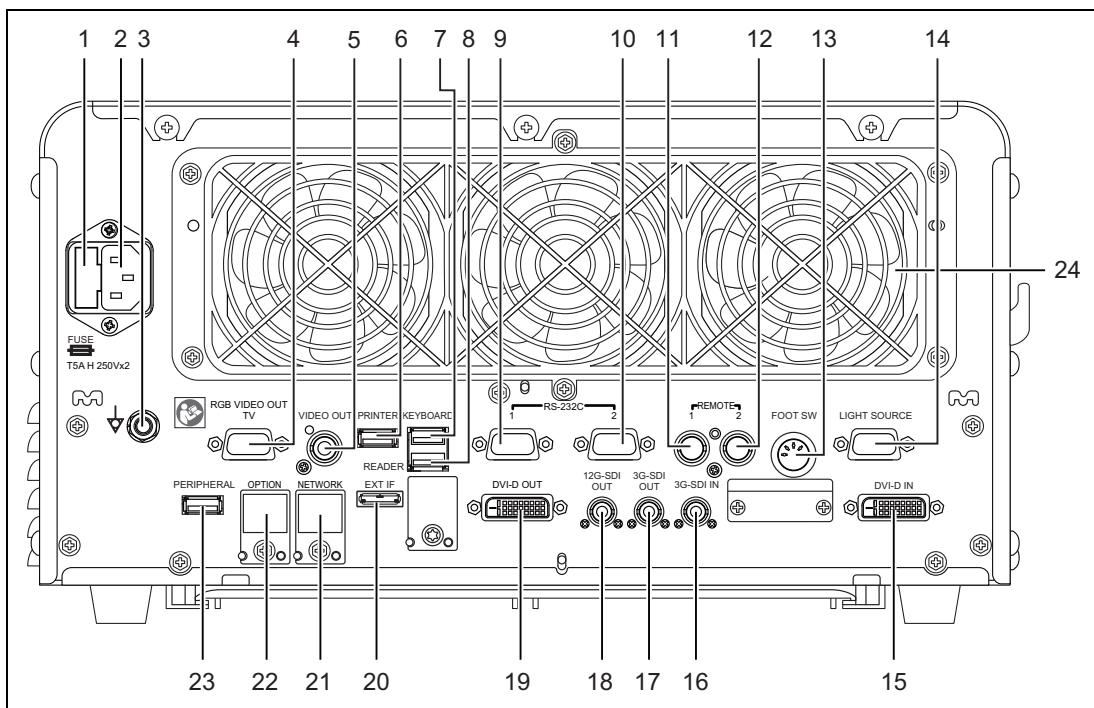
専用プロトコルにて、内視鏡からのデータを受信します。

23. 通信窓 (LED)

専用プロトコルの赤外線通信にて、内視鏡の観察機能等を制御します。

3.2 背面パネル

標準システムの構成やシステムの拡張のために、背面パネルの端子と機器を接続します。接続は、弊社指定のサービスマンに依頼してください。



1. ヒューズホルダー

FUSE T5AH 250V のヒューズが 2 本入っています。

2. 電源接続部

付属の電源コードを接続します。

3. 等電位化端子

等電位プラグを接続します。
 必要に応じて、安全の為に本製品と接続する周辺機器にある等電位化端子と接続し、本製品と周辺機器の電位を合わせます。

4. RGB TV 端子

NTSC/PAL の映像出力端子です。R、G、B、SYNC の映像信号を出力します。

5. ビデオ端子

コンポジットビデオ信号を出力します。

6. デジタルプリンター端子

デジタルプリンターに接続します。

バルーンコントローラーと同時にリーダーを使用するときには、本端子または PERIPHERAL 端子にリーダーを接続します。

7. キーボード端子

データキーボード DK-8000 を接続します。

8. リーダー端子

リーダーを接続します。パルーンコントローラーを使用するときには、パルーンコントローラーの動作を制御するために接続します。リーダーは、デジタルプリンター端子またはPERIPHERAL端子に接続します。

9. RS-232C 端子 1

RS-232C接続で周辺機器の動作を制御するために接続します。

10. RS-232C 端子 2

RS-232C接続で周辺機器の動作を制御するために接続します。

11. リモート端子 1

周辺機器を制御するトリガー信号を出力します。スコープスイッチまたはフットスイッチでトリガー、レコード機能を使用したときに信号を出力します。

12. リモート端子 2

周辺機器を制御するトリガー信号を出力します。スコープスイッチまたはフットスイッチでトリガー、レコード機能を使用したときに信号を出力します。

13. フットスイッチ端子

フットスイッチ FS1 を接続します。

14. インターフェースケーブル端子

専用プロトコル接続で光源装置 LL-7000 の動作を制御するために接続します。

15. DVI-D IN 端子

周辺機器画像の入力用 DVI-D 端子です。
PoP 表示を行います。

16. 3G-SDI IN 端子

周辺機器画像の入力用 3G-SDI 端子です。
PoP 表示を行います。

17. 3G-SDI OUT 端子

液晶モニターや周辺機器に接続するための端子です。シリアルインターフェース仕様のデジタル画像信号を出力します。

18. 12G-SDI OUT 端子

液晶モニターに接続するための端子です。シリアルインターフェース仕様のデジタル画像信号を出力します。

19. DVI-D OUT 端子

液晶モニターや周辺機器に接続するための端子です。デジタル画像信号を出力します。

20. EXT IF 端子

拡張用の IF 端子です。

21. NETWORK 端子

ネットワークに接続します。
ねじ留めされているカバーを外して使用します。

22. OPTION 端子

ネットワーク接続で、タブレットの動作を制御するために接続します。
ねじ留めされているカバーを外して使用します。

23. PERIPHERAL 端子

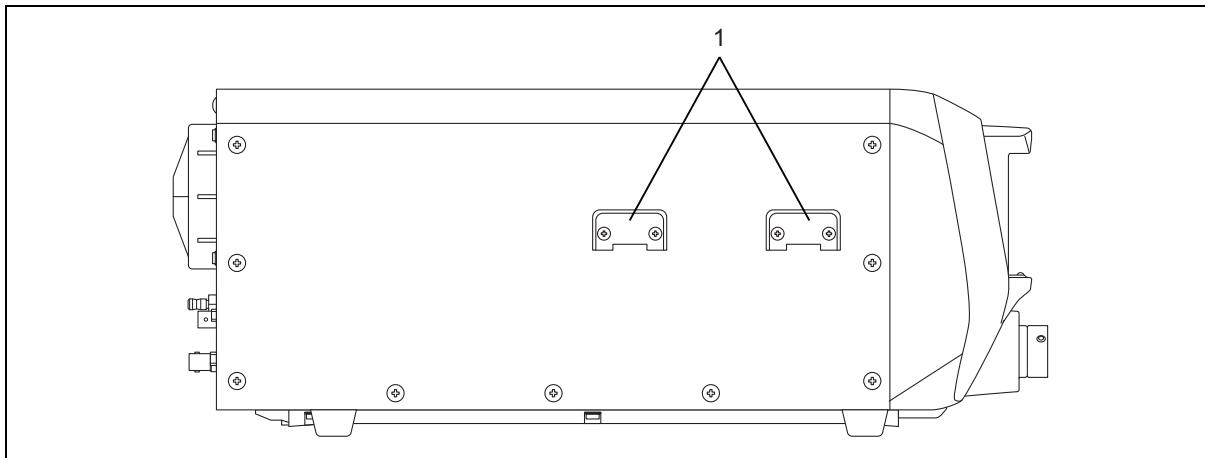
内視鏡用炭酸ガス送気装置の動作を制御するために接続します。
バルーンコントローラーと同時にリーダーを使用するときには、本端子またはデジタルプリ
ンター端子にリーダーを接続します。

24. 通気口

通気口です。

3.3 側面パネル

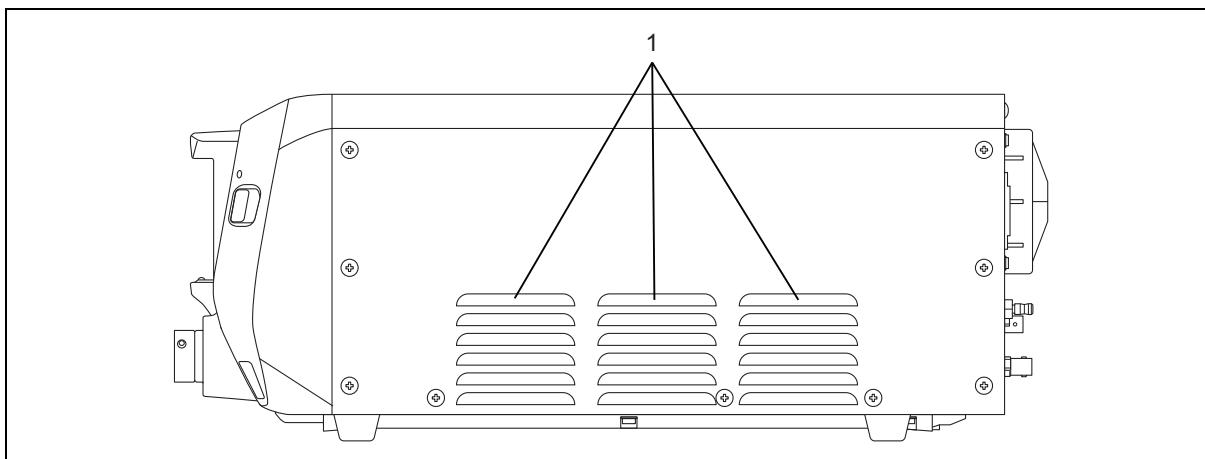
<左側面>



1. 送水タンクフック

このフックに送水タンクを取り付けます。

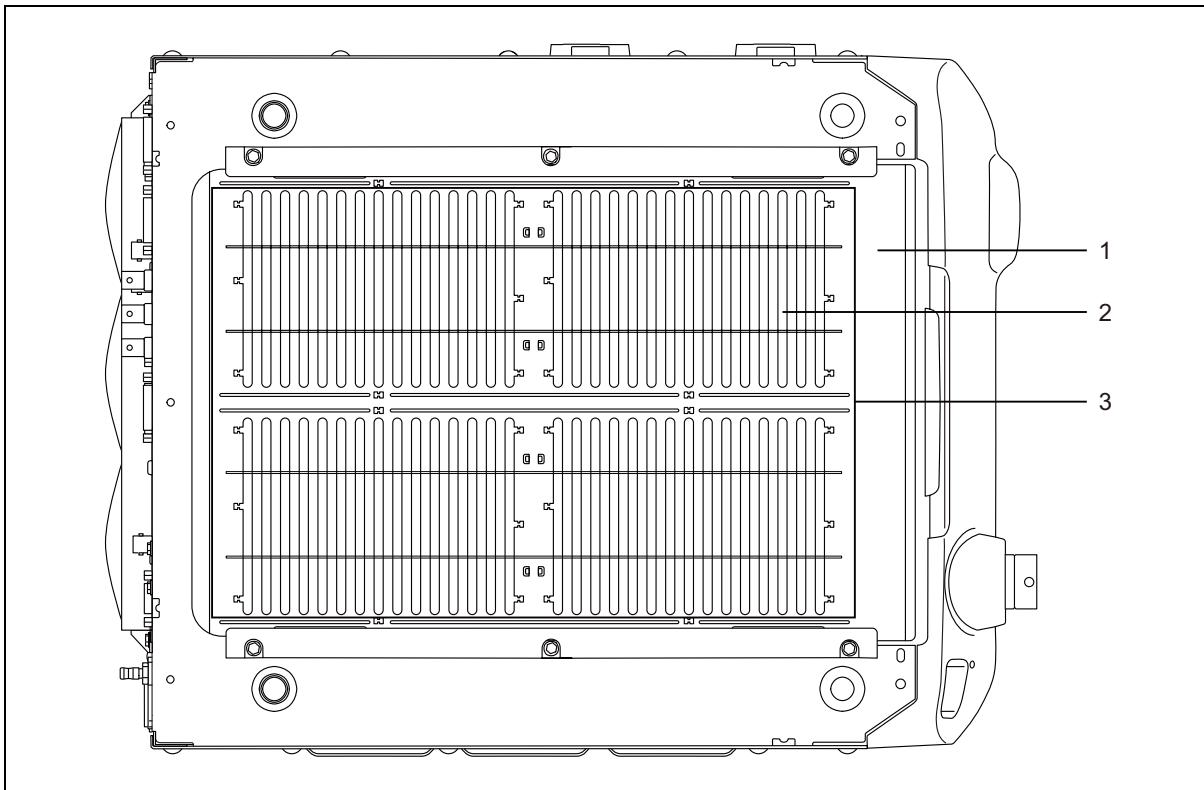
<右側面>



1. 通気口

通気口です。本製品の側面と壁の間を 17mm 以上あけてください。

3.4 底面



1. ルーバー

フィルターがセットされています。

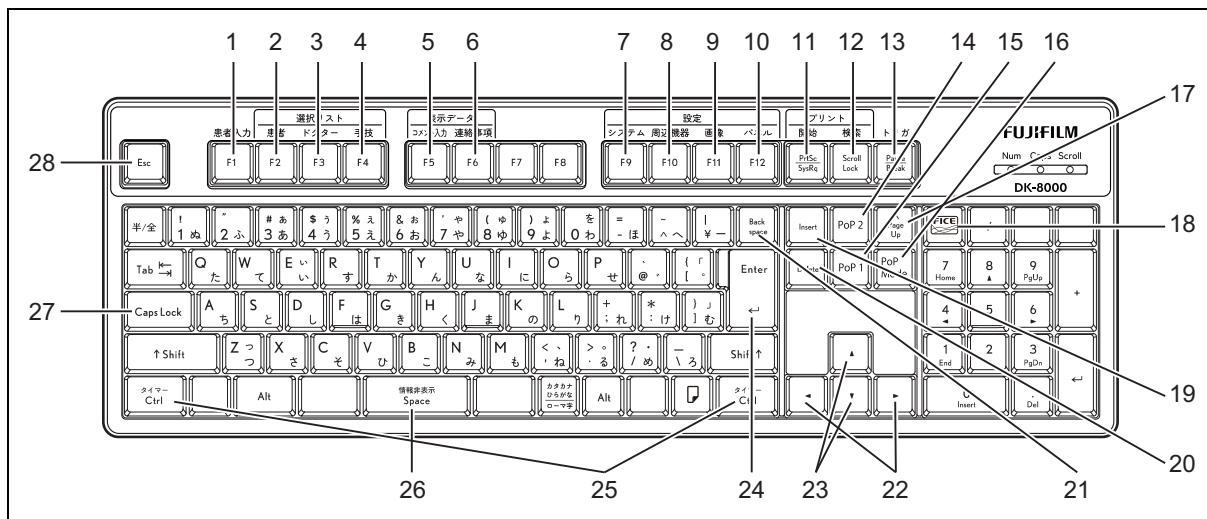
2. フィルター

内部へホコリの侵入を防ぐフィルターです。

3. 通気口

通気口です。

3.5 データキーボード



1. [患者入力] キー

患者情報入力画面を表示します。

<選択リスト>

2. [患者] キー

患者リスト画面を表示します。

3. [ドクター] キー

ドクターリスト画面を表示します。

4. [手技] キー

手技リスト画面を表示します。

<表示データ>

5. [コメント入力] キー

観察画面上でコメントを入力できる状態にします。

6. [連絡事項] キー

連絡事項リスト画面を表示します。

<設定>

7. [システム] キー

システム設定画面を表示します。

8. [周辺機器] キー

本製品と組み合わせて使用する周辺機器の選択・設定を行います。

9. [画像] キー

画像設定ページ画面を表示します。

10. [パネル] キー

主に、本製品の前面パネルに割り当てられた機能の初期設定を行います。

<プリント>

11. [開始] キー

プリントプレビュー表示されている、データのプリントを開始します。

12. [検索] キー

本体に保存されている画像を検索、プレビューすることができます。

<その他のキー>

13. [トリガー] キー

通常観察画面に静止画像が表示されているときにこのキーを押すと、画像が取り込まれます。

参考

- 画像が静止していないときにキーを押しても、画像は取り込まれません。

14. [PoP2] キー

PoP2 の表示 / 非表示を切り替えます。

15. [PoP1] キー

メイン画面エリアに内視鏡画像を表示する場合、PoP1 画像の表示 / 非表示を切り替えます
メイン画面エリアに超音波画像を表示する場合、「US 表示」で設定した画面に切り替えます。

➔ 「4.2.6 PoP タブ」

16. [PoP Mode] キー

PoP の観察画面の表示エリアを切り替えます。

17. [PageUp] キー

観察画面が表示され、FICE が「入」のときにこのキーを押すと、観察画面に現在の FICE セットを表示します。

➔ 「7.21 FICE の切り替え」

18. [FICE] キー

FICE を入／切します。

19. [Insert] キー

カーソル部分の文字またはデータを編集します。

- (1) 患者データのリストが表示されているとき：選択している患者データの編集画面を表示します。
- (2) ドクターネームのリストが表示されているとき：選択しているドクターネームの編集をします。
- (3) 手技名のリストが表示されているとき：選択している手技名の編集をします。
- (4) 連絡事項のリストが表示されているとき：選択している連絡事項の編集をします。

20. [Delete] キー

カーソル部分の文字またはデータを削除します。

- (1) 患者データのリストが表示されているとき：選択している患者データを削除します。
- (2) ドクターネームのリストが表示されているとき：選択しているドクターネームを削除します。
- (3) 手技のリストが表示されているとき：選択している手技名を削除します。
- (4) 連絡事項のリストが表示されているとき：選択している連絡事項を削除します。

21. [Backspace] キー

文字カーソルの前の文字を削除します。

22. [←]、[→] キー

リストの表示を切り替えます。

23. [↑]、[↓] キー

- (1) 設定項目の移動をします。
- (2) 電子ズームの倍率を切り替えます。

24. [Enter] キー

文字またはデータ入力後にこのキーを押すと、入力データを確定します。

また、観察画面にメッセージが表示されているときにこのキーを押すとメッセージを消去します。

サムネイル表示画面が表示されているときにこのキーを押すと、カーソル位置の画像を拡大表示します。

25. [タイマー Ctrl] キー

観察画面上のタイマーをスタート／ストップします。

参考

- ・本製品の取扱説明書では [Ctrl] キーと表記しています。

26. [情報非表示 Space] キー

このキーを押すと、「画面表示切替」で設定した、観察画面の情報の表示／非表示が切り替わります。

➔「4.2.7 表示タブ」

非表示にした場合、「」アイコンを表示します。

➔「3.9.3 情報非表示」

また、プリントプレビュー表示の画面で、プリントする画像を選択します。

参考

- ・「画面表示切替」は、「無効」にすることができます。サービスマンが設定します。
- ・本製品の取扱説明書では [Space] キーと表記しています。

27. [Caps Lock] キー

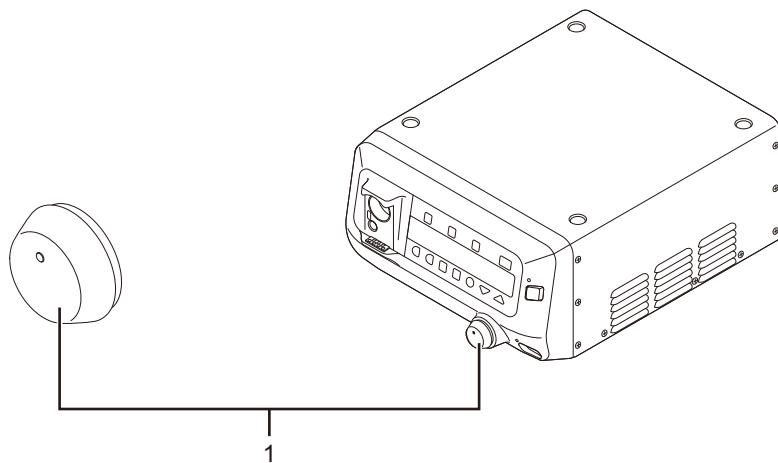
このキーを押すたびに大文字と小文字が切り替わります。

カナ入力のときにこのキーを押すと、カナをローマ字入力します。

28. [Esc] キー

データ入力時にこのキーを押すと、一つ前の状態または観察画面に戻ります。

3.6 ソケット保護キャップ



1. 電気コネクターソケット用ソケット保護キャップ

L600 システムスコープまたは L580 シリーズスコープ、600 システムスコープ、580 シリーズスコープ、530 シリーズスコープを接続していないときに装着します。

参考

- 700 システムスコープまたは 800 システムスコープを使用する場合は、常に保護キャップを装着してください。

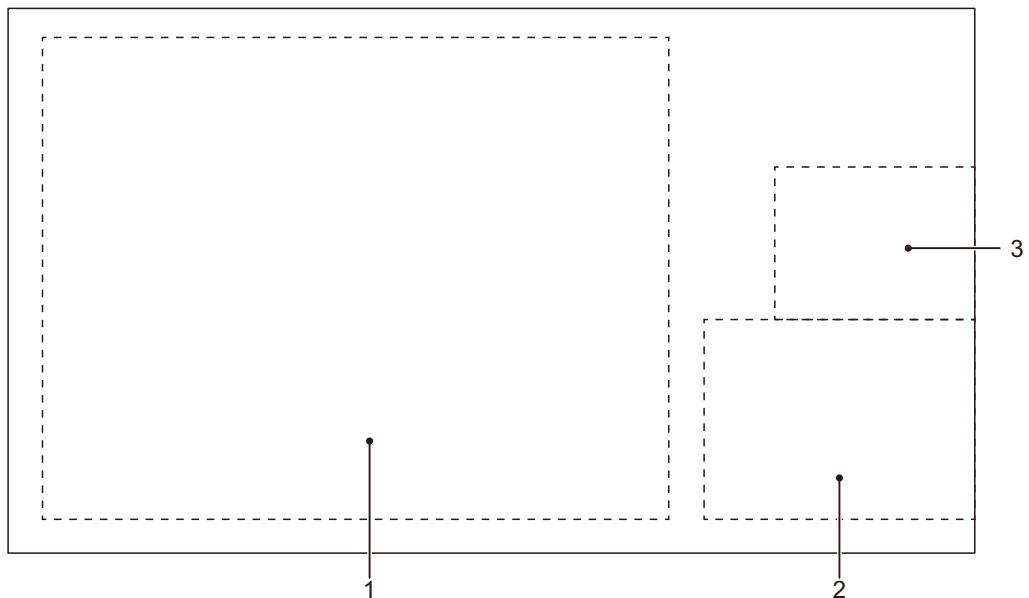
3.7 表示マーク

記号	意味
	製造番号
	製造日
	機器固有識別子
	(青) 取扱説明書参照
	BF形装着部
	交流
	ヒューズ
	等電位化端子
	スコープコネクターソケット
	電気コネクターソケット
	(黄) Optical radiation 警告
	RF 電磁エネルギー

3.8 観察画面の表示について

3.8.1 画面エリア

本製品の観察画面のエリアを下記に示します。



1. メイン画面エリア

2. サブ画面エリア 1

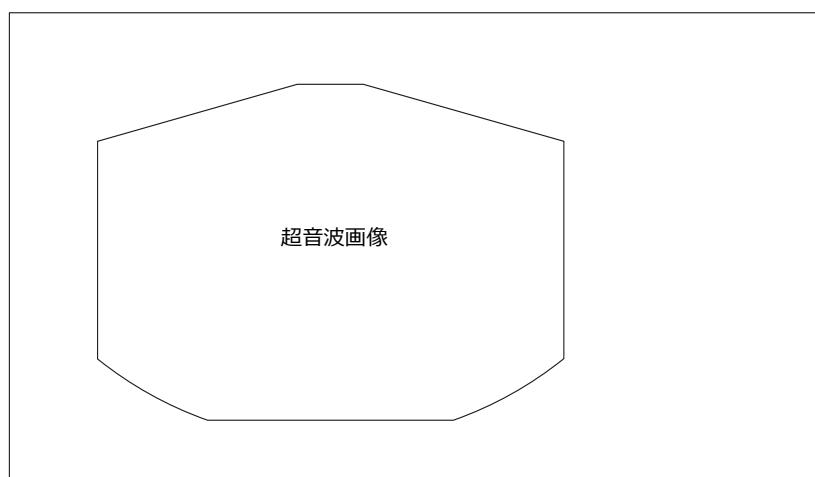
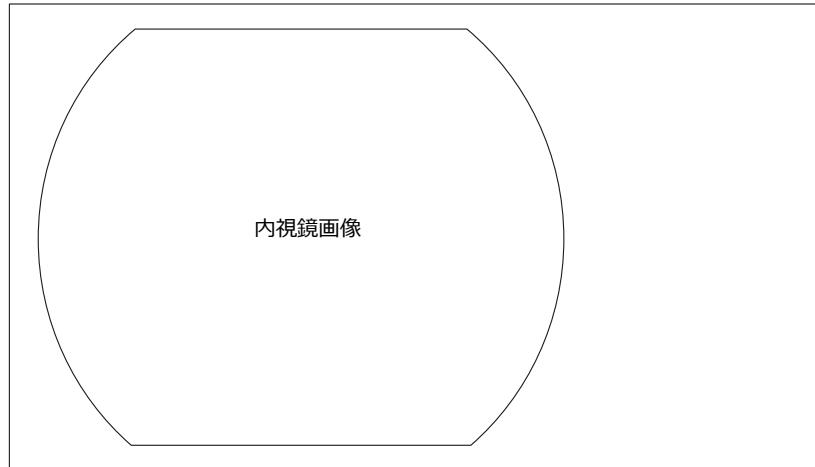
3. サブ画面エリア 2

3.8.2 観察画面の画像の種類

観察画面の画像として、内視鏡画像と超音波画像を表示します。
超音波画像の表示は、PoP（周辺機器画像の表示）を使用します。

→「3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）」

→「4.2.4 切替タブ」



3.8.3 マスクタイプ

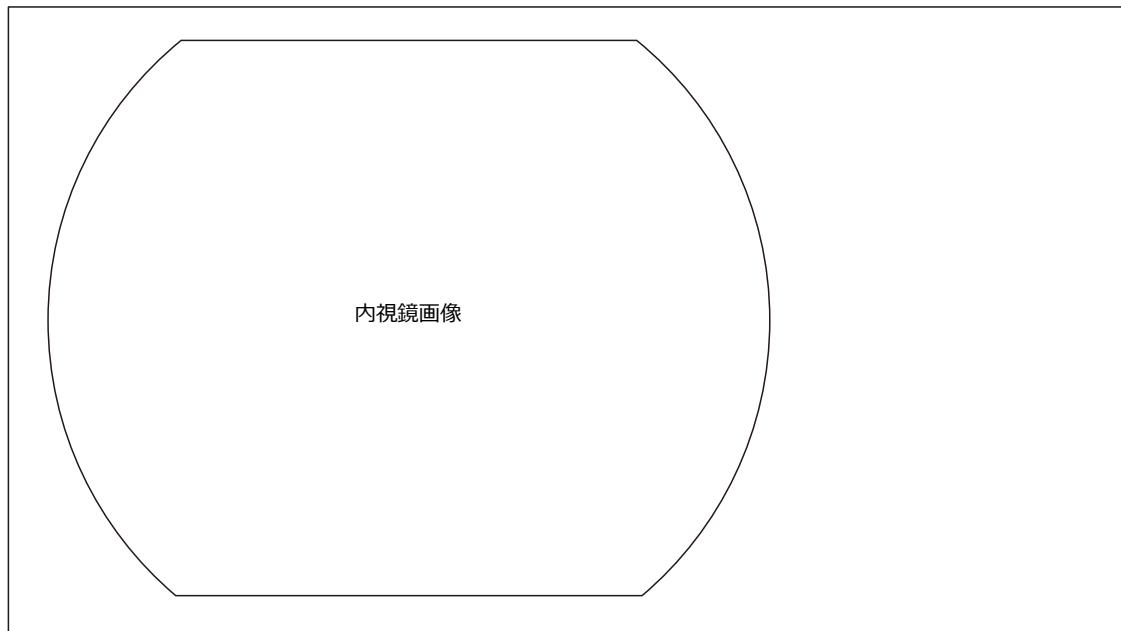
マスクタイプを変更すると、観察画面の内視鏡画像表示が変わります。

➔「4.2.4 切替タブ」

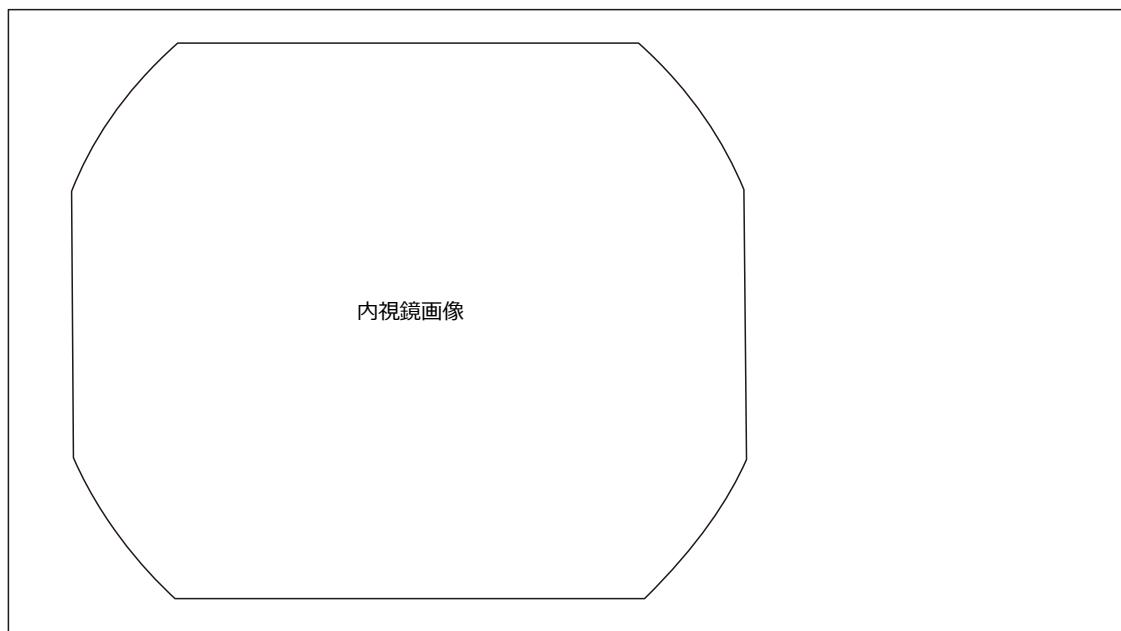
参考

- 内視鏡の一部の機種ではマスクタイプ：タイプ2を選択することができません。詳しくは営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

<マスクタイプ：タイプ1>



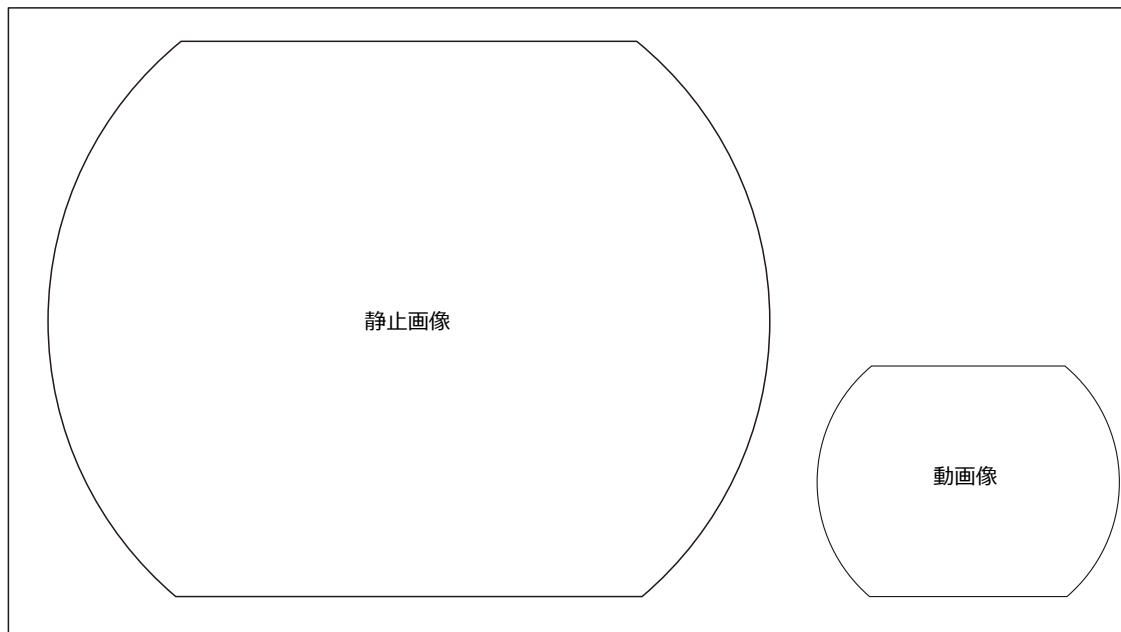
<マスクタイプ：タイプ2>



3.8.4 PinP

F/T（フリーズ／トリガー）、F+T（フリーズ+トリガー）、FRZ（フリーズ）、シングルトリガーを割り当てたスイッチを押すとメイン画面エリアに静止画像、サブ画面エリア1に動画像が表示されます。

静止が解除されると、メイン画面エリアが動画像に戻ります。



3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）

背面パネルの DVI-D IN 端子と、3G-SDI IN 端子に接続された周辺機器の画像を観察画面に表示します。

内視鏡画像と同時に、周辺機器の画像を表示することができます。

→「7.30 PoP（周辺機器画像の表示）の切り替え」

警 告

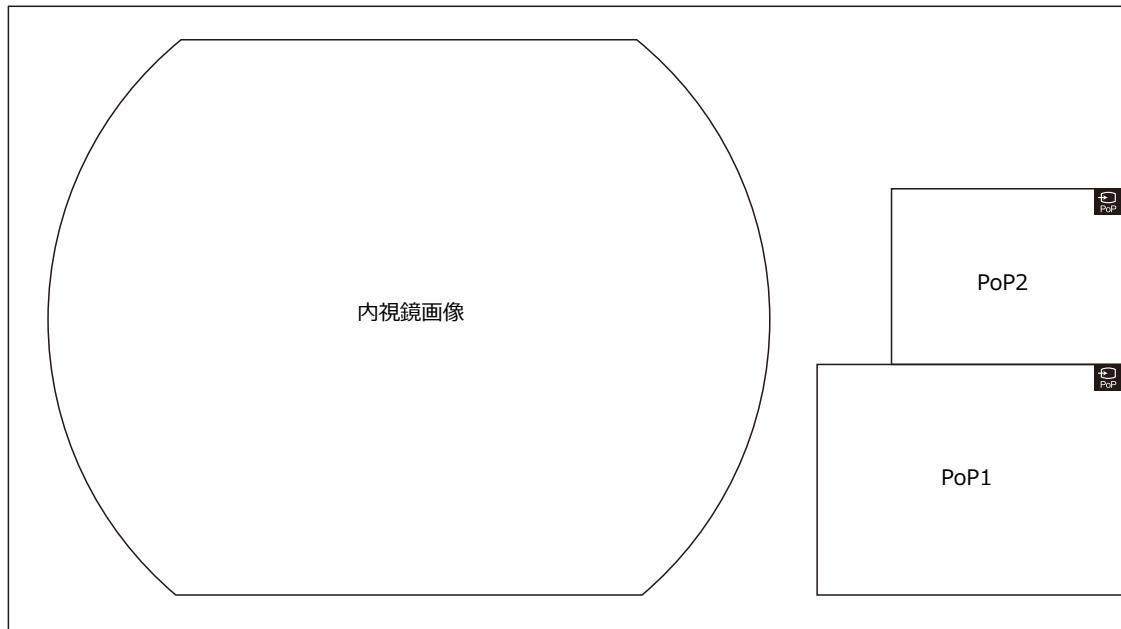
- 内視鏡による診断、処置はメイン画面エリアに内視鏡画像を表示させてください。内視鏡の挿入部が患者の体腔を圧迫し損傷するおそれがあります。
- 検査中、処置中に超音波画像、PoP1 画像、PoP2 画像の異常があった場合は、メイン画面エリアを内視鏡画像に切り替えてください。

< メイン画面エリア：内視鏡画像 >

背面パネル端子に接続された周辺機器の画像は、下記のエリアに表示されます。

画像種類	入力端子	画面エリア	PoP 設定	接続機器
PoP1 画像	DVI-D IN	サブ画面エリア 1	PoP1	周辺機器
PoP2 画像	3G-SDI IN	サブ画面エリア 2	PoP2	周辺機器

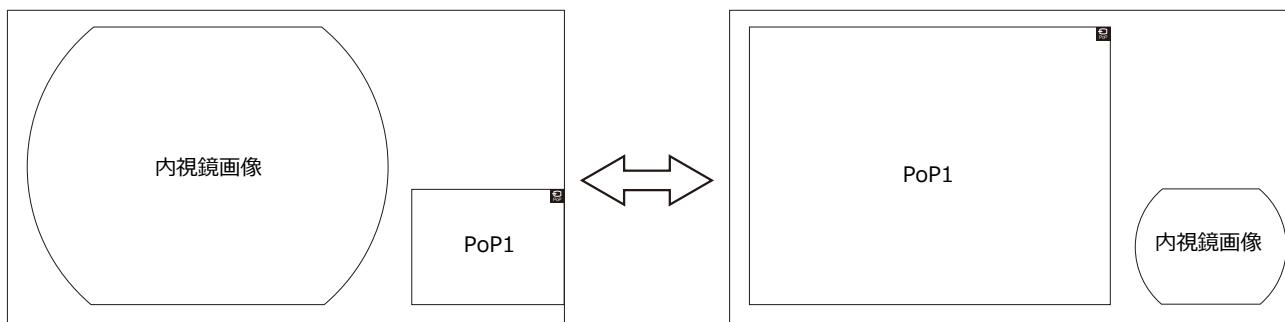
PoP1 および PoP2 画像には、右上に外部入力画像を示すアイコン  と枠が表示されます。内視鏡画像ではなく外部入力画像であることを理解した上で使用してください。



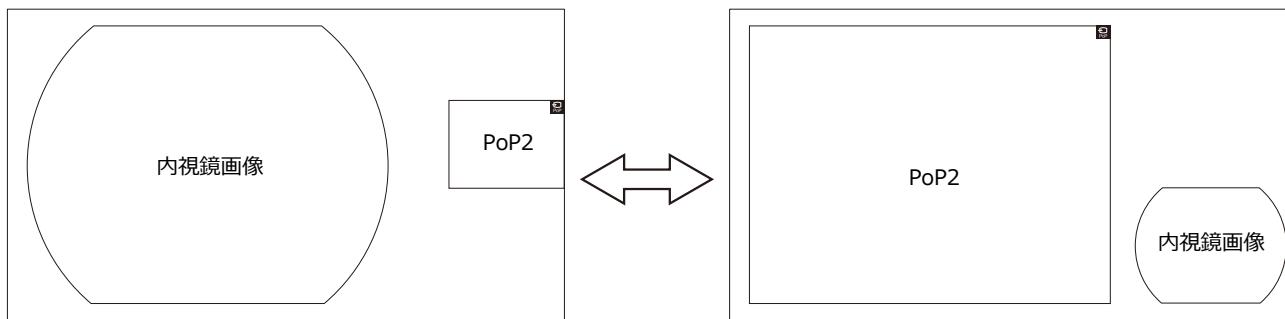
メイン画面エリアに、PoP1 または PoP2 画像を表示させることができます。

[PoP Mode] キーまたは PoP Mode の機能を割り当てたボタンを操作することで、以下のように画面表示を変更することができます。

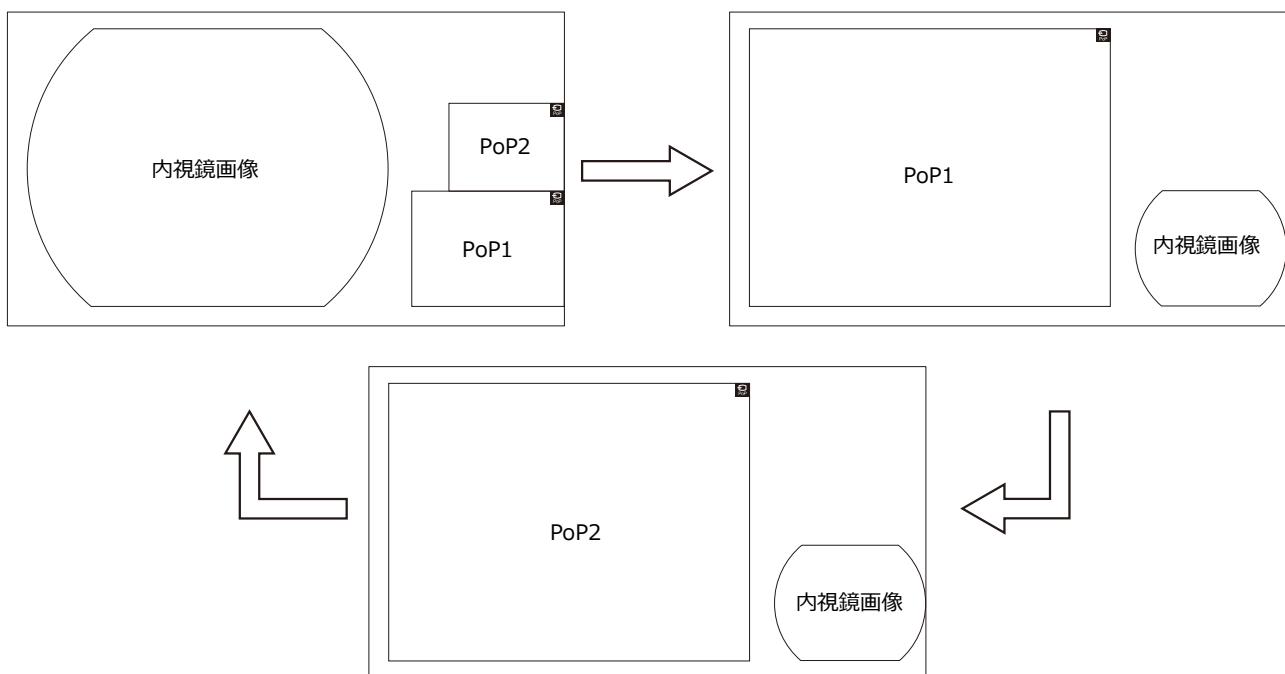
例 1) PoP1 画像のみ表示している場合



例 2) PoP2 画像のみ表示している場合



例 3) PoP1 画像および PoP2 画像を表示している場合



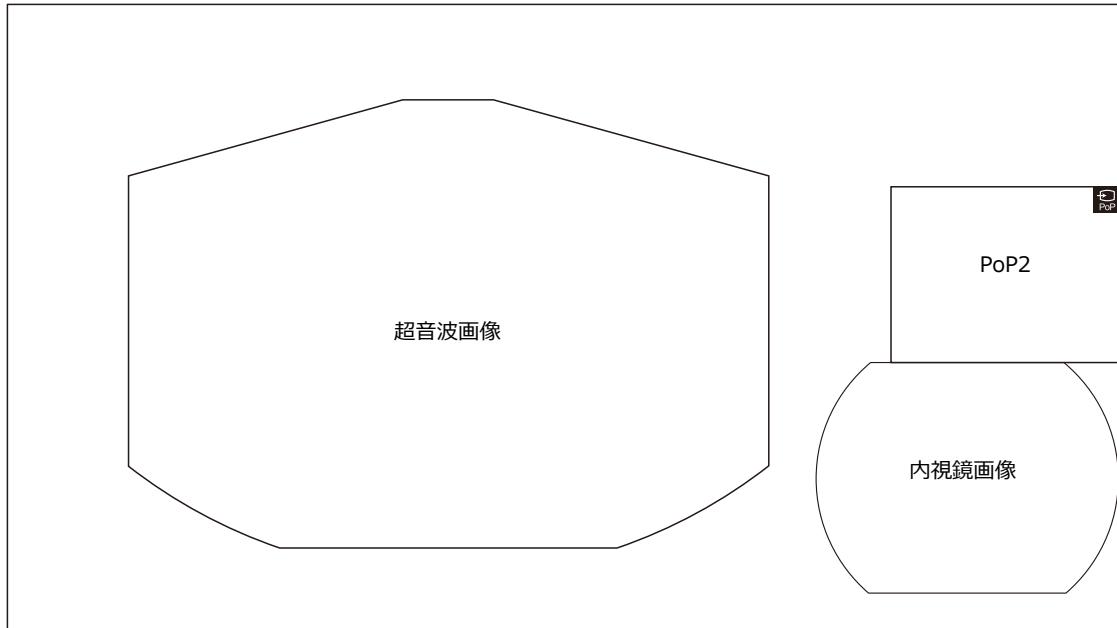
< メイン画面エリア：超音波画像と内視鏡画像 >

背面パネル端子に接続された超音波観測装置と周辺機器の画像は、下記のエリアに表示されます。

画像種類	入力端子	画面エリア	PoP 設定	接続機器
超音波画像	DVI-D IN	メイン画面エリア	PoP1	超音波観測装置
PoP2 画像	3G-SDI IN	サブ画面エリア 2	PoP2	周辺機器

内視鏡画像は、サブ画面エリア 1 に表示することができます。

PoP2 画像には、右上に外部入力画像を示すアイコン  と枠が表示されます。内視鏡画像ではなく外部入力画像であることを理解した上で使用してください。

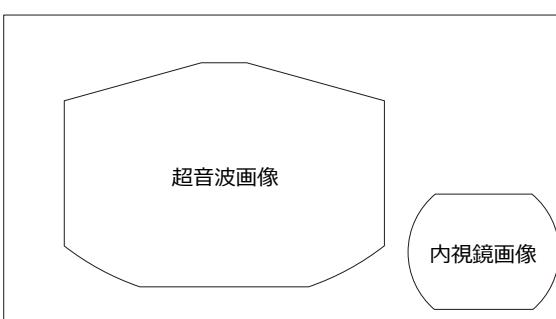
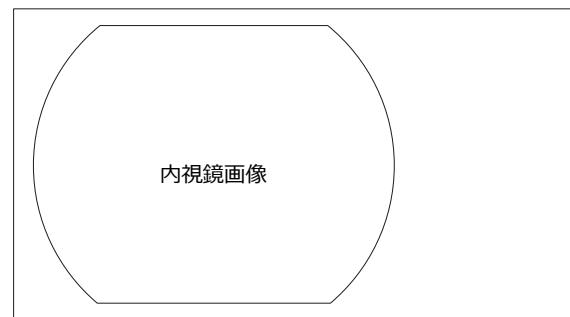
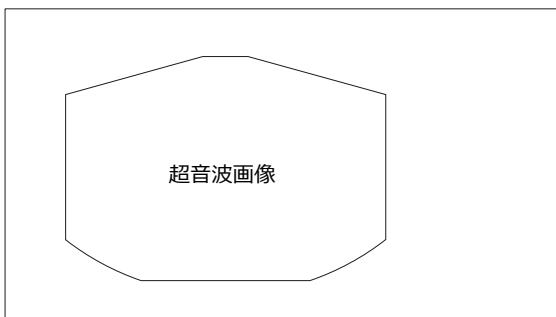


参考

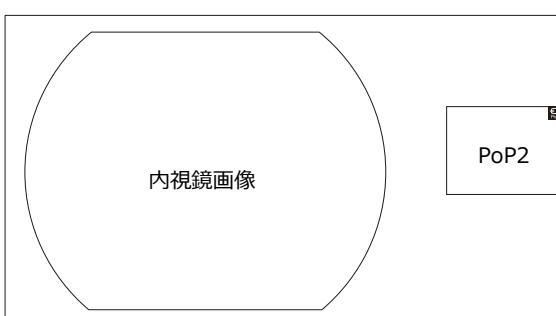
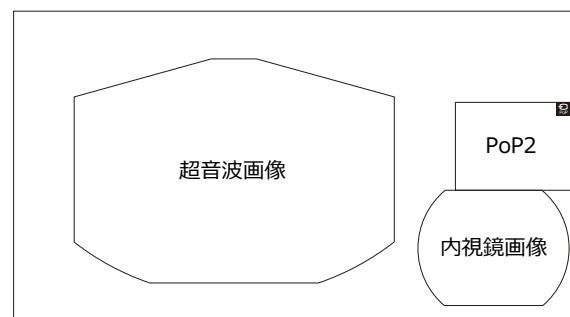
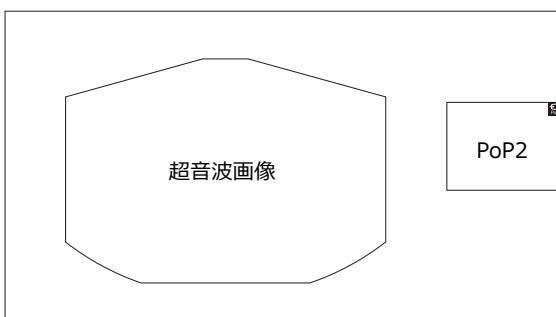
- 超音波画像を拡大して表示することが可能です。設定はサービスマンが行います。

[PoP1] キーまたは PoP1 の機能を割り当てたボタンを操作することで、以下のように画面表示を変更することができます。

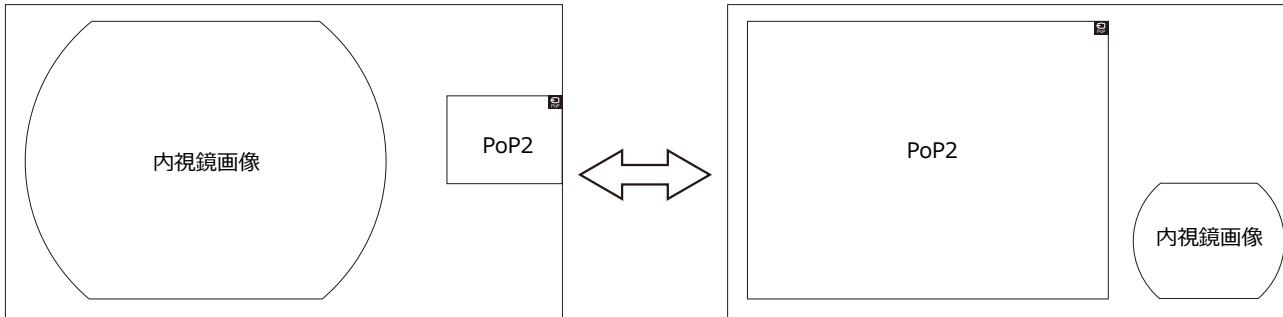
→ 「5.5.2 PoP（周辺機器画像の表示）機能の設定」



[PoP2] キーまたは PoP2 の機能を割り当てたボタンを操作することで、PoP2 画像を表示することができます。



メイン画面エリアに内視鏡画像が表示されている場合は、[PoP Mode] キーまたは PoP Mode の機能を割り当てたボタンを操作することで、以下のように画面表示を変更することができます。



3.8.6 マルチオブザベーション

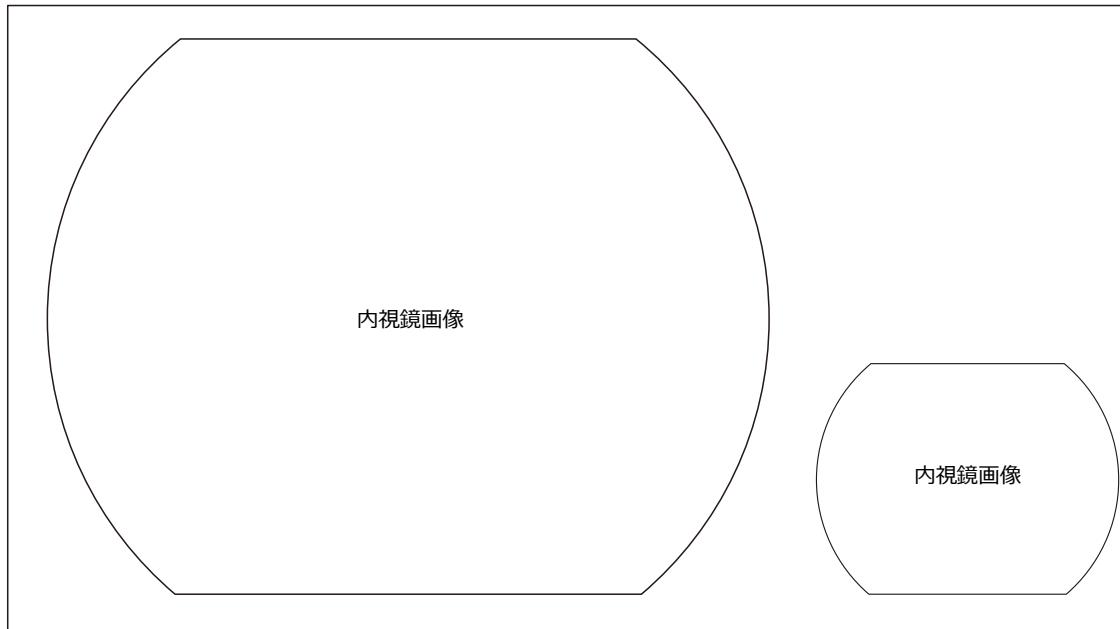
画像フレームごとに異なる観察モードを切り替えて、画像処理を行います。

メイン画面エリアとサブ画面エリア 1 に内視鏡画像を表示することができます。

参考

- マルチオブザベーション機能は、マルチオブザベーションモードに対応した 860／840 シリーズスコープのみ使用可能です。

➔ 「4.2.7 表示タブ」

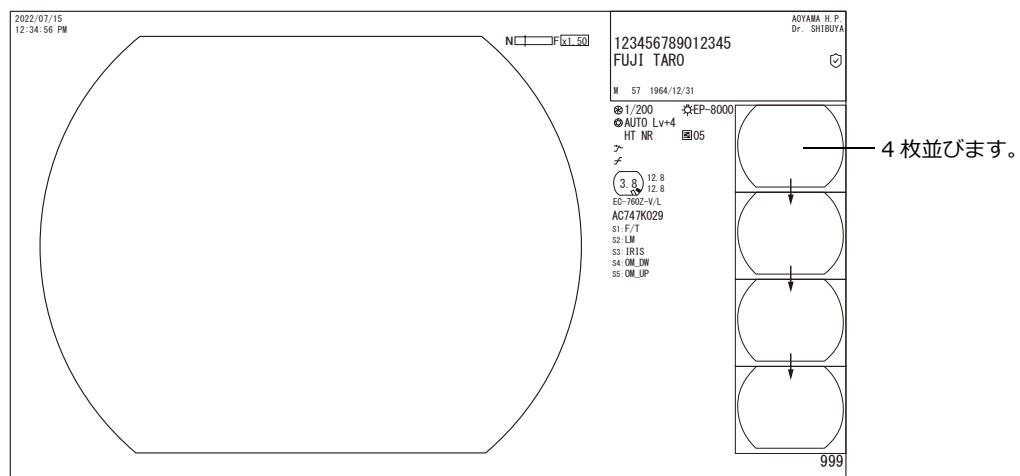
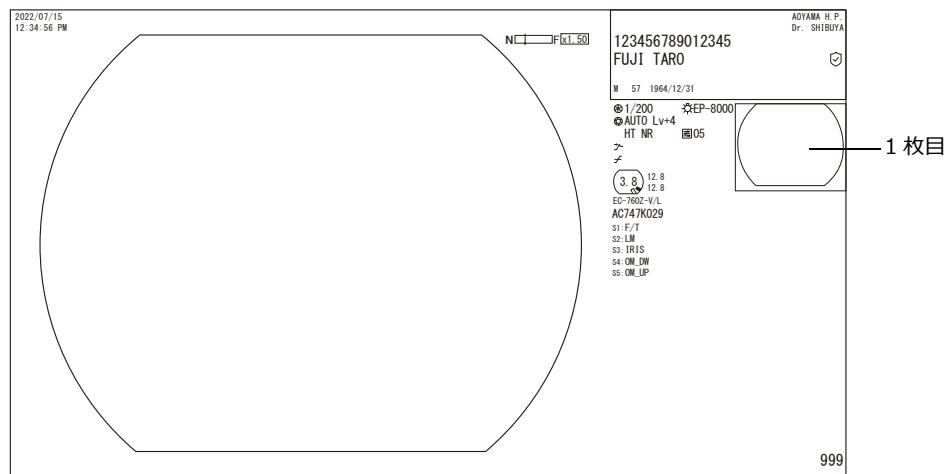


3.8.7 インデックス

直近に内部メモリーに記録されたインデックス画像を4枚表示します。

4枚のうち、一番上に表示されたインデックス画像が最新の記録画像になります。撮影する度に1コマづつ下に下がります。

→「5.5.3 インデックス画像の表示」

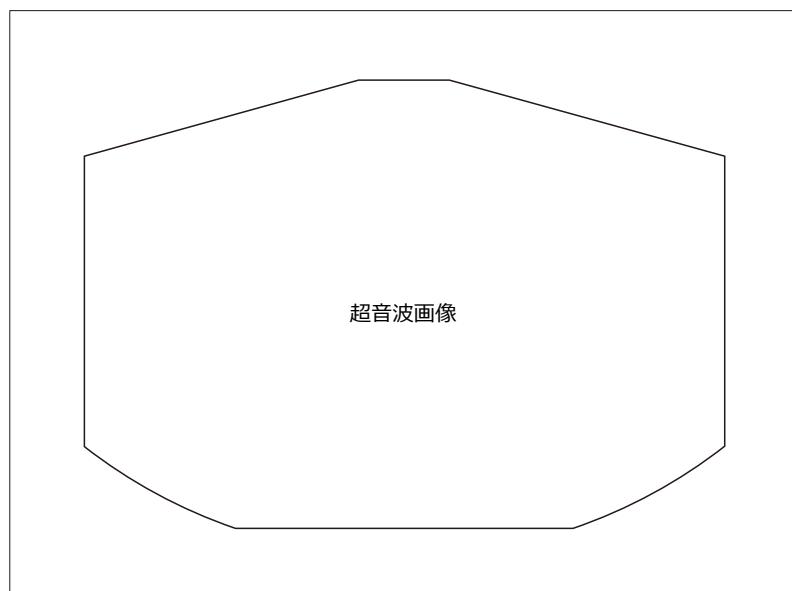


3.8.8 ビデオ出力画像

RGB TV 端子またはビデオ端子に接続しているモニターに表示される画像です。観察画面のメイン画面エリアに表示されている画像に合わせ、内視鏡画像または超音波画像が表示されます。

参考

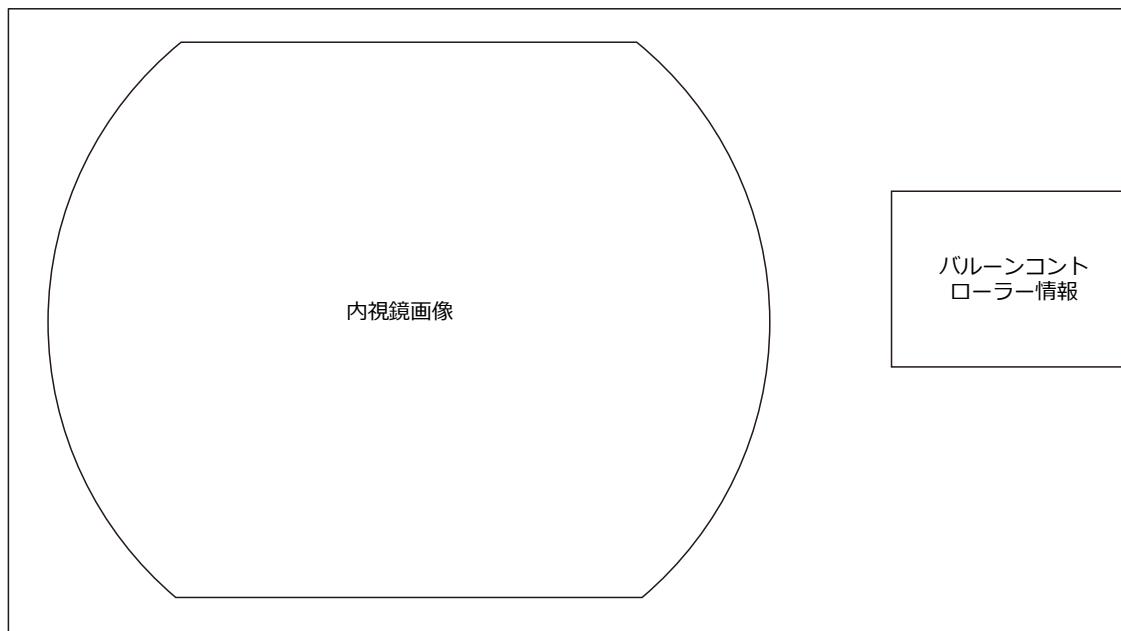
- NTSC/PAL に設定された RGB TV 端子、ビデオ端子に接続しているモニターの画面は、主観察画面としては使用しないでください。
- 使用するモニターによっては、画面の周辺が表示されない場合があります。そのときはモニターの設定を「アンダースキャン」にしてご使用ください。



3.8.9 バルーンコントローラー

本製品とバルーンコントローラーを接続し、バルーンコントローラーのチューブコネクターに接続された内視鏡またはオーバチューブのバルーンの状態を観察画面のサブ画面エリア2に表示します。

観察画面のメイン画像エリアに内視鏡画像が表示されて、サブ画面エリア2のPoP2画像が表示されていない場合に、バルーンコントローラー情報が表示されます。バルーンコントローラーを表示すると、インデックスは表示されません。

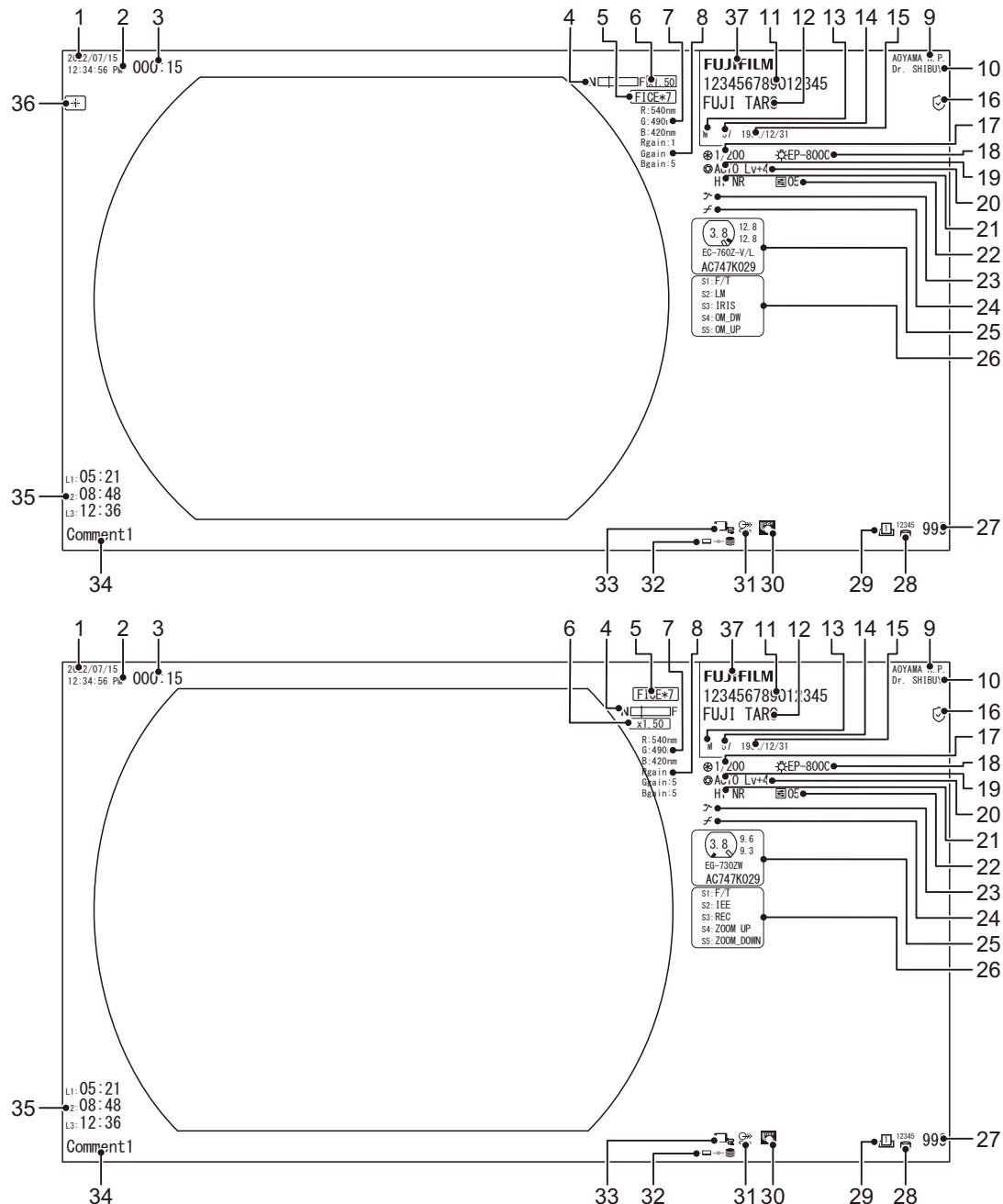


3.9 観察画面の情報について

内視鏡画像に表示される情報は、設定によって異なります。設定は、サービスマンが行います。
超音波画像に表示される情報は、超音波観測装置の取扱説明書を参照してください。

3.9.1 基本の表示

情報を表示する位置の違いにより、2種類の観察画面があります。内視鏡の機種により、以下のいずれかの画面が表示されます。



1. 日付
2. 時刻
3. タイマー
4. フォーカスメーター

光学ズームスコープ接続時に表示されます。
5. 観察モード

特殊光観察モードでは「BLI」、「BLI-brt」、「LCI」および「ACI」。
分光画像処理機能では「FICE」と表示されます。
6. 電子ズーム拡大率

$\times 1.00 \sim \times 2.00$ 、または $\times 1.00 \sim \times 1.75$ の 0.05 ステップです。

参考

 - 一部の 530 シリーズスコープの倍率は、 $\times 1.00 \sim \times 1.95$ の範囲です。
7. FICE セット R,G,B 表示成分

FICE を「入」にした状態で [PageUp] キーを押すと、FICE セットを表示します。再度 [PageUp] キーを押すと FICE セットの表示は消えます。
R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめる波長を、400 ~ 695nm の範囲で 5nm ごとに設定できます。

➔ 「7.21 FICE の切り替え」
8. FICE セット R,G,B ゲインレベル

FICE を「入」にした状態で [PageUp] キーを押すと、FICE セットを表示します。再度 [PageUp] キーを押すと FICE セットの表示は消えます。
R,G,B 表示成分の強度を調整し、表示色を変更することができます。
R,G,B それぞれのゲインレベルを 1 ~ 5 の 5 段階で変更できます。値が大きいほどそれぞれの色調を強く表示することができます。

➔ 「7.21 FICE の切り替え」
9. 病院名
10. 医師名
11. 患者 ID または検査番号

患者 ID と検査番号のどちらを表示するかはサービスマンが設定します。
12. 患者名
13. 性別

14. 年齢

15. 生年月日

16. ログイン

装置へログインすると表示されます。

➔ 「7.6 セキュリティの設定」

17. シャッタースピード

➔ 「7.24 シャッタースピードの切り替え」

18. 光源装置

使用している光源装置名称を表示します。

光源装置の前面パネルの光量制限ボタンを押して光量制限機能を入にすると、光源装置名称が緑で表示されます。

19. 測光モード

➔ 「7.25 測光モードの切り替え」

20. 明るさレベル

明るさ調節ボタンで光量の調整をした際の明るさレベルを表示します。

21. ハイパートーンとノイズリダクション

ハイパートーン（HT）と、ノイズリダクション（NR）の設定によって、次の文字色で表示されます。（（ ）内は設定値）

非表示（設定なし）、白（弱）、緑（中）、黄（強）
設定はサービスマンが行います。

22. 画像設定ページ

23. 構造強調

➔ 「7.20 構造強調の切り替え」

24. 色彩強調

➔ 「7.22 色彩強調の切り替え」

25. スコープ情報

スコープタイプまたはスコープシリアル、鉗子口最小径、先端部外径、軟性部外径が表示されます。

接続する内視鏡によっては情報が表示されない場合もあります。

➔ 「3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて」

26. スイッチ設定

スコープスイッチに割り当てられている機能を表示します。

➔ 「4.2.9 スコープタブ <スコープスイッチの設定>」

27. 撮影枚数カウンター

28. メモリー記録枚数

内部メモリーにアクセス中は表示が点滅します。点滅中は電源を切らないでください。

29. プリンター状態

プリンターの設定を下記のように表示します。(デジタルプリンターのみ)

プリンター使用時 :

メモリー状況 : 1 ~

未使用 : 表示ナシ

30. バルーンコントローラー

バルーンコントローラとの接続状態を表示します。

接続中 :

未接続 :

31. 内視鏡用炭酸ガス送気装置

内視鏡用炭酸ガス送気装置の状態を表示します。

通信不可 :

CO₂ OFF :

CO₂ ON (Low) :

CO₂ ON (Normal) :

32. DICOM サーバー接続状態 または FTP サーバー接続状態

DICOM サーバーとの接続状態を表示します。

ST : (ストレージ) 画像の保存状況

MWM : ワークリストの接続状況

MPPS : MPPS (検査の進捗状況)

FTP サーバーとの接続状態を表示します。

FTP 初期状態 :

FTP 通信成功 :

FTP 通信中 :

FTP 通信異常 :

33. タブレット

タブレットとの接続状態を表示します。

接続準備中 :

接続待機中 :

接続状態 :

操作禁止状態 :

34. 手技またはコメント

35. ラップタイム

36. 赤色レーザ光

赤色レーザ光が照射されると表示します。

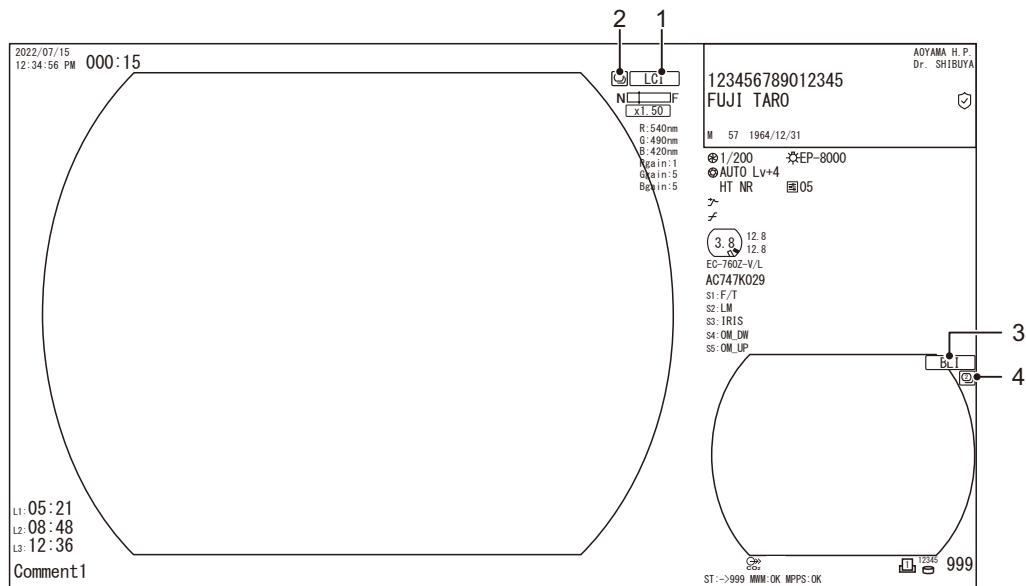
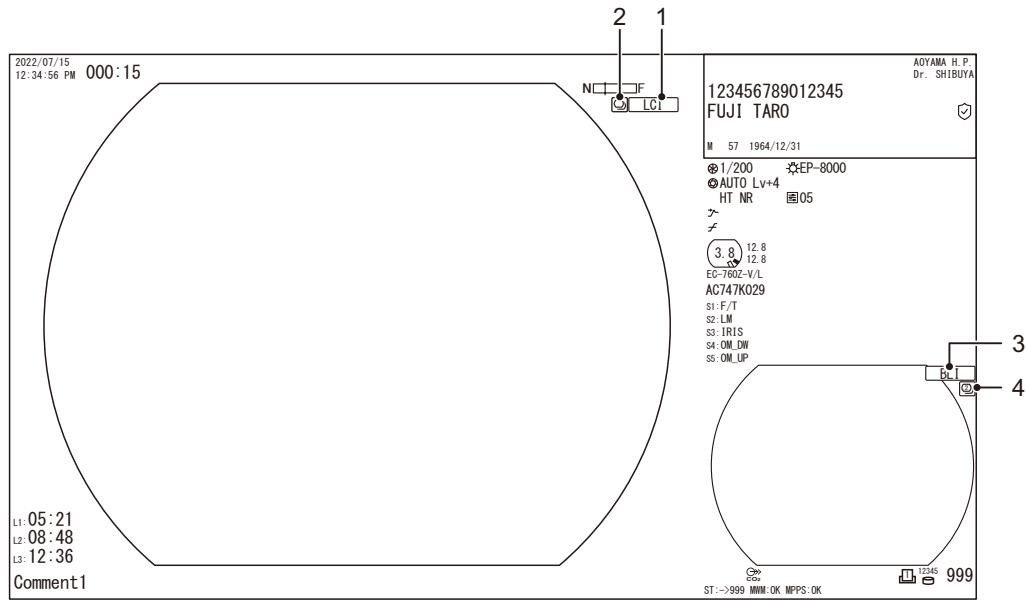
37. コーポレートブランドロゴ

コーポレートブランドロゴを表示します。

設定はサービスマンが行います。

3.9.2 マルチオブザベーションモード時

情報を表示する位置の違いにより、2種類の観察画面があります。内視鏡の機種により、以下のいずれかの画面が表示されます。



1. 観察モード（メイン画面エリア）

特殊光観察モードでは「BLI」、「BLI-brt」、「LCI」および「ACI」と表示されます。

2. マルチオブザベーション画像種別（メイン画面エリア）

マルチオブザベーションモード時に表示します。

Ⓐ: 主観察画像

3. 観察モード（サブ画面エリア1）

サブ画面エリア1の観察モードを表示します。

参考

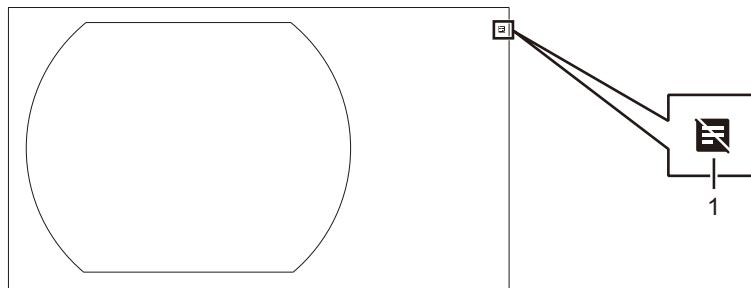
- ・単色発光モードでは、モード名は表示されません。

4. マルチオブザベーション画像種別（サブ画面エリア1）

マルチオブザベーションモード時に表示します。

Ⓑ: 副観察画像

3.9.3 情報非表示



1. 観察画面情報非表示

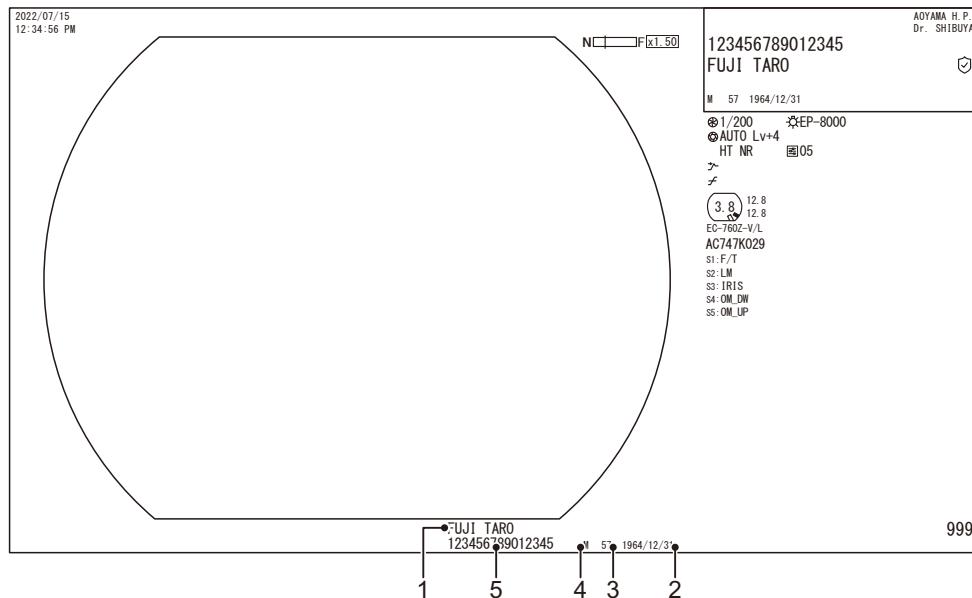
[Space] キーを押して観察画面情報を非表示にした場合に、表示します。

→「4.2.7 表示タブ」

3.9.4 情報追加

観察画面のメイン画面エリアの下に、患者情報を表示できます。

➔「4.2.7 表示タブ」



1. 患者名
2. 生年月日
3. 年齢
4. 性別
5. 患者 ID または検査番号

患者 ID と検査番号のどちらを表示するかはサービスマンが設定します。

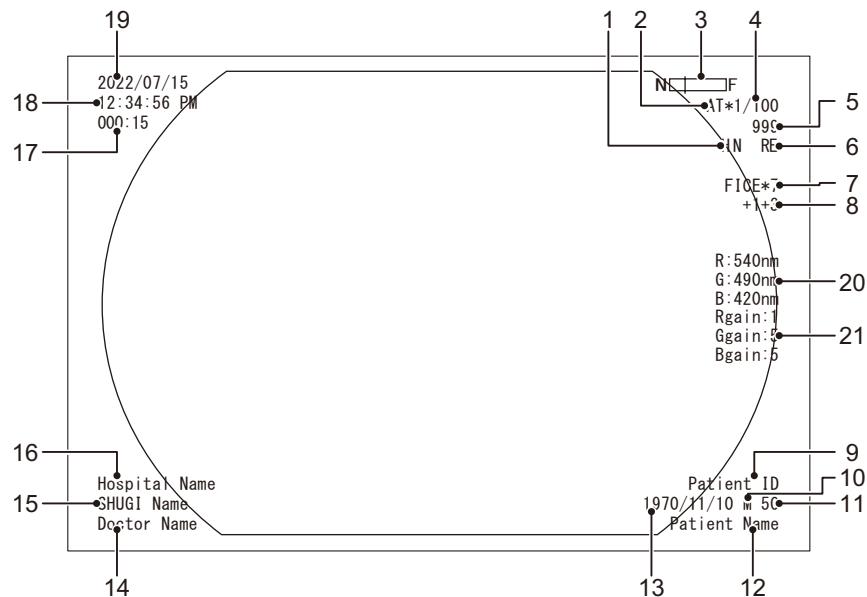
3.9.5 ビデオ出力画像の表示

超音波画像に表示される情報は、超音波観測装置の取扱説明書を参照してください。

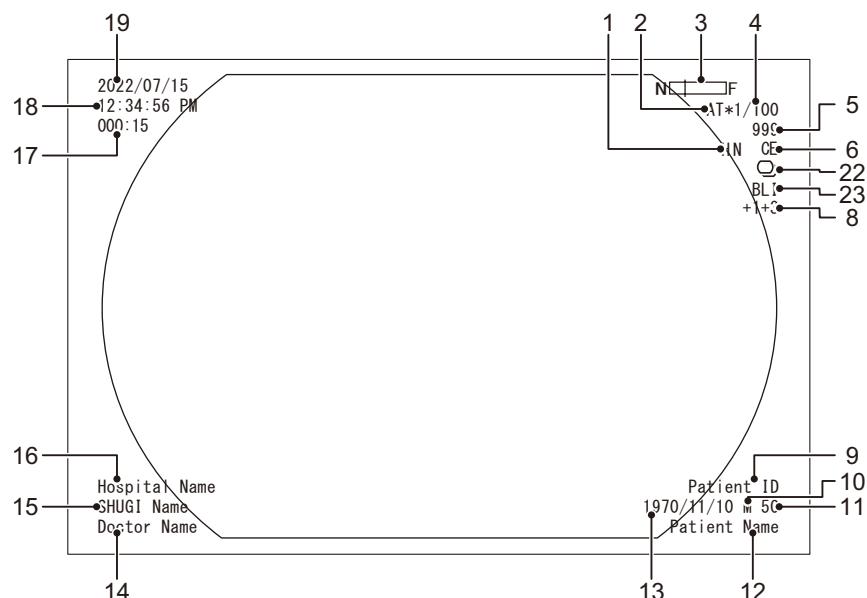
参考

- NTSC/PAL に設定された RGB TV 端子、ビデオ端子に接続しているモニターの画面は、主観察画面としては使用しないでください。
- 使用するモニターによっては、画面の周辺が表示されない場合があります。そのときはモニターの設定を「アンダースキャン」にしてご使用ください。

<通常光観察モードの場合>



<特殊光観察モードの場合>



1. ハイパートーンとノイズリダクション

ハイパートーン (H) と、ノイズリダクション (N) の設定によって、次の文字色で表示されます。(()) 内は設定値

非表示 (設定なし)、白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)
設定はサービスマンが行います。

2. 測光モード

AT/ 白 (オート)、PK/ 緑 (ピーク)、AV/ 緑 (平均)

➔ 「7.25 測光モードの切り替え」

3. フォーカスメーター

光学ズームスコープ接続時に表示されます。

4. シャッタースピード

➔ 「7.24 シャッタースピードの切り替え」

5. 撮影枚数カウンター

6. 色彩強調

RE : 非表示 (設定なし)、白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

CE : 非表示 (設定なし)、白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

➔ 「7.22 色彩強調の切り替え」

7. FICE

分光画像処理機能 (FICE)

参考

• 特殊光観察モード (BLI・BLI-bright・LCI・ACI) では FICE は使用できません。

➔ 「7.21 FICE の切り替え」

8. 構造強調

➔ 「7.20 構造強調の切り替え」

9. 患者 ID または検査番号

患者 ID と検査番号のどちらを表示するかはサービスマンが設定します。

10. 性別

11. 年齢

12. 患者名

13. 生年月日

14. 医師名

15. 手技またはコメント

16. 病院名

17. タイマー

18. 時刻

19. 日付

20. R,G,B 表示成分

R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめる波長を、400～695nm の範囲で 5nm ごとに設定できます。

→「7.21 FICE の切り替え」

21. R,G,B ゲインレベル

R,G,B 表示成分の強度を調整し、表示色を変更することができます。

R,G,B それぞれのゲインレベルを 1～5 の 5 段階で変更できます。値が大きいほどそれぞれの色調を強く表示することができます。

→「7.21 FICE の切り替え」

22. マルチオブザベーションモード画像

マルチオブザベーションモード時に表示します。

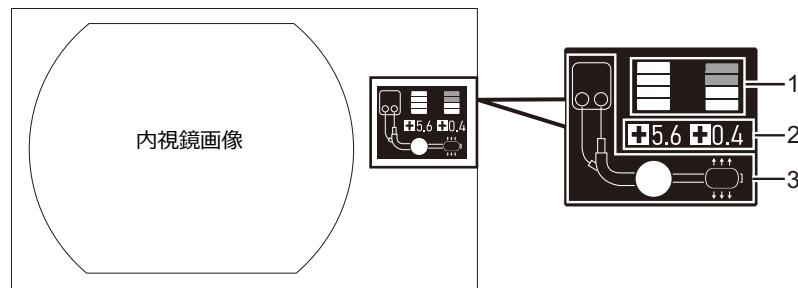
○：主観察画像

23. 観察モード

特殊光観察モードでは「BLI」、「BLI-brt」、「LCI」および「ACI」と表示されます。

3.9.6 バルーンコントローラー情報の表示

本製品とバルーンコントローラーを接続し、バルーンコントローラーのチューブコネクターに接続された内視鏡またはオーバチューブのバルーンの状態を観察画面のサブ画面エリア2に表示します。



1. インジケーター

オーバチューブ及び内視鏡のバルーンの状態を圧力インジケーターで表示します。

オーバチューブ：左側アイコン

内視鏡：右側アイコン

インジケーターは圧力の状態に応じて、5段階で表示されます。



(濃いグレー色) ~ -6.0kPa



(濃いグレー色) -5.9kPa ~ -2.1kPa

(薄いグレー色)



(濃いグレー色) -2.0kPa ~ +1.7kPa

(薄いグレー色)



(濃いグレー色) +1.8kPa ~ +5.5kPa

(薄いグレー色)



(白色) +5.6kPa ~ +8.1kPa



(橙色) +8.2kPa ~

参考

- ・バルーンコントローラーのバルーンスイッチ1が切になっている場合（送排気を停止しているとき）は、送排気を停止しているオーバチューブのバルーンの圧力インジケーターは表示されません。
- ・バルーンコントローラーのバルーンスイッチ2が切になっている場合（送排気を停止しているとき）は、送排気を停止している内視鏡のバルーンの圧力インジケーターは表示されません。

2. 圧力数値

オーバチューブ及び内視鏡のバルーンの状態を圧力数値で表示します。

オーバチューブ：左側アイコン

内視鏡：右側アイコン

表示色

負圧～ +8.1kPa：白色

+8.2kPa～：橙色

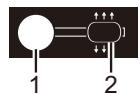
+9.3kPa以上では、FFFと表示されます。

参考

- バルーンコントローラーのバルーンスイッチ1が切になっている場合（送排気を停止しているとき）は、送排気を停止しているオーバチューブのバルーンの圧力数値は表示されません。
- バルーンコントローラーのバルーンスイッチ2が切になっている場合（送排気を停止しているとき）は、送排気を停止している内視鏡のバルーンの圧力数値は表示されません。

3. グラフィック表示

オーバチューブ及び内視鏡のバルーンの状態をグラフィックで表示します。



1. オーバチューブ側バルーン
2. 内視鏡側バルーン

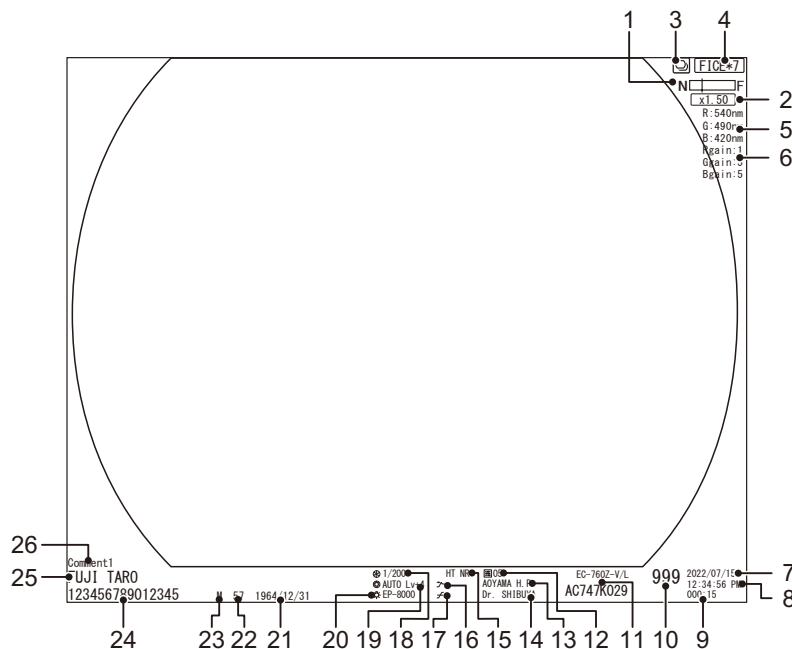
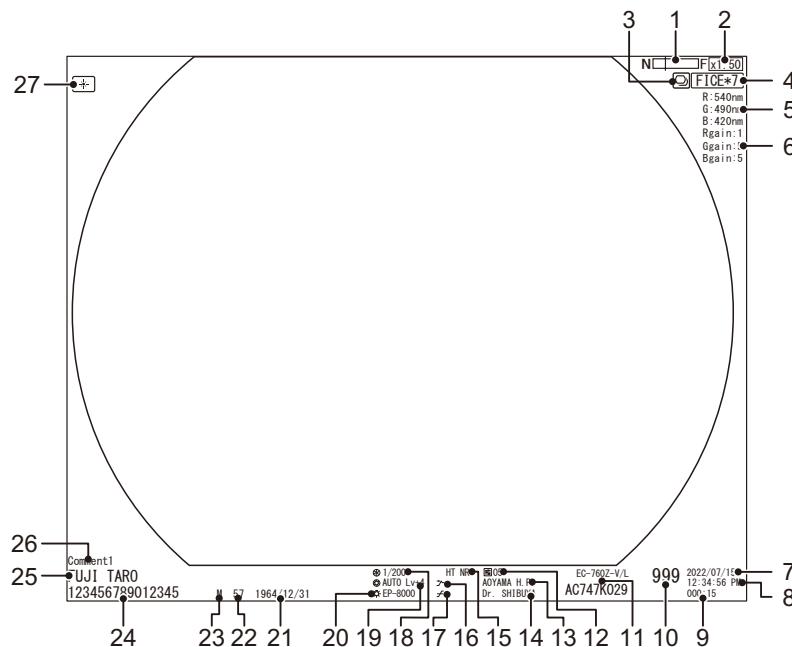
状態	表示	説明
排気停止中		バルーンの圧力が -6.0kPa 以下になっています。
排気中		バルーンからの排気を行っています。
排気一時停止中		リモートスイッチの一時停止スイッチにより、バルーンからの排気を一時停止しています。
送気停止中		バルーンの圧力が +5.6kPa 以上になっています。
送気中		バルーンへの送気を行っています。
送気一時停止中		リモートスイッチの一時停止スイッチにより、バルーンへの送気を一時停止しています。
異常圧		バルーンの圧力が +8.2kPa 以上のときに橙色で表示します。
バルーン破れ		バルーンの破れを検知したときに橙色で表示します。
チューブ外れ		チューブ外れを検知したときに、外れを検知した側のチューブを橙色で表示します。
装置異常検知		装置異常を検知したときは、装置部を橙色で表示します。

3.10 内視鏡画像保存時の情報について

観察画面の情報表示に合わせて、内視鏡画像に保存されます。

内視鏡画像は、SXGA サイズで保存されます。

内視鏡の機種により、以下のいずれかの画面が保存されます。



1. フォーカスメーター

光学ズームスコープ接続時に表示されます。

2. 電子ズーム拡大率

$\times 1.00 \sim \times 2.00$ 、または $\times 1.00 \sim \times 1.75$ の 0.05 ステップです。

参考

- 一部の 530 シリーズスコープの倍率は、 $\times 1.00 \sim \times 1.95$ の範囲です。

3. マルチオブザベーションモード画像

マルチオブザベーションモード時に表示します。

Ⓐ: 主観察画像

Ⓑ: 副観察画像

4. 観察モード

特殊光観察モードでは「BLI」、「BLI-brt」、「LCI」および「ACI」と表示されます。

分光画像処理機能では「FICE」と表示されます。

5. FICE セット R,G,B 表示成分

➔ 「7.21 FICE の切り替え」

6. FICE セット R,G,B ゲインレベル

➔ 「7.21 FICE の切り替え」

7. 日付

8. 時刻

9. タイマー

10. 撮影枚数カウンター

11. スコープ情報

スコープタイプまたはスコープシリアル、鉗子口最小径、先端部外径、軟性部外径が表示されます。

接続する内視鏡によっては情報が表示されない場合もあります。

➔ 「3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて」

12. 画像設定ページ

13. 病院名

14. 医師名

15. ハイパートーンとノイズリダクション

ハイパートーン（HT）と、ノイズリダクション（NR）の設定によって、次の文字色で表示されます。（（ ）内は設定値）

非表示（設定なし）、白（弱）、緑（中）、黄（強）
設定はサービスマンが行います。

16. 構造強調

➔ 「7.20 構造強調の切り替え」

17. 色彩強調

➔ 「7.22 色彩強調の切り替え」

18. シャッタースピード

➔ 「7.24 シャッタースピードの切り替え」

19. 測光モード

➔ 「7.25 測光モードの切り替え」

20. 光源装置

使用している光源装置名称を表示します。

光源装置の前面パネルの光量制限ボタンを押して光量制限機能を入にすると、光源装置名称が緑で表示されます。

21. 生年月日

22. 年齢

23. 性別

24. 患者 ID または検査番号

患者 ID と検査番号のどちらを表示するかはサービスマンが設定します。

25. 患者名

26. 手技またはコメント

27. 赤色レーザ光

赤色レーザ光が照射されると表示します。

3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて

患者情報を新規で登録したとき、患者情報を呼び出して切り替えたときに「患者情報・スコープ情報確認ダイアログ」が表示されます。



1. 患者情報

患者情報入力画面で登録した患者情報が表示されます。

→「5.2 プロセッサーへの患者情報登録・編集」

2. 内部メモリー記録可能枚数

内部メモリーに記録可能な画像の枚数（残数）を表示します。

3. スコープ情報

スコープの仕様情報を表示します。

600 システムスコープまたは 500 システムスコープでは、スコープの生産時期により鉗子口最小径、先端部外径、軟性部外径が表示されない場合があります。

4. 鉗子口最小径

5. 鉗子の見える方向表示

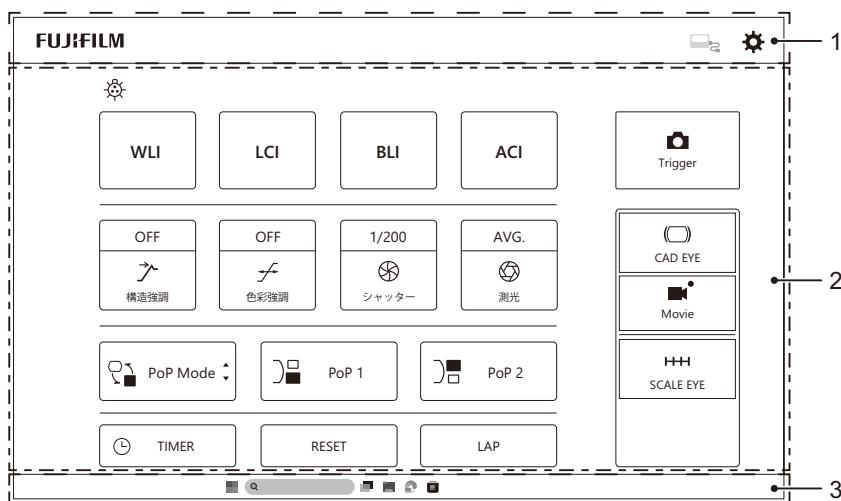
6. 副送水ノズル位置

一部の 800/700 システムスコープのみ表示します。

3.12 タブレット画面

本製品にタブレットを接続すると、タブレットのタッチパネルに表示されるボタンを操作して、本製品の機能を制御することができます。

タブレット画面は、以下の領域に分けられます。



1. タッチ GUI 領域

本製品の機能を制御するボタンが表示される領域です。使用している内視鏡や本製品の動作状態により、表示されるボタンの内容が変化します。

2. ステータス領域

タブレットと本製品の接続状態を示すアイコンや、アプリの環境設定を行う画面を呼び出すアイコンを表示する領域です。

3. Windows タスクバー

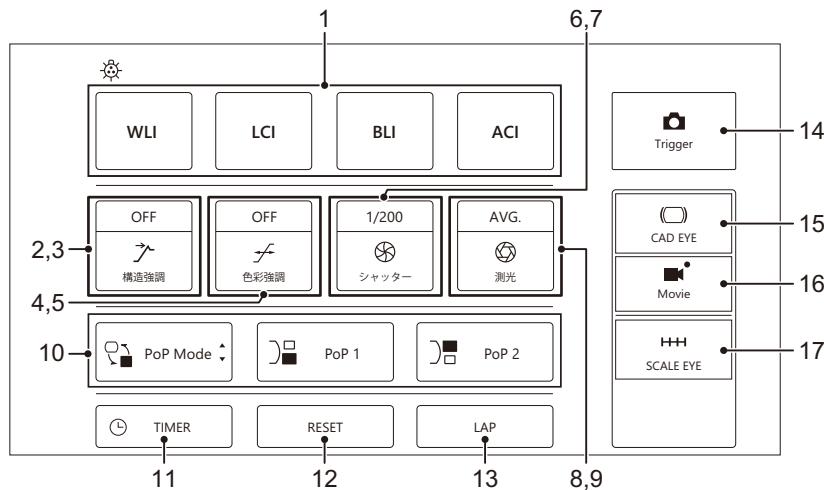
タブレットのOSが表示する領域です。この領域に表示されるアイコンは使用しないでください。

3.12.1 タッチ GUI 領域

本製品と接続されている場合、本製品の状態や接続されている内視鏡の機能により、本製品の操作を行うボタンが表示されます。

参考

- ・本製品と物理的に接続されていない場合や通信エラーなどで接続できない場合は、タッチ GUI 領域には何も表示されません。



1. 觀察モード切替ボタン

タップした観察モードに切り替えます。

→「7.19 観察モードの切り替え」

参考

- ・マルチオブザベーションモード時は、使用できません。

2. 構造強調切替ボタン

タップすると、構造強調の入／切を切り替えます。

→「7.20 構造強調の切り替え」

3. 構造強調設定

構造強調機能の入／切の状態を表示します。

4. 色彩強調切替ボタン

タップすると、色彩強調の入／切を切り替えます。

→「7.22 色彩強調の切り替え」

5. 色彩強調設定

色彩強調機能の入／切の状態を表示します。

6. シャッタースピード切替ボタン

タップすると、シャッタースピードの標準／高速を切り替えます。

→「7.24 シャッタースピードの切り替え」

7. シャッタースピード設定

シャッタースピードを表示します。

8. 測光モード切替ボタン

タップすると、測光モードの「オート」と「ピーク」と「平均」を切り替えます。

➔ 「7.25 測光モードの切り替え」

9. 測光モード設定

測光モードの状態を表示します。

10. PoP 入力切替ボタン

PoP 機能を使用している場合、このボタンが表示されます。タップすると、PoP 画像の表示状態を切り替えます。

PoP 画像の切り替え操作の詳細については、以下を参照してください。

➔ 「3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）」

➔ 「5.5.2 PoP（周辺機器画像の表示）機能の設定」

➔ 「7.30 PoP（周辺機器画像の表示）の切り替え」

11. TIMER ボタン

タップすると、観察画面でタイマーをスタート / ストップさせることができます。

➔ 「7.27 タイマーのスタート / ストップ」

12. RESET ボタン

タップすると、撮影枚数カウンターを 0 にリセットします。また、内視鏡画像が表示されているときにこのボタンを約 2 秒間押し続けると、カラー調整値を工場出荷時の値にリセットします。

13. LAP ボタン

タップすると、観察画面でラップタイムをスタート / ストップさせることができます。

➔ 「7.28 ラップタイムのスタート / ストップ」

14. 画像取り込みボタン

タップすると、観察画面に表示されている画像を静止画として取り込みます。スコープスイッチの「シングルトリガー」と同様の動作を行います。

➔ 「8.6 内部メモリーへ画像の取り込み」

15. 診断支援モード

EW1 システムソフトウェアの診断支援モードの切り替え設定を行います。

診断支援モードが使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

16. 動画録画 (EX-WS)

EW1 システムソフトウェアの動画録画の入／切の切り替え設定を行います。

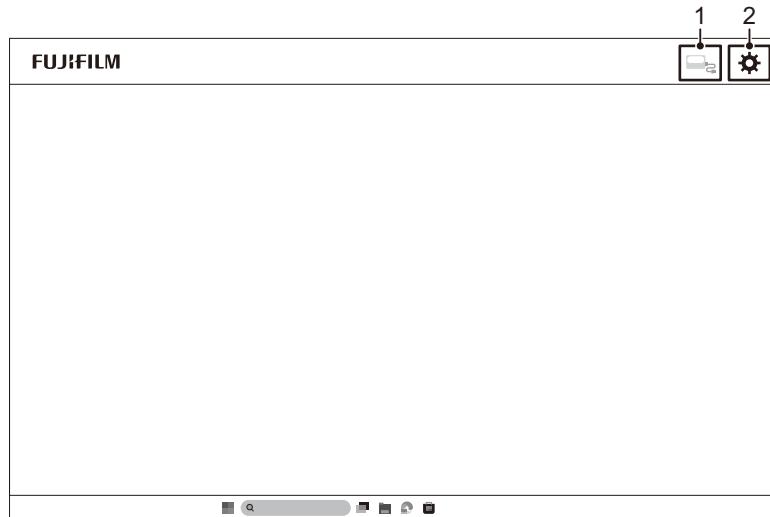
画録画が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

17. 仮想スケール表示

EW1 システムソフトウェアの仮想スケール表示モードの表示パターンの切り替え設定を行います。

仮想スケール表示モードの詳細仕様については、EW10-VM グループソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

3.12.2 ステータス領域



1. 接続状態

本製品との接続状態を表示します。

接続待機中 :

接続状態 :

2. 設定アイコン

アプリの環境設定を行う画面を呼び出すアイコンです。使用しないでください。

第4章 システムの設置と初期設定

この章では、システムの設置方法と初期設定方法について説明します。

4.1 システムの設置

警 告

- 本システムは、サービスマンが設置を行う構造となっています。本システムの設置は、必ず弊社指定のサービスマンに依頼してください。
- 本製品の電源プラグは、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに差し込んでお使いください。
- 「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
- 周辺機器を組み合わせて使用する場合は、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに接続してください。絶縁トランスを介さないマルチタップに接続した場合、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。
- NETWORK 端子を使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC 60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。
- 本製品は EMC 規格に適合しておりますが本製品から放射される電波は、ペースメーカーなどの医療機器を誤動作させる可能性があります。能動型埋め込み機器使用者に適用する際は、循環器専門医、埋め込み機器製造元に相談して使用してください。本製品が適合している EMC 規格については、この取扱説明書の「11.2 電磁両立性（EMC）情報」を参照してください。
- 電源プラグは、保護接地付コンセントに直接接続してください。
- 高酸素濃度環境、可燃性ガス雰囲気中で使用しないでください。火災や爆発を起こすおそれがあります。
- システムを構成する機器の端子と患者を同時に触らないでください。感電するおそれがあります。
- カートのマルチタップに接続する全ての機器の動作電圧、周波数が使用するカートの定格内である事を確認してください。また絶縁トランスを介さないマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計および絶縁トランスを介したマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計それが、カートの許容電流容量以内である事を確認してください。感電、機器の故障の原因になります。

警 告

- 使用するカートに搭載する絶縁トランス、マルチタップ、および電源コードは、JIS T 0601-1 (IEC/EN 60601-1) のシステム要求適合品としてください。感電のおそれがあります。
- 使用するカートに搭載されるモニターアームおよびモニターは、以下の状態で使しないでください。安定性が無くなり転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
 1. 本製品を搭載していない。
 2. モニターを正面以外に向ける。
 3. モニターアームを後ろ方向に伸ばす。
 4. モニターアームを伸ばした方向の反対側から押す、力を加える。
- カートに寄りかかったり、横方向から押したり、傾けたりしないでください。転倒によるけがのおそれがあります。
- カートのスコープハンガーの高さを調整し、内視鏡の挿入部が床につかないようにしてください。感染のおそれがあります。
- 使用するカートのキャスターのロックが完全に効かない場合があるので、傾斜面には設置しないでください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。
- 電気焼灼器の電源は、カートに接続しないでください。
- 本製品の電源は、床に置いた電源コードに接続しないでください。
- 2台目のカートの電源を1台目のカートに接続しないでください。
- 追加のマルチタップまたは延長コードをカートに接続しないでください。
- カートに搭載されているマルチタップは本システムに使用する機器にのみ使用してください。他の機器に使用した場合、電流容量が増加し、機器が正常に動作しないおそれがあります。
- カートは搭載する機器すべての重量の合計以上の積載荷重のものを使用してください。転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- 本製品の背面パネル、側面パネルおよび底面の通気口のみをもって設置しないでください。落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。

注 意

- 使用する電源コードの最大許容電流に従って医療システムを構成します。
- 定格の電圧、電流、周波数でお使いください。それ以外の電源は、火災、感電、故障の原因となる場合があります。
- 機器の移動や設置は2人以上で行ってください。けがをするおそれがあります。

注 意

- カートに搭載されるモニターの位置を調整する場合は、モニターが意図した位置で固定されるようにアームが調整されている事を確認してください。アームの調整が不完全な状態でモニターの位置を調整すると、意図した位置でモニターがとまらず、以下の事象を引き起こすおそれがあります。
 1. アームの隙間にはさまれ、指を傷つける。
 2. モニターがカートおよび機器に接触し、機器を壊す。
- モニターはカートに固定して使用してください。落下のおそれがあります。
- カートは水平な場所に設置してください。転倒や破損の原因となります。
- 本製品の底面には、通気口があります。本製品の下に、物などを置かないでください。
- ガスボンベを搭載したカートを、ガスボンベの反対側から押したり、力を加えたりしないでください。転倒によるけがのおそれがあります。
- 使用するカートの各棚の積載荷重は、搭載する機器の重量に対して余裕をもったものとしてください。搭載機器の落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- 本製品は医療施設のファイヤーウォール内の安全なネットワークに接続し、サポートされているプロトコル（DICOM、FTP、HTTPS）にて使用してください。
- プリンター、デジタルプリンター、動画記録装置は、重ねて設置しないでください。落下によるけがのおそれがあります。
- 内視鏡の着脱やキーボード操作をする場合は、タブレットの位置を確認してください。タブレットの破損のおそれがあります。
- 使用するカートに搭載するタブレットアームは、タブレットとタブレットアクセサリーの重量の合計以上の耐荷重のものを使用してください。落下によるけがのおそれがあります。
- 使用するカートに搭載するタブレットアームは、可動範囲を考慮して設置してください。他の機器と接触することによる機器の破損のおそれがあります。
- 使用するカートに搭載するタブレットアームを設置する場合、アームの隙間に注意してください。はさまれて指を傷つけるおそれがあります。
- 使用するカートに搭載するタブレットアームおよびタブレットの位置を調整する場合は、機器に接触しないようにしてください。機器の破損のおそれがあります。
- 使用するカートに搭載するタブレットアームおよびタブレットの位置を調整する場合は、タブレットを落下させたり、タブレットアームやタブレットが他の機器に接触しないようにしてください。タブレットの落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。

参考

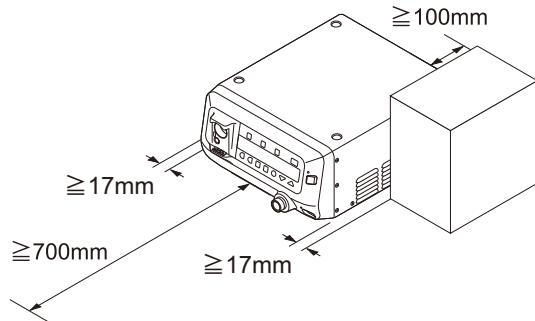
- カートの可動棚の位置は、お使いのシステムに合わせて調整してください。
- システムを拡張するための機器を設置する際は、プロセッサーを再起動してください。

4.1.1 設置の要件

本製品の側面と壁の間を17mm以上、背面と壁の間を100mm以上、前面と壁の間を700mm以上離して設置します。

参考

- 送水タンクフック使用時を除きます。

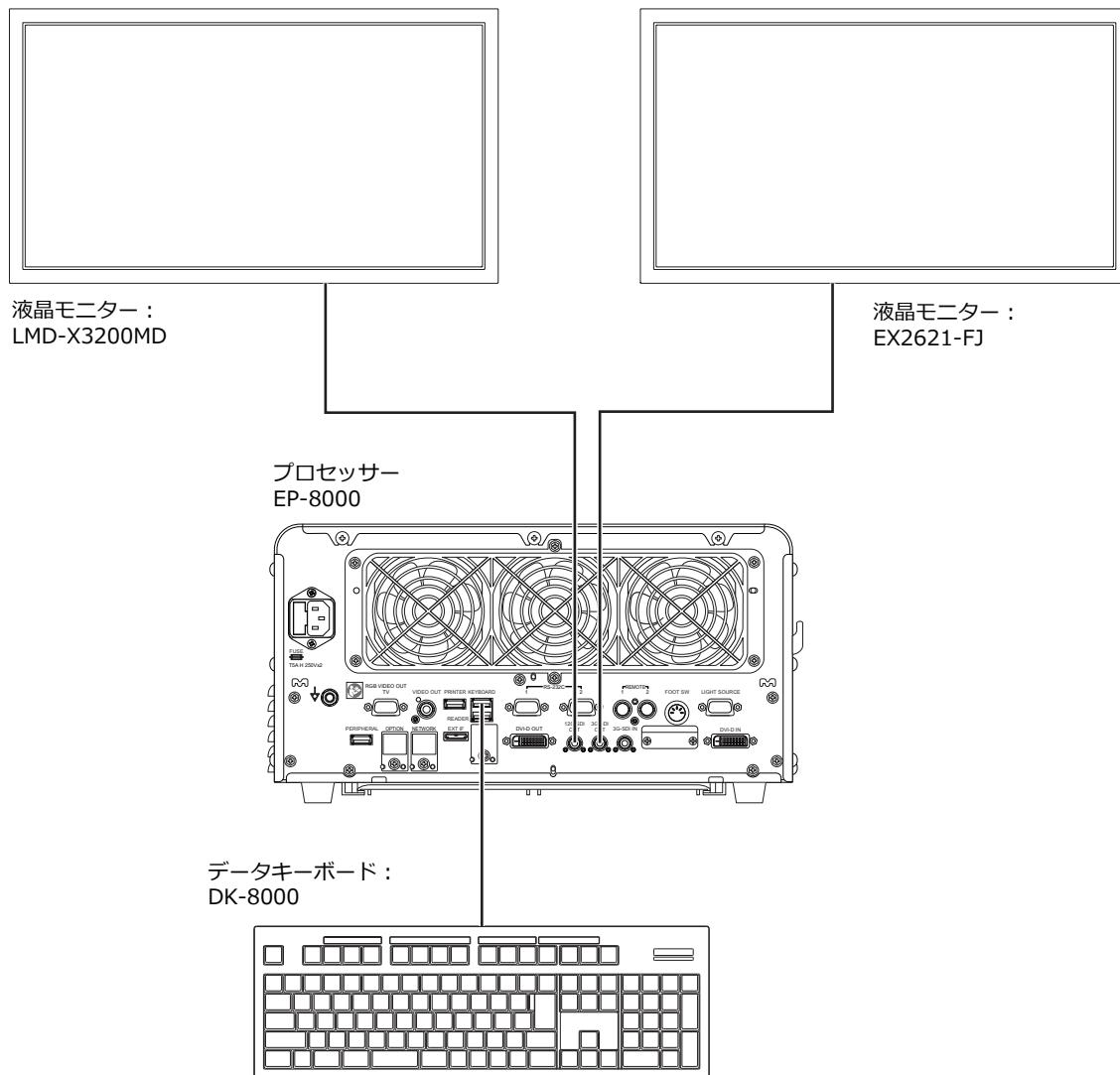


4.1.2 設置作業フロー図

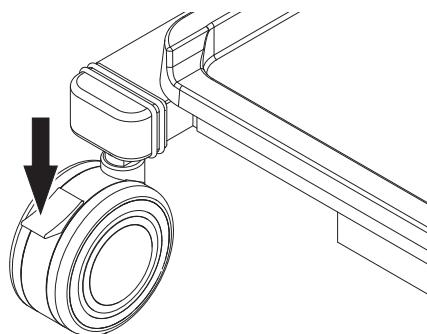
本製品を設置する際の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

- 1** 本製品を設置する
 - ↓ →「4.1.3 本製品の設置」
 - ↓ →「4.1.4 本製品と LL-7000 の設置」
- 2** 本製品にルーバーを取り付ける
 - ↓ →「4.1.5 ルーバー取り付け」
- 3** LL-7000 を接続する
 - ↓ →「4.1.6 LL-7000 の接続」
- 4** 本製品と液晶モニターを接続する
 - ↓ →「4.1.7 液晶モニターの接続」
- 5** 本製品とデータキーボードを接続する
 - ↓ →「4.1.8 データキーボードの接続」
- 6** 内視鏡用送水装置と接続する
 - ↓ →「4.1.9 内視鏡用送水装置の接続」
- 7** 内視鏡用炭酸ガス送気装置と接続する
 - ↓ →「4.1.10 内視鏡用炭酸ガス送気装置の接続」
- 8** 必要に応じて、その他の機器を接続する
 - ↓ →「4.1.11 フットスイッチの接続」
 - 「4.1.12 SU-1 の接続」
 - 「4.1.13 SP-900 の接続」
 - 「4.1.14 プリンターの接続」
 - 「4.1.15 デジタルプリンターの接続」
 - 「4.1.16 動画記録装置の接続」
 - 「4.1.17 リーダーの接続」
 - 「4.1.18 汎用コンピュータ（EX-WS）の接続」
 - 「4.1.19 タブレットの接続」
 - 「4.1.25 バリーンコントローラーの接続」
- 9** 機器を電源に接続する
 - 「4.1.20 電源の接続」

4.1.3 本製品の設置

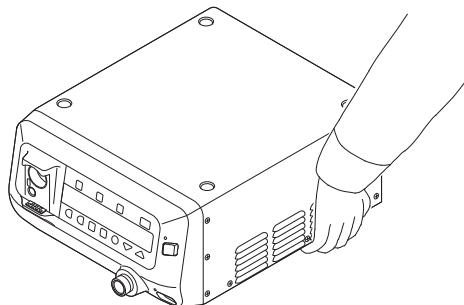


(1) カートのキャスターをロックします。

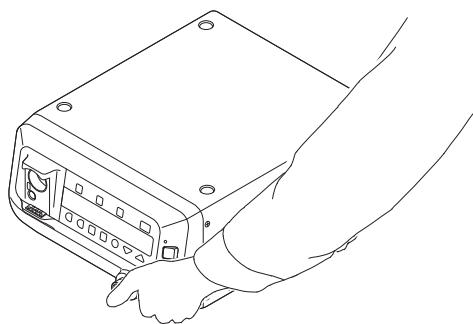


(2) カートの取扱説明書に従い、カートの可動棚の位置を、お使いのシステムに合わせて調整します。

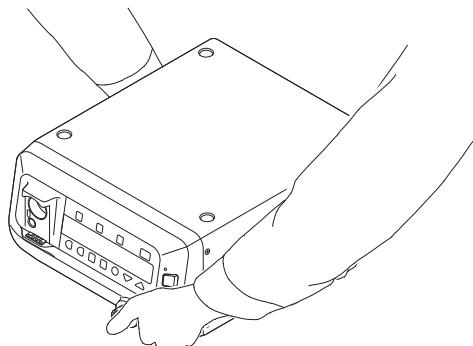
(3) 本製品の底面に手を掛け、片側を持ち上げます。



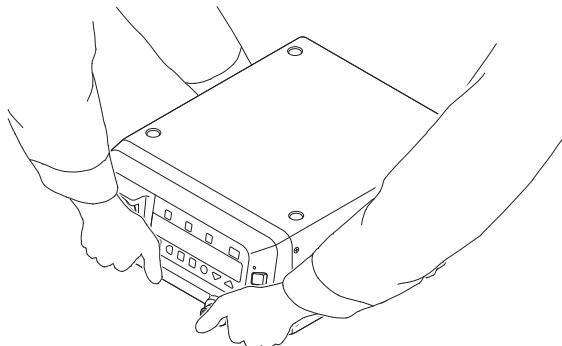
(4) 底面が持ち上がったら、前面パネルの下に手を入れて支えます。



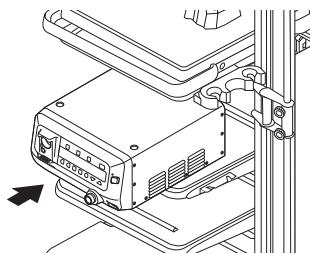
(5) 同様に反対側の底面に手をかけて持ち上げます。



(6) 二人で両側からしっかりと支えます。

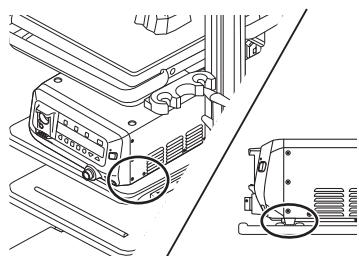


(7) 本製品をカートの棚に置きます。



参考

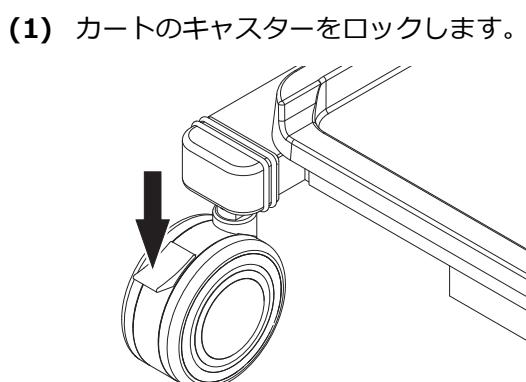
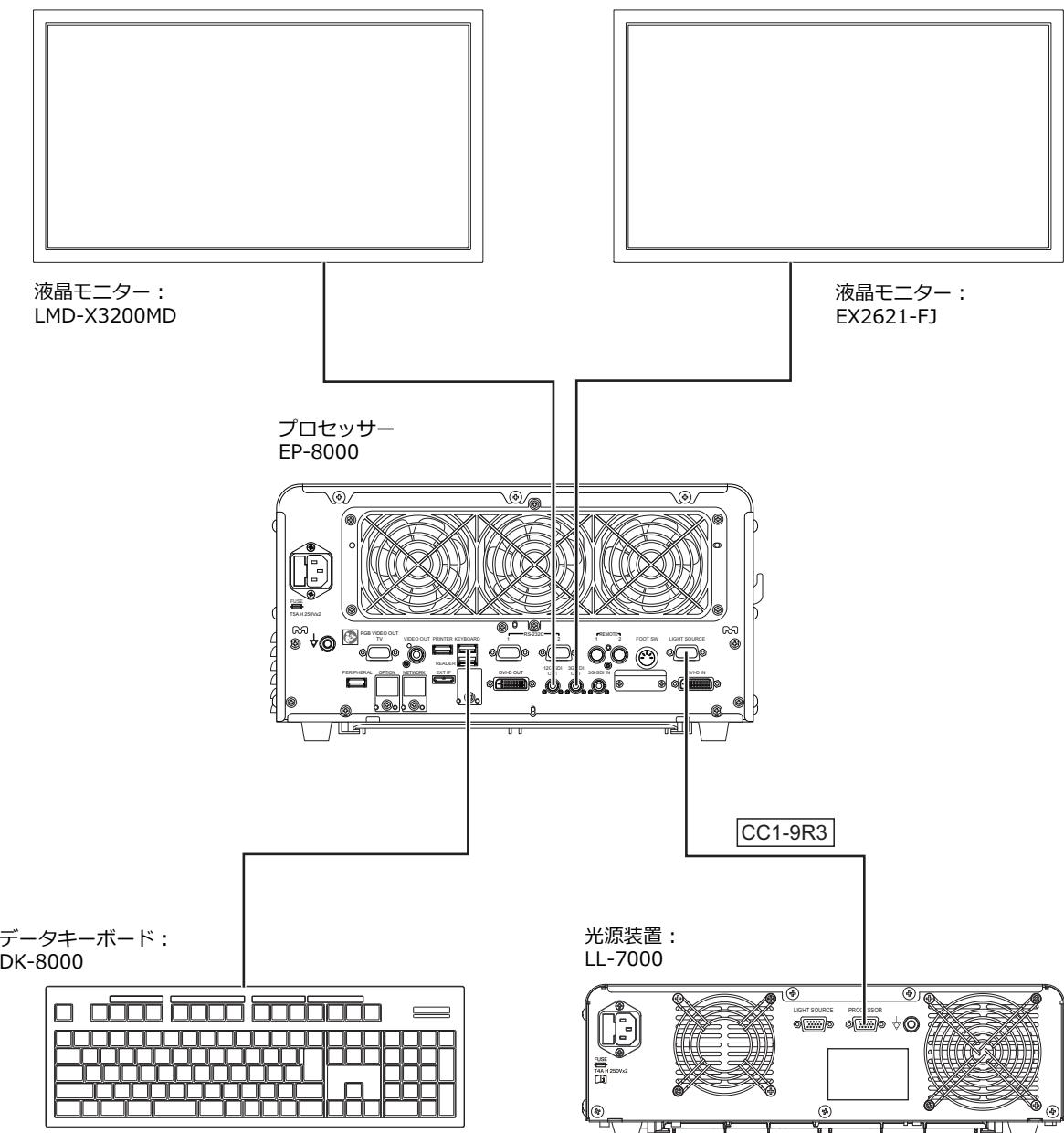
- 落下防止のため、本製品の足が棚のストッパーの内側に収まるように載せます。



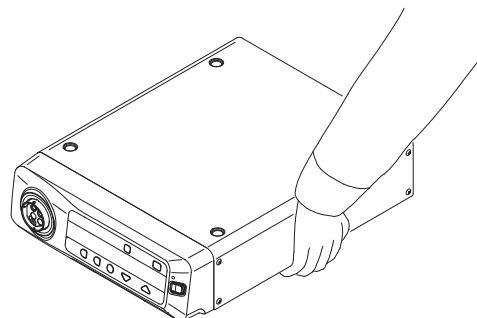
- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

➔ 「4.1.20 電源の接続」

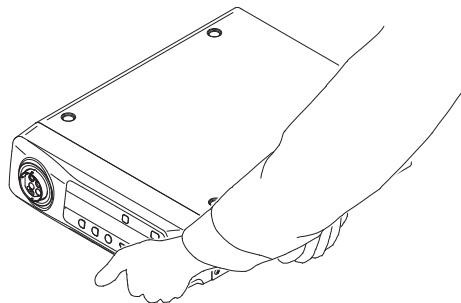
4.1.4 本製品と LL-7000 の設置



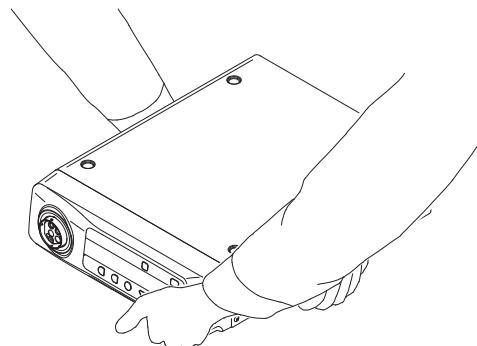
- (2) カートの取扱説明書に従い、カートの可動棚の位置を、お使いのシステムに合わせて調整します。
- (3) LL-7000 の底面に手を掛け、片側を持ち上げます。



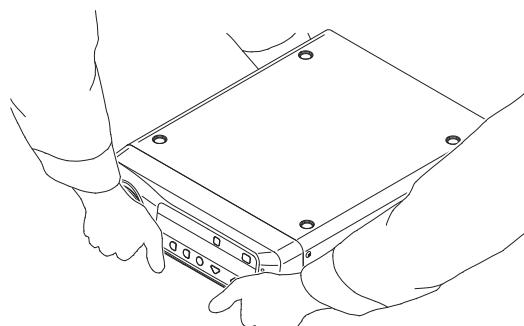
- (4) 底面が持ち上がったら、前面パネルの下に手を入れて支えます。



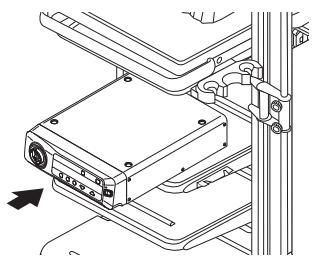
- (5) 同様に反対側の底面に手をかけて持ち上げます。



- (6) 二人で両側からしっかりと支えます。

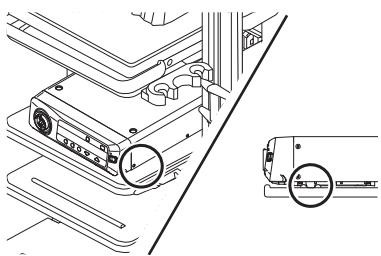


(7) LL-7000 をカートの棚に置きます。

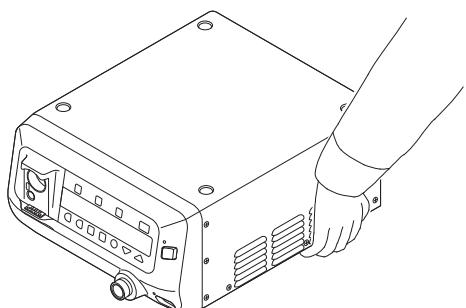


参考

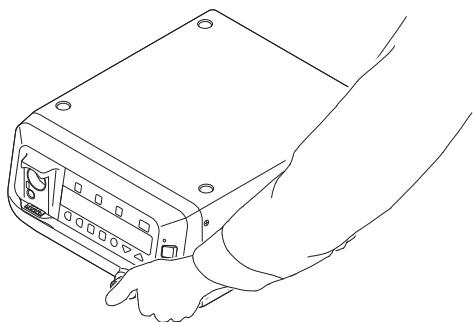
- 落下防止のため、LL-7000 の足が棚のストップバーの内側に収まるように載せます。



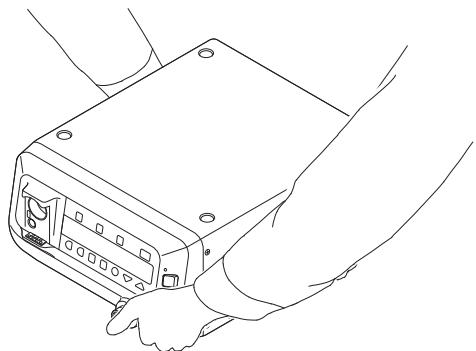
(8) 本製品の底面に手を掛け、片側を持ち上げます。



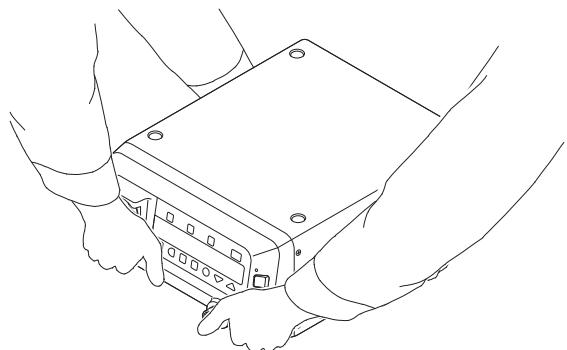
(9) 底面が持ち上がったら、前面パネルの下に手を入れて支えます。



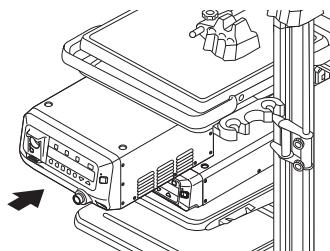
(10) 同様に反対側の底面に手をかけて持ち上げます。



(11) 二人で両側からしっかりと支えます。

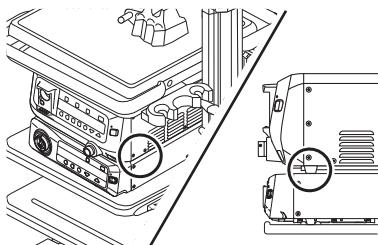


(12) 本製品を LL-7000 の上に置きます。



参考

- 落下防止のため、本製品の足を LL-7000 のくぼみに合わせます。

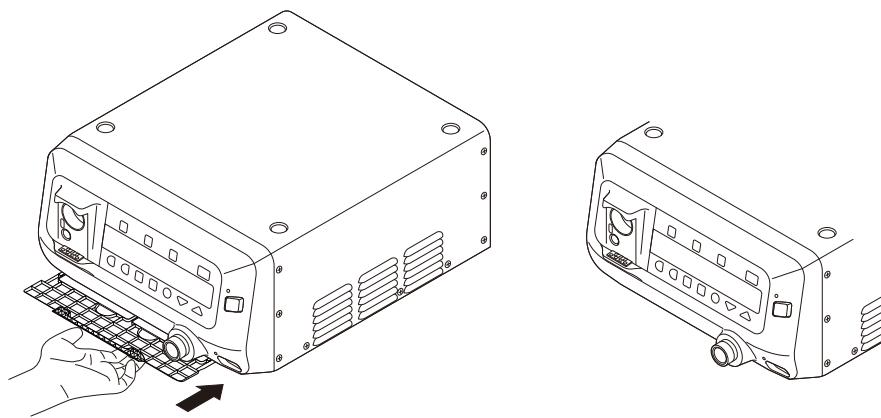


- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

➔ 「4.1.20 電源の接続」

4.1.5 ルーバー取り付け

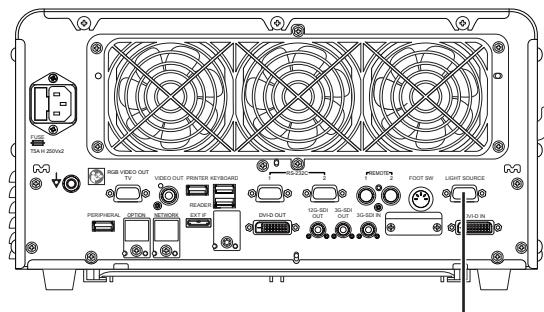
ルーバーを取り付けます。
ルーバーが奥まで取り付けられていないことを確認します。
奥まで取り付けられていない場合は、故障の原因となります。



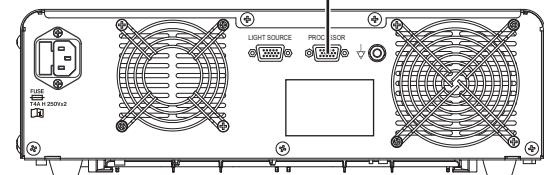
4.1.6 LL-7000 の接続

本製品の LL-7000 のインターフェースケーブル端子と LL-7000 のインターフェースケーブル端子（プロセッサー）をインターフェースケーブル CC1-9R3 で接続します。

プロセッサー：
EP-8000



光源装置：
LL-7000

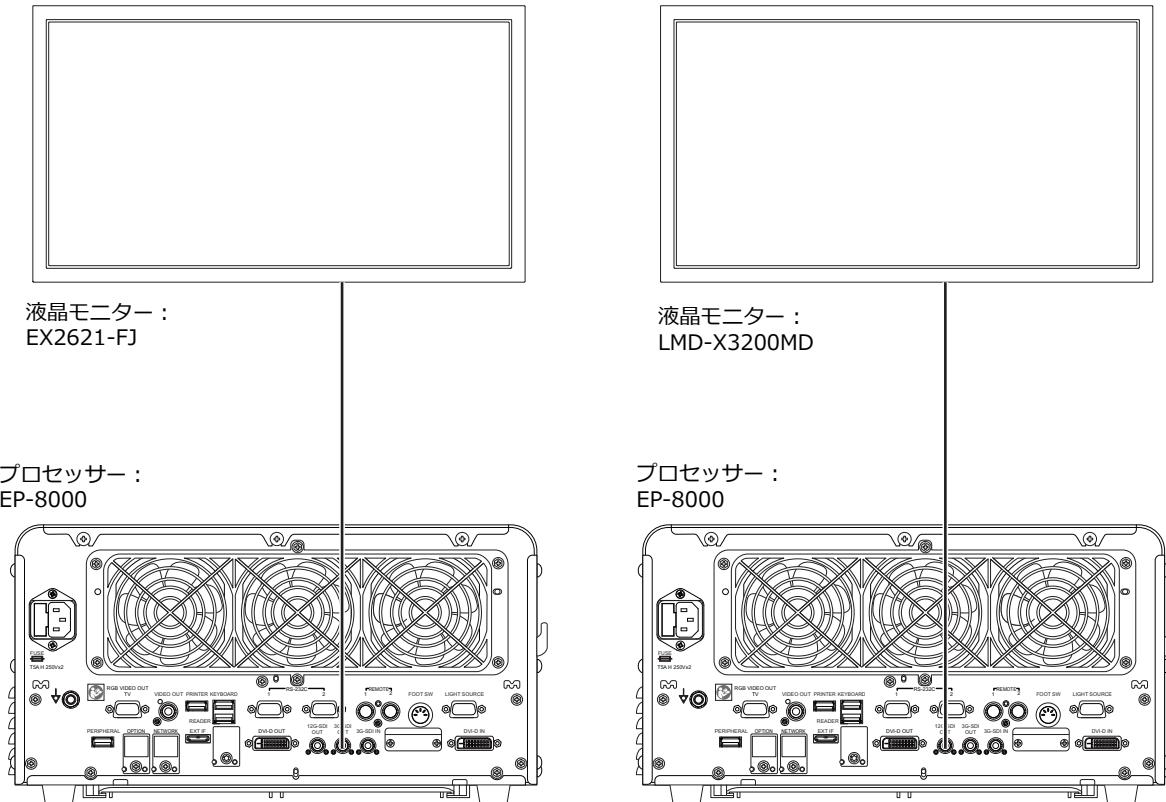


参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- 「4.1.20 電源の接続」

4.1.7 液晶モニターの接続

- (1) カードを使用する場合は、カードの取扱説明書に従い、カードのモニター取り付けアームにモニターを固定して設置します。
- (2) モニターの位置を調整する場合は、モニターが意図した位置で固定されるようにアームを調整します。
- (3) 本製品の 3G-SDI OUT 端子または 12G-SDI OUT 端子と液晶モニターの入力端子をケーブルで接続します。



参考

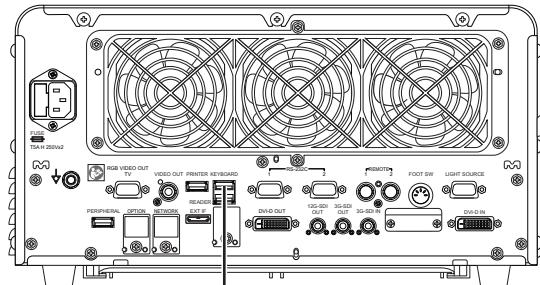
- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.20 電源の接続」

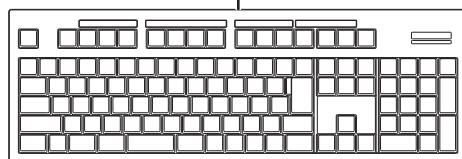
4.1.8 データキーボードの接続

- (1) カートを使用する場合は、カートの取扱説明書に従い、データキーボードをトレイに設置します。
- (2) 本製品のキー端子にデータキーボードのケーブルを接続します。

プロセッサー：
EP-8000



データキーボード：
DK-8000

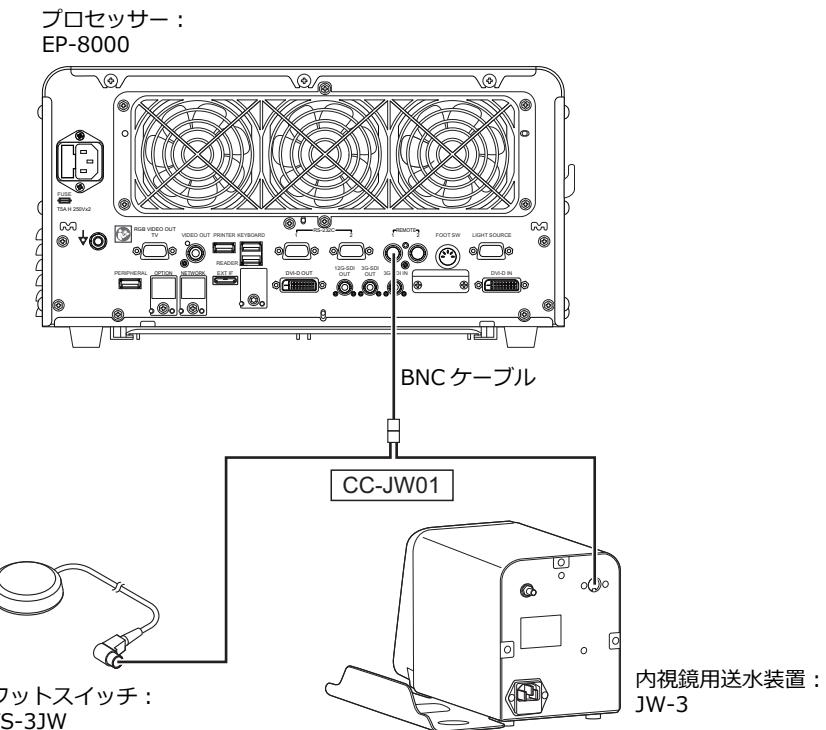


参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- ➔ 「4.1.20 電源の接続」

4.1.9 内視鏡用送水装置の接続

- (1) 本製品のリモート1または2端子にBNCケーブルを接続します。
- (2) 内視鏡用送水装置 JW-3 のフットスイッチ接続端子と、内視鏡用送水装置接続ケーブル CC-JW01 を接続します。
- (3) 内視鏡用送水装置接続ケーブル CC-JW01 と、フットスイッチ FS-3JW を接続します。
- (4) 内視鏡用送水装置接続ケーブル CC-JW01 と、BNCケーブルを接続します。



参考

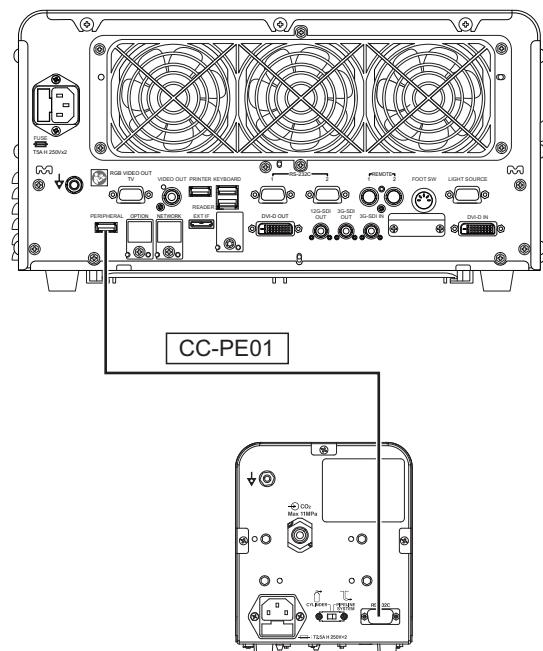
- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→「4.1.20 電源の接続」

4.1.10 内視鏡用炭酸ガス送気装置の接続

- (1) 本製品のPERIPHERAL端子と内視鏡用炭酸ガス送気装置GW-100のRS-232Cコネクターを周辺機器接続ケーブルCC-PE01で接続します。

プロセッサー：
EP-8000



内視鏡用炭酸ガス送気装置：
GW-100

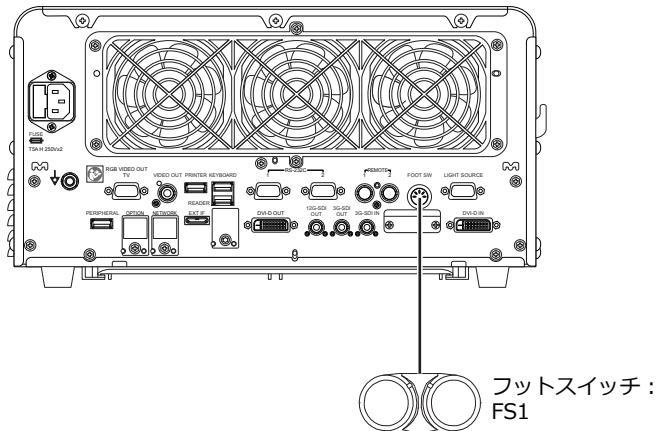
参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- 「4.1.20 電源の接続」

4.1.11 フットスイッチの接続

(1) 本製品のフットスイッチ端子にフットスイッチ FS1 のケーブルを接続します。

プロセッサー：
EP-8000

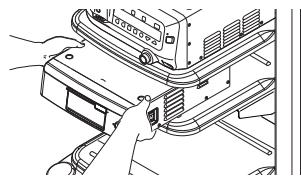


参考

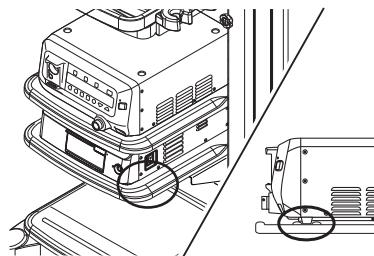
- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- 「4.1.20 電源の接続」

4.1.12 SU-1 の接続

(1) SU-1 をカートの可動棚に置きます。



(2) 落下防止のため、SU-1 の足が可動棚のストッパーの内側に収まるように載せます。



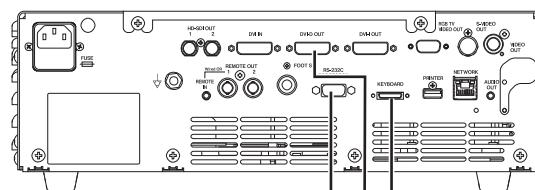
(3) カートの取扱説明書に従い、キーボードをトレイに設置します。

(4) SU-1 のキーボード端子にキーボードのケーブルを接続します。

(5) 本製品の RS-232C 端子 1 または 2 と SU-1 の RS-232C 端子（プロセッサー）をインターフェースケーブル CC6-101 で接続します。

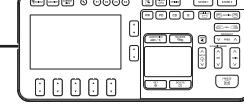
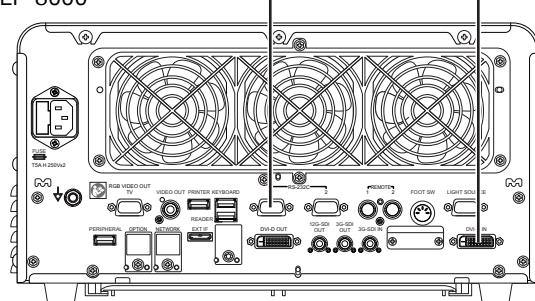
(6) 本製品の DVI-D IN 端子と SU-1 の DVI-D 端子または DVI-I 端子をケーブルで接続します。

超音波観測装置：
SU-1



CC6-101

プロセッサー：
EP-8000



キーボード：
CP-1/CP-1TB

参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

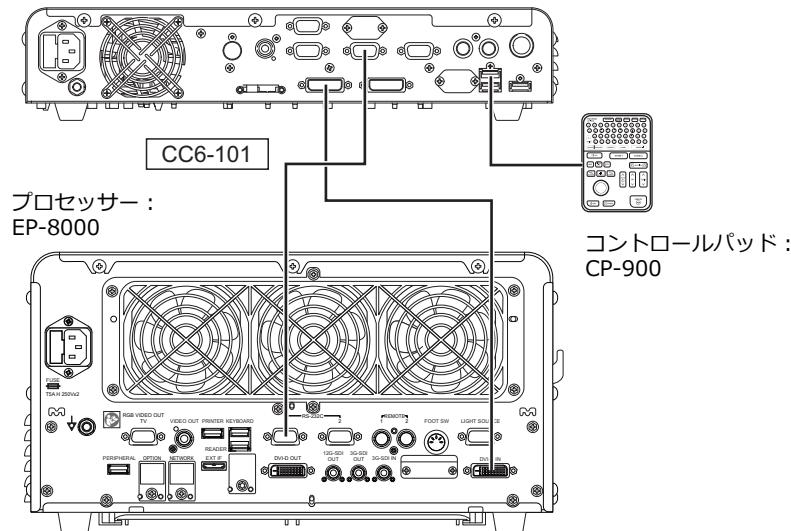
→「4.1.20 電源の接続」

4.1.13 SP-900 の接続

<本製品と直接接続する場合>

- (1) SP-900 をカートの可動棚に置きます。
- (2) 落下防止のため、SP-900 の足が可動棚のストッパーの内側に収まるように載せます。
- (3) カートの取扱説明書に従い、コントロールパッド CP-900 をトレイに設置します。
- (4) SP-900 の USB 端子（コントロールパッド）にコントロールパッド CP-900 のケーブルを接続します。
- (5) 本製品の RS-232C 端子 1 または 2 と SP-900 の RS-232C 端子（プロセッサー）をインターフェースケーブル CC6-101 で接続します。
- (6) 本製品の DVI-D IN 端子と SP-900 の DVI-D 端子をケーブルで接続します。

超音波観測装置：
SP-900



参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→「4.1.20 電源の接続」

<SU-1 と同時接続する場合>

SU-1 の SP モードを使用すると、SP-900 を操作することができます。ただし、一部の機能は使用できません。

参考

- SU-1 の SP モードの選択方法については、SU-1 の取扱説明書を参照してください。

- (1) SP-900 をカートの可動棚に置きます。
- (2) 落下防止のため、SP-900 の足が可動棚のストッパーの内側に収まるように載せます。
- (3) カートの取扱説明書に従い、コントロールパッド CP-900 をトレイに設置します。

(4) SU-1 を SP-900 の上に置きます。

参考

- 落下防止のため、SU-1 の足を SP-900 のくぼみに合わせます。

(5) カートの取扱説明書に従い、SU-1 のキーボードをトレイに設置します。

(6) SU-1 のキーボード端子にキーボードのケーブルを接続します。

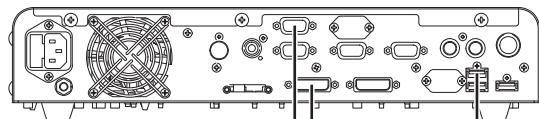
(7) 本製品の RS-232C 端子 1 または 2 と SU-1 の RS-232C 端子（プロセッサー）をインターフェースケーブル CC6-101 で接続します。

(8) SP モードを使用する場合、SP-900 の SU-8000 端子と SU-1 の USB 端子（プリンター）をインターフェースケーブルで接続します。

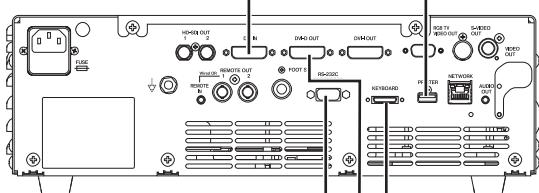
(9) 本製品の DVI-D IN 端子と SU-1 の DVI-D 端子または DVI-I 端子をケーブルで接続します。

(10) SP-900 の DVI-D 端子と SU-1 の DVI 画像入力端子をケーブルで接続します。

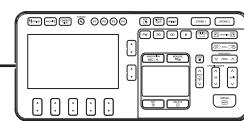
超音波観測装置：
SP-900



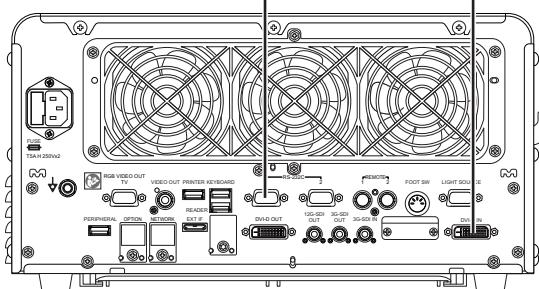
超音波観測装置：
SU-1



コントロールパッド：
CP-900



プロセッサー：
EP-8000



キーボード：
CP-1/CP-1TB

参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

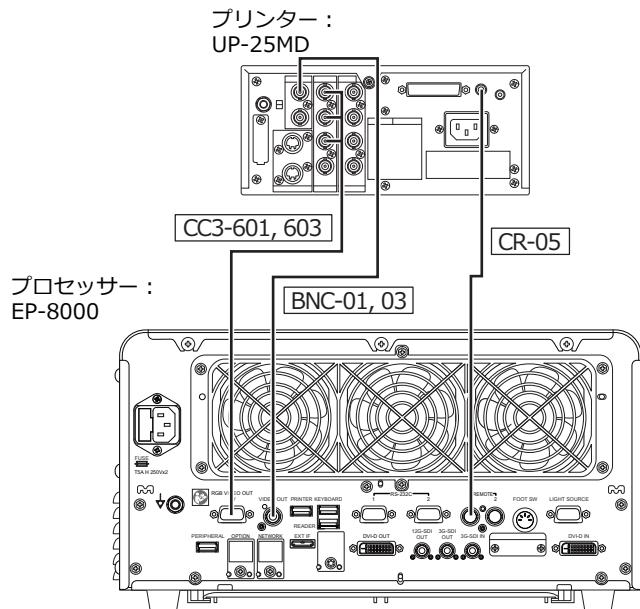
➔ 「4.1.20 電源の接続」

4.1.14 プリンターの接続

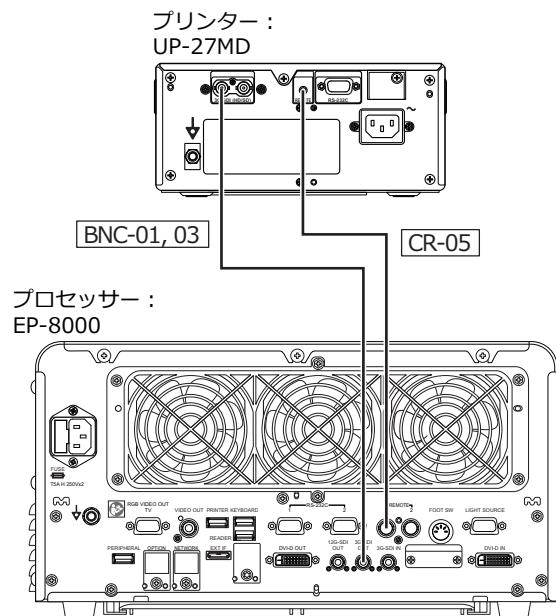
参考

- ・プリンターの取扱説明書を参照してください。
- ・本製品の出力画像をプリンターを経由してモニターに表示すると、画像が揺れたり、消えたりすることがあります。

<接続例 1 : UP-25MD>



<接続例 2 : UP-27MD>



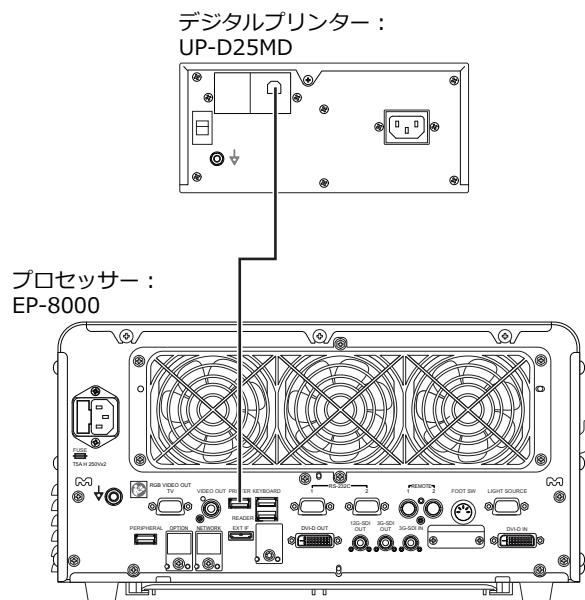
参考

- ・すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- 「4.1.20 電源の接続」

4.1.15 デジタルプリンターの接続

参考

- デジタルプリンターの取扱説明書を参照してください。
- プリント時は「L サイズ」の用紙を使用してください。「S サイズ」の用紙を使用すると、正常にプリントできません。



参考

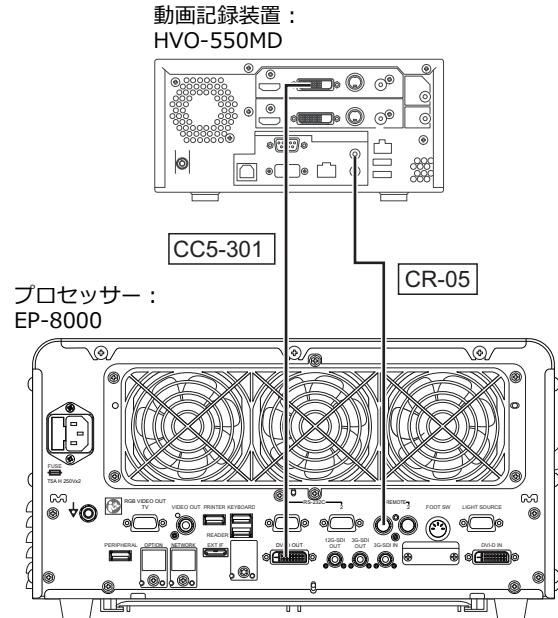
- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- 「4.1.20 電源の接続」

4.1.16 動画記録装置の接続

参考

- ・動画記録装置の取扱説明書を参照してください。

<接続例>



参考

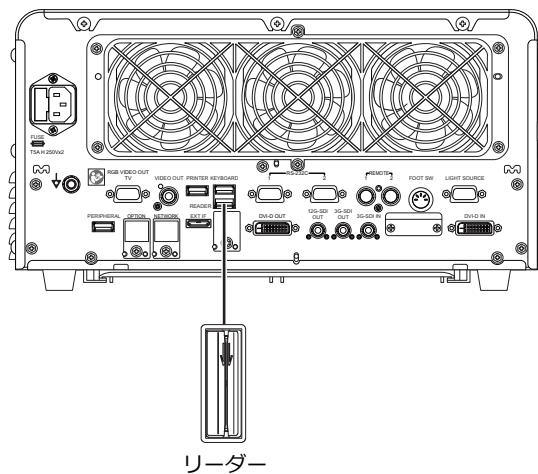
- ・すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→「4.1.20 電源の接続」

4.1.17 リーダーの接続

- (1) 本製品のリーダー端子にリーダーのケーブルを接続します。

プロセッサー：
EP-8000



参考

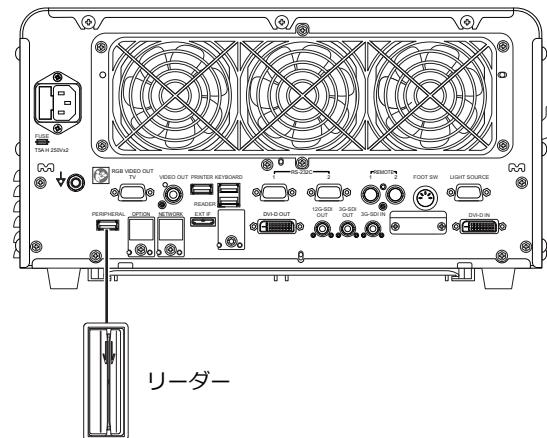
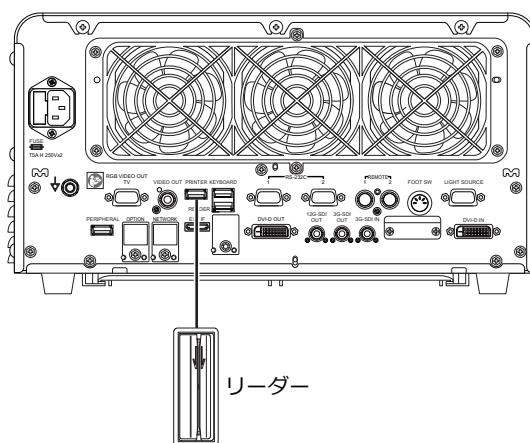
- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- 「4.1.20 電源の接続」

<バルーンコントローラーと同時接続する場合>

- (1) 本製品のデジタルプリンター端子または PERIPHERAL 端子にリーダーのケーブルを接続します。

プロセッサー：
EP-8000

プロセッサー：
EP-8000



参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
- 「4.1.20 電源の接続」

4.1.18 汎用コンピュータ（EX-WS）の接続

注 意

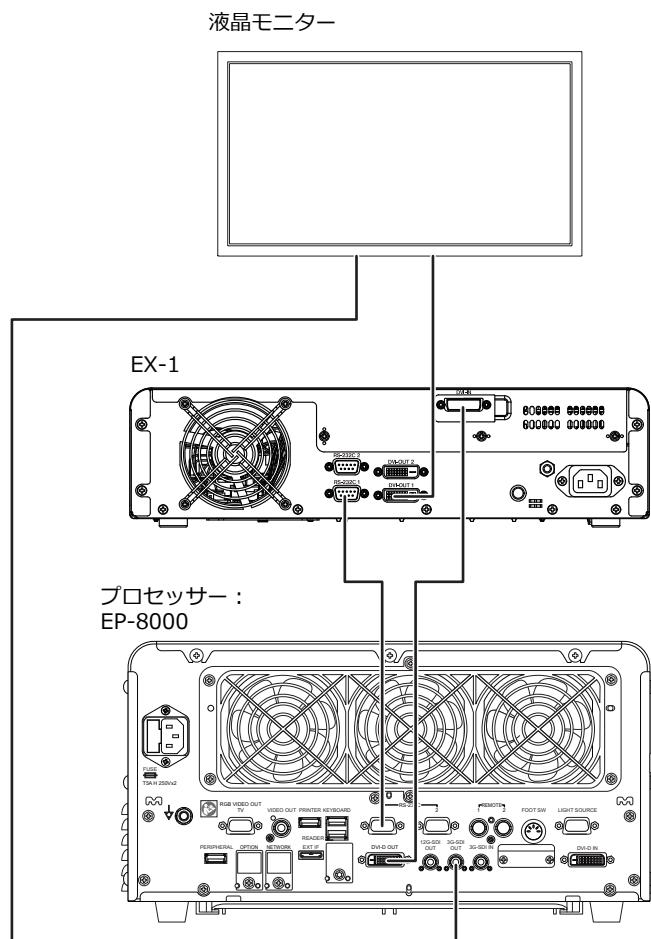
- 本製品と汎用コンピュータ（EX-WS）を組み合わせて使用するシステムでは、液晶モニターに、本製品の出力端子と EX-WS の出力端子の両方を接続してください。

参考

- EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

- (1) EX-1 を使用する場合、EX-1 をカートの可動棚に置きます。
- (2) 落下防止のため、EX-1 の足が可動棚のストッパーの内側に収まるように載せます。
- (3) 本製品の DVI-D OUT 端子と EX-1 の DVI-IN 端子を接続します。
- (4) EX-1 の DVI-OUT 端子と液晶モニターの入力端子を DVI ケーブルで接続します。
- (5) 本製品の 3G-SDI OUT 端子または 12G-SDI OUT 端子と液晶モニターの入力端子をケーブルで接続します。
- (6) 本製品の RS-232C 端子 1 または 2 と EX-1 の RS-232C 1 端子を EX-1 に同梱されている RS-232C ケーブルで接続します。

<接続例>



参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。
→「4.1.20 電源の接続」

4.1.19 タブレットの接続

警 告

- NETWORK 端子を使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC 60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。

参考

- タブレットの取扱説明書を参照してください。
 - タブレットを使用する場合、タブレットがタブレットアクセサリに装着され、AC アダプターが接続されていることを確認します。
 - AC アダプターは水平な場所に設置して使用します。
- ➔ 「4.1.20 電源の接続」
- タブレットの省電力モードの設定を解除してください。
 - タブレット用アプリのインストールや設定はサービスマンが行います。

<ネットワークに接続する場合>

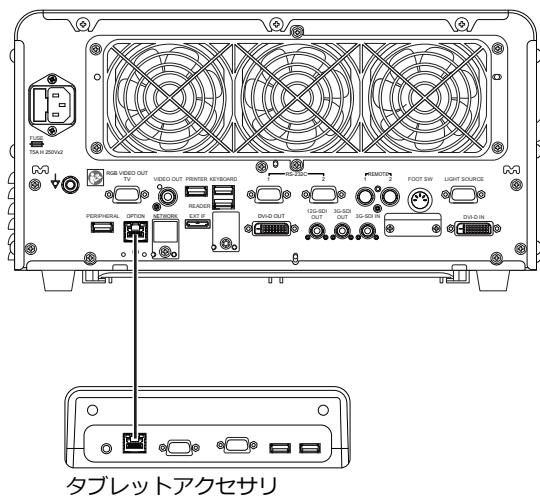
- (1) 本製品の背面パネルの NETWORK 端子のねじ留めされているカバーを外します。
- (2) カートの取扱説明書に従い、タブレットアームにタブレットアクセサリを設置します。
- (3) 指を傷つけないように、タブレットをタブレットアクセサリに装着します。
- (4) 本製品の NETWORK 端子と IEC 60601-1 に適合した分離装置を LAN ケーブルで接続します。IEC 60601-1 に適合した分離装置とネットワークシステムを LAN ケーブルで接続します。
- (5) タブレットアクセサリの LAN コネクタと IEC 60601-1 に適合した分離装置を LAN ケーブルで接続します。IEC 60601-1 に適合した分離装置とネットワークシステムを LAN ケーブルで接続します。
- (6) LAN ケーブルや電源コードに過剰な負荷がかかっていないことを確認します。

<本製品と直接接続する場合>

- (1) 本製品の背面パネルの OPTION 端子のねじ留めされているカバーを外します。
- (2) カートの取扱説明書に従い、タブレットアームにタブレットアクセサリを設置します。
- (3) 指を傷つけないように、タブレットをタブレットアクセサリに装着します。

(4) 本製品のOPTION端子とタブレットアクセサリのLANコネクタをLANケーブルで接続します。

プロセッサー：
EP-8000



(5) LANケーブルや電源コードに過剰な負荷がかかっていないことを確認します。

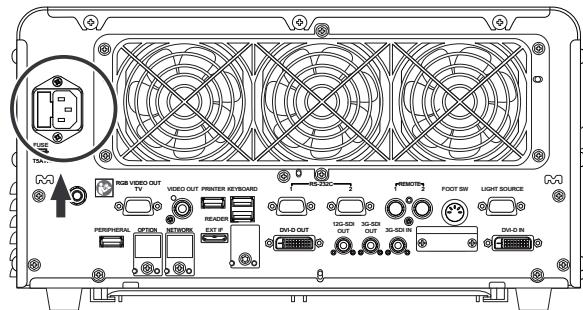
4.1.20 電源の接続

- (1) 本製品の電源接続部に、指定のあるいは同梱されている電源コードを押し込んで確実に接続します。

→「4.1.23 電源コード手配に必要な基本情報」

参考

- すでに電源コードを接続している場合にも、もう一度電源コードを押し込んで確認し、確実に接続してください。

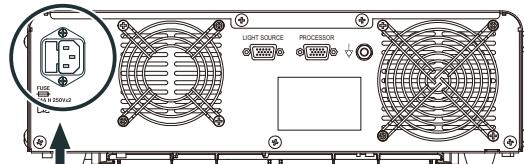


- (2) 本製品の電源プラグを、カードの絶縁トランジスタを介さないマルチタップに差し込みます。

- (3) LL-7000 の電源接続部に、電源コードを押し込んで確実に接続します。

参考

- すでに電源コードを接続している場合にも、もう一度電源コードを押し込んで確認し、確実に接続してください。



- (4) LL-7000 の電源プラグを、カードの絶縁トランジスタを介さないマルチタップに差し込みます。

- (5) 液晶モニターの電源接続部に、電源コードを接続します。

参考

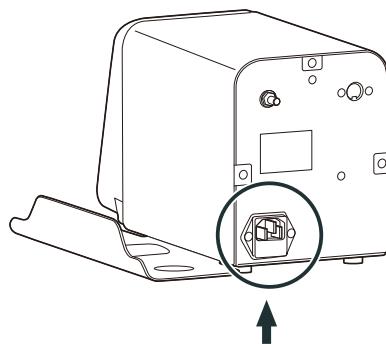
- すでに電源コードを接続している場合にも、もう一度電源コードを押し込んで確認し、確実に接続してください。

- (6) 液晶モニターの電源プラグを、カードの絶縁トランジスタを介すマルチタップに差し込みます。

(7) 内視鏡用送水装置 JW-3 の電源接続部に、電源コードを接続します。

参考

- すでに電源コードを接続している場合にも、もう一度電源コードを押し込んで確認し、確実に接続してください。

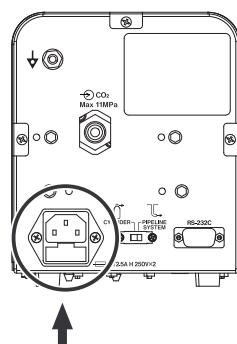


(8) 内視鏡用送水装置 JW-3 の電源プラグを、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに差し込みます。

(9) 内視鏡用炭酸ガス送気装置 GW-100 の電源接続部に、電源コードを接続します。

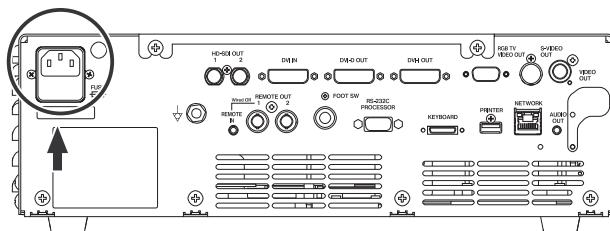
参考

- すでに電源コードを接続している場合にも、もう一度電源コードを押し込んで確認し、確実に接続してください。



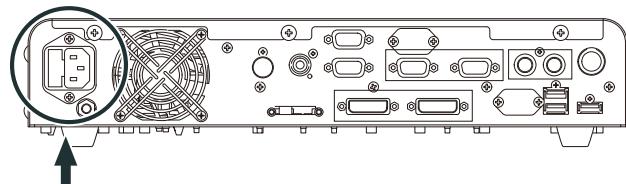
(10) 内視鏡用炭酸ガス送気装置 GW-100 電源プラグを、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに差し込みます。

(11) SU-1 の電源接続部に、電源コードを接続します。



(12) SU-1 の電源プラグを、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに差し込みます。

(13) SP-900 の電源接続部に、電源コードを接続します。



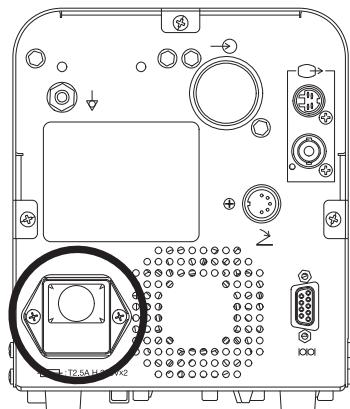
(14) SP-900 の電源プラグを、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに差し込みます。

ただし、光源装置 LL-7000 と超音波観測装置 SU-1 を併設しない場合は、SP-900 の電源プラグを、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに差し込みます。

(15) バルーンコントローラー PB-30 の電源接続部に、電源コードを接続します。

参考

- すでに電源コードを接続している場合にも、もう一度電源コードを押し込んで確認し、確実に接続してください。

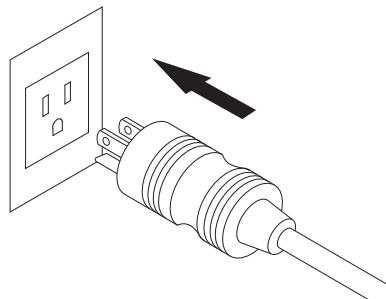


(16) バルーンコントローラー PB-30 の電源プラグを、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに差し込みます。

(17) その他の機器の取扱説明書に従い、その他の機器の電源接続部に、電源コードを接続します。

(18) その他の機器の取扱説明書に従い、その他の機器の電源プラグを、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに差し込みます。

(19) カートの電源プラグを保護接地付コンセントに直接差し込みます。



4.1.21 電源について

本システムは、IEC 60601-1^{*1} に従って設置する必要があります。そのため、本システムを設置する際は下記の内容に従ってください。

＜組み合わせて使用可能な機器の電源接続＞

組み合わせて使用可能な機器には、電源の接続方法により、下記の 5 種類があります。

- (1) 直接、組み合わせて使用できる医用機器 (IEC 60601-1^{*1} に適合している医用機器)
EP-8000、LL-7000 と標準システムを構成する機器。この機器を表 4.1 に示します。
カートの絶縁トランスを介さないマルチタップから電源を供給します。
- (2) 本システムが搭載されたカートと別の電源から電源を供給することで、使用可能な医用機器。(IEC 60601-1^{*1} に適合している機器)
この機器を表 4.2 に示します。
- (3) 標準システムに追加する事で拡張システムとして使用できる医用機器 (IEC 60601-1^{*1} に適合している医用機器)
この機器を表 4.3 に示します。
本システムが搭載されたカートの絶縁トランスを介さない、または絶縁トランスを介すマルチタップから電源を供給します。
- (4) 標準システムに追加する事で拡張システムとして使用できる医用機器 (IEC 60601-1^{*1} に適合している医用機器)
この機器を表 4.4 に示します。
本システムが搭載されたカートの絶縁トランスを介すマルチタップから電源を供給します。
- (5) 本システムが搭載されたカートの絶縁トランスを介すマルチタップから電源を供給することで使用可能な周辺機器 (IEC 60601-1^{*1} または IEC×××××^{*2} に適合している機器)。
この機器例を表 4.5 に示します。

上記の組合せが患者環境内で使用できるシステムになります。

これら以外の機器は、安全性を確保できないおそれがあるため、組み合わせて使用しないでください。

上記機器のいずれかの組み合わせにおいて、全ての構成が IEC 60601-1^{*1} の ME システムの要件に適合しなければなりません。

参考

- 電気安全の観点に基づいた組み合わせです。それぞれの機器の性能は、各メーカーの仕様によります。

*1 国内では JIS T 0601-1 となります。

*2 IEC、ISO、JIS、電気用品安全法が該当。

表 4.1 標準システムにおける医用機器

種類	機種名	
プロセッサー	EP-8000	
データキーボード	DK-8000	
光源装置	LL-7000 ^{*1}	-
内視鏡	L600 システムスコープ ^{*1} L580 シリーズスコープ ^{*1}	800 システムスコープ ^{*2} 700 システムスコープ 600 システムスコープ 580 シリーズスコープ 530 シリーズスコープ ^{*3}

※1 光源装置 LL-7000、L600 システムスコープ、および L580 シリーズスコープを使用するには設定が必要です。設定はサービスマンが行います。エラーメッセージが表示され、L600 システムスコープ、L580 シリーズスコープが使用できないときは、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

※2 EG-840UR を除く

※3 EB-530H、EB-530P、EB-530T、EB-530US のみ

表 4.2 別電源から電源を供給することで本システムと一緒に使用可能な医用機器

種類	機種名
電気焼灼器	-

表 4.3 拡張システムとして組み合わせて使用できる医用機器

種類	機種名
超音波観測装置 ^{*1}	SU-1、SU-9000、SP-900

※1 超音波観測装置 SU-1 の電源は、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに接続します。

超音波観測装置 SP-900 の電源は、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップ、または絶縁トランスを介すマルチタップのどちらにも接続可能です。

ただし、光源装置 LL-7000、超音波観測装置 SU-1、SP-900 を併設する場合は、LL-7000 と SU-1 をカートの絶縁トランスを介さないマルチタップに、SP-900 を絶縁トランスを介すマルチタップに接続してください。

表 4.4 拡張システムとして組み合わせて使用できる医用機器

種類	機種名
内視鏡用送水装置	JW-3
内視鏡用炭酸ガス送気装置	GW-100
バルーンコントローラー	PB-30

表 4.5 本システムが搭載されたカートの絶縁トランスから電源を供給することで使用可能な周辺機器

種類	機種名
液晶モニター	EX2621-FJ (EIZO 製) LMD-X3200MD (SONY 製)
プリンター	UP-25MD (SONY 製) UP-27MD (SONY 製)
デジタルプリンター	UP-D25MD (SONY 製)
動画記録装置	UR-4MD (ティアック製) HVO-550MD (SONY 製)
汎用コンピュータ	EX-WS ^{※1} 、EX-1 (EIZO 製)
タブレット	MIT-W102-Q04D0A00E (ADVANTECH 製)
タブレットアクセサリー	MIT-W102-ACCV001E (ADVANTECH 製)

※1 「2.2 組み合わせて使用可能な機器」の表 2.3、表 2.4 に記載されたソフトウェアを搭載した汎用コンピュータ

4.1.22 カート設置時の電源接続

カートには絶縁トランスを介さないマルチタップと絶縁トランスを介すマルチタップがあります。

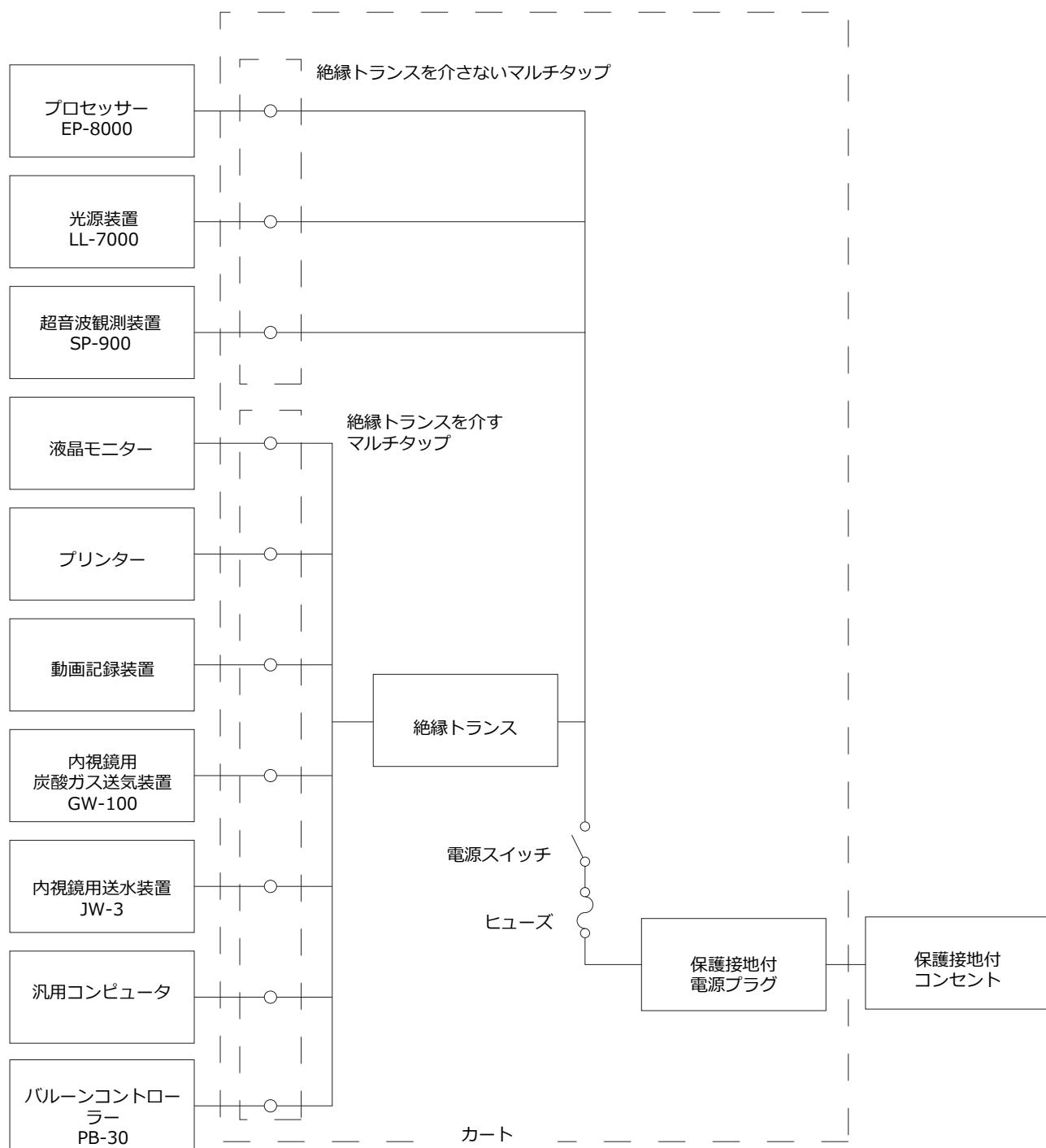
各機器の電源は、下図の例のように接続してください。このときカートのメインスイッチを切るか、電源プラグを外してください。

カートの電源プラグは、保護接地付コンセントに接続してください。

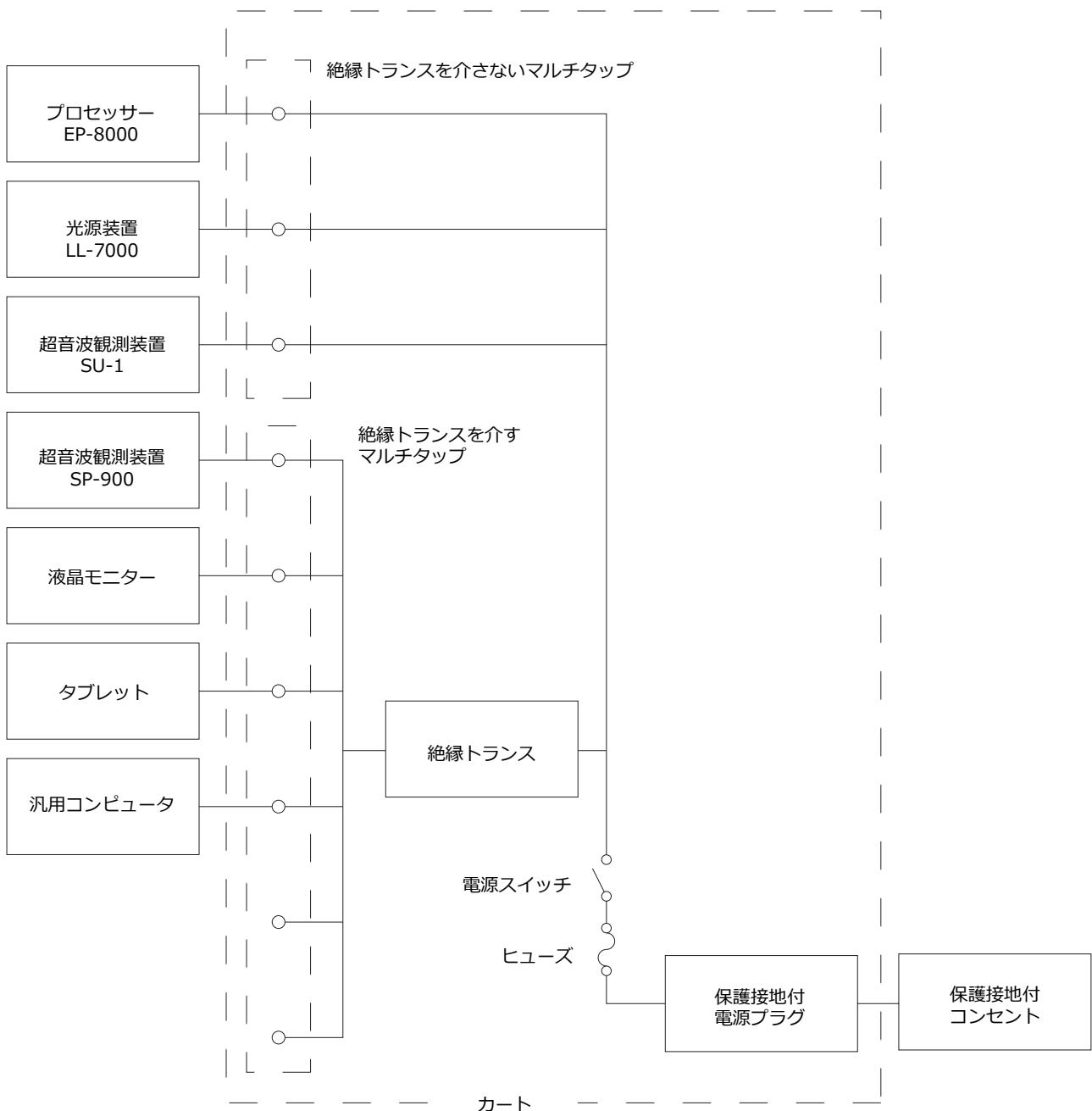
「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器は、接続しないでください。

絶縁トランスを介さないマルチタップに接続されている機器の電流の合計および絶縁トランスを介すマルチタップに接続されている機器の電流の合計それぞれが、カートの出力電流容量以内である事を確認してください。

<例:光源装置 LL-7000、超音波観測装置 SP-900 を併設し、周辺機器を組み合わせる場合>



<例：光源装置 LL-7000、超音波観測装置 SU-1、SP-900 を併設し、周辺機器を組み合わせる場合>



4.1.23 電源コード手配に必要な基本情報

装置コネクター	IEC 60320-1 C13
ケーブル断面積	1.0 mm ² 以上、3線（200V 入力） 16AWG 以上、3線（USA）
入力電圧*	100V 以上 120V 以下の地域：125VAC 以上 120V を超え 240V 以下の地域：250VAC 以上
定格電流	USA : 13A 以上 その他地域 : 6A 以上
ケーブル長	3m 以下
電源プラグ	各国の法規制に従った 3 ピンプラグ

* 日本国内に出荷されている本製品について、同梱されている電源コードは、100V 以上 120V 以下の場合のみ適用が可能です。

4.1.24 ネットワーク接続

ネットワークを使用して検査情報の取得、転送、画像をサーバーに保存する、または時刻同期を使用する場合に使用します。ネットワークの設定はサービスマンが行います。

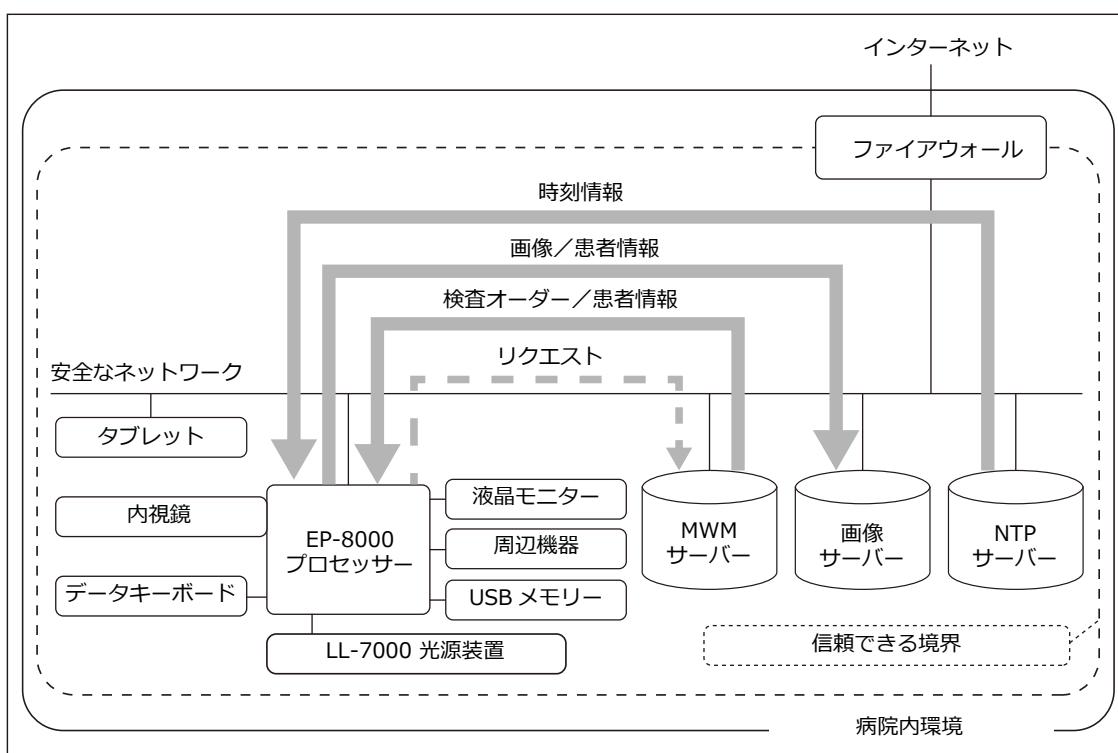
警 告

- NETWORK 端子を使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC 60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。

注 意

- 本製品は医療施設のファイアウォール内の安全なネットワークに接続し、サポートされているプロトコル (DICOM、FTP、HTTPS) にて使用してください。
- RS-232C は専用のプロトコルのため、組み合わせて使用可能な機器以外は接続しないでください。

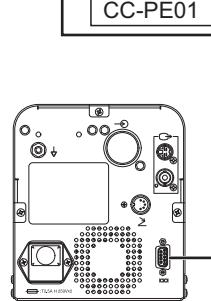
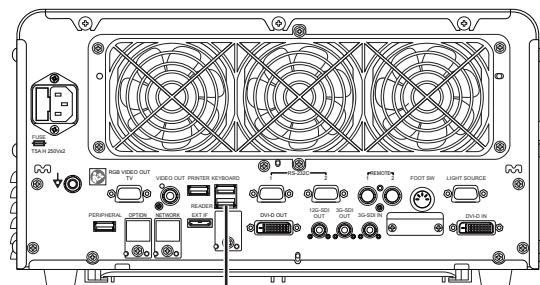
<データの流れ>



4.1.25 バルーンコントローラーの接続

- (1) 本製品のリーダー端子とバルーンコントローラー PB-30のRS-232C コネクターを周辺機器接続ケーブル CC-PE01 で接続します。

プロセッサー：
EP-8000



バルーンコントローラー PB-30

参考

- すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→「4.1.20 電源の接続」

4.2 設置時のシステムの初期設定

システムの初期設定の操作について説明します。

4.2.1 設置時のシステム設定フロー図

設置時に設定する項目の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

参考

- ・システム設定の基本操作に従って、設定を行ってください。
→「4.2.2 設定の基本操作」
- ・日付、時刻は工場出荷時に設定済みですので、必要に応じて設定してください。
- ・フロー以外のシステム設定項目は、必要に応じて設定してください。

1 システム設定の「セキュリティ」の項目を設定する

- ・パスワードの設定

↓ ② セキュリティ管理の機能制限の設定

→「4.2.3 セキュリティタブ」

2 システム設定の「切替」の項目を設定する

- ・表示する情報のマスクタイプの選択

- ・マルチボタンの機能割り当て

↓ ③ インデックス表示の設定

- ・ズーム設定

→「4.2.4 切替タブ」

3 システム設定の「基本設定」の項目を設定する

- ・日時設定

- ・出力信号の設定

↓ ④ スピーカー音量

→「4.2.5 基本タブ」

4 システム設定の「PoP」の項目を設定する

- ・PoP 出力の設定

- ・入力信号の設定

↓ ⑤ 画像保存の設定

→「4.2.6 PoP タブ」

5 システム設定の「表示」の項目を設定する

- 表示する情報の検査情報の選択

- [Space] キーの機能割り当て

↓
• マルチオブザベーションの設定

→「4.2.7 表示タブ」

6 システム設定の「光源 / ポンプ」の項目を設定する

- 光量制限の設定

↓
• ポンプレベルの設定

→「4.2.8 光源 / ポンプタブ」

7 システム設定の「スコープ」の項目を設定する

- スコープスイッチの機能割り当て

↓
→「4.2.9 スコープタブ」

8 システム設定の「フットスイッチ」の項目を設定する

- フットスイッチの機能割り当て

↓
→「4.2.10 フットスイッチタブ」

9 必要に応じて、その他の機能を設定する

- ドクター名をドクターリストに登録する

→「4.2.13 ドクター名の設定」

- 手技名を手技リストに登録する

→「4.2.14 手技名の設定」

- 連絡事項を連絡事項リストに登録する

→「4.2.15 連絡事項の設定」

- パネルボタン（画像処理機能）の設定をする

→「5.3 パネルボタン（画像処理機能）の設定」

- 周辺機器の設定をする

→「5.4 周辺機器の設定」

- 画像設定ページの設定をする

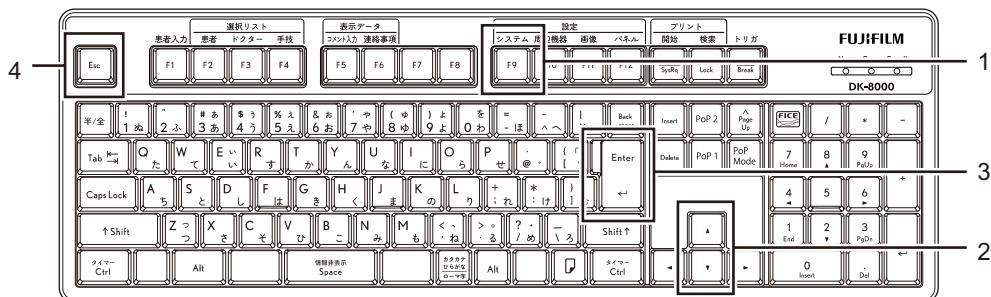
→「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除」

4.2.2 設定の基本操作

(1) データキーボードの [システム] キーを押します。システム設定の画面が表示されます。

参考

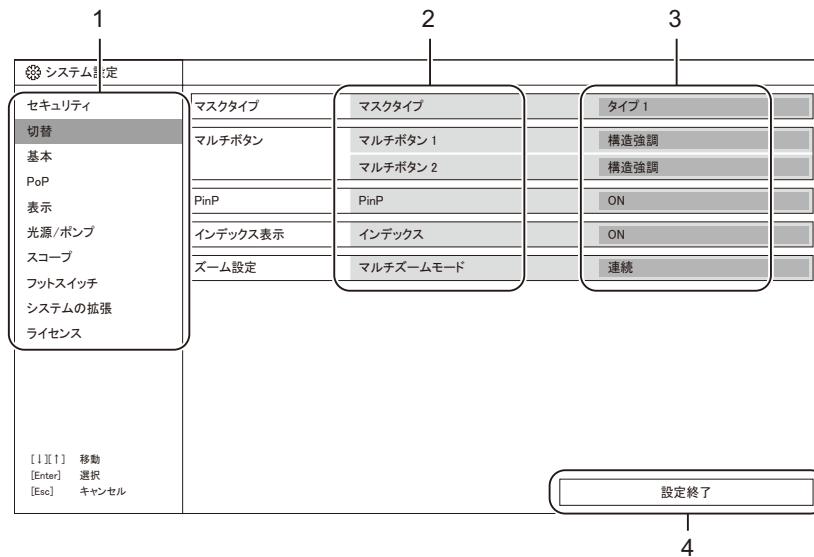
- その他の設定キーを押した場合も、基本操作は同じです。



1	[システム] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

(2) タブは、[↑]、[↓] キーで選択できます。

タブを選んで [Enter] キーを押します。



1	タブ
2	設定項目
3	設定値
4	設定終了

(3) 設定の画面では、[↑]、[↓] キーで項目を選択できます。

- (4) 設定項目を選んで [Enter] キーで設定値を変更、もしくはデータキーボードで直接入力できるようになります。

参考

- 設定値は [↑]、[↓] キーで項目を選択できます。
- 右端に「.」が表示されている項目は、サブメニュー画面に切り替わります。
- メニュー画面の下に「[Insert] 編集」と表示されている場合は [Insert] キーを押すとデータキーボードで直接入力できるようになります。

- (5) 設定値を変更後、[Enter] キーを押すとカーソルが次の設定項目に移動します。

参考

- データキーボードで直接入力する場合、必要項目の入力が終わると自動的に次の項目に移動する場合があります。

- (6) 設定を反映するには、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

参考

- 設定を変更した場合は、必ず「設定終了」を行ってください。「設定終了」をしないと設定値が反映されません。

4.2.3 セキュリティタブ

注 意

- 初めて本製品にログインしたときには、パスワードを変更してください。
- ログインすると、電源を切るまで、すべての情報へのアクセスが可能になります。システムから離れる時には、必ずログオフするか電源を切ってください。
- 本製品は医療施設のファイヤーウォール内の安全なネットワークに接続し、サポートされているプロトコル（DICOM、FTP、HTTPS）にて使用してください。
- パスワードを忘れてログインできなくなった場合や、設定維持、復旧方法がわからない場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

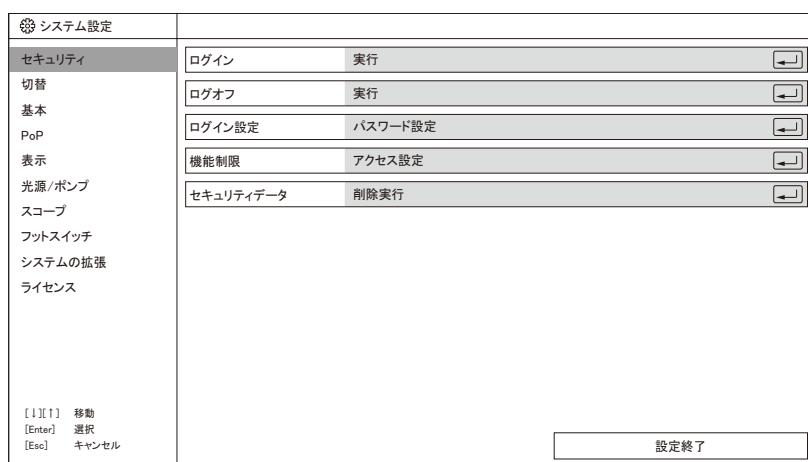


表 1

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ログイン	実行	-	[Enter] キーを押すと、パスワードが入力できます。パスワードは、“ユーザ”と“管理者”的2種類設定できます。パスワード確認後、セキュリティ機能にログインできます。ログインするとセキュリティ機能が有効になるとともに、ユーザーパスワードまたは管理者パスワードを変更できます。
ログオフ	実行	-	[Enter] キーを押すと、セキュリティ機能をログオフできます。
ログイン設定	パスワード設定	-	表 2 のサブメニュー画面が表示されます。
機能制限	アクセス設定	-	表 3 のサブメニュー画面が表示されます。管理者のみ設定を変更できます。
セキュリティデータ	削除実行	-	[Enter] キーを押すと、患者情報、内部メモリの検査画像、病院施設名、ドクター名、手技名、連絡事項を削除することができます。

参考

→「5.5.7 セキュリティの設定」

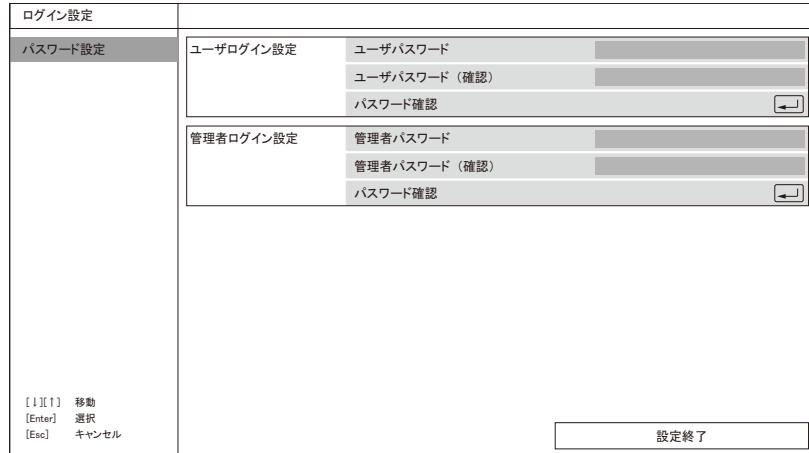


表 2

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ユーザログイン設定	ユーザパスワード	データキーボードで直接入力	"ユーザ" または "管理者" がユーザパスワードを設定できます。 パスワードは、4 文字以上、最大 15 文字までの英数字および記号を使用できます。
	ユーザパスワード（確認）	データキーボードで直接入力	変更したパスワードを再度入力します。
	パスワード確認	-	"ユーザパスワード" と "ユーザパスワード（確認）" に入力後、[Enter] キーを押すとパスワードが変更されます。
管理者ログイン設定	管理者パスワード	データキーボードで直接入力	"管理者" が管理者パスワードを設定できます。 パスワードは、4 文字以上、最大 15 文字までの英数字および記号を使用できます。
	管理者パスワード（確認）	データキーボードで直接入力	変更したパスワードを再度入力します。
	パスワード確認	-	"管理者パスワード" と "管理者パスワード（確認）" に入力後、[Enter] キーを押すとパスワードが変更されます。

参考

- 初期パスワードは、ユーザーが「user」、管理者が「user1」です。

➔ 「5.5.7 セキュリティの設定」

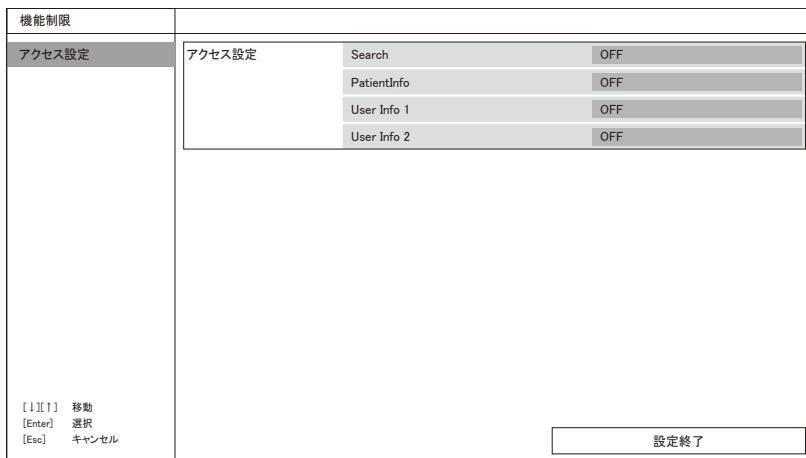


表 3

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
アクセス設定	Search	ON	[開始] キー、[検索] キーで設定する項目と、<当日の検査データを簡易的にコピーする方法>のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	
	Patient Info	ON	[患者] キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	
	User Info 1	ON	[ドクター] キー、[システム] キー、[周辺機器] キー、[画像] キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	
	User Info 2	ON	[手技] キー、[連絡事項] キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	

参考

- 管理者のみ設定を変更できます。

→ 「5.5.7 セキュリティの設定」

4.2.4 切替タブ

システム設定		
セキュリティ	マスクタイプ	マスクタイプ タイプ 1
切替	マルチボタン	マルチボタン 1 構造強調 マルチボタン 2 構造強調
基本	PinP	PinP ON
PoP	インデックス表示	インデックス ON
表示	ズーム設定	マルチズームモード 連続
光源/ポンプ		
スコープ		
フットスイッチ		
システムの拡張		
ライセンス		
[↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル		設定終了

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
マスクタイプ	マスクタイプ	タイプ 1	観察画面のマスクタイプを設定します。 →「3.8.3 マスクタイプ」
		タイプ 2	
マルチボタン	マルチボタン 1	構造強調	本製品の前面パネルにある「マルチ」ボタンに割り当てる機能を設定します。設定終了後、「マルチ」ボタンを押し、選択した機能が動作するか確認してください。
	マルチボタン 2	色彩強調	
		カラー調整	
		シャッタースピード	
		照明モード	
		FICE	
		リセット	
		タイマー	
		ラップタイム	
		マスクタイプ	
		診断支援モード	
		仮想スケール表示	
		動画録画 (EX-WS)	
		PoP1	
		PoP2	
		PoP Mode	
		SP-MODE	
		カラープリセット	
		ACI モード	
		マルチオブザベーション	
		PoP1 キャプチャ	
		PoP2 キャプチャ	

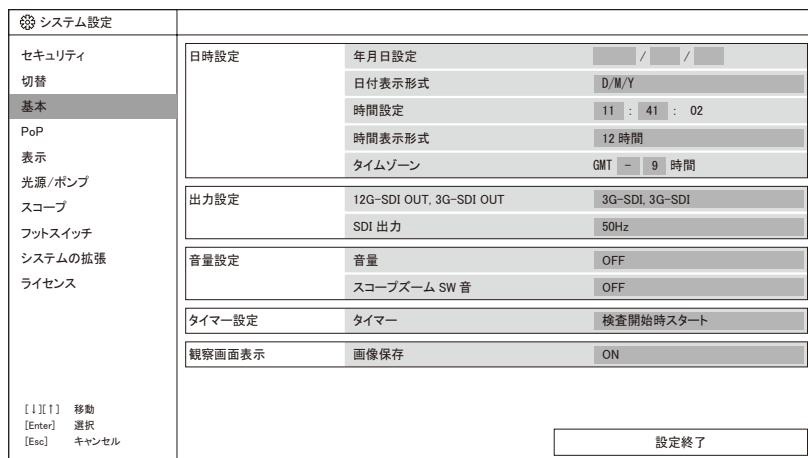
設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
参考			
• 構造強調			
➔「7.20 構造強調の切り替え」			
• 色彩強調			
➔「7.22 色彩強調の切り替え」			
• カラー調整			
➔「7.23 カラー調整の設定」			
• シャッタースピード			
➔「7.24 シャッタースピードの切り替え」			
• 照明モード			
特殊光観察プリセット設定の観察モードで設定した順に観察モードを切り替えます。			
➔「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」			
マルチオブザベーションモード時は、特殊光簡易切替設定（マルチオブザベーション）で設定した順に観察モードを切り替えます。			
➔「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除」			
• FICE			
➔「7.21 FICE の切り替え」			
• リセット			
撮影枚数カウンターを 0 にリセットします。また、内視鏡画像が表示されているときにこのボタンを約 2 秒間押し続けると、カラー調整値を工場出荷時の値にリセットします。			
• タイマー			
➔「7.27 タイマーのスタート / ストップ」			
• ラップタイム			
➔「7.28 ラップタイムのスタート / ストップ」			
• マスクタイプ			
ボタンを押すたびにマスクタイプを切替えます。 タイプ 1 → タイプ 2 → タイプ 1 へ戻る			
➔「3.8.3 マスクタイプ」			
• 診断支援モード			
EW1 システムソフトウェアの診断支援モードの切り替え設定を行います。 診断支援モードが使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。			
• 仮想スケール表示			
EW1 システムソフトウェアの仮想スケール表示モードの表示パターンの切り替え設定を行います。 仮想スケール表示モードの詳細仕様については、EW10-VM グループソフトウェアの取扱説明書を参照してください。			

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
• 動画録画 (EX-WS)			EW1 システムソフトウェアの動画録画の入／切の切り替え設定を行います。 動画録画が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
• PoP1、PoP2、PoP Mode			→「7.30 PoP（周辺機器画像の表示）の切り替え」
• SP-MODE			
• カラープリセット			カラープリセットモードの入／切を切り替えます。
			→「5.3.5 カラー調整」
• ACI モード			ボタンを押すと、特殊光観察モード「ACI」に切り替わります。もう一度ボタンを押すと、通常光モードに切り替わります。
• マルチオブザベーション			マルチオブザベーション機能の有効 / 無効を切り替えます。
• PoP1 キャプチャ			PoP1 画像を取り込みます。 PoP1 画像を表示していない場合は、画像は取り込まれません。
• PoP2 キャプチャ			PoP2 画像を取り込みます。 PoP2 画像を表示していない場合は、画像は取り込まれません。
インデックス表示	インデックス	ON OFF	ON にすると、直近に内部メモリーに記録されたインデックス画像を4枚表示します。
ズーム設定	マルチズームモード	連続 5ステップ 3ステップ 2ステップ 5ステップ（サイクル） 3ステップ（サイクル）	光学ズーム機能を持つ内視鏡を組み合わせて使用するときのズーム操作を設定できます。
参考			
<ul style="list-style-type: none"> マルチズームモードに対応していない内視鏡の場合は、設定に関係なく連続モードで動作します。 			
→「5.5.5 マルチズームモードの設定」			

4.2.5 基本タブ

注意

- 12G-SDI OUT 端子に 12G-SDI に対応していないモニターを接続し、出力設定を変更すると、映像が正常に表示されなくなります。その場合は [Ctrl]、[Alt]、[S] キーを同時に押してください。設定が「3G-SDI」に切り換わりブザーが鳴ります。ブザー音を確認したら、本製品を再起動してください。ブザーが鳴らない場合は押すキーに間違いないか再度確認してください。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
日時設定	年月日設定 ^{※1}	データキーボードで直接入力	年月日を入力します。西暦で入力してください。
	日付表示形式	Y/M/D	西暦年 / 月 / 日
		D/M/Y	日 / 月 / 西暦年
		M.D.Y	月名の略称 . 日 . 西暦年
	時間設定 ^{※1}	データキーボードで直接入力	時間を入力します。[Enter] キーを押した時点から時刻が進みます。
	時間表示形式	24 時間	時間の表示形式を変更します。
		12 時間	
タイムゾーン ^{※2}	+ 14 時間	標準時間 (GMT) からの増減方向を選択し、増減値を選択します。	
	- 11 時間		

参考

※1 日付、時刻は工場出荷時に設定済みですので、必要に応じて設定してください。

※2 グリニッジ標準時間からの時差を設定します。使用する地域に応じて変更してください。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
出力設定	12G-SDI OUT, 3G-SDI OUT	12G-SDI, 3G-SDI	12G-SDI OUT 端子、3G-SDI OUT 端子の出力解像度を変更します。
		3G-SDI, 3G-SDI	
		HD-SDI, HD-SDI	
	SDI 出力	50Hz 59.94Hz	SDI 出力周波数を変更します。

参考

- ・設定終了後、本製品を再起動してください。

音量設定	音量	大	スピーカーの音量を設定します。
		中	
		小	
		OFF	
	スコープズーム SW 音	ON	スコープスイッチに光学ズーム機能を割り当てている場合、スイッチを押すと音が鳴ります。
		OFF	

参考

- ・「音量」設定時、確認音が出ます。OFF は確認音が出ません。

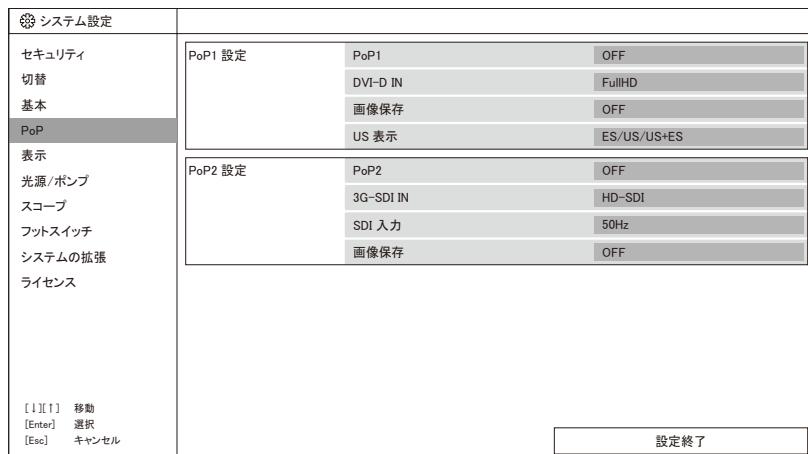
タイマー設定	タイマー	タイマー開始 / 停止	[タイマー Ctrl] キーで開始 / 停止を行います。
		検査開始時スタート	検査開始と同時にタイマーがスタートします。

参考

- ・タイマー
→「7.27 タイマーのスタート / ストップ」

観察画面表示	画像保存	OFF	観察画面の画像を保存します。
		ON	

4.2.6 PoP タブ



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
PoP1 設定	PoP1	OFF	ON にすると、電源投入後に、PoP1
		ON	画像を観察画面に表示します。
	DVI-D IN	FullHD	DVI-D IN 端子に入力する機器または、入力解像度を設定します。
		SXGA	画像の種類は、「FullHD」「SXGA」を設定すると PoP1 画像、「SU-1」「SP-900」を設定すると超音波画像となります。
		SU-1	「SU-1」の入力解像度は FullHD、
		SP-900	「SP-900」の入力解像度は SXGA です。
	画像保存	OFF	ON にすると、内視鏡画像を保存すると同時に PoP1 の画像も保存します。
		ON	
	US 表示	ES/US/US+ES	DVI-D IN を「SU-1」「SP-900」に設定した場合の観察画面の種類と、切り替える画面の設定をします。
		ES/US+ES	観察画面のエリアの切り替えは、データキーボードの [PoP1] キー、または PoP1 を割り当てたマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 を割り当てたスコープスイッチを押します。
		ES/US	ES : 内視鏡画像をメイン画面エリアに表示 US : 超音波画像をメイン画面エリアに表示 US+ES : 超音波画像をメイン画面エリア、内視鏡画像をサブ画面エリア 1 に表示

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
参考			
• 「画像保存」が「ON」で「DVI-D IN」が「SU-1」の場合、保存する PoP1 画像のサイズは FullHD または SXGA のどちらかを設定できます。設定はサービスマンが行います。			
PoP2 設定	PoP2	OFF	ON にすると、電源投入後に、PoP2 画像を観察画面に表示します。
		ON	
	3G-SDI IN	HD-SDI	3G-SDI IN 端子に入力する解像度を設定します。
		3G-SDI	
	SDI 入力	50Hz	3G-SDI IN 端子に入力する周波数を設定します。
		59.94Hz	
	画像保存	OFF	ON にすると、内視鏡画像を保存すると同時に PoP2 の画像も保存します。
		ON	

4.2.7 表示タブ

システム設定		
表示	表示する情報	検査情報 検査開始画面 観察画面情報表示追加
	Space キー	画面表示切替 ラップタイム 病院施設名称 マルチオブザベーション
	光源/ポンプ スコープ フットスイッチ システムの拡張 ライセンス	
	[↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	患者 ID ON ON 患者情報 OFF ON 病院施設名称 設定
設定終了		

表 1

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
表示する情報	検査情報	患者 ID	選択した検査情報を観察画面に表示します。
		検査番号	
	検査開始画面	ON	検査開始時に、患者情報・スコープ情報確認ダイアログが表示されます。 →「3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて」
		OFF	
	観察画面情報表示追加	ON	観察画面のメイン画面エリアの下に、患者情報を表示できます。 →「3.9.4 情報追加」
		OFF	
Space キー	画面表示切替	患者情報 OFF	[Space] キーを押すたびに、観察画面に表示／非表示が切り替わるデータを設定します。 非表示にした場合、観察画面情報非表示の「■」アイコンを表示します。 →「3.9.3 情報非表示」
		観察モードのみ	
		患者 ID のみ	
		日時のみ	
		表示なし	

参考

- 「患者情報 OFF」を選択すると、患者情報、日時、時刻が非表示になります。
- 「観察モードのみ」を選択すると、フォーカスメーター、電子ズーム拡大率、特殊光観察モード、分光画像処理機能が表示されます。
- 「患者 ID のみ」を選択すると、患者 ID が表示されます。
- 「日時のみ」を選択すると、日時、時刻が表示されます。
- ラップタイムとコーポレートブランドロゴの表示は、本設定項目には含まれません。

ラップタイム設定	ラップタイム	ON	観察画面でラップタイムを表示できます。
		OFF	
病院施設名称	病院施設名称	データキーボードで直 接入力	病院名を入力します。 削除する場合は、[Delete] キーで データを削除します。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
マルチオブザベーション	設定	-	表2のサブメニュー画面が表示されます。
参考			<ul style="list-style-type: none"> マルチオブザベーション機能は、マルチオブザベーションモードに対応した860／840シリーズスコープのみ使用可能です。

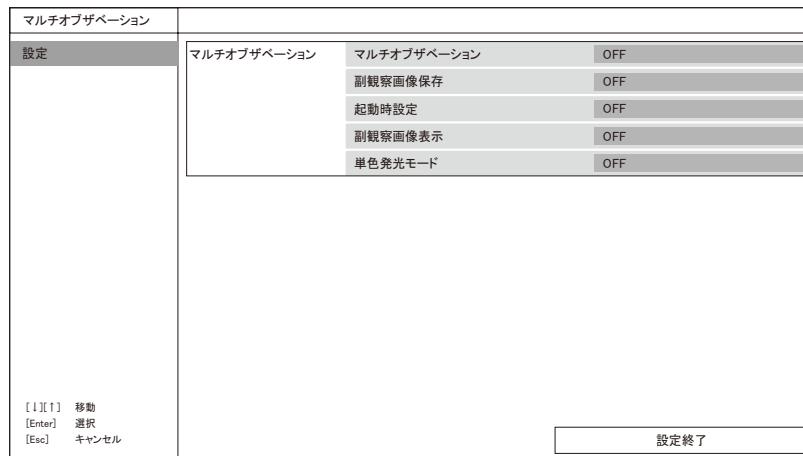


表2

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
マルチオブザベーション	マルチオブザベーション	ON	検査開始時のマルチオブザベーション機能の有効／無効を設定します。
		OFF	
	副観察画像保存	ON	副観察画像が通常光で表示されている場合、トリガー操作で画像が取り込まれます。
		OFF	
	起動時設定	使用できません。	
	副観察画像表示	使用できません。	
単色発光モード	ON	単色発光モードの有効／無効を設定します。	
	OFF		

4.2.8 光源 / ポンプタブ

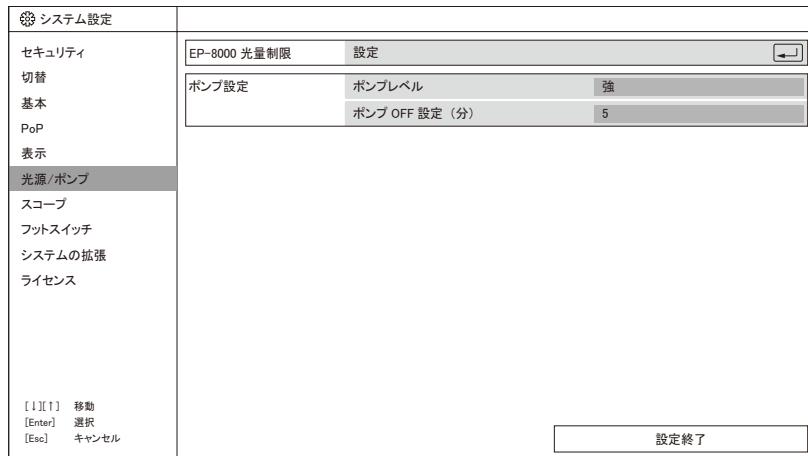


表 1

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
EP-8000 光量制限	設定	-	表 2 のサブメニュー画面が表示されます。
ポンプ設定	ポンプレベル	強	検査開始時の送気ポンプの強さを設定できます。
		中	
		弱	
		OFF	
	ポンプ OFF 設定 (分)	0 ~ 60 (分)	検査終了時から設定した時間後に自動で送気ポンプが OFF になります。

参考

- 内視鏡を取り外すと本製品の送気ポンプが OFF になるように設定することができます。設定はサービスマンが行います。

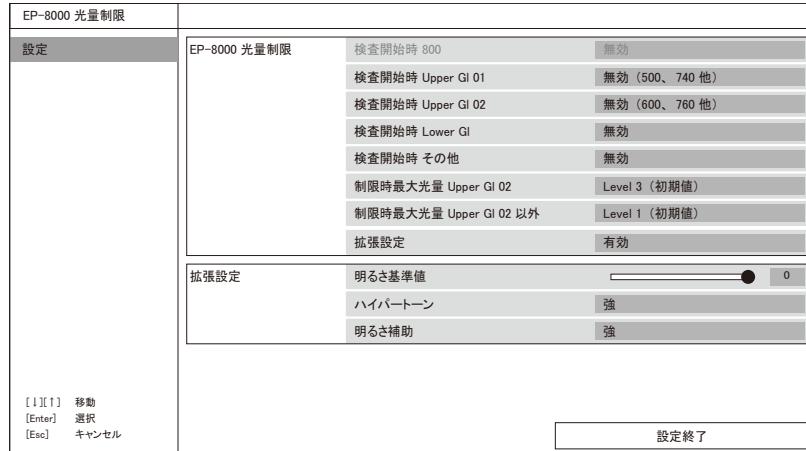


表 2

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
EP-8000 光量制限	検査開始時 800	無効	800 システムスコープでは、検査開始時の光量制限機能は使用できません。
	検査開始時 Upper GI 01	無効 (500、740 他)	スコープ名が EG で始まる以下の内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。
		有効 (500、740 他)	500 システム、740 シリーズ
	検査開始時 Upper GI 02	無効 (600、760 他)	スコープ名が EG で始まる以下の内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。
		有効 (600、760 他)	600 システム、760 シリーズ
	検査開始時 Lower GI	無効	スコープ名が EC で始まる内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。
		有効	
	検査開始時 その他	無効	他の内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。
		有効	
	制限時最大光量 Upper GI 02	Level 1	スコープ名が EG で始まる以下の内視鏡について、光量制限機能入のときの光量を設定できます。Level 1 より光量を下げたいときには Level 2、さらに下げたいときには Level 3 と設定します。
		Level 2	
		Level 3 (初期値)	600 システム、760 シリーズ
	制限時最大光量 Upper GI 02 以外	Level 1 (初期値)	Upper GI 02 以外の内視鏡について、光量制限機能入のときの光量を設定できます。Level 1 (初期値) より光量を下げたいときには Level 2、さらに下げたいときには Level 3 と設定します。
		Level 2	
		Level 3	

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
	拡張設定	有効	有効にした場合は、EP-8000 の前面パネルの光量制限ボタンを押して光量制限機能を入にすると、その操作に連動してシャッタースピードが 1/60 固定になり、下記「拡張設定」の「明るさ基準値」、「ハイパートーン」、「明るさ補助」の設定値が適用されます。
		無効	
拡張設定	明るさ基準値	-4 ~ 0	上記「EP-8000 光量制限」の「拡張設定」を有効にした場合、光量制限機能を入にすると、本項目で設定した明るさレベルが観察時の明るさの基準値として適用されます。
	ハイパートーン	OFF	上記「EP-8000 光量制限」の「拡張設定」を有効にした場合、光量制限機能を入にすると、本項目で設定したハイパートーンが適用されます。
		弱	
		中	
		強	
	明るさ補助	OFF	上記「EP-8000 光量制限」の「拡張設定」を有効にした場合、光量制限機能を入にすると、本項目で設定した明るさ補助が適用されます。
		弱	
		強	

4.2.9 スコープタブ

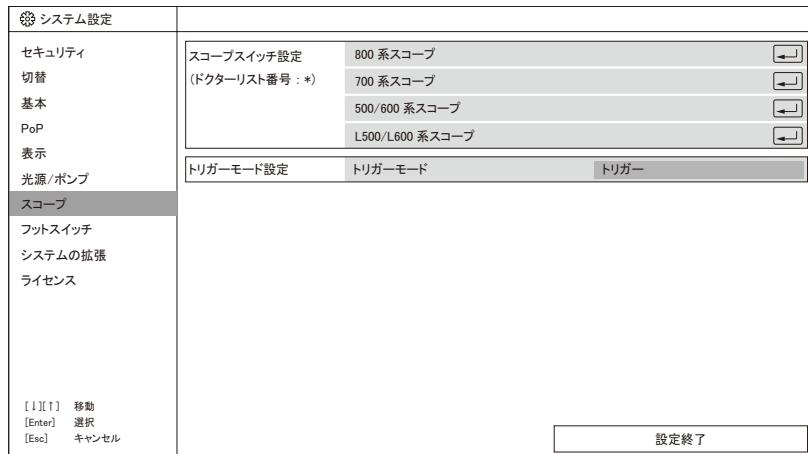


表 1

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
スコープスイッチ設定 (ドクターリスト番号 : *)	800 系スコープ	設定	表 2 のサブメニュー画面が表示されます。 ドクターリストからドクターを選択している場合は、ドクターリスト番号が表示され、そのドクター固有の設定が行えます。 →「7.7 ドクターの選択」
	700 系スコープ	設定	
	500/600 系スコープ	設定	
	L500/L600 系スコープ	設定	

参考

- 内視鏡を接続した時に、各スコープスイッチを押して動作を確認し、正しく機能が割り当てられているか確認します。
- L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープを使用するには設定が必要です。設定はサービスマンが行います。エラーメッセージが表示され、L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープが使用できないときは、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

トリガーモード設定	トリガーモード	トリガー	800、700 システムスコープのスイッチに割り当てるトリガーモードを変更します。
		シングルトリガー	
		シングルトリガー (P)	

参考

- シングルトリガー
内視鏡の「シングルトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押しても、プリンター、デジタルプリンター、動画記録装置の制御はできません。
- シングルトリガー (P)
内視鏡の「シングルトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押すと、プリンター、デジタルプリンターで画像を取り込むこと、動画記録装置で動画記録の開始ができます。

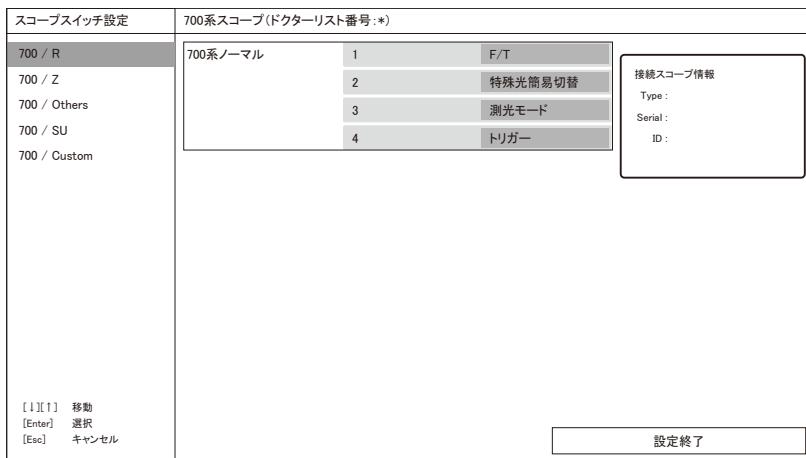


表 2

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
800 系ノーマル	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・800 システム (4 スイッチ) スコープの場合」
	2		
	3		
	4		
800 系ズーム	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・800 システム (5 スイッチ) スコープの場合 (1)」
	2		
	3		
	4		
	5		
	FR+OM(RC)	設定なし トリガー シングルトリガー レコード	
800 系 Others	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・800 システム (5 スイッチ) スコープの場合 (2)」
	2		
	3		
	4		
	5		
800 系 超音波	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・800 システム超音波スコープ (5 スイッチ) の場合」
	2		
	3		
	4		
	5		
800 系カスタム	使用できません。		
700 系ノーマル	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・700 システム (4 スイッチ) スコープの場合」
	2		
	3		
	4		

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
700系ズーム	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・700システム(5スイッチ)スコープの場合(1)」
	2		
	3		
	4		
	5		
	FR+OM(RC)	設定なし	
		トリガー	
		シングルトリガー	
		レコード	
700系Others	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・700システム(5スイッチ)スコープの場合(2)」
	2		
	3		
	4		
	5		
700系超音波	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・700システム超音波スコープ(5スイッチ)の場合」
	2		
	3		
	4		
	5		
700系カスタム	使用できません。		
500系ノーマル 600系ノーマル	FR	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・ノーマルスコープの場合」
	MM		
	RC		
500系ノーマル 600系ノーマル	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・ノーマルスコープ(4スイッチ)の場合」
	2		
	3		
	4		
600系光学ズーム SP SW有	FR	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・光学ズームスコープの場合」
	MM		
	SP		
	FR+OM(RC)		
500系超音波	FR	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・超音波スコープの場合」
	MM		
	RC		
500系超音波	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・超音波スコープ(5スイッチ)の場合」
	2		
	3		
	4		
	5		

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
L500 系ノーマル	FR	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・ノーマルスコープの場合」
	MM		
	RC		
L500 系ノーマル	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・ノーマルスコープ(4スイッチ)の場合」
	2		
	3		
	4		
L600 系ノーマル	FR	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・ノーマルスコープの場合」
	MM		
	RC		
L600 系ノーマル	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・ノーマルスコープ(4スイッチ)の場合」
	2		
	3		
	4		
L600 系光学ズーム SP SW 有	FR	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・光学ズームスコープの場合」
	MM		
	SP		
	FR+OM(RC)		
L600 系光学ズーム	1	➔ 「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	➔ 「・光学ズームスコープ(5スイッチ)の場合」
	2		
	3		
	FR+OM(RC)		

<スコープスイッチに割り当てる機能>

本製品と共に使用する内視鏡のスコープスイッチに割り当てる機能は次の表の通りです。設定はサービスマンが行います。

機能名称	機能概要
F/T (フリーズ/トリガー)	<p>スイッチを押すと、「フリーズタイム」で設定した時間だけ、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像が表示されます。</p> <p>画像が静止している間にもう一度スイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 静止している間にスイッチを押さないと、静止が解除され、画像は取り込まれません。 フリーズタイムの設定はサービスマンが行います。
F+T (フリーズ+トリガー)	<p>スイッチを押すと、「フリーズタイム」で設定した時間だけ、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示してから、自動的に画像が取り込まれ、静止が解除されます。画像が静止している間にもう一度スイッチを押すと、画像の取り込みは行わず静止を解除します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> フリーズタイムの設定はサービスマンが行います。
FRZ (フリーズ)	<p>スイッチを押すと、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示します。画像が静止している間にもう一度スイッチを押すと、画像の取り込みは行わず静止を解除します。画像を取り込む場合は「トリガー」「シングルトリガー」に設定したスイッチを押してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> フリーズ機能が割り当たされたスイッチを押した後に、レコード機能が割り当たされたスイッチを押しても、フリーズ状態は解除されません。
トリガー	<p>通常観察画面に静止画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像が静止していないときにスイッチを押しても、画像は取り込まれません。
シングルトリガー	観察画面に静止画像または動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。
レコード	<ul style="list-style-type: none"> 動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示し、静止画像を取り込みます。画像が取り込まれると、静止は解除されます。 F/T、F+Tでフリーズした場合に、このスイッチを押すと画像が取り込まれ静止が解除されます。FRZでフリーズした場合に、このスイッチを押すと画像が取り込まれ静止は解除されません。

機能名称	機能概要
測光モード	測光モード「オート / ピーク / 平均」を切り替えます。
シャッタースピード	シャッタースピード設定画面で設定されたシャッタースピード（標準 / 高速）を切り替えます。 →「5.3.6 シャッタースピード」
特殊光簡易切替	特殊光簡易切替設定で設定した順に観察モードを切り替えます。 →「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除 <画像設定ページの登録> Scope 共通 特殊光簡易切替設定」
構造強調	構造強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.2 構造強調設定」
FICE	FICE の入 / 切を切り替えます。 「FICE 簡易切替設定」に FICE セット番号を割り当てている場合は、FICE 「切」時にこのスイッチを押すと「FICE 入および“割り当て 1”の FICE セット番号呼び出し→“割り当て 2”呼び出し→“割り当て 3”呼び出し→FICE 切」と機能を切り替えます。「FICE 簡易切替設定」はサービスマンが行います。 →「5.3.3 FICE 設定」
色彩強調	色彩強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.4 色彩強調設定」
ディスプレイ	観察画面の表示 / 非表示が、「画面表示切替」の設定値に合わせて切り替わります。 →「4.2.7 表示タブ」 非表示にした場合、観察画面情報非表示の「  」アイコンを表示します。 →「3.9.3 情報非表示」
電子ズーム	このスイッチを押すと、「電子ズーム機能の拡大率」で設定された拡大率の表示に切り替わります。もう一度スイッチを押すと、元の表示（拡大率：×1.0）に戻ります。 参考 <ul style="list-style-type: none">「電子ズーム機能の拡大率」はサービスマンが行います。
光学ズーム：拡大	<ul style="list-style-type: none"> 光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率を上げます。 800/700 システムスコープで「マルチズームモード」の設定が「5 ステップ（サイクル）」「3 ステップ（サイクル）」の場合、800 システムスコープで「マルチズームモード」の設定が「2 ステップ」の場合、拡大率が最大になった状態でこのスイッチを押すと、拡大率が標準に戻ります。
光学ズーム：縮小	光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率を下げます。

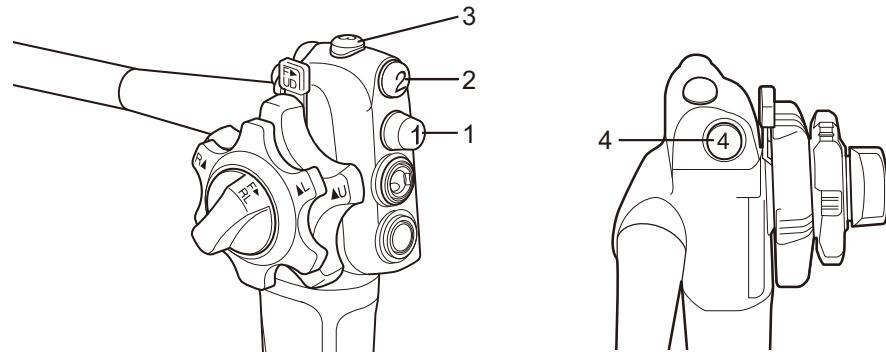
機能名称	機能概要
SU フリーズ	<p>超音波観測装置にフリーズ要求を行います。フリーズ要求は、連帯装置設定で「SU-1」を選択した場合のみ有効です。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波スコープ以外には割り当てられません。
SU ストア	<p>超音波観測装置にストア要求を行います。ストア要求は、連帯装置設定で「SU-1」を選択した場合のみ有効です。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波スコープ以外には割り当てられません。
タイマー	<p>タイマーをスタート／ストップします。</p> <p>➔ 「7.27 タイマーのスタート / ストップ」</p>
PoP1 PoP2	PoP を表示します。
PoP Mode	PoP の表示形式を切り替えます。
ラップタイム	<p>観察画面に表示されるラップタイムのスタート／ストップ／リセットします。</p> <p>➔ 「7.28 ラップタイムのスタート / ストップ」</p>
診断支援モード	<p>EW1 システムソフトウェアの診断支援モードの切り替え設定を行います。</p> <p>診断支援モードが使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。</p>
仮想スケール表示	<p>EW1 システムソフトウェアの仮想スケール表示モードの表示パターンの切り替え設定を行います。</p> <p>仮想スケール表示モードの詳細仕様については、EW10-VM グループソフトウェアの取扱説明書を参照してください。</p>
動画録画 (EX-WS)	<p>EW1 システムソフトウェアの動画録画の入／切の切り替え設定を行います。</p> <p>動画録画が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。</p>
カラープリセット	<p>カラープリセットモードの入 / 切を切り替えます。</p> <p>➔ 「5.3.5 カラー調整」</p>
W/P	スイッチを押している間、内視鏡用送水装置から送水します。
ACI モード	<p>スイッチを押すと、特殊光観察モード「ACI」に切り替わります。もう一度スイッチを押すと、通常光モードに切り替わります。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ACI モードは、LL-7000 では使用できません。
バルーン送排気 DBE_OT	バルーンコントローラーを使用するときにオーバチューブ側のバルーンへの送気または排気を切り替えます。電源投入時は排気から始まります。スイッチを押すとバルーンへ送気します。もう一度スイッチを押すと、バルーンから排気します。

機能名称	機能概要
バルーン送排気 DBE_ES	バルーンコントローラーを使用するときに内視鏡側のバルーンへの送気または排気を切り替えます。電源投入時は排気から始まります。スイッチを押すとバルーンへ送気します。もう一度スイッチを押すと、バルーンから排気します。
ブザー停止 PB	バルーンコントローラーを使用してブザーが鳴っているときに、スイッチを押すとブザーが止まります。
PoP1 キャプチャ	PoP1 画像を取り込みます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> • PoP1 画像を表示していない場合は、画像は取り込まれません。
PoP2 キャプチャ	PoP2 画像を取り込みます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> • PoP2 画像を表示していない場合は、画像は取り込まれません。
診断支援モード (US)	EW1 システムソフトウェアの診断支援モード (US) の切り替え設定を行います。診断支援モード (US) が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
設定なし	スイッチに機能を割り当てません。

<スコープスイッチの設定>

各スコープスイッチには、次の表の機能を割り当てることができます。

・800システム(4スイッチ)スコープの場合



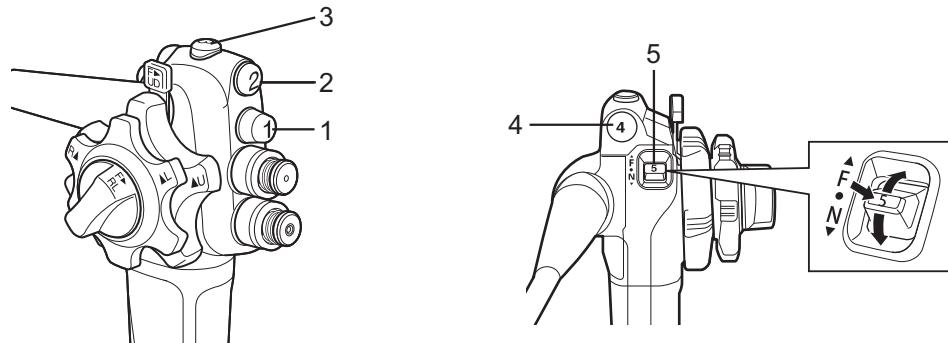
機能	1	2	3	4
F/T (フリーズ/トリガー)	○	○	○	○
F+T (フリーズ+トリガー)	○	○	○	○
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○
シングルトリガー	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○
PoP1	○	○	○	○
PoP2	○	○	○	○
PoP Mode	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○
診断支援モード	○	○	○	○
動画録画(EX-WS)	○	○	○	○
カラープリセット	○	○	○	○
W/P	○	○	○	○
ACIモード	○	○	○	○
PoP1 キャプチャ	○	○	○	○
PoP2 キャプチャ	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

参考

- 「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・800システム(5スイッチ)スコープの場合(1)



機能	1	2	3	4	5(押し込む)	5(F側に倒す)	5(N側に倒す)	FR+OM(RC)
F/T(フリーズ/トリガー)	○	○	○	○	○	-	-	-
F+T(フリーズ+トリガー)	○	○	○	○	○	-	-	-
FRZ(フリーズ)	○	○	○	○	○	-	-	-
トリガー ^{※1}	○	○	○	○	○	-	-	○
シングルトリガー ^{※1}	○	○	○	○	○	-	-	○
レコード ^{※1}	○	○	○	○	○	-	-	○
測光モード	○	○	○	○	○	-	-	-
シャッタースピード	○	○	○	○	○	-	-	-
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○	-	-	-
構造強調	○	○	○	○	○	-	-	-
FICE	○	○	○	○	○	-	-	-
色彩強調	○	○	○	○	○	-	-	-
ディスプレイ	○	○	○	○	○	-	-	-
電子ズーム	○	○	○	○	○	-	-	-
光学ズーム：拡大 ^{※1※2}	○	○	○	○	○	-	-	-
光学ズーム：拡大 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	○	-
光学ズーム：縮小 ^{※1}	-	-	-	-	-	○	-	-
タイマー	○	○	○	○	○	-	-	-
PoP1	○	○	○	○	○	-	-	-
PoP2	○	○	○	○	○	-	-	-
PoP Mode	○	○	○	○	○	-	-	-
ラップタイム	○	○	○	○	○	-	-	-
診断支援モード	○	○	○	○	○	-	-	-
動画録画(EX-WS)	○	○	○	○	○	-	-	-
カラープリセット	○	○	○	○	○	-	-	-
W/P	○	○	○	○	○	-	-	-
ACIモード	○	○	○	○	○	-	-	-
PoP1キャプチャ	○	○	○	○	○	-	-	-

機能	1	2	3	4	5 (押し込む)	5 (F側に倒す)	5 (N側に倒す)	FR+OM (RC)
PoP2 キャプチャ	○	○	○	○	○	-	-	-
設定なし	○	○	○	○	○	-	-	○

○：割り当て可能な機能

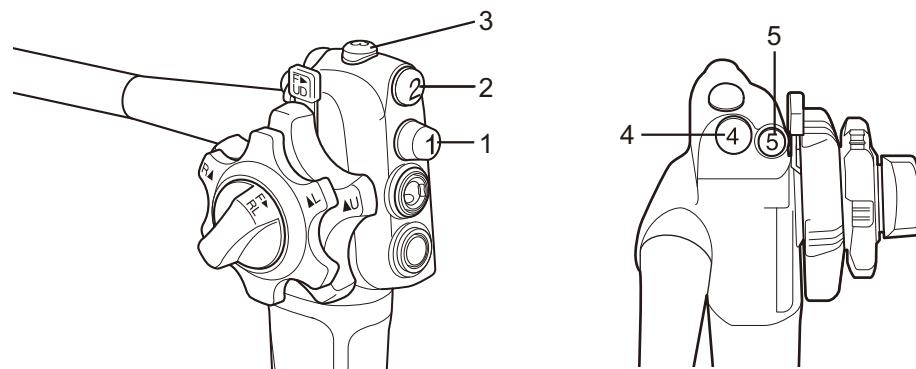
※1 「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」と「光学ズーム」の2つの機能を同時に割り当てることができます。

※2 「マルチズームモード」の設定が「5ステップ（サイクル）」「3ステップ（サイクル）」「2ステップ」の場合の設定です。拡大率が最大になった状態でこのスイッチを押すと、拡大率が標準に戻ります。スイッチ5（F側に倒す）、スイッチ5（N側に倒す）は動作しません。「マルチズームモード」の設定が「連続」「5ステップ」「3ステップ」の場合は割り当てはできません。

参考

- 「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・800システム(5スイッチ)スコープの場合(2)



機能	1	2	3	4	5
F/T(フリーズ/トリガー)	○	○	○	○	○
F+T(フリーズ+トリガー)	○	○	○	○	○
FRZ(フリーズ)	○	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○	○
シングルトリガー	○	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○	○
PoP1	○	○	○	○	○
PoP2	○	○	○	○	○
PoP Mode	○	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○	○
診断支援モード	○	○	○	○	○
動画録画(EX-WS)	○	○	○	○	○
カラープリセット	○	○	○	○	○
W/P	○	○	○	○	○
ACIモード	○	○	○	○	○
PoP1キャプチャ	○	○	○	○	○
PoP2キャプチャ	○	○	○	○	○
バルーン送排気 DBE_OT	○	○	○	○	○
バルーン送排気 DBE_ES	○	○	○	○	○
ブザー停止 PB	○	○	○	○	○

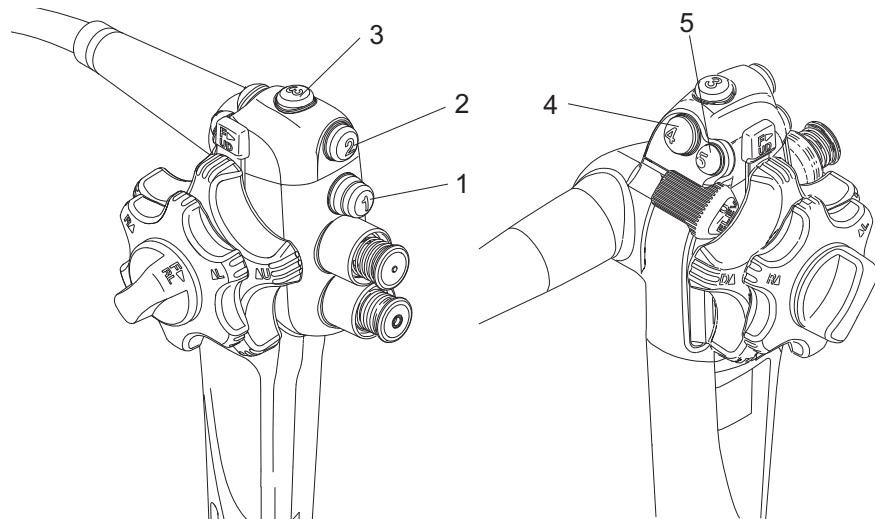
機能	1	2	3	4	5
設定なし	○	○	○	○	○

○：割り当て可能な機能

参考

- ・「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・800 システム超音波スコープ（5スイッチ）の場合

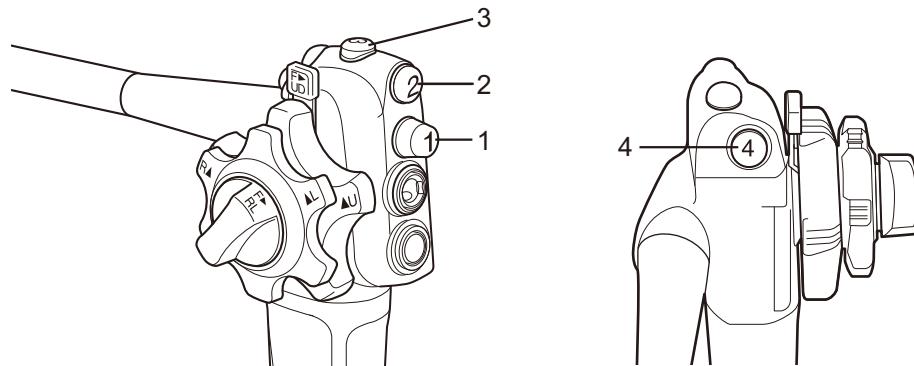


機能	1	2	3	4	5
F/T (フリーズ/トリガー)	○	○	○	○	○
F+T (フリーズ+トリガー)	○	○	○	○	○
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○	○
シングルトリガー	○	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○	○
SU フリーズ	○	○	○	○	○
SU ストア	○	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○	○
PoP1	○	○	○	○	○
PoP2	○	○	○	○	○
PoP Mode	○	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○	○
動画録画 (EX-WS)	○	○	○	○	○
カラープリセット	○	○	○	○	○
W/P	○	○	○	○	○
ACI モード	○	○	○	○	○
PoP1 キャプチャ	○	○	○	○	○

機能	1	2	3	4	5
PoP2 キャプチャ	○	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

・700 システム（4スイッチ）スコープの場合



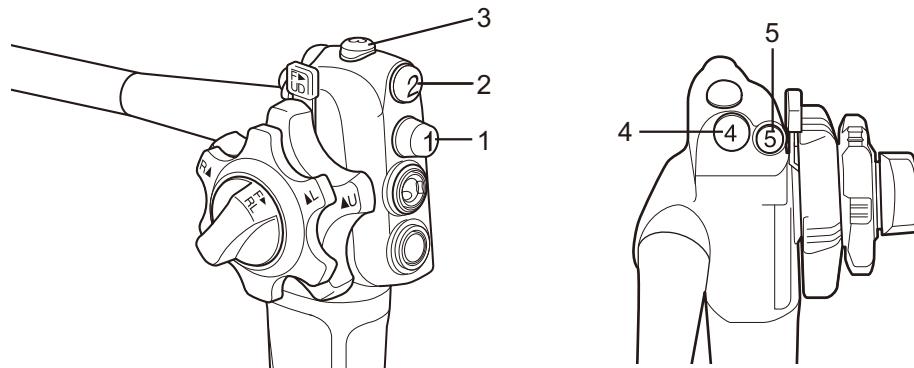
機能	1	2	3	4
F/T（フリーズ／トリガー）	○	○	○	○
F+T（フリーズ+トリガー）	○	○	○	○
FRZ（フリーズ）	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○
シングルトリガー	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○
PoP1	○	○	○	○
PoP2	○	○	○	○
PoP Mode	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○
診断支援モード	○	○	○	○
動画録画 (EX-WS)	○	○	○	○
カラープリセット	○	○	○	○
W/P	○	○	○	○
ACI モード	○	○	○	○
PoP1 キャプチャ	○	○	○	○
PoP2 キャプチャ	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

参考

- 「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・700 システム（5スイッチ）スコープの場合（1）



機能	1	2	3	4	5	FR+OM(RC)
F/T (フリーズ/トリガー)	○	○	○	○	○	-
F+T (フリーズ+トリガー)	○	○	○	○	○	-
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○	○	-
トリガー ^{*1}	○	○	○	○	○	○
シングルトリガー ^{*1}	○	○	○	○	○	○
レコード ^{*1}	○	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○	-
シャッタースピード	○	○	○	○	○	-
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○	-
構造強調	○	○	○	○	○	-
FICE	○	○	○	○	○	-
色彩強調	○	○	○	○	○	-
ディスプレイ	○	○	○	○	○	-
電子ズーム	○	○	○	○	○	-
光学ズーム：拡大 ^{*1 *2}	○	○	○	○	○	-
光学ズーム：縮小 ^{*1}	○	○	○	○	○	-
タイマー	○	○	○	○	○	-
PoP1	○	○	○	○	○	-
PoP2	○	○	○	○	○	-
PoP Mode	○	○	○	○	○	-
ラップタイム	○	○	○	○	○	-
診断支援モード	○	○	○	○	○	-
動画録画 (EX-WS)	○	○	○	○	○	-
カラープリセット	○	○	○	○	○	-
W/P	○	○	○	○	○	-
ACI モード	○	○	○	○	○	-
PoP1 キャプチャ	○	○	○	○	○	-
PoP2 キャプチャ	○	○	○	○	○	-
設定なし	○	○	○	○	○	○

○：割り当て可能な機能

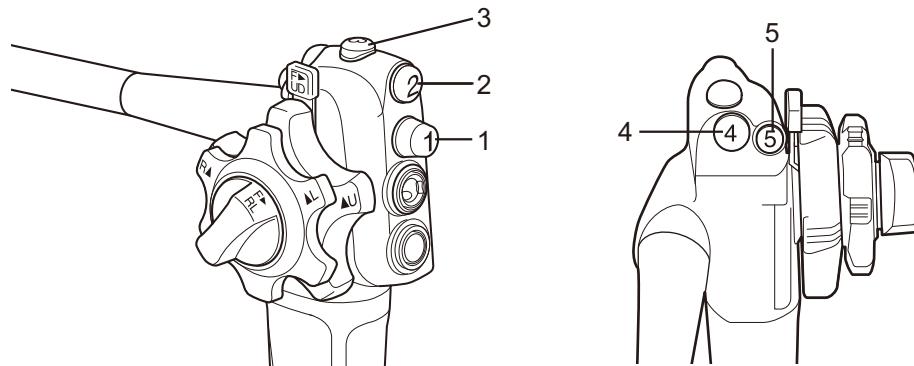
※1 「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」と「光学ズーム」の 2 つの機能を同時に割り当てることができます。

※2 「マルチズームモード」の設定が「5 ステップ（サイクル）」「3 ステップ（サイクル）」の場合、拡大率が最大になった状態でこのスイッチを押すと、拡大率が標準に戻ります。

参考

- 「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・700システム(5スイッチ)スコープの場合(2)



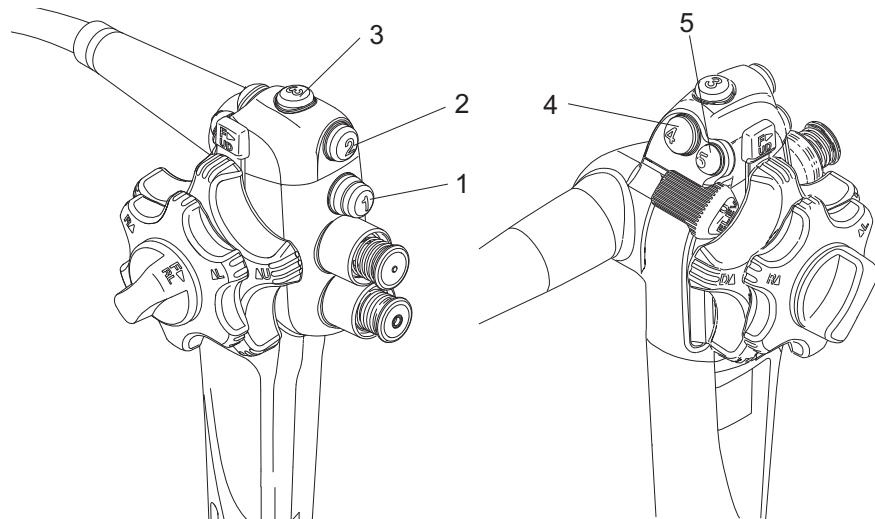
機能	1	2	3	4	5
F/T(フリーズ/トリガー)	○	○	○	○	○
F+T(フリーズ+トリガー)	○	○	○	○	○
FRZ(フリーズ)	○	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○	○
シングルトリガー	○	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○	○
PoP1	○	○	○	○	○
PoP2	○	○	○	○	○
PoP Mode	○	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○	○
診断支援モード	○	○	○	○	○
仮想スケール表示	○	○	○	○	○
動画録画(EX-WS)	○	○	○	○	○
カラープリセット	○	○	○	○	○
W/P	○	○	○	○	○
ACIモード	○	○	○	○	○
PoP1キャプチャ	○	○	○	○	○
PoP2キャプチャ	○	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

参考

- 「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・700 システム超音波スコープ（5スイッチ）の場合

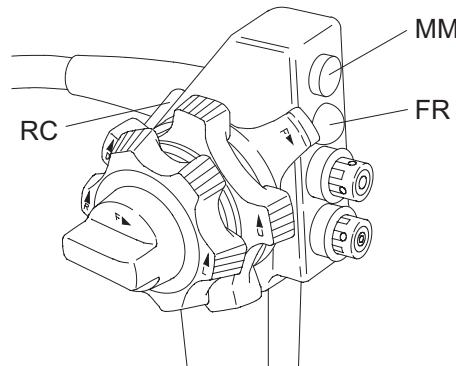


機能	1	2	3	4	5
F/T (フリーズ/トリガー)	○	○	○	○	○
F+T (フリーズ+トリガー)	○	○	○	○	○
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○	○
シングルトリガー	○	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○	○
SU フリーズ	○	○	○	○	○
SU ストア	○	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○	○
PoP1	○	○	○	○	○
PoP2	○	○	○	○	○
PoP Mode	○	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○	○
動画録画 (EX-WS)	○	○	○	○	○
カラープリセット	○	○	○	○	○
W/P	○	○	○	○	○
ACI モード	○	○	○	○	○
診断支援モード (US)	○	○	○	○	○

機能	1	2	3	4	5
PoP1 キャプチャ	○	○	○	○	○
PoP2 キャプチャ	○	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

・ノーマルスコープの場合



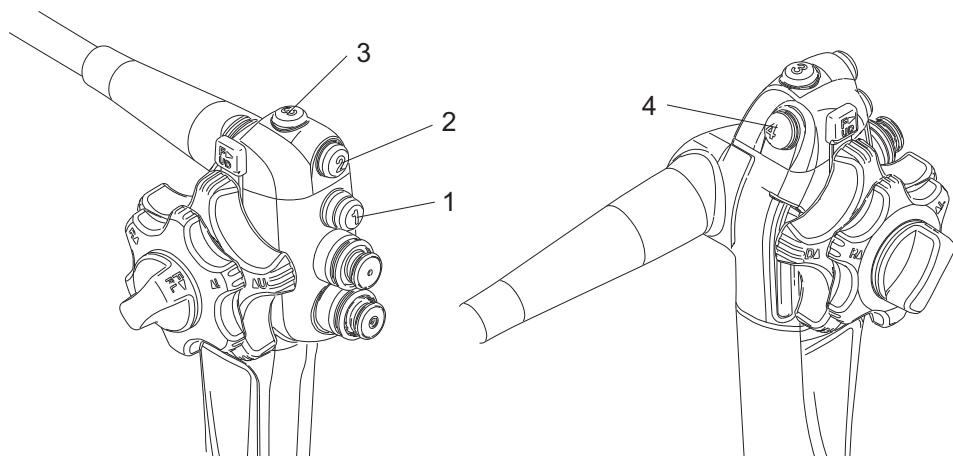
機能	FR	MM	RC
F/T (フリーズ/トリガー)	○	-	○
F+T (フリーズ+トリガー)	○	-	○
FRZ (フリーズ)	○	-	○
トリガー	○	○	○
レコード	-	○	○
測光モード	-	○	○
シャッタースピード	-	○	○
特殊光簡易切替	-	○	○
構造強調	-	○	○
FICE	-	○	○
色彩強調	-	○	○
ディスプレイ	-	○	○
電子ズーム	-	○	○
タイマー	-	○	○
PoP1	-	○	○
PoP2	-	○	○
PoP Mode	-	○	○
ラップタイム	-	○	○
診断支援モード	-	○	○
動画録画 (EX-WS)	-	○	○
カラープリセット	-	○	○
W/P	-	○	○
PoP1 キャプチャ	-	○	○
PoP2 キャプチャ	-	○	○
設定なし	-	○	○

○ : 割り当て可能な機能

参考

- MM のスコープスイッチがない内視鏡では、観察画面のスイッチ設定表示に、割り当てた機能が表示されますが、動作いたしません。

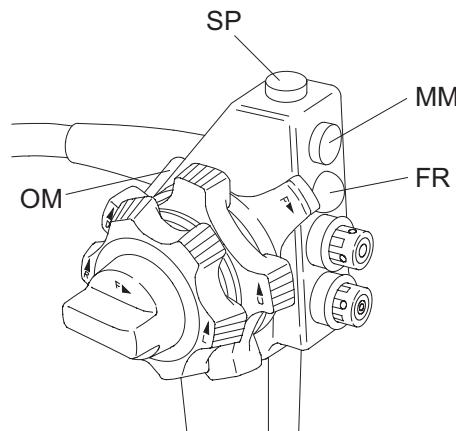
・ノーマルスコープ（4スイッチ）の場合



機能	1	2	3	4
F/T（フリーズ／トリガー）	○	-	-	○
F+T（フリーズ+トリガー）	○	-	-	○
FRZ（フリーズ）	○	-	-	○
トリガー	○	○	○	○
レコード	-	○	○	○
測光モード	-	○	○	○
シャッタースピード	-	○	○	○
特殊光簡易切替	-	○	○	○
構造強調	-	○	○	○
FICE	-	○	○	○
色彩強調	-	○	○	○
ディスプレイ	-	○	○	○
電子ズーム	-	○	○	○
タイマー	-	○	○	○
PoP1	-	○	○	○
PoP2	-	○	○	○
PoP Mode	-	○	○	○
ラップタイム	-	○	○	○
診断支援モード	-	○	○	○
動画録画（EX-WS）	-	○	○	○
カラープリセット	-	○	○	○
W/P	-	○	○	○
PoP1 キャプチャ	-	○	○	○
PoP2 キャプチャ	-	○	○	○
設定なし	-	○	○	○

○：割り当て可能な機能

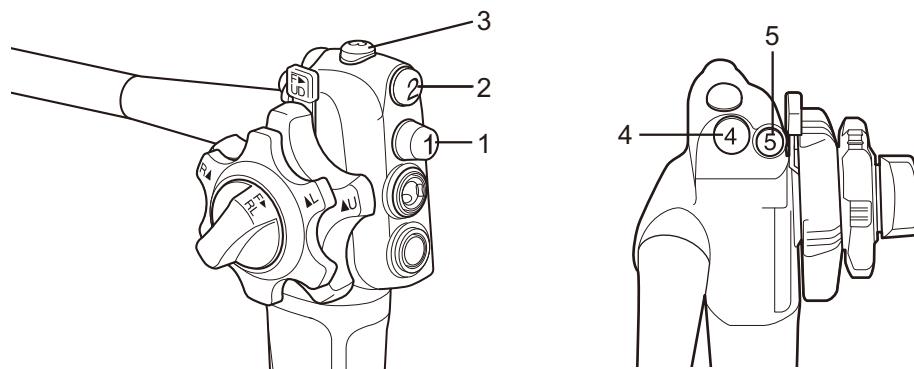
・光学ズームスコープの場合



機能	FR	MM	SP	OM	FR+OM
F/T (フリーズ/トリガー)	○	-	-	-	-
F+T (フリーズ+トリガー)	○	-	-	-	-
FRZ (フリーズ)	○	-	-	-	-
トリガー	-	○	○	-	○
レコード	-	○	○	-	○
測光モード	-	○	○	-	-
シャッタースピード	-	○	○	-	-
特殊光簡易切替	-	○	○	-	-
構造強調	-	○	○	-	-
FICE	-	○	○	-	-
色彩強調	-	○	○	-	-
ディスプレイ	-	○	○	-	-
電子ズーム	-	○	○	-	-
光学ズーム	-	-	-	○ (専用)	-
タイマー	-	○	○	-	-
PoP1	-	○	○	-	-
PoP2	-	○	○	-	-
PoP Mode	-	○	○	-	-
ラップタイム	-	○	○	-	-
診断支援モード	-	○	○	-	-
動画録画 (EX-WS)	-	○	○	-	-
カラープリセット	-	○	○	-	-
W/P	-	○	○	-	-
PoP1 キャプチャ	-	○	○	-	-
PoP2 キャプチャ	-	○	○	-	-
設定なし	-	○	○	-	-

○ : 割り当て可能な機能

・光学ズームスコープ（5スイッチ）の場合



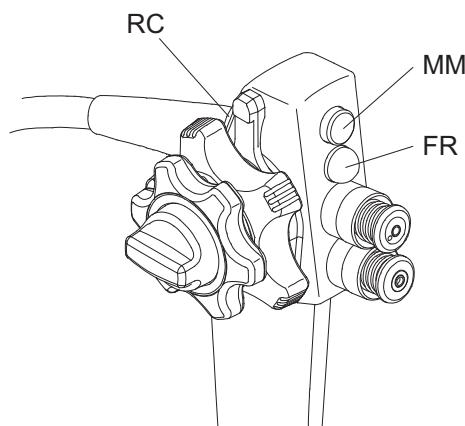
機能	1	2	3	4	5	FR+OM
F/T（フリーズ／トリガー）	○	-	-	-	-	-
F+T（フリーズ+トリガー）	○	-	-	-	-	-
FRZ（フリーズ）	○	-	-	-	-	-
トリガー	○	○	○	-	-	○
レコード	-	○	○	-	-	○
測光モード	-	○	○	-	-	-
シャッタースピード	-	○	○	-	-	-
特殊光簡易切替	-	○	○	-	-	-
構造強調	-	○	○	-	-	-
FICE	-	○	○	-	-	-
色彩強調	-	○	○	-	-	-
ディスプレイ	-	○	○	-	-	-
電子ズーム	-	○	○	-	-	-
光学ズーム：拡大	-	-	-	-	○（専用）	-
光学ズーム：縮小	-	-	-	○（専用）	-	-
タイマー	-	○	○	-	-	-
PoP1	-	○	○	-	-	-
PoP2	-	○	○	-	-	-
PoP Mode	-	○	○	-	-	-
ラップタイム	-	○	○	-	-	-
診断支援モード	-	○	○	-	-	-
動画録画（EX-WS）	-	○	○	-	-	-
カラープリセット	-	○	○	-	-	-
W/P	-	○	○	-	-	-
PoP1 キャプチャ	-	○	○	-	-	-
PoP2 キャプチャ	-	○	○	-	-	-
設定なし	-	○	○	-	-	-

○：割り当て可能な機能

参考

- ・「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

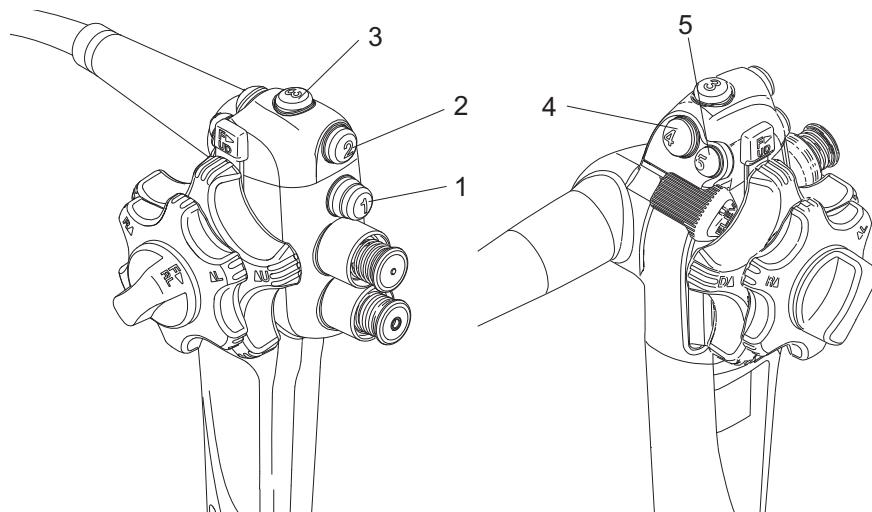
・超音波スコープの場合



機能	FR	MM	SP
F/T (フリーズ/トリガー)	○	-	○
F+T (フリーズ+トリガー)	○	-	○
FRZ (フリーズ)	○	-	○
トリガー	○	○	○
レコード	-	○	○
測光モード	-	○	○
シャッタースピード	-	○	○
構造強調	-	○	○
FICE	-	○	○
色彩強調	-	○	○
ディスプレイ	-	○	○
電子ズーム	-	○	○
SU フリーズ	-	○	○
SU ストア	-	○	○
タイマー	-	○	○
PoP1	-	○	○
PoP2	-	○	○
PoP Mode	-	○	○
ラップタイム	-	○	○
動画録画 (EX-WS)	-	○	○
カラープリセット	-	○	○
W/P	-	○	○
PoP1 キャプチャ	-	○	○
PoP2 キャプチャ	-	○	○
設定なし	-	○	○

○ : 割り当て可能な機能

・超音波スコープ（5スイッチ）の場合



機能	1	2	3	4	5
F/T (フリーズ/トリガー)	○	-	-	○	-
F+T (フリーズ+トリガー)	○	-	-	○	-
FRZ (フリーズ)	○	-	-	○	-
トリガー	○	○	○	○	○
レコード	-	○	○	○	○
測光モード	-	○	○	○	○
シャッタースピード	-	○	○	○	○
構造強調	-	○	○	○	○
FICE	-	○	○	○	○
色彩強調	-	○	○	○	○
ディスプレイ	-	○	○	○	○
電子ズーム	-	○	○	○	○
SU フリーズ	-	○	○	○	○
SU ストア	-	○	○	○	○
タイマー	-	○	○	○	○
PoP1	-	○	○	○	○
PoP2	-	○	○	○	○
PoP Mode	-	○	○	○	○
ラップタイム	-	○	○	○	○
動画録画 (EX-WS)	-	○	○	○	○
カラープリセット	-	○	○	○	○
W/P	-	○	○	○	○
診断支援モード (US)	-	○	○	○	○
PoP1 キャプチャ	-	○	○	○	○
PoP2 キャプチャ	-	○	○	○	○
設定なし	-	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

4.2.10 フットスイッチャタブ



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
フットスイッチ設定	Black	→ 「<フットスイッチ (FS1) に割り当てられる機能>」	L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープ以外の内視鏡を使用する際のフットスイッチの設定をします。
	Gray		
フットスイッチ設定 (LL)	Black (LL)	→ 「<フットスイッチ (FS1) に割り当てられる機能>」	L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープを使用する際のフットスイッチの設定をします。
	Gray (LL)		

＜フットスイッチ (FS1) に割り当てられる機能＞

本製品と共に使用する内視鏡のフットスイッチに割り当てられる機能は次の表の通りです。設定はサービスマンが行います。

機能名称	機能概要
F/T, F+T, FRZ	スイッチを押すと、スコープスイッチに割り当てた機能と同じ機能が動作します。 →「4.2.9 スコープタブ」
トリガー	通常観察画面に静止画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。 参考 <ul style="list-style-type: none">画像が静止していないときにスイッチを押しても、画像は取り込まれません。
レコード	通常観察画面に静止画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。 参考 <ul style="list-style-type: none">動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示し、静止画像を取り込みます。画像が取り込まれると、静止は解除されます。

機能名称	機能概要
測光モード	測光モード（オート / ピーク / 平均）を切り替えます。
シャッタースピード	シャッタースピード設定画面で設定されたシャッタースピード（標準 / 高速）を切り替えます。 →「5.3.6 シャッタースピード」
構造強調	構造強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.2 構造強調設定」
FICE	FICE の入 / 切を切り替えます。「FICE 簡易切替設定」に FICE セット番号を割り当てている場合は、FICE「切」時にこのスイッチを押すと「FICE 入および“割り当て 1”の FICE セット番号呼び出し→“割り当て 2”呼び出し→“割り当て 3”呼び出し→FICE 切」と機能を切り替えます。 →「5.3.3 FICE 設定」
色彩強調	色彩強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.4 色彩強調設定」
ディスプレイ	観察画面の表示 / 非表示が、「画面表示切替」の設定値に合わせて切り替わります。 →「4.2.7 表示タブ」 非表示にした場合、観察画面情報非表示の「  」アイコンを表示します。 →「3.9.3 情報非表示」
電子ズーム：拡大	電子ズームの拡大率を上げます。X1.00 ~ X2.00 の範囲で、0.05 ステップで上がります。
電子ズーム：縮小	電子ズームの拡大率を下げます。X2.00 ~ X1.00 の範囲で、0.05 ステップで下がります。
光学ズーム：拡大	光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率を上げます。
光学ズーム：縮小	光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率を下げます。
子画面消去 / 表示	フリーズ機能により通常観察画面に静止画像、子画面に動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、子画面の表示が消去されます。もう一度スイッチを押すと子画面の表示が再表示されます。
特殊光簡易切替	特殊光簡易切替設定で設定した順に観察モードを切り替えます。 →「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除 <画像設定ページの登録> Scope 共通 特殊光簡易切替設定」
診断支援モード	EW1 システムソフトウェアの診断支援モードの切り替え設定を行います。 診断支援モードが使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

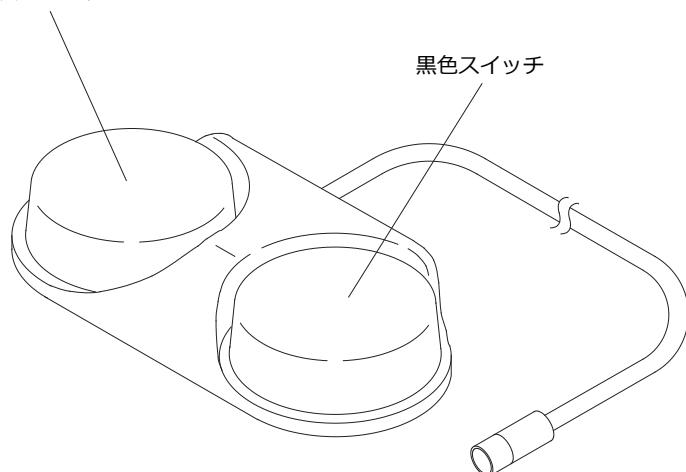
機能名称	機能概要
仮想スケール表示	EW1 システムソフトウェアの仮想スケール表示モードの表示パターンの切り替え設定を行います。 仮想スケール表示モードの詳細仕様については、EW10-VM グループソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
動画録画 (EX-WS)	EW1 システムソフトウェアの動画録画の入／切の切り替え設定を行います。 動画録画が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
ACI モード	スイッチを押すと、特殊光観察モード「ACI」に切り替わります。もう一度スイッチを押すと、通常光モードに切り替わります。 参考 <ul style="list-style-type: none">• ACI モードは、LL-7000 では使用できません。
PoP1 キャプチャ	PoP1 画像を取り込みます。 参考 <ul style="list-style-type: none">• PoP1 画像を表示していない場合は、画像は取り込まれません。
PoP2 キャプチャ	PoP2 画像を取り込みます。 参考 <ul style="list-style-type: none">• PoP2 画像を表示していない場合は、画像は取り込まれません。
設定なし	スイッチに機能を割り当てません。

<フットスイッチ (FS1) の設定>

フットスイッチの各スイッチには、設定によって次の表の機能を割り当てることができます。

灰色スイッチ

黒色スイッチ



機能	灰色 (Gray)	黒色 (Black)
F/T, F+T, FRZ	○	○
トリガー	○	○
レコード	○	○
測光モード	○	○
シャッタースピード	○	○
構造強調	○	○
FICE	○	○
色彩強調	○	○
ディスプレイ	○	○
電子ズーム：拡大	○	○
電子ズーム：縮小	○	○
光学ズーム：拡大	○	○
光学ズーム：縮小	○	○
子画面消去 / 表示	○	○
特殊光簡易切替	○	○
診断支援モード	○	○
仮想スケール表示	○	○
動画録画 (EX-WS)	○	○
ACI モード	○	○
PoP1 キャプチャ	○	○
PoP2 キャプチャ	○	○
設定なし	○	○

○ : 割り当て可能な機能

4.2.11 システムの拡張タブ



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
EX-WS	表示		EW1 システムソフトウェアを搭載した装置（EX-WS）に接続されているモニターに、EX-WS の設定画面を表示します。 設定画面を閉じるには、[Esc] キーを押します。
参考			
• EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。			
仮想スケール	表示パターン数	1 ~ 5	EW1 システムソフトウェアの仮想スケール表示モードの表示パターン数の設定を行います。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
- 「4.2.2 設定の基本操作」

4.2.12 ライセンスタブ

本製品に使用されているソフトウェアのライセンス情報が表示されます。

4.2.13 ドクターネームの設定

ドクターリストにドクターネームを登録する方法と、削除する方法について説明します。

ドクターリストに登録したドクターネームは、患者情報の登録の際に選択できます。

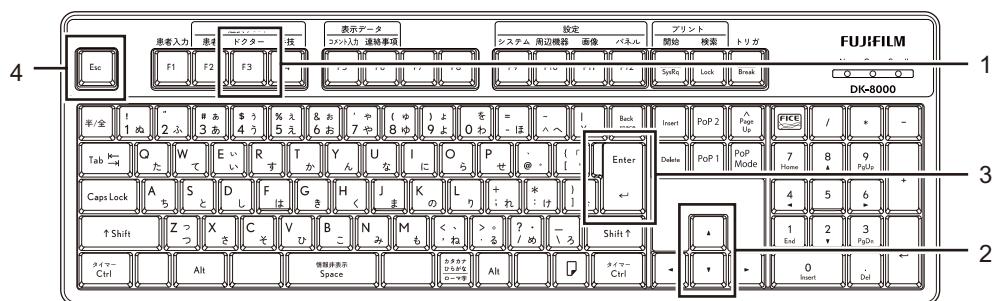
患者情報の登録については、「5.2.1 患者情報の登録」を参照してください。

＜ドクターネームの登録＞

ドクターネームは 20 名まで登録できます。

- (1) [ドクター] キーを押します。

ドクターリスト画面が表示されます。



1 [ドクター] キー

2 [↑][↓] キー

3 [Enter] キー

4 [Esc] キー

リストのページを変更する場合は「ドクターリスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

ドクターリスト		< ドクターリスト 1/2 >		スコープ別画像設定	
		番号	ドクターネーム	マルチ	Upper GI 設定
					Lower GI 設定
					その他設定
01					
02					
03					
04					
05					
06					
07					
08					
09					
10					
< ドクターリスト 1/2 >		リスト全削除			

- (2) ドクターネームを登録する番号にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。

ドクターネームを入力できる状態になります。

(3) ドクター名を 20 文字以内で入力します。

(4) ドクター名の入力が終わったら、[Enter] キーを押します。検査開始時のマルチオブザベーション機能の有効／無効を設定します。ポップアップメニューが表示されるので、「ON」または「OFF」を選択します。

参考

- マルチオブザベーションモードで設定した機能はドクター固有の設定として、表示タブのマルチオブザベーションによる設定よりも優先されます。

→ 「4.2.7 表示タブ」

(5) 続いてスコープ別画像設定を選びます。接続されている内視鏡の観察部位に合わせて、検査開始時に画像設定を読み込む機能です。ポップアップメニューが表示されるので、「* 起動時設定」または設定済みの「画像設定ページ名」を選択します。

Upper GI 設定：スコープ名が EG で始まる内視鏡

Lower GI 設定：スコープ名が EC で始まる内視鏡

その他設定：その他の内視鏡

→ 「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除」

参考

- スコープ別画像設定で選べる項目は、画像設定ページで登録した画像設定ページ名です。

(6) 複数のドクター名を登録する場合は、手順 (2) ~ (5) を繰り返します。

(7) 入力が終了したらドクター名を選択して、[Enter] キーを押します。

選択しているドクターの設定を呼び出して、観察画面に戻ります。

ドクターの設定を呼び出さずに観察画面に戻るには、[Esc] キーを押します。

<ドクター名の削除>

(1) [ドクター] キーを押します。

ドクターリスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「ドクターリスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ [←]、[→] キーを押します。

ドクターリスト		< ドクターリスト 1/2 >				スコープ別画像設定
番号	ドクター名	マルチ	Upper GI 設定	Lower GI 設定	その他設定	
01	AOYAMA	OFF	*	02	01	
02						
03						
04						
05						
06						
07						
08						
09						
10						
< ドクターリスト 1/2 >				リスト全削除		

[↑][↓] 移動
[Enter] 選択
[Insert] 選択して編集
[Delete] 削除
[Esc] キャンセル

- (2) 削除するドクター名の番号にカーソルを合わせ、[Delete] キーを押します。
「このドクター情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。
- (3) 「はい」を選択するとドクター名が削除されます。
削除されたリストはブランクで表示されます。

参考

- すべてのドクター名を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。「全てのドクター情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。

- (4) [Enter] キーを押します。
選択しているドクター名を呼び出して観察画面に戻ります。
ドクター名を呼び出さずに観察画面に戻るには、[Esc] キーを押します。

4.2.14 手技名の設定

手技リストに手技名を登録する方法と、削除する方法について説明します。

手技リストに登録した手技名は、患者情報の登録の際に選択できます。

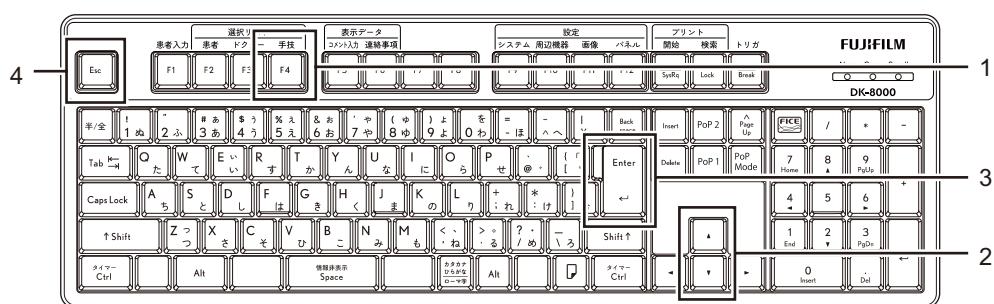
患者情報の登録については、「5.2.1 患者情報の登録」を参照してください。

〈手技名の登録〉

手技名は 20 種類まで登録できます。

- (1) [手技] キーを押します。

手技リスト画面が表示されます。



1	[手技] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「手技リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

手技リスト >	< 手技リスト 1/2 >
番号 手技名	01
	02
	03
	04
	05
	06
	07
	08
	09
	10
〔↑〕〔↓〕 移動 [Enter] 選択 [Insert] 選択して編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル	< 手技リスト 1/2 > リスト全削除

- (2) 手技名を登録するリスト番号にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。
手技名を入力できる状態になります。

参考

- [Enter] キーを押すと、選択している手技名を呼び出して観察画面に戻ります。手技名が登録されていない場合は何も起りません。

- (3) 手技名を16文字以内で入力し、[Enter]キーを押します。
- (4) 複数の手技名を登録する場合は、手順(2)～(3)を繰り返します。
- (5) 入力が終了したら手技名を選択して、[Enter]キーを押します。
選択している手技名を呼び出して、観察画面に戻ります。
手技名を呼び出さずに観察画面に戻るには、[Esc]キーを押します。

〈手技名の削除〉

- (1) [手技]キーを押します。
手技リスト画面が表示されます。
リストのページを変更する場合は「手技リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→]キーを押します。

手技リスト	
>	< 手技リスト 1/2 >
番号	手技名
01	ショキ1
02	ショキ2
03	ショキ3
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
<	手技リスト 1/2 >
	リスト全削除

- (2) 削除する手技名の番号にカーソルを合わせ、[Delete]キーを押します。
「この手技情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。
- (3) 「はい」を選択すると手技名が削除されます。
削除されたリストはブランクで表示されます。

参考

- すべての手技名を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

- (4) [Esc]キーを押します。
観察画面に戻ります。

4.2.15 連絡事項の設定

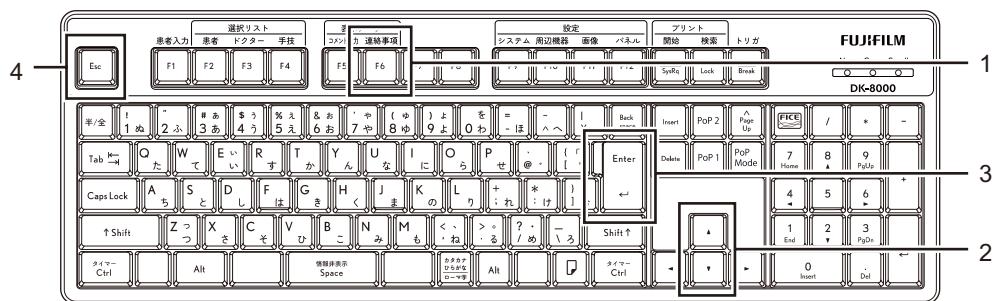
患者情報に反映させる連絡事項を登録しておくことができます。

<連絡事項の登録>

連絡事項は 20 種類まで登録できます。

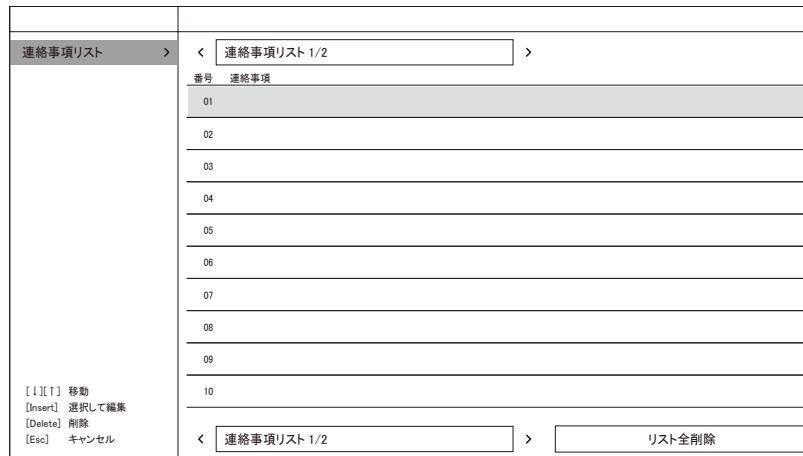
- (1) [連絡事項] キーを押します。

連絡事項リスト画面が表示されます。



1	[連絡事項] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「連絡事項リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。



- (2) 連絡事項を登録するリスト番号にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。
連絡事項を入力できる状態になります。

- (3) 連絡事項を 20 文字以内で入力し、[Enter] キーを押します。

- (4) 複数の連絡事項を登録する場合は、手順 (2) ~ (3) を繰り返します。

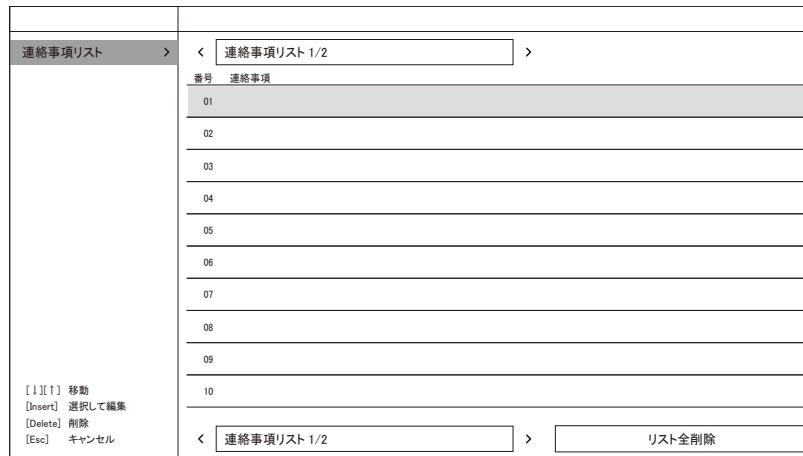
- (5) [Esc] キーを押します。
観察画面に戻ります。

＜連絡事項の削除＞

- (1) [連絡事項] キーを押します。

連絡事項リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「連絡事項リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。



- (2) 削除する連絡事項の番号にカーソルを合わせ、[Delete] キーを押します。

「この連絡事項を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。

- (3) 「はい」を選択すると連絡事項が削除されます。

削除されたリストはブランクで表示されます。

参考

- すべての連絡事項を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

- (4) [Esc] キーを押します。

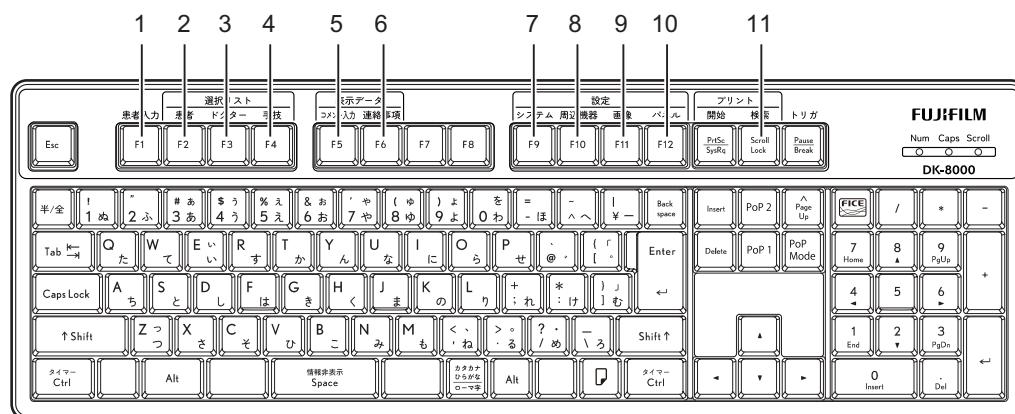
観察画面に戻ります。

第 5 章 各機能の設定

この章では、本製品の機能の設定方法を記載しています。

5.1 ユーザー設定画面の階層

データキーボードのキーを押すと、そのキーに割り当てられている設定画面が表示されます。
各キーに割り当てられている設定画面の階層は、次の構成になっています。



1	[患者入力] キー
2	[患者] キー
3	[ドクター] キー
4	[手技] キー
5	[コメント入力] キー
6	[連絡事項] キー
7	[システム] キー
8	[周辺機器] キー
9	[画像] キー
10	[パネル] キー
11	[検索] キー

< [患者入力] キー >

患者情報入力画面（患者番号自動入力）

患者情報入力	<p>患者番号 01</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>検査番号</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>患者ID</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>患者名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>性別</td><td>なし</td><td>M(男性) F(女性)</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>/</td><td>/</td></tr> <tr><td>年齢</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>医師名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>手技</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>連絡事項</td><td colspan="2"></td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>この患者で検査する</td></tr> <tr><td>登録終了</td></tr> <tr><td>次の患者情報を入力する</td></tr> <tr><td>内容クリア</td></tr> </table>	検査番号			患者ID			患者名			性別	なし	M(男性) F(女性)	生年月日	/	/	年齢			医師名			手技			連絡事項			この患者で検査する	登録終了	次の患者情報を入力する	内容クリア
検査番号																																
患者ID																																
患者名																																
性別	なし	M(男性) F(女性)																														
生年月日	/	/																														
年齢																																
医師名																																
手技																																
連絡事項																																
この患者で検査する																																
登録終了																																
次の患者情報を入力する																																
内容クリア																																
<small> [↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 選択して編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル </small>																																

< [患者] キー >

患者リスト画面

患者リスト	<p>< 患者リスト 1/3 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>番号</th><th>患者名</th><th>患者 ID</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>02</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>03</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>04</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>05</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>06</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>07</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>08</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>09</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>検査番号 :</td></tr> <tr><td>患者ID :</td></tr> <tr><td>患者名 :</td></tr> <tr><td>性別 :</td></tr> <tr><td>生年月日 :</td></tr> <tr><td>年齢 :</td></tr> <tr><td>ドクター :</td></tr> <tr><td>手技 :</td></tr> <tr><td>連絡事項 :</td></tr> </table>	番号	患者名	患者 ID	01			02			03			04			05			06			07			08			09			10			11			12			13			14			15			検査番号 :	患者ID :	患者名 :	性別 :	生年月日 :	年齢 :	ドクター :	手技 :	連絡事項 :
番号	患者名	患者 ID																																																								
01																																																										
02																																																										
03																																																										
04																																																										
05																																																										
06																																																										
07																																																										
08																																																										
09																																																										
10																																																										
11																																																										
12																																																										
13																																																										
14																																																										
15																																																										
検査番号 :																																																										
患者ID :																																																										
患者名 :																																																										
性別 :																																																										
生年月日 :																																																										
年齢 :																																																										
ドクター :																																																										
手技 :																																																										
連絡事項 :																																																										
<small> [↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 選択して編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル </small>																																																										
< 患者リスト 1/3 > リスト全削除																																																										

< [ドクター] キー >

ドクターリスト画面

ドクターリスト	<p>< ドクターリスト 1/2 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>番号</th><th>ドクター名</th><th>マルチ</th><th>Upper GI 設定</th><th>Lower GI 設定</th><th>スコープ別画像設定</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>02</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>03</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>04</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>05</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>06</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>07</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>08</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>09</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>ドクターリスト 1/2</td></tr> <tr><td>リスト全削除</td></tr> </table>	番号	ドクター名	マルチ	Upper GI 設定	Lower GI 設定	スコープ別画像設定	01						02						03						04						05						06						07						08						09						10						ドクターリスト 1/2	リスト全削除
番号	ドクター名	マルチ	Upper GI 設定	Lower GI 設定	スコープ別画像設定																																																																
01																																																																					
02																																																																					
03																																																																					
04																																																																					
05																																																																					
06																																																																					
07																																																																					
08																																																																					
09																																																																					
10																																																																					
ドクターリスト 1/2																																																																					
リスト全削除																																																																					
<small> [↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 選択して編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル </small>																																																																					
< ドクターリスト 1/2 > リスト全削除																																																																					

< [手技] キー >

手技リスト画面

手技リスト	< <input type="text" value="手技リスト 1/2"/> > 番号 手技名 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10
	<input type="button" value="リスト全削除"/>

< [コメント入力] キー >

設定画面は表示されません。

(観察画面上でコメントを入力できる状態にします。)

< [連絡事項] キー >

連絡事項リスト画面

連絡事項リスト	< <input type="text" value="連絡事項リスト 1/2"/> > 番号 連絡事項 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10
	<input type="button" value="リスト全削除"/>

< [システム] キー >

システム設定画面

システム設定	
セキュリティ	ログイン 実行
切替	ログオフ 実行
基本	ログイン設定 パスワード設定
PoP	機能制限 アクセス設定
表示	セキュリティデータ 削除実行
光源/ポンプ	
スコープ	
フットスイッチ	
システムの拡張	
ライセンス	

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	マスクタイプ マスクタイプ
切替	マルチボタン マルチボタン1
基本	マルチボタン マルチボタン2
PoP	構造強調
表示	PnP PnP ON
光源/ポンプ	インデックス表示 インデックス ON
スコープ	フレーム設定 フレーム設定
フットスイッチ	システムの拡張
システムの拡張	ライセンス

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	日時設定 年月日設定
切替	日付表示形式 D/M/Y
基本	時間設定 11 : 41 : 02
PoP	時間表示形式 12 時間
表示	タイムゾーン GMT - 9 時間
光源/ポンプ	出力設定 12G-SDI OUT, 3G-SDI OUT
スコープ	SDI 出力 50Hz
フットスイッチ	音量 OFF
システムの拡張	スコープズーム SW. 音 OFF
ライセンス	タイマー設定 タイマー 検査開始時スタート
	観察画面表示 画像保存 ON

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
PoP1 設定	PoP1 OFF
切替	DVI-D IN FullHD
基本	画像保存 OFF
PoP	US 表示 ES/US/US+ES
表示	PoP2 OFF
光源/ポンプ	3G-SDI IN HD-SDI
スコープ	SDI 入力 50Hz
フットスイッチ	画像保存 OFF
システムの拡張	ライセンス

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	表示する情報 検査情報 患者ID
切替	検査開始画面 ON
基本	観察画面情報表示追加 ON
PoP	Space キー 画面表示切替 患者情報 OFF
表示	ラップタイム設定 ラップタイム ON
光源/ポンプ	病院施設名称 病院施設名称
スコープ	マルチオブザベーション 設定
フットスイッチ	
システムの拡張	
ライセンス	

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	EP-8000 光量制限 設定
切替	ポンプ設定 ポンプレベル 強
基本	ポンプ OFF 設定(分) 5
PoP	
表示	
光源/ポンプ	
スコープ	
フットスイッチ	
システムの拡張	
ライセンス	

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	スコープスイッチ設定 800 系スコープ
切替	(ドクターリスト番号: *) 700 系スコープ
基本	500/600 系スコープ
PoP	L500/L800 系スコープ
表示	トリガーモード設定 トリガーモード トリガー
光源/ポンプ	
スコープ	
フットスイッチ	
システムの拡張	
ライセンス	

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	フットスイッチ設定 Black F/T, F+T, FRZ
切替	Gray トリガー
基本	フットスイッチ設定(LL) Black(LL) F/T, F+T, FRZ
PoP	Gray(LL) トリガー
表示	
光源/ポンプ	
スコープ	
フットスイッチ	
システムの拡張	
ライセンス	

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	EX-WS 表示
切替	仮想スケール 表示パターン数 1
基本	
PoP	
表示	
光源/ポンプ	
スコープ	
フットスイッチ	
システムの拡張	
ライセンス	

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

システム設定	
セキュリティ	ソフトウェア 表示
切替	
基本	
PoP	
表示	
光源/ポンプ	
スコープ	
フットスイッチ	
システムの拡張	
ライセンス	

[↓][↑] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル

設定終了

< [周辺機器] キー>

内部メモリー

周辺機器設定	
内部メモリー	内部メモリー 圧縮率 記録可能枚数警告メッセージ 画素表示 情報1 情報2 転送済バックアップ画像の一括削除 コピー済画像の一括削除 内部メモリー初期化
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	1/1 (TIFF) ON ON ON ON [OK] [OK] [OK]
設定終了	

外部メモリー

周辺機器設定	
外部メモリー	画像データ自動コピー 使用 圧縮率 外部メモリー初期化
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	ON [OK] [OK]
設定終了	

ネットワーク

周辺機器設定	
ネットワーク	内部メモリー 外部メモリー ネットワーク プリンタ 記憶装置 転送設定 DICOM 設定 TABLET
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	
設定終了	

プリンタ

周辺機器設定	
プリンタ	プリンタ設定 使用 プリント枚数 マルチプリント
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	使用しない 1 4in1
設定終了	

記憶装置

周辺機器設定	
記憶装置	内部メモリー 外部メモリー ネットワーク プリンタ 記憶装置 転送設定 DICOM 設定 TABLET
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	
設定終了	

転送設定

周辺機器設定	
転送設定	ネットワーク設定 使用 圧縮率 内部メモリー一括保存設定 内部メモリーバックアップ 内部メモリーバックアップの設定は無効になります。 転送済バックアップ削除 未転送バックアップ送信
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	OFF OFF OFF OFF
設定終了	

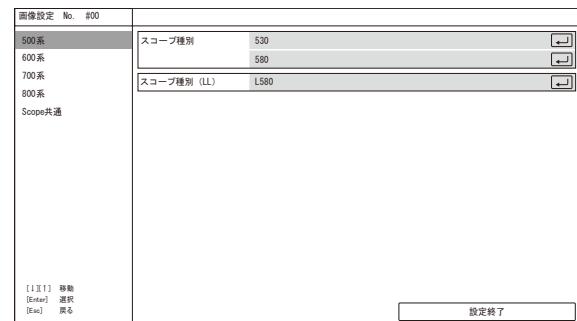
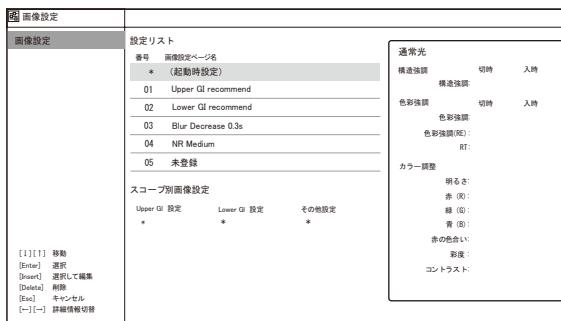
DICOM 設定

周辺機器設定	
DICOM 設定	Storage 設定 画像保存 (Storage) 圧縮率 MWM 設定 ワーカリスト管理 (MWM) リスト形式 患者情報連携 MPPS 設定 検査進捗通知 (MPPS) 内部メモリー保存設定 内部メモリーバックアップ 検索終了時自動削除 検査開始時自動転送 DICOMDIR ファイルの書き出し パスワード管理 パスワードの変更 パスワード
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	使用しない 1/1 (RAW) 使用しない 検査リスト OFF 使用しない OFF OFF OFF [OK] [OK] ****
設定終了	

TABLET

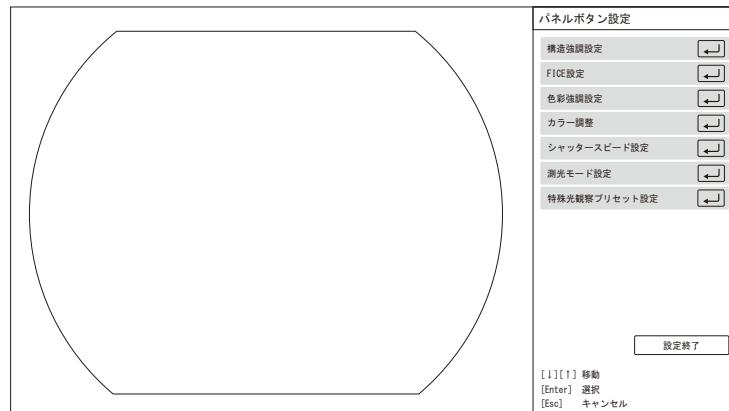
周辺機器設定	
TABLET	TABLET 設定 使用
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	使用する
設定終了	

< [画像] キー >

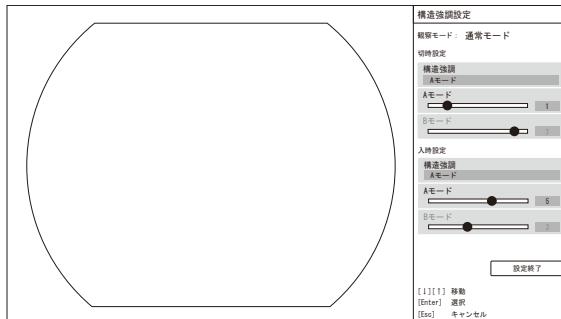


< [パネル] キー >

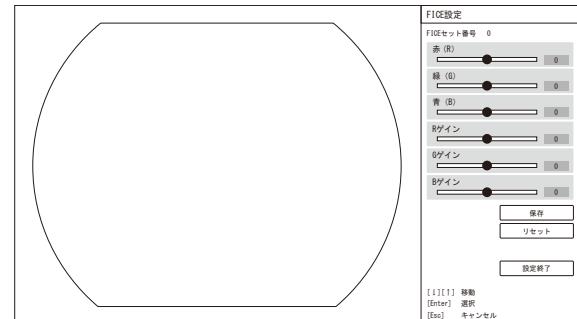
パネルボタン設定画面



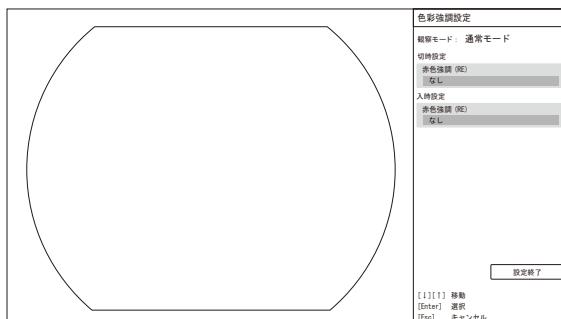
構造強調設定サブメニュー



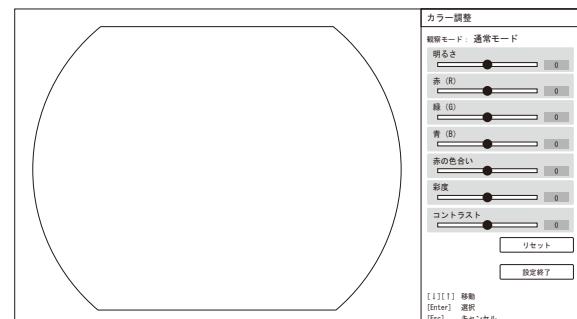
F1OE 設定サブメニュー



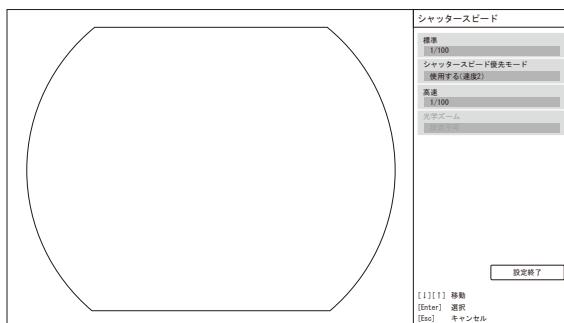
色彩強調設定サブメニュー



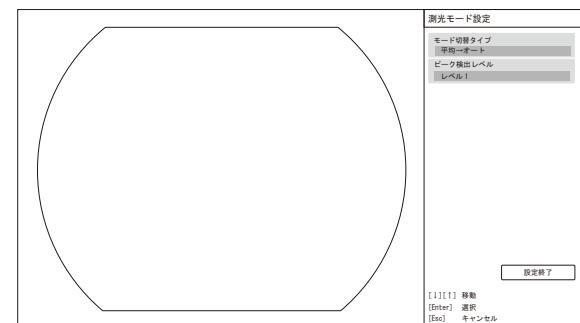
カラー調整サブメニュー



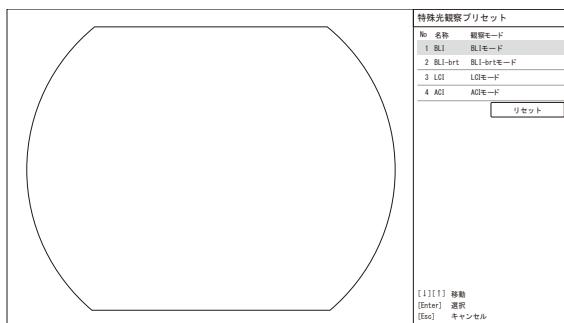
シャッタースピード設定サブメニュー



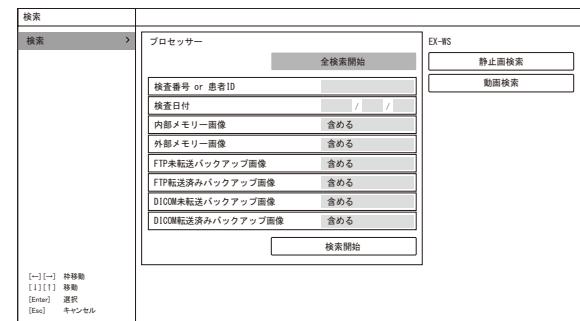
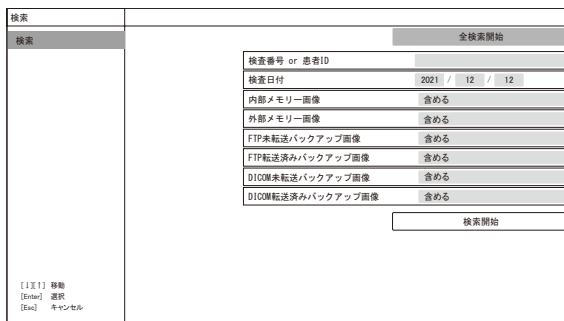
測光モード設定サブメニュー



特殊光観察プリセット設定サブメニュー



< [検索] キー>



5.2 プロセッサーへの患者情報登録・編集

本製品の機能の設定方法を記載しています。

5.2.1 患者情報の登録

患者情報の登録方法について説明します。

患者情報入力画面は、「患者番号自動入力」と「患者番号固定入力」の2つのモードから選択できます。設定は、サービスマンが行います。

「患者番号自動入力」を選択した場合、患者情報は45名まで患者リストに登録できます。

「患者番号固定入力」を選択した場合、患者情報は検査ごとに入力します。

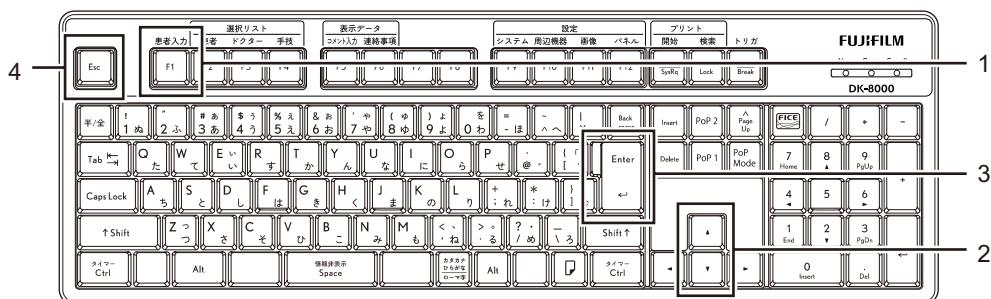
患者番号は「01」に固定され、患者情報を登録するたびに新しい患者情報を上書きします。

<患者番号自動入力>

- [患者入力]キーを押します。

患者情報入力画面が表示されます。

患者情報は「患者番号 01」から始まります。



1	[患者入力]キー
2	[↑][↓]キー
3	[Enter]キー
4	[Esc]キー

患者情報入力	
患者番号 01	
検査番号	
患者ID	
患者名	
性別	なし M(男性) F(女性)
生年月日	/ /
年齢	
医師名	
手技	
連絡事項	
<input type="button" value="この患者で検査する"/> <input type="button" value="登録終了"/> <input type="button" value="次の患者情報を入力する"/> <input type="button" value="内容クリア"/>	
<small>【↑】【↓】移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル</small>	

(2) 「検査番号」にカーソルを合わせます。

文字入力ができるようになるので、検査番号を入力し、[Enter] キーを押します。
検査番号は 16 文字以内で入力します。

参考

- 登録しない項目は、[Enter] キーを押さずにカーソルを次の項目に移動します。

(3) 「患者 ID」にカーソルを合わせます。

患者 ID を入力し、[Enter] キーを押します。
患者 ID は 16 文字以内で入力します。

参考

- 周辺機器によっては、受け付け可能な患者IDの文字数が16文字未満の場合があります。各周辺機器の受け付け可能な文字数を確認してから入力してください。

(4) 「患者名」にカーソルを合わせます。

患者名を入力し、[Enter] キーを押します。
患者名は 20 文字以内で入力します。

(5) 「性別」にカーソルを合わせます。

[←]、[→] キーで、性別を「なし」、「M（男性）」、「F（女性）」から選択します。

(6) 「生年月日」にカーソルを合わせます。

生年月日を入力します。

参考

- 西暦または和暦で入力してください（例：昭和 47 年 → S47）。

(7) 「生年月日」を入力すると「年齢」に患者の年齢が自動計算で表示されます。

「年齢」にカーソルを合わせると、数字入力で年齢を修正できます。

参考

- 再度カーソルを「生年月日」に合わせると、年齢を自動計算した値に戻します。

(8) 「医師名」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

ドクターリストに登録されているドクター名がポップアップメニューで表示されます。

➔ 「4.2.13 ドクター名の設定」

「なし」または「ドクター名」を選択します。

- (9) ドクター名が見つからない場合や直接入力する場合は、「医師名」にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。

文字入力が可能となるのでドクター名を直接入力し、[Enter] キーを押します。

「ドクターリスト自動検索」が ON に設定されている場合、入力したドクター名に一致するものがドクターリストに登録されているか自動検索を行います。

一致するものがある場合はドクターリストに登録された設定を使用します。

一致するものがない場合は「該当するドクターが登録されていません」の確認メッセージが表示されます。

参考

- ・「ドクターリスト自動検索」は、大文字／小文字を区別します。
- ・ここで入力したドクター名は、ドクターリストに登録されません。

➔ 「4.2.13 ドクター名の設定」

- (10) 「手技」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

手技リストに登録されている手技名がポップアップメニューで表示されます。

➔ 「4.2.14 手技名の設定」

「なし」または「手技名」を選択します。

手技名を直接入力する場合は、手技名にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。

文字入力が可能となるので手技名を直接入力し、[Enter] キーを押します。

入力した手技名に一致するものが手技リストに登録されているか自動検索を行います。

一致するものがある場合は手技リストに登録された手技名を使用します。

一致するものがない場合は「該当する手技が登録されていません」の確認メッセージが表示されます。

参考

- ・ここで入力した手技名は、手技リストに登録されません。
- ➔ 「4.2.14 手技名の設定」

- (11) 「連絡事項」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

連絡事項リストに登録されている連絡事項がポップアップメニューで表示されます。

➔ 「4.2.15 連絡事項の設定」

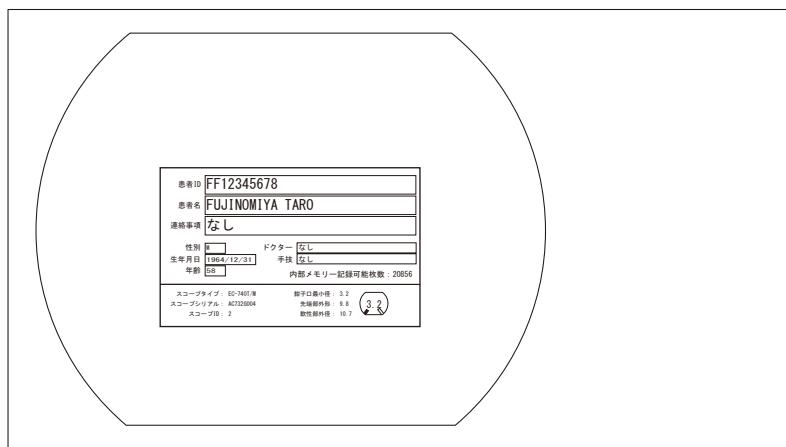
「なし」または「連絡事項」を選択します。

(12) 手順(1)～(11)の操作で、1人分の患者情報の登録が完了します。

登録した患者情報でそのまま検査を行うには「この患者で検査する」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログは[Enter]キーを押すと消去されます。



参考

- この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーに保存されます。

→「5.4.2 内部メモリータブ」

→「5.4.5 転送設定タブ」

(13) 続けて複数の患者情報を登録する場合は「次の患者情報を入力する」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

次の患者情報「患者番号 02」を登録できる状態になります。

(14) 手順(2)～(11)を繰り返して、患者情報を入力します。

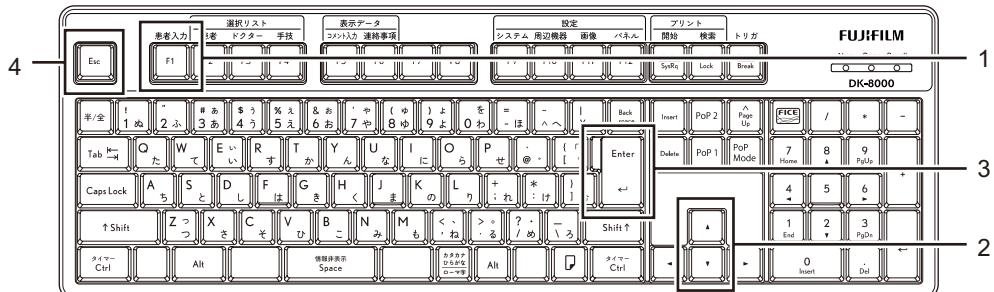
(15) すべての患者情報を入力したら、「登録終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。観察画面に戻ります。

<患者番号固定入力>

- (1) [患者入力]キーを押します。

患者情報入力画面が表示されます。

患者情報は「患者番号 01」固定です。



1	[患者入力]キー
2	[↑][↓]キー
3	[Enter]キー
4	[Esc]キー

- (2) すでに患者情報が入力されている場合など、入力している内容をすべて消去したい場合は、「内容クリア」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

「患者情報をクリアします。よろしいですか？」の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると表示している患者情報のすべての内容を消去します。

患者情報入力	
患者番号 01	
検査番号	
患者ID	
患者名	
性別	なし M(男性) F(女性)
生年月日	/ /
年齢	
医師名	
手技	
連絡事項	
この患者で検査する	
<small>【↑】【↓】移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル</small>	

- (3) 「検査番号」にカーソルを合わせます。

文字入力ができるようになるので、検査番号を入力し、[Enter]キーを押します。

検査番号は16文字以内で入力します。

参考

- 登録しない項目は、[Enter]キーを押さずに、[↑]、[↓]キーでカーソルを次の項目に移動します。

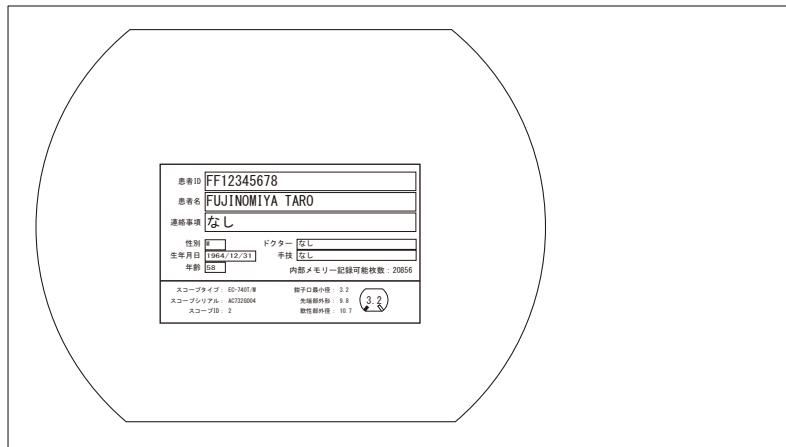
- (4) 「<患者番号自動入力>」の(3)～(11)の手順に従って、患者情報の項目を入力していきます。

- (5) 全ての患者情報を登録し終わったら「この患者で検査する」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

参考

- システム設定画面の「表示する情報」を「患者 ID」に設定している場合、患者情報入力画面を開いた直後は、「患者 ID」が選択されています。「検査番号」を入力する場合には、[↑]、[↓] キーを使って「検査番号」を入力してください。

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。
確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考

- この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーに保存されます。

➔ 「5.4.2 内部メモリータブ」

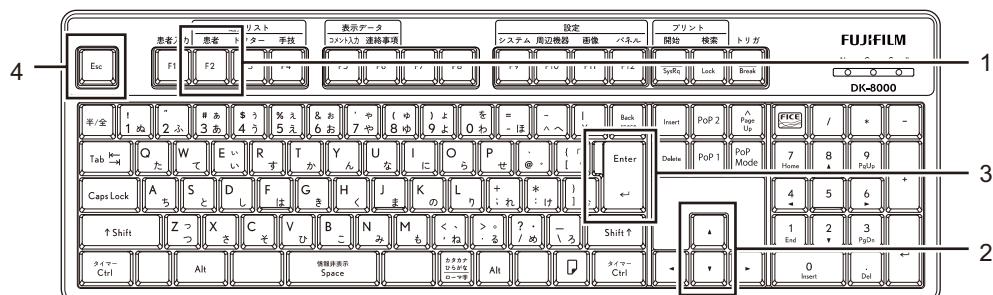
➔ 「5.4.5 転送設定タブ」

5.2.2 患者情報の呼び出し

患者情報の呼び出し方法について説明します。

- (1) [患者] キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。



1	[患者] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (～3/3)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

患者リスト		
< 患者リスト 1/3 >		
番号	患者名	患者 ID
01	FUJINOMIYA TARO	FF12345678
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
< 患者リスト 1/3 > リスト全削除		
[↓][↑] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 選択して編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル		

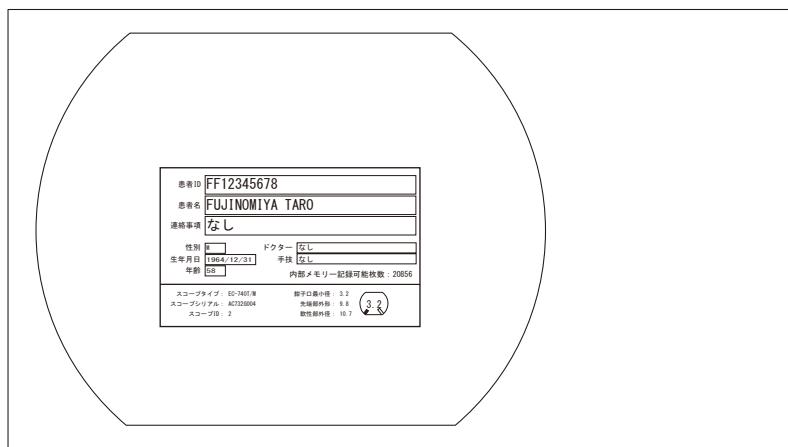
検査番号: 0123456789012345
 患者ID: FF12345678
 患者名: FUJINOMIYA TARO
 性別: M
 生年月日: 1964/12/31
 年齢: 58

 ドクター: NISIAZABU
 手技: なし
 連絡事項: なし

(2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。

[Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考

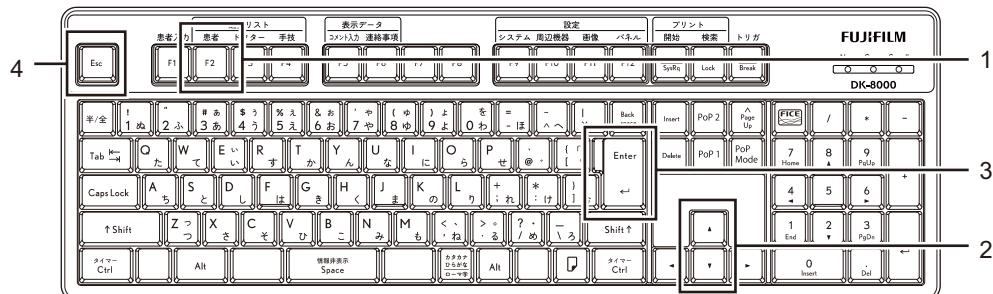
- この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーに保存されます。
- ➔ 「5.4.2 内部メモリータブ」
- ➔ 「5.4.5 転送設定タブ」

5.2.3 患者情報の修正

患者情報の修正方法について説明します。

(1) [患者] キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。



1	[患者] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (～3/3)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

参考

- 一度検査終了をした患者情報は、検査済みを示すマーク（✓）が、患者番号の前に表示されます。

➔ 「7.32 検査終了」

(2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。
[Insert] キーを押すと、患者情報入力画面が表示されます。

参考

- [Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

患者リスト	
< 患者リスト 1/3 >	
番号	患者名
01	FUJINOMIYA TARO
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
< 患者リスト 1/3 > < 患者リスト全削除 >	
[1][1] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 選択して編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル	

検査番号: 0123456789012345
 患者ID: FF12345678
 患者名: FUJINOMIYA TARO
 性別: M
 生年月日: 1964/12/31
 年齢: 58
 ドクター: NISIAZABU
 手技: なし
 連絡事項: なし

(3) 患者情報入力画面上で、患者情報を修正します。

患者情報の修正方法については、患者情報の登録方法を参照してください。

→「5.2.1 患者情報の登録」

患者情報入力	
患者番号 01	
検査番号	
患者ID	
患者名	
性別	なし M(男性) F(女性)
生年月日	/ /
年齢	
医師名	
手技	
連絡事項	
<input type="button" value="この患者で検査する"/> <input type="button" value="登録終了"/> <input type="button" value="次の患者情報を入力する"/> <input type="button" value="内容クリア"/>	
<small>【↓】【↑】移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル</small>	

参考

- ・入力したすべての内容を消去する場合は、「内容クリア」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。「患者情報をクリアします。よろしいですか?」の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると修正中の患者情報のすべての内容を消去します。
- ・患者情報を削除する場合は「患者情報の削除」を行ってください。

→「5.2.4 患者情報の削除」

(4) 患者情報の修正が終わったら、「登録終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

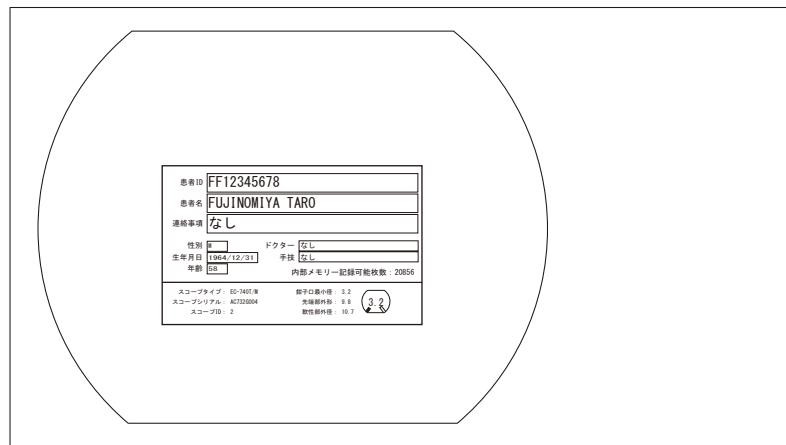
患者リスト画面に戻ります。

(5) 患者リスト画面で [Enter] キーを押します。

修正した患者情報を反映して、観察画面に戻ります。

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考

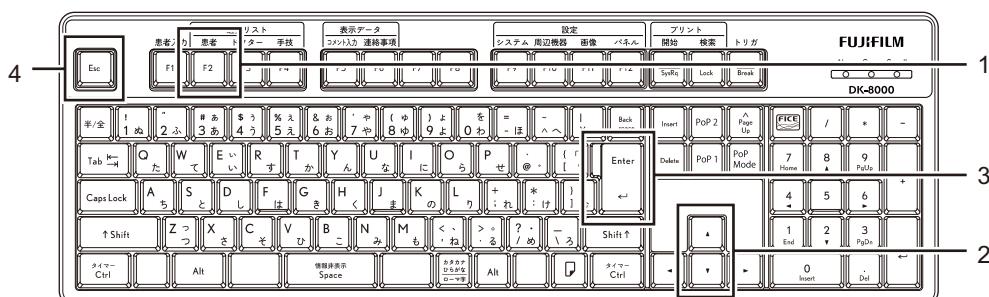
- この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーに保存されます。
- ➔ 「5.4.2 内部メモリータブ」
- ➔ 「5.4.5 転送設定タブ」

5.2.4 患者情報の削除

患者情報の削除方法について説明します。

- (1) [患者] キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。



1	[患者] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (~ 3/3)」にカーソルを合わせ [←]、[→] キーを押します。

患者リスト		
< 患者リスト 1/3 >		
番号	患者名	患者 ID
01	FUJINOMIYA TARO	FF12345678
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
< 患者リスト 1/3 > リスト全削除		

- (2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。

参考

- [Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

- (3) 削除する患者情報にカーソルを合わせ、[Delete] キーを押します。

「この患者情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると患者情報が削除されます。削除されたリストはブランクで表示されます。
「いいえ」を選択すると、(1) の画面に戻ります。

参考

- すべての患者情報を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

- (4) [Esc] キーを押します。
観察画面に戻ります。

5.2.5 リーダーからの患者情報の登録

磁気カードリーダーに磁気カードを通して、磁気カードに書き込まれている患者情報が本製品に読み込まれます。

表示されている画面の状態によって、磁気カードを読み込んだときの対応が異なります。

参考

- 本製品の背面パネルのリーダー端子にリーダーのコネクターを差し込んでから、本製品の電源を入れてください。(データキーボード、リーダーが正常に動作しないおそれがあります。)

< 観察画面を表示して読み込んだ場合 >

観察画面が表示されている状態で磁気カードを読み込んだ場合、磁気カードから読み込んだ患者情報を患者リストの45番に登録します。

また、観察画面の患者情報を、読み込んだ患者情報に切り替えます。

参考

- 患者情報は必ず患者リストの45番に登録されます。45番に患者情報がすでに登録されている場合、患者情報が上書きされます。

< 患者情報入力画面を表示して読み込んだ場合 >

[患者入力] キーを押して、患者情報入力画面を表示した状態で磁気カードを読み込んだ場合、磁気カードの患者情報が新規の患者情報として自動的に入力されます。

その後の操作は「5.2.1 患者情報の登録」の手順に従ってください。

参考

- 入力された患者情報は、「この患者で検査する」「登録終了」「次の患者情報を入力する」のボタンのいずれかを選択しないと登録されません。

< 患者リストを表示して読み込んだ場合 >

[患者] キーを押して患者リストを表示した状態で磁気カードを読み込んだ場合、カーソルを合わせている番号のリストに、磁気カードの患者情報が新規の患者情報として自動的に入力、登録されます。

参考

- すでに入力されているリストの番号にカーソルを合わせた場合、またはリストから患者情報入力画面を開いた場合は、患者情報が上書きされます。

5.3 パネルボタン（画像処理機能）の設定

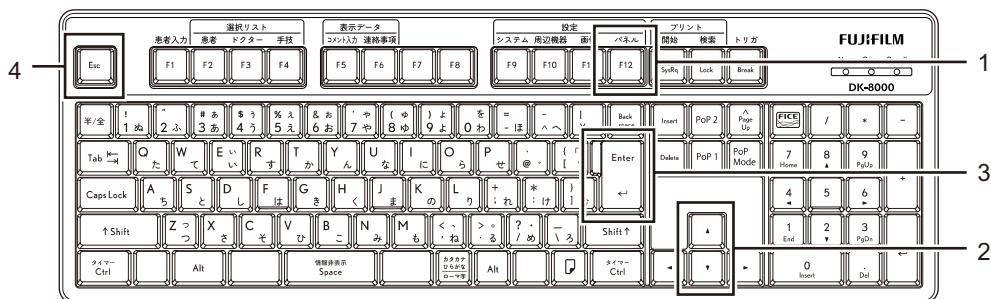
パネルボタン（画像処理機能）の設定方法について説明します。

5.3.1 設定の基本操作

- (1) データキーボードの [パネル] キーを押します。パネルボタン設定の画面が表示されます。

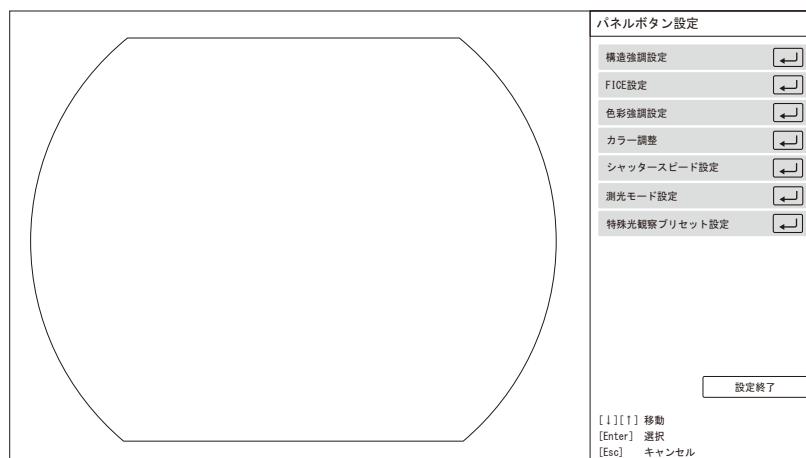
参考

- その他の設定キーを押した場合も、基本操作は同じです。



1	[パネル] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

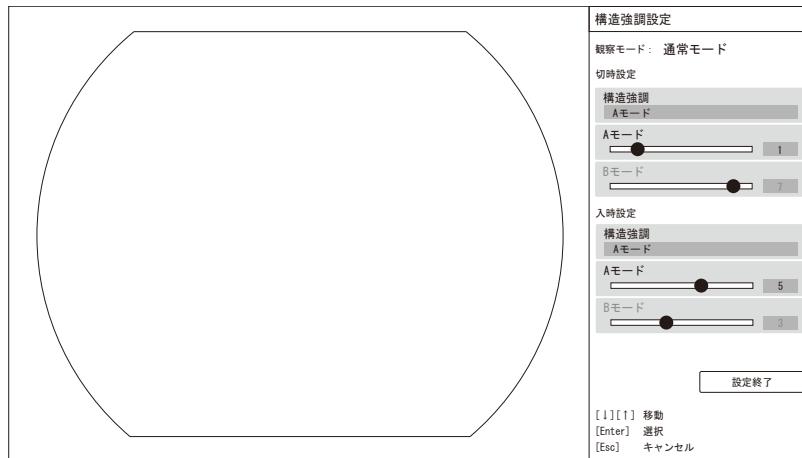
- (2) 設定の画面では、[↑]、[↓] キーで項目を選択できます。右端に「」が表示されている項目は、[Enter] キーでサブメニュー画面に切り替わります。



(3) [↑]、[↓]キーで項目を選択し、[Enter]キーで設定値を変更できるようになります。

参考

- [Enter]キーを押さずに、[←]、[→]キーで設定を変更できる場合もあります。
- 右端に「.」が表示されている項目は、サブメニュー画面に切り替わります。



(4) [↑]、[↓]、[←]、[→]キーで設定を変更後、[Enter]キーを押すとカーソルが次の設定項目に移動します。

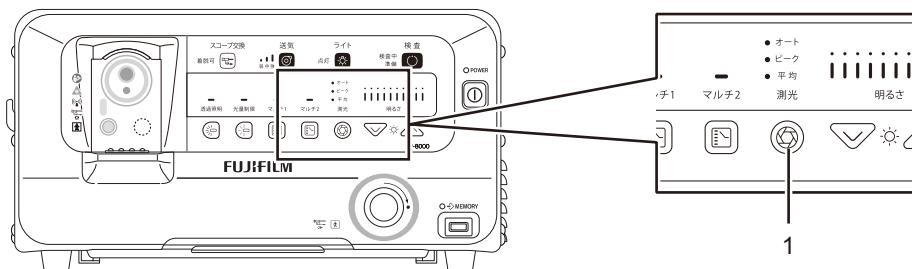
参考

- [Enter]キーを押さずに、[↑]、[↓]キーで設定項目を移動できる場合もあります。

(5) 設定を反映するには、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

参考

- 設定を変更した場合は、必ず「設定終了」を行ってください。「設定終了」をしないと設定値が反映されません。
- [Esc]キーを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。
- 測光モードは、(1) ~ (2) の手順の代わりに前面パネルの測光モードボタンを約2秒間押し続けても、設定画面を表示することができます。



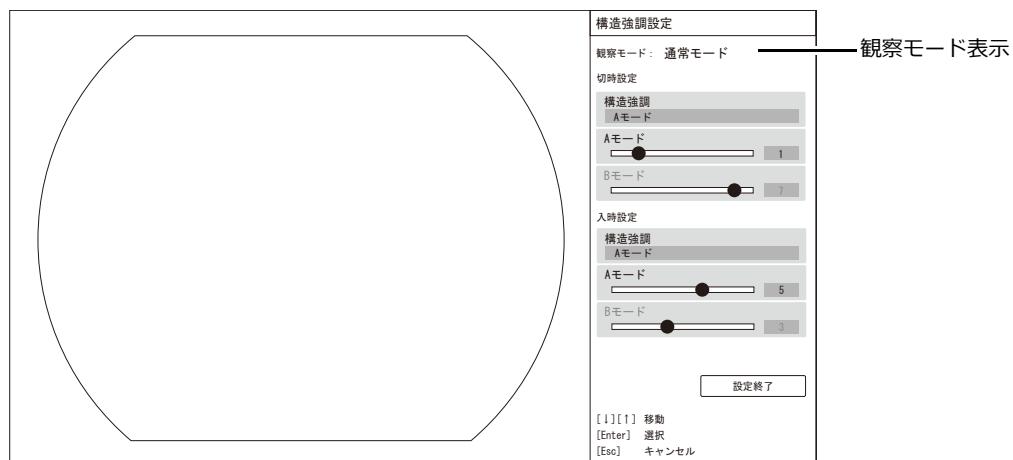
1 测光モードボタン

5.3.2 構造強調設定

構造強調の設定方法について説明します。

被写体の細かい構造等をよりはっきりと観察したいときに、被写体の輪郭を強調し、はっきりとした画像にすることができます。

輪郭を強調するレベルを強くするに従って、画像全体のノイズが目立つようになります。画像を確認しながら設定してください。



構造強調の設定は観察モードごとにそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。設定する場合、あらかじめ観察モードを設定する必要があります。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
切時設定	構造強調	A モード	使用する構造強調のモードを選びます。
		B モード	
入時設定	A モード	0 ~ 8	0 は構造強調を掛けません。
	B モード	0 ~ 8	0 は構造強調を掛けません。

【備考】

- 「構造強調」機能を「切」にしているとき、「構造強調」機能を「入」にしているとき、それぞれ設定できます。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.3.1 設定の基本操作」

- 使用方法

→ 「7.20 構造強調の切り替え」

5.3.3 FICE 設定

FICE の設定方法について説明します。

FICE とは、分光画像処理機能のひとつです。

通常の内視鏡画像から、特定の波長成分によって得られる画像（分光画像）を画像処理によって抽出し、R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめて、擬似カラー表示することができます。

観察したい被写体の構造や領域を選択的に色調強調し、構造や領域の視認性を向上させることができます。

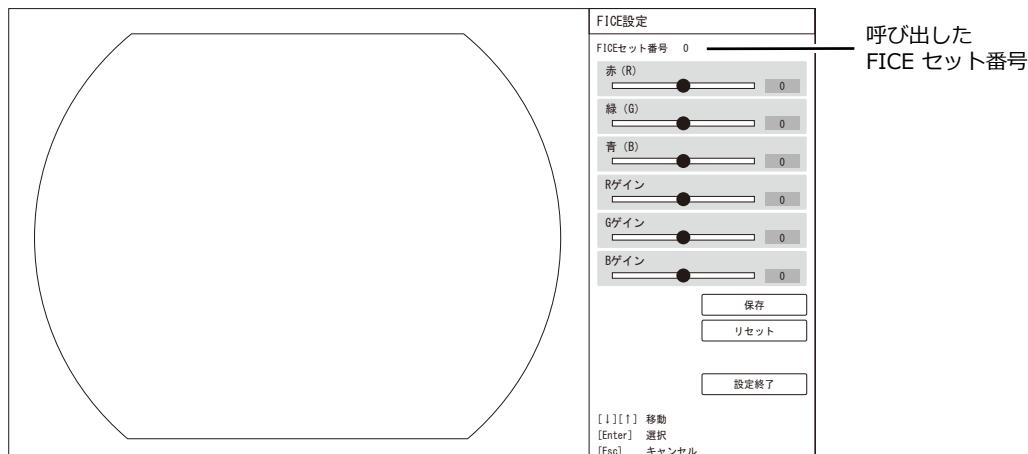
参考

- BLI、BLI-bright、LCI および ACI では FICE は使用できません。

< FICE セットの呼び出し >

FICE セットは 10 セット記憶できます。設定値の変更をしたい FICE セット番号をあらかじめ呼び出します。

データキーボードの [FICE] キーを押します。設定値を変更したい FICE セット番号 0 ~ 9 をデータキーボードのテンキーから入力します。パネルボタン設定から、FICE 設定を選択してください。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
FICE セット番号 0 ~ 9	赤 (R)	400nm ~ 695nm	5nm 刻みで設定できます。波長を変更するとき、RGB 全てを同じ波長に設定することはできません。
	緑 (G)	400nm ~ 695nm	
	青 (B)	400nm ~ 695nm	
	R ゲイン	1 ~ 5	色調を画面で確認しながら、ゲインレベルを設定します。ゲインレベルを高い数値に設定すると、画像の高輝度部分がハレーションをおこす場合があります。
	G ゲイン	1 ~ 5	
	B ゲイン	1 ~ 5	
	保存	-	設定を保存します。
	リセット	-	呼び出している FICE セット番号の設定値を工場出荷時の状態に戻します。

【備考】

- 650nm 以上の波長を設定した場合、該当波長成分を強調する効果が、FICE 画像に反映されにくいことがあります。
- ハレーションとは、強い光の当たった部分の周りが白くぼやける現象を言います。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→「5.3.1 設定の基本操作」
- 使用方法
→「7.21 FICE の切り替え」

< FICE 設定値の確認 >

使用している FICE セット番号と、設定値を確認することができます。

- 「3.9 観察画面の情報について」

5.3.4 色彩強調設定

色彩強調の設定方法について説明します。

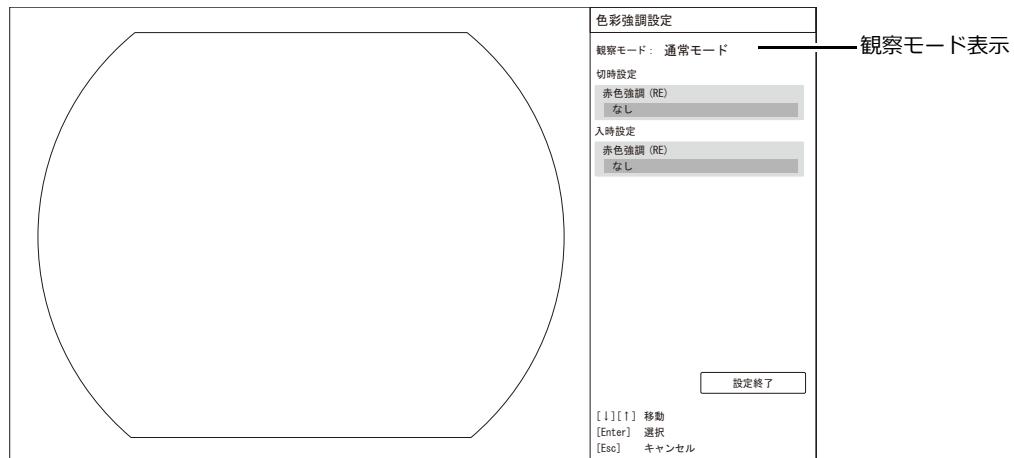
色彩強調は、被写体のわずかな色調の変化をよりはっきりと観察したいときに、被写体の色調の変化をより強調することができます。色調の鮮やかさの度合いを強めて表示します。

また赤色強調は、粘膜と血管のような微妙な色調の違いを強調することができます。

参考

- FICE が「入」のときは、色彩強調機能設定はできません。

<通常モードの場合>



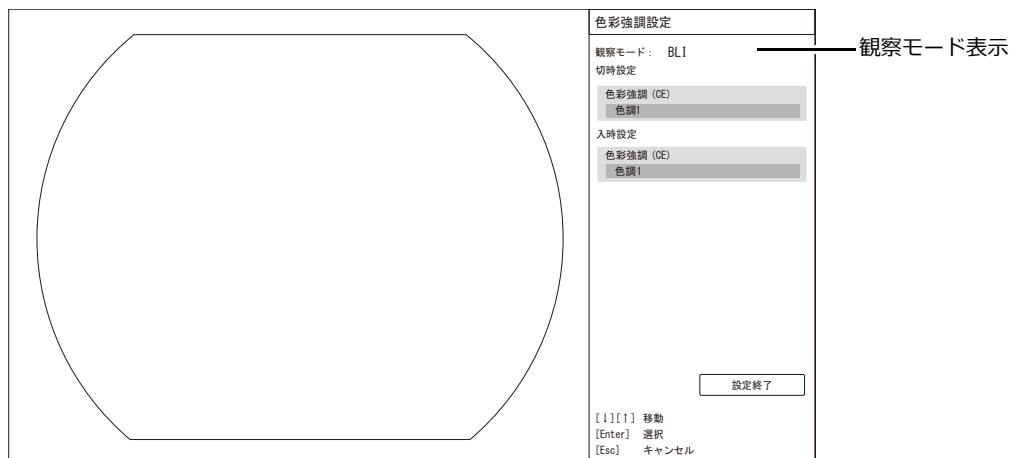
設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
切時設定 入時設定	赤色強調 (RE)	なし	赤色強調をかける強さを選択します。「なし」を選択した場合は、赤色強調をかけません。
		弱	
		中	
		強	

【備考】

- 「色彩強調」設定を「切」にしているとき、「色彩強調」設定を「入」にしているとき、それぞれ設定できます。

< BLI、BLI-bright、LCI または ACI の場合>

色彩強調の設定は観察モードごとにそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。設定する場合、あらかじめ観察モードを設定する必要があります。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
切時設定 入時設定	色彩強調 (CE)	なし	色彩強調をかける強さを選択します。「なし」を選択した場合は、色彩強調をかけません。「なし」は BLI-bright モード時のみ選択できます。
		色調 1	
		色調 2	
		色調 3	

【備考】

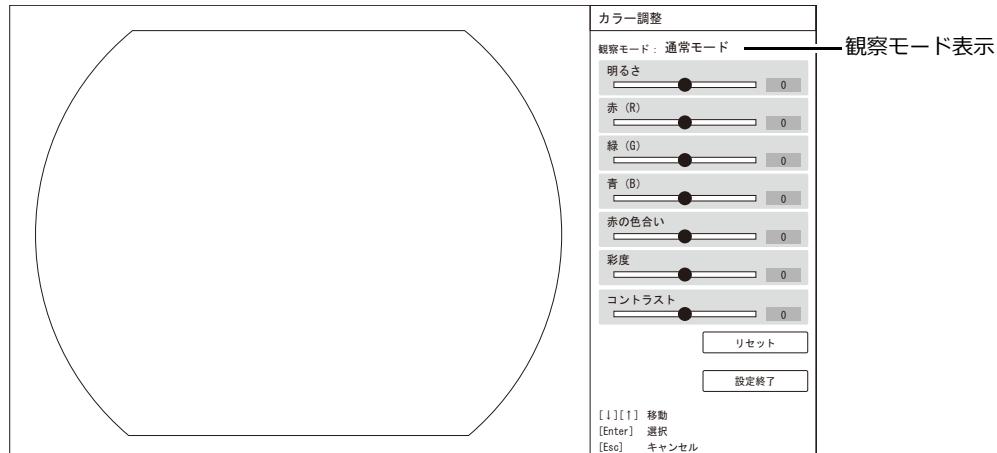
- 「色彩強調」設定を「切」にしているとき、「色彩強調」設定を「入」にしているとき、それぞれ設定できます。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→ 「5.3.1 設定の基本操作」
- 使用方法
→ 「7.22 色彩強調の切り替え」

5.3.5 カラー調整

カラー調整の設定方法について説明します。



カラー調整の設定は観察モードごとにそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。

設定する場合、あらかじめ観察モードを設定する必要があります。

ただし、FICE が「入」の場合、または LCI モードの場合は、カラー調整の設定はできません。

設定項目	設定値	説明
明るさ	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど明るくなります。工場出荷時の設定値は0です。「明るさ」を高い数値に設定すると、画像の高輝度部分がハレーションをおこす場合があります。
赤 (R)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「赤」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
緑 (G)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「緑」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
青 (B)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「青」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
赤の色合い	M4 ~ Y4	設定値は9段階です。Mの数値が増えると画像は赤っぽくなり、Yの数値が増えると画像は黄色っぽくなります。工場出荷時の設定値は0です。観察モードが BLI または BLI-bright の場合、「赤の色合い」は変更できません。
彩度	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど彩度の高い画像になります。工場出荷時の設定値は0です。
コントラスト	-1 ~ +1	設定値は3段階です。数値が高いほどコントラストの高い画像になります。工場出荷時の設定値は0です。
リセット	-	設定値を工場出荷時の状態に戻します。

【備考】

- 「リセット」は接続しているシステムスコープのカラー調整値を工場出荷時の設定に戻します。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.3.1 設定の基本操作」

- 使用方法
→「7.23 カラー調整の設定」

< カラープリセットモードを使用する場合 >

カラープリセットモードは、通常モードにて画像の色調における「赤」、「緑」、「青」の成分をさらに大きく変化させたい場合に使用します。
マルチボタンまたは、スコープスイッチにカラープリセットを設定する必要があります。

参考

- BLI、BLI-bright、LCI、ACI および FICE ではカラープリセットモードは使用できません。
- L600 システムスコープ、L580 シリーズスコープはカラープリセットモードに対応していません。
- マルチボタンの設定
→「4.2.4 切替タブ」
- スコープスイッチの設定
→「4.2.9 スコープタブ」

カラープリセットモードのカラー調整を設定する場合は、あらかじめカラープリセットモードに設定する必要があります。

参考

- カラー調整の設定はカラープリセットの状態の設定を保持することができます。
- カラープリセットモードで使用中にカラー調整設定画面が表示された場合、カラープリセットモードのカラー調整が設定されます。

設定項目	設定値	説明
明るさ	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど明るくなります。工場出荷時の設定値は0です。「明るさ」を高い数値に設定すると、画像の高輝度部分がハレーションをおこす場合があります。
赤 (R)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「赤」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
緑 (G)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「緑」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
青 (B)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「青」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
赤の色合い	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像は赤っぽくなり、数値が低いほど画像は黄色っぽくなります。工場出荷時の設定値は0です。
彩度	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど彩度の高い画像になります。工場出荷時の設定値は0です。
コントラスト	-1 ~ +1	設定値は3段階です。数値が高いほどコントラストの高い画像になります。工場出荷時の設定値は0です。 「コントラスト」はカラープリセットモードを使用しない場合と同じ設定値になり、変更できません。
リセット	-	設定値を工場出荷時の状態に戻します。

【備考】

- ・「リセット」は接続しているシステムスコープのカラー調整値を工場出荷時の設定に戻します。

参考

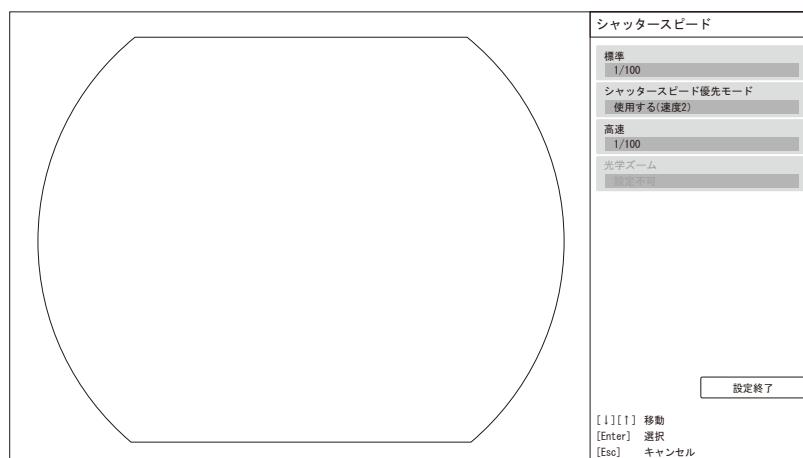
- ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→「5.3.1 設定の基本操作」
- ・使用方法
→「7.23 カラー調整の設定」

5.3.6 シャッタースピード

シャッタースピードの設定方法について説明します。

参考

- L600 システムスコープ、L580 シリーズスコープは優先モードに対応していません。



設定項目	設定値	説明
標準	1/60	電源投入時の標準シャッタースピードを選択します。設定値は接続されている内視鏡によって異なります。
	1/100	
	1/200	
シャッタースピード優先モード	使用しない	優先モードは以下の条件にあてはまる場合にシャッタースピードを自動調整します。
	使用する(速度1)	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッタースピードの設定が「標準」のとき
	使用する(速度2)	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッタースピードの設定が「高速」で、「1/100」に設定されているとき
	使用する(速度3)	

【備考】

- 優先モード機能が有効になっている場合、観察画面のシャッタースピードが「*1/200」のように表示されます。

高速	1/100	シャッタースピードの設定を「高速」にしたときのシャッタースピードを選択します。設定値は接続されている内視鏡によって異なります。
	1/200	
	1/400	
	1/600	
	1/800	

【備考】

- 光学ズーム対応の内視鏡を接続している場合「高速」の設定は不可となります。

設定項目	設定値	説明	
光学ズーム	1/100	光学ズーム対応の内視鏡を接続し、シャッタースピードの設定を「高速」にしたときのシャッタースピードを選択します。設定値は接続されている内視鏡によって異なります。	
	1/200		
	1/400		
	1/600		
	1/800		
【備考】			
・光学ズームではない内視鏡を接続している場合「光学ズーム」の設定は不可となります。			

参考

- 優先モード機能は、内視鏡システムスコープのバージョンが以下のバージョンである必要があります。

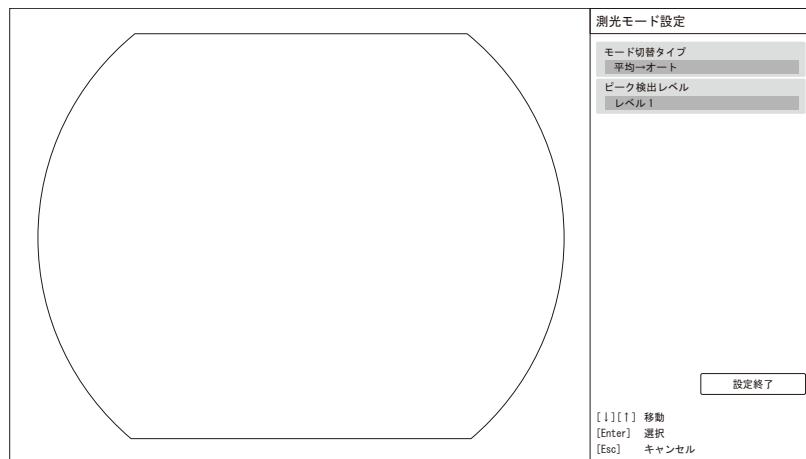
スコープの種類	対応バージョン
530 シリーズ	Ver.2.03 以降
580 シリーズ	全ての Ver.
600 システム	全ての Ver.
700 システム	全ての Ver.
800 システム	全ての Ver.

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
- 「5.3.1 設定の基本操作」
- 使用方法
- 「7.24 シャッタースピードの切り替え」

5.3.7 測光モード設定

測光モードの設定方法について説明します。



設定項目	設定値	説明
モード切替 タイプ	オート → ピーク → 平均	前面パネルの測光モードボタンを押したときに、切り替わるモードの順番を選びます。
	オート → ピーク	
	ピーク → 平均	
	平均 → オート	
ピーク検出 レベル	レベル 1 ~ 5	ピーク検出レベルは、ハレーションをどの程度軽減させるかの設定です。
【備考】		
・ハレーションとは、強い光の当たった部分の周りが白くぼやける現象を言います。		

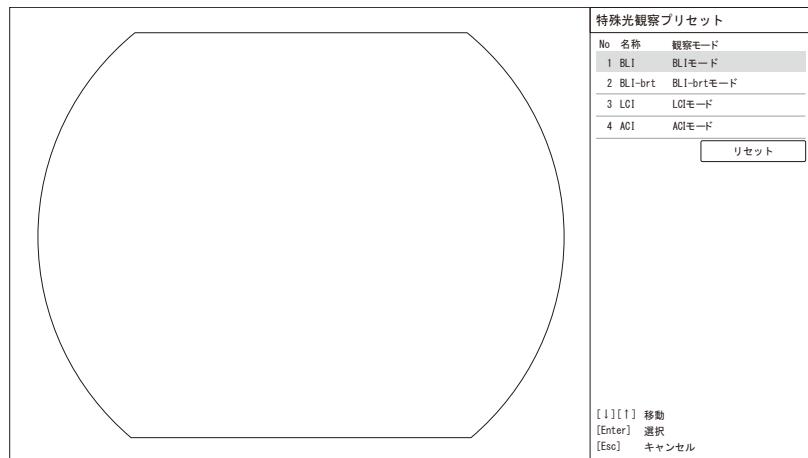
参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
- 「5.3.1 設定の基本操作」
- 使用方法
- 「7.25 測光モードの切り替え」

5.3.8 特殊光観察プリセット設定

特殊光観察プリセットの設定方法について説明します。

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの照明モード機能を割り当てたボタンおよびLL-7000の照明モードボタンで切り替わる観察モードを割り当てます。



参考

- 特殊光観察プリセットの設定は、マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの照明モード機能を割り当てたボタンおよびLL-7000の照明モードボタンを約2秒間押し続けても、設定画面を表示することができます。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
特殊光観察 プリセット No. 1 ~ 4	名称	BLI	プリセット番号を選択し、[Enter]キーを押すと、名称を入力できるようになります。
		BLI-brt	
		LCI	
		ACI	
	観察モード	BLI モード	マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの照明モード機能を割り当てたボタンおよびLL-7000の照明モードボタン押したとき切り替わる観察モードを選びます。
		BLI-brt モード	
		LCI モード	
		ACI モード	
	リセット	-	リセットを選択し、[Enter]キーを押すと、確認メッセージが表示されます。 「はい」を選択すると、すべての特殊光観察プリセットを工場出荷時の設定に戻します。
			参考

- 特殊光観察モードで検査中にリセットを行った場合は一旦通常モードに切り替わります。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→「5.3.1 設定の基本操作」
- 使用方法
→「7.19 観察モードの切り替え」

5.4 周辺機器の設定

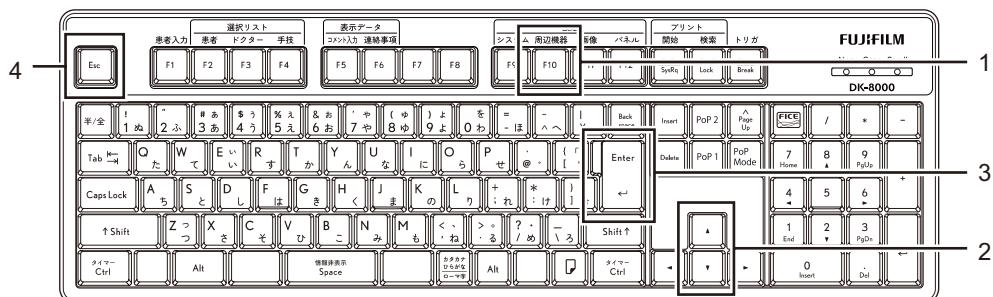
周辺機器設定の操作について説明します。

5.4.1 設定の基本操作

- (1) データキーボードの [周辺機器] キーを押します。周辺機器設定の画面が表示されます。

参考

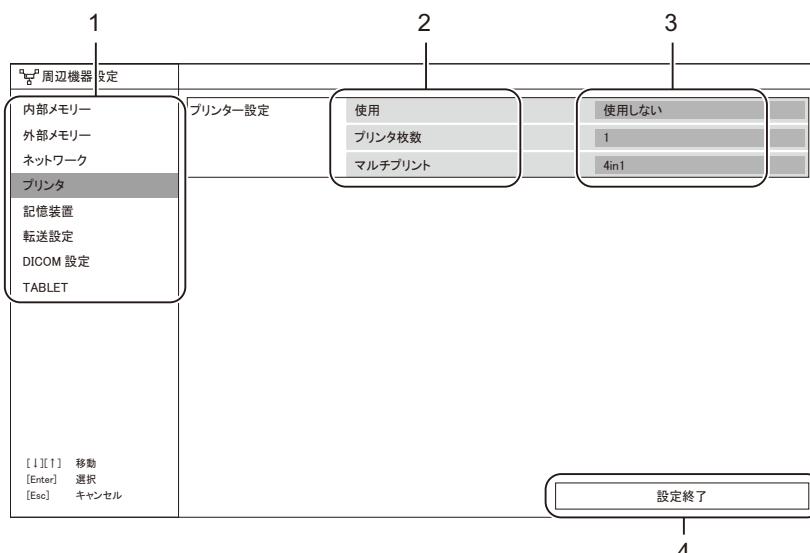
- その他の設定キーを押した場合も、基本操作は同じです。



1	[周辺機器] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

- (2) タブは、[↑]、[↓] キーで選択できます。

タブを選んで [Enter] キーを押します。



1	タブ
2	設定項目
3	設定値
4	設定終了

- (3) 設定の画面では、[↑]、[↓]キーで項目を選択できます。
- (4) 設定項目を選んで [Enter] キーで設定値を変更、もしくはデータキーボードで直接入力できるようになります。

参考

- 設定値は [↑]、[↓] キーで項目を選択できます。
- 右端に「」が表示されている項目は、サブメニュー画面に切り替わります。
- メニュー画面の下に「[Insert] 編集」と表示されている場合は [Insert] キーを押すとデータキーボードで直接入力できるようになります。

- (5) 設定値を変更後、[Enter] キーを押すとカーソルが次の設定項目に移動します。

参考

- データキーボードで直接入力する場合、必要項目の入力が終わると自動的に次の項目に移動する場合があります。

- (6) 設定を反映するには、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

参考

- 設定を変更した場合は、必ず「設定終了」を行ってください。「設定終了」をしないと設定値が反映されません。

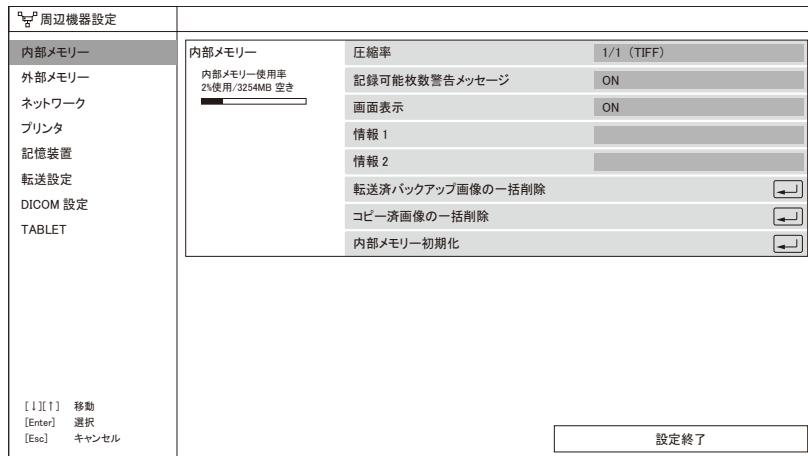
5.4.2 内部メモリータブ

本製品は、本体に画像記録および検査画像のネットワーク転送時のバックアップのための内部メモリーを備えています。内部メモリーの画像は外部メモリーへコピーが可能です。

ここでは内部メモリーを使用するための設定方法、初期化や画像の削除方法について説明します。

記録画像数や、記録画像の利用については「第8章 画像の記録」を参照してください。

→「第8章 画像の記録」



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
内部メモリー	内部メモリー 使用率	-	内部メモリーの使用率と空き容量を表示します。
	圧縮率	1/1 (TIFF)	保存する画像データの圧縮率を選択します。
		1/5 (JPEG)	
		1/10 (JPEG)	
		1/20 (JPEG)	
	記録可能枚数警告メッセージ	ON	ON：内部メモリーに保存できる枚数が20枚になったとき、観察画面にメッセージを表示します。 OFF：メッセージを表示しません。
	画面表示	ON	ON：観察画面に内部メモリー記録可能枚数を表示します。 OFF：観察画面に内部メモリー記録可能枚数を表示しません。
	情報 1	[Enter]キーを押して入力します。	ユーザー メモを入力できます。
	情報 2	[Enter]キーを押して入力します。	ユーザー メモを入力できます。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
	転送済バックアップ画像の一括削除	[Enter] キーを押して実行ウィンドウを表示します。	内部メモリーに保存されている検査ごとの画像データのうち、FTP サーバーにすべて転送済みとなっている検査の画像データを一括して削除します。画像データの削除は1 検査単位で行います。未転送の画像データがある検査のデータは削除しません。 転送設定タブのネットワーク設定を「使用する」に設定しているときに有効です。
	コピー済み画像の一括削除	[Enter] キーを押して実行ウィンドウを表示します。	内部メモリーに保存されている検査ごとの画像データのうち、外部メモリーにすべてコピー済みとなっている検査の画像データを一括して削除します。画像データの削除は1 検査単位で行います。
	内部メモリー初期化	[Enter] キーを押して実行ウィンドウを表示します。	初期化を実行すると、内部メモリー内のデータは消失し、復活させることはできません。初期化を実行するときは、内部メモリーの内容をよくご確認ください。

【備考】

- 圧縮率はあくまで目安であり、保存対象の画像により異なります。「1/1 (TIFF)」は、非圧縮保存です。保存には時間がかかります。また、大きく容量を消費しますので、空き容量をご確認ください。画像が正常に記録できない原因となるので、保存中には圧縮率の変更を行わないでください。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→ 「5.4.1 設定の基本操作」

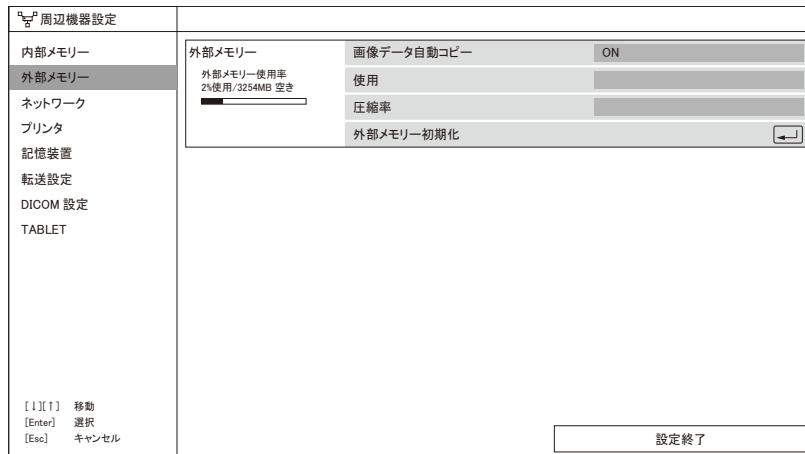
5.4.3 外部メモリータブ

本製品は、本体に画像記録および検査画像のネットワーク転送時のバックアップのための内部メモリーを備えています。内部メモリーの画像は外部メモリーへコピーが可能です。

ここでは外部メモリーを使用するための設定方法、初期化や画像の削除方法について説明します。

記録画像数や、記録画像の利用については「第8章 画像の記録」を参照してください。

→「第8章 画像の記録」



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
外部メモリー	外部メモリー使用率	-	外部メモリーの使用率と空き容量を表示します。
	画像データ自動コピー	OFF	OFF : 検査中に内部メモリーへ記録された画像を、外部メモリーに自動コピーしません。
		ON	ON : 検査中に内部メモリーへ記録された画像を、外部メモリーにも自動コピー（同時記録）します。
			参考 <ul style="list-style-type: none"> 「ON」を選択した場合は、外部メモリーを本製品に装着してから検査開始の操作を行ってください。 外部メモリーは現在ご使用の本製品専用として使用し、他のプロセッサーと共にしないでください。 検査終了後に、内部メモリーの画像を外部メモリーに手動でコピーする方法もあります。
	使用	-	設定できません。
	圧縮率	-	設定できません。
	外部メモリー初期化	[Enter]キーを押して実行ウィンドウを表示します。	初期化を実行すると、外部メモリー内のデータは消失し、復活させることはできません。初期化を実行するときは、外部メモリーの内容をよくご確認ください。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
【備考】			
<ul style="list-style-type: none"> 使用可能な外部メモリーについては、「8.7.1 外部メモリーについて」をご参照ください。 外部メモリー用の表示がオレンジの点滅をしている場合は外部メモリーを取り外さないでください。その状態で外部メモリーを取り外すとコピー中のデータや外部メモリー自身が破損する可能性があります。 外部メモリーの初期化とは、インデックス領域（目次データ）の消去のことをいいます。外部メモリー全体の初期化（フォーマット）は、本機では実行できません。外部メモリー全体の初期化を行う場合は、PCでフォーマットしてください。 同じ外部メモリーを使い続けると外部メモリーの処理が遅くなる場合があります（メモリーの断片化）。その場合も、外部メモリー全体の初期化を行うために、PCでフォーマットしてください。 			

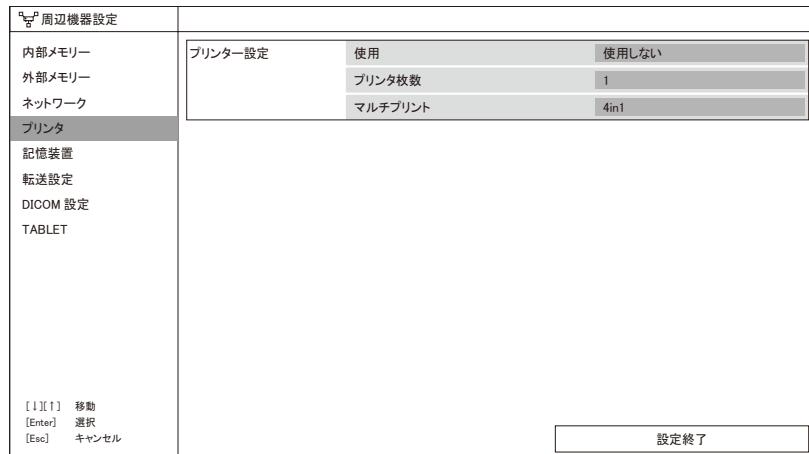
参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→「5.4.1 設定の基本操作」

5.4.4 プリンタタブ

本製品に接続されているプリンターの使用、プリント枚数、マルチプリントの設定を行います。あらかじめ使用するプリンターを登録しておく必要があります。登録はサービスマンが行います。

機器を設定する前に、プリンターの電源を入れてください。電源を切ったままでは、本製品の設定がプリンターに反映されません。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
プリンタ 設定	使用	使用しない	接続されているプリンター機種名または「使用しない」を選択します。「使用しない」を選択すると、「プリンタタブ」がすべて無効となります。
		UP-D25MD	
	プリント枚数	1 ~ 4	プリント枚数を選択します。
	マルチプリント	4in1	1枚のプリント用紙にプリントする画像数を選択します。 4in1 : 1枚に4画像をプリント
		1in1	1in1 : 1枚に1画像をプリント

【備考】

- 「プリントサイズ」は固定です。

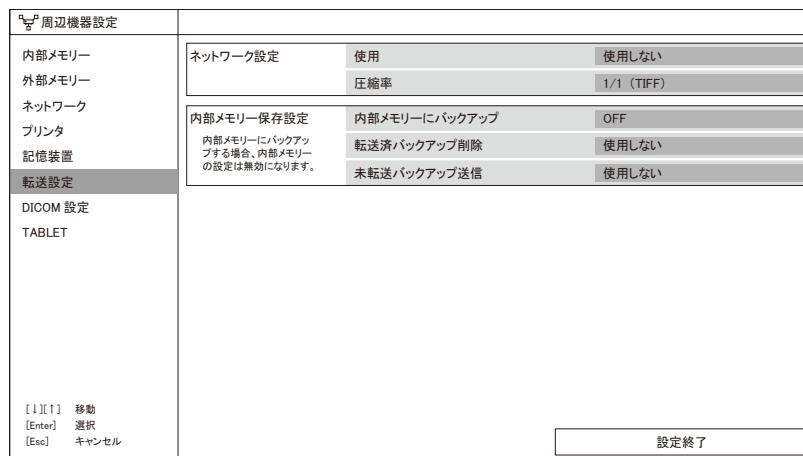
参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
- 「5.4.1 設定の基本操作」

5.4.5 転送設定タブ

本製品でネットワークを使用して画像をFTPサーバーに保存することができます。ネットワークの設定は、サービスマンが行います。

ここでは、ネットワークを使用して保存する画像の設定を行います。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定	使用	使用する	「使用する」を選択するとFTPサーバーに画像を保存することができます。また「内部メモリーにバックアップ」が自動的に「ON」になります。
		使用しない	「使用しない」を選択すると、「転送設定タブ」がすべて無効となります。
	圧縮率	1/1 (TIFF) 1/5 (JPEG) 1/10 (JPEG) 1/20 (JPEG)	保存する画像データの圧縮率を選択します。
【備考】			
<ul style="list-style-type: none"> 圧縮率はあくまで目安であり、保存対象の画像により異なります。「1/1 (TIFF)」は、非圧縮保存です。保存には時間がかかります。また、大きく容量を消費しますので、空き容量をご確認ください。画像が正常に記録できない原因となるので、保存中には圧縮率の変更を行わないでください。 			

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
内部メモリー保存設定	内部メモリーにバックアップ	ON	画像をネットワークのFTPサーバーに保存する際に、内部メモリーにも画像を保存します。
	転送済バックアップ削除	使用する	「使用する」を選択すると、検査終了時に、その検査で内部メモリーに保存した画像データがすべてFTPサーバーに転送済みの場合に、1検査分の画像データを一括して削除します。未転送の画像データがある場合は削除しません。
	未転送バックアップ送信	使用する	「使用する」を選択すると、次の検査開始時に、内部メモリーにFTPサーバーに未転送の画像データを含む前回検査時のデータが残っている場合、前回検査1検査分の画像データを一括して転送します。 再送された前回検査時の画像データは「転送済バックアップ削除」を「使用する」に設定していても、内部メモリーから削除はされません。

【備考】

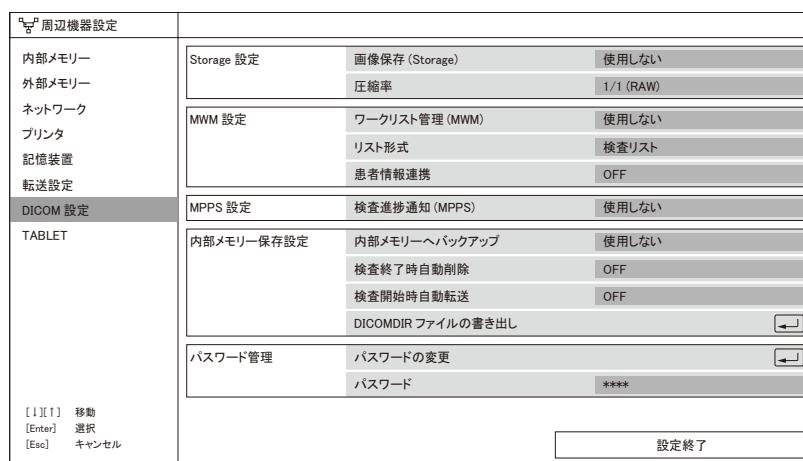
- 内部メモリーの空き容量がなくなった場合、バックアップ済みの画像（ネットワーク転送済み画像および外部メモリーコピー済み画像）を古い順に削除し、空き容量を確保します。ただし、内部メモリーがネットワーク未転送画像および外部メモリー未コピー画像で一杯となり、空き容量が確保できない場合は、バックアップせずにFTPサーバーに保存します。バックアップを再開するために、未転送画像の再送を行うか、外部メモリーへコピーを行い、バックアップのための容量を確保してください。

参考

- メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→「5.4.1 設定の基本操作」

5.4.6 DICOM 設定タブ

本製品では、DICOM ライセンスを適用した場合に、DICOM 機能を使用することができます。設定はサービスマンが行います。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明		
Storage 設定	画像保存 (Storage)	使用しない	「使用する」を選択すると、記録した内視鏡画像をネットワーク経由で転送し、DICOM Storage サーバーに保存することができます。		
		使用する			
	圧縮率	1/1 (RAW)	保存する画像データの圧縮率を選択します。		
		1/5 (JPEG)			
		1/10 (JPEG)			
		1/20 (JPEG)			
【備考】					
<ul style="list-style-type: none"> 圧縮率はあくまで目安であり、保存対象の画像により異なります。「1/1 (RAW)」は、非圧縮保存です。保存には時間がかかります。また、大きく容量を消費しますので、空き容量をご確認ください。画像が正常に記録できない原因となるので、保存中には圧縮率の変更を行わないでください。 					
MWM 設定	ワークリスト管理 (MWM)	使用しない	「使用する」を選択すると、ワークリストをネットワーク経由で取得することができます。		
		使用する			
	リスト形式	検査リスト	「検査リスト」を選択すると、ワークリストサーバーから取得することで患者・検査情報を管理します。		
		患者リスト			
	患者情報連携	-	「患者リスト」を選択すると、データキーボードによる入力方式で患者情報を管理します。		
MPPS 設定	検査進捗通知 (MPPS)	使用しない	「使用する」を選択すると、取得したワークリストから検査開始した場合、MPPS サーバーへ検査進捗通知を通知します。		
		使用する			

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
内部メモリー保存設定	内部メモリーヘバックアップ	使用しない 使用する	「使用する」を選択すると、画像保存（Storage）を使用する場合に、内部メモリーへバックアップします。
	検査終了時自動削除	OFF	「ON」を選択すると、その検査で内部メモリーに保存した画像データがすべて Storage サーバーに転送済みであることを条件に、検査終了時にその検査分の画像データを一括して削除します。
		ON	
	検査開始時自動転送	OFF	「ON」を選択すると、内部メモリーにサーバー未転送の画像データを含む、前回検査時の画像データが残っている場合に、一括して転送します。転送された画像データは、上記「検査終了時自動削除」が「ON」に設定されていても、内部メモリーから自動削除はされません。
		ON	
	DICOMDIR ファイルの書き出し	-	使用できません。
パスワード管理	パスワードの変更	-	使用できません。
	パスワード	-	使用できません。

5.4.7 TABLET タブ

本製品に接続されているタブレットの使用の設定を行います。設定は、サービスマンが行います。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
TABLET 設定	使用	使用する	「使用する」を選択すると、タブレットを使用することができます。
		使用しない	

5.5 その他の設定

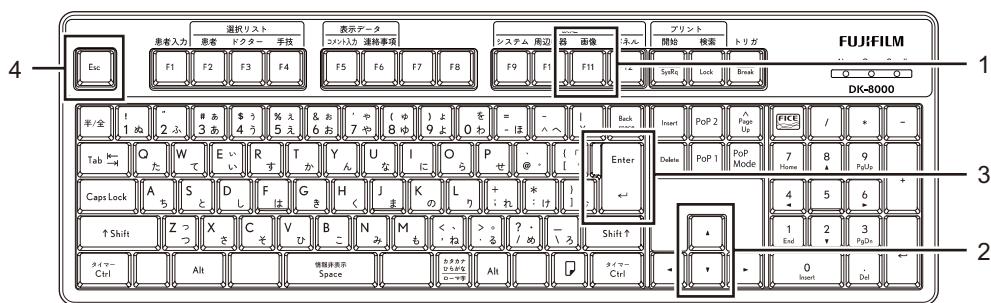
5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除

観察画面の色調調整をスコープ種別ごとに調整でき、その組み合わせを5パターンまでプリセットしておくことができます。

プリセットした組み合わせは、わかりやすい名称をつけることができます。画像設定ページでプリセットを呼び出せば、設定した色調で画像を表示することができます。

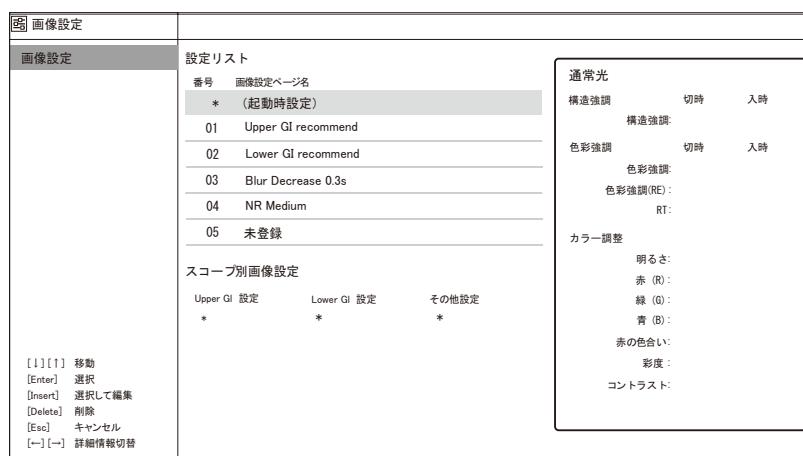
<画像設定ページの登録>

- (1) [画像]キーを押して、画像設定ページを表示します。



1	[画像]キー
2	[↑][↓]キー
3	[Enter]キー
4	[Esc]キー

- (2) [↑]、[↓]キーで画像設定ページ名が「未登録」のリスト番号を選び、[Enter]キーを押します。



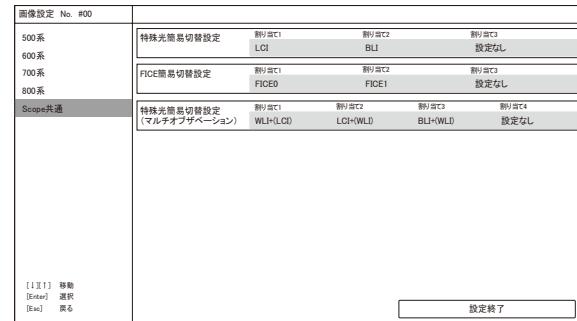
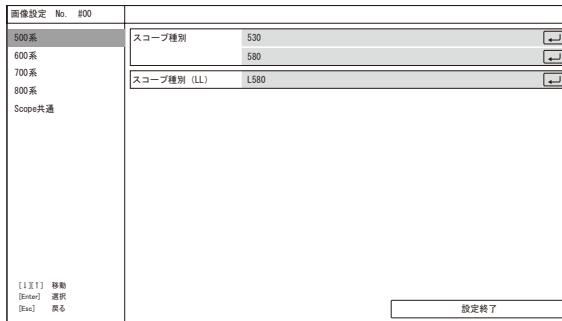
- (3) 確認メッセージが表示されますので、「登録」を選択し、[Enter]キーを押します。

参考

- 画像設定ページ名から「起動時設定」または、登録済みの「画像設定ページ名」を選択した場合は、「登録」「呼び出し」の選択ができます。
- 同じ名前の画像設定ページ名、または空欄を登録することはできません。

(4) 画像設定ページ名を20文字以内で入力し、[Insert]キーを押します。

(5) タブを選択して[↑]、[↓]キーで、スコープ系列、Scope共通の切り替えができます。スコープ種別を選び、[Enter]キーを押します。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
500系 600系 700系 800系		-	通常光/FICE、特殊光1、特殊光2、モード共通の設定をスコープごとに行えます。
Scope共通	特殊光簡易切替設定	設定なし 特殊光観察プリセット番号1～4 FICE0～9	「特殊光簡易切替」を割り当てたスコープスイッチ、フットスイッチを押したときに、観察モードを“割り当て1”→“割り当て2”→“割り当て3”と切り替えます。 設定はサービスマンが行います。 ➔「4.2.9 スコープタブ」 ➔「4.2.10 フットスイッチタブ」 ➔「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」
	FICE簡易切替設定	設定なし FICE0～9	FICEセット番号を割り当てておくと、「FICE」を割り当てたスコープスイッチ、フットスイッチを押したときに「FICE入および“割り当て1”的セット番号呼び出し→“割り当て2”呼び出し→“割り当て3”呼び出し→FICE切」と機能を切り替えます。 設定はサービスマンが行います。 ➔「4.2.9 スコープタブ」 ➔「4.2.10 フットスイッチタブ」 ➔「5.3.3 FICE 設定」

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
	特殊光簡易切替設定（マルチオブザベーション）	設定なし WLI+(LCI) LCI+(WLI) BLI+(WLI) WLI+(BLI) WLI+(B) WLI+(V) WLI+(G) WLI+(A)	マルチオブザベーションモード時、「特殊光簡易切替」を割り当てたスコープスイッチ、フットスイッチを押したときに、観察モードを "割り当て 1" → "割り当て 2" → "割り当て 3" → "割り当て 4" と切り替えます。 設定はサービスマンが行います。 →「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」

【備考】

- 各割り当ての設定を解除する場合は、同じ手順でポップアップメニューから「設定なし」を選択し、[Enter] キーを押して設定を確定させてください。

(6) 通常光 /FICE、BLI/BLI-brt、LCI、ACIなどの、観察モード別に色調調整できます。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
通常光 / FICE	構造強調	-	→「5.3.2 構造強調設定」
特殊光 1	色彩強調	-	→「5.3.4 色彩強調設定」
特殊光 2	カラー調整	-	→「5.3.5 カラー調整」
	明るさ基準値	-	観察時の明るさの基準を設定します。明るさ調節機能と同じです。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
モード共通	ノイズリダクション	なし	ノイズリダクションを行うことで、ノイズの目立たない画像にすることができます。ノイズリダクションを強くすると、細かな構造が弱く見える等、不自然に見えることがあります。
		弱	
		中	
		強	ノイズリダクションが設定されている場合、画面には次のように表示されます (() 内は設定値)。 NR : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)
	ハイパートーン	なし	ハイパートーンを行うことで、被写体暗部の画像の明るさを補うことができます。ハイパートーンを強くすると、被写体暗部のノイズが強く見えることがあります。
		弱	
		中	
		強	ハイパートーンが設定されている場合、画面には次のように表示されます (() 内は設定値)。 HT : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)
	明るさ補助	補助なし	観察画面で明かりの届きにくい距離を明るめにする機能です。ただし、観察画面が荒く見えることがあります。
		弱	
		強	
	ブレ軽減モード	OFF	設定した秒数の中から、もっともコントラストの高い画像を得ることができます。
		0.1~0.5	
		1.0	

(7) 「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

参考

- 複数のスコープ種別に対して設定する場合は、手順 (5) ~ (6) を繰り返します。

(8) 画像設定ページに戻りますので、登録した「画像設定ページ名」を選択したまま [Enter] キーを押します。設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

<画像設定ページの詳細情報について>

スコープを接続し検査中に画像設定ページを表示すると、設定内容が詳細情報に表示されます。

- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーで登録した画像設定ページ名を選びます。
- (2) [←]、[→] キーで詳細情報を切替え、設定内容を確認できます。

参考

- ・検査中ではないときは、詳細情報に設定値は表示されません。
- ・特殊光観察プリセット設定の順番に切替わります。

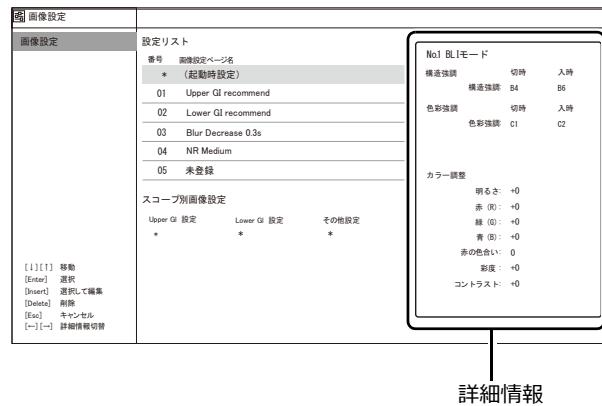
→ 「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」

・通常光



詳細情報

・BLI



詳細情報

<画像設定ページの呼び出し>

- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーで登録した画像設定ページ名を選びます。
- (2) [Enter] キーを押すと、確認メッセージが表示されます。「呼び出し」を選択し、[Enter] キーを押します。選択した設定を呼び出して、観察画面に戻ります。

参考

- ・設定リストから「起動時設定」を選択した場合は、「呼び出し」のみ選択可能となります。

<画像設定ページの削除>

- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーで削除する画像設定ページ名を選びます。
- (2) [Delete] キーを押すと、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択し [Enter] キーを押すと、画像設定ページが削除されます。

<スコープ別画像設定>

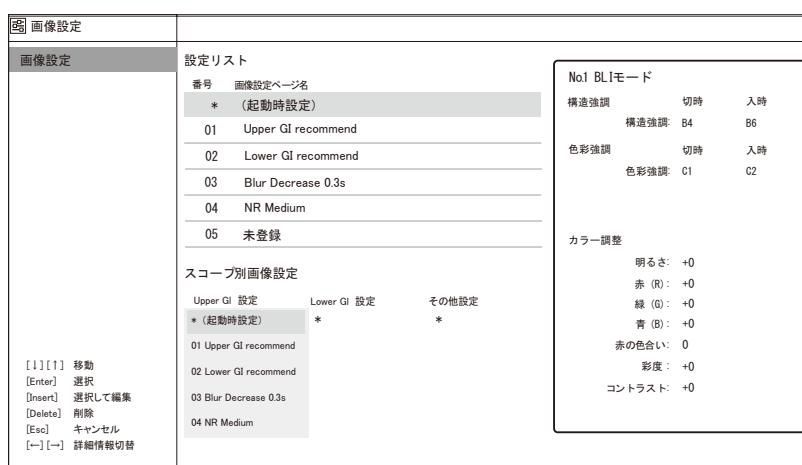
内視鏡を接続して検査を開始したときに、観察部位に合わせ「Upper GI、Lower GI、その他」に設定した画像設定ページの色調調整が自動的に読み込まれます。

Upper GI 設定：スコープ名が EG で始まる内視鏡

Lower GI 設定：スコープ名が EC で始まる内視鏡

その他設定：その他の内視鏡

- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーでスコープ別画像設定を選びます。
- (2) [Enter] キーを押すと画像設定ページ名がポップアップメニューに表示されます。
- (3) 割り当てる画像設定ページ名を選び [Enter] キーで設定します。

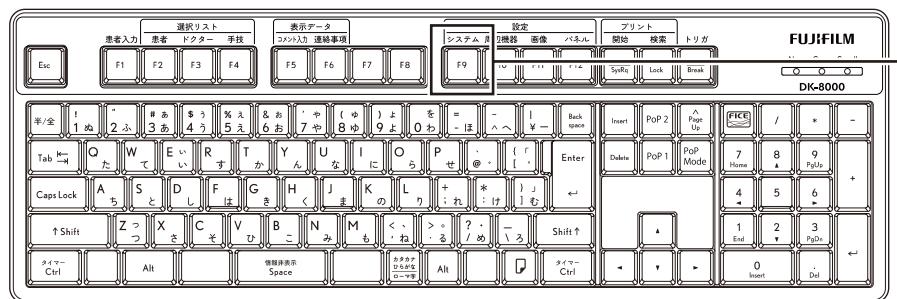


5.5.2 PoP（周辺機器画像の表示）機能の設定

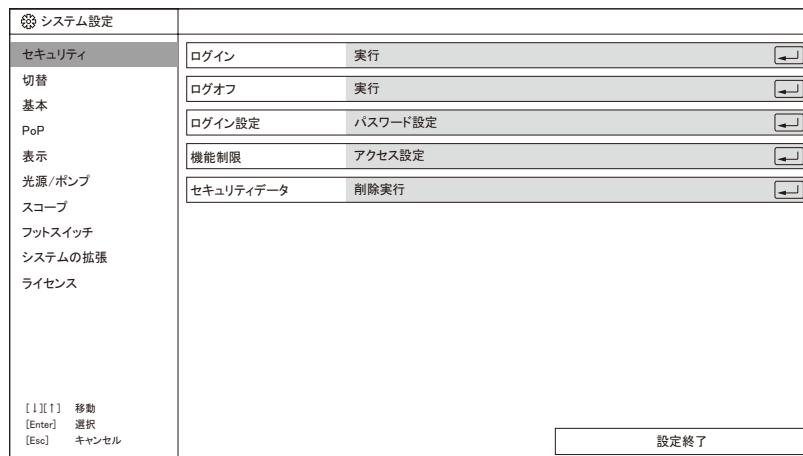
背面パネルの DVI-D IN 端子と、3G-SDI IN 端子に接続された周辺機器の画像を観察画面に表示する機能です。

接続する周辺機器の出力仕様、表示仕様、画像保存の設定をします。

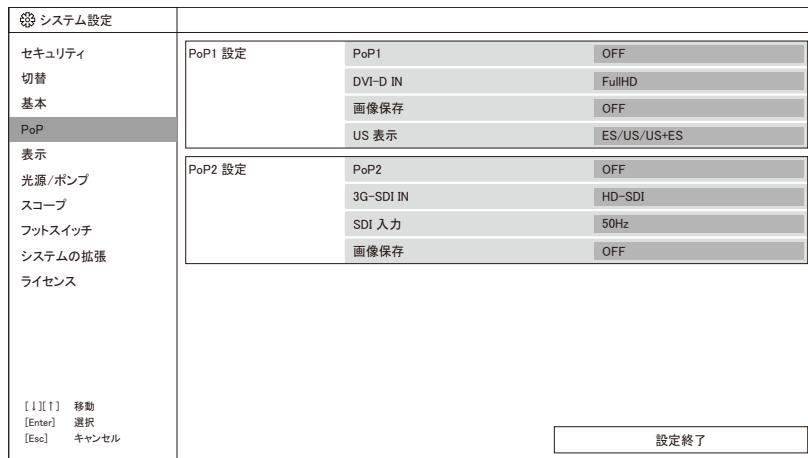
- (1) データキーボードの [システム] キーを押します。システム設定の画面が表示されます。



1 [システム] キー



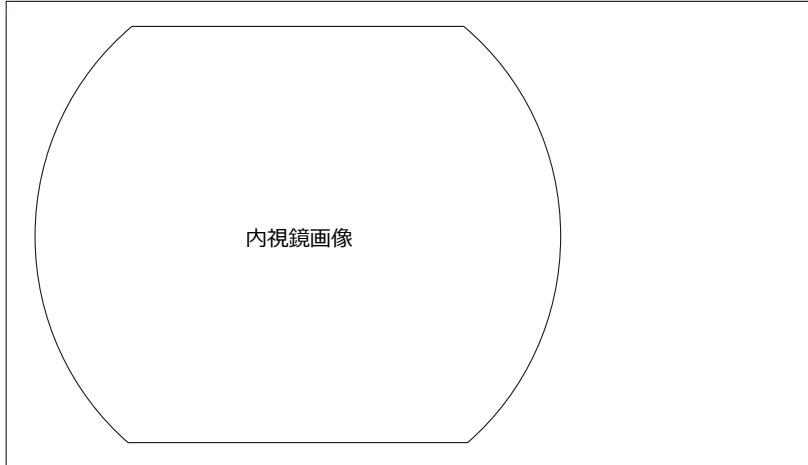
(2) 「PoP」タブを選択し、「PoP1 設定」「PoP2 設定」を設定します。



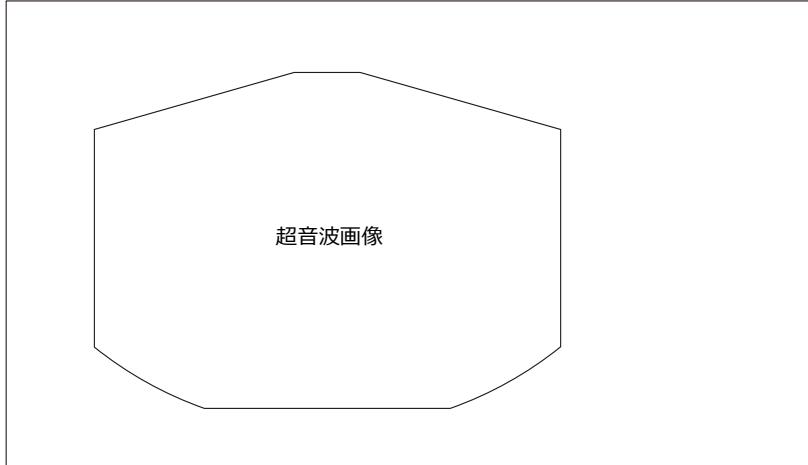
設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
PoP1 設定	PoP1	OFF	ON にすると、電源投入後に、PoP1 画像を観察画面に表示します。
		ON	
	DVI-D IN	FullHD	DVI-D IN 端子に入力する機器または、入力解像度を設定します。
		SXGA	画像の種類は、「FullHD」「SXGA」を設定すると PoP1 画像、「SU-1」「SP-900」を設定すると超音波画像となります。
		SU-1 SP-900	「SU-1」の入力解像度は FullHD、「SP-900」の入力解像度は SXGA です。
	画像保存	OFF	ON にすると、内視鏡画像を保存すると同時に PoP1 の画像も保存します。
		ON	
	US 表示	ES/US/US+ES	DVI-D IN を「SU-1」「SP-900」に設定した場合の観察画面の種類と、切り替える画面の設定をします。
		ES/US+ES	観察画面のエリアの切り替えは、データキーボードの [PoP1] キー、または PoP1 を割り当てたマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 を割り当てたスコープスイッチを押します。
		ES/US	ES : 内視鏡画像をメイン画面エリアに表示 US : 超音波画像をメイン画面エリアに表示 US+ES : 超音波画像をメイン画面エリア、内視鏡画像をサブ画面エリア 1 に表示

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
参考			
• 「画像保存」が「ON」で「DVI-D IN」が「SU-1」の場合、保存する PoP1 画像のサイズは FullHD または SXGA のどちらかを設定できます。設定はサービスマンが行います。			
PoP2 設定	PoP2	OFF	ON にすると、電源投入後に、PoP2 画像を観察画面に表示します。
		ON	
	3G-SDI IN	HD-SDI	3G-SDI IN 端子に入力する解像度を設定します。
		3G-SDI	
	SDI 入力	50Hz	3G-SDI IN 端子に入力する周波数を設定します。
		59.94Hz	
	画像保存	OFF	ON にすると、内視鏡画像を保存すると同時に PoP2 の画像も保存します。
		ON	

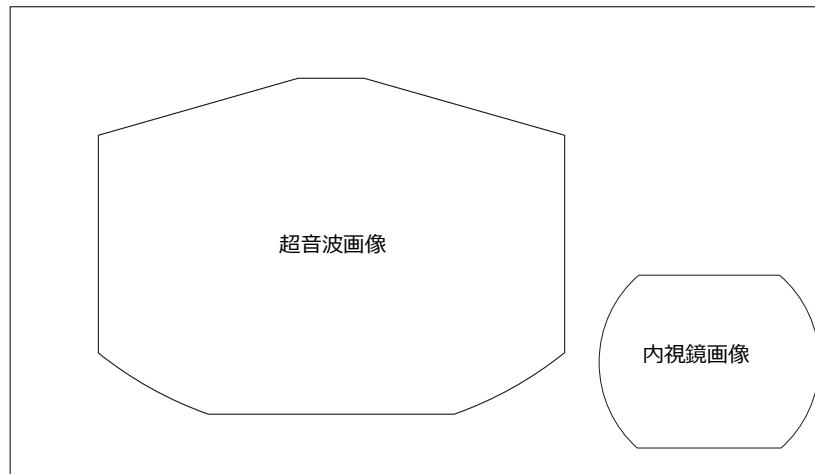
< ES >



< US >



< US+ES >



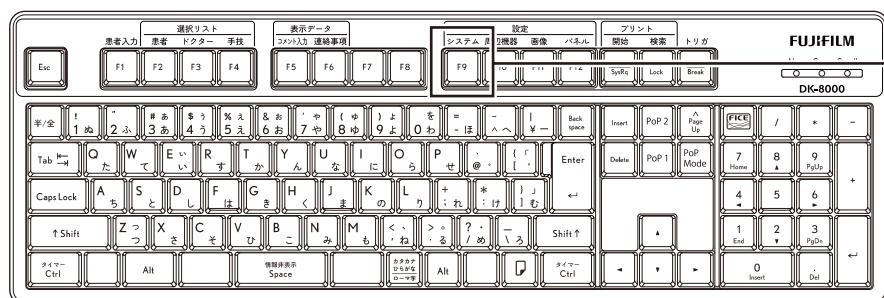
- (3) すべての設定をして、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。
観察画面に戻ります。

5.5.3 インデックス画像の表示

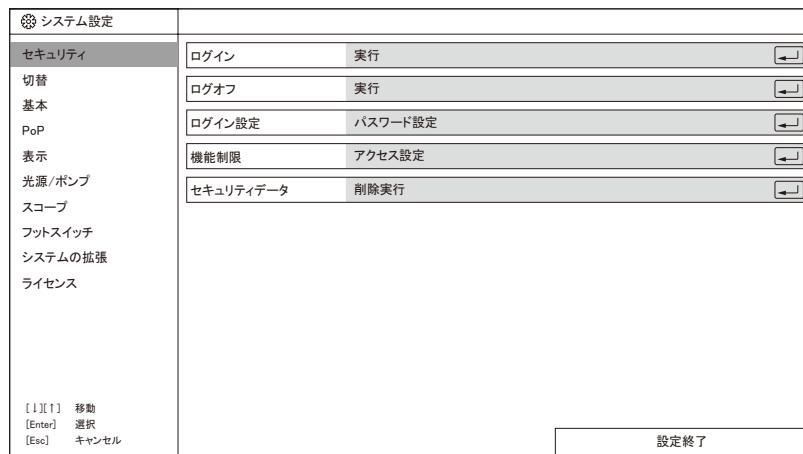
直近に内部メモリーに記録されたインデックス画像を4枚表示します。

4枚のうち、一番上に表示されたインデックス画像が最新の記録画像になります。撮影する度に1コマづつ下に下がります。

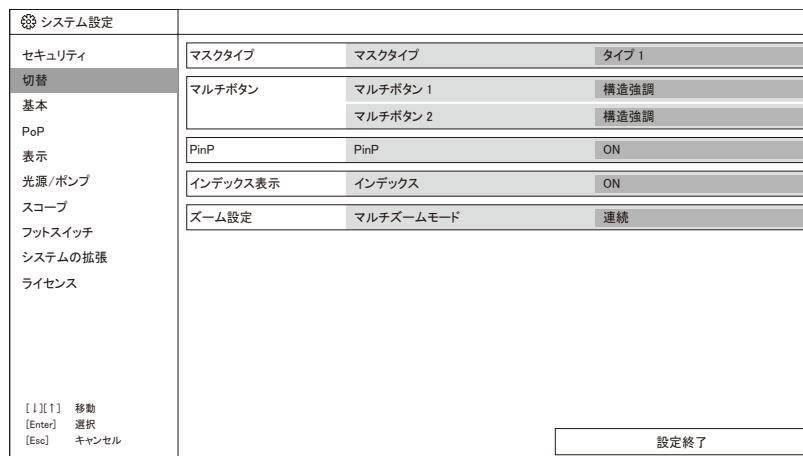
- (1) データキーボードの[システム]キーを押します。システム設定の画面が表示されます。



1 [システム]キー

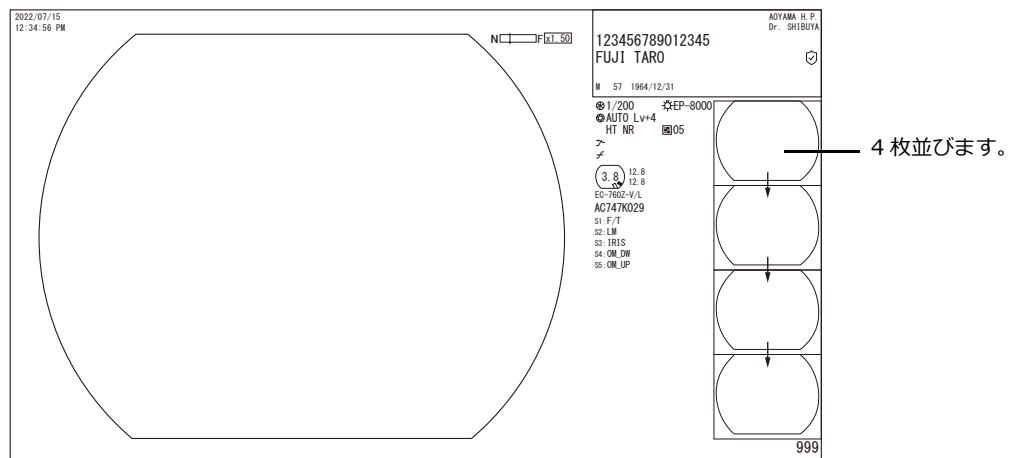
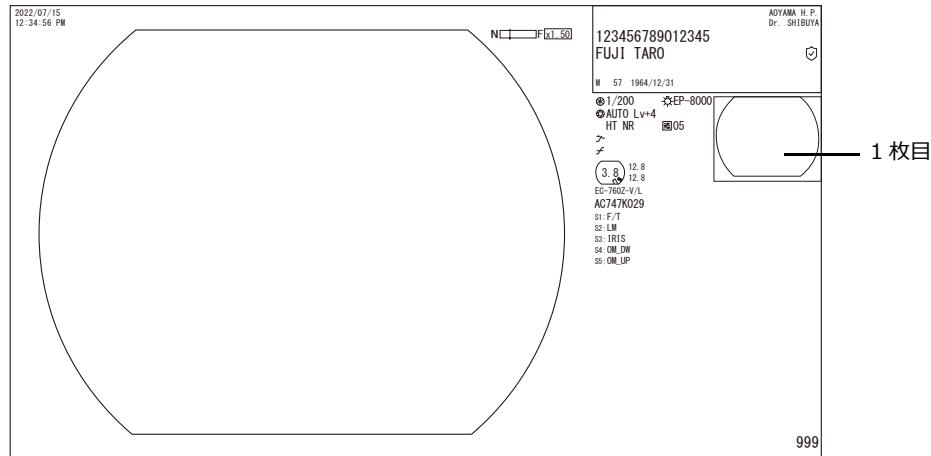


- (2) 「切替」タブを選択し、「インデックス表示」を設定します。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
インデックス表示	インデックス	ON	ON にすると、直近に内部メモリーに記録されたインデックス画像を4枚表示します。
		OFF	

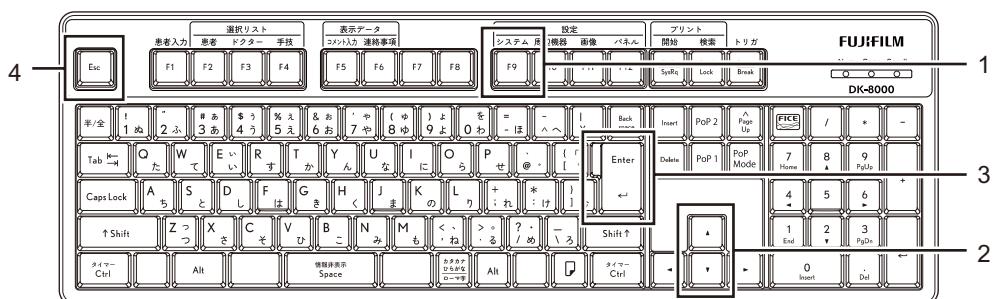
- (3) すべての設定をして、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。
観察画面に戻ります。



5.5.4 トリガーモードの設定

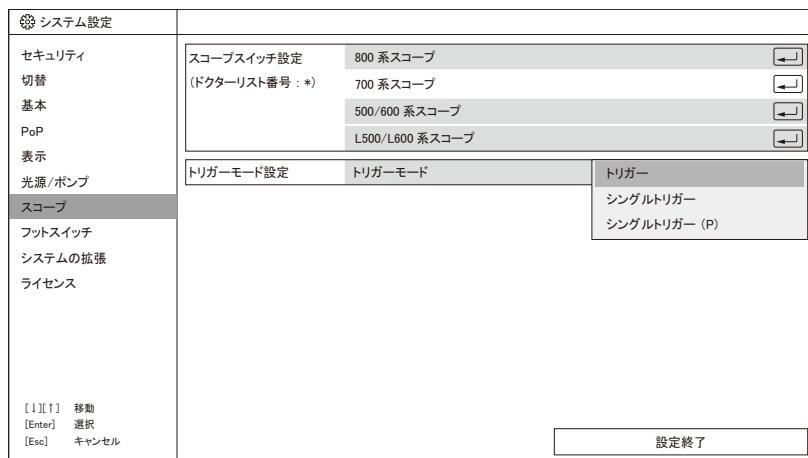
トリガー機能を割り当てているボタンの機能を切り替えられます。

- (1) データキーボードの[システム]キーを押します。システム設定の画面が表示されます。



1	[システム] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

- (2) 「スコープ」タブから、「トリガーモード設定」の「トリガーモード」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、使用する機能を選択します。



➔ 「4.2.9 スコープタブ」

5.5.5 マルチズームモードの設定

光学ズーム機能を持つ内視鏡を組み合わせて使用するときのズーム操作を設定できます。

マルチズームモードに対応した内視鏡のみ、本設定が有効となります。各動作モードの詳細説明については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

マルチズームモードに対応していない内視鏡の場合は、本設定に関係なく連続モードで動作します。

選択したマルチズームモードに応じて、光学ズーム動作と観察画面右上のフォーカスメーターの表示が変わります。

動作モード	光学ズーム動作	フォーカスメーター表示
連続	ピント位置が無段階に停止します。	
5ステップ	ピント位置が5段階に停止します。	
3ステップ	ピント位置が3段階に停止します。	
2ステップ	ピント位置が2段階に停止します。 800システムスコープの場合、拡大率が最大になった状態で「光学ズーム：拡大」機能を割り当てたスコープスイッチを押すと、拡大率が標準に戻ります。	
5ステップ（サイクル）	ピント位置が5段階に停止します。 800/700システムスコープの場合、拡大率が最大になった状態で「光学ズーム：拡大」機能を割り当てたスコープスイッチを押すと、拡大率が標準に戻ります。 「電子運動拡大」機能は動作しません。	
3ステップ（サイクル）	ピント位置が3段階に停止します。 800/700システムスコープの場合、拡大率が最大になった状態で「光学ズーム：拡大」機能を割り当てたスコープスイッチを押すと、拡大率が標準に戻ります。	

ズームの設定

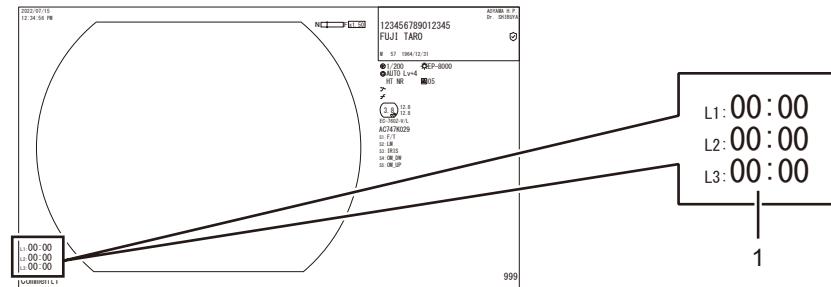
➔ 「4.2.4 切替タブ」

5.5.6 ラップタイム表示

観察画面でラップタイムを表示できます。

マルチボタンまたはスコープスイッチにラップタイムを設定する必要があります。

- ラップタイムの設定
 - ➔ 「4.2.7 表示タブ」
- マルチボタンの設定
 - ➔ 「4.2.4 切替タブ」
- スコープスイッチの設定
 - ➔ 「4.2.9 スコープタブ」
- ラップタイム機能の使い方
 - ➔ 「7.28 ラップタイムのスタート / ストップ」



1 ラップタイム

5.5.7 セキュリティの設定

注 意

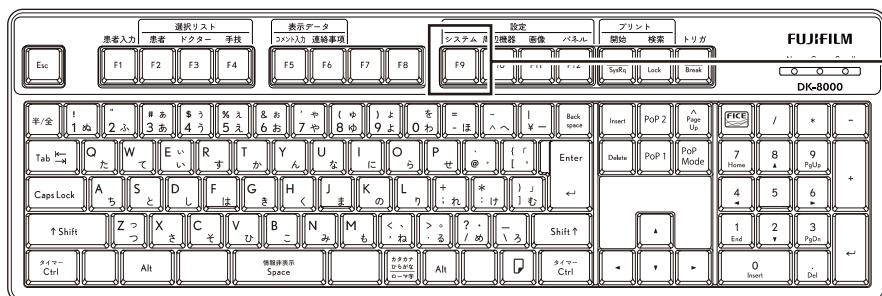
- 初めて本製品にログインしたときには、パスワードを変更してください。
- ログインすると、電源を切るまで、すべての情報へのアクセスが可能になります。システムから離れる時には、必ずログオフするか電源を切ってください。
- 本製品は医療施設のファイヤーウォール内の安全なネットワークに接続し、サポートされているプロトコル（DICOM、FTP、HTTPS）にて使用してください。
- パスワードを忘れてログインできなくなった場合や、設定維持、復旧方法がわからない場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

患者の個人情報やシステムの設定情報にアクセスする際に、ログイン認証画面を表示してパスワードの入力を要求することにより、第三者への情報の漏洩を防ぐことができます。

パスワードは、“ユーザー”と、“管理者”的2種類設定できます。

管理者が、セキュリティ機能を設定します。

- データキーボードの[システム]キーを押します。システム設定の画面が表示されます。
「セキュリティ」タブを選択します。



1 [システム]キー

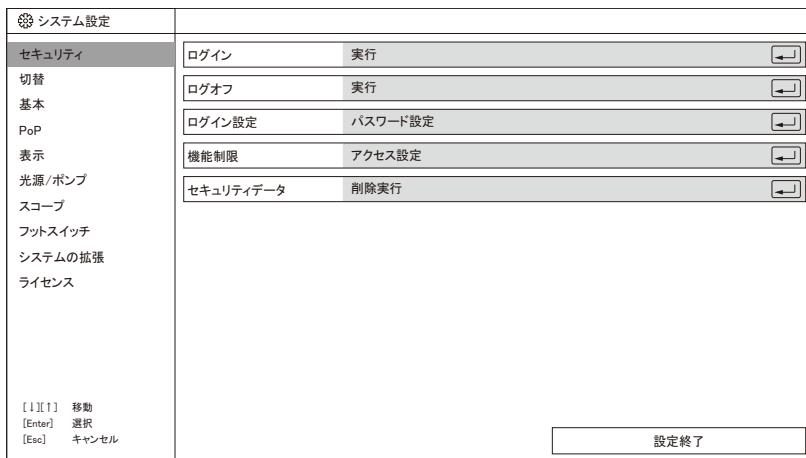
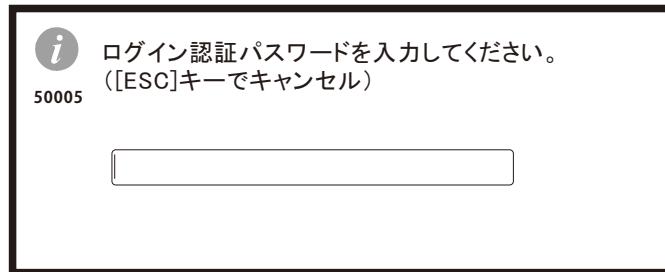


表 1

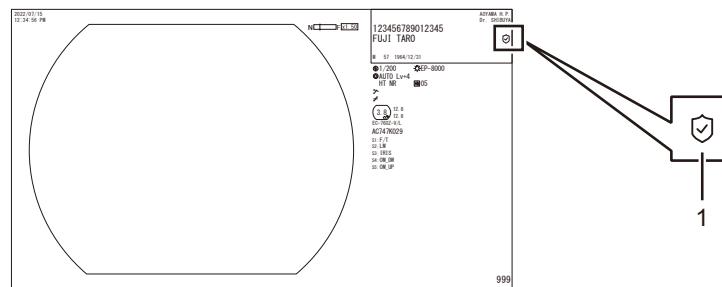
設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ログイン	実行	-	[Enter] キーを押すと、パスワードが入力できます。パスワードは、“ユーザ”と“管理者”的2種類設定できます。パスワード確認後、セキュリティ機能にログインできます。ログインするとセキュリティ機能が有効になるとともに、ユーザーパスワードまたは管理者パスワードを変更できます。
ログオフ	実行	-	[Enter] キーを押すと、セキュリティ機能をログオフできます。
ログイン設定	パスワード設定	-	表 2 のサブメニュー画面が表示されます。
機能制限	アクセス設定	-	表 3 のサブメニュー画面が表示されます。 管理者のみ設定を変更できます。
セキュリティデータ	削除実行	-	[Enter] キーを押すと、患者情報、内部メモリの検査画像、病院施設名、ドクター名、手技名、連絡事項を削除することができます。

<セキュリティ機能 ログイン>

- (1) データキーボードの [システム] キーを押します。システム設定の画面が表示されます。
「セキュリティ」タブを選択します。
- (2) 「ログイン」の「実行」を選択し、[Enter] キーを押します。
- (3) “ユーザー”または“管理者”的パスワードを入力します。
初期パスワードは、ユーザーが「user」、管理者が「user1」です。



- (4) ログインすると、観察画面にログイン状態を示すアイコンが表示されます。



<パスワードの設定>

参考

- 初めて本製品にログインしたときには、パスワードを変更します。

- (1) データキーボードの [システム] キーを押します。システム設定の画面が表示されます。
「セキュリティ」タブを選択します。
- (2) 「ログイン設定」の「パスワード設定」を選択し、[Enter] キーを押します。

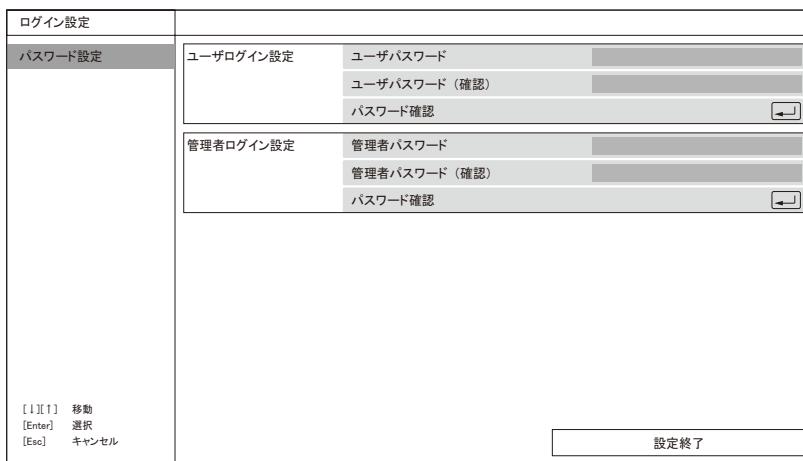


表 2

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ユーザログイン設定	ユーザパスワード	データキーボードで直接入力	“ユーザ”または“管理者”がユーザパスワードを設定できます。 パスワードは、4 文字以上、最大 15 文字までの英数字および記号を使用できます。
	ユーザパスワード(確認)	データキーボードで直接入力	変更したパスワードを再度入力します。
	パスワード確認	-	“ユーザパスワード”と“ユーザパスワード(確認)”に入力後、[Enter] キーを押すとパスワードが変更されます。
管理者ログイン設定	管理者パスワード	データキーボードで直接入力	“管理者”が管理者パスワードを設定できます。 パスワードは、4 文字以上、最大 15 文字までの英数字および記号を使用できます。
	管理者パスワード(確認)	データキーボードで直接入力	変更したパスワードを再度入力します。
	パスワード確認	-	“管理者パスワード”と“管理者パスワード(確認)”に入力後、[Enter] キーを押すとパスワードが変更されます。

(3) 「ユーザログイン設定」、「管理者ログイン設定」を設定します。

ユーザのパスワードでログインしたときは“ユーザパスワード”のみ変更できます。管理者のパスワードでログインしたときは“ユーザパスワード”と“管理者パスワード”を変更できます。

参考

- 変更したパスワードは忘れないように注意してください。
- パスワードは英語、数字、記号のうち、2種類以上の組み合わせかつ少なくとも10桁以上、または3種類以上の組み合わせかつ少なくとも8桁以上で設定してください。
- パスワードは連続数字や誕生日、電話番号などの推測しやすい個人情報とユーザー名と似たような設定はしないでください。
- 個人情報を保護するため、パスワードの有効期限を決め、半年に一回以上変更をしてください。

(4) すべての設定をしたら「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

観察画面に戻ります。

<セキュリティ管理の機能制限>

参考

- ・“管理者”のみ設定を変更できます。

- (1) データキーボードの [システム] キーを押します。システム設定の画面が表示されます。
「セキュリティ」タブを選択します。
- (2) 「機能制限」の「アクセス設定」を選択し、[Enter] キーを押します。

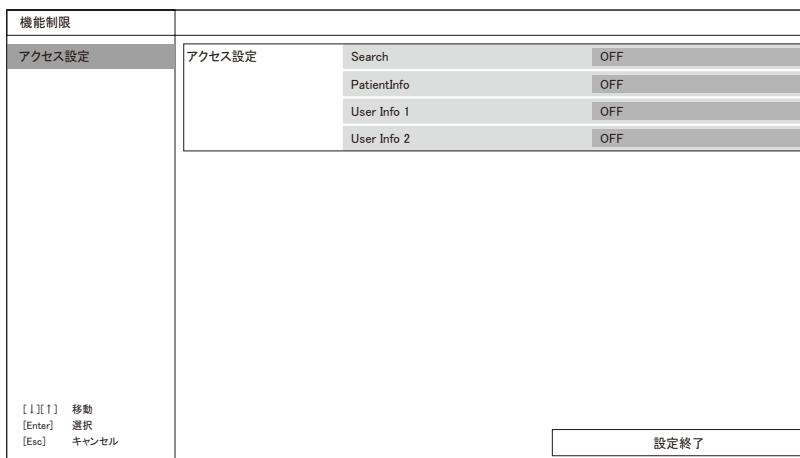


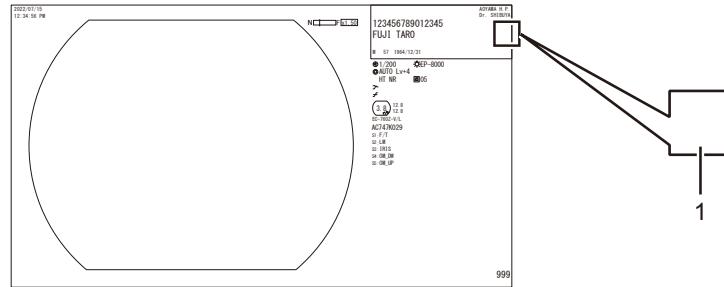
表 3

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
アクセス設定	Search	ON	[開始] キー、[検索] キーで設定する項目と、<当日の検査データを簡易的にコピーする方法> のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	
	Patient Info	ON	[患者] キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	
	User Info 1	ON	[ドクター] キー、[システム] キー、[周辺機器] キー、[画像] キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	
	User Info 2	ON	[手技] キー、[連絡事項] キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効 (ON)、または無効 (OFF) を選択します。
		OFF	

- (3) 「アクセス設定」を設定します。
- (4) すべての設定をしたら「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
観察画面に戻ります。

<セキュリティ機能 ログオフ>

- (1) データキーボードの [システム] キーを押します。システム設定の画面が表示されます。
「セキュリティ」タブを選択します。
- (2) 「ログオフ」の「実行」を選択し、[Enter] キーを押します。
- (3) ログオフすると、観察画面からログイン状態を示すアイコンが消えます。



1 ログオフ（ログイン状態を示すアイコンが表示されない）

第 6 章 システムの準備と点検

この章では、本製品および 本製品と組み合わせて使用可能な機器を含む関連機器の準備と点検について説明します。

本製品を使用する前に必ず本章に従って準備と点検を行ってください。また、本製品と組み合わせて使用可能な機器を含む関連機器についても、それらの『添付文書』や『取扱説明書』に従って点検してください。点検の結果、異常が疑われる場合は、「第 10 章 トラブルシューティング」に従って対処してください。

6.1 機材の設置と接続

「第 4 章 システムの設置と初期設定」に従って、システムを設置します。

プロセッサーの内蔵電池が放電すると、モニターに表示する時計の機能が維持できない（時間が遅れる）おそれがあります。プロセッサーを使用しないまま 1 ヶ月以上放置した場合は、5 時間を目安にプロセッサーの電源を入にして、内蔵電池の充電を行ってください。（内視鏡接続やライト点灯の必要はありません）

6.2 関連機器の準備

次に示す、本製品および 本製品と組み合わせて使用可能な機器を含む関連機器を、それぞれの『添付文書』や『取扱説明書』に従って点検してください。

- 内視鏡
- 光源装置
- プロセッサー
- 液晶モニター
- 送水タンク
- 吸引器
- 処置具
- マウスピース
- 内視鏡用送水装置
- 内視鏡用炭酸ガス送気装置
- バルーンコントローラー
- 電気焼灼器

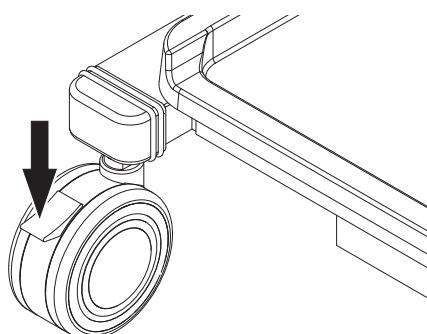
など

参考

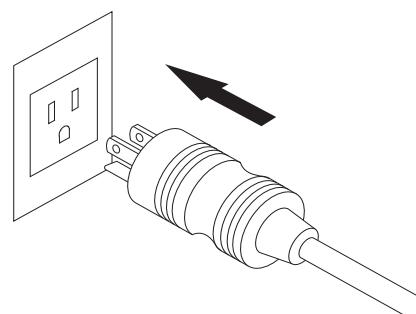
- 本製品と組み合わせて使用する機器は、富士フィルムまたは機器製造元からの出荷前にリプロセスが行われていないものがあります。初めて症例に使用する前に、それぞれの『添付文書』および『取扱説明書』に従ってリプロセスを行ってください。

(1) 本製品、LL-7000、カートの電源を切ります。

(2) システムが搭載されたカートを使用する場所に移動します。カートのキャスターをロックします。



(3) カートの電源プラグを保護接地付コンセントに直接差し込みます。



(4) 吸引器を準備します。

参考

- 吸引器について詳しくは吸引器の『取扱説明書』を参照してください。

6.3 点検作業のフロー

システムを点検する際の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

1 ルーバーを確認する

↓ ➔ 「6.4 ルーバーの確認」

2 外観を確認する

↓ ➔ 「6.5 外観の確認」

3 内視鏡を接続する

↓ ➔ 「6.6 内視鏡の接続」

4 送水タンクを取り付ける

↓ ➔ 「6.7 送水タンクの取り付け」

5 光源・プロセッサーの動作確認をする

➔ 「6.8 装置の電源投入」

➔ 「6.9 本製品の電源投入と動作確認」

➔ 「6.10 ライトの動作確認」

➔ 「6.11 スコープスイッチ、フットスイッチ、マルチボタンの動作確認」

➔ 「6.12 送気機能の動作確認」

➔ 「6.13 PoP 機能の動作確認」

➔ 「6.14 タブレットの動作確認」

➔ 「6.16 バルーンコントローラーの動作確認」

6 装置の電源を切る

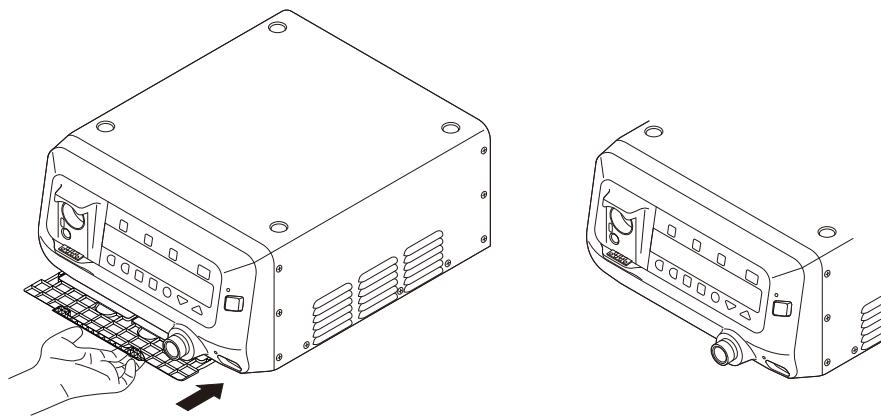
➔ 「6.15 装置の電源切断」

6.4 ルーバーの確認

ルーバーの防塵フィルターが目詰まりしていないか点検します。機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。

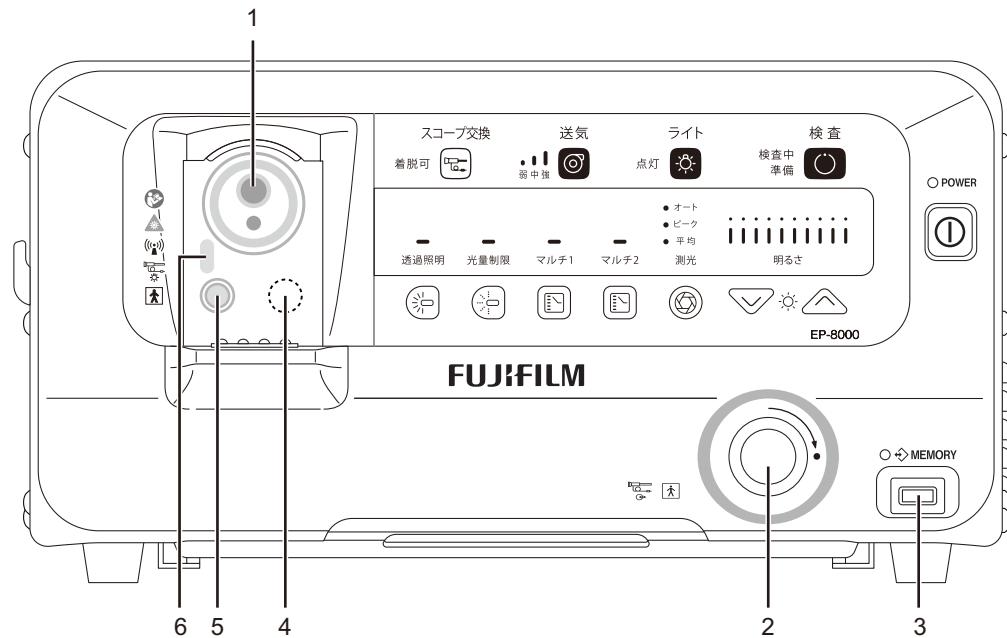
→「9.3 ルーバーの清掃」

ルーバーが奥まで取り付けられていることを確認します。
奥まで取り付けられていない場合は、故障の原因となります。



6.5 外観の確認

- (1) スコープコネクターソケット、電気コネクターソケットとメモリースロットに、水が掛かっていたり錆が発生していないことを確認します。
- (2) 給電部、受信窓、通信窓（LED）に異物が付着していないことを確認します。



1	スコープコネクターソケット
2	電気コネクターソケット
3	メモリースロット
4	給電部
5	受信窓
6	通信窓（LED）

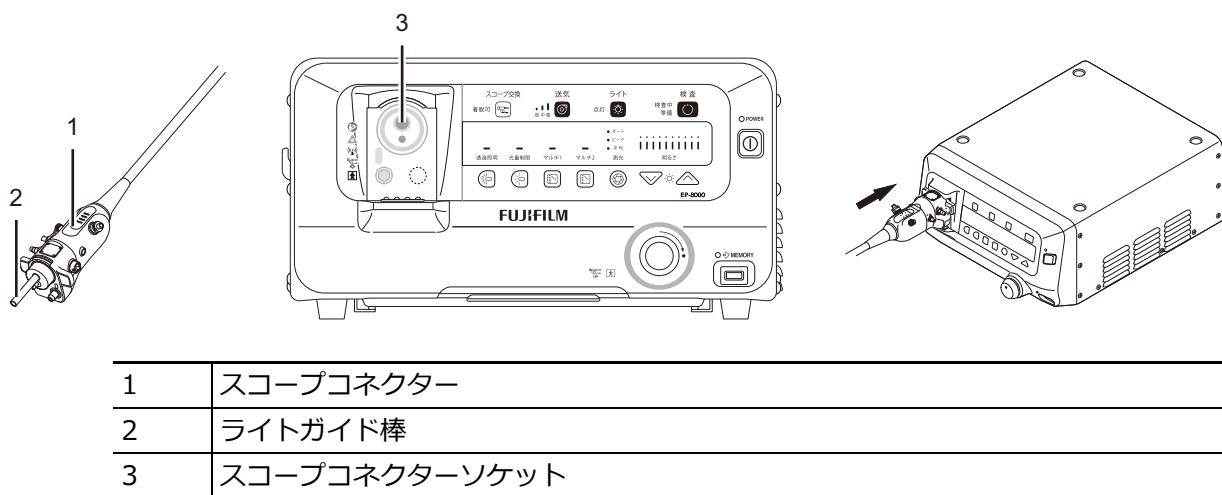
6.6 内視鏡の接続

注 意

- 電気コネクターソケットにL600システムスコープまたはL580シリーズスコープ、600システムスコープ、580シリーズスコープ、530シリーズスコープを挿入した状態で、800システムスコープまたは700システムスコープをスコープコネクタに装着しないでください。
- 電源投入後、画面左上に表示される起動バー■■■■■が表示された状態では、内視鏡を装着しないでください。

◆ 800 システムスコープおよび 700 システムスコープ

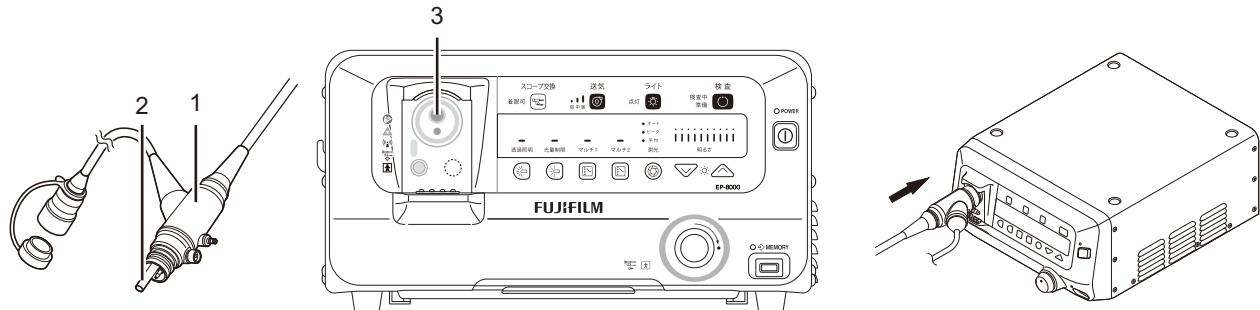
- (1) 内視鏡先端の対物レンズ、ライトガイドに異物が付着していないことを確認してください。異物が付着している場合は、内視鏡の取扱説明書に従い、洗浄・消毒・滅菌してください。
- (2) 内視鏡のスコープコネクターが濡れている場合は、乾燥させます。
- (3) 内視鏡のスコープコネクターのライトガイド棒を本製品のスコープコネクターソケットに、まっすぐ止まるまで差し込みます。



◆ 600 システムスコープおよび 500 システムスコープ

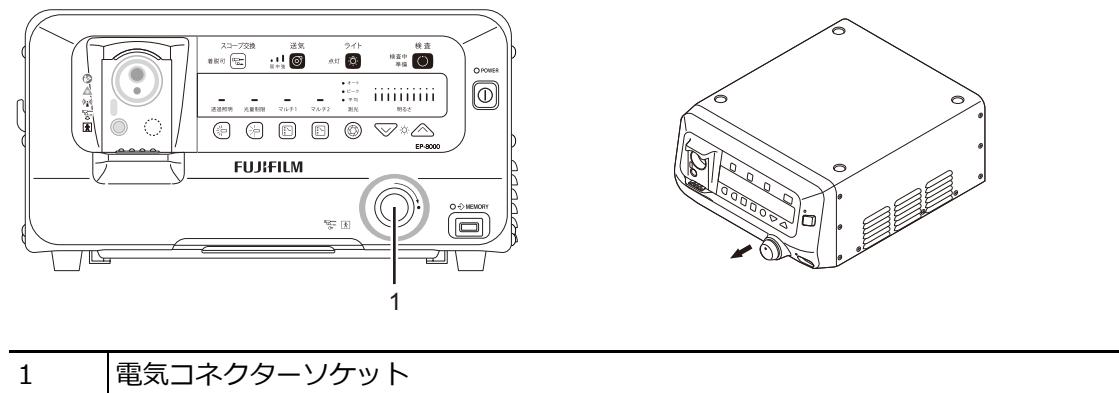
- (1) 内視鏡先端の対物レンズ、ライトガイドに異物が付着していないことを確認してください。異物が付着している場合は、内視鏡の取扱説明書に従い、洗浄・消毒・滅菌してください。
- (2) 内視鏡のLGコネクターとビデオコネクターが濡れている場合は、乾燥させます。

(3) 内視鏡の LG コネクターを本製品のスコープコネクターソケットに、まっすぐ止まるまで差し込みます。



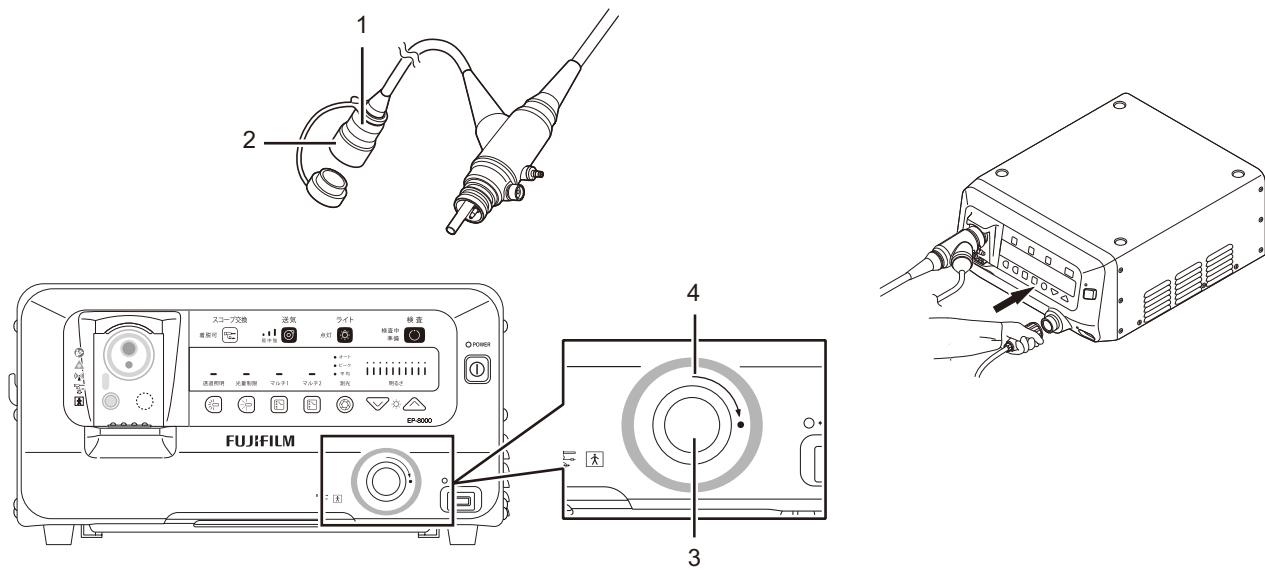
1	LG コネクター
2	LG コネクターのライトガイド棒
3	スコープコネクターソケット

(4) 本製品の電気コネクターソケットのソケット保護キャップを外します。



1	電気コネクターソケット
---	-------------

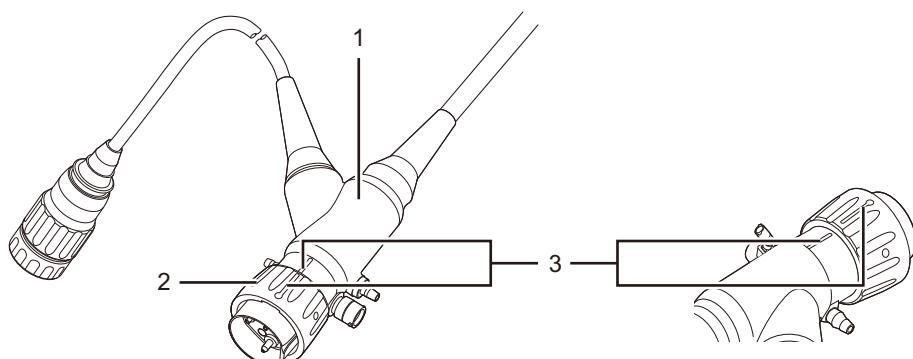
- (5) 内視鏡のビデオコネクターを本製品の電気コネクターソケットに差し込みます。ビデオコネクターと電気コネクターソケットの指標に合わせて、ビデオコネクターを少し押しながら、ロックハンドルを時計回りに 90° しっかりと回転させて固定します。



1	ビデオコネクター
2	ロックハンドル
3	電気コネクターソケット
4	電気コネクターソケットの指標

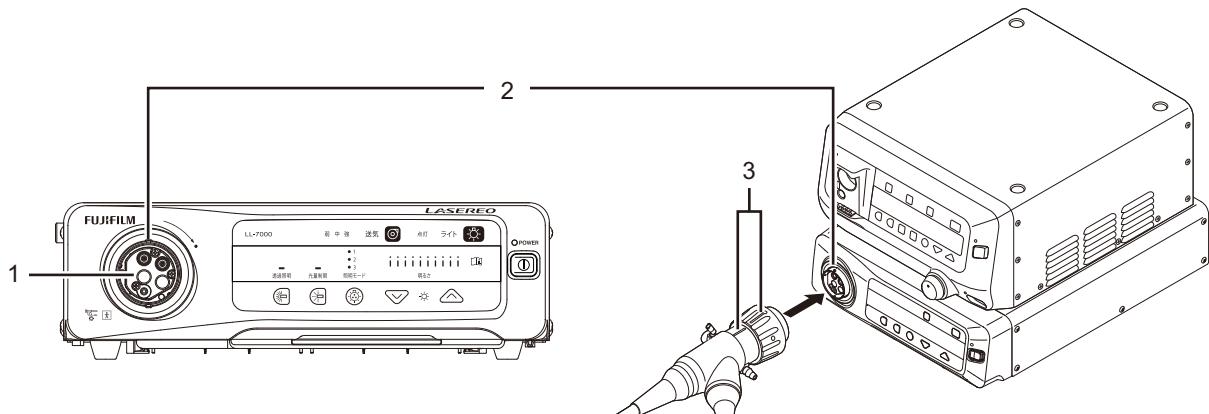
◆ L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープ

- (1) 内視鏡先端の対物レンズ、ライトガイドに異物が付着していないことを確認してください。異物が付着している場合は、内視鏡の取扱説明書に従い、洗浄・消毒・滅菌してください。
- (2) 内視鏡の LG コネクターとビデオコネクターが濡れている場合は、乾燥させます。
- (3) 内視鏡の LG コネクターのロックハンドルを反時計回りに回し、LG コネクターの指標を合わせます。



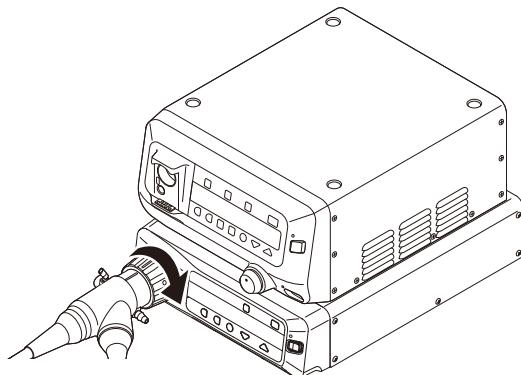
1	LG コネクター
2	ロックハンドル
3	LG コネクターの指標

- (4) 内視鏡の LG コネクターを両手で持ち、LG コネクターの指標と LL-7000 のスコープコネクタソケットの指標を合わせて、まっすぐ止まるまで差し込みます。

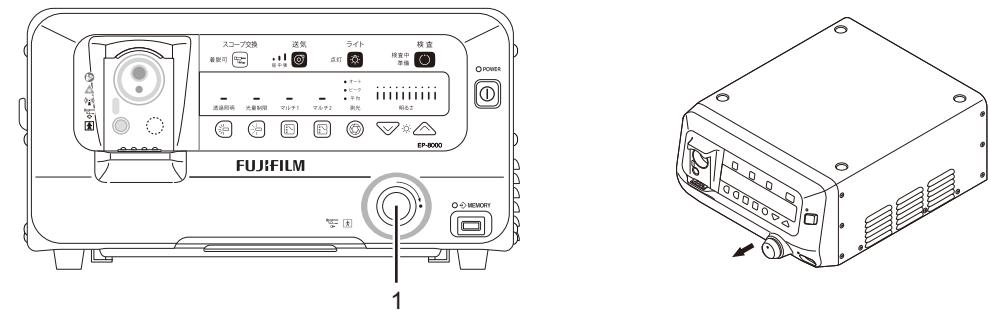


1	スコープコネクタソケット
2	スコープコネクタソケットの指標
3	LG コネクターの指標

- (5) 内視鏡の LG コネクターのロックハンドルを時計回りに止まるまで回し、LL-7000 に固定します。

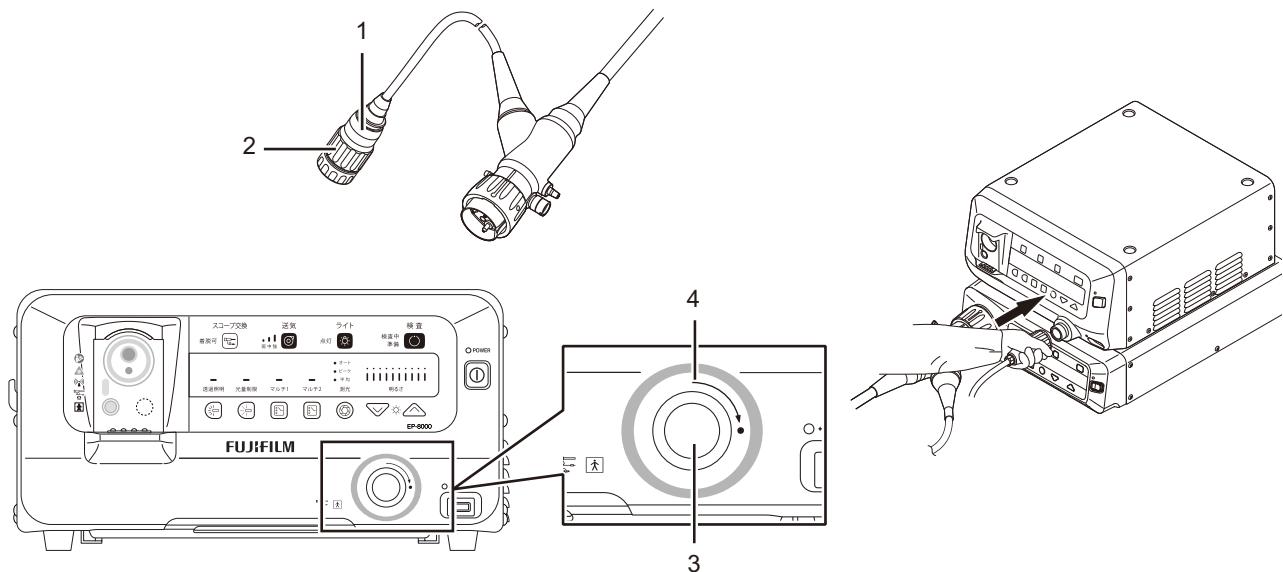


- (6) 本製品の電気コネクターソケットのソケット保護キャップを外します。



1	電気コネクターソケット
---	-------------

- (7) 内視鏡のビデオコネクターを本製品の電気コネクターソケットに差し込みます。ビデオコネクターと電気コネクターソケットの指標に合わせて、ビデオコネクターを少し押しながら、ロックハンドルを時計回りに 90° しっかりと回転させて固定します。



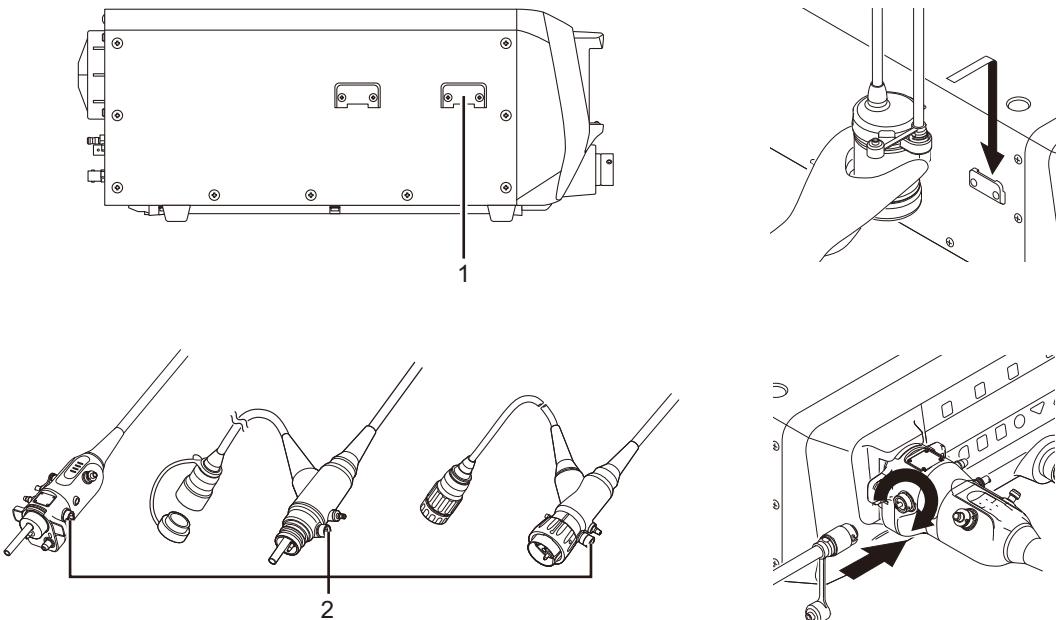
1	ビデオコネクター
2	ロックハンドル
3	電気コネクターソケット
4	電気コネクターソケットの指標

6.7 送水タンクの取り付け

- (1) 8分目位まで滅菌水を入れた送水タンクを本製品の左側面の送水タンクフックに掛けます。
- (2) 送水タンクのコネクターを内視鏡の送水コネクターに接続します。

参考

- 送水タンクをカートの指定の位置に取り付ける場合、カートの取扱説明書を参照してください。



1	送水タンクフック
2	送水コネクター

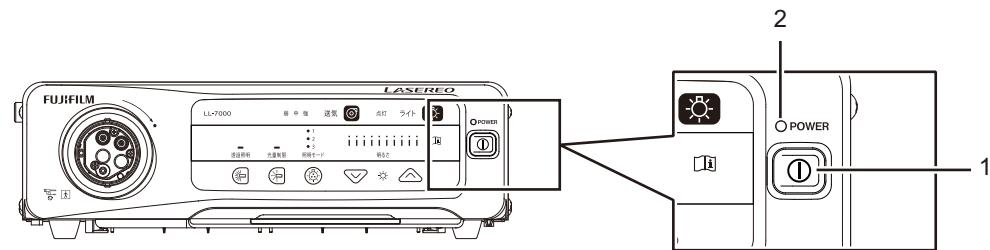
6.8 装置の電源投入

(1) カート、周辺機器の電源を入れて、点検を行います。

参考

- ・カート、周辺機器の取扱説明書を参照してください。

(2) LL-7000 を使用する場合、LL-7000 の電源ボタンを押して、電源を入れます。
電源表示灯が点灯します。



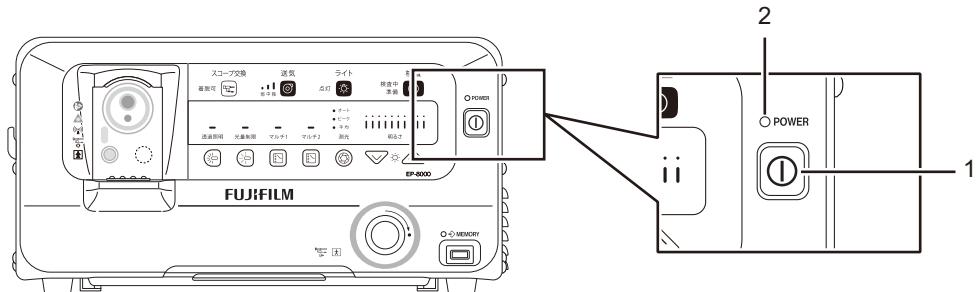
1	電源ボタン
2	電源表示灯

6.9 本製品の電源投入と動作確認

警 告

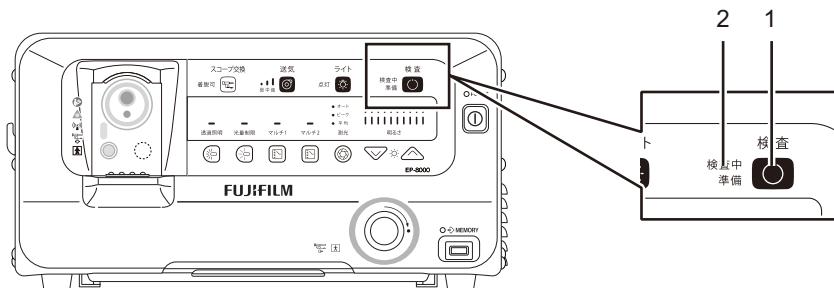
本製品のスコープコネクターソケットと、内視鏡のスコープコネクターの接続部は赤外線通信をしているため、覗き込まないでください。目の障害の原因となるおそれがあります。

- (1) 本製品の電源ボタンを押して、電源を入れます。
電源表示灯が点灯します。



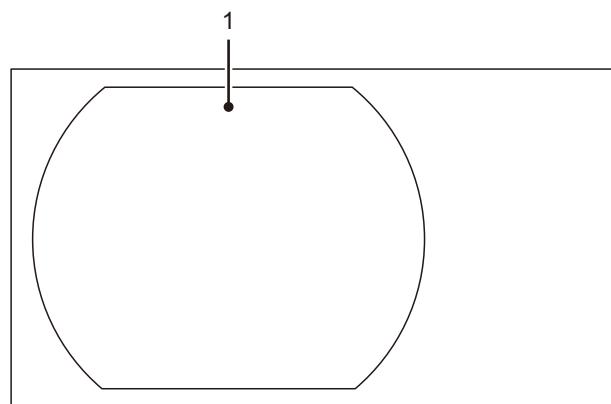
1	電源ボタン
2	電源表示灯

- (2) 本製品の検査ボタンおよび検査表示灯の「検査中」が青色に点滅したのち、点灯します。



1	検査ボタン
2	検査表示灯

- (3) 観察画面に内視鏡画像が表示されることを確認します。



1	内視鏡画像
---	-------

(4) 内視鏡画像に文字などを表示させて、上下左右の表示方向が合っていることを確認します。

6.10 ライトの動作確認

警告

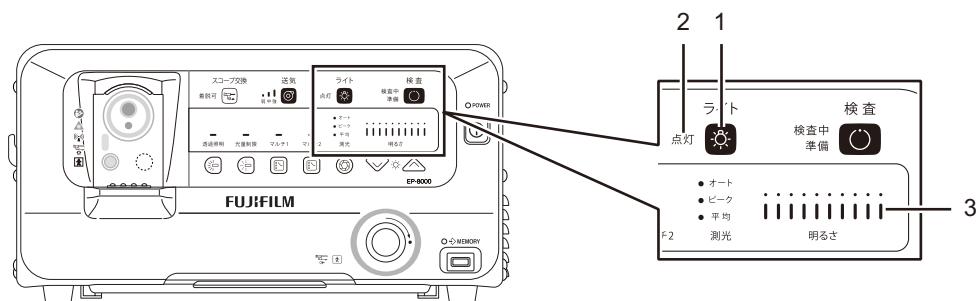
内視鏡の先端部にあるライトガイドの光を直視しないでください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。

- (1) 本製品または LL-7000 のライトボタンを押します。

インジケーターが点灯することを確認します。

ライトボタンが青色、ライト点灯表示灯またはライト点灯が点灯することを確認します。

<本製品の場合>



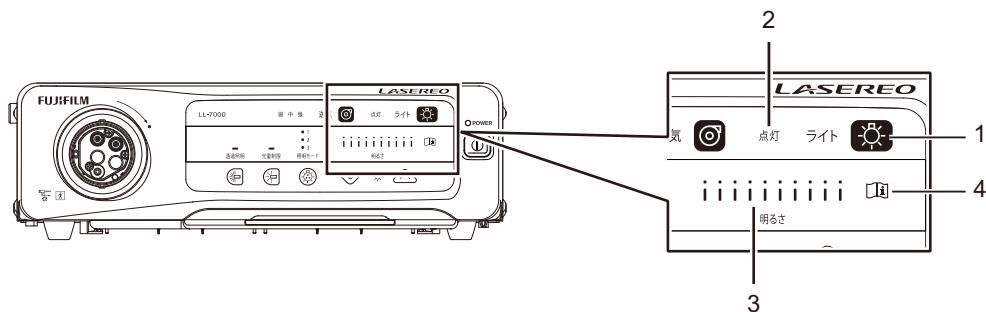
1	ライトボタン
2	ライト点灯表示灯
3	インジケーター

< LL-7000 の場合>

参考

- 光源状態表示灯が点灯または点滅した場合は使用を中止してください。

→ LL-7000 取扱説明書「7.5 光源状態表示灯が点滅したら」

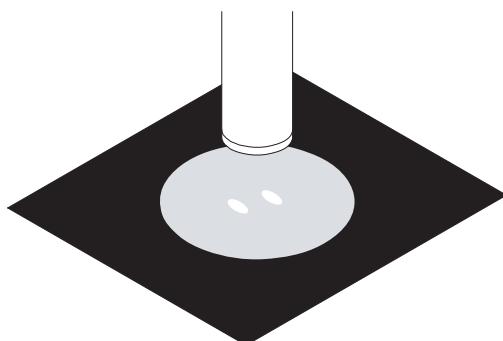


1	ライトボタン
2	ライト点灯
3	インジケーター
4	光源状態表示灯

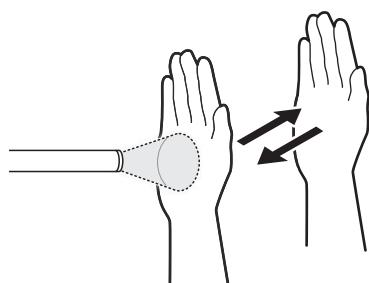
(2) 発光の確認は内視鏡先端を黒い紙等に近づけて反射光で確認します。

2つの光る点が見えれば正常です。

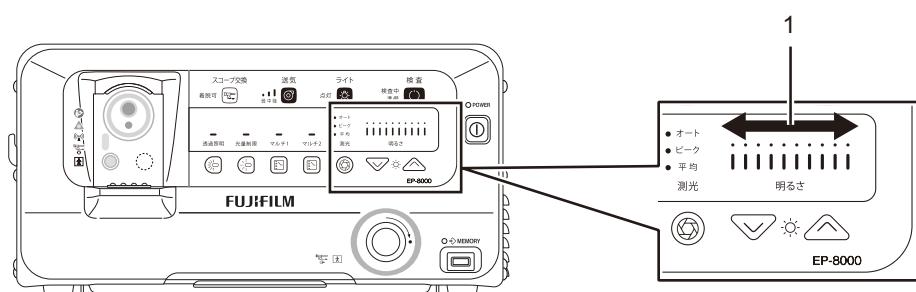
光る点が1つしか見えない場合、または光らない場合は直ちに使用を中止し、電源を切り、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。



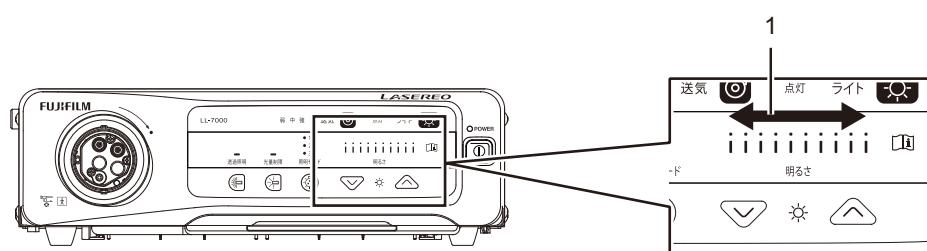
(3) 内視鏡の先端部に手のひらをあて、近づけたり遠ざけたりすることで、インジケーターのレベルが変化することを確認します。



<本製品の場合>



<LL-7000の場合>

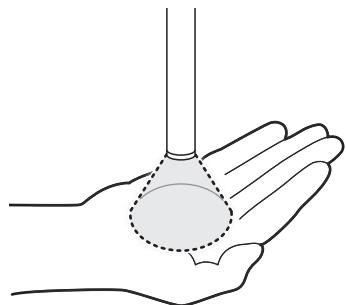


1 インジケーター

- (4) 内視鏡の先端部に手のひらをあて、内視鏡画像を観察します。内視鏡画像にノイズやボケ、曇りなどの異常がないことを確認します。

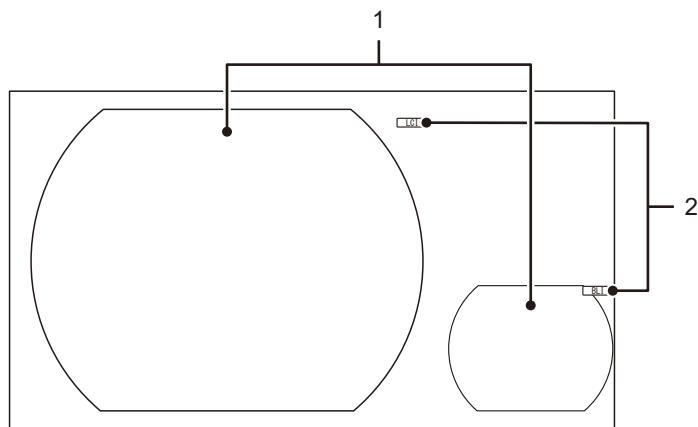
参考

- ・内視鏡画像が鮮明に見えない場合は、内視鏡の取扱説明書に従ってください。



- (5) 「観察モード切り替え機能」を割り当てたスコープスイッチ、フットスイッチ、マルチボタンを押すたびに、観察画面の内視鏡画像と観察モードが切り替わることを確認します。
必要に応じてカラー調整を実施してください。

→「7.19 観察モードの切り替え」

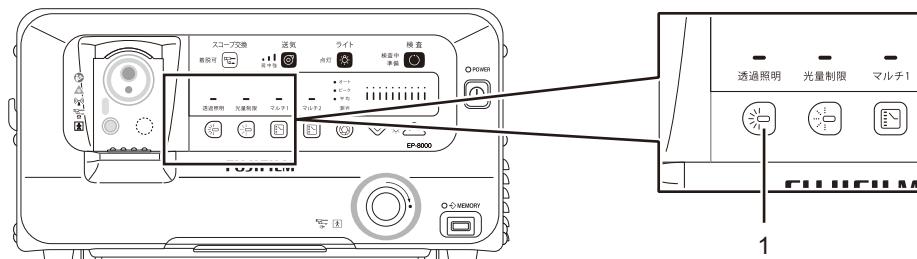


1	内視鏡画像
2	観察モード

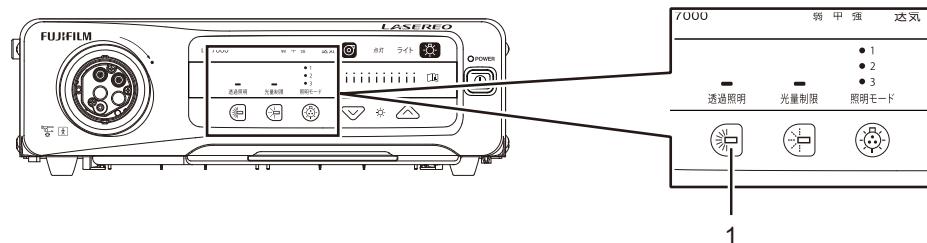
(6) 透過照明ボタンを押します。ボタン上側の表示灯が点滅し、ライトが点滅することを確認します。

再度、透過照明ボタンを押して、ボタン上側の表示灯が消灯し、ライトの点滅が解除されることを確認します。

<本製品の場合>



<LL-7000 の場合>



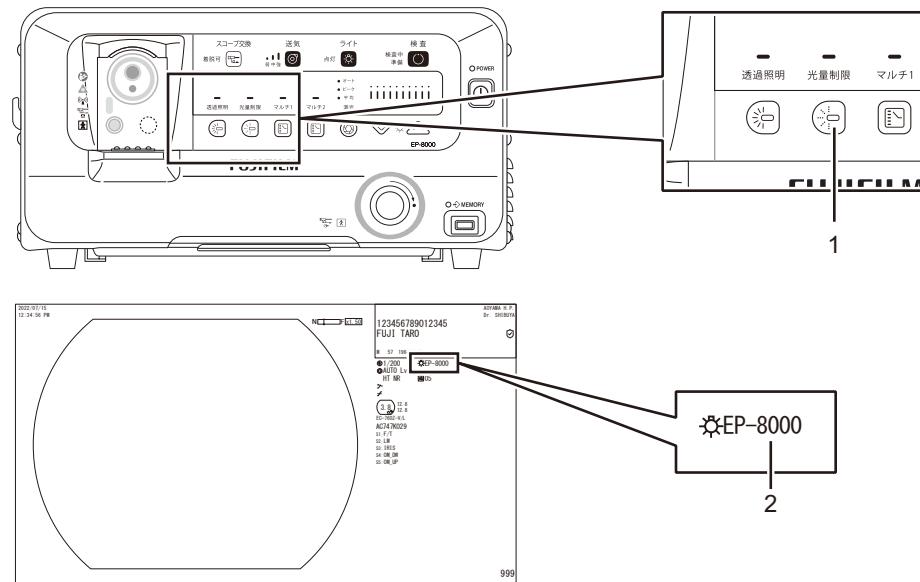
1 透過照明ボタン

- (7) 光量制限ボタンを押します。ボタン上側の 表示灯が点滅し、ライトの最大光量が制限されることを確認します。

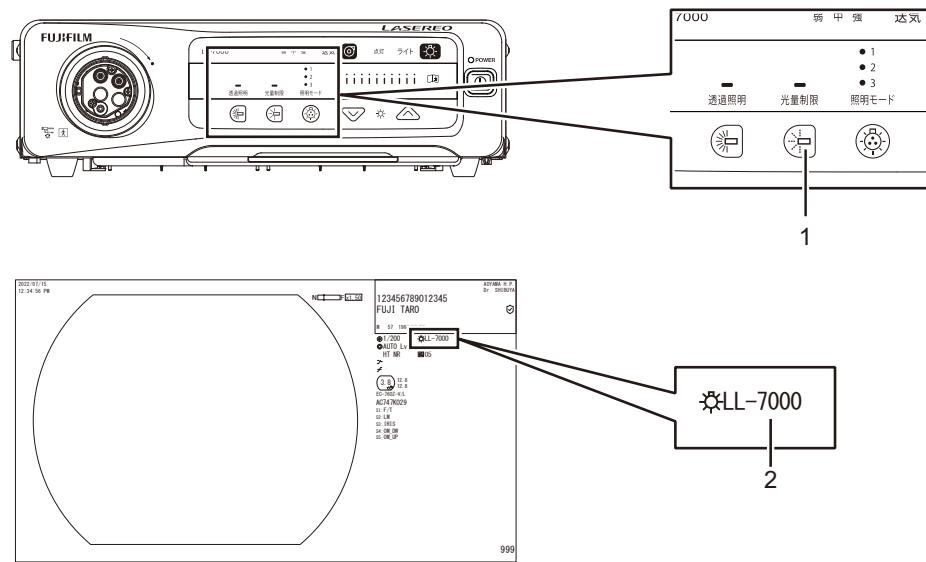
観察画面の光源装置名称が緑に表示されることを確認します。

再度、光量制限ボタンを押して、ボタン上側の表示灯が消灯し、ライトの光量が元に戻ることを確認します。

<本製品の場合>



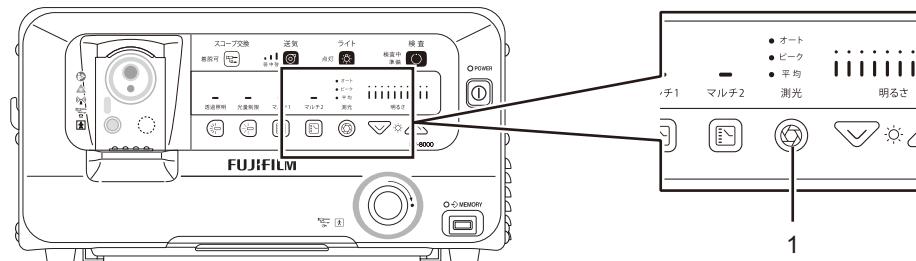
< LL-7000 の場合>



1	光量制限ボタン
2	光源装置

- (8) 測光モードボタンを押して、内視鏡画像が、「平均」、「ピーク」、「オート」に切り替わることを確認します。

→「5.3.7 測光モード設定」



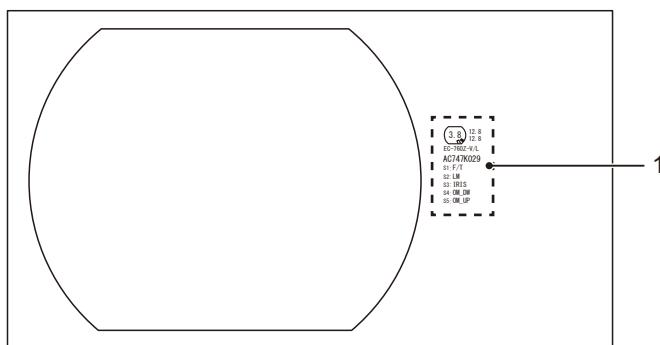
1 測光モードボタン

6.11 スコープスイッチ、フットスイッチ、マルチボタンの動作確認

- (1) スコープスイッチの割り当てを観察画面のスイッチ設定で確認をし、各スイッチを押して正しく機能が割り当てられているか確認します。

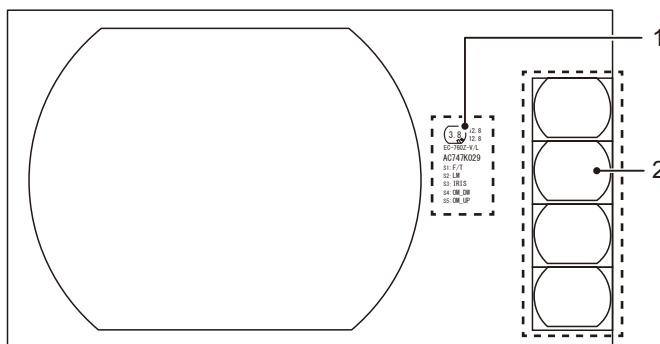
フリーズ、トリガー、シングルトリガー、レコードが設定されているスイッチを押し、内視鏡画像が静止し、画像が取り込まれることを確認します。

➔「4.2.9 スコープタブ」



1	スイッチ設定
---	--------

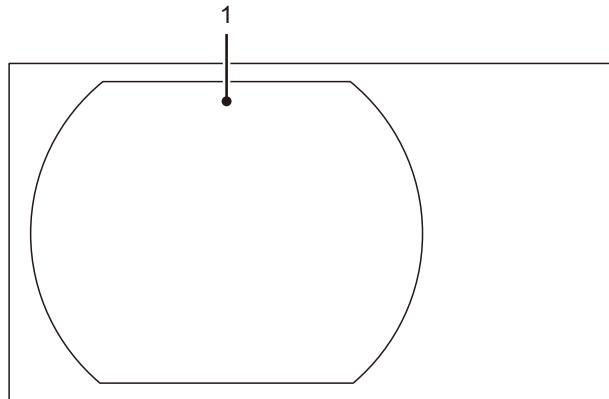
- (2) 取り込まれた画像が、インデックス画像として表示されることを確認します。



1	スイッチ設定
2	インデックス表示

- (3) フットスイッチが接続され、どちらかのボタンにフリーズが設定されている場合は、そのボタンを踏んで内視鏡画像が静止する事を確認します。
それ以外の場合は、ボタンを踏んで正しく機能が割り当てられているか確認します。

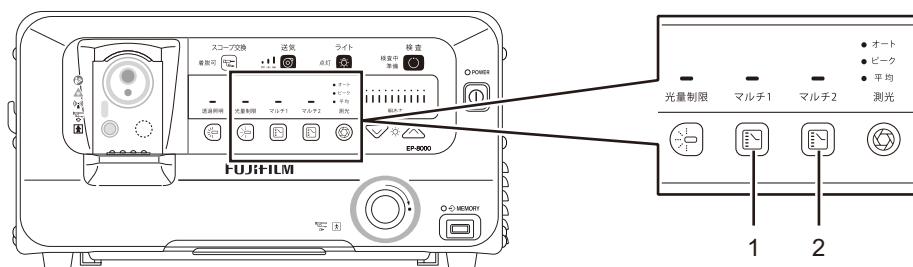
→「4.2.10 フットスイッチタブ」



1	内視鏡画像
---	-------

- (4) 本製品のマルチ1ボタン、マルチ2ボタンを押して、正しく機能が割り当てられているか確認します。

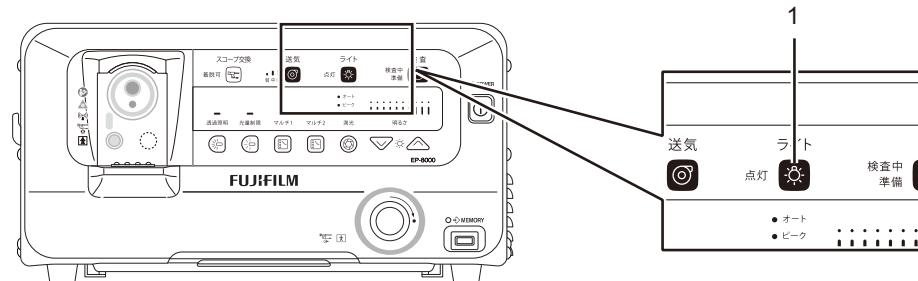
→「4.2.4 切替タブ」



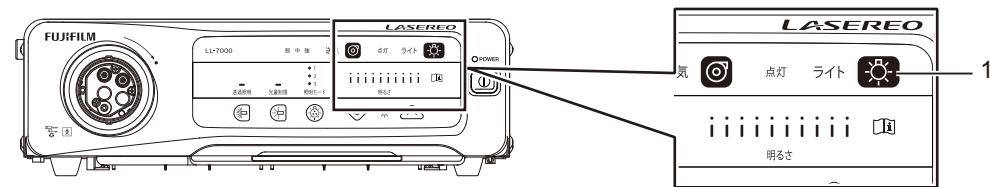
1	マルチ1ボタン
2	マルチ2ボタン

(5) ライトボタンを押して、ライトを消します。

<本製品の場合>



< LL-7000 の場合>



1 ライトボタン

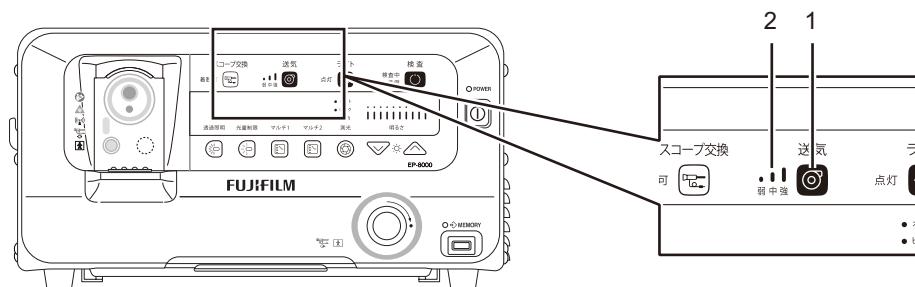
6.12 送気機能の動作確認

参考

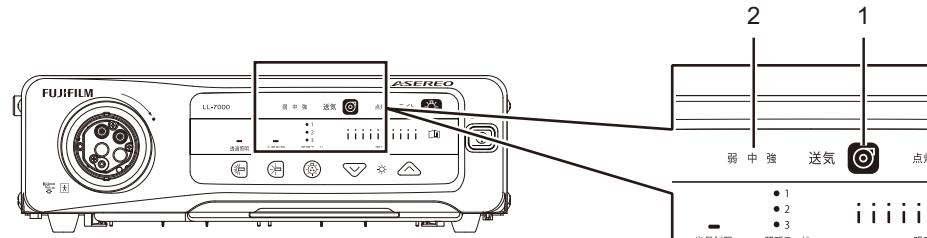
- 内視鏡の送気送水ボタンの中央の穴を指で塞いだ状態で、本製品またはLL-7000の送気ボタンを押すと、送気ポンプの作動に時間がかかる場合があります。

- (1) 送気ボタンを押して、送気ポンプの作動が「強」→「中」→「弱」→「切」→「強」の順に切り替わることを確認します。

<本製品の場合>



< LL-7000 の場合>



1 送気ボタン

参考

- 本製品の場合、以下のように点灯します。
「強」、「中」、「弱」：緑色に点灯
「切」：オレンジ色に点灯

2 送気表示灯

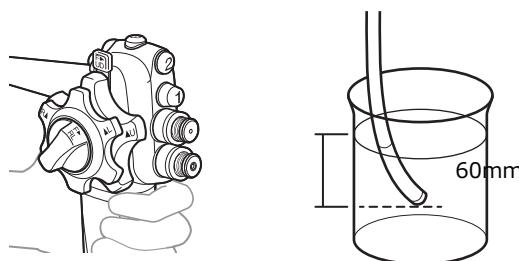
- (2) 送気ボタンを押して、送気ポンプの作動を「強」に設定します。

- (3) 清菌水を入れた容器を用意します。

- (4) 内視鏡の先端部を深さ約 60mm のところに沈め、送気送水ノズルから気泡が出ないことを確認します。

参考

- 内視鏡の先端部を沈める深さが60mmよりも浅いと、送気送水ボタンの穴をふさがなくても送気送水ノズルから気泡が出ることがあります。故障ではありません。
- 内視鏡の先端部を60mm以上沈め、送気送水ボタンの穴をふさがない状態で送気送水ノズルから気泡が出続ける場合は、送気送水ボタンを取り付けなおすか、リプロセス済みの予備の送気送水ボタンと交換してください。



- (5) 送気送水ボタンの中央の穴を指で塞ぎ、送気送水ノズルから空気が出ることを確認します。また、その指を穴から離したときに送気送水ノズルから空気が出でていないことを確認します。

参考

- 内視鏡用炭酸ガス送気装置用の送ガス送水ボタンを使用する場合は、操作方法が異なります。詳しくは内視鏡用炭酸ガス送気装置の取扱説明書を参照してください。



- (6) 内視鏡の先端部を水から容器の真上に取り出し、送気送水ボタンを押し込み、送気送水ノズルから滅菌水が出ることを確認します。

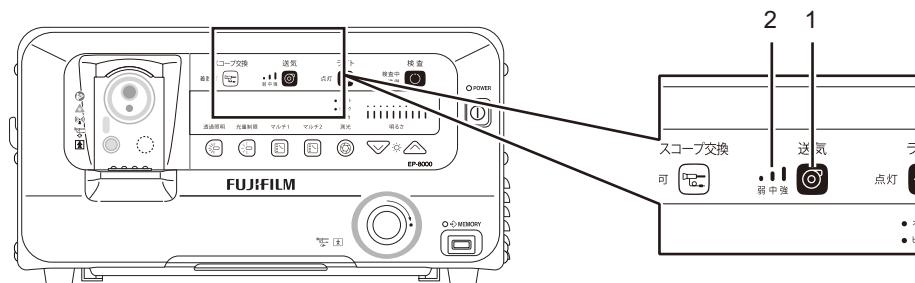
参考

- 送気送水ノズルから出た滅菌水が関連機器にかかるないように、先端部の向きに注意してください。

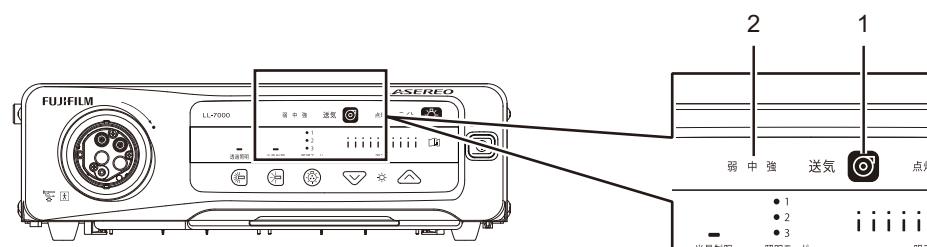
- (7) 送気送水ボタンから指を離し、送水が止まることを確認します。また、そのときにボタンが自然に元の位置に戻ることを確認します。

(8) 送気ボタンを押して、送気ポンプの作動を「切」に設定します。

<本製品の場合>



< LL-7000 の場合>



1 送気ボタン

参考

- ・本製品の場合、以下のように点灯します。
「強」、「中」、「弱」：緑色に点灯
「切」：オレンジ色に点灯

2 送気表示灯

6.12.1 内視鏡用炭酸ガス送気装置の動作確認

本製品と内視鏡用炭酸ガス送気装置を接続して使用する場合、内視鏡用炭酸ガス送気装置からCO₂が供給されている状態で本製品の送気を開始すると、内視鏡用炭酸ガス送気装置からのCO₂の供給を自動的に停止させることができます。

また、本製品が送気中の状態で内視鏡用炭酸ガス送気装置のCO₂の供給を開始すると本製品からの送気を自動的に停止させることができます。

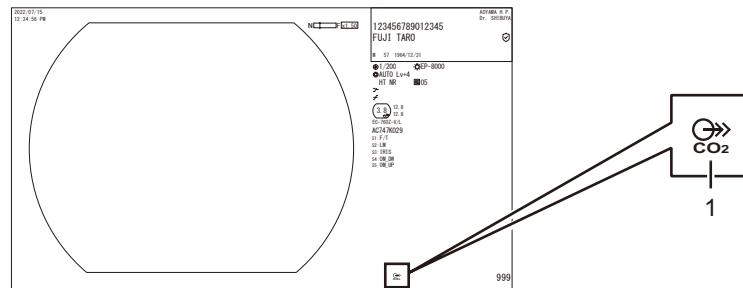
検査終了後、内視鏡用炭酸ガス送気装置からのCO₂の供給を自動的に停止させるよう設定することができます。設定はサービスマンが行います。

参考

- LL-7000と内視鏡用炭酸ガス送気装置を使用する場合、LL-7000の送気ボタンを押して、送気量を「切」に設定します。

(1) 内視鏡用炭酸ガス送気装置の取扱説明書に従って点検します。

(2) 観察画面にて、内視鏡用炭酸ガス送気装置の状態を確認します。



内視鏡用炭酸ガス送気装置

参考

- 内視鏡用炭酸ガス送気装置の動作状態を以下のように示します。

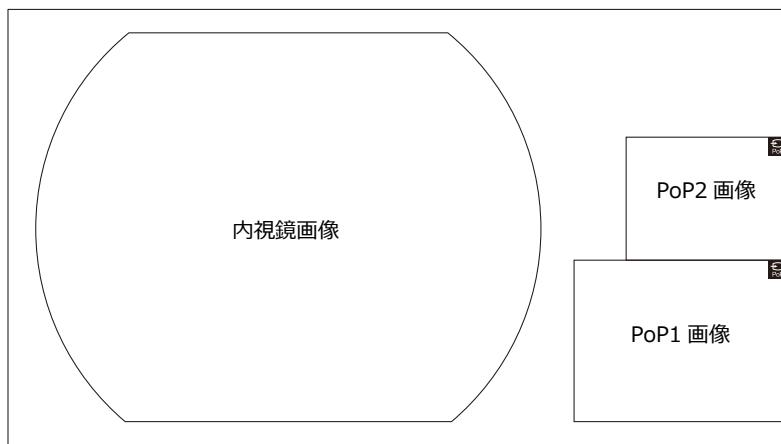
1

- 通信不可 :
- CO₂ OFF :
- CO₂ ON (Low) :
- CO₂ ON (Normal) :

6.13 PoP 機能の動作確認

◆ メイン画面エリアに内視鏡画像を表示する場合

- (1) データキーボードの [PoP1] キーまたは [PoP2] キー、または本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押します。観察画面に、周辺機器画像が表示されることを確認します。

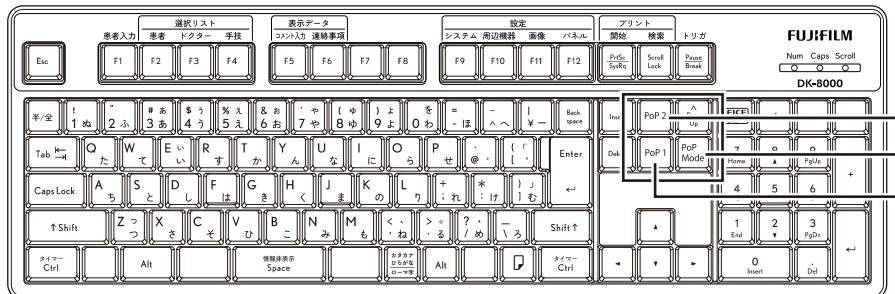


- (2) データキーボードの [PoP Mode] キー、または PoP Mode を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP Mode を割り当てたスコープスイッチを押します。キー、ボタンを押すたびに表示エリアが変更されることを確認します。

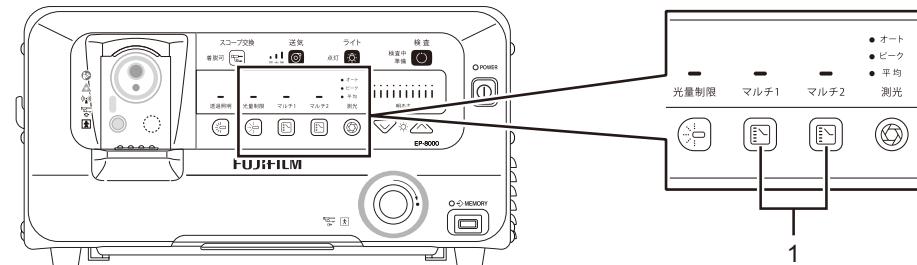
→「3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）」

- (3) データキーボードの [PoP1] キーまたは [PoP2] キー、または PoP1 または PoP2 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押します。

観察画面の周辺機器画像の表示が解除されることを確認します。



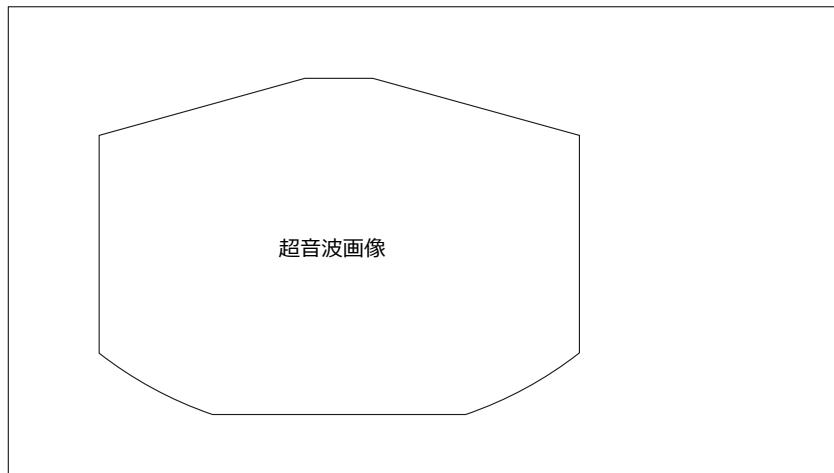
1	[PoP1] キー
2	[PoP2] キー
3	[PoP Mode] キー



1	マルチ 1 ボタン / マルチ 2 ボタン
---	-----------------------

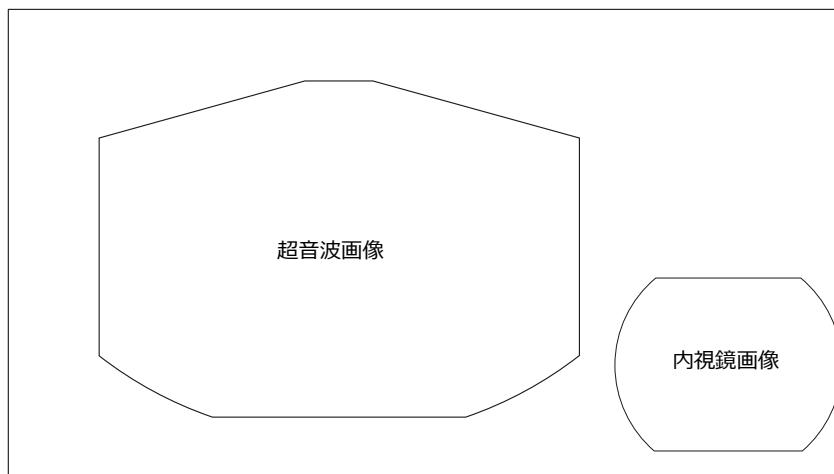
◆ メイン画面エリアに超音波画像を表示する場合

- (1) データキーボードの [PoP1] キー、または PoP1 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 を割り当てたスコープスイッチを押します。
メイン画面エリアに超音波画像が表示されることを確認します。

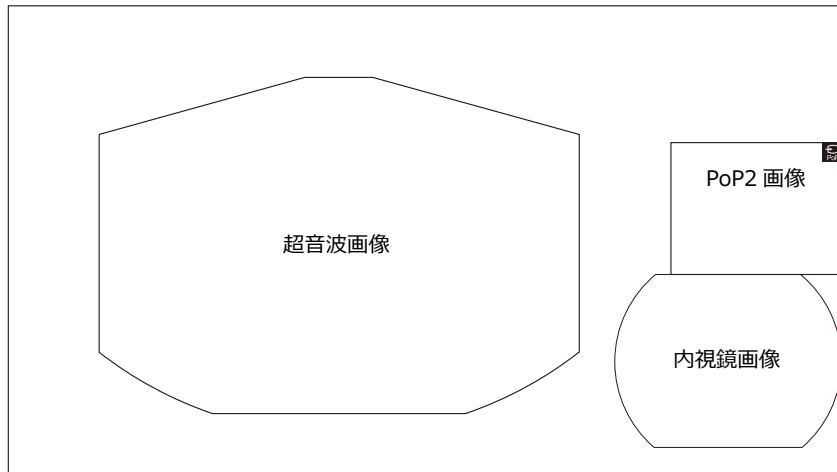


参考

- 「US 表示」の設定により、内視鏡画像がサブ画面エリア 1 に表示される場合があります。



- (2) データキーボードの [PoP2] キー、または PoP2 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押します。
観察画面に、周辺機器画像が表示されることを確認します。

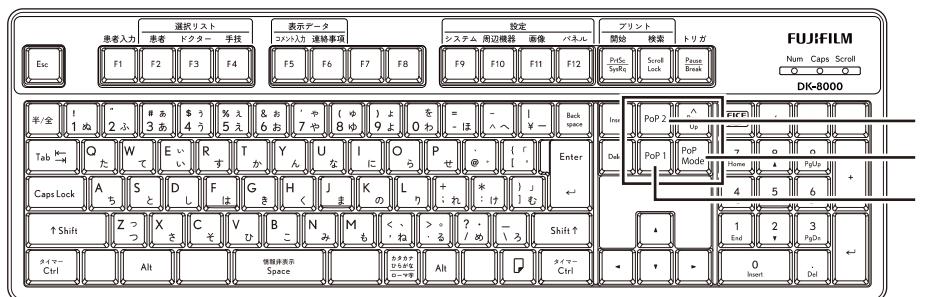


- (3) データキーボードの [PoP1] キー、または PoP1 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 を割り当てたスコープスイッチを押します。
キー、ボタンを押すたびに「US 表示」で設定した画面に変更されることを確認します。
- ➔ 「3.8.5 PoP (周辺機器画像の表示)」
 - ➔ 「5.5.2 PoP (周辺機器画像の表示) 機能の設定」
- (4) メイン画面エリアに内視鏡画像が表示されている時に、データキーボードの [PoP Mode] キー、または PoP Mode を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP Mode を割り当てたスコープスイッチを押します。
キー、ボタンを押すたびに表示エリアが変更されることを確認します。

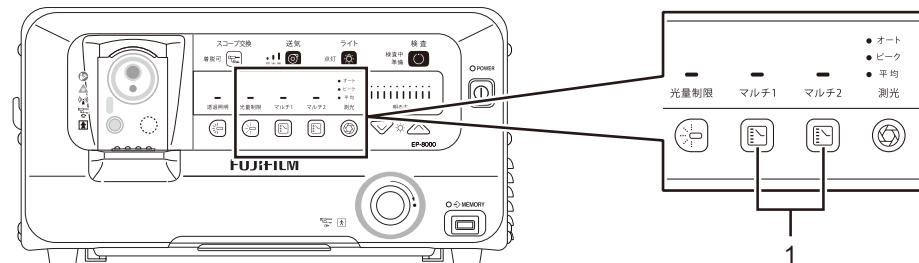
参考

- メイン画面エリアに超音波画像が表示されている場合は、表示エリアは変更されません。
- ➔ 「3.8.5 PoP (周辺機器画像の表示)」

- (5) データキーボードの [PoP2] キー、または PoP2 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押します。
観察画面の周辺機器画像の表示が解除されることを確認します。



1	[PoP1] キー
2	[PoP2] キー
3	[PoP Mode] キー



1	マルチ 1 ボタン / マルチ 2 ボタン
---	-----------------------

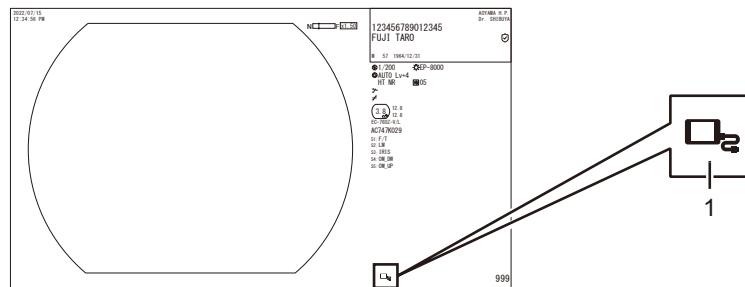
6.14 タブレットの動作確認

本製品にタブレットを接続すると、タブレットのタッチパネルに表示されるボタンを用いて本製品を制御することができます。

注 意

- タブレットのボタンを操作しても本製品が意図したとおりに動作しない場合は、本製品の前面パネルの操作ボタン、データキーボード、スコープスイッチで操作してください。タブレットから操作し続けると、検査時間が延長するおそれがあります。

- (1) タブレットの省電力モードが解除されていることを確認します。
- (2) 本製品の検査画面の右下に、タブレットが接続されていることを示すアイコンが表示されていることを確認します。



タブレット

参考

- タブレットとの接続状態を表示します。

1

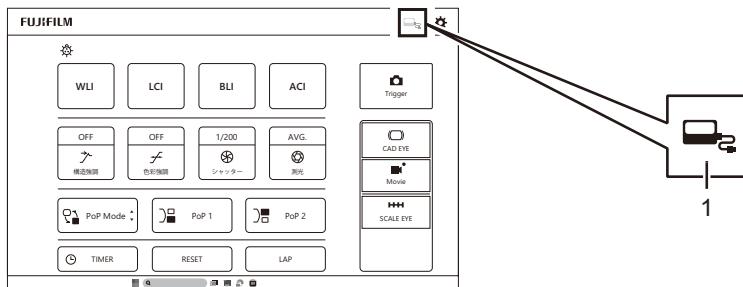
接続準備中 :

接続待機中 :

接続状態 :

操作禁止状態 :

- (3) タブレットの画面の右上に、本製品と接続されていることを示すアイコンが表示されていることを確認します。



接続状態

参考

- 1 接続状態を表示します。

接続待機中 :

接続状態 :

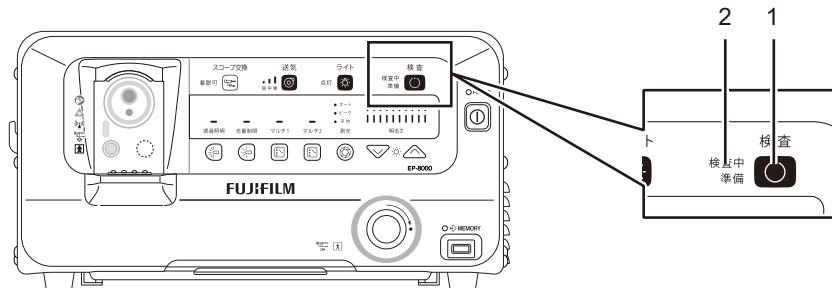
- (4) 本製品の設定がタブレットに正しく反映されていること、タブレットのボタンをタップすると本製品が意図したとおりに動作すること、を確認します。

6.15 装置の電源切斷

点検後に、すぐに使用しない場合は電源を切斷します。

- (1) 本製品の検査ボタンを約2秒間押し続けます。

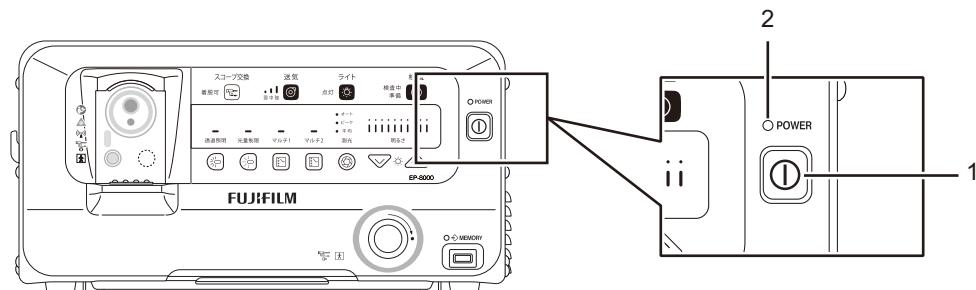
検査ボタンおよび検査表示灯の「準備」がオレンジ色に点滅したのち、点灯します。
ライトが消灯したことを確認します。



1	検査ボタン
2	検査表示灯

- (2) 本製品の電源ボタンを押して電源を切ります。

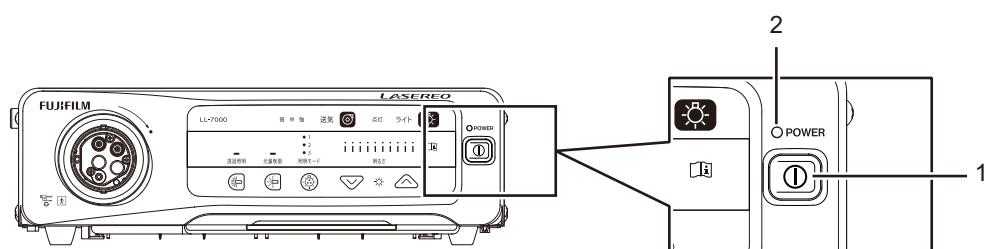
電源表示灯が消灯します。



1	電源ボタン
2	電源表示灯

- (3) LL-7000 を使用している場合、LL-7000 の電源ボタンを押して、電源を切ります。

電源表示灯が消灯します。



1	電源ボタン
2	電源表示灯

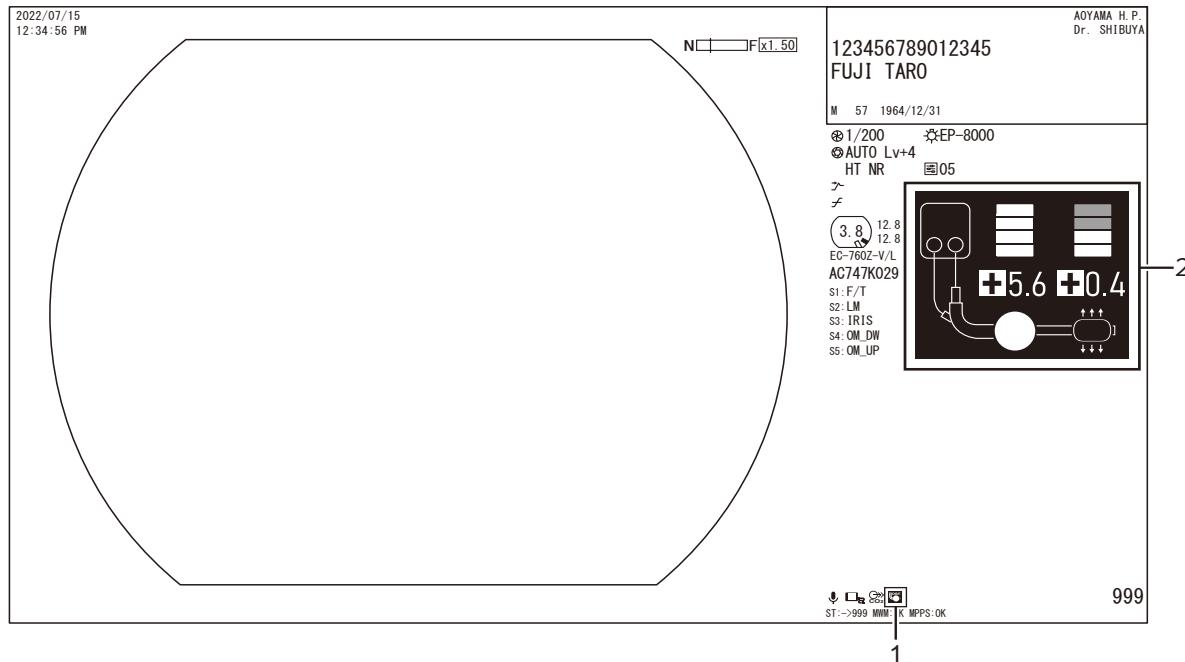
(4) カート、周辺機器の電源を切ります。

参考

- カート、周辺機器の取扱説明書を参照してください。

6.16 バルーンコントローラーの動作確認

- (1) バルーンコントローラーの取扱説明書に従って点検します。
- (2) 観察画面にて、バルーンコントローラーの状態を確認します。



1 バルーンコントローラー

参考

- バルーンコントローラーとの接続状態を表示します。

接続中 :

未接続 :

2 バルーンコントローラー情報

参考

- バルーンコントローラー情報を表示します。

→ 「3.9.6 バルーンコントローラー情報の表示」

第 7 章 使用方法

この章では、本製品を操作するときの注意事項と基本的な操作方法を記載しています。

内視鏡、関連機器の使用方法は、内視鏡、関連機器の「添付文書」や「取扱説明書」に従ってください。

7.1 使用する際の作業フロー

本製品を使用する際の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

1 使用前の点検をする。

→「システムの準備と点検」

参考



- スコープスイッチ設定、PoP 設定などシステムの設定変更は、「4.2.9 スコープタブ」「5.5.2 PoP（周辺機器画像の表示）機能の設定」を参照。

2 内視鏡を接続する



→「7.2 内視鏡の接続」

3 • 電源を入れて検査をする

→「7.3 装置の電源投入」

→「7.4 本製品の電源投入」



- 電源投入後に内視鏡を接続して検査をする

→「7.2 内視鏡の接続」

→「7.5 検査開始」

4 セキュリティの設定をする



→「7.6 セキュリティの設定」

5 ユーザー設定を呼び出す

→「7.7 ドクターの選択」

→「7.8 画像設定ページの呼び出し」



→「7.9 手技リストの選択」

→「7.10 コメント登録」

→「7.11 連絡事項リストの確認」

6 患者データを入力する



→「7.12 患者情報の呼び出し」

7 ライトを点灯する



→「7.13 ライトの点灯」

8 照明光の明るさを調整する

→「7.14 光量の調整」



→「7.15 光量制限」

→「7.16 透過照明」

9 送気量を切り替える

→「7.17 送気ポンプの作動」

10 モニター上の情報表示を確認する

→「7.18 観察画面のデータ表示の確認」

11 • 内視鏡画像を確認する

→「7.19 観察モードの切り替え」

→「7.20 構造強調の切り替え」

→「7.21 FICE の切り替え」

→「7.22 色彩強調の切り替え」

→「7.23 カラー調整の設定」

→「7.24 シャッタースピードの切り替え」

→「7.25 測光モードの切り替え」

→「7.26 電子ズームの操作」



→「7.27 タイマーのスタート / ストップ」

→「7.28 ラップタイムのスタート / ストップ」

→「7.29 汎用コンピュータに搭載したソフトウェアの使用」

→「7.34 バルーンコントローラーの作動」

• 周辺機器の画像を同時に観察する

→「7.30 PoP（周辺機器画像の表示）の切り替え」

• 観察画像を記録する

→「第8章 画像の記録」

12 内視鏡を交換する

→「7.31 内視鏡の交換」

13 検査を終了する

→「7.32 検査終了」

→「7.33 装置の電源遮断」

参考

- 環境負荷を低減するため、待機中は検査ボタンで検査を終了してください。

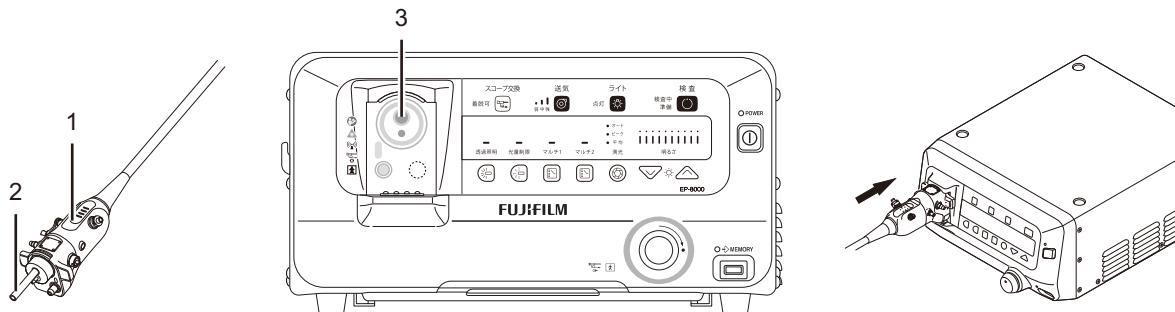
7.2 内視鏡の接続

注 意

- 電気コネクターソケットにL600システムスコープまたはL580シリーズスコープ、600システムスコープ、580シリーズスコープ、530シリーズスコープを挿入した状態で、800システムスコープまたは700システムスコープをスコープコネクタに装着しないでください。
- 電源投入後、画面左上に表示される起動バー■■■■■が表示された状態では、内視鏡を装着しないでください。

◆ 800システムスコープおよび700システムスコープ

- (1) 内視鏡のスコープコネクターのライトガイド棒を本製品のスコープコネクターソケットに、まっすぐ止まるまで差し込みます。



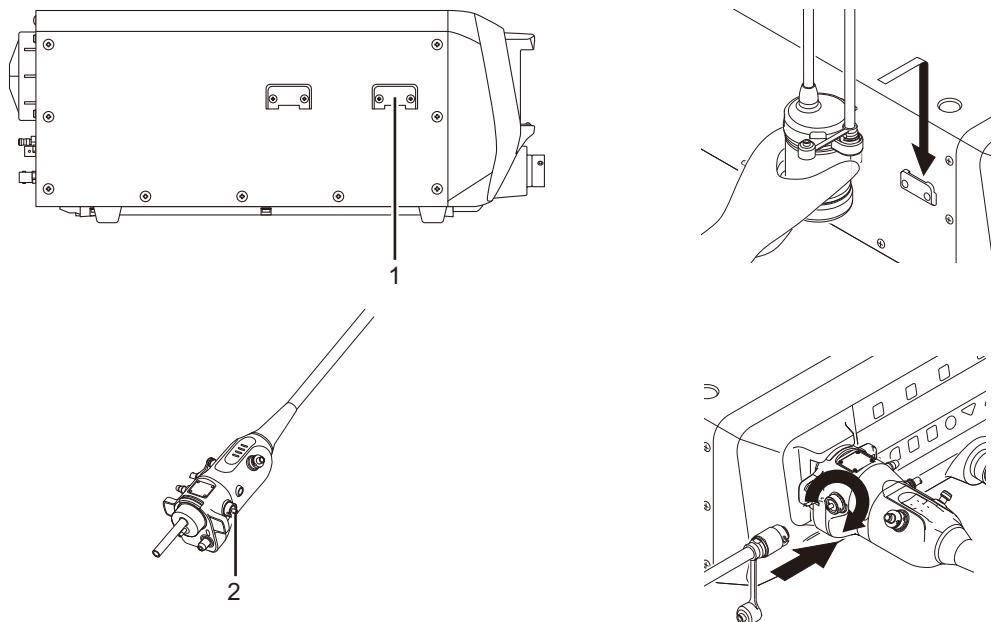
1	スコープコネクター
2	ライトガイド棒
3	スコープコネクターソケット

- (2) 8分目位まで滅菌水を入れた送水タンクを本製品の左側面の送水タンクフックに掛けます。

(3) 送水タンクのコネクターを内視鏡の送水コネクターに接続します。

参考

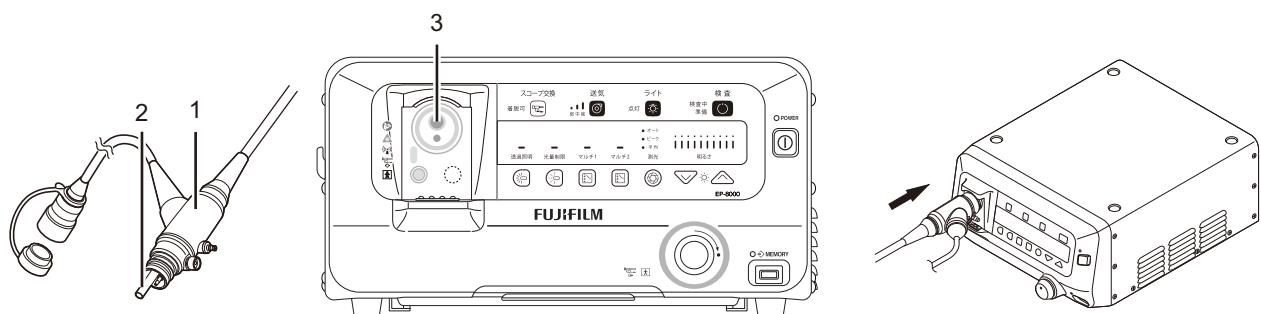
- 送水タンクをカートの指定の位置に取り付ける場合、カートの取扱説明書を参照してください。



1	送水タンクフック
2	送水コネクター

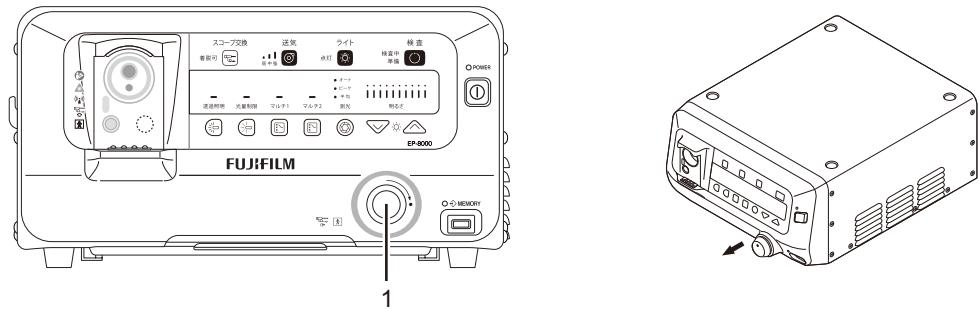
◆ 600システムスコープおよび500システムスコープ

(1) 内視鏡のLGコネクターを本製品のスコープコネクターソケットに、まっすぐ止まるまで差し込みます。



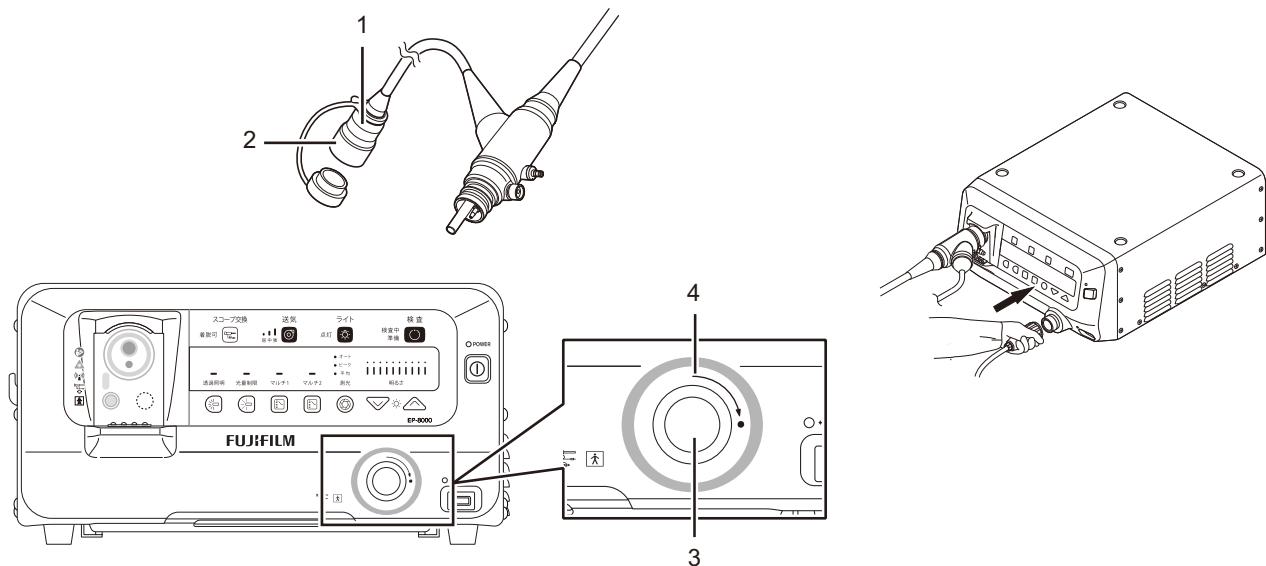
1	LGコネクター
2	LGコネクターのライトガイド棒
3	スコープコネクターソケット

(2) 本製品の電気コネクターソケットのソケット保護キャップを外します。



1 電気コネクターソケット

(3) 内視鏡のビデオコネクターを本製品の電気コネクターソケットに差し込みます。ビデオコネクターと電気コネクターソケットの指標に合わせて、ビデオコネクターを少し押しながら、ロックハンドルを時計回りに 90° しっかりと回転させて固定します。



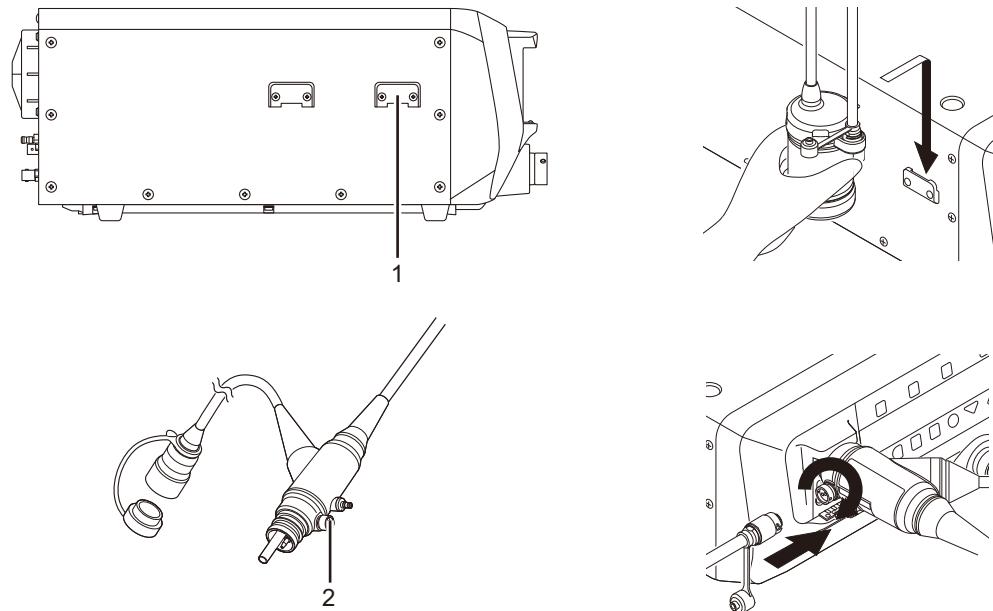
1	ビデオコネクター
2	ロックハンドル
3	電気コネクターソケット
4	電気コネクターソケットの指標

(4) 8分目位まで滅菌水を入れた送水タンクを本製品の左側面の送水タンクフックに掛けます。

(5) 送水タンクのコネクターを内視鏡の送水コネクターに接続します。

参考

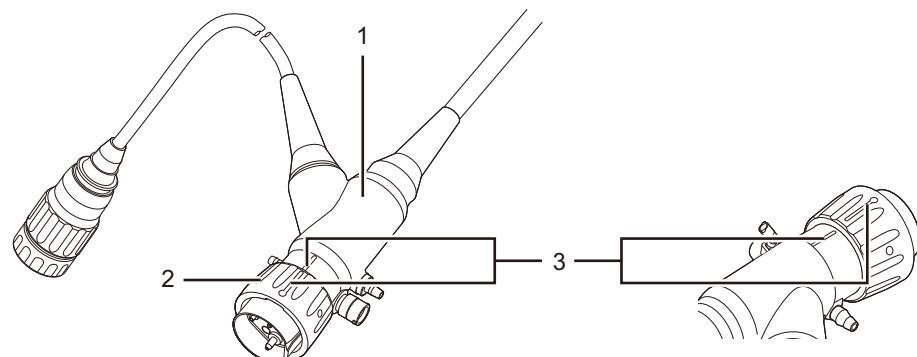
- 送水タンクをカートの指定の位置に取り付ける場合、カートの取扱説明書を参照してください。



1	送水タンクフック
2	送水コネクター

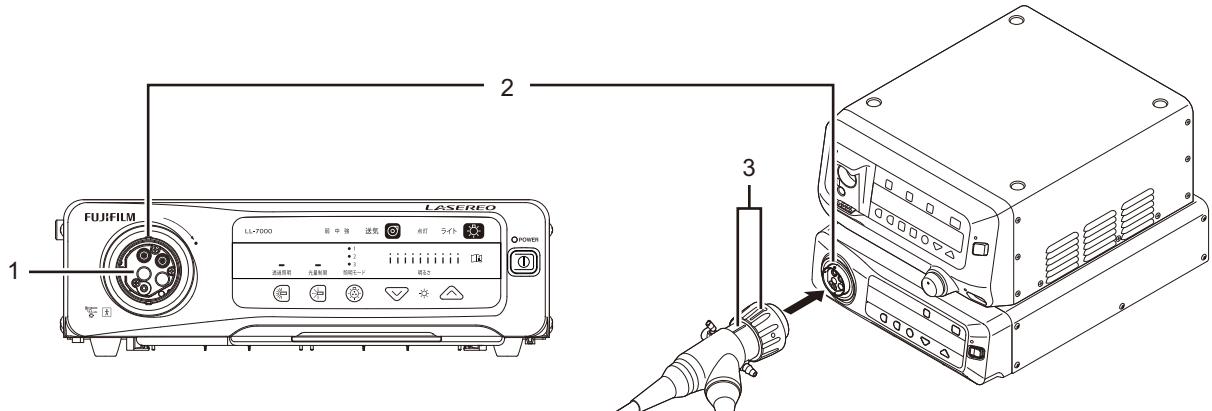
◆ L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープ

- (1) 内視鏡の LG コネクターのロックハンドルを反時計回りに回し、LG コネクターの指標を合わせます。**



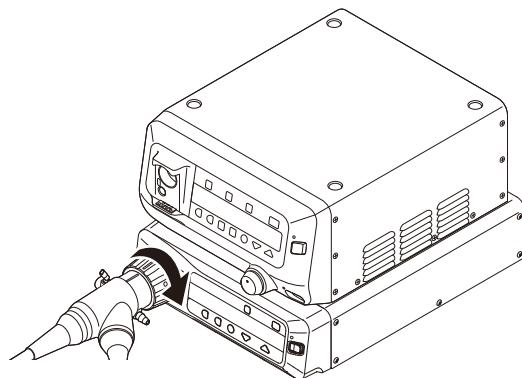
1	LG コネクター
2	ロックハンドル
3	LG コネクターの指標

- (2) 内視鏡のLGコネクターを両手で持ち、LGコネクターの指標とLL-7000のスコープコネクタソケットの指標を合わせて、まっすぐ止まるまで差し込みます。

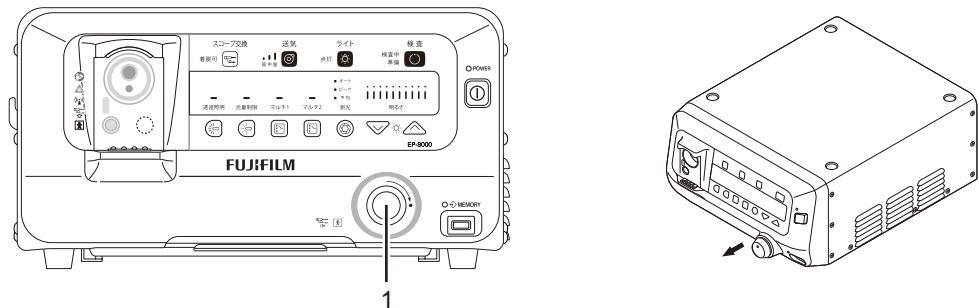


1	スコープコネクタソケット
2	スコープコネクタソケットの指標
3	LGコネクターの指標

- (3) 内視鏡のLGコネクターのロックハンドルを時計回りに止まるまで回し、LL-7000に固定します。

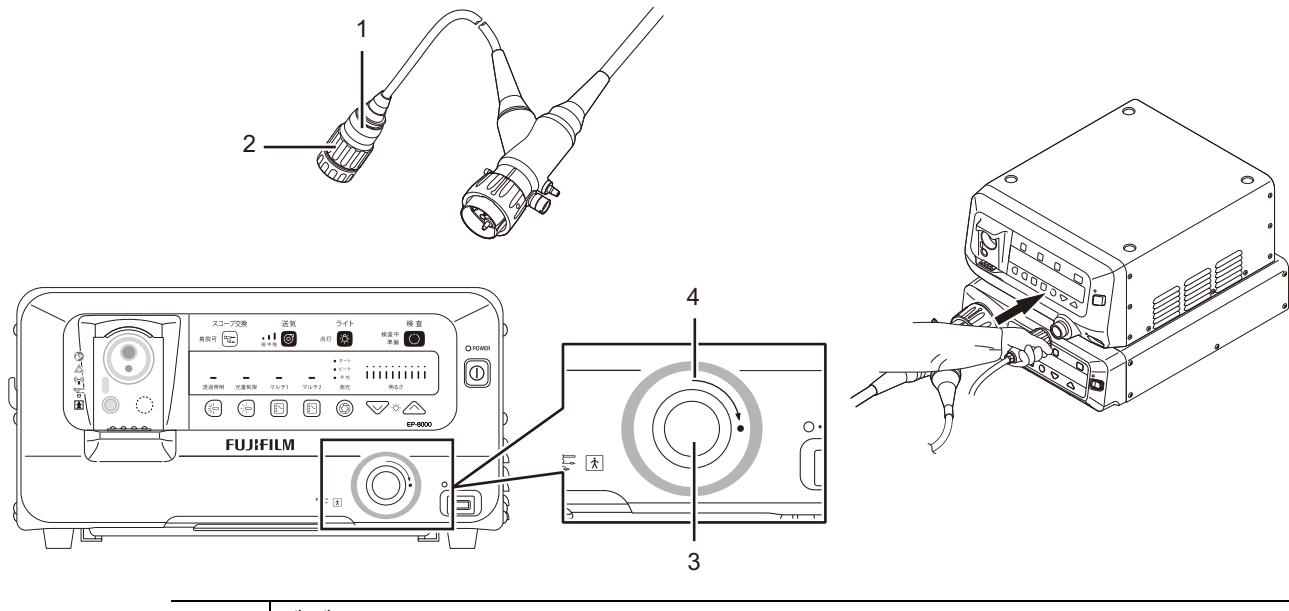


- (4) 本製品の電気コネクターソケットのソケット保護キャップを外します。



1	電気コネクターソケット
---	-------------

- (5) 内視鏡のビデオコネクターを本製品の電気コネクターソケットに差し込みます。ビデオコネクターと電気コネクターソケットの指標に合わせて、ビデオコネクターを少し押しながら、ロックハンドルを時計回りに 90° しっかりと回転させて固定します。



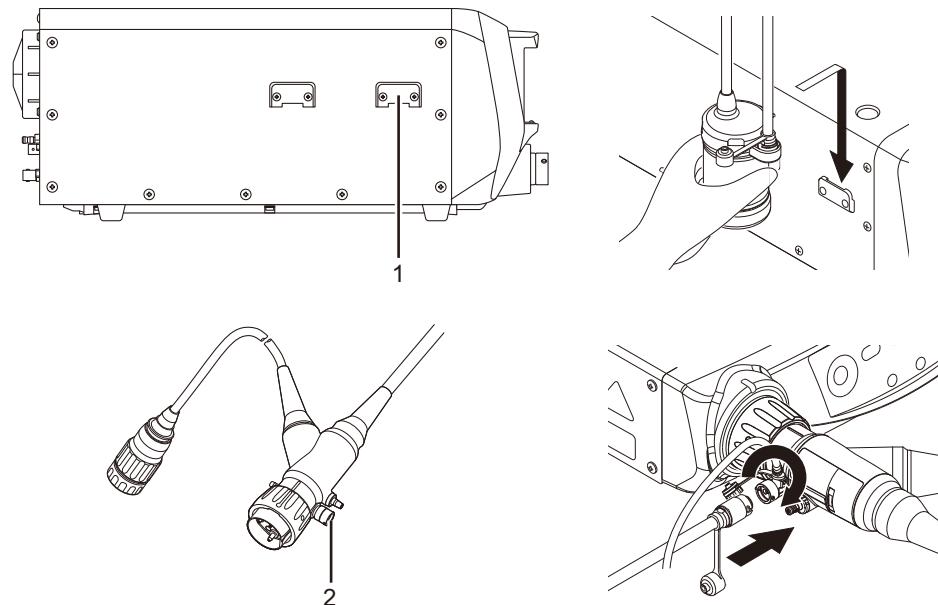
1	ビデオコネクター
2	ロックハンドル
3	電気コネクターソケット
4	電気コネクターソケットの指標

- (6) 8分目位まで滅菌水を入れた送水タンクを本製品の左側面の送水タンクフックに掛けます。

(7) 送水タンクのコネクターを内視鏡の送水コネクターに接続します。

参考

- 送水タンクをカートの指定の位置に取り付ける場合、カートの取扱説明書を参照してください。



1	送水タンクフック
2	送水コネクター

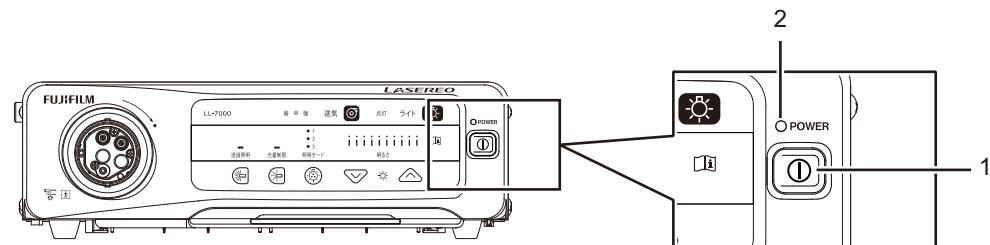
7.3 装置の電源投入

(1) カート、周辺機器の電源を入れます。

参考

- ・カート、周辺機器の取扱説明書を参照してください。

(2) LL-7000 を使用する場合、LL-7000 の電源ボタンを押して、電源を入れます。
電源表示灯が点灯します。



1	電源ボタン
2	電源表示灯

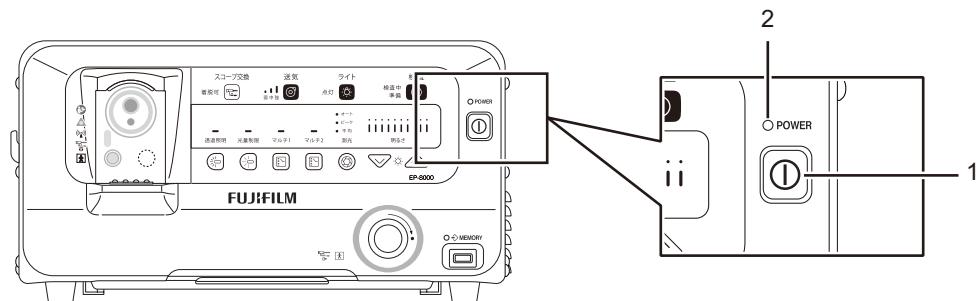
7.4 本製品の電源投入

警 告

- 本製品のスコープコネクターソケットと、内視鏡のスコープコネクターの接続部は赤外線通信をしているため、覗き込まないでください。目の障害の原因となるおそれがあります。

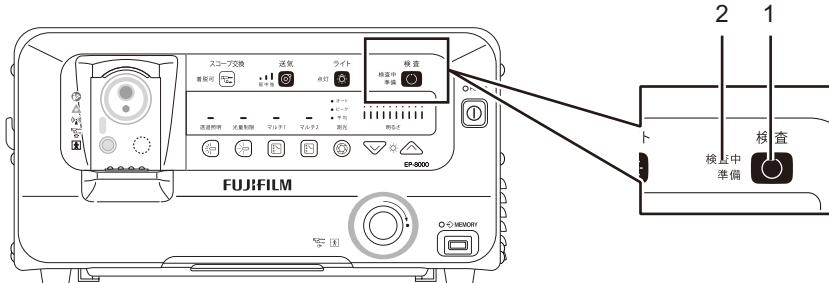
(1) 本製品の電源ボタンを押して電源を入れます。

電源表示灯が点灯します。



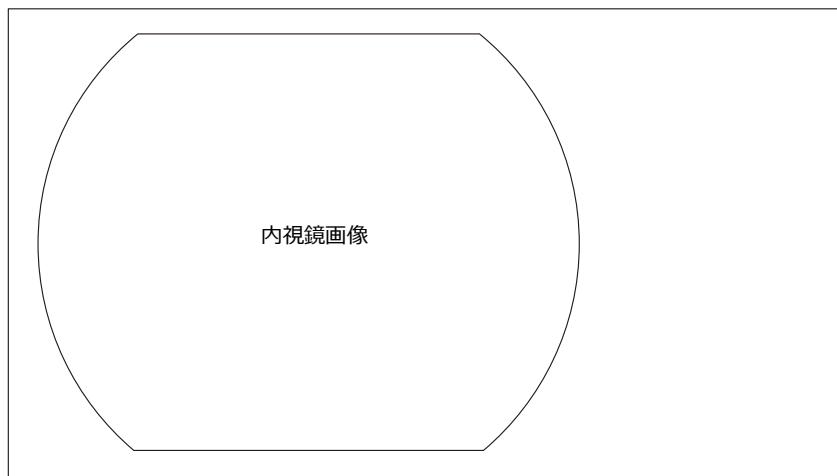
1	電源ボタン
2	電源表示灯

(2) 本製品の検査ボタンおよび検査表示灯の「検査中」が青色に点滅したのち、点灯します。



1	検査ボタン
2	検査表示灯

(3) 観察画面に内視鏡画像が表示されます。



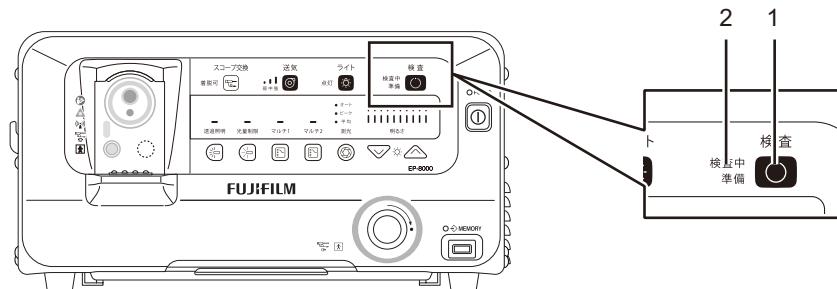
7.5 検査開始

警 告

- 本製品のスコープコネクターソケットと、内視鏡のスコープコネクターの接続部は赤外線通信をしているため、覗き込まないでください。目の障害の原因となるおそれがあります。

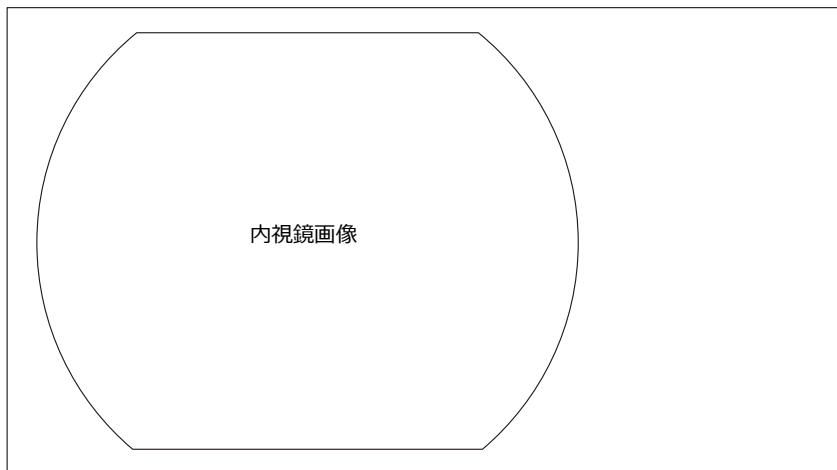
(1) 本製品の検査ボタンを押します。

(2) 本製品の検査ボタンおよび検査表示灯の「検査中」が青色に点滅したのち、点灯します。



1	検査ボタン
2	検査表示灯

(3) 観察画面に内視鏡画像が表示されます。

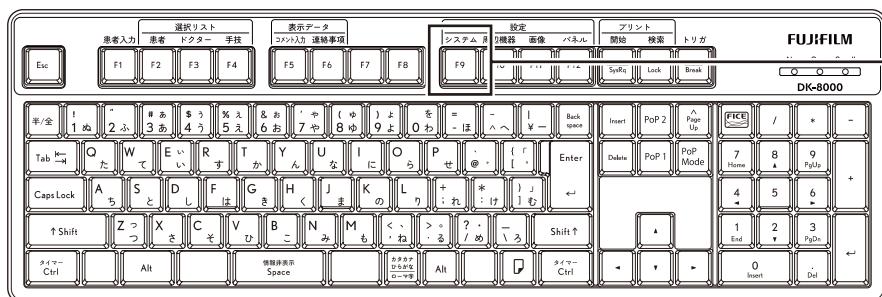


7.6 セキュリティの設定

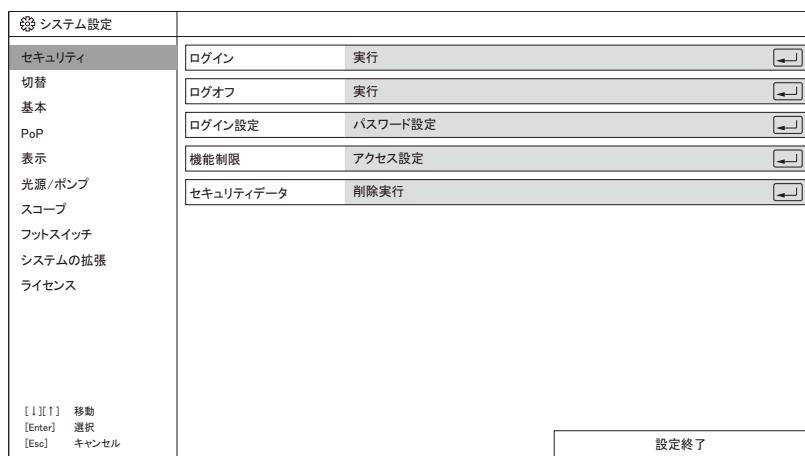
注 意

- ログインすると、電源を切るまで、すべての情報へのアクセスが可能になります。システムから離れる時には、必ずログオフするか電源を切ってください。
- パスワードを忘れてログインできなくなった場合や、設定維持、復旧方法がわからない場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

(1) データキーボードの [システム] キーを押します。システム設定の画面が表示されます。「セキュリティ」タブを選択します。



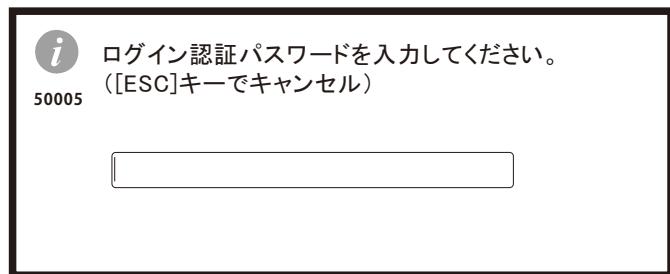
1 [システム] キー



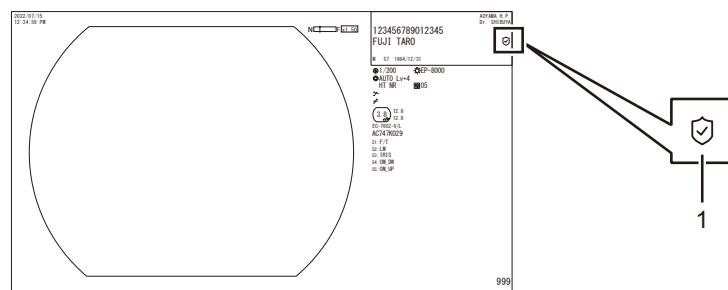
設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ログイン	実行	-	[Enter] キーを押すと、パスワードが入力できます。パスワードは、"ユーザ"と"管理者"の2種類設定できます。パスワード確認後、セキュリティ機能にログインできます。ログインするとセキュリティ機能が有効になるとともに、ユーザーパスワードまたは管理者パスワードを変更できます。

(2) 「ログイン」の「実行」を選択し、[Enter] キーを押します。

(3) “ユーザー” または、“管理者” のパスワードを入力します。



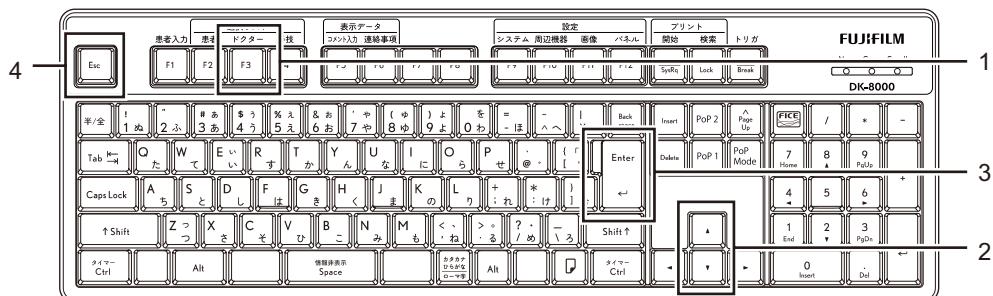
(4) ログインすると、観察画面にログイン状態を示すアイコンが表示されます。



1 ログイン

7.7 ドクターの選択

(1) [ドクター] キーを押して、ドクターリストを表示します。



1	[ドクター] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「ドクターリスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

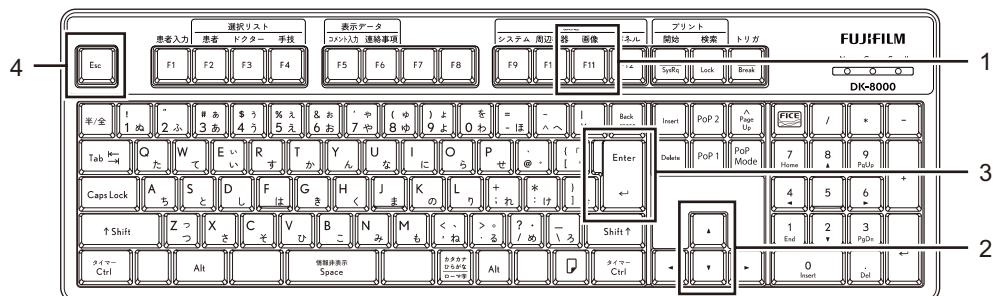


(2) [↑]、[↓] キーで登録したドクター名を選択します。

(3) [Enter] キーを押します。選択したドクターを選択して、観察画面に戻ります。

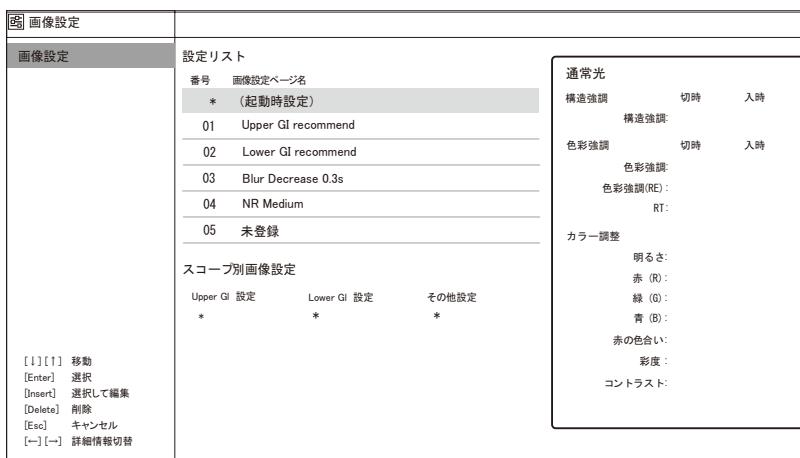
7.8 画像設定ページの呼び出し

- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。



1	[画像] キー
2	[↑]、[↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

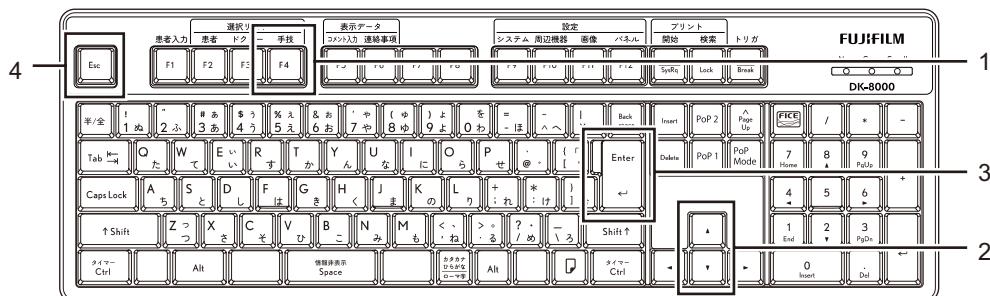
- (2) [↑]、[↓] キーで登録した画像設定ページ名を選びます。



- (3) [Enter] キーを押すと、確認メッセージが表示されます。「呼び出し」を選択し、[Enter] キーを押します。選択した設定を呼び出して、観察画面に戻ります。

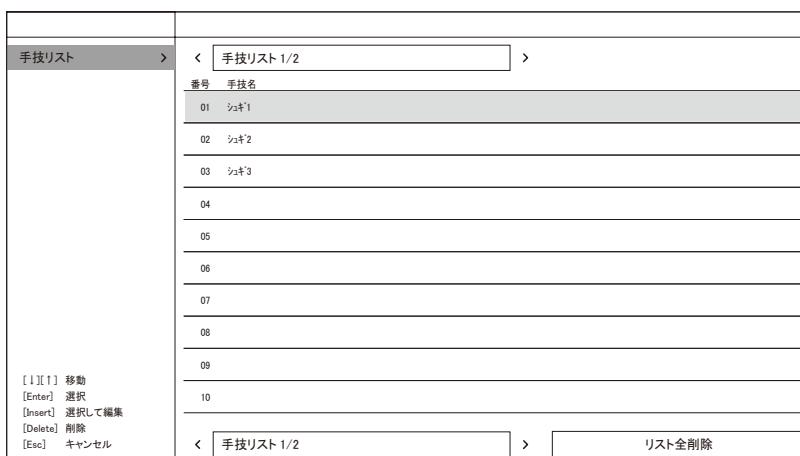
7.9 手技リストの選択

- (1) [手技] キーを押して、手技リストを表示します。



1	[手技] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「手技リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。



- (2) [↑]、[↓] キーで登録した手技名を選びます。

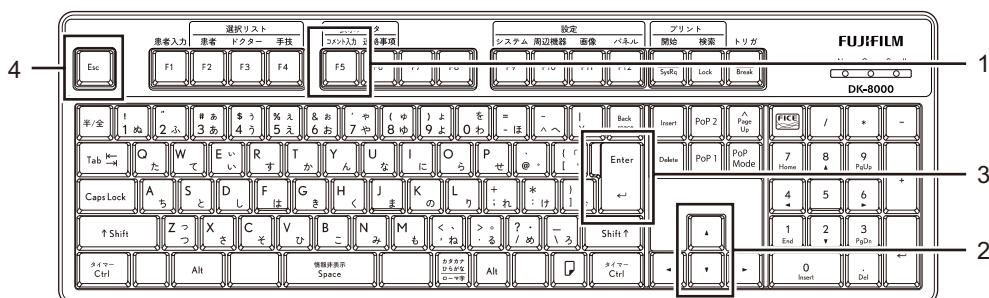
- (3) [Enter] キーを押します。選択した手技名を選択して、観察画面に戻ります。

7.10 コメント登録

観察画面上にコメントを入力することができます。

- (1) [コメント入力] キーを押します。

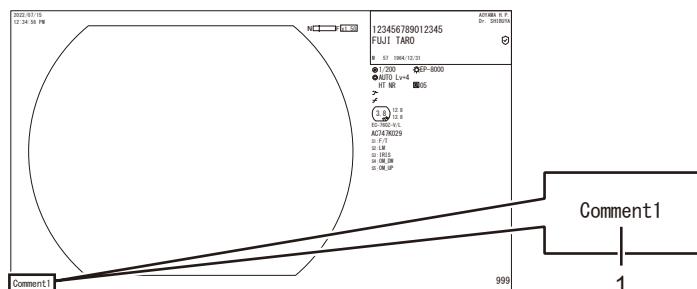
観察画面上の手技またはコメントに、文字カーソルが表示されます。



1	[acomment入力] キー
2	[↑]、[↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

- (2) コメントを入力し、[Enter] キーを押します。

コメントが確定されます。



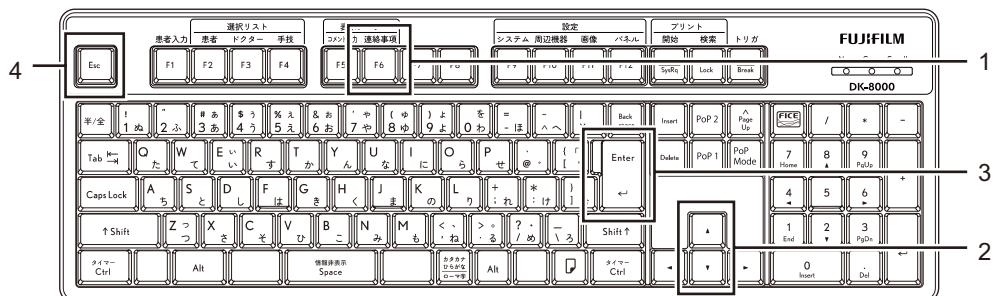
1	手技またはコメント
---	-----------

参考

- 確定前に [Esc] キーを押すと、入力がキャンセルされ、元の手技またはコメントが表示されます。

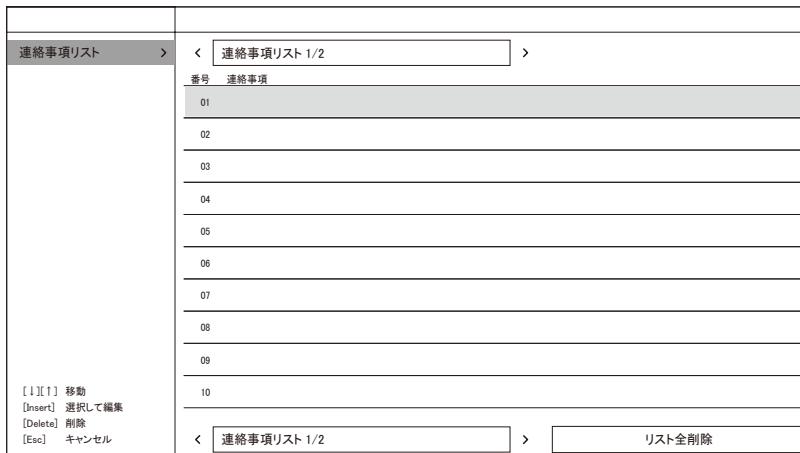
7.11 連絡事項リストの確認

(1) [連絡事項] キーを押して、連絡事項リストを表示します。



1	[連絡事項] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

リストのページを変更する場合は「連絡事項リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。



(2) [↑]、[↓] キーで登録した連絡事項を確認します。

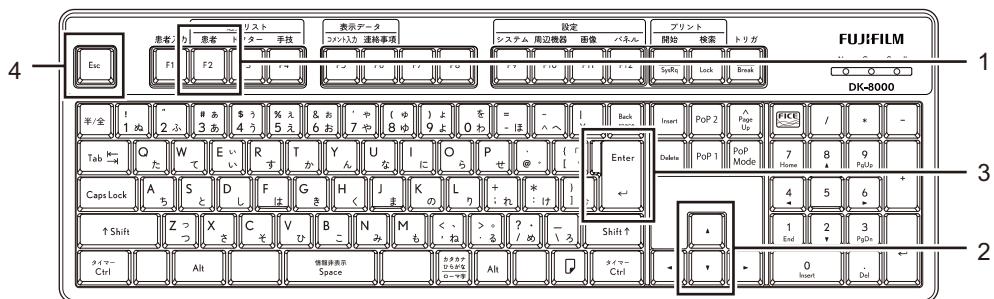
7.12 患者情報の呼び出し

警 告

- 日時や患者情報の表示に誤りが無いことを確認の上、ご使用ください。検査データの取り違えや誤診のおそれがあります。

(1) [患者] キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。



1	[患者] キー
2	[↑][↓] キー
3	[Enter] キー
4	[Esc] キー

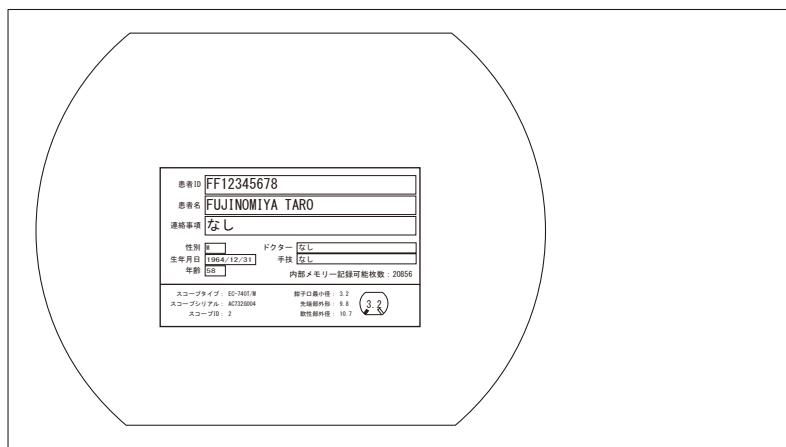
リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (~ 3/3)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

患者リスト	
< 患者リスト 1/3 > 番号 患者名 患者 ID 01 FUJINOMIYA TARO FF12345678 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15	
[↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 選択して編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル	
< 患者リスト 1/3 > リスト全削除	
検査番号: 0123456789012345 患者ID: FF12345678 患者名: FUJINOMIYA TARO 性別: M 生年月日: 1964/12/31 年齢: 58 ドクター: NISIAZABU 手技: なし 連絡事項: なし	

(2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。

[Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考

- この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーに保存されます。
- 「5.4.2 内部メモリータブ」
- 「5.4.5 転送設定タブ」

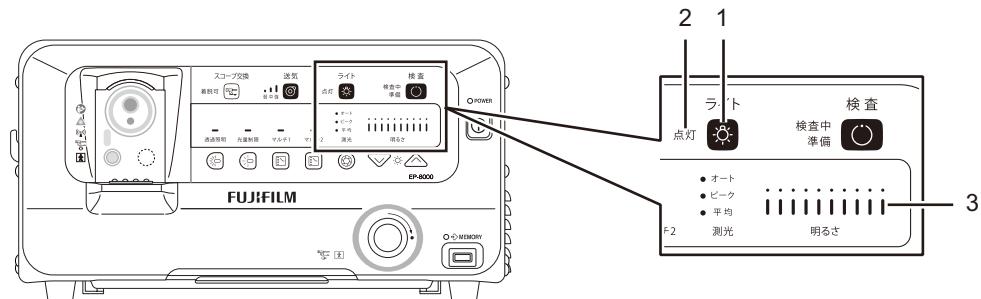
7.13 ライトの点灯

警告

- 内視鏡の先端部にあるライトガイドの光を直視しないでください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。

(1) 本製品のライトボタンを押します。

ライトボタンが青色、ライト点灯表示灯が点灯し、光源が発光します。
インジケーターが点灯します。



1	ライトボタン
2	ライト点灯表示灯
3	インジケーター

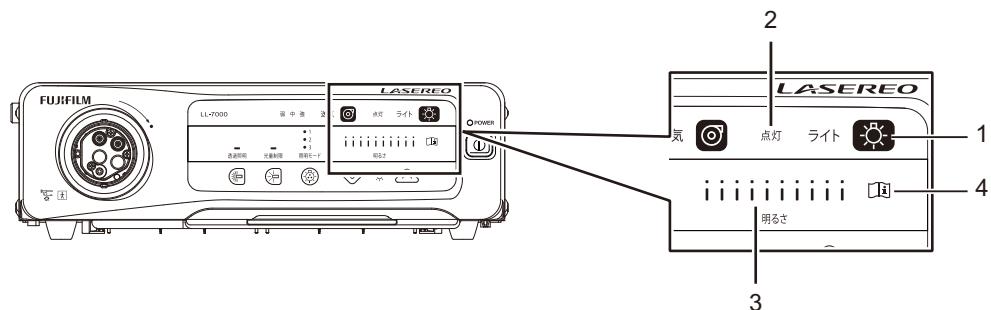
(2) LL-7000 を使用する場合、LL-7000 のライトボタンを押します。

ライトボタンが青色、ライト点灯表示灯が点灯し、光源が発光します。
インジケーターが点灯します。

参考

- 光源状態表示灯が点灯または点滅した場合は使用を中止してください。

→ LL-7000 取扱説明書「7.5 光源状態表示灯が点滅したら」



1	ライトボタン
2	ライト点灯
3	インジケーター
4	光源状態表示灯

7.14 光量の調整

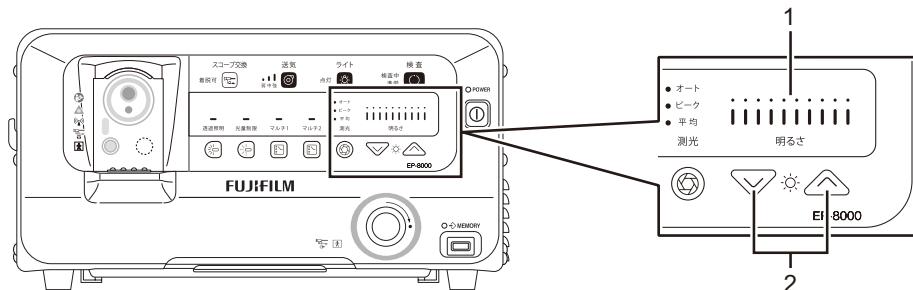
注 意

- 明るさレベルが高いと内視鏡の先端部および先端部付近の表面温度が41℃を超えることがあります。先端部を同一部位に長時間接触させないでください。熱傷するおそれがあります。

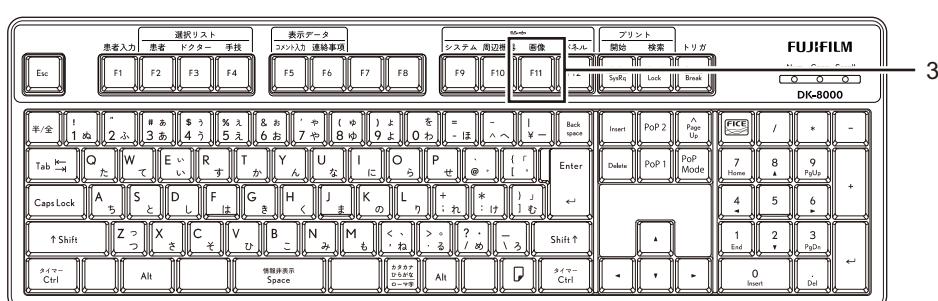
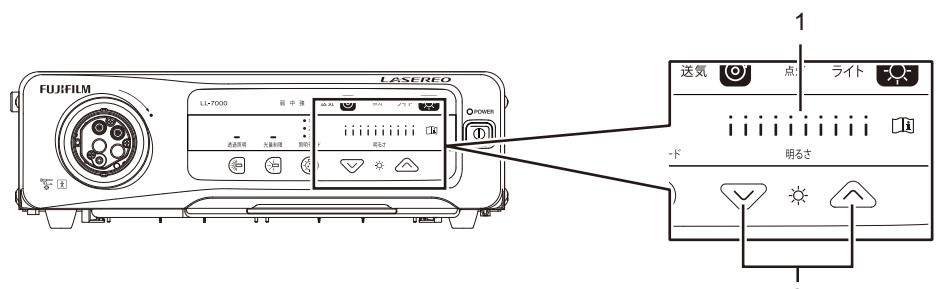
被写体の明るさが適切になるように、明るさ調節ボタンを押して調整します。

- 明るさ調節ボタン↑または↓を押すと、基準となる明るさレベルを調整できるようになります。
↑を押すと明るくなり、↓を押すと暗くなります。
または、[画像]キーを押して、画像設定ページ画面を表示して、明るさ基準値を設定します。
→「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除」

<本製品の場合>



<LL-7000の場合>



1	インジケーター
2	明るさ調節ボタン
3	[画像]キー

明るさレベルは、-4～+5の10段階で調整でき、インジケーターには以下のように表示されます。

明るさレベル0（標準）：



明るさレベル-4：



明るさレベル+5：

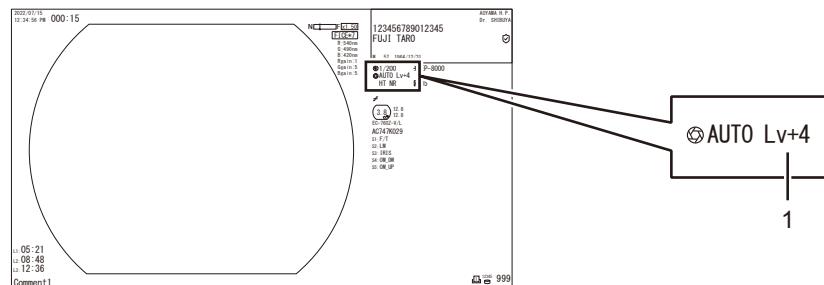


(2) 明るさ調節ボタン↑または↓の操作をやめると、インジケーターは再び照明光量を表示します。

明るさレベルは、観察画面で確認することもできます。

明るさレベルは、-4から+5の数字で下記のように表示されます。

明るさレベル0（標準）は数字を表示しません。



1	明るさレベル
---	--------

7.15 光量制限

出血している患者の血液が照明光で凝固することを防止するため、ライトの最大光量を制限したいときに使用します。最大光量を制限します。

吐血・下血など出血が予想される患者へ検査または処置する場合は、内視鏡を挿入する前に光量制限機能を「入」にしてください。内視鏡挿入後に出血が認められた場合は、速やかに光量制限機能を「入」にしてください。

光量制限機能を使用しない場合、ライトガイドに付着した血液が急激に固まり、観察画像が暗くなることがあります。

参考

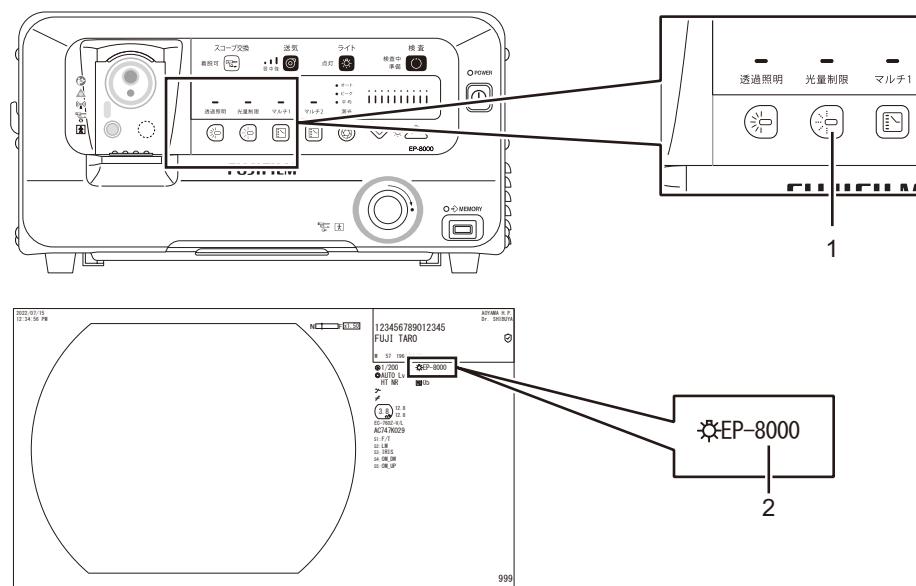
- 光量制限機能を使用しても血液の凝固が起きる場合があります。
- 本製品の光量制限に関連する機能を設定することができます。

→「4.2.8 光源 / ポンプタブ」

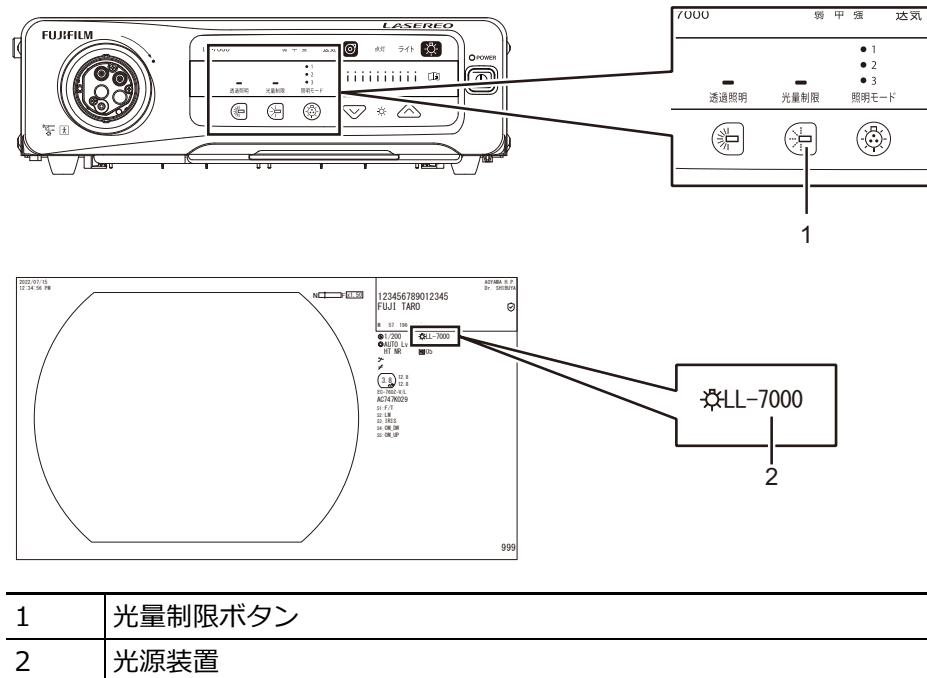
(1) 光量制限ボタンを押します。

ボタン上側の表示灯が点滅し、ライトの最大光量が制限されます。
観察画面の光源装置名称が縁に表示されます。

<本製品の場合>



< LL-7000 の場合>



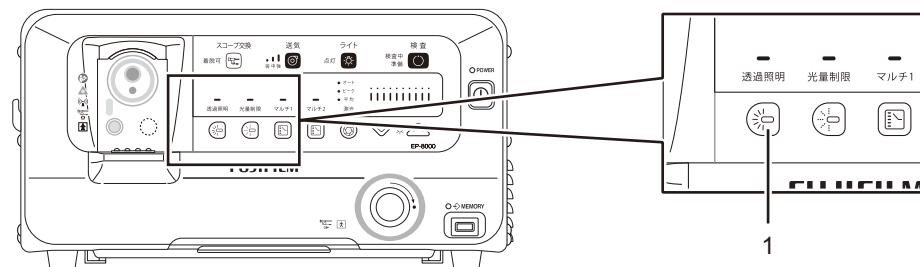
- (2) 元の光量に戻す場合は、再度、光量制限ボタンを押します。ボタン上側の表示灯が消灯し、ライトの光量が元に戻ります。

7.16 透過照明

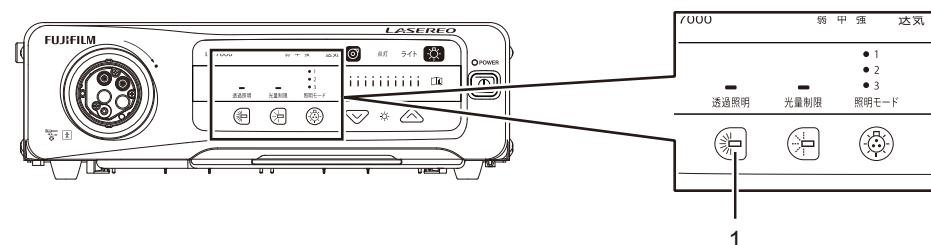
内視鏡先端部の位置を体外から確認したい場合に使用します。ライトが最大光量で点滅します。

- (1) 透過照明ボタンを押します。ボタン上側の表示灯が点滅し、ライトが最大光量で点滅します。

<本製品の場合>



< LL-7000 の場合>



1 透過照明ボタン

- (2) 元の光量に戻す場合は、再度、透過照明ボタンを押します。ボタン上側の表示灯が消灯し、ライトの光量が元に戻ります。

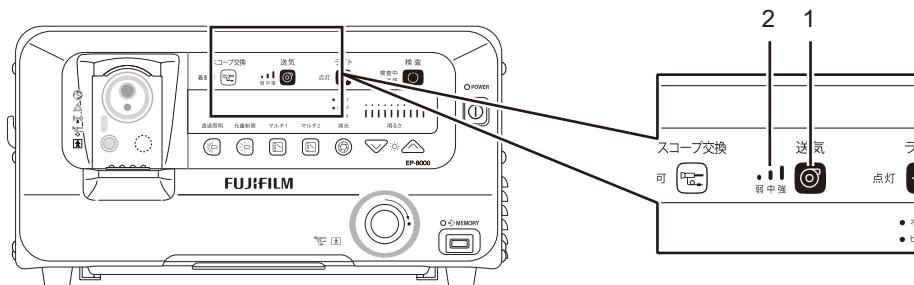
7.17 送気ポンプの作動

参考

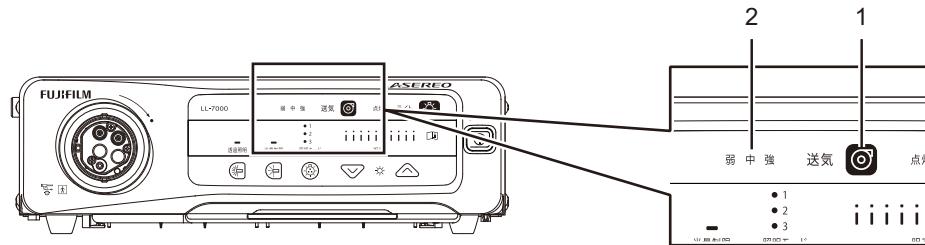
- 内視鏡の送気送水ボタンの中央の穴を指で塞いだ状態で、本製品またはLL-7000の送気ボタンを押すと、送気ポンプの作動に時間がかかる場合があります。
- 内視鏡用炭酸ガス送気装置用の送ガス送水ボタンを使用する場合は、操作方法が異なります。詳しくは内視鏡用炭酸ガス送気装置の取扱説明書を参照してください。

- (1) 本製品またはLL-7000の送気ボタンを押して、送気ポンプの作動が「強」→「中」→「弱」→「切」→「強」の順に切り替わります。
「強」「中」「弱」のいずれかを設定します。

<本製品の場合>



<LL-7000の場合>



送気ボタン

参考

- | | |
|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 本製品の場合、以下のように点灯します。
「強」、「中」、「弱」：緑色に点灯
「切」：オレンジ色に点灯 |
| 2 | 送気表示灯 |

- 本製品の場合、以下のように点灯します。
「強」、「中」、「弱」：緑色に点灯
「切」：オレンジ色に点灯

7.17.1 内視鏡用炭酸ガス送気装置の作動

本製品と内視鏡用炭酸ガス送気装置を接続して使用する場合、内視鏡用炭酸ガス送気装置からCO₂が供給されている状態で本製品の送気を開始すると、内視鏡用炭酸ガス送気装置からのCO₂の供給を自動的に停止させることができます。

また、本製品が送気中の状態で内視鏡用炭酸ガス送気装置のCO₂の供給を開始すると本製品からの送気を自動的に停止させることができます。

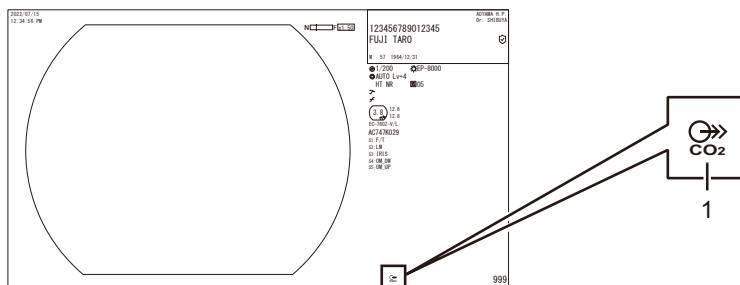
検査終了後、内視鏡用炭酸ガス送気装置からのCO₂の供給を自動的に停止させるよう設定することができます。設定はサービスマンが行います。

参考

- LL-7000と内視鏡用炭酸ガス送気装置を使用する場合、LL-7000の送気ボタンを押して、送気量を「切」に設定します。

(1) 内視鏡用炭酸ガス送気装置の取扱説明書に従って作動させます。

(2) 観察画面にて、内視鏡用炭酸ガス送気装置の状態を確認します。



内視鏡用炭酸ガス送気装置

参考

- 内視鏡用炭酸ガス送気装置の動作状態を以下のように示します。

1

通信不可 :

CO₂ OFF :

CO₂ ON (Low) :

CO₂ ON (Normal) :

7.18 観察画面のデータ表示の確認

観察画面の情報を確認します。

→ 3.9 観察画面の情報について

7.19 観察モードの切り替え

<観察モードの切り替え>

警 告

- 分光画像処理、特殊光観察モード、または単色発光モードを使用する場合は、通常の観察画像と分光画像処理、特殊光観察モード、または単色発光モードで得られた画像との色調および明るさの違いを十分に把握した上で使用してください。分光画像処理、特殊光観察モード、単色発光モードで得られる情報は参考情報です。診断の際は通常の観察画像でも確認してください。誤診の原因となるおそれがあります。

スコープスイッチまたはフットスイッチの特殊光簡易切替機能を割り当てたスイッチを押すと、特殊光簡易切替設定で設定した順に観察モードが切り替わります。

また、マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの照明モード機能を割り当てたボタン、またはLL-7000の照明モードボタンを押すと、特殊光観察プリセット設定の観察モードで設定した順に観察モードが切り替わります。

マルチオブザベーションモード時は、マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの照明モード機能を割り当てたボタンを押すと、特殊光簡易切替設定（マルチオブザベーション）で設定した順に観察モードが切り替わります。

タブレットを接続している場合、観察モード切替ボタンから使いたい観察モードをタップすると、観察モードが切り替わります。マルチオブザベーションモード時の観察モード切り替えはできません。

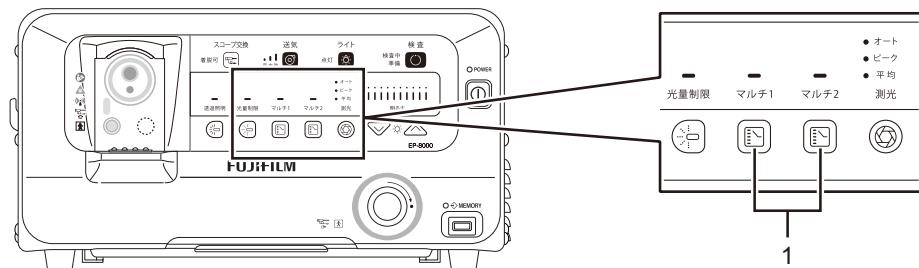
特殊光観察プリセットの設定をする場合は、照明モード機能を割り当てた本製品のマルチ1ボタンまたはマルチ2ボタン、またはLL-7000の照明モードボタンのいずれかを約2秒間押し続けます。機能設定画面が表示されます。

または、[パネル]キーを押して、設定メニューを選択し、機能設定画面を表示させます。

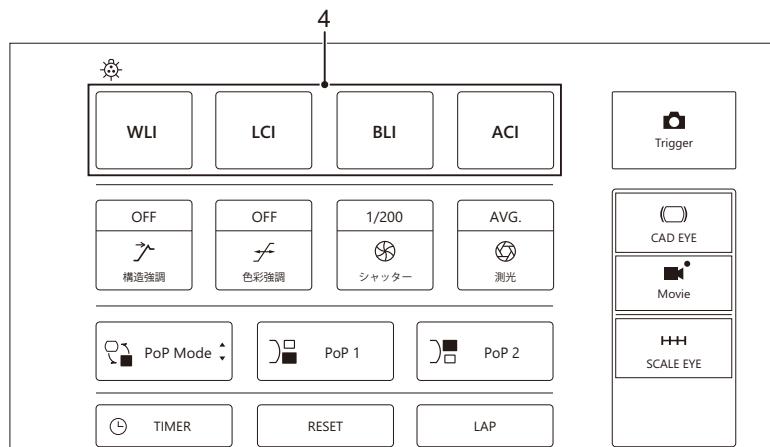
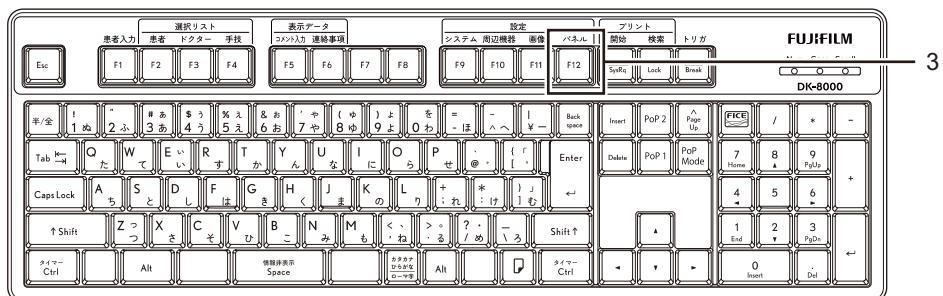
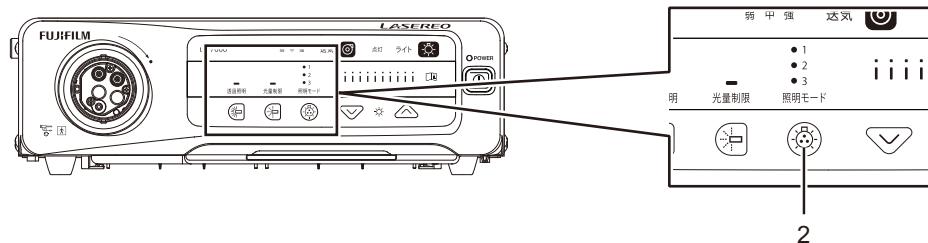
参考

- 特殊光観察プリセット設定の観察モードの設定
→「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」
- 特殊光簡易切替機能の設定
→「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除 <画像設定ページの登録> Scope 共通 特殊光簡易切替設定」

<本製品の場合>



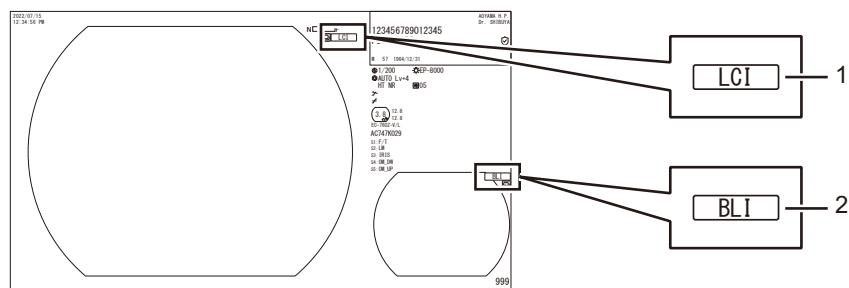
<LL-7000 の場合>



1	マルチ1ボタン / マルチ2ボタン
2	照明モードボタン
3	[パネル] キー
4	観察モード切替ボタン

<観察モードの表示>

観察モードは、観察画面に表示されます。



1	観察モード（メイン画像エリア）
2	観察モード（サブ画像エリア1）

観察モードは、観察画面に次のように表示されます。

- 特殊光観察モード：
「BLI」、「BLI-bright」、「LCI」、「ACI」
- 分光画像処理機能：
「FICE」

7.20 構造強調の切り替え

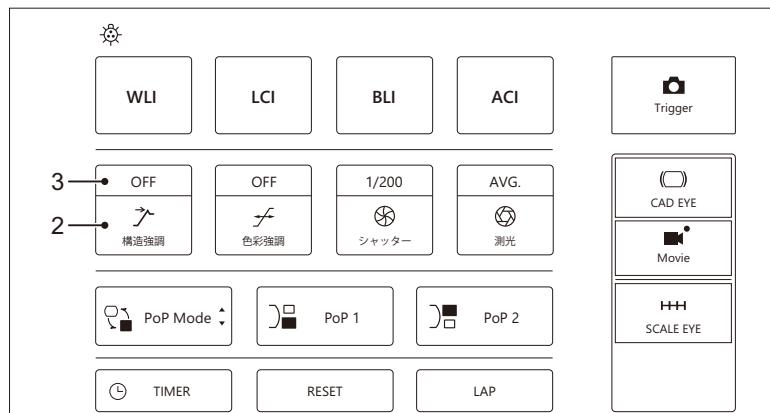
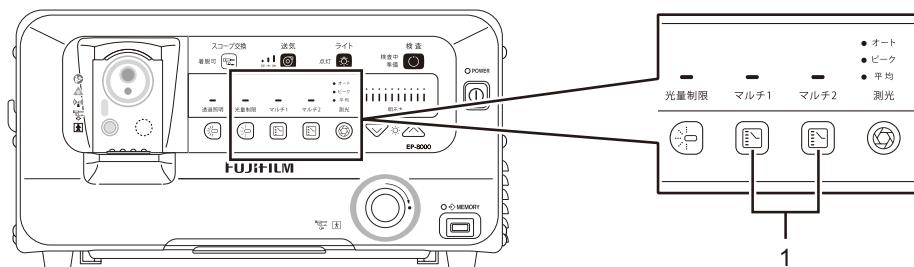
<構造強調の切り替え >

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの構造強調機能を割り当てたボタンを押すたびに、構造強調機能の入 / 切が切り替わります。

また、スコープ、フットスイッチの構造強調機能を割り当てたスイッチを押すたびに、構造強調機能の入 / 切が切り替わります。

タブレットを接続している場合、構造強調ボタンをタップすると、構造強調機能の入 / 切が切り替わります。

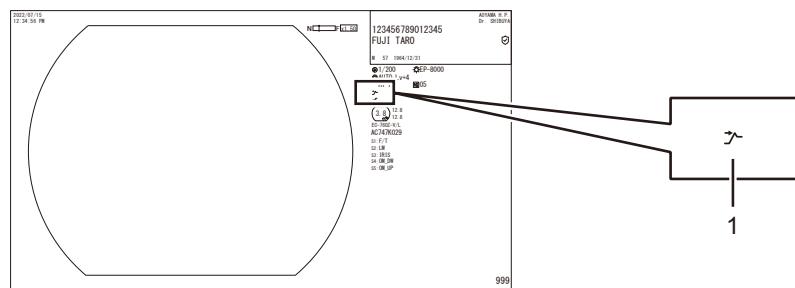
電源投入時または検査開始時は、「切」に設定されています。



1	マルチ1ボタン / マルチ2ボタン
2	構造強調ボタン
3	構造強調設定

<構造強調機能設定の表示>

構造強調機能の設定は、観察画面に表示されます。



1 構造強調

<詳細設定>

構造強調機能の設定は、観察画面に次のように表示されます。

- A モード :

♪ n/ (n は A モードの設定レベルを表します。)

- B モード :

♪ /m (m は B モードの設定レベルを表します。)

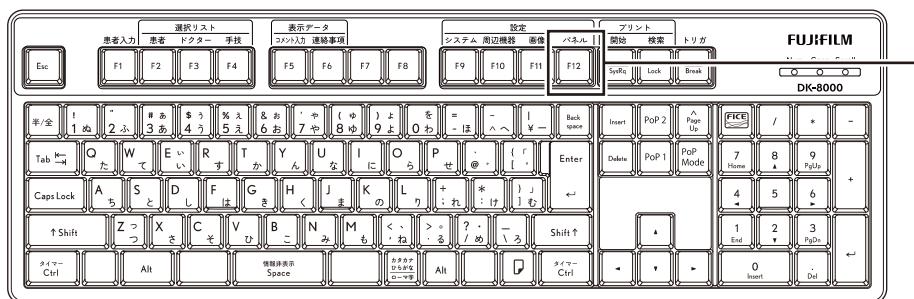
参考

- 他の機能との組み合わせで使われない場合は、対応する機能の文字は表示されません。

構造強調の設定をする場合は、マルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタンの構造強調機能を割り当てたボタンを約 2 秒間押し続けます。

■ LED が点滅し、機能設定画面が表示されます。

または、データキーボードの [パネル] キーを押して、設定メニューを選択し、機能設定画面を表示させます。



1 [パネル] キー

7.21 FICE の切り替え

<FICE の切り替え >

スコープスイッチまたはフットスイッチを押して、FICE の入 / 切を切り替えます。「FICE 簡易切替設定」に FICE セット番号を割り当てている場合は、FICE「切」時にこのスイッチを押すと以下のように機能を切り替えます。「FICE 簡易切替設定」はサービスマンが行います。

FICE 入および“割り当て 1”の FICE セット番号呼び出し

→“割り当て 2”呼び出し

→“割り当て 3”呼び出し

→FICE 切

スコープスイッチまたはフットスイッチの特殊光簡易切替機能を割り当てたスイッチを押すと、特殊光簡易切替設定で設定した順に観察モードが切り替わります。

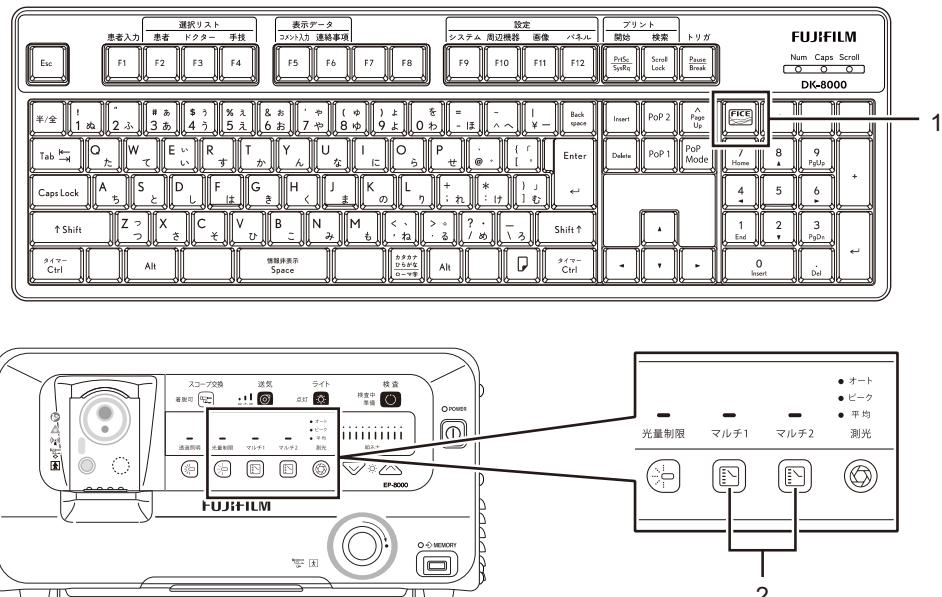
FICE 簡易切替機能の設定

特殊光簡易切替機能の設定

→「5.5.1 画像設定ページの登録・呼び出し・削除」

また、データキーボードの [FICE] キーを押すたびに、FICE の入 / 切が切り替わります。

マルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタンの FICE を割り当てたボタンをボタンを押すたびに、FICE の入 / 切が切り替わります。



1	[FICE] キー
2	マルチ 1 ボタン / マルチ 2 ボタン

<FICE セットの呼び出し >

R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめる波長 (R,G,B)、および各ゲインレベルの設定値 (Rgain, G gain, B gain) を 1 つの FICE セットと呼びます。

FICE セットを呼び出す方法について説明します。

(1) FICE を「入」にします。

(2) データキーボードのテンキーで 0 ~ 9 までの数字を入力します。

データキーボードのテンキーであらかじめ設定した FICE セット番号の数字を入力します。

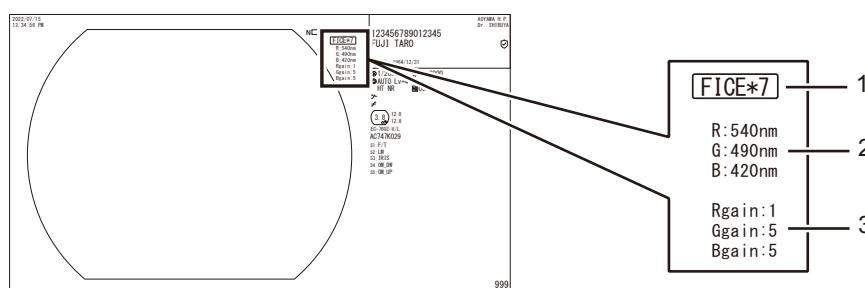
<FICE 設定の表示 >

FICE の設定は、観察画面に表示されます。

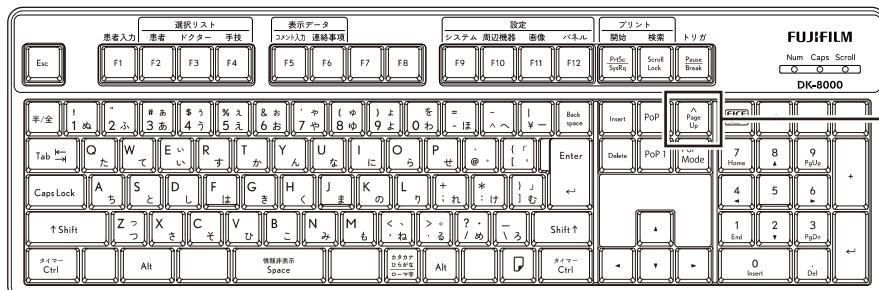
FICE を「入」にすると、観察モードに FICE と表示されます。

FICE を「入」にした状態で [PageUp] キーを押すと、FICE セットを表示します。

再度 [PageUp] キーを押すと FICE セットの表示は消えます。



1	観察モード
2	FICE セット R,G,B 表示成分
3	FICE セット R,G,B ゲインレベル



1	[PageUp] キー
---	-------------

FICE の設定は、観察画面に次のように表示されます。

- 観察モード :

FICE*n (n は、FICE セット番号)

- FICE セット RGB 表示成分 :

FICE 設定で設定した R,G,B 表示成分に当てはめる波長を表示します。

R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめる波長は、400 ~ 695nm の範囲で 5nm ごとに設定できます。

- FICE セット RGB ゲインレベル :

FICE 設定で設定した R,G,B それぞれのゲインレベルを表示します。

R,G,B 表示成分の強度を調整し、表示色を変更することができます。

R,G,B それぞれのゲインレベルを 1 ~ 5 の 5 段階で変更できます。値が大きいほどそれぞれの色調を強く表示することができます。

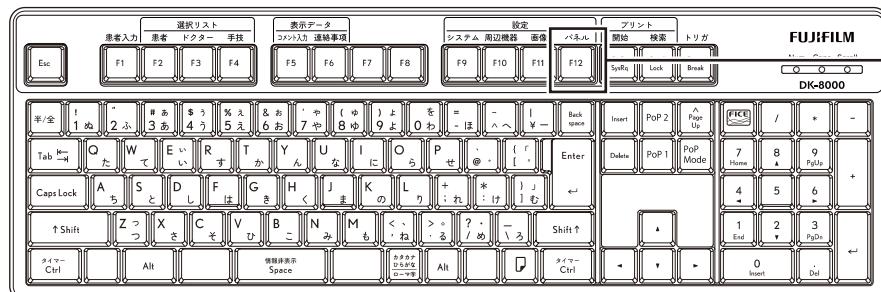
< 詳細設定 >

FICE の設定をする場合は、マルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタンの FICE 機能を割り当てたボタンをボタンを約 2 秒間押し続けます。

■ LED が点滅し、機能設定画面が表示されます。

または、[パネル] キーを押して、設定メニューを選択し、機能設定画面を表示させます。

→ 「5.3.3 FICE 設定」



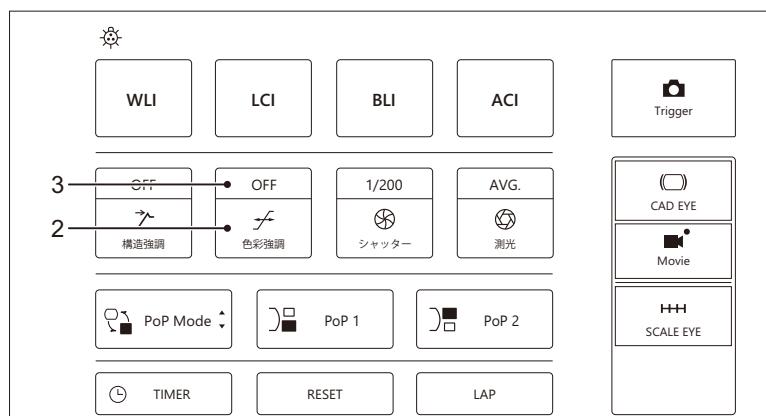
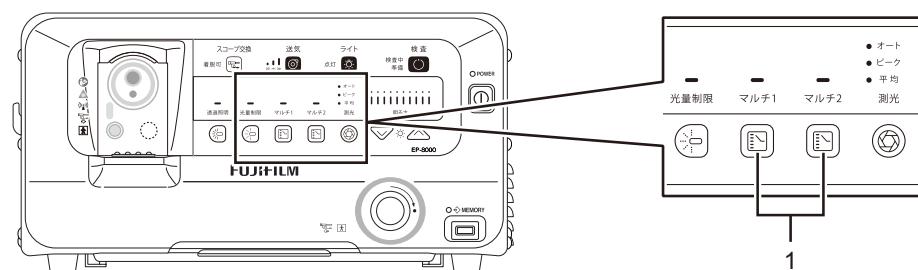
1 [パネル] キー

7.22 色彩強調の切り替え

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの色彩強調機能を割り当てたボタンを押すたびに、色彩強調機能の入 / 切が切り替わります。

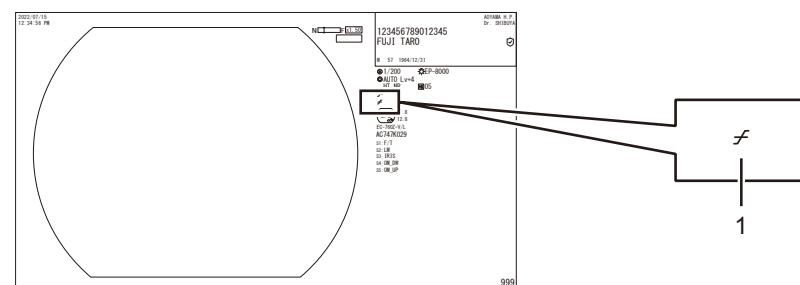
また、スコープ、フットスイッチの色彩強調機能を割り当てたスイッチを押すたびに、色彩強調機能の入 / 切が切り替わります。

タブレットを接続している場合、色彩強調切替ボタンをタップすると、色彩強調機能の入 / 切が切り替わります。



1	マルチ1ボタン / マルチ2ボタン
2	色彩強調切替ボタン
3	色彩強調設定

色彩強調機能の設定は、観察画面に表示されます。



1	色彩強調
---	------

<通常光観察モードの場合>

色彩強調機能の設定は、観察画面に次のように表示されます。

✓ RE

設定値の文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(() 内は設定値)

- RE (赤色強調) :

白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

<BLI、BLI-bright、LCI または ACI の場合>

色彩強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

✓ C1

設定値の文字および文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(() 内は設定値)

- CE (色彩強調) :

C1/ 白 (色調 1)、C2/ 緑 (色調 2)、C3/ 黄 (色調 3)

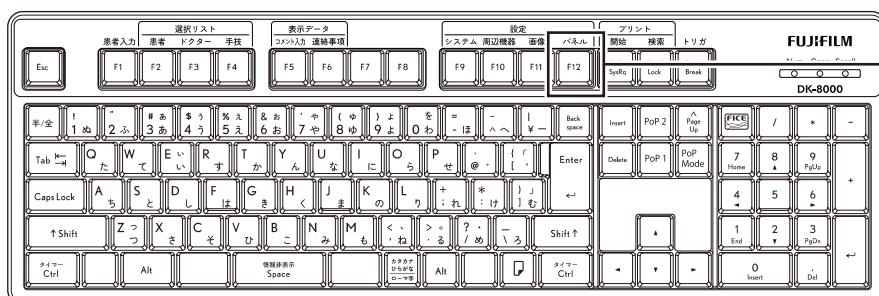
<詳細設定>

色彩強調の設定をする場合は、マルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタンの色彩強調機能を割り当てるボタンをボタンを約 2 秒間押し続けます。

■ LED が点滅し、機能設定画面が表示されます。

または、[パネル] キーを押して、設定メニューを選択し、機能設定画面を表示させます。

→「5.3.4 色彩強調設定」



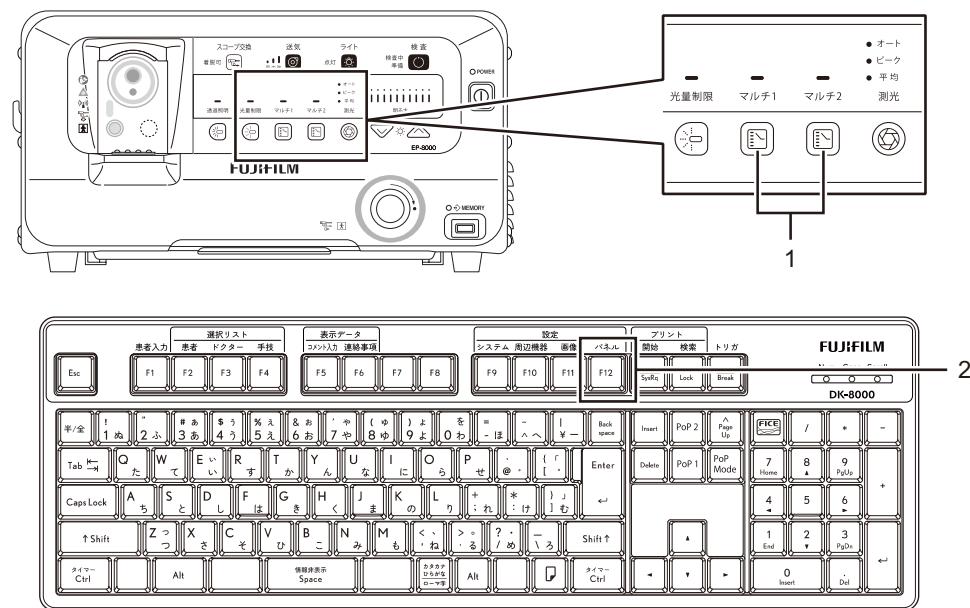
1 [パネル] キー

7.23 カラー調整の設定

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンのカラー調整機能を割り当てたボタンをボタンを約2秒間押し続けると、設定画面が表示されます。

または、[パネル]キーを押して、設定メニューを選択し、機能設定画面を表示させます。

→「5.3.5 カラー調整」



1	マルチ1ボタン / マルチ2ボタン
2	[パネル]キー

7.24 シャッタースピードの切り替え

<シャッタースピードの手動切り替え>

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンのシャッタースピードを割り当てたボタンをボタンを押すたびにシャッタースピードの設定が「高速」と「標準」に切り替わります。
また、スコープ、フットスイッチのシャッタースピードを割り当てたスイッチを押すたびに、シャッタースピード「高速」と「標準」が交互に切り替わります。
タブレットを接続している場合、シャッタースピード切替ボタンをタップすると、シャッタースピードの標準／高速を切り替わります。

シャッタースピードの設定を「高速」にするとマルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの ■ LED が点灯します。シャッタースピードの設定を「標準」にするとマルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンの ■ LED が消灯します。

<光学ズームスコープ使用時の自動切り替え>

光学ズームスコープ使用時に、光学ズームの倍率によってシャッタースピードを自動的に切り替えることができます。

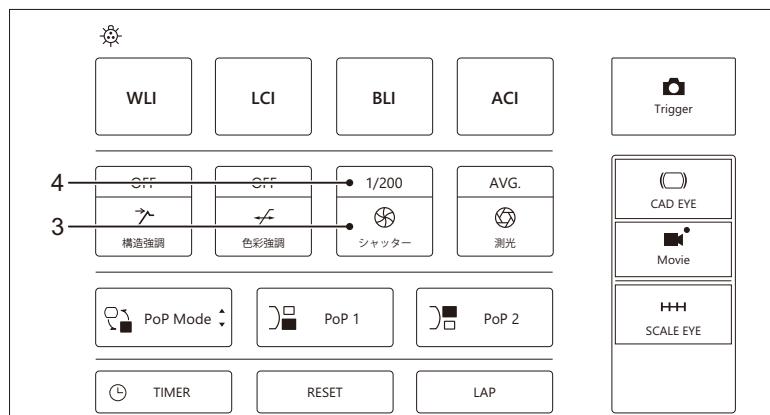
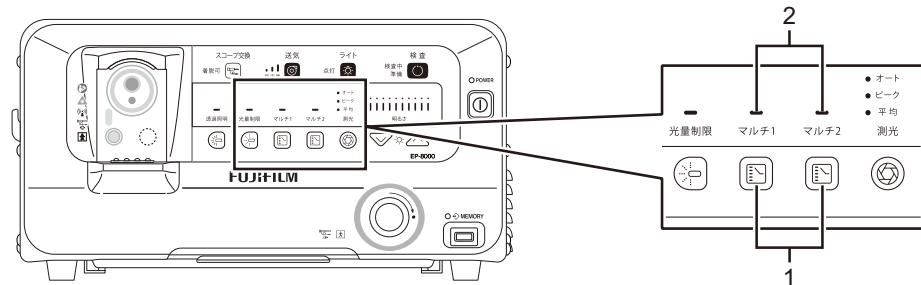
切り替え方式は次の表の通りです。切り替え方式（自動／自動2／手動）の設定およびOM最大値の設定は、設置時にサービスマンが行います。

自動	光学ズームが最大のとき、シャッタースピードが自動的に光学ズームのシャッタースピードの設定値に変わります。
自動2	通常の観察時（光学ズームをかけていないとき）、シャッタースピードは標準のシャッタースピードの設定値にて動作します。光学ズーム位置が光学ズーム設定の「Far位置」にきた時、シャッタースピードは光学ズームのシャッタースピードの設定値にて動作します。 光学ズーム位置が光学ズーム設定の「Near位置」にきた時、シャッタースピードはOM最大値のシャッタースピードの設定値にて動作します。
手動	光学ズーム時、シャッタースピードは自動的に切り替わりません。「シャッタースピード」を割り当てられたボタンを押すことによって切り替わります。

参考

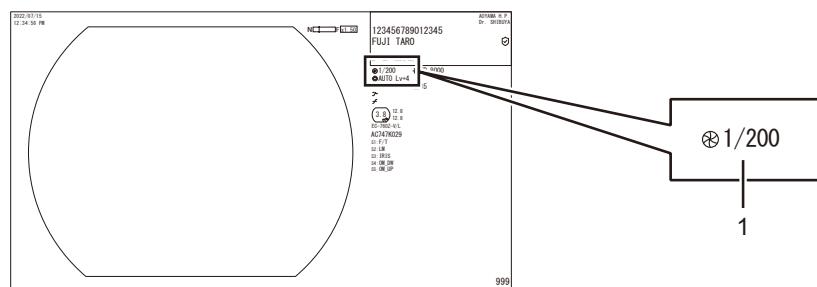
- 切り替え方式が自動／自動2で、光学ズームスコープを接続している場合、光学ズームが最大の状態でさらに拡大スイッチを押すと、電子ズームに自動的に切り替わります。

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンにシャッタースピードを割り当てたとき、シャッタースピードが自動で「高速」に切り替わると **■** LEDが点滅します。



1	マルチ1ボタン / マルチ2ボタン
2	マルチ1ボタン / マルチ2ボタンの表示灯
3	シャッタースピード切替ボタン
4	シャッタースピード設定

シャッタースピードの設定は、観察画面に表示されます。



1	シャッタースピード
---	-----------

シャッタースピードの設定は、観察画面に次のように表示されます。

「標準」：

⊗ 1/60

(設定値は白色で表示されます。)

「高速」：

⊗ 1/200

(設定値は緑色で表示されます。)

優先モード有効時：

⊗ *1/200

(設定値は黄色で表示されます。)

光学ズームスコープ使用時の自動切り替え時：

⊗ 1/200

(設定値は白地に黒文字で表示されます。)

参考

- 表示される数値はシャッタースピードの設定値（単位：秒）です。

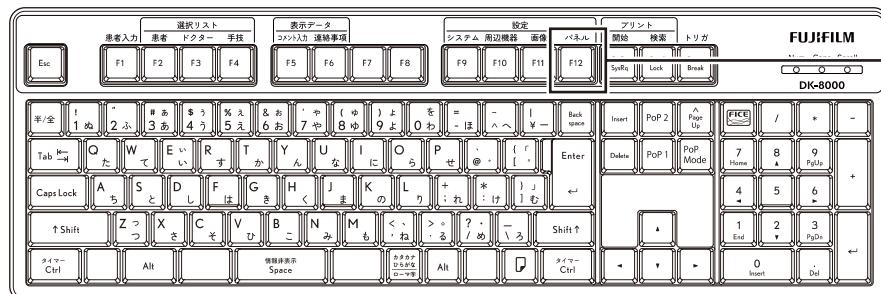
< 詳細設定 >

シャッタースピードの設定をする場合は、マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンのシャッタースピードを割り当てたボタンをボタンを約2秒間押し続けます。

■ LED が点滅し、機能設定画面が表示されます。

または、データキーボードの [パネル] キーを押して、設定メニューを選択し、機能設定画面を表示させます。

→ 「5.3.6 シャッタースピード」



1 [パネル] キー

7.25 測光モードの切り替え

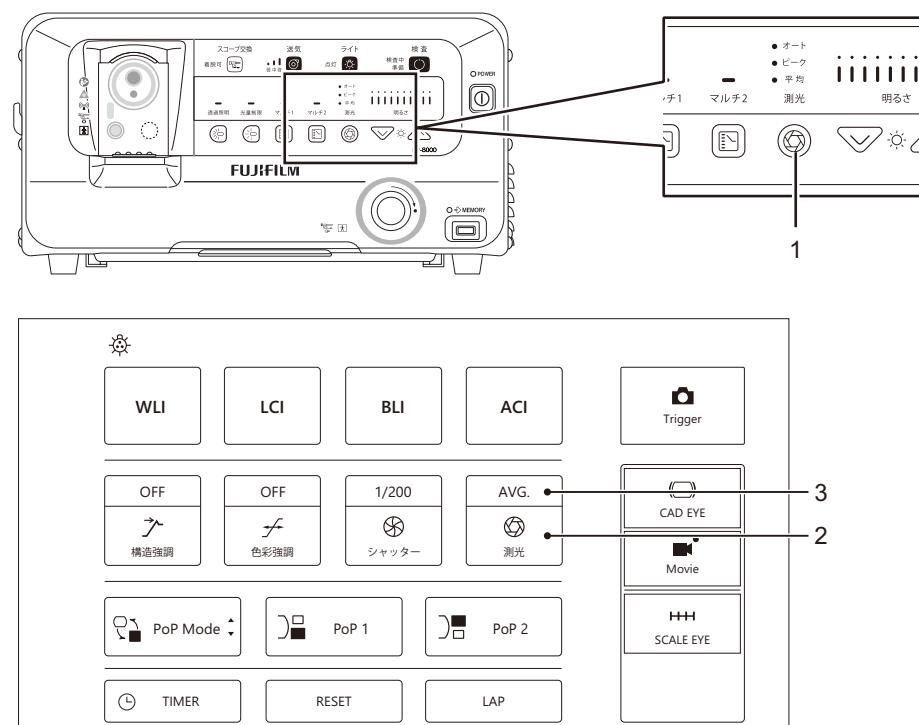
<測光モードの切り替え>

測光モードボタンを押して、画面の明るさを制御する ALC (自動調光) のモードを選択します。画面全体の明るさを基準に制御する「平均」と、ハイライト部の明るさで制御する「ピーク」、平均測光とピーク測光を自動で最適調整する「オート」の 3 つのモードがあります。電源投入時はオート測光になっています。

測光モードボタンを押すたびに、この 3 つのモードが切り替わります。

また、スコープ、フットスイッチの測光モードを割り当てたスイッチを押して、「平均」「ピーク」「オート」切り替えます。

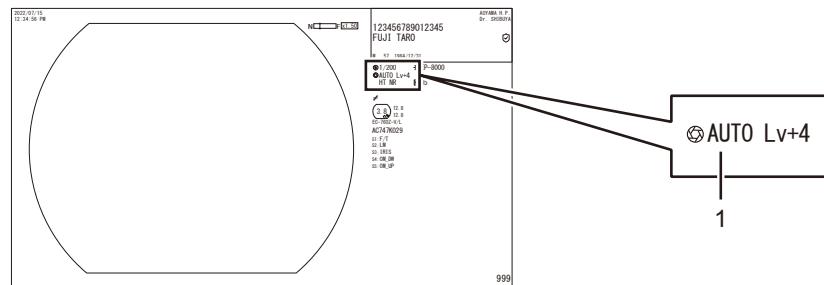
タブレットを接続している場合、測光モード切替ボタンから使いたい測光モードをタップすると、測光モードが切り替わります。



1	測光モードボタン
2	測光モード切替ボタン
3	測光モード設定

<測光モード設定の表示>

測光モードの設定は、観察画面に表示されます。



1 测光モード

測光モードの設定は、観察画面に次のように表示されます。

「オート」：

◎ AUTO Lv+4
(設定値は白色で表示されます。)

「ピーク」：

◎ PEAK Lv+4
(設定値は緑色で表示されます。)

「平均」：

◎ AVE Lv+4
(設定値は緑色で表示されます。)

参考

- ライト点灯時 AUTO、PEAK、AVE の横に表示される数字は明るさレベルです。
→「7.14 光量の調整」



明るさにあまり差がない画面は、平均測光が適している



画面の一部に高輝度部分がある場合は、ピーク測光が適している

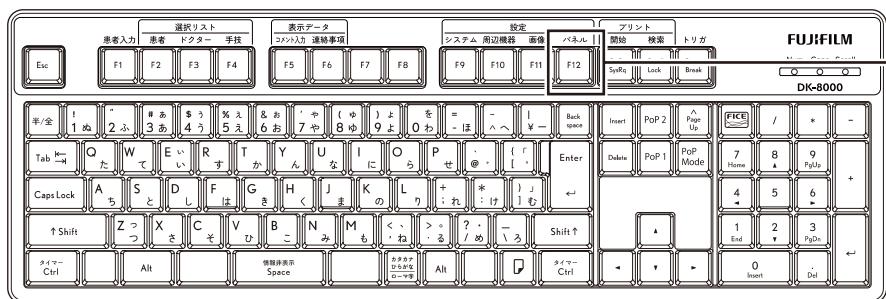
< 詳細設定 >

測光モードの設定をする場合は、測光モードボタンを約2秒間押し続けると、設定画面が表示されます。

■ LED が点滅し、機能設定画面が表示されます。

または、[パネル]キーを押して、設定メニューを選択し、機能設定画面を表示させます。

→「5.3.7 測光モード設定」



1 [パネル]キー

7.26 電子ズームの操作

観察画面を表示します。

データキーボードの [↑]、[↓] キーを押します。

または、フットスイッチの電子ズーム：拡大、電子ズーム：縮小機能を割り当てたスイッチを押します。

電子ズームが切り替わります。

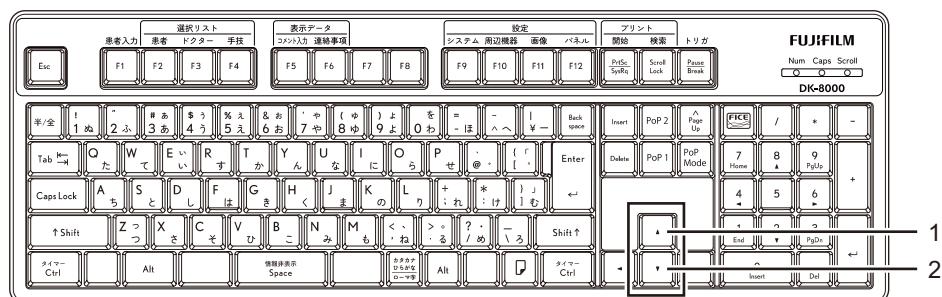
倍率は、X1.00～X2.00 の範囲で 0.05 ステップで設定できます。

参考

- 光学ズームスコープを接続している場合、光学ズームが最大の状態でさらに拡大スイッチを押すと、電子ズームに自動的に切り替わります。

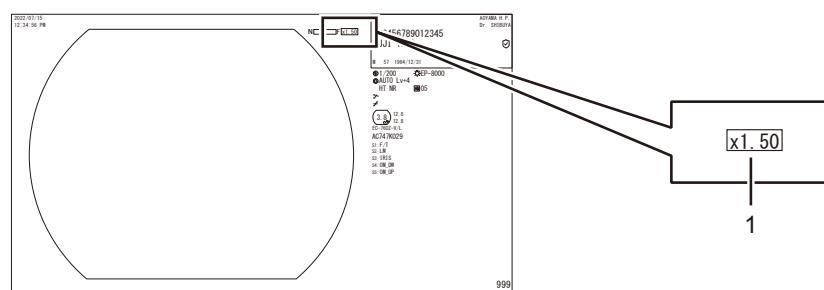
スコープスイッチの電子ズームを割り当てたスイッチを押します。

「電子ズーム機能の拡大率」で設定された拡大率の表示に切り替わります。もう一度スイッチを押すと、元の表示（拡大率：×1.0）に戻ります。「電子ズーム機能の拡大率」はサービスマンが行います。



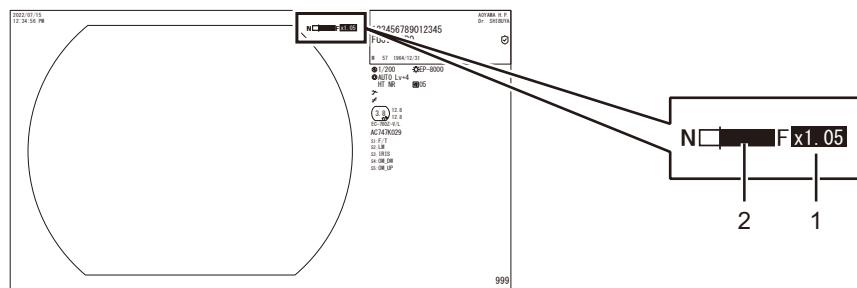
1	[↑] キー
2	[↓] キー

電子ズーム拡大率は、観察画面に緑色で表示されます。



1	電子ズーム拡大率
---	----------

光学ズームスコープを接続している場合、光学ズームが最大の状態でさらに拡大スイッチを押して電子ズームに自動的に切り替わると、電子ズーム拡大率が緑色で表示され、フォーカスマーテーも緑色になります。



1	電子ズーム拡大率
2	フォーカスマーテー

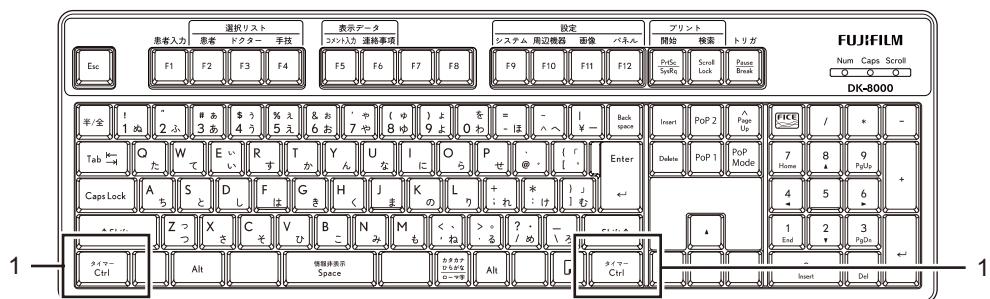
7.27 タイマーのスタート / ストップ

観察画面でタイマーをスタート / ストップさせることができます。

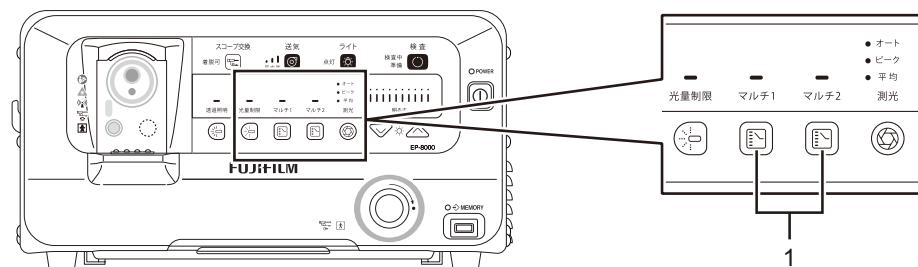
<スタート>

観察画面にタイマーが表示され、タイマーがスタートします。

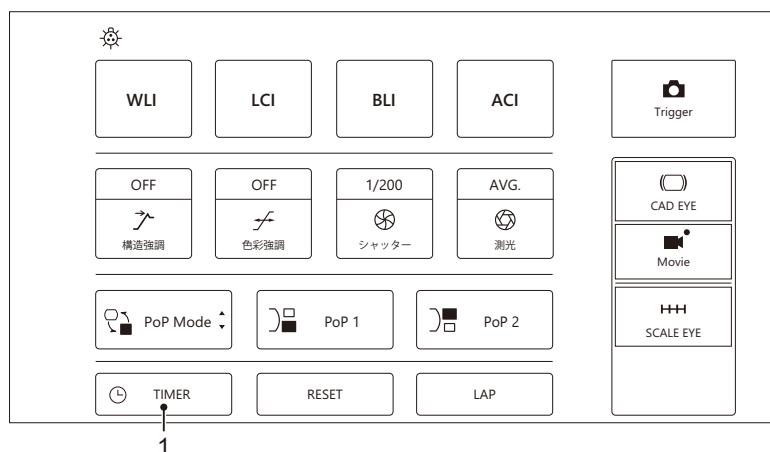
データキーボードの [タイマー Ctrl] キーまたはマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタンのタイマーを割り当てたボタン、スコープスイッチのタイマーを割り当てたスイッチを押します。タブレットを接続している場合、TIMER ボタンをタップします。



1 [タイマー Ctrl] キー



1 マルチ 1 ボタン / マルチ 2 ボタン



1 TIMER ボタン

<ストップ>

タイマーがストップします。

データキーボードの [タイマー Ctrl] キーまたはマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタンのタイマーを割り当てたボタン、スコープスイッチのタイマーを割り当てたスイッチを押します。タブレットを接続している場合、TIMER ボタンをタップします。

<リセット>

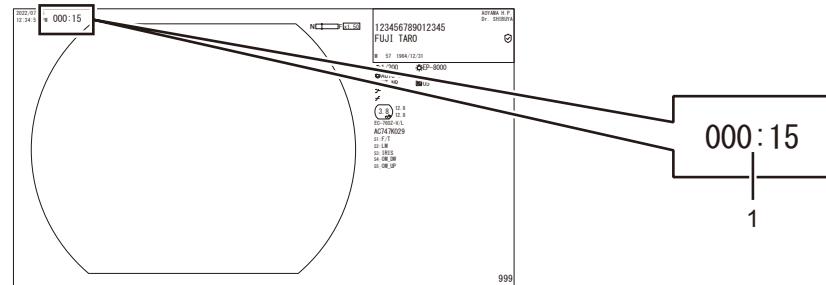
タイマーがリセットします。

データキーボードの [Shift] キーを押しながら、[タイマー Ctrl] キーを押します。または、マルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタンのタイマーを割り当てたボタンを約 2 秒間押し続けます。タブレットを接続している場合、TIMER ボタンをタップします。

<タイマーの表示を消すには>

タイマーをストップした後に、リセット操作を 2 回繰り返します。

タイマーは、観察画面に表示されます。



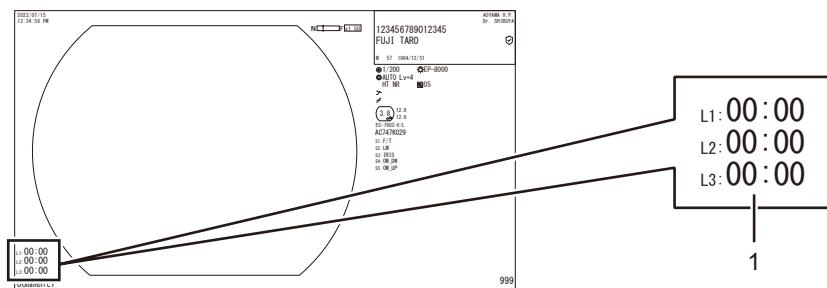
1 タイマー

7.28 ラップタイムのスタート / ストップ

観察画面を表示します。

設定画面を表示し、ラップタイムを表示させます。

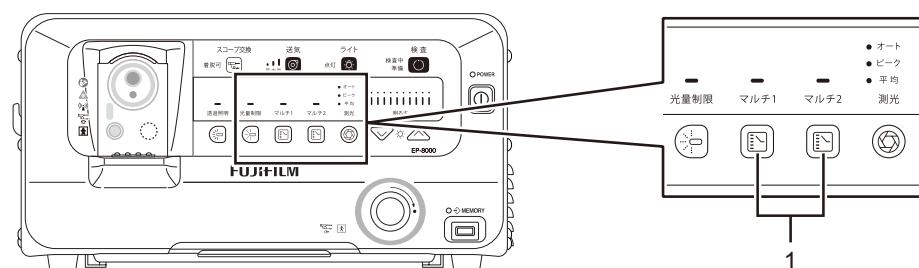
→「4.2.7 表示タブ」



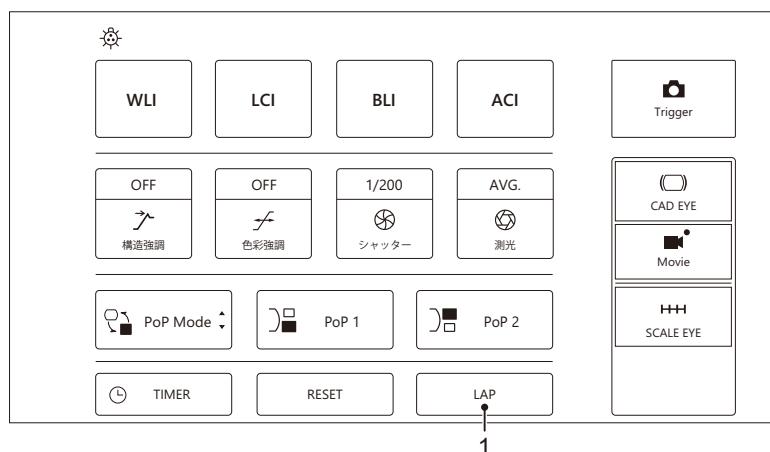
1 ラップタイム

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンのラップタイムを割り当てたボタン、スコープスイッチのラップタイムを割り当てたスイッチを押します。

タブレットを接続している場合、LAPボタンをタップします。



1 マルチ1ボタン / マルチ2ボタン



1 LAPボタン

マルチ1ボタンまたはマルチ2ボタンのラップタイムを割り当てたボタン、スコープスイッチのラップタイムを割り当てたスイッチを押す、またはタブレットのLAPボタンをタップすることで以下のように表示されます。

- 1回目：「L1」がスタート。
- 2回目：「L1」がストップし、「L2」がスタート。
- 3回目：「L2」がストップし、「L3」がスタート。
- 4回目：「L3」がストップ。
- 5回目：初期状態に戻ります。

タイムラップ表示例

初期状態	ボタン1回目	ボタン2回目	ボタン3回目	ボタン4回目
L1: 00 : 00	00 : 01	→ 05 : 21	05 : 21	05 : 21
L2: 00 : 00	00 : 00	00 : 01	→ 03 : 20	03 : 20
L3: 00 : 00	00 : 00	00 : 00	00 : 01	→ 05 : 01
↑ ボタン5回目				

7.29 汎用コンピュータに搭載したソフトウェアの使用

ソフトウェアの取扱説明書に従ってください。

7.29.1 内視鏡サイズ推定支援プログラムの使用方法

内視鏡 EC-760S-A/M または EC-760S-A/L と、EX-WS を接続して使用します。

EW10-VM グループソフトウェアの取扱説明書に従って操作してください。

注 意

- 仮想スケール表示モードを使用している間は、内視鏡先端のレーザ出射窓から赤色レーザ光が照射されます。また、仮想スケール表示モードを「入」にすると、赤色レーザ光を認識するために画像設定が切り替わります。そのため、仮想スケール表示モードで得られる画像は、通常の観察画像とは、明るさや色調および構造強調の設定が異なる場合があります。仮想スケール表示モードで得られる画像と通常の観察画像との、明るさや色調および構造強調の設定の違いを十分に把握したうえで使用してください。仮想スケール表示モードで得られる画像は参考情報です。診断の際は通常の観察画像でも確認してください。誤診の原因となるおそれがあります。
- 内視鏡画像が一瞬ちらつくことがあるため、通常光観察モードと特殊光観察モードまたは仮想スケール表示モードを切り替えるときには、内視鏡の操作および処置をしないでください。
- 内視鏡EC-760S-A/MまたはEC-760S-A/Lを接続して仮想スケール表示モードにしたときに、内視鏡の先端部にあるレーザ出射窓から出射される光はクラス1レーザ製品に該当します。レーザ出射窓の光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。また、鏡などの反射物に赤色レーザ光を照射しないでください。赤色レーザ光が反射して、反射光で目の障害を起こすおそれがあります。

7.30 PoP（周辺機器画像の表示）の切り替え

背面パネルの DVI-D IN 端子と、3G-SDI IN 端子に接続された周辺機器の画像を観察画面に表示します。

内視鏡画像と同時に、周辺機器の画像を表示することができます。

→「5.5.2 PoP（周辺機器画像の表示）機能の設定」

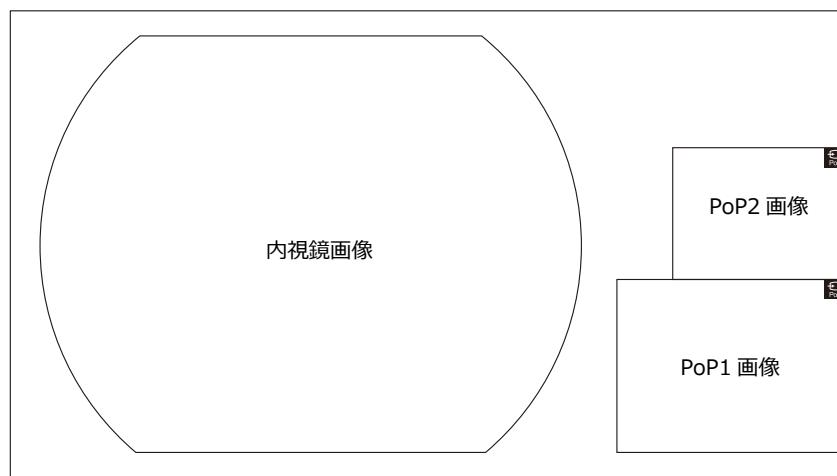
PoP1 および PoP2 画像には、右上に外部入力画像を示すアイコン  と枠が表示されます。内視鏡画像ではなく外部入力画像であることを理解した上で使用してください。

警 告

- 内視鏡による診断、処置はメイン画面エリアに内視鏡画像を表示させてください。内視鏡の挿入部が患者の体腔を圧迫し損傷するおそれがあります。
- 検査中、処置中に超音波画像、PoP1 画像、PoP2 画像の異常があった場合は、メイン画面エリアを内視鏡画像に切り替えてください。

◆ メイン画面エリアに内視鏡画像を表示する場合

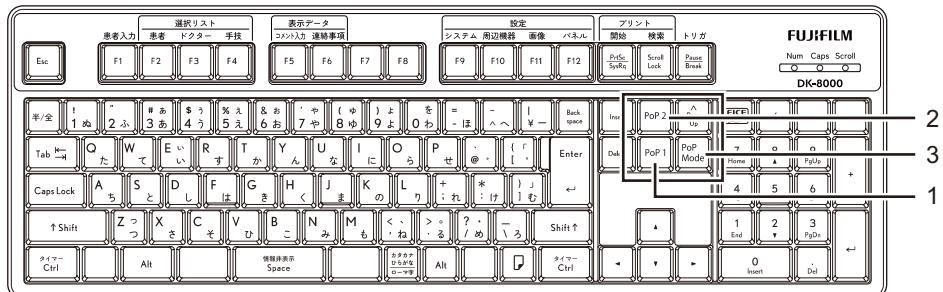
- (1) データキーボードの [PoP1] キーまたは [PoP2] キー、または PoP1 または PoP2 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP1] または [PoP2] ボタンをタップします。PoP1 を指示するキーまたはボタンを押す / タップすると PoP1 画像がサブ画面エリア 1 に、PoP2 を指示するキーまたはボタンを押す / タップすると PoP2 画像がサブ画面エリア 2 に、それぞれ表示されます。



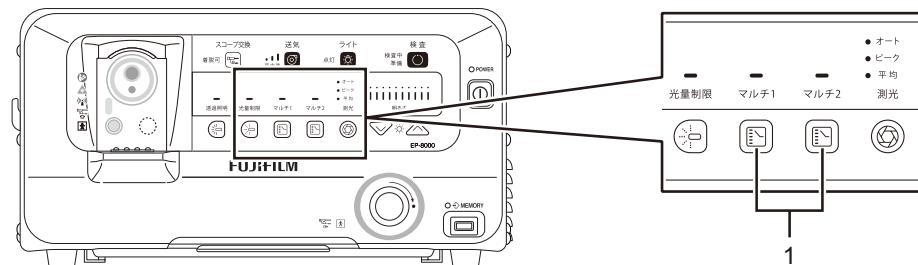
- (2) メイン画面エリアに表示する画像を切り替えたい場合は、データキーボードの [PoP Mode] キー、または PoP Mode を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP Mode を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP Mode] ボタンをタップします。キー、ボタンを押す / タップするたびに画像が変更されます。

→「3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）」

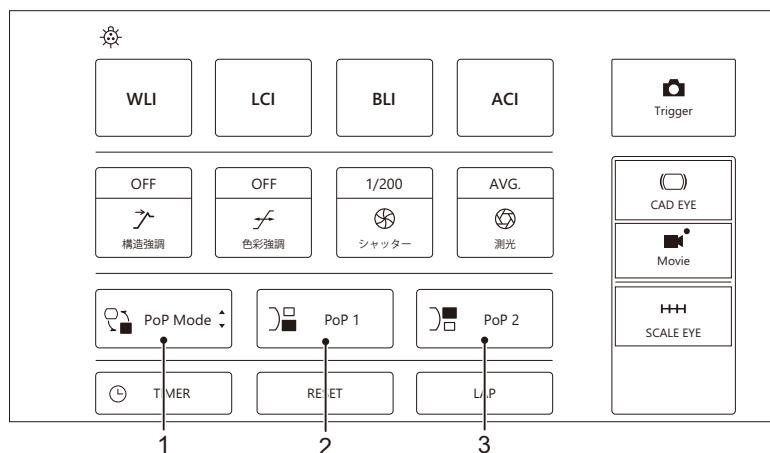
- (3) データキーボードの [PoP1] キーまたは [PoP2] キー、または PoP1 または PoP2 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP1] または [PoP2] ボタンをタップします。PoP1 を指示するキーまたはボタンを押す / タップすると PoP1 画像が、PoP2 を指示するキーまたはボタンを押す / タップすると PoP2 画像が、それぞれ表示解除されます。



- | | |
|---|---------------|
| 1 | [PoP1] キー |
| 2 | [PoP2] キー |
| 3 | [PoP Mode] キー |



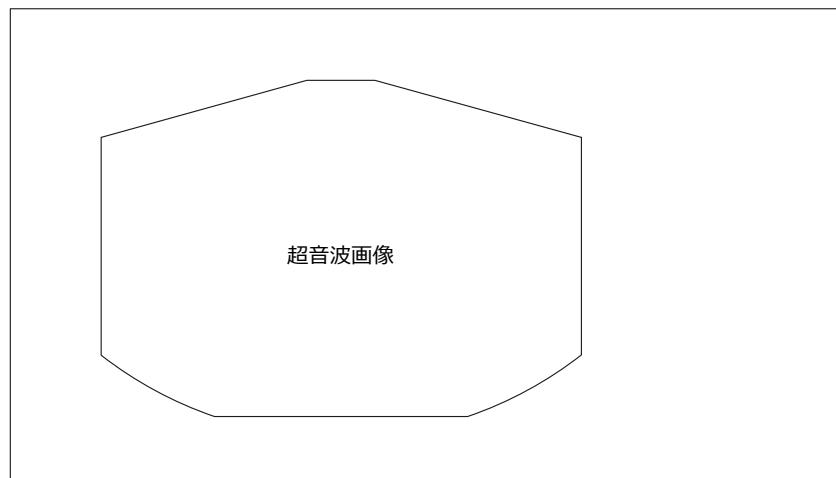
- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | マルチ 1 ボタン / マルチ 2 ボタン |
|---|-----------------------|



- | | |
|---|----------------|
| 1 | [PoP Mode] ボタン |
| 2 | [PoP1] ボタン |
| 3 | [PoP2] ボタン |

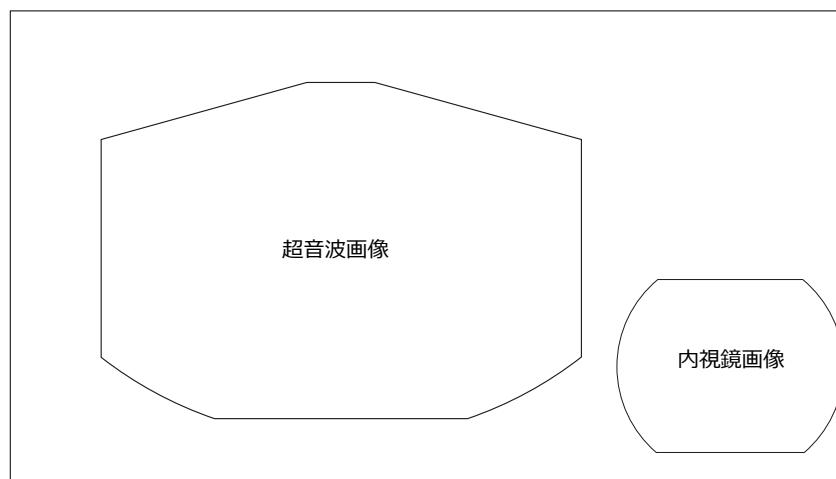
◆ メイン画面エリアに超音波画像を表示する場合

- (1) データキーボードの [PoP1] キー、または PoP1 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP1] ボタンをタップします。
- メイン画面エリアに超音波画像が表示されます。

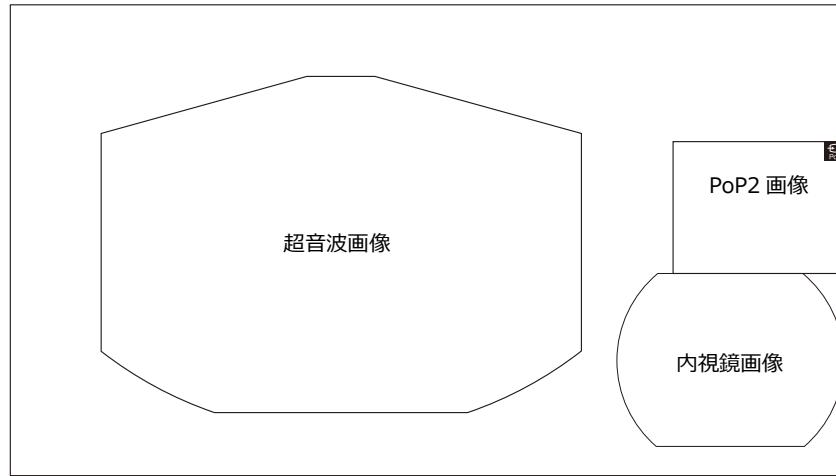


参考

- 「US 表示」の設定により、内視鏡画像がサブ画面エリア 1 に表示される場合があります。



- (2) データキーボードの [PoP2] キー、または PoP2 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP2] ボタンをタップします。
PoP2 画像がサブ画面エリア 2 に表示されます。

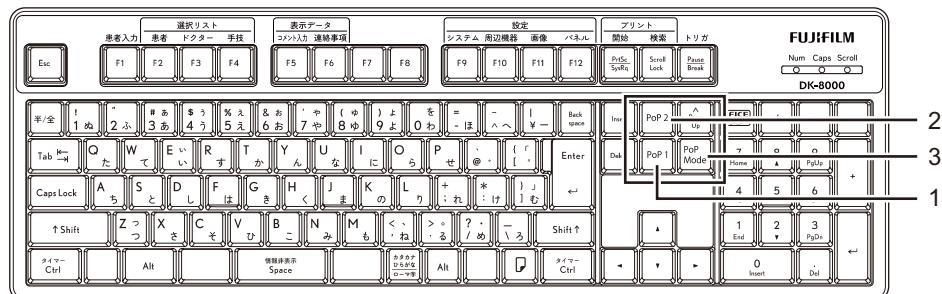


- (3) 「US 表示」で設定した観察画面に切り替えたい場合は、データキーボードの [PoP1] キー、または PoP1 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP1 を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP1] ボタンをタップします。
- ➔ 「3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）」
 - ➔ 「5.5.2 PoP（周辺機器画像の表示）機能の設定」
- (4) メイン画面エリアに内視鏡画像が表示されていて、メイン画面エリアに PoP2 画像を表示したい場合は、データキーボードの [PoP Mode] キー、または PoP Mode を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP Mode を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP Mode] ボタンをタップします。

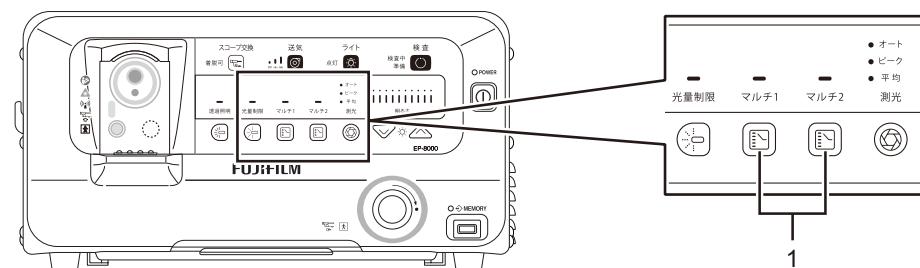
参考

- メイン画面エリアに超音波画像が表示されている場合は、表示エリアは変更されません。
- ➔ 「3.8.5 PoP（周辺機器画像の表示）」

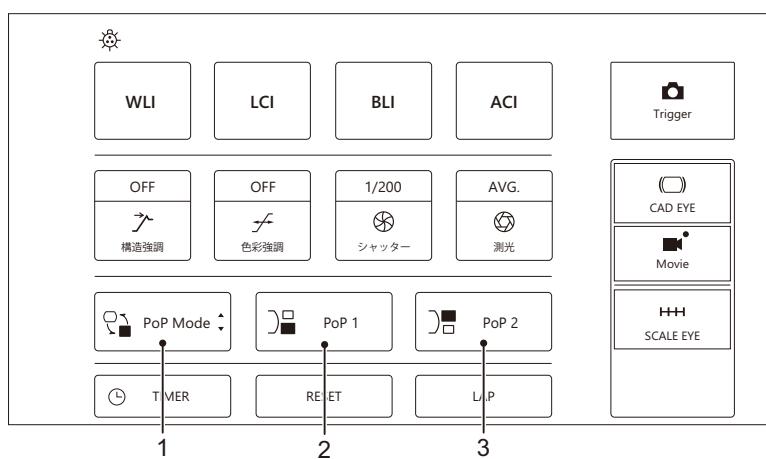
- (5) データキーボードの [PoP2] キー、または PoP2 を割り当てた本製品のマルチ 1 ボタンまたはマルチ 2 ボタン、または PoP2 を割り当てたスコープスイッチを押す、またはタブレットの [PoP2] ボタンをタップします。
PoP2 画像が表示解除されます。



1	[PoP1] キー
2	[PoP2] キー
3	[PoP Mode] キー



1	マルチ 1 ボタン / マルチ 2 ボタン
---	-----------------------



1	[PoP Mode] ボタン
2	[PoP1] ボタン
3	[PoP2] ボタン

7.31 内視鏡の交換

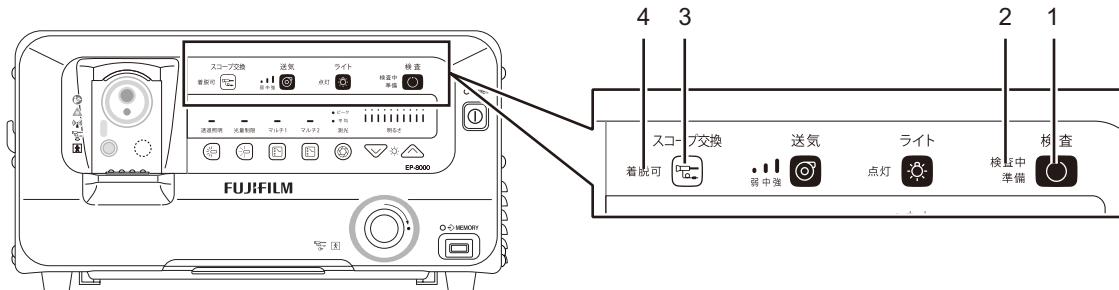
注 意

- 内視鏡のスコープコネクターまたはLGコネクターを取り外した直後は、ライトガイド棒が非常に熱い場合があるので触らないでください。熱傷するおそれがあります。ライトガイド棒の先端が冷えるまで（5分）手を触れないでください。

- (1)** 本製品のスコープ交換ボタンを約2秒間押し続けます。
スコープ交換ボタンがオレンジ色に点滅したのちに点灯します。

参考

- 検査ボタンおよび検査表示灯の「検査中」は青色に点灯したままで。



1	検査ボタン
2	検査表示灯
3	スコープ交換ボタン
4	スコープ交換表示灯

- (2)** スコープ交換表示灯の「着脱可」が青色に点灯していることを確認します。
- (3)** 観察画面にメッセージが表示されたことを確認し、内視鏡を取り外します。
- (4)** 内視鏡を接続します。
→「7.2 内視鏡の接続」
- (5)** スコープ交換ボタンを押します。
メッセージが消えます。
- (6)** スコープ交換ボタンが青色に点滅します。
スコープ交換表示灯の青色の「着脱可」が消灯します。
- (7)** スコープ交換ボタンが青色に点灯したことを確認します。

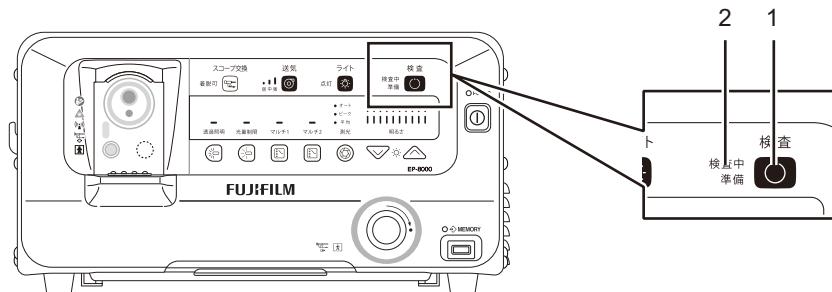
7.32 検査終了

注 意

- 内視鏡のスコープコネクターまたはLGコネクターを取り外した直後は、ライトガイド棒が非常に熱い場合があるので触らないでください。熱傷するおそれがあります。ライトガイド棒の先端が冷えるまで（5分）手を触れないでください。

(1) 本製品の検査ボタンを約2秒間押し続けます。

検査ボタンおよび検査表示灯の「準備」がオレンジ色に点滅します。
ライトが消灯したことを確認します。



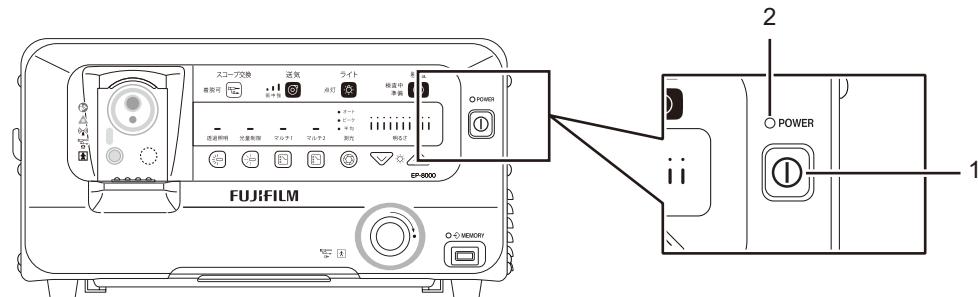
1	検査ボタン
2	検査表示灯

(2) 検査ボタンおよび検査表示灯の「準備」がオレンジ色に点灯したことを確認します。

(3) 内視鏡を取り外します。

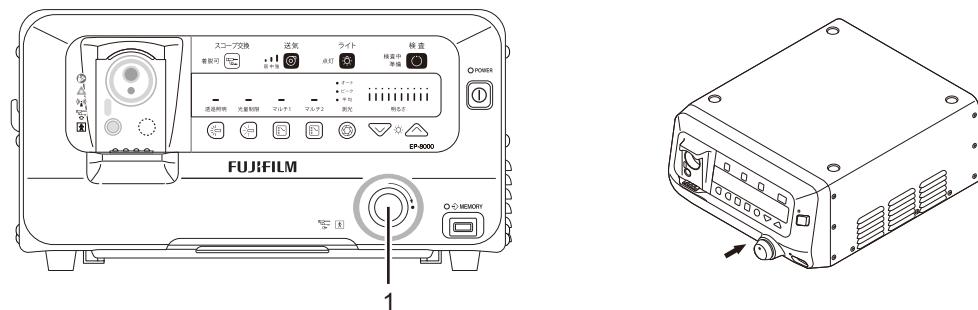
7.33 装置の電源遮断

- (1) 本製品の電源ボタンを押して電源を切ります。
電源表示灯が消灯します。



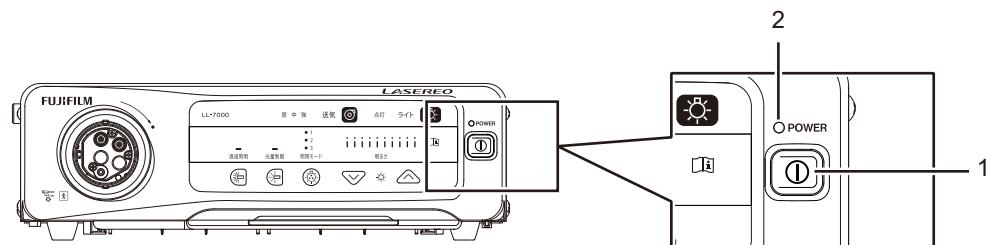
1	電源ボタン
2	電源表示灯

- (2) 本製品の電気コネクターソケットに、ソケット保護キャップを装着します。



1	電気コネクターソケット
---	-------------

- (3) LL-7000 を使用している場合は、LL-7000 の電源ボタンを押して、電源を切ります。
電源表示灯が消灯します。



1	電源ボタン
2	電源表示灯

- (4) カート、周辺機器の電源を切ります。

参考

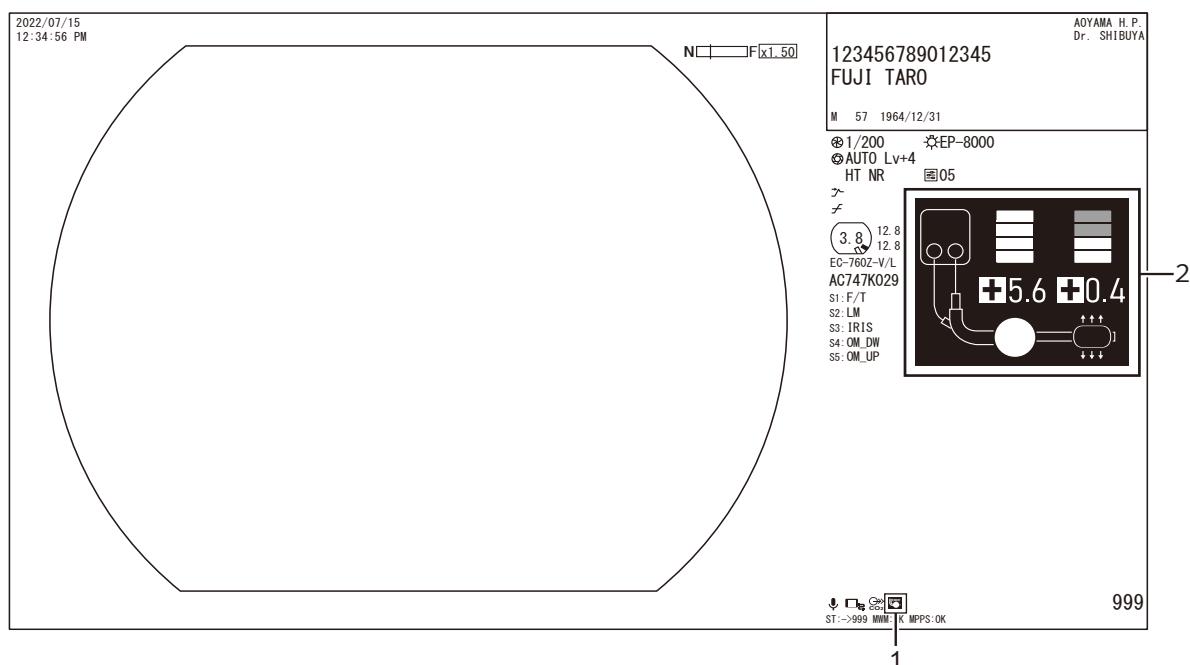
- カート、周辺機器の取扱説明書を参照してください。

7.34 バルーンコントローラーの作動

注 意

- モニターに表示されているバルーンの状態表示に異常を感じた場合は、バルーンコントローラの表示を確認してください。意図せず通信が切断され、リアルタイムにモニターに表示できない可能性があり、検査時間が延びるおそれがあります。

- (1) バルーンコントローラーの取扱説明書に従って作動させます。スコープスイッチのバルーン送排気 DBE_OT やバルーン送排気 DBE_ES を割り当てたスイッチを押すとバルーンへの送気または排気を切り替えることができます。ブザーが鳴っているときに、スコープスイッチのブザー停止 PB を割り当てたスイッチを押すとブザーが止まります。
- (2) 観察画面にて、バルーンコントローラーの状態を確認します。



1 バルーンコントローラー

参考

- バルーンコントローラーとの接続状態を表示します。

接続中 :

未接続 :

2 バルーンコントローラー情報

参考

- バルーンコントローラー情報を表示します。

→「3.9.6 バルーンコントローラー情報の表示」

第 8 章 画像の記録

本製品では、プリンター、デジタルプリンターで画像をプリントすることや、動画記録装置に画像を記録することができます。正常にプリント / 記録できることをご確認の上ご使用ください。

参考

- ・プリンターと液晶モニターでは表示特性が異なるため、プリンターから出力した画像は、液晶モニターに表示されている画像とは色が異なることがあります。

8.1 プリンターの制御方式

プリンターは、リモート端子から制御するリモート式で制御します。

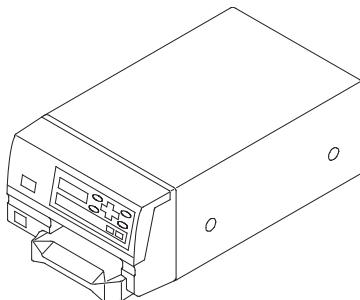
リモート式は、本製品から直接制御するために、めんどうな設定がなく、データの転送も不要です。

8.2 プリンター（リモート式）で画像をプリントするには

本製品にプリンターを接続すると、液晶モニターで観察した画像をプリント用紙にプリントすることができます。

参考

- 本製品には2つのリモート端子（リモート端子1、リモート端子2）があります。各リモート端子の接続割り当ての設定は、サービスマンが行います。



8.2.1 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチ、フットスイッチによって画像が取り込まれます。

参考

- 画像取り込みスイッチの割り当ての設定は設置時にサービスマンが行います。
- 「4.2.9 スコープタブ」
- 「4.2.10 フットスイッチャタブ」

8.2.2 プリンターの設定

プリンター（リモート式）の取り込みの場合は「周辺機器設定」の「プリンター設定」を「使用しない」に設定します。

→「5.4.4 プリンタタブ」

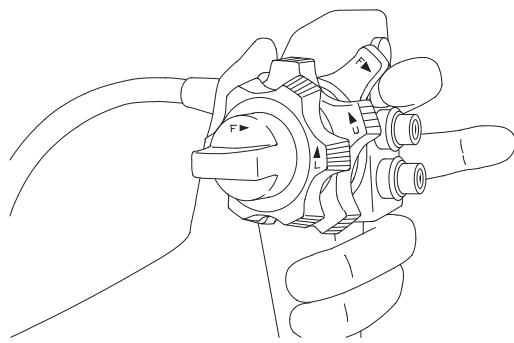
周辺機器設定		
内部メモリー	プリンター設定	使用
外部メモリー	プリント枚数	1
ネットワーク	マルチプリント	4in1
プリンタ		
記憶装置		
転送設定		
DICOM 設定		
TABLET		
[↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル		
設定終了		

8.2.3 画像の取り込み

画像をプリンター本体に取り込みます。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

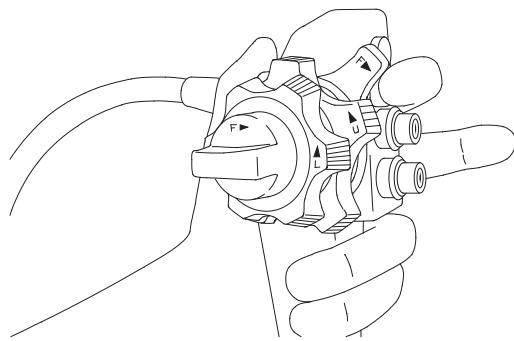
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「freeze」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。



参考

- 「freeze」を割り当てるスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。

- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルレトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。



→「4.2.9 スコープタブ」

<フットスイッチで取り込む場合>

参考

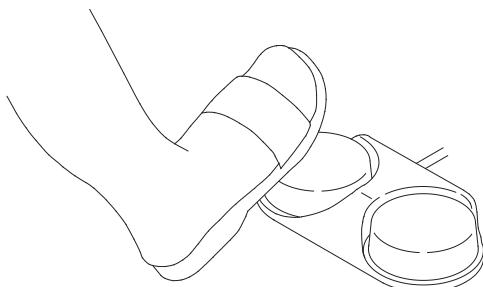
- プリンターに直接接続されるフットスイッチの設定は、機器により異なります。詳しくは各プリンターの取扱説明書を参照してください。

- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「freeze」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。

参考

- 「freeze」を割り当てるスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。

(2) 画像が静止している間にフットスイッチを足で押すと画像が取り込まれます。



<リモコンで取り込む場合>

(1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。

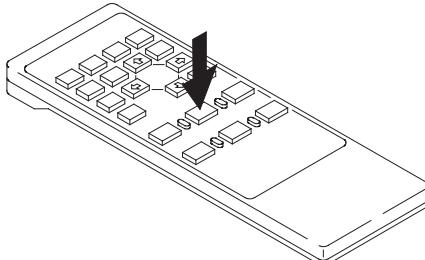
参考

- 「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。

(2) 画像が静止している間にリモコンの CAPTURE ボタンを押すと画像が取り込まれます。

参考

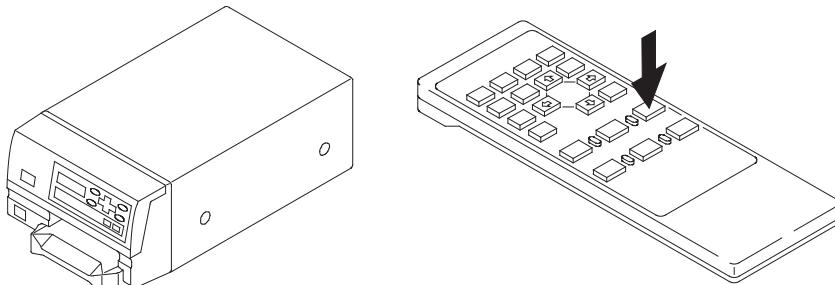
- リモコンのボタン名称は機器により異なります。詳しくは各プリンターの取扱説明書を参照してください。



8.2.4 画像のプリント

取り込んだ画像をプリントします。

プリンター本体またはリモコンのプリントボタンを押すと、プリントされます。

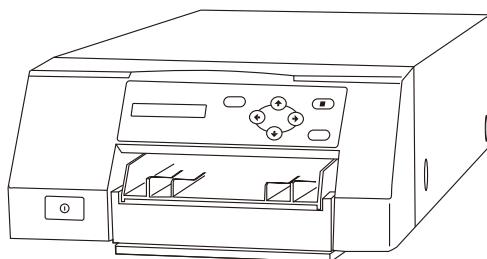


8.3 デジタルプリンターで画像をプリントするには

本製品にデジタルプリンターを接続すると、モニターで観察した画像をプリント用紙にプリントすることができます。

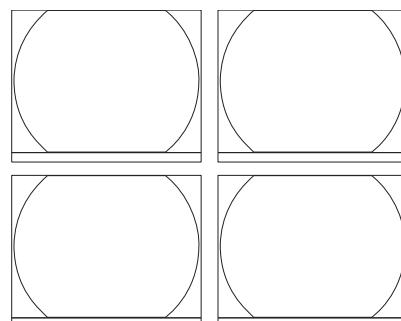
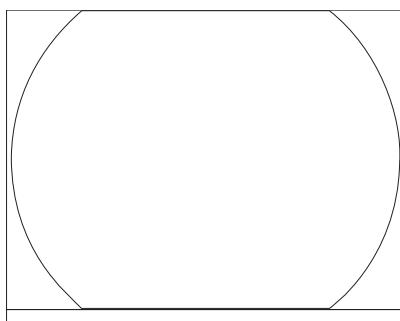
参考

- プリント時は「L サイズ」の用紙を使用してください。「S サイズ」の用紙を使用すると、正常にプリントできません。



1 枚のプリント用紙に 1 画像または複数画像（4 画像など）をプリントすることができます。

→ 「5.4.4 プリンタタブ」



プリント用紙の余白に、患者名、患者 ID、日時を印刷することができます。

→ 「5.2 プロセッサーへの患者情報登録・編集」

参考

- 患者情報を登録したり、新しい患者情報に切り替えたとき、患者情報をプリンターに送信します。患者情報をプリンターに送信している間（約 30 秒間）は、画像は取り込めません。また、患者情報を送信すると、それまでプリンターに取り込まれていた画像は強制的にプリントされます。

8.3.1 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチ、フットスイッチによって画像が取り込まれます。

参考

- ・画像取り込みスイッチの割り当ての設定は設置時にサービスマンが行います。
- ➔ 「4.2.9 スコープタブ」
- ➔ 「4.2.10 フットスイッチャタブ」

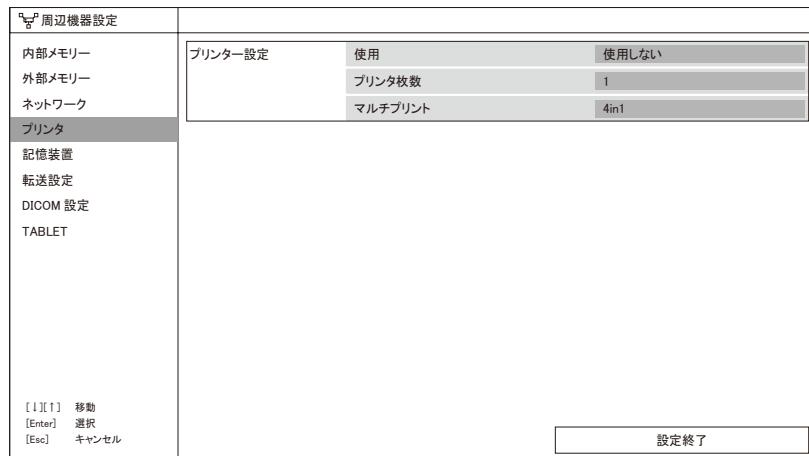
8.3.2 プリンターの設定

参考

- ・あらかじめ使用するプリンターを登録しておく必要があります。登録はサービスマンが行います。

プリンターの機種名を選択し、プリント枚数、1枚のプリント用紙にプリントする画像枚数を設定します。使用するプリンターの機種によっては、設定が固定されている項目があります。

- ➔ 「5.4.4 プリンタタブ」

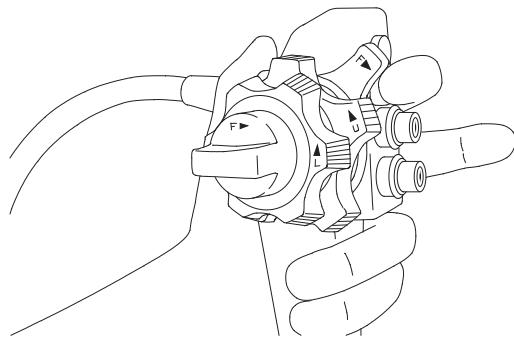


8.3.3 画像の取り込み

画像をプリンター本体に取り込みます。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

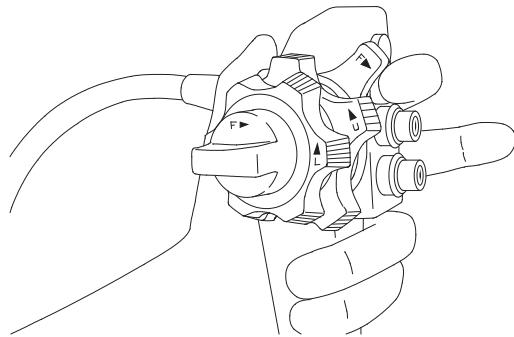
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。



参考

- 「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。

- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルルトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。



→「4.2.9 スコープタブ」

<フットスイッチで取り込む場合>

参考

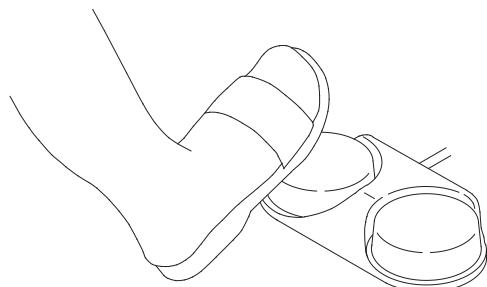
- プリンターに直接接続されるフットスイッチの設定は、機器により異なります。詳しくは各プリンターの取扱説明書を参照してください。

- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。

参考

- 「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。

(2) 画像が静止している間にフットスイッチを足で押すと画像が取り込まれます。



8.3.4 プリントモードの設定

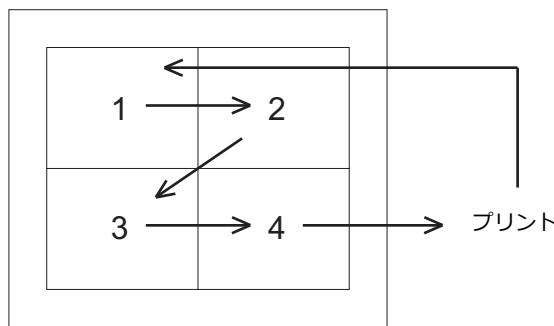
デジタルプリンターの場合、プリントモードによってプリントの実行方法を設定します。「自動」、「手動」の2種類から選択します。ここでは、プリント用紙に4画像をプリントする際の画像の取り込まれ方を例に、それぞれのモードについて説明します。

参考

- ・プリントモードの設定は設置時にサービスマンが行います。
- ・圧縮率が「1/1 (TIFF)」の画像は、プリント前に取り込み画像をプレビュー画面で確認することができません。

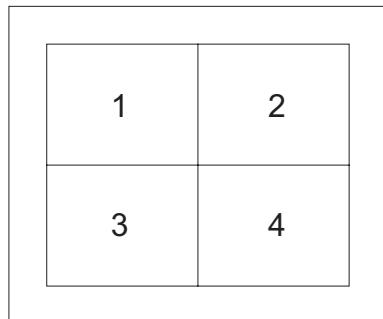
<自動モード>

"1" から順に画像を取り込み、"4" まで取り込むと自動的にプリントします。プリントが終了すると再び "1" に戻り、前の画像を消して、その上から取り込んでいきます。



<手動モード>

プリントしたい画像をサムネイル表示画面から選択してプリントします。



プリント前に、取り込み画像をプレビュー画面で確認できます。

プリントするには、下記を参照してください。

➔ 「8.8.4 検索した画像のプリント (デジタルプリンターのみ)」

8.4 動画記録装置（動画記録装置のボタン）で動画記録するには

本製品に動画記録装置を接続することによって内視鏡画像の動画記録が行えます。

8.4.1 動画記録装置のボタンで動画記録をする

動画記録装置の種類によって操作方法が異なります。

各動画記録装置の取扱説明書を参照してください。

8.5 動画記録装置（スコープスイッチ）で動画記録するには

8.5.1 動画記録スイッチの割り当て

内視鏡の「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチによって動画が取り込まれます。

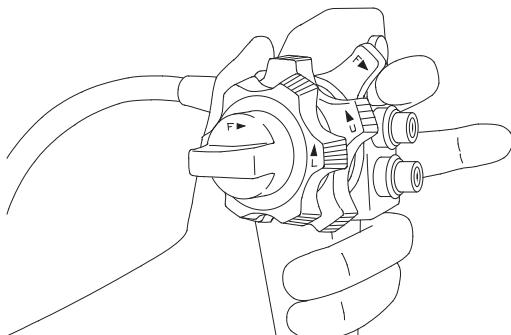
参考

- リモート設定を「トリガー」に設定する必要があります。リモート設定はサービスマンが行います。

→「4.2.9 スコープタブ」

8.5.2 動画記録の開始

「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチを押すと、動画を記録開始します。もう一度操作することで一時停止します。



→「4.2.9 スコープタブ」

8.6 内部メモリーへ画像の取り込み

本製品の内部メモリーに画像を保存することができます。内部メモリーに保存した画像は、外部メモリーにコピーすることができます。初めて内部メモリーを使用する場合は「内部メモリー」の設定を行います。

→「5.4.2 内部メモリータブ」

8.6.1 内部メモリーについて

本製品は画像記録用の内部メモリーを内蔵しており、システムは内部メモリーに対して検査中の画像記録、および検査画像のネットワーク転送時のバックアップを行います。内部メモリーの画像は、検査終了後に、外部メモリーへコピー、画像サーバーへ再転送、デジタルプリンタへ再転送等を行うことができます。

内視鏡画像 SXGA サイズを記録する場合の内部メモリーに記録可能な画像枚数、および検査数の目安は以下となります。

		最大画像記録数 (全検査合計)	最大画像記録数 (1 検査あたり)	標準記録検査数 (1 検査あたり 100 画像記録時)	最小記録検査数 (各検査を最大画像記録数で記録時)
圧縮率	1/1 (TIFF)	2,771	310	27	8
	1/5 (JPEG)	19,729	999	197	19
	1/10 (JPEG)	55,434	999	554	55
	1/20 (JPEG)	68,456	999	684	68

参考

- 撮影対象の画像によって記録できる枚数は変わります。

システムは検査開始時および検査終了時に内部メモリーの空き容量を確認します。内部メモリーに次の検査のための空きがなくなると、システムは外部メモリーにコピー済みの画像データ、またはネットワーク転送済みのバックアップ画像データから古い順に検査単位で画像データを削除し空き容量を確保します。

内部メモリーが外部メモリーへ未コピーの画像やバックアップ未転送画像で一杯になり、次の検査用に十分な空き容量が確保できない場合、システムは空き容量を確保するようメッセージを表示します。

外部メモリーへ画像をコピーするか、未転送バックアップ画像の再転送を行い、システムの空き容量を確保してください。

→「8.7 外部メモリーへ画像のコピー」

→「8.8.2 検索した画像の転送」

参考

- 未転送画像が残っている場合、原因の一つとしてネットワークの異常、もしくは画像サーバーの異常が考えられます。異常があるまま再転送を行っても、再度転送失敗となります。あらかじめネットワークが正しく接続されているか、ハブやルーターがある場合はそれらが正常に動作しているか、画像サーバーが正常に起動しているか等を確認してください。ネットワークやサーバーに異常がないことを確認した上で再転送を行い、サーバーに画像が正常に記録されていることを確認して下さい。
 - 未コピー画像やバックアップ未転送画像がある場合でも、それらの画像が不要な場合、画像を検索して削除、もしくは内部メモリーの初期化で全画像を削除することも可能です。削除の際は必要な画像がないか十分確認の上、削除を行ってください。
- ➔ 「8.8.3 検索した画像の削除」
- ➔ 「5.4.2 内部メモリータブ」
- ➔ 「5.4.3 外部メモリータブ」

検査開始時に内部メモリーに必要な空き容量がない場合、システムは検査を継続するか確認するメッセージを表示します。

「いいえ」を選択した場合：検査終了状態に戻ります。

「はい」を選択した場合：内部メモリーに画像記録を行わず検査を行います。ネットワーク使用時は画像バックアップを行わず画像転送のみを行います。

参考

- プリンタや外部ファイリング装置等、画像保存機能を代替する手段がない場合は、「いいえ」を選んで一旦検査終了状態にし、画像記憶容量を確保の上、再度検査開始操作を行っていただくようお願いいいたします。

8.6.2 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てるスコープスイッチ、フットスイッチによって画像が取り込まれます。

参考

- 画像取り込みスイッチの割り当ての設定は設置時にサービスマンが行います。
- ➔ 「4.2.9 スコープタブ」
- ➔ 「4.2.10 フットスイッチタブ」

8.6.3 内部メモリーへ画像の取り込み

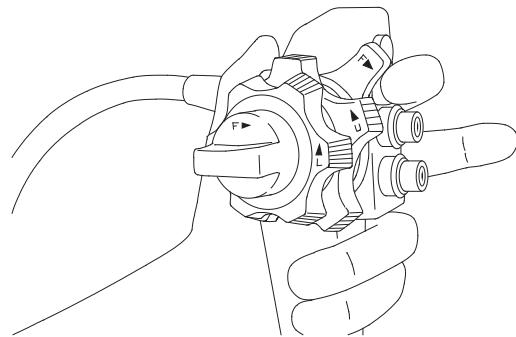
画像を内部メモリーに取り込みます。

参考

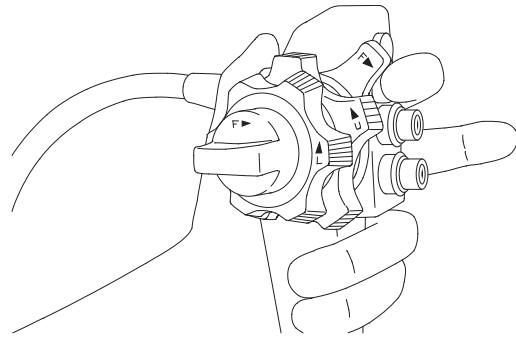
- FICE を「入」にして画像の取り込みを行うと、1回の取り込み操作で FICE 画像と通常画像の2枚の画像を内部メモリーに取り込みます。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。



- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルレトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。

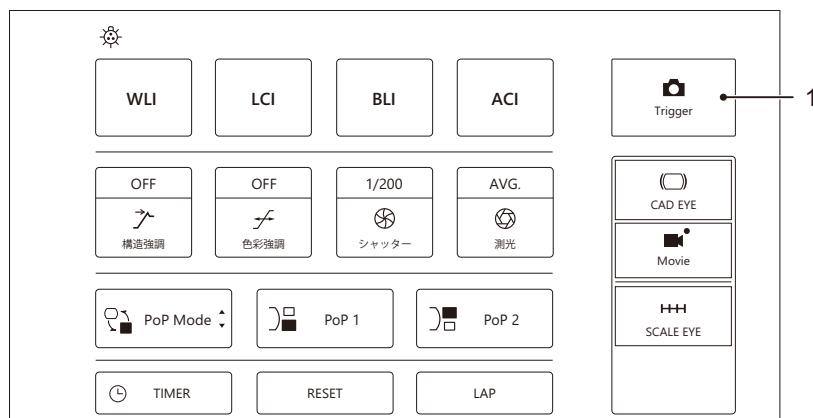


➔ 「4.2.9 スコープタブ」

<タブレットの画像取り込みボタンで取り込む場合>

スコープスイッチの「シングルトリガー」と同様の動作を行います。

- (1) 画像取り込みボタンをタップすると、観察画面に表示されている画像を静止画として取り込みます。



1 画像取り込みボタン

→「3.12.1 タッチ GUI 領域」

8.7 外部メモリーへ画像のコピー

内部メモリーに保存した画像は、外部メモリーにコピーすることができます。

8.7.1 外部メモリーについて

以下の使用可能な外部メモリーをご使用ください。

メーカー	型番	容量
Swissbit	SFU3016GE1AE2TO-I-GS-1A1-STD	16GB
	SFU3016GE1AE2TO-I-GS-1AP-STD	
	SFU3016GE1AE1TO-I-QC-1A1-STD	
	SFU3016GE1AE1TO-I-QC-1B1-STD	

外部メモリーの容量に空きがあるのに外部メモリーに画像が保存できない場合は、新しい外部メモリーを用意するか、使用中の外部メモリーをパーソナルコンピュータ（Windows）でFAT形式（FAT32形式）にフォーマットしてください。

FATとはハードディスクに保存するデータを管理するためのシステムです。FAT32は2048GB（2TB）まで管理できます。

外部メモリーはFAT32形式でフォーマットしてください。

→「5.4.3 外部メモリータブ」

参考

- 外部メモリーに書き込み中は、外部メモリーを抜かないでください。プロセッサーが正常に動作しなくなるおそれがあります。もし、抜いてしまった場合は、再度プロセッサーの電源を入れ直してください。

8.7.2 外部メモリーへ画像のコピー

検査終了の状態で、本製品に外部メモリーを装着し、内部メモリー内の画像を外部メモリーにコピーすることができます。当日の検査データを簡易的にコピーする方法と、画像検索機能によりコピーする方法があります。

また、検査中に内部メモリーへ記録された画像を、外部メモリーに自動コピー（同時記録）することもできます。

<当日の検査データを簡易的にコピーする方法>

当日の検査データは画像検索を行わず、データキーボード操作のみで外部メモリーにコピーすることができます。

参考

- 検査開始操作後、最初に画像を取得した時間で、当日かどうかを判定します。検査終了が画像コピーの日と同じでも最初の画像記録が前日の場合、コピーの対象になりませんので、その場合は後述の画像検索によるコピーを用いてください。

(1) 外部メモリーを用意します。

参考

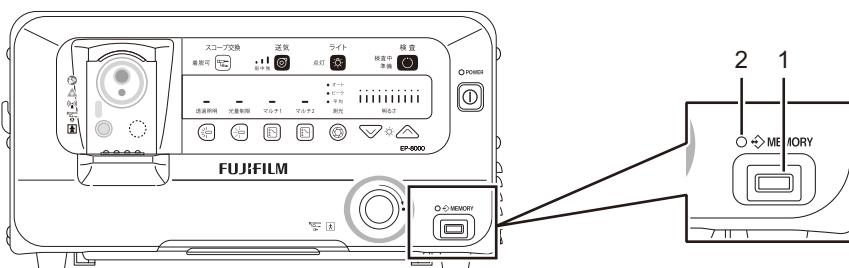
- 外部メモリーはあらかじめ必要なバックアップを取った上で本機もしくは外部PC等で初期化し、コピーに必要な空きを確保してください。
- 不要なデータの削除でも、空き容量を確保は可能ですが、空き容量が不十分だとコピーが完了しない可能性があります。十分余裕を持った空き容量の確保をしてください。
- 当日2度コピーを行った場合等、既に同じファイル名のデータが外部メモリーに残っている場合、データは上書きされます。外部PC等で編集した画像が残っていないかなど、十分ご確認をお願いします。

(2) 検査終了の状態で、メモリースロットに外部メモリーを装着します。

メモリーアクセスランプが緑色に点灯します。

参考

- 検査状態ではコピーはできません。



1	メモリースロット
2	メモリーアクセスランプ

(3) データキーボードの [Alt] キーと [C] キーを同時に押します。

(4) 「本日の検査データをコピーします。よろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーを開始します。書き込み中はメモリーアクセスランプがオレンジの点滅になります。「いいえ」を選択するとコピーはしません。

i 本日の検査データをコピーします。
よろしいですか？

00236

いいえ

はい

(5) コピーが完了し、メモリーアクセスランプが緑点灯になったら外部メモリーは取り外し可能です。外部メモリーを取り外し、バックアップ先の外部PC等で必要なデータがコピーされているか確認してください。

参考

- メモリーアクセスランプがオレンジの点滅をしている場合は外部メモリーを取り外さないでください。その状態で外部メモリーを取り外すとコピー中のデータや外部メモリー自身が破損する可能性があります。

<画像検索機能によりコピーする方法>

(1) 外部メモリーを用意します。

参考

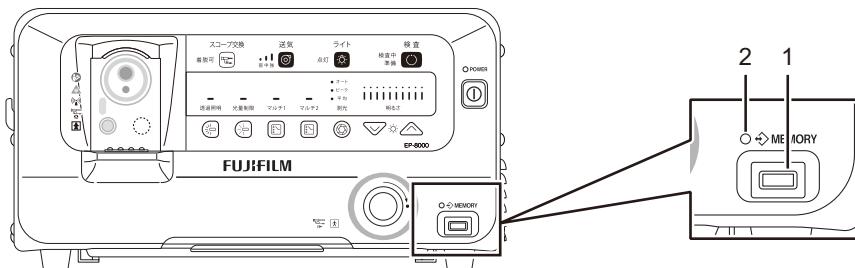
- 外部メモリーはあらかじめ必要なバックアップを取った上で本機もしくは外部PC等で初期化し、コピーに必要な空きを確保してください。
- 不要なデータの削除でも、空き容量を確保は可能ですが、空き容量が不十分だとコピーが完了しない可能性があります。十分余裕を持った空き容量の確保をしてください。
- 当日2度コピーを行った場合等、既に同じファイル名のデータが外部メモリーに残っている場合、データは上書きされます。外部PC等で編集した画像が残っていないかなど、十分ご確認をお願いします。

(2) 検査終了の状態で、メモリースロットに外部メモリーを装着します。

メモリーアクセスランプが緑色に点灯します。

参考

- 検査状態ではコピーはできません。



1	メモリースロット
2	メモリーアクセスランプ

(3) 「8.8.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。リストのページを変更する場合は「検索結果 1/4 (~ 4/4)」にカーソルを合わせ、[←]、[→]キーを押します。

- (4) 検索結果のリスト内容を全て外部メモリーにコピーする場合は[A]キーを押します。検索結果のリストのうち特定の検査データをコピーする場合は、コピーしたい検査データにカーソルを合わせた状態で[C]キーを押します。

検索		検索条件	:	NA	NA
		検索結果	1 / 7		
番号	検査日時	患者ID		患者名	検査日時
✓ 01	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name *****	Exam No 0000000000	
✓ 02	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name *****	Exam No 0000000000	
✓ 03	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name *****	Exam No 0000000000	
✓ 04	2021/02/22				
✓ 05	2021/02/22				
✓ 06	2021/02/22				
✓ 07	2021/02/22				
✓ 08	2021/02/22				
09	2021/02/17				
10	2021/02/09				
11	2021/02/09				
12	2021/02/09				
13	2021/02/09				
14	2021/02/09				
15	2021/02/09				

【↑↓】 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル
[A] 全てコピー
[C] コピー
[N] 転送
[D] 削除
[P] Correct Patient Info.
[W] Correlate Worklist

検索結果 1 / 7

- (5) 検査データをコピーするか、確認のメッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーを開始します。書き込み中は外部メモリー用の表示がオレンジの点滅になります。
- (6) コピーが完了し、外部メモリー用の表示が緑点灯になつたら外部メモリーは取り外し可能です。外部メモリーを取り外し、バックアップ先の外部PC等で必要なデータがコピーされているか確認してください。

参考

- メモリーアクセスランプがオレンジの点滅をしている場合は外部メモリーを取り外さないでください。その状態で外部メモリーを取り外すとコピー中のデータや外部メモリー自身が破損する可能性があります。

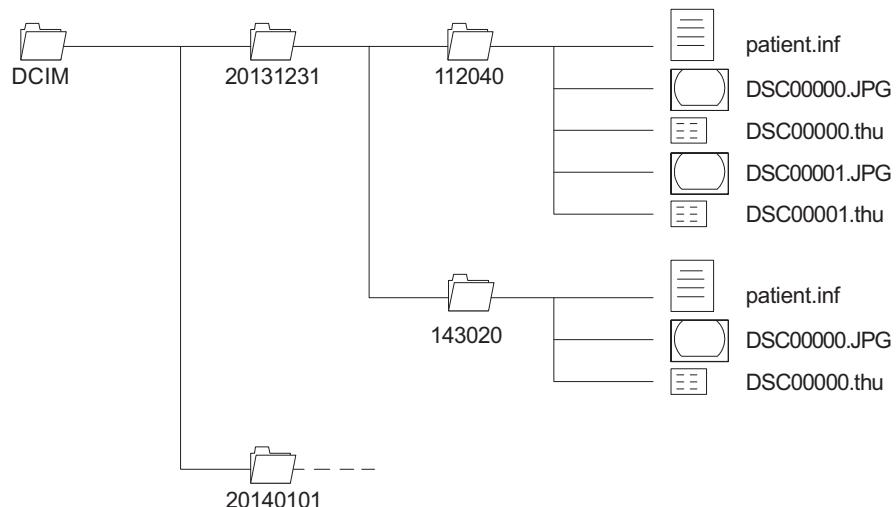
8.7.3 外部メモリーに記録された画像の確認

<内部メモリー保存時>

外部メモリーに保存した画像データは、外部メモリーの読み込みができるパソコン 컴퓨터で確認することができます。

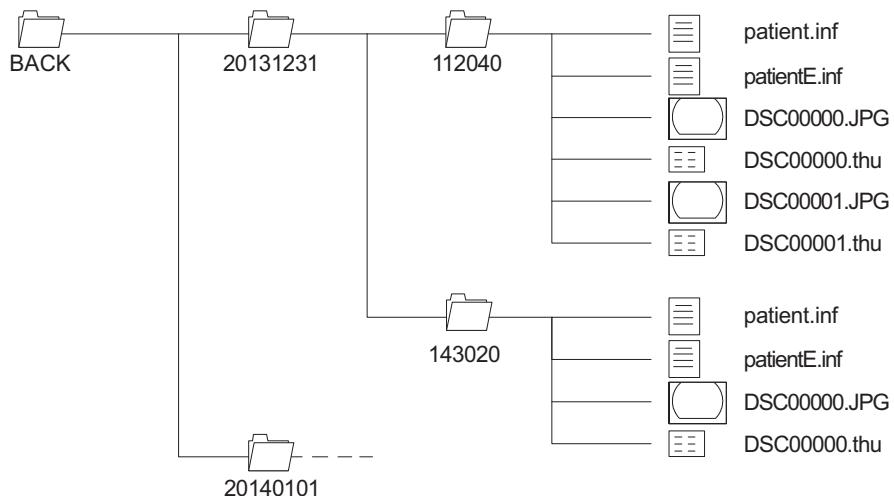
画像を取り込むと、外部メモリー内に名称が「日付」のフォルダが生成され、さらにその中に名称が「時刻」のフォルダが生成されます。撮影した画像データはそのフォルダ内に保存されていきます。

(例：2013年12月31日11時20分40秒から撮影開始されたデータは、外部メモリー内の「¥DCIM¥20131231¥112040」フォルダに保存されています)



<FTPサーバー転送時>

周辺機器設定の外部メモリータブで「画像データ自動コピー」をONにすると「BACK」フォルダが生成され、その中に名称が「日付」と「時刻」のフォルダが生成されます。撮影した画像データはそのフォルダ内に保存されていきます。(例: 2013年12月31日11時20分40秒から撮影開始されたデータは、外部メモリー内の「¥BACK ¥20131231 ¥112040」フォルダに保存されています)



参考

- ・ファイル名の拡張子が「.thu」のファイルは、サムネイル表示用の画像です。(例: DSC0001.thu)
- ・ファイル名の拡張子が「.inf」のファイルは、患者情報ファイルです。検索や装置の設定で使用しますので、直接編集・上書きしないでください。
- ・外部メモリーに記録した画像データは、直接編集しないでください。編集する場合は、一旦別の場所(パソコン用コンピュータのハードディスクなど)にコピーした画像を編集してください。外部メモリーに記録した画像データを直接編集・上書きすると、プロセッサーで再生できなくなります。

8.8 内部・外部メモリー内の画像を検索、プリントするには

8.8.1 内部・外部メモリー内の検索

内部メモリーまたは外部メモリーに記録した画像は、検索画面で患者 ID や検査日付によって絞り込み、リスト表示やサムネイル表示をすることができます。サムネイル表示画面では、画像を選択して拡大表示したり、プリントしたりすることもできます。

参考

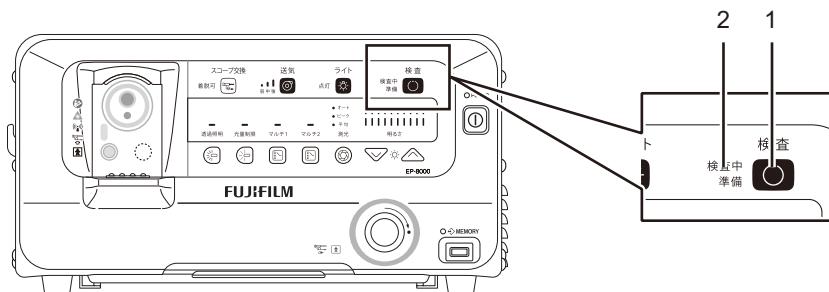
- 内視鏡の動作中には、検索画面は表示されません。
- 検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、RGB TV 端子、ビデオ端子に接続しているモニターの画面にも表示されます。
- ネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーにバックアップした画像データは、FTP サーバーに未転送の画像データであればマーク (✗) が、FTP サーバーに転送済みの画像データであればマーク (✓) が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- 外部メモリーの画像データには  が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- コピー済みの画像データには ✓ が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。

検索	
検索	
全検索開始	
<input type="text" value="検査番号 or 患者ID"/> 	
<input type="text" value="検査日付"/> / / /	
内部メモリー画像	含めない
外部メモリー画像	含めない
FTP未転送バックアップ画像	含めない
FTP転送済みバックアップ画像	含めない
DICOM未転送バックアップ画像	含めない
DICOM転送済みバックアップ画像	含めない
検索開始	
<small>【↑↓】 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル</small>	

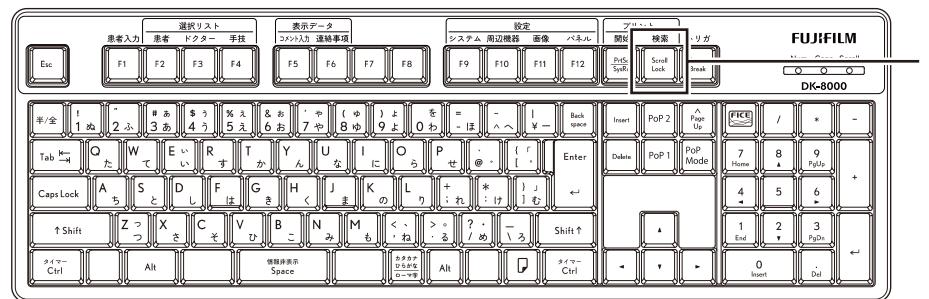
- (1) 検査ボタンを約2秒間押し続けて、検査表示灯の「準備」がオレンジ色に点灯している状態で、データキーボードの[検索]キーを押します。検索画面が表示されます。

参考

- 内部・外部メモリー内の検索は、検査ボタンを押してオレンジ色の「準備」が点灯しているときに行なうことができます。



1	検査ボタン
2	検査表示灯



1	[検索]キー
---	--------

- (2) 検索の条件を設定します。検査番号または患者IDで検索する場合は「検査番号 or 患者ID」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。文字入力が可能となるので、検査番号または患者IDを入力します。

参考

- 患者IDは前方一致検索です。

- (3) 検査日付で検索する場合は、「検査日付」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。日付を入力し、[Enter]キーを押すたびに次の入力が可能となります。
- (4) 検索の対象とする画像を選択します。「内部メモリー画像」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。ポップアップメニューが表示されますので、内部メモリーに保存されている画像データを含めるか含めないかを選択し、[Enter]キーを押します。同様に「外部メモリー画像」「FTP未転送バックアップ画像」「FTP転送済みバックアップ画像」「DICOM未転送バックアップ画像」「DICOM転送済みバックアップ画像」についても含めるか含めないかを選択し、[Enter]キーを押します。

内部メモリー画像：

内部メモリーに保存された画像データ

→「5.4.2 内部メモリータブ」

外部メモリー画像：

内部メモリーから外部メモリーにコピーされた画像

→「8.7 外部メモリーへ画像のコピー」

FTP未転送バックアップ画像：

転送設定タブのネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーをバックアップモードにしていたときに、FTPサーバーに転送されず内部メモリーのみに保存された画像データ

FTP転送済みバックアップ画像：

転送設定タブのネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーをバックアップモードにしていたときに、FTPサーバーへ転送が完了している画像データ

→「5.4.5 転送設定タブ」

DICOM未転送バックアップ画像：

DICOM設定タブのStorage設定の「画像保存(Storage)」を「使用する」にして内部メモリーをバックアップモードにしていたときに、DICOMサーバーに転送されず内部メモリーのみに保存されていた画像データ

DICOM転送済みバックアップ画像：

DICOM設定タブのStorage設定の「画像保存(Storage)」を「使用する」にして内部メモリーをバックアップモードにしていたときに、DICOMサーバーへ転送が完了している画像データ

→「5.4.6 DICOM設定タブ」

(5) 「検索」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

「患者 ID」または「検査日付」のみ、「患者 ID」「検査日付」両方の一致する条件で検索できます。

参考

- 内部メモリーおよび外部メモリー内のすべての画像をリスト表示する場合は、「全検索開始」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

(6) 検索が完了すると、検索結果をリスト表示します。

リストのページを変更する場合は「検索結果（～4/4）」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

参考

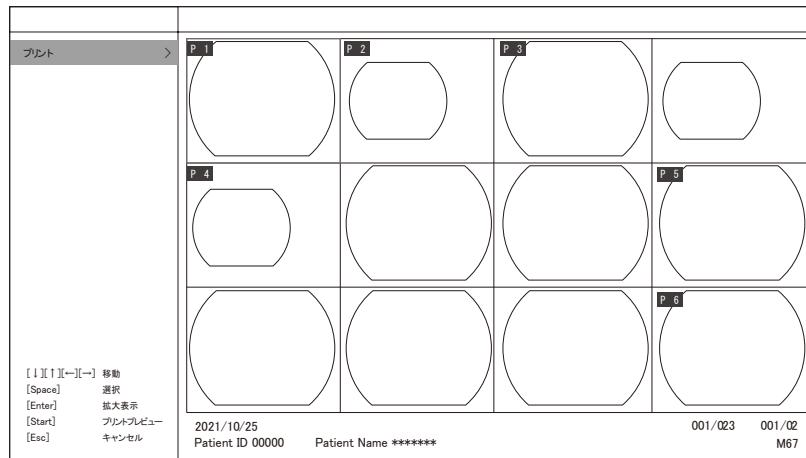
- 検索結果は新しいものから表示されます。
- リスト化できる件数は 1,000 件までです。
- 転送設定タブのネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーにバックアップした画像データは、FTP サーバーに未転送の画像データであればマーク (✓) が、FTP サーバーに転送済みの画像データであればマーク (✗) が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- DICOM 設定タブの Storage 設定の「画像保存 (Storage)」を「使用する」にして内部メモリーにバックアップした画像データは、DICOM サーバーに未転送の画像データであればマーク (✗) が、DICOM サーバーに転送済みの画像データであればマーク (✓) が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- 外部メモリの画像データには ✗ が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- コピー済みの画像データには ✓ が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。

検索		検索条件	:	NA	NA
		検索結果	1 / 7		
		番号	検査日時	患者ID	患者名
		✓ 01	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name ***** Exam No 0000000000
		✓ 02	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name ***** Exam No 0000000000
		✓ 03	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name ***** Exam No 0000000000
		✓ 04	2021/02/22		
		✓ 05	2021/02/22		
		✓ 06	2021/02/22		
		✓ 07	2021/02/22		
		✓ 08	2021/02/22		
		09	2021/02/17		
		10	2021/02/09		
		11	2021/02/09		
		12	2021/02/09		
		13	2021/02/09		
		14	2021/02/09		
		15	2021/02/09		
[↑][↓] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル [A] 全てコピー [C] コピー [N] 転送 [D] 削除 [P] Correct Patient Info. [W] Correlate Worklist		検索結果	1 / 7		

- (7) 表示する画像リスト番号にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
選択したリストの画像がサムネイルで表示されます。

参考

- 検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、RGB TV 端子、ビデオ端子接続しているモニターにも表示されます。



8.8.2 検索した画像の転送

内部・外部メモリーから検索した画像の転送方法について説明します。

- (1) 「8.8.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。リストのページを変更する場合は「検索結果 X/X (～X/X)」にカーソルを合わせ、[←]、[→]キーを押します。

検索条件		NA	NA
検索結果 1 / 7			
番号	検査日時	患者ID	患者名
✓ 01	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name ***** Exam No 0000000000
✓ 02	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name ***** Exam No 0000000000
✓ 03	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name ***** Exam No 0000000000
✓ 04	2021/02/22		
✓ 05	2021/02/22		
✓ 06	2021/02/22		
✓ 07	2021/02/22		
✓ 08	2021/02/22		
09	2021/02/17		
10	2021/02/09		
11	2021/02/09		
12	2021/02/09		
13	2021/02/09		
14	2021/02/09		
15	2021/02/09		

[↑][↓] 移動
[Enter] 選択
[Esc] キャンセル
[A] 全てコピー
[C] コピー
[N] 転送
[D] 削除
[P] Correct Patient Info.
[W] Correlate Worklist

検索結果 1 / 7

- (2) [↑]、[↓]キーで、転送する画像リスト番号にカーソルを合わせ、[N]キーを押します。「選択した検査データをサーバーに転送します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると画像を転送します。

「いいえ」を選択すると検索結果の一覧表示画面に戻ります。

参考

- 転送設定タブのネットワーク設定の「使用」で「使用しない」を設定している場合、またはDICOM設定タブのStorage設定の「画像保存(Storage)」を「使用しない」にしている場合、[N]キーを押しても、画像の転送はされません。

8.8.3 検索した画像の削除

内部メモリー、および外部メモリーから検索した画像の削除方法について説明します。

- (1) 「8.8.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。リストのページを変更する場合は「検索結果 X/X (～X/X)」にカーソルを合わせ、[←]、[→]キーを押します。

検索		検索条件	:	NA	NA
		検索結果 1 / 7			
番号		検査日時		患者ID	患者名
✓	01	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name *****	Exam No 0000000000
✓	02	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name *****	Exam No 0000000000
✓	03	2021/03/03	Patient ID 00000	Patient Name *****	Exam No 0000000000
✓	04	2021/02/22			
✓	05	2021/02/22			
✓	06	2021/02/22			
✓	07	2021/02/22			
✓	08	2021/02/22			
	09	2021/02/17			
	10	2021/02/09			
	11	2021/02/09			
	12	2021/02/09			
	13	2021/02/09			
	14	2021/02/09			
	15	2021/02/09			
[↑][↓] 移動		検索結果 1 / 7			
[Enter]	選択				
[Esc]	キャンセル				
[A]	全てコピー				
[C]	コピー				
[N]	転送				
[D]	削除				
[P]	Correct Patient Info.				
[W]	Correlate Worklist				

- (2) [↑]、[↓]キーで、転送する画像リスト番号にカーソルを合わせ、[D]キーを押します。「選択した検査データを削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。
「はい」を選択すると画像を削除します。
「いいえ」を選択すると検索結果の一覧表示画面に戻ります。

参考

- 削除した検査情報は、グレーアウトされます。グレーアウトされた検査情報は、[↑]、[↓]キーを押した場合、スキップされ選択することができなくなります。
- この操作をすると検査データは消去されますが、リスト番号は検索結果のリストに残ります。リストから消去するには、[Esc]キーを押して観察画面に戻り、再度検索してください。

8.8.4 検索した画像のプリント（デジタルプリンターのみ）

内部メモリー、および外部メモリーから検索して表示した画像のプリント方法について説明します。

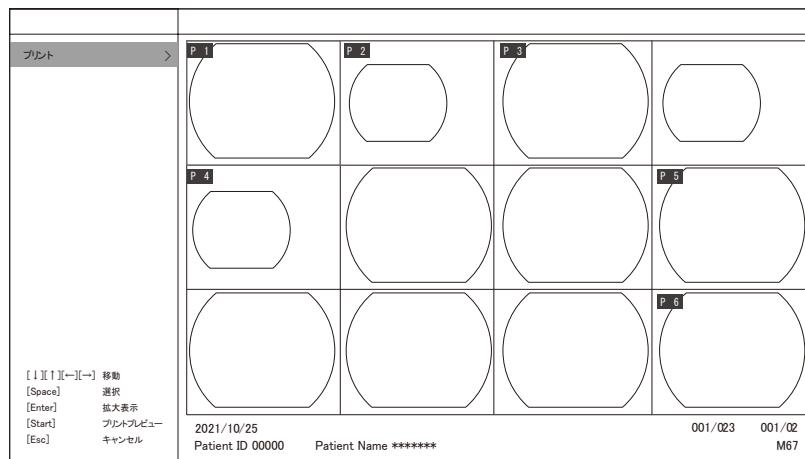
内部メモリー、および外部メモリーから検索して表示した画像は、デジタルプリンターでプリントすることができます。画像のプリント方法については、取扱説明書をご参照ください。

プリンターの設定については「5.4.4 プリントタブ」を参照してください。

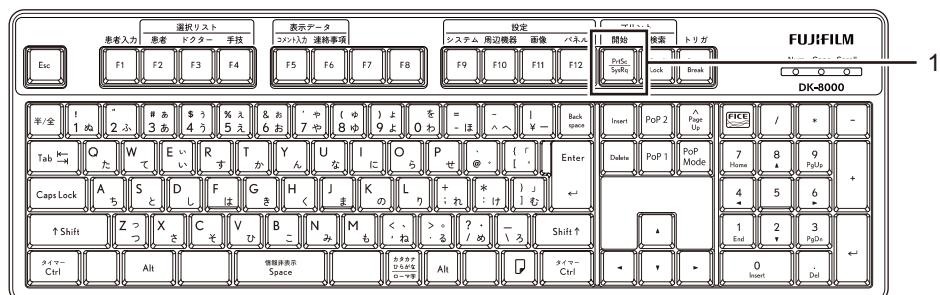
- (1) 「8.8.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、画像をサムネイル表示します。
- (2) [←][→][↑][↓] キーで画像を選択します。選択されている画像はボックスカーソルで囲まれます。
最下段でさらに [↓] キーを押すと、次のページに移動します。
- (3) プリントする画像にボックスカーソルを合わせ、[Space] キーを押します。
選択した画像に、「P」マークがつきます。もう一度 [Space] キーを押すと「P」マークが解除します。
画像を選択した状態で [Enter] キーを押すと、選択した画像を拡大表示します。

参考

- 検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、RGB TV 端子、ビデオ端子に接続しているモニターにも表示されます。

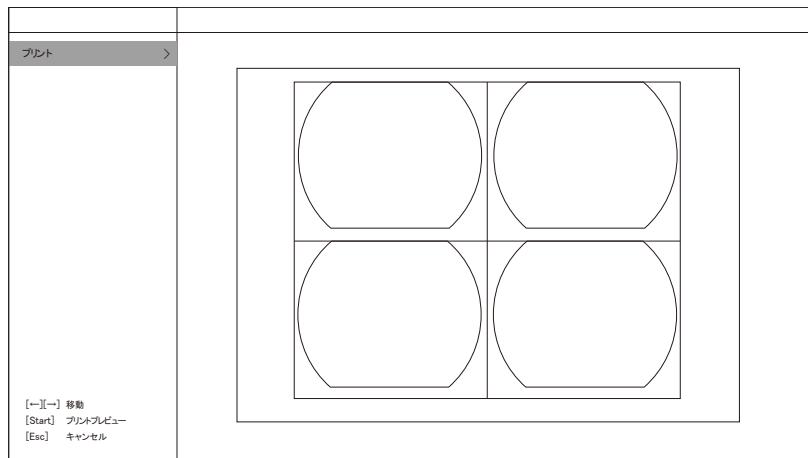


- (4) (2)～(3)を繰り返し、プリントする画像すべてに「P」マークをつけます。
データキーボードの [開始] キーを押します。
プリントプレビューを表示します。



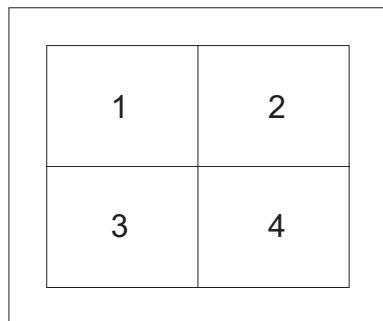
1 [開始] キー

- (5) [←]、[→]キーでプレビュー画面のページを変更し、すべてのプレビュー画像を確認します。
プレビュー表示の状態は、プリンターの設定によって異なります。



参考

- ・「P」マークには「P1」「P2」等の番号が選択した順に振られます。プレビュー画面では、「P1」から順番に選択された画像が配置されます。



- (6) [開始]キーを押します。

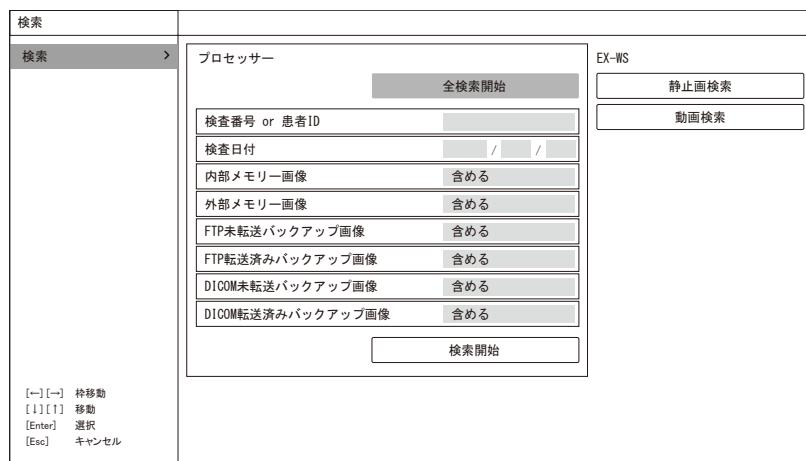
プリントプレビュー画面に表示されているすべての画像をプリントします。

8.9 汎用コンピュータ (EX-WS) の画像を検索、プリントするには

汎用コンピュータ (EX-WS) の静止画と動画を検索することができます。

参考

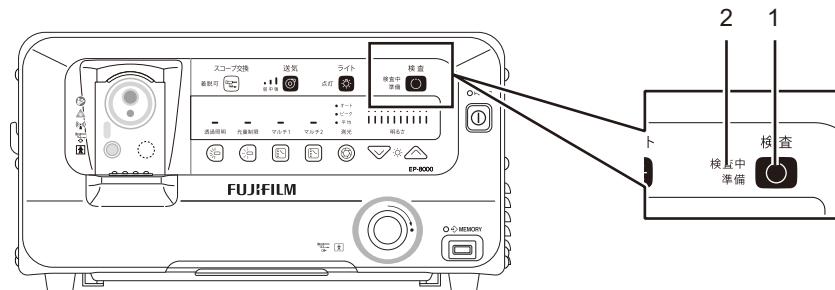
- EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。



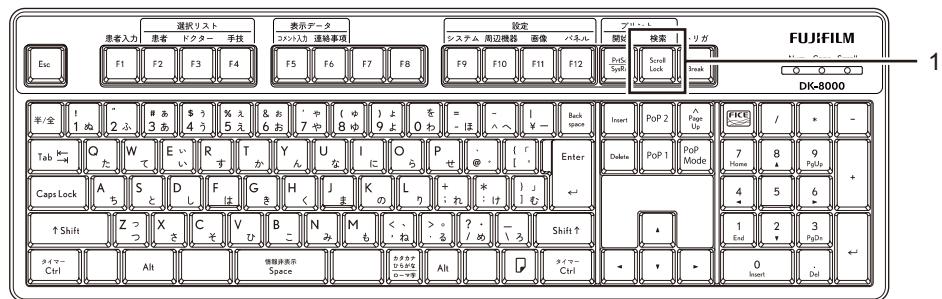
- (1) 検査ボタンを約 2 秒間押し続けて、検査表示灯の「準備」がオレンジ色に点灯している状態で、データキーボードの [検索] キーを押します。検索画面が表示されます。

参考

- 汎用コンピュータ (EX-WS) の静止画と動画の検索は、検査ボタンを押してオレンジ色の「準備」が点灯しているときに行なうことができます。



1	検査ボタン
2	検査表示灯



1	[検索] キー
---	---------

- (2) データキーボードの [→] を押します。EX-WS が選択されます。
- (3) 「静止画検索」または「動画検索」を選択し、[Enter] キーを押します。EW1 システムソフトウェアの画面に切り替わります。

参考

- EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

第9章 保管とメンテナンス

本製品の保管とメンテナンスを説明しています。

警 告

- リプロセスを行う際は、本製品の電源を切り、電源プラグをマルチタップから抜いてください。感電のおそれがあります。
- 洗浄の際は、患者の汚物が完全に除去されるまで拭いてください。感染の原因となるおそれがあります。
- 残った薬液の拭き取りが指示されている洗浄液や消毒液を使用する場合は、メーカーの指示に従って残った薬液の拭き取りを行ってください。炎症の原因となるおそれがあります。
- リプロセスを行う場合は、適切な保護具（ゴーグル、フェイスマスク、耐薬品性のある防水性手袋、防汚性の防護服または手術用ガウン、帽子、靴用カバーなど）を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。
- 本製品の使用後は、この取扱説明書の指示に従ってリプロセスを行ってください。指示に従ってリプロセスを行わないと、感染の原因となるおそれがあります。
- リプロセスのガイドラインを理解したうえで、本製品のリプロセスを行ってください。ガイドラインを理解せずにリプロセスを行った場合、感染の原因となるおそれがあります。
- 検査または処置の終了後、1時間以内にこの取扱説明書に従ってリプロセスを行ってください。1時間以内に行わないと、付着物が乾燥および固着して除去できなくなり、リプロセスが適切に行われず、感染の原因となるおそれがあります。
- 電気コネクターソケット、ソケット保護キャップ、メモリースロット、スコープコネクターソケット、製品表面の溝、段差、隙間、および周辺機器は、汚物（血液、体液、粘膜、排泄物など）と接触しないように取り扱ってください。病原体の伝播による感染のおそれがあります。
- 洗浄液および消毒液の使用方法、使用条件および使用期限については、洗浄液・消毒液の『取扱説明書』に従ってください。これに従わないと、洗浄、消毒が適切に行われず、感染の原因となるおそれがあります。

注 意

- 本製品の使用後は、この取扱説明書の指示に従ってリプロセスを行ってください。指示に従ってリプロセスを行わないと、機器が故障するおそれがあります。
- 本製品にスプレータイプの洗浄・消毒液を使用しないでください。機器が故障するおそれがあります。

注 意

- 電気コネクターソケット、メモリースロット、スコープコネクターソケットをリプロセスしないでください。金属接点が変形あるいは腐食し、機器が故障するおそれがあります。
- 本製品のラベルをリプロセスしないでください。ラベルの印字が消えるおそれがあります。

9.1 プロセッサーとデータキーボードのリプロセス

9.1.1 使用する薬剤

警 告

- 洗浄液および消毒液の使用方法、使用条件および使用期限については、洗浄液・消毒液の『取扱説明書』に従ってください。これに従わない場合、洗浄、消毒が適切に行われず、感染の原因となるおそれがあります。

< 洗浄液 >

富士フィルム製のプロセッサーおよびデータキーボードは医療用の中性洗浄液に対して材料適合性を確認しています。また、表 9.1.1.1 に記載の洗浄液を用いて洗浄バリデーションを実施しています。

本製品およびデータキーボードの洗浄には医療用の中性洗浄液を用います。洗浄液の調合および使用方法については、洗浄液製造販売業者の指示に従ってください。

表 9.1.1.1 洗浄バリデーションに使用した洗浄液

製品名	分類	製造業者
エンドザイム® AW トリプル プラス with APA	酵素系中性	Ruhof Corporation

< 消毒液 >

富士フィルム製のプロセッサーおよびデータキーボードは消毒用工タノールもしくは 1% (10000ppm) の次亜塩素酸ナトリウムに対して材料適合性を確認しています。また、表 9.1.1.2 に記載の消毒液を用いて消毒バリデーションを実施しています。

本製品およびデータキーボードの消毒には消毒用工タノールもしくは 1% (10000ppm) 以下の次亜塩素酸ナトリウムを用います。消毒液の調合および使用方法については、消毒液製造販売業者の指示に従ってください。

表 9.1.1.2 消毒バリデーションに使用した消毒液

製品名	分類	製造業者	接触時間
消毒用工タノール	アルコール系	健栄製薬株式会社	30 秒

重要

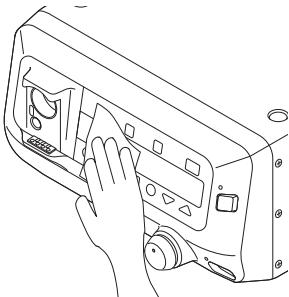
- 洗浄液および消毒液の使用方法、使用条件および使用期限については、洗浄液・消毒液の『取扱説明書』に従ってください。
- 使用前に消毒液製造販売業者の推奨する方法（試験紙など）で消毒液の効果（最低有効濃度を維持していること）を確認してください。消毒効果が不十分な消毒液は使用しないでください。

9.1.2 必要な器材

- 毛羽立ちのない清潔なガーゼ
- 綿棒

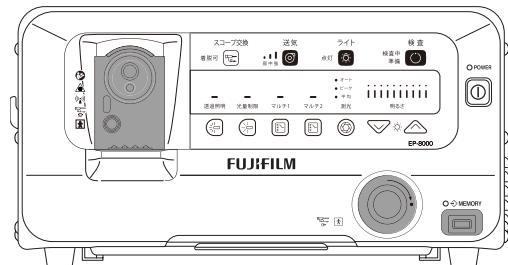
9.1.3 プロセッサーのリプロセス

- (1) 本製品の電源を切り、電源コードを抜きます。
- (2) 洗浄液（中性洗剤）を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼを用意します。
- (3) 毛羽立ちのない清潔なガーゼで患者の汚物が除去されるまで前面パネルを拭きます。

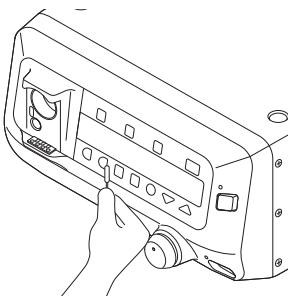


参考

- 下図の金属部分を含む斜線部分は拭かないでください。



- (4) 消毒液（消毒用エタノールまたは1%（10000ppm）以下の次亜塩素酸ナトリウム）を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼを用意します。
- (5) 手順(3)で患者の汚物を除去した部分を、消毒液を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼで拭きます。必要に応じて、ガーゼは新しい物と交換して使用します。
- (6) 凹凸がある部分は、消毒液（消毒用エタノールまたは1%（10000ppm）以下の次亜塩素酸ナトリウム）で湿らせた清潔な綿棒で表面を拭きます。



- (7) 消毒液製造販売業者が指示する接触時間、前面パネルが濡れていることを確認してください。
- (8) 前面パネルが濡れたままになっている場合、毛羽立ちのない清潔な乾いたガーゼで拭き取り、十分に乾燥させます。

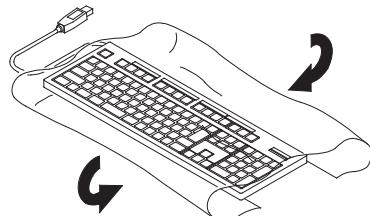
9.1.4 データキーボードのリプロセス

- (1) 洗浄液（中性洗剤）を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼを用意します。
- (2) 毛羽立ちのない清潔なガーゼで患者の汚物が除去されるまでデータキーボードの防水カバーを拭きます。
- (3) 消毒液（消毒用エタノールまたは1%（10000ppm）以下の次亜塩素酸ナトリウム）を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼを用意します。
- (4) 手順(2)で患者の汚物を除去した部分を、消毒液を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼで拭きます。必要に応じて、ガーゼは新しい物と交換して使用します。
- (5) 消毒液製造販売業者が指示する接触時間、防水カバーが濡れていることを確認してください。
- (6) 防水カバーが濡れたままになっている場合、毛羽立ちのない清潔な乾いたガーゼで拭き取り、十分に乾燥させます。

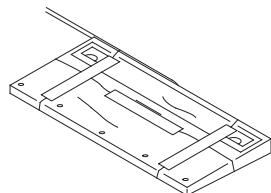
9.1.5 データキーボードのカバーと交換

異物や薬液の付着、浸水を防止するために、通常はデータキーボードを防水シートでカバーをしておきます。このカバーは、破れ、傷等がある場合は、交換してください。

- (1) プロセッサーの電源を切ります。
- (2) プロセッサーからデータキーボードを外します。
- (3) データキーボードの防水シートを外します。
- (4) データキーボードの表面を新しい防水シートで包みます。



- (5) データキーボードの裏面で防水シートを粘着テープで固定します。



9.1.6 タブレットのリプロセス

- (1) タブレットの電源を切り、タブレットアクセサリーから取り外します。
- (2) 洗浄液（中性洗剤）を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼを用意します。
- (3) 毛羽立ちのない清潔なガーゼで患者の汚物が除去されるまでタッチパネルを拭きます。

参考

- タッチパネル以外の部分は拭かないでください。
- (4) 消毒液（消毒用エタノール）を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼを用意します。
 - (5) 手順(3)で患者の汚物を除去した部分を、消毒液を浸した毛羽立ちのない清潔なガーゼで拭きます。必要に応じて、ガーゼは新しい物と交換して使用します。
 - (6) 消毒液製造販売業者が指示する接触時間、タッチパネルが濡れていることを確認してください。
 - (7) タッチパネルが濡れたままになっている場合、毛羽立ちのない清潔な乾いたガーゼで拭き取り、十分に乾燥させます。

9.2 劣化の兆候

化学薬剤を使用して機器をリプロセスすると、劣化が徐々に生じます。劣化や異常の兆候を見つけるため、機器を点検してください。劣化の兆候に気づいた場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

警 告

- 本製品は、この取扱説明書に従って、使用前に点検を行ってください。点検の結果、異常が見つかった機器は使用しないでください。正常ではない機器の使用は、誤診や感染の原因となったり、患者に重大な危害をおよぼすおそれがあります。

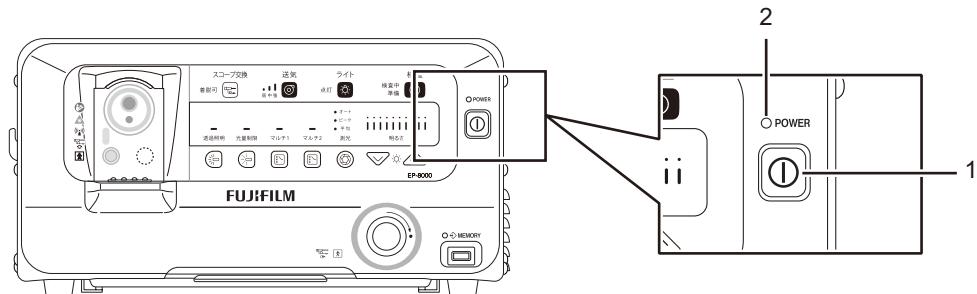
以下の点について、目視または触覚で確認します。

- 本体に極度の変形、傷、亀裂、金属接点の錆などの異常がないこと。
- データキーボードの防水シートに極度の変形、傷、亀裂などの異常がないこと。
- タブレットに極度の変形、傷、亀裂、金属接点の錆などの異常がないこと。

劣化の兆候に気づいた場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

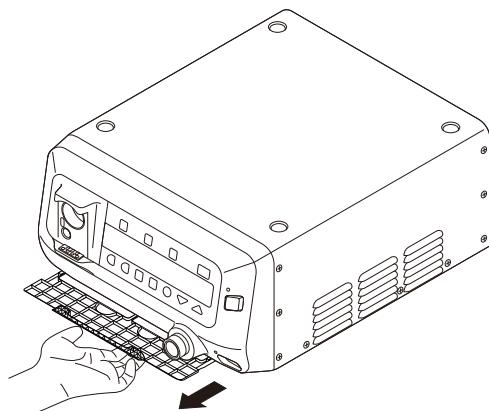
9.3 ルーバーの清掃

- (1) 本製品の電源ボタンを押して電源を切ります。
電源表示灯が消灯します。

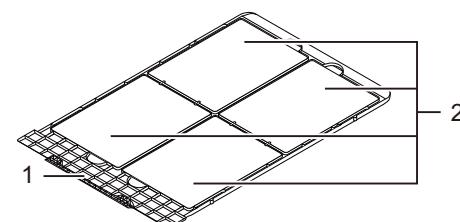


1	電源ボタン
2	電源表示灯

- (2) 本製品からルーバーを取り外します。



- (3) ルーバーのフィルターからほこりを除去します。

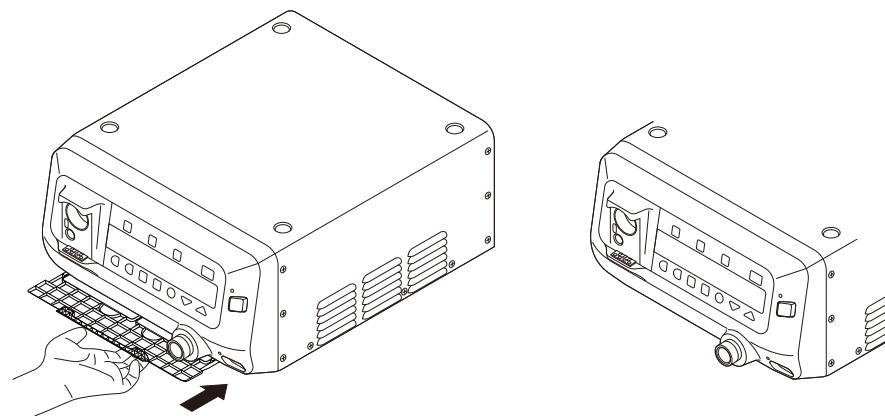


1	ルーバー
2	フィルター

(4) 本製品にルーバーを取り付けます。

ルーバーが奥まで取り付けられていることを確認します。

奥まで取り付けられていない場合は、故障の原因となります。



9.4 保管するには

9.4.1 プロセッサーの保管

本システムは、下記の条件を満たす所で保管してください。

<保管条件>

温度	-20 ~ +60°C
湿度	10 ~ 90%RH (結露状態を除く)
気圧	70 ~ 106 kPa (大気圧範囲)

参考

- <使用条件>

非動作時

温度	-10 ~ +45°C
湿度	30 ~ 95%RH (結露状態を除く)
気圧	70 ~ 106 kPa (大気圧範囲)

長期間ご使用にならなかつた場合は、設置時に行った動作確認をもう一度行ってください。

➔「第6章 システムの準備と点検」

本製品は時計、データの記憶のために2次電池を使用しております。長期間、本製品の電源を入れないでおくと、時計の機能が維持できない（日時が実際と異なる）場合があります。この場合は、もう一度システムの初期設定を行ってください。

➔「第4章 設置時のシステムの初期設定」

9.4.2 送水タンクの保管

送水タンクの保管方法については、送水タンクの取扱説明書を参照してください。

9.5 移動するには

警 告

- 使用するカートのキャスターのロックが完全に効かない場合があるので、傾斜面には設置しないでください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。
- カートを段差をまたいで移動させる場合は、段差に対してカートを前向きにして、前側の左右に1人ずつ配置しキャスターが1つずつ段差をこえるよう対角方向へ動かしてください（必要なら持ち上げながら動かしてください）。また、この時機器の落下、カートの転倒を防ぐため、カート後側に1人配置してください（段差の乗り越えは3人以上で行います）。カートが転倒したり、積載機器が落下してけがをするおそれがあります。積載機器が落下した場合、機器が故障するおそれがあります。
- ガスボンベを搭載したカートの移動は、カートの取扱説明書を参照してください。カートの取扱説明書に記載が無い場合は、取り外してください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。

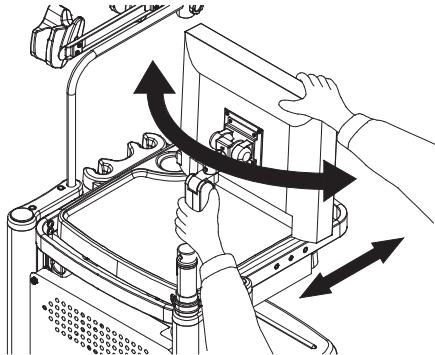
注 意

- カートの移動は2人以上で行ってください。カートが転倒してけがをするおそれがあります。また、搭載機器を押さないでください。機器が落下し故障するおそれがあります。
- 移動は送水タンクを取り外して行ってください。水がこぼれて転倒し、けがをするおそれがあります。
- 移動は内視鏡を取り外して行ってください。内視鏡を壊すおそれがあります。
- 内視鏡用送水装置を搭載したカートの移動は、送水タンク内の滅菌水を空にしてください。滅菌水が入った状態で移動すると、水がこぼれて転倒し、けがをするおそれがあります。

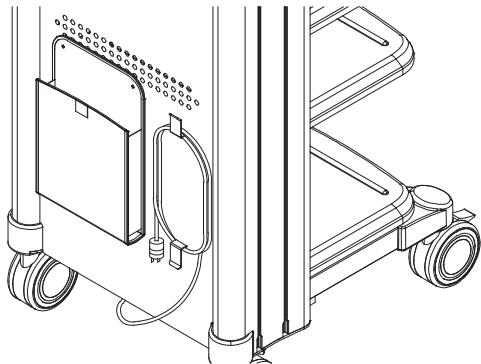
参考

- 内視鏡の電気コネクターにぶつかったり、強い衝撃を与えたりしないでください。光源装置に接続した内視鏡のスコープコネクターまたは、LG コネクターが周囲の物とぶつかったり、強い衝撃を受けたりすることのないように、光源装置を設置してください。電動ベッド等の操作時には、光源装置に接続した内視鏡のスコープコネクターまたは、LG コネクターに電動ベッド等が衝突しないように注意してください。内視鏡および光源装置が破損するおそれがあります。

- (1) 光源装置、プロセッサー、カートの電源を切っておきます。
モニターがカートに固定されていることを確認します。



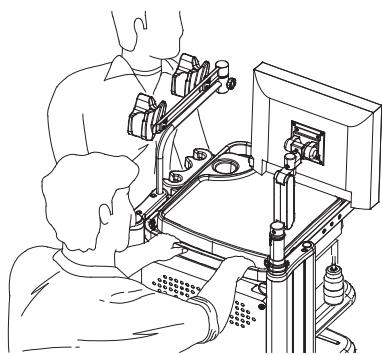
- (2) キャスターがロックしている場合は解除します。



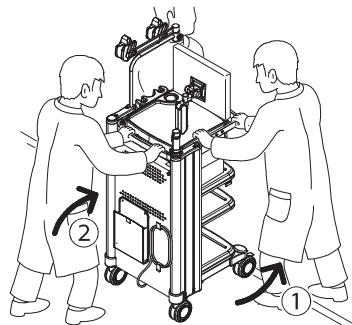
- (3) 段差、傾斜に注意して、振動、衝撃を与えないように搬送します。

参考

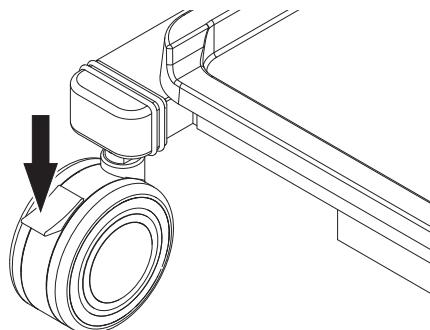
- 搬送は 2 人以上で行ってください。
- 搬送する際は、モニターとスコープハンガーがぶつからないよう十分に注意してください。



段差をまたいで移動させる場合は、段差に対してカートを前向きにして、前側の左右に1人ずつ配置しキャスターが1つずつ段差をこえるよう対角方向へ動かしてください（必要なら持ち上げながら動かしてください）。また、この時機器の落下、カートの転倒を防ぐため、カート後側に1人配置してください（段差の乗り越えは3人以上で行います）。



(4) 設置の際には、カートのキャスターをロックします。



9.6 送水タンクの洗浄と消毒（または滅菌）

送水タンクの洗浄・消毒・滅菌方法については、送水タンクの取扱説明書を参照してください。

第10章 トラブルシューティング

この章では、本製品のトラブルの解決策について記載をしています。

10.1 トラブルシューティング

症 状	考えられる要因	対処方法
電源ボタンを「入」にしても、本製品が作動しない（電源表示灯が点灯しない）	1) カートのメインスイッチが「切」になっている 2) 電源コードの接続が不完全 3) 電源コードの不良 4) コンセントの不良 5) ヒューズが切れている	1) カートのメインスイッチを「入」にします。 2) 電源コードの接続をし直します。 3) 電源コードを点検してください。 4) 定格電圧が供給されているか確認してください。 5) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
ライトボタンを押しても光が出ない	1) 内視鏡が接続されていない 2) スコープソケット部安全スイッチの故障 3) 光源の故障	1) 内視鏡をロック位置までしっかりと装着してください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 3) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

症 状	考えられる要因	対処方法
映像が出ない	1) 内視鏡の接続が不完全 2) モニターの電源が「切」になっている 3) モニターの入力選択があってない 4) モニターが接続されていない 5) モニターが 12G-SDI 出力に対応していない 6) 組み合わせて使用可能な内視鏡以外を接続している 7) 内視鏡の交換中	1) 内視鏡を接続し直します。 →「7.2 内視鏡の接続」 2) モニターの電源を「入」にします。 3) INPUT を接続したラインにあわせます。 4) モニターをケーブルで接続します。 5) モニターの出力解像度を 3G-SDI に変更します。 [Ctrl]、[Alt]、[S] キーを同時に押してください。 →「4.2 設置時のシステムの初期設定」 6) 組み合わせて使用可能な内視鏡をご使用ください。 7) 内視鏡を接続し、スコープ交換ボタンを押します。 →「7.31 内視鏡の交換」

症 状	考えられる要因	対処方法
映像が暗い	<p>1) 内視鏡の撮像部が損傷している</p> <p>2) 内視鏡の接続が不完全</p> <p>3) 明るさレベルが -4 近くになっている</p> <p>4) 測光モードが「ピーク」になっている</p> <p>5) 静電気などによりシステムが誤動作している</p> <p>6) 光源の故障</p> <p>7) 内視鏡の対物レンズ、ライトガイドに異物が付着している</p>	<p>1) 5) 6) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。</p> <p>2) 内視鏡を接続し直します。 →「7.2 内視鏡の接続」</p> <p>3) 明るさレベルを 0 付近に設定します。 →「7.14 光量の調整」</p> <p>4) 測光モードを「平均」に設定します。 →「7.25 測光モードの切り替え」</p> <p>7) 内視鏡の取扱説明書に従い、内視鏡を洗浄・消毒・滅菌してください。</p>

症 状	考えられる要因	対処方法
映像のハイライト部が明るすぎる	1) 内視鏡の撮像部が損傷している 2) 測光モードが「平均」になっている 3) 明るさレベルが +5 近くになっている 4) 静電気などによりシステムが誤動作している 5) 光源の故障	1) 4) 5) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。 直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 2) 測光モードを「ピーク」に設定します。 →「7.25 測光モードの切り替え」 3) 明るさレベルを 0 付近に設定します。 →「7.14 光量の調整」
検査中または処置中に映像が消える	1) 内視鏡の撮像部が損傷している 2) 内視鏡の接続が不完全 3) 静電気などによりシステムが誤動作している 4) 光源の故障 5) 電源環境の影響（電圧降下等）によりシステムが誤動作している	1) 3) 4) 5) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。 直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 2) 内視鏡を接続し直します。 →「7.2 内視鏡の接続」
検査中または処置中にフリーズが解除しない	静電気などによりシステムが誤動作している	エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。 直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

症 状	考えられる要因	対処方法
検査中または処置中に突然映像が変色する	1) 内視鏡の撮像部が損傷している 2) 静電気などによりシステムが誤動作している 3) 映像信号ケーブルが断線または、短絡している 4) 内視鏡の接続が不完全	1) 2) 3) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。 直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 4) 内視鏡を正しく接続してください。 →「7.2 内視鏡の接続」
映像が乱れる	1) 高周波によるノイズの影響 2) 内視鏡の接続が不完全	1) 電気焼灼器の通電を止めれば映像は元に戻ります。内視鏡に問題はありません。 2) 内視鏡を接続し直します。 →「7.2 内視鏡の接続」
データキーボード操作ができない	データキーボードのコネクターが接続されていない	データキーボードのコネクターを接続します。
周辺機器が動作しない	1) 周辺機器の電源が「切」になっている 2) 周辺機器が接続されていない 3) 周辺機器の設定が間違っている 4) 周辺機器の故障	1) 周辺機器の電源を「入」にします。 2) 周辺機器をケーブルで接続します。 3) 4) 周辺機器の取扱説明書を参照してください。
プロセッサーから異常な音が出る	ファンの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。
検査中または処置中にライトが消える	1) スコープソケット部安全スイッチの故障 2) 光源の故障	エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。 直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。
内視鏡のスイッチ機能が動作しない	1) スコープスイッチ設定が間違っている 2) 周辺機器が接続されていない	1) スコープスイッチの設定を変更します。 →「4.2.9 スコープタブ」 2) 周辺機器をケーブルで接続します。

症 状	考えられる要因	対処方法
送気または送水ができない	1) 送気ポンプが「切」になっている 2) 送水タンクのキャップがゆるんでいる 3) 送水タンクに水がいっぱい入りすぎている 4) 送水タンクに水が入っていない 5) 内視鏡との接続が不十分	1) 送気ボタンを押して、「強」、「中」もしくは「弱」に設定します。 2) キャップを確実に締めてください。 3) 送水タンクの8分目くらいまで水を減らします。 4) 送水タンクに水を入れます。 5) 接続コネクターを確実に締めてください。

参考

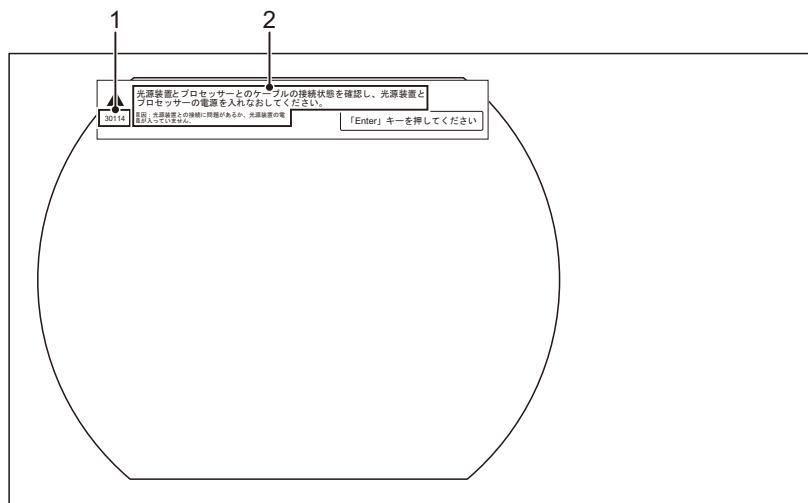
- ・プロセッサーの電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。
- ・内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

10.2 エラーメッセージ

異常が起こるとモニターにエラーメッセージを表示します。

参考

- ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。



1	エラーコード
2	エラーメッセージ

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：光源装置の異常です。	EP-8000 の光源装置の故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：光源装置の異常です。	EP-8000 のファンの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：プロセッサーの異常です。	EP-8000 の故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
プロセッサーと光源装置の電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：光源装置【LL-7000】の異常です。	光源装置【LL-7000】の故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：スコープの異常です。	内視鏡の故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
指定された方法で清掃を行ってください。 再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：光源、またはスコープとの接続に問題があります。	ほこりがたまつた、または、汚れがついて、800 システムスコープまたは 700 システムスコープの給電ができない。	指定された方法で清掃を行ってください。 ほこりがたまつたときや汚れがついた場合は、毛羽立ちの無い清潔なガーゼなどで軽く拭いてください。 再度表示された場合、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
スコープの脱着は、検査ボタンがオレンジ色の時か、電源が OFF の時に行ってください。	検査ボタンが青色に点灯している状態で内視鏡を取り外そうとした	内視鏡の取付け・取り外しは、電源「切」時または検査ボタンを約 2 秒間押し続けてオレンジ色に点灯してから行ってください。
検査を終了する場合は内視鏡画像のフリーズを解除してください。	内視鏡画像がフリーズ状態で検査ボタンを押した。	内視鏡画像のフリーズを解除してから検査を終了してください。
装着中のスコープは使用できません。	適応内視鏡以外の内視鏡を接続して起動、または検査開始した	適応内視鏡をご使用ください。 →「第 11 章 主な仕様」
FTP サーバーに接続できません。 原因：FTP サーバーがネットワークに繋がっていないか、ネットワーク設定に問題があります。	1) FTP サーバーがネットワークに繋がっていない 2) ネットワーク設定に問題がある 3) プロセッサーのネットワーク設定の異常	1) FTP サーバーの電源を入れてください。 2) ケーブル等の接続を確認して「再接続を試行」を選択してください。 3) システム管理者に確認、もしくは営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
FTP サーバーへのログインが拒否されました。 ネットワークの設定を確認してください。 原因：ログインネームとパスワードの設定が正しくありません。	プロセッサーのネットワーク設定の異常	システム管理者に確認、もしくは営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
ネットワークに接続できませんでした。 原因：ネットワーク設定が原因か、ネットワークに異常があります。	ネットワークを使用する設定になつていない状態で、手動転送を行おうとした	ネットワークを使用する設定がなっているか確認してください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
サーバーへの検査データの転送に失敗しました。 ネットワークの設定が正しいか確認してください。 原因：サーバーとのネットワーク接続に失敗したか、ネットワーク設定に問題があります。	FTP サーバーがネットワークに繋がっていないか、ネットワーク設定に問題がある	ケーブル等の接続を確認して、FTP サーバーと通信できることを確認してください。
外部メモリーの初期化に失敗しました。 外部メモリーを確認してください。	外部メモリーの初期化に失敗した	メモリースロットからメモリーを一回、抜き挿しを行い、初期化をやり直してください。
外部メモリーを装着してください。 装着されているにもかかわらず本メッセージが表示される場合は、サービスセンターにご相談ください。	1) 外部メモリーが挿入されていない 2) 外部メモリーが認識できない 3) メモリースロットが壊れている	1) 外部メモリーを挿入してください。 2) 外部メモリーを抜き挿しし、再起動してください。 3) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
内部メモリーに問題があり使用できません。 内部メモリーを初期化してください。 原因：内部メモリーが未初期化か、ファイルシステムが壊れています。	1) 内部メモリーが初期化されていない 2) 内部メモリーのファイルシステムが壊れている	内部メモリーの初期化を行ってください。 →「5.4.2 内部メモリータブ」
内部メモリーがいっぱいです。 原因：内部メモリーが容量不足で書き込めません。	内部メモリーの空き容量がなくなった	外部メモリーへ画像をコピーするか、未転送バックアップ画像の再転送を行い、システムの空き容量を確保してください。
外部メモリーがいっぱいです。 原因：外部メモリーが容量不足で書き込めません。	外部メモリーの空き容量がなくなった	新しい外部メモリーを準備してください。
プリンターの電源を入れ直してください。 再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：プリンター装置に異常が発生しています。	プリンターの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
プリンターを認識できません。 プリンターの電源、およびケーブルの接続を確認してください。 検査終了後にプリントする場合は [キャンセル] ボタンを選択してください。	1) プリンターの電源が入っていない 2) プリンターが正しく接続されていない	1) プリンターの電源を入れてください。 2) プリンターの接続を確認してください。
プリント中です。 プリント終了まで画像を取り込むのをお待ちください。	プリンターがプリント中の時にトリガー指示を出した	プリント終了までお待ちください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プリンターのドアが開いています。 プリンターを確認してください。	プリンターのドアが開いている状態で、プリントを実行しました	プリンターのドアを閉めてください。
プリンターの用紙がありません。 用紙を補給してください。	プリンターに紙がない状態でプリントを実行した	プリンターに紙を入れてください。
プリンターにインクシートがセットされていません。 インクシートをセットしてください。	プリンターインクシートがない状態でプリントを実行した	プリンターにインクシートを入れてください。
プリンターのインクシートがなくなりました。 インクシートを交換してください。	プリンターインクシートが終了した	プリンターにインクシートを入れてください。
プリンターで用紙が詰まりました。 用紙を取り除いてください。	プリンターの紙詰まり	つまった紙を取り除いてください。
プリンターの用紙とインクシートのサイズが合っていません。 用紙とインクシートのサイズを合わせてください。	インクシートと用紙の組み合わせの誤り	プリンターの用紙とインクシートのサイズを合わせて入れてください。
動画記録装置との接続が確認できません。 動画記録装置を確認してください。 原因：動画記録装置の電源が入っていないか、動画記録装置とプロセッサーとの接続に異常が発生しています。	動画記録装置の電源が入っていない	動画記録装置の電源、ケーブル接続、通信速度等の設定を確認してください。
動画記録装置のソフトウェアエラーが発生しました。	1) 動画記録装置の接続・設定が正しく行われていない 2) 動画記録装置の故障	1) 動画記録装置の電源、ケーブル接続、通信速度等の設定を確認してください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※
動画記録装置にディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	動画記録装置にディスクが入っていない	ディスクを取り出し、新しいディスクを入れてください。
動画記録装置に入っているディスクの容量がいっぱいです。 新しいディスクと交換してください。	装置に挿入されているディスクがいっぱいになった	ディスクを取り出し、新しいディスクを入れてください。
動画記録装置に入っているディスクはサポートしていません。 「DVD-RAM」か、「DVD-R」ディスクを入れてください	装置でサポートされていないディスクが入っている	ディスクを取り出し、サポートされているディスクを入れてください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
動画記録装置に入っているディスクに書き込みできません。 書き込み可能なディスクを入れてください。 原因：ディスクが書き込み禁止状態または、最大記録件数に達しています。	ディスクにライトプロテクトがかかっている	ディスクを取り出し、ライトプロテクトを解除してください。
動画記録装置に入っているディスクが記録不可能状態です。 ディスクを確認してください。 機器に対して、ディスクのステータスの確認をして記録不可のステータスが返ってきました。	1) ディスクが壊れている 2) 書き込み済みのディスクを入れた	ディスクを取り出し、新しいディスクを入れてください。
動画記録装置に入っているディスクは初期化されていません。 初期化済みのディスクを入れてください。 原因：DVD-RAM ディスクが初期化されていません。	初期化されていないディスクが入っている	ディスクを取り出し、初期化してください。
動画記録装置が処理中です。	動画記録装置がビジー状態の時にトリガー指示をした	メッセージが消えるまでお待ちください。
ディスクトレイが開いています。 確認してください。	ディスクのトレイが開いている状態で、動画記録を実行した	動画記録装置のエラーを取り除いてください。
録画中に患者が切り替えられました。 録画は継続します。	動画記録中に患者が切り替えられた	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリント準備中です。 少々お待ちください。	プリント開始直後に新しい画像のトリガー指示をした	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリンターに入力信号がありません。 入力ケーブルまたは、機器側の設定値を確認してください。	プリンターの接続・設定が正しく行われていない	プリンターのケーブル接続、設定を確認してください。
プリンターに画像が取り込まれていません。	画像が取り込まれていない状態で、プリントをしようとした	画像を取り込んで再度プリントをしてください。
ヘッド温度の調整中です。	プリンターのヘッドの温度が上昇してしまった場合	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリンターの排紙口に用紙が貯まっています。 用紙を取り除いてください。	プリンターの用紙が貯まっています。	貯まった用紙を取り除いてください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プリンターを認識できません。 プリンターの電源、およびケーブルの接続を確認してください。 プリントをやめる場合は[キャンセル]ボタンを選択してください。	1) デジタルプリンタの電源が入っていない 2) デジタルプリンタにUSBケーブルが接続されていない 3) デジタルプリンタの設定に異常がある	デジタルプリンタの電源、ケーブル接続、設定を確認してください。
プリンターの用紙が詰まりました。 用紙を取り除いてください。 プリントをやめる場合は[キャンセル]ボタンを選択してください。	デジタルプリンターの紙詰まり	つまった紙を取り除いてください。
プリンターのインクシートが不正です。 正しいインクシートに交換してください。 プリントをやめる場合は[キャンセル]ボタンを選択してください。	インクシート情報が検出できない	プリンターのインクシートを入れ直してください。
プリンターの用紙とインクシートのサイズが合っていません。 用紙とインクシートのサイズを合わせてください。 プリントをやめる場合は[キャンセル]ボタンを選択してください。	インクシートと用紙の組み合わせが合っていない	指定のプリンターの用紙とインクシートをセットしてください。
プリンターの用紙がありません。 用紙を補給してください。 プリントをやめる場合は[キャンセル]ボタンを選択してください。	デジタルプリンターに紙がない状態でプリントを実行した	プリンターに紙を入れてください。
プリンターのドアが開いています。 確認してください。	デジタルプリンターのドアが開いている状態で、プリントを実行した	プリンターのエラーを取り除いてください。
プリンターの電源を入れ直してください。 再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：プリンター装置に異常が発生しています。	デジタルプリンターの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
プリント準備中です。 しばらくお待ちください。 プリントをやめる場合は[キャンセル]ボタンを選択してください。	デジタルプリンター設定の初期化の最中に、プリント画像を送った	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリンターヘッドの温度調整中です。 しばらくお待ちください。 プリントをやめる場合は[キャンセル]ボタンを選択してください。	1) プリンター内部で高温異常が発生している 2) プリンターの故障	1) メッセージが消えるまでお待ちください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：パネルボタン、およびフットスイッチの初期化に失敗しました。	パネルボタン、フットスイッチの認識に失敗した	プロセッサーの電源を切り、5秒以上後に再度プロセッサーの電源を入れてください。
DICOMGW 機器との通信異常です。接続を確認してください。	DG 機器とのシリアル通信が失敗した	ケーブルが接続されているか確認してください。頻発する場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※
超音波装置との通信異常です。接続を確認してください。	超音波内視鏡とのシリアル通信が失敗した	ケーブルが接続されているか確認してください。頻発する場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※
プロセッサーと光源装置の電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：装着中のスコープは使用できない設定になっています。	LL-7000 を使う設定が有効になっていない。	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
バルーンコントローラー (PB) の電源を切り、チューブを接続してからバルーンコントローラー (PB) の電源を入れてください (ERR3)	バルーンコントローラー電源投入時にチューブの外れを検出した。	バルーンコントローラー本体またはスコープスイッチでブザーを止めます。バルーンコントローラーの電源を切り、チューブを接続してから電源を入れてください。
バルーンコントローラー (PB) のファン異常を検知しました。バルーンコントローラー (PB) の電源を切り、5秒以上おいてから再度電源を入れてください。(ERR8)	バルーンコントローラー内部のファンの異常を検出した。	バルーンコントローラー本体またはスコープスイッチでブザーを止めます。バルーンコントローラーの電源を切り、5秒以上おいてから再度電源を入れてください。再発する場合は、内視鏡とオーバチューブの送気口からチューブを取り外し、シリンジを使用して手動で排気を行ってください。その後、モニター画面で安全を確認しながら内視鏡とオーバチューブを抜去し検査を中止してください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
バルーンコントローラー (PB) の圧力センサー異常を検知しました。バルーンコントローラー (PB) の電源を切り、5秒以上おいてから再度電源を入れてください。(ERR9)	バルーンコントローラー内部圧力センサーの故障	バルーンコントローラーの電源を切り、5秒以上おいてから再度電源を入れてください。再発する場合は、内視鏡とオーバチューブの送気口からチューブを取り外し、シリジを使用して手動で排気を行ってください。その後、モニター画面で安全を確認しながら内視鏡とオーバチューブを抜去し検査を中止してください。

* ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

第11章 主な仕様

この章では、主な仕様、電磁両立性（EMC）情報などを記載しています。

11.1 仕様

注意

- 動作時の使用環境について、本製品を含め、組み合わせて使用する機器すべての動作環境を満たす環境で使用してください。機器が正常に動作しないおそれがあります。

◆ 医用電気機器の分類

1. 電撃に対する保護形式

クラス I 機器

(電源：保護接地付プラグ)

2. 電撃に対する保護程度

BF 形装着部

3. 防爆の程度

高酸素濃度環境、可燃性ガス霧団気中での使用禁止

4. 水の有害な侵入に対する保護の程度による分類

IPX0

5. 動作モードによる分類

連続運転

◆ 装着部

適用内視鏡の挿入部

◆ EP-8000 本体諸元

電源	100-240V ~ 50/60 Hz
消費電流 (定格)	3.0-1.5A
ヒューズ	T5AH250V×2 (定格 5A/250V)
カラー方式	NTSC/PAL
映像出力	DVI (解像度 : 1920×1080 画素) 3G-SDI (解像度 : 1920×1080 画素) 12G-SDI (解像度 : 1920×1080 画素、 3840×2160 画素)
調光	制御信号による自動調光
送気ポンプ	強 / 中 / 弱 / 切
最大送気圧	65kPa
最大送水圧	65kPa
送水方式	送気により送水タンク内部を加圧し送水する
照明光源	LED
最大光出力	3.6W 以下 (当社測定治具において)
電力送信周波数	110 ~ 205KHz
有効放射電力	15W 未満
撮像方式	同時方式 ^{※1}
測光方式	オート／ピーク／平均
画面拡大 ^{※2}	電子ズーム ×1.00 ~ ×2.00 (0.05 ステップ)
メモリー	患者データ : 45 人 手技名 : 20 種 ドクター名 : 20 人 画像設定ページ : 5 ページ
内蔵時計	日付、時計 (2 次電池によるバックアップ)
カウンター	順算式ディスプレイ表示
適用内視鏡 ^{※3}	800 システムスコープ ^{※4} 700 システムスコープ 600 システムスコープ 580 シリーズスコープ 530 シリーズスコープ ^{※5} L600 システムスコープ L580 シリーズスコープ
寸法 (W×H×D)	395×210×515mm (突起物を含む)
質量	18kg

※1 内視鏡先端に、異なる色フィルター（赤・緑・青）が付いている撮像素子を使用する撮像方式で、照明には白色光を用いています。

※2 一部の 530 シリーズスコープの倍率は、X1.00 ~ X1.95 の範囲です。

※3 内視鏡ごとに使用できる画像強調機能は以下の通りです。

800/700 システムスコープ (710/720 シリーズスコープは除く) :

FICE、BLI、BLI-bright、LCI、ACI

710/720 シリーズスコープ、L600 システムスコープ、L580 シリーズスコープ、EB-580S :

FICE、BLI、BLI-bright、LCI

600 システムスコープ、580/530 シリーズスコープ :

FICE

※4 EG-840UR を除く

※5 EB-530H、EB-530P、EB-530T、EB-530US のみ

◆ 使用環境

動作時

温 度	+10 ~ +40 °C
湿 度	30 ~ 85%RH (結露状態を除く)
気 壓	70 ~ 106kPa (大気圧範囲)

非動作時

温 度	-10 ~ +45 °C
湿 度	30 ~ 95%RH (結露状態を除く)
気 壓	70 ~ 106kPa (大気圧範囲)

◆ 輸送、保管環境

温 度	-20 ~ +60 °C
湿 度	10 ~ 90%RH (結露状態を除く)
気 壓	70 ~ 106kPa (大気圧範囲)

◆ 有効期間・使用期限（耐用期間）

有効期間（耐用期間）は適切な保守点検を行った場合、使用開始から 6 年間です。「自己認証（当社データ）による」

◆ 入出力端子

(1) 映像出力端子

RGB TV 端子 (D-sub 15pin)	RGB: 0.7 Vp-p/75 Ω (NTSC/PAL) Sync : TTL, 5.0 Vp-p/75 Ω	1 系統
ビデオ端子	1.0Vp-p/75Ω (NTSC/PAL)	1 系統
3G-SDI OUT 端子	デジタル	1 系統
12G-SDI OUT 端子	デジタル	1 系統
DVI-D OUT 端子	デジタル	1 系統

(2) 映像入力端子

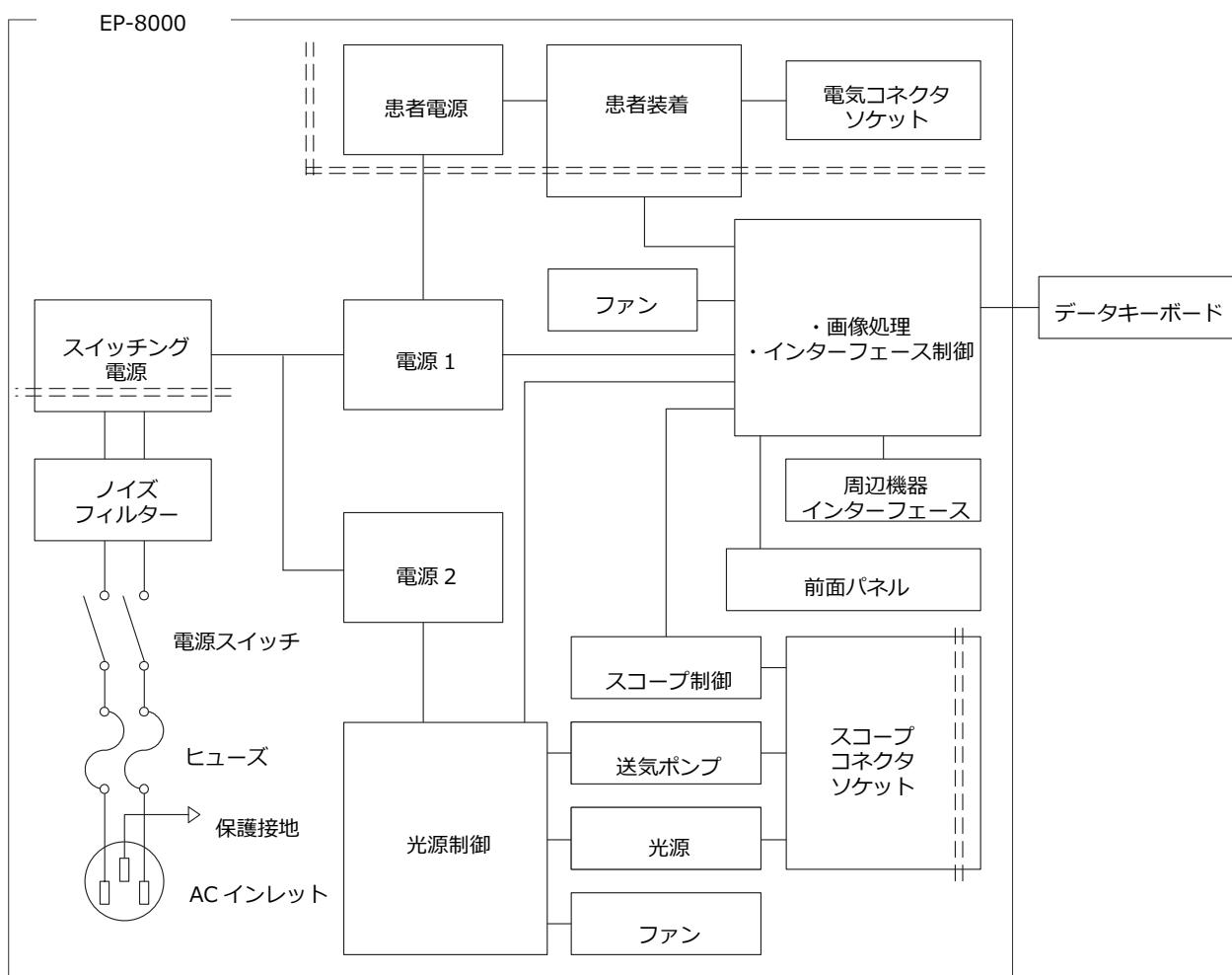
DVI-D IN 端子	デジタル	1 系統
3G-SDI IN 端子	デジタル	1 系統

(3) 制御用端子

デジタルプリンター端子	※USB2.0	1 系統
キーボード端子	※USB2.0	1 系統
リーダー端子	※USB2.0	1 系統
RS-232C 端子 (D-sub 9pin)	※ 専用プロトコル	2 系統
リモート端子 (BNC)	※Open collector 500msec Active low	2 系統
フットスイッチ端子 (Din 5pin)	※ 専用プロトコル	1 系統
インターフェースケーブル 端子 (MiniD-sub 15pin)	※ 専用プロトコル	1 系統
EXT IF 端子 (18pin)	※ 専用プロトコル	1 系統
NETWORK 端子 (RJ-45)	※1000Base-T	1 系統
OPTION 端子 (RJ-45)	※100Base-TX	1 系統
PERIPHERAL 端子	※USB3.0	1 系統
メモリースロット	※USB3.0	1 系統

◆ ブロック図

本製品には電源部、患者装着部、内視鏡接続部、画像処理部、インターフェース制御部、周辺機器インターフェース部、前面パネル部、光源制御部、スコープ制御部から構成されます。患者装着部および内視鏡接続部はフローティングされています。接続される内視鏡に電源、制御信号、照明光、空気を供給します。内視鏡から受信した画像信号を処理し、画像情報に変換します。画像情報をモニタ表示、印刷、記録、送信する機能を搭載しています。



11.2 電磁両立性 (EMC) 情報

医用電気機器は EMC に関する特別な注意を必要とし、本製品と組み合わせて使用する、内視鏡^{*1} および光源装置^{*2} が共に IEC 60601-1-2:2014+A1:2020 に適合している場合は、表 1 ~ 表 4 において提供される EMC の情報に従って設置して使用してください。本製品と組み合わせて使用する、内視鏡^{*1} または光源装置^{*2} のいずれかが IEC 60601-1-2:2014 のみに適合している場合は、表 3 の「RF 無線通信機器からの近接フィールドに対するイミュニティ IEC 61000-4-3」の「IEC 60601-1-2 試験レベル」にある d の 2 つの周波数帯は適用外となります。

※ 1 内視鏡の取扱説明書を参照してください。

※ 2 光源装置の取扱説明書を参照してください。

EMC の適合性は本システムと組み合わせて使用できる機器によります。

組み合わせて使用できる機器の取扱説明書を参照してください。

< 電磁工ミッショング指針および適合情報 >

表 1

ガイダンス及び製造業者による宣言—電磁工ミッショング		
エミッショング試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RF エミッショング CISPR 11	グループ 1	本製品は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。したがって、その RF エミッショングは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッショング CISPR 11	クラス B (800 システムスコープ ^{*1} 、700 システムスコープ ^{*2} 、EB-580S または EB-580T との組合せ。 光源装置 LL-7000 と L600(7) シリーズスコープまたは L500(7) シリーズスコープとの組合せ。) クラス A (上記機器以外の組合せ)	[RF エミッショング] クラス B の組み合わせにおいては、家庭用施設および家庭環境の建物に供給する商用の低電圧配線系に直接接続したものを含む、すべての施設での使用に適しております。 クラス A の組み合わせにおいては、医療施設や商業用施設での使用を意図しております。そのため家庭用施設で使用した場合、他の機器に有害な電磁干渉を引き起こす可能性があります。また、本製品では無線周波数通信サービスを十分に保護できない場合があります。このような場合は、機器の移動や向きの変更などの緩和策を講じる必要がある場合があります。「第 1 章 安全にご使用いただくために」に従い電磁波障害を是正することを推奨します。
高調波エミッショング IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動／フリッカエミッショング IEC 61000-3-3	適合	

※1 EN-840T を除く。EG-840UR は、組合せて使用可能な機器の対象外

※2 EG-740UT を除く

<電磁イミュニティの指針および適合情報>

表2

ガイダンス及び製造業者による宣言—電磁イミュニティー			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	接触 : $\pm 8 \text{ kV}$ 気中 : $\pm 2 \text{ kV}, \pm 4 \text{ kV}, \pm 8 \text{ kV}, \pm 15 \text{ kV}$	接触 : $\pm 8 \text{ kV}$ 気中 : $\pm 2 \text{ kV}, \pm 4 \text{ kV}, \pm 8 \text{ kV}, \pm 15 \text{ kV}$	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は少なくとも 30% であることが望ましい。
電気的ファーストランジェント／バースト IEC 61000-4-4	電源線 : $\pm 2 \text{ kV}$ 入出力線 : $\pm 1 \text{ kV}$	電源線 : $\pm 2 \text{ kV}$ 入出力線 : $\pm 1 \text{ kV}$	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
サージ IEC 61000-4-5	ライン - ライン間 : $\pm 0.5 \text{ kV}, \pm 1.0 \text{ kV}$ ライン - アース間 : $\pm 0.5 \text{ kV}, \pm 1.0 \text{ kV}, \pm 2.0 \text{ kV}$	ライン - ライン間 : $\pm 0.5 \text{ kV}, \pm 1.0 \text{ kV}$ ライン - アース間 : $\pm 0.5 \text{ kV}, \pm 1.0 \text{ kV}, \pm 2.0 \text{ kV}$	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電源入力ラインにおける電圧ディップ、短時間停電及び電圧変化 IEC 61000-4-11	0% U_T 0.5 サイクル間 1 サイクル間 70% U_T 0.5 秒間 0% U_T 5 秒間	0% U_T 0.5 サイクル間 1 サイクル間 70% U_T 0.5 秒間 0% U_T 5 秒間	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。本製品の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、本製品を無停電電源又は電池から電力供給することを推奨する。
電源周波数 (50/60Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつことが望ましい。

参考

- U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

< 携帯電話や RF 通信機器などの指針および適合情報 >

表 3

ガイダンス及び製造業者による宣言 - 電磁イミュニティー			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz 6 Vrms ISM 周波数帯域 ^c	3 Vrms 6 Vrms ISM 周波数帯域 ^c	<p>携帯形及び移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む本製品のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。</p> <p>推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$</p>
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	3 V/m	<p>$d = 1.2 \sqrt{P} \text{ } 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d = 2.3 \sqrt{P} \text{ } 800 \text{ MHz} \sim 2.7 \text{ GHz}$</p> <p>ここで、P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の定格最大出力であり、d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。</p> <p>電磁界の現地調査^aによって決定される固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲^bにおける適合レベルよりも低いことが望ましい。</p> <p>次の記号が表示されている機器の近傍では干渉が生じるかもしれない。</p> 

イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
RF 無線通信機器からの近接フィールドに対するイミュニティ IEC 61000-4-3	380 - 390 MHz, 27 V/m 430 - 470 MHz, 28 V/m 704 - 787 MHz, 9 V/m 800 - 960 MHz, 28 V/m 1422 - 1512 MHz, 10 V/m 1700 - 1990 MHz, 28 V/m 2400 - 2570 MHz, 28 V/m 3480 - 3600 MHz, 10 V/m 3600 - 4200 MHz ^d , 10 V/m 4400 - 4900 MHz ^d , 10 V/m 5100 - 5800 MHz, 9 V/m	380 - 390 MHz, 27 V/m 430 - 470 MHz, 28 V/m 704 - 787 MHz, 9 V/m 800 - 960 MHz, 28 V/m 1422 - 1512 MHz, 10 V/m 1700 - 1990 MHz, 28 V/m 2400 - 2570 MHz, 28 V/m 3480 - 3600 MHz, 10 V/m 3600 - 4200 MHz, 10 V/m 4400 - 4900 MHz, 10 V/m 5100 - 5800 MHz, 9 V/m	携帯形 RF 通信機器を本製品のあらゆる部分から 30 cm 以内で使用すると、本製品の性能が低下する可能性があります。

参考

- 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。
- これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。電磁伝搬は建築物、物、人からの吸収及び反射に影響される。

- a. 無線（セルラー / コードレス）電話や陸上移動無線、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送、TV 放送の基地局などの固定送信機からの電界強度は、理論的に正確に予測することはできません。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁サイト調査を検討する必要があります。この製品が使用されている場所で測定された電界強度が上記の該当する RF 適合性レベルを超える場合は、この製品を観察して正常な動作を確認する必要があります。異常な性能が見られる場合は、本製品の向きを変えたり、位置を変えたりするなど、追加の対策が必要になる場合があります。
- b. 150 kHz ~ 80 MHz の周波数範囲では、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。
- c. 6.765 MHz ~ 6.795 MHz、13.553 MHz ~ 13.567 MHz、26.957 MHz ~ 27.283 MHz、または 40.66 MHz ~ 40.70 MHz の周波数帯域
- d. 本製品と組み合わせて使用する内視鏡と光源装置のいずれかが IEC 60601-1-2:2014 のみに適合している場合は、この周波数帯は適用外となります。

<携帯形および移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離 >

表 4

携帯形及び移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離			
送信機の定格最大出力 P (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d=1.2\sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.7 GHz $d=2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストしていない定格最大出力の送信機に関しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の定格最大出力である。

参考

- 80 MHz 及び 800 MHz においては、分離距離は高い周波数範囲を適用する。
- これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。電磁伝搬は、建築物、物、人からの吸収及び反射に影響される。

• 使用ケーブル

名称	最大ケーブル長	仕様
ビデオケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ω のシールドケーブル
RGB ケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ω のシールドケーブル (R, G, B, Sync)
12G-SDI ケーブル	10m	特性インピーダンス 75 Ω の放送用 12G-SDI 用シールド同軸ケーブル
3G-SDI ケーブル	3m	特性インピーダンス 75 Ω の放送用 3G-SDI 用シールド同軸ケーブル
DVI-D ケーブル	2.3 m	特性インピーダンス 100 Ω のシールドケーブル DVI 規格に準拠したケーブル
LAN ケーブル	-	CAT6A 以上の STP タイプのストレートケーブル
CC1-9R3	0.3 m	本製品と LL-7000 接続専用ケーブル (LL-7000 に同梱)
CC-JW01	0.1 m	本製品と JW-3 接続ケーブル
CC-PE01	1.5 m	本製品と GW-100 接続ケーブル

デジタルプリンターとの接続は、プリンターに付属しているケーブルを接続してください。

11.3 サイバーセキュリティ

本項は、弊社が製造販売した医療機器に対するサイバーセキュリティに関する情報を記載しています。

本項に含まれる情報は、情報提供のみを目的としており、変更される可能性があります。

セキュリティポリシー、保守計画、セキュリティに関する情報は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

< 使用前の注意事項 >

- ・本製品は、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに準拠した環境のネットワークで使用してください。
- ・ネットワークに接続した環境で使用する場合は、コンピュータウイルスおよび情報の漏洩等に注意してください。
- ・セキュリティの確保された病院内のネットワークに接続して使用してください。
- 「4.1.24 ネットワーク接続」
- ・サービスマンが、サービス期間中に必要に応じて整合性を確認した上でソフトウェアのアップデートを行います。
アップデート後にソフトウェアのバージョン確認と使用前の点検を行ってください。
サービス期間終了後は、ソフトウェアのアップデートができなくなりますのでご注意ください。
ソフトウェアのアップデートやサービス期間終了の詳細については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

< ネットワーク接続に対する注意 >

- ・NETWORK 端子を使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC 60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。
- ・本製品は医療施設のファイヤーウォール内の安全なネットワークに接続し、サポートされているプロトコル (DICOM、FTP、HTTPS) にて使用してください。
- ・RS-232C は専用プロトコルのため、組み合わせて使用可能な機器以外は接続しないでください。
- ・ネットワークに接続する場合は、未知のリスクが発生する可能性があります。接続によって発生する可能性のあるリスクを特定、分析、評価、管理し、施設の責任において本装置をネットワークに接続してください。
- ・ネットワーク設定を変更する場合は、新たなリスクが発生する可能性があります。設定の変更によって発生する可能性のあるリスクを分析してください。

< アカウントの管理 >

権限の異なる「ユーザー」と「管理者」の2種類設定できます。

→「4.2.3 セキュリティタブ」

→「5.5.7 セキュリティの設定」

<セキュリティ更新>

サイバーセキュリティ脆弱性またはインシデントが検知された際、検出した脆弱性により製品へのリスクレベルにより、下記のとおり対応を行います。

- ・製品に影響する深刻度が低い脆弱性については、次版リリース時に恒久対策あるいは補完的対策の評価を実施し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口を通じて情報を提供します。

<インシデント発生時の対応>

医療機関で情報セキュリティインシデントが発生した場合、医療機関との連携活動を含めた対応手順を以下のように定めています。

■ ウィルスの発生が医療機関内の機器（他社製品含む）で確認された場合

- (1) サーバー機器・院内端末の LAN ケーブルを抜線し、院内 LAN から分離してください。併せてリモート用 VPN ルータが設置されている場合、WAN 側の LAN ケーブルを抜線してください。
- (2) 被害状況の確認（ウィルスの種類確認）を行い、現状を保全してください。
- (3) 医療機関のセキュリティ管理者と連絡を取り、情報共有および対応についての指示を受けてください。
- (4) ウィルス感染について営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口へ報告してください。

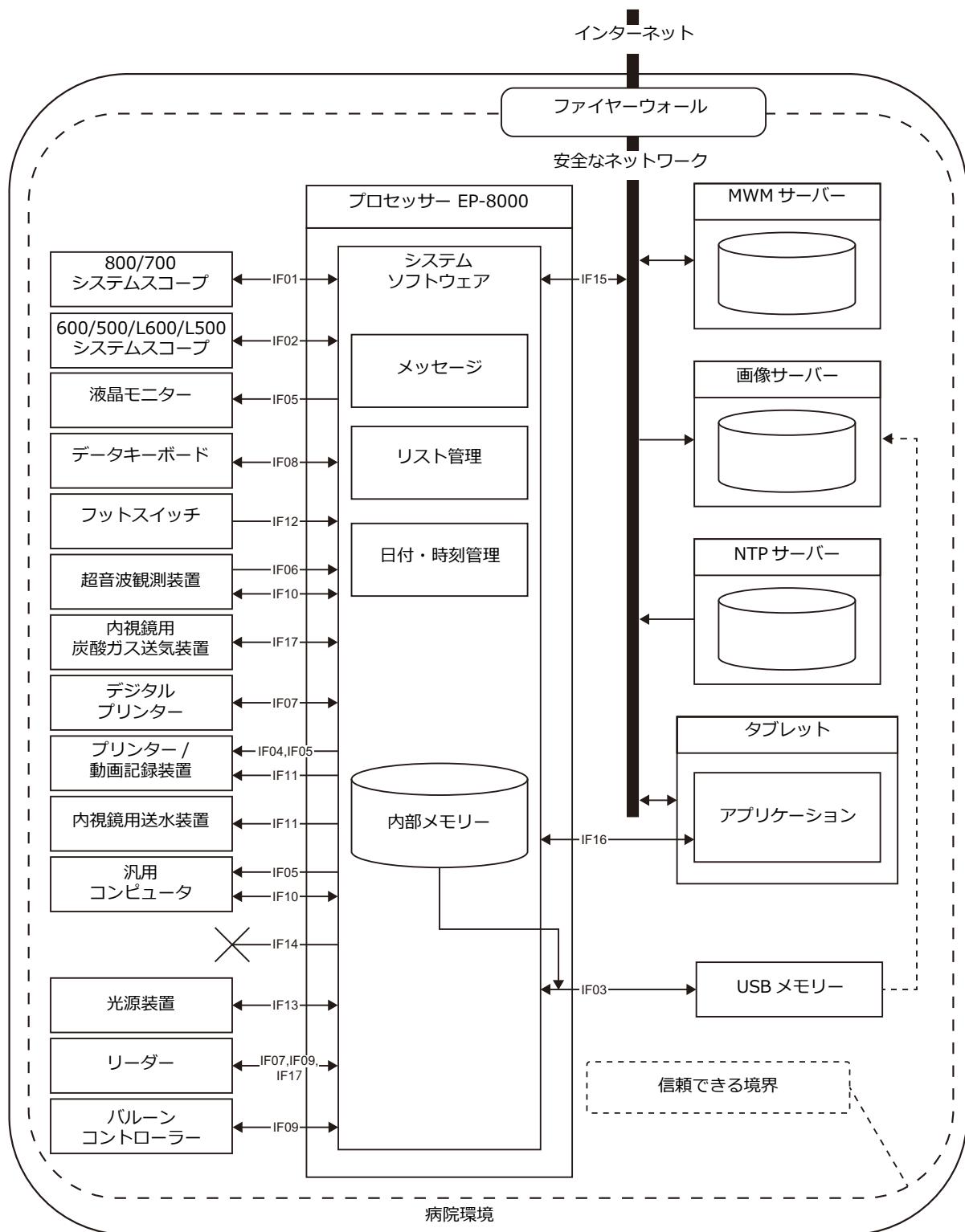
<システム構成>

本製品で使用されるインターフェースは、下記を参照してください。

→「3.1 前面パネル」

→「3.2 背面パネル」

→「11.1 仕様」



IF01: 800/700 システムスコープを接続し、専用プロトコルにて、内視鏡からのデータを受信し、また内視鏡の観察機能等を制御する。

IF02: 600/500/L600/L500 システムスコープの電気コネクターを接続し、専用プロトコルにて、内視鏡からのデータを受信し、また情報をやり取りする。

IF03: USB メモリー (USB3.0) を接続する。

IF04: NTSC/PAL の映像信号を出力する。

IF05: デジタルの映像信号を出力する。

IF06: デジタルの映像信号を入力する。

IF07: デジタルプリンターを接続する。または、IF09 にバルーンコントローラーが接続されている場合、リーダーを接続する。

IF08: データキーボード DK-8000 を接続する。

IF09: リーダーまたはバルーンコントローラーを接続する。

IF10: RS-232C で周辺機器を接続し、専用プロトコルにて動作の制御をする。

IF11: 周辺機器に接続し、トリガー信号を出力する。

IF12: 専用プロトコルでフットスイッチ FS1 を接続する。

IF13: 専用プロトコルで光源装置を接続する。

IF14: 専用プロトコルで拡張機器を接続する。(使用できません)

IF15: ネットワークに接続する。(DICOM、FTP、HTTPS)。サーバーと検査情報 / 患者情報、時刻情報の取得や、検査画像の送信を行う。

IF16: タブレットと接続し、動作を制御する。(HTTPS)

IF17: 内視鏡用炭酸ガス送気装置に接続し、動作を制御する。または、IF09 にバルーンコントローラーが接続されている場合、リーダーを接続する。

＜ソフトウェアのセキュアな使用停止についての方針＞

情報漏洩防止のため、本製品を廃棄する際は下記の情報を削除してください。

- 患者情報
 - ➔ 「5.2.4 患者情報の削除」
 - 内部メモリの検査画像
 - ➔ 「8.8.3 検索した画像の削除」
 - 施設名
 - ➔ 「4.2.7 表示タブ」
 - ドクター名
 - ➔ 「4.2.13 ドクター名の設定」
 - 手技名
 - ➔ 「4.2.14 手技名の設定」

- 連絡事項
→ 「4.2.15 連絡事項の設定」

11.4 保証とアフターサービス

<製品保証書>

この製品には、製品保証書が添付されています。

<アフターサービス>

(1) 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

(2) それでも具合の悪いときはサービスへ

営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

(3) 保証期間中の修理は

無料修理規定に基づいて修理させていただきます。

保証期間は、お買い上げ日から1年です。

次の場合は保証の対象となりませんので、ご了承ください。

イ. 火災、風水害などの天災による損傷

ロ. お取り扱い上の不注意または操作の誤りによる機能障害および故障

ハ. 弊社関係外で修理または改造されたもの

(4) 保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

サービス窓口にご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型 名：EP-8000

製造番号^{*}：

故障の状況：できるだけ詳しく

購入年月日：

※ 製造番号は本体背面左側に記載されています。

索引

記号・英数

- 12G-SDI OUT 端子 3-6
3G-SDI IN 端子 3-6
3G-SDI OUT 端子 3-6
Backspace キー 3-12
Caps Lock キー 3-12
Delete キー 3-12
DICOM サーバー接続状態 3-31
DVI-D IN 端子 3-6
DVI-D OUT 端子 3-6
Enter キー 3-12
Esc キー 3-13
EXT IF 端子 3-6
FICE 3-38
FICE キー 3-11
FICE セット R,G,B ゲインレベル 3-29, 3-44
FICE セット R,G,B 表示成分 3-29, 3-44
FTP サーバー接続状態 3-31
Insert キー 3-11
NETWORK 端子 3-6
OPTION 端子 3-7
PageUp キー 3-11
PERIPHERAL 端子 3-7
R,G,B ゲインレベル 3-39
R,G,B 表示成分 3-39
RGB TV 端子 3-5
RS-232C 端子 1 3-6
RS-232C 端子 2 3-6

あ

- 明るさ調節ボタン 3-4

い

- 医師名 3-29, 3-39, 3-44
移動するには 9-11
医用電気機器の分類 11-1
インジケーター 3-4
インターフェースケーブル端子 3-6

え

- 液晶モニター 2-3

- エラーメッセージ 10-7

か

- 開始キー 3-11
外部メモリー 8-16
画像キー 3-10
画像設定ページ 3-30, 3-44, 5-47
観察モード 3-29, 3-34, 3-39, 3-44
患者 ID または検査番号 3-29, 3-38, 3-45
患者キー 3-10
患者情報・スコープ情報 3-46
患者情報入力画面 5-8
患者入力キー 3-10
患者名 3-29, 3-38, 3-45

き

- キーボード端子 3-5
給電部 3-4

く

- 組み合わせて使用可能な機器 2-3

け

- 検索キー 3-11
検査表示灯 3-3
検査ボタン 3-3

こ

- 光源装置 2-3
構造強調 3-30, 3-45
光量制限ボタン 3-4
コメント入力キー 3-10

さ

- サイバーセキュリティ 11-11
撮影枚数カウンター 3-31, 3-38, 3-44
サブ画面エリア 1 3-16
サブ画面エリア 2 3-16

し

- 色彩強調 3-30, 3-38, 3-45
時刻 3-29, 3-39, 3-44

システムキー	3-10
システムの拡張	2-11
シャッタースピード	3-30, 3-38, 3-45
周辺機器キー	3-10
手技キー	3-10
手技またはコメント	3-32, 3-39, 3-45
手技リスト	4-99
受信窓	3-4
仕様	11-1
使用環境	11-3
情報非表示 Space キー	3-12

す

スイッチ設定	3-30
スコープコネクター ソケット	3-1
スコープ情報	3-30, 3-44

せ

生年月日	3-30, 3-38, 3-45
性別	3-29, 3-38, 3-45
赤色レーザ光	3-32, 3-45
設定	3-10
選択リスト	3-10
前面パネル	3-1

そ

送気表示灯	3-2
送気ボタン	3-2
送水タンクフック	3-8
装着部	11-1
側面パネル	3-8
ソケット保護キャップ	3-14
底面	3-9
測光モード	3-30, 3-38, 3-45
測光モードボタン	3-4
その他のキー	3-11

た

タイマー	3-29, 3-39, 3-44
タイマー Ctrl キー	3-12
タブレット	2-4
タブレットアクセサリー	2-4

ち

超音波観測装置	2-4
---------------	-----

つ

通気口	3-8, 3-9
通信窓 (LED)	3-4

て

データキーボード	2-3, 3-10
デジタルプリンター	2-4, 8-5
デジタルプリンター端子	3-5
電気コネクター ソケット	3-4
電気焼灼器	4-34
電源接続部	3-5
電源表示灯	3-3
電源ボタン	3-3
電子ズーム拡大率	3-29, 3-44
電磁両立性 (EMC) 情報	11-6

と

動画記録装置	2-4, 8-10, 8-11
透過照明ボタン	3-4
等電位化端子	3-5
ドクターキー	3-10
ドクターリスト	4-96
トラブルシューティング	10-1
トリガーキー	3-11
トリガーモード	5-58

な

内視鏡	2-3
内部・外部メモリー	8-22
内部メモリー	8-12

に

入出力端子	11-4
-------------	------

ね

年齢	3-30, 3-38, 3-45
----------	------------------

の

ノイズリダクション	3-30, 3-38, 3-45
-----------------	------------------

は

ハイパートーン	3-30, 3-38, 3-45
背面パネル	3-5
パネルキー	3-11
汎用コンピュータ	2-4

ひ

日付	3-29, 3-39, 3-44
ビデオ端子	3-5
ヒューズホルダー	3-5
病院名	3-29, 3-39, 3-44
表示データ	3-10
表示マーク	3-15
標準システム構成	2-9

ふ

フィルター	3-9
フォーカスメーター	3-29, 3-38, 3-44
フットスイッチ	2-4
フットスイッチ端子	3-6
プリンター	2-4, 8-1
プリンター状態	3-31
プリント	3-11
プロセッサー	2-3
ブロック図	11-5

ほ

保管するには	9-10
保証とアフターサービス	11-16

ま

マルチ 1 ボタン	3-4
マルチ 2 ボタン	3-4
マルチズームモード	5-60

め

メイン画面エリア	3-16
メモリーアクセスランプ	3-3
メモリー記録枚数	3-31
メモリースロット	3-4

ゆ

有効期間・使用期限（耐用期間）	11-3
輸送、保管環境	11-3

う

ライト点灯表示灯	3-2
ライトボタン	3-2

り

リーダー端子	3-6
リモート端子 1	3-6
リモート端子 2	3-6

る

ルーバー	3-9
------------	-----

れ

連絡事項キー	3-10
連絡事項リスト	4-101

ろ

ログイン	3-30
------------	------

■ 製品のお問い合わせ窓口について

製品のお問い合わせ先

電話番号 : **0570-02-7007** (ナビダイヤル)

富士フィルムメディカル株式会社
〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目 26 番 30 号
電話番号 : 03-6419-8045

製造販売業者 **富士フィルム株式会社**
〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地